「とうきょう こども アンケート」報告書

（令和8年調査）

令和8年 11 月

東京都子供政策連携室

本報告書の要旨

1. 調査の目的

本調査は、都内に居住する子供たちとその保護者の方々の日頃の暮らしや悩み、困りごとについて、従来の行政分野の枠組みにとらわれることなく子供たちに関する実態や意識を継続的に把握し、今後の子供政策を検討するために、令和5年度から毎年実施しているものである。

2. 調査の概要

項目	内容
調査地域	東京都全域
調査対象	小学3年生、小学5年生、中学2年生、17 歳の子供とその保護者、3歳児の保護者
標本サイズ	10,500 世帯（計 19,500 人）
抽出方法	住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
調査方法	郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB（インターネット）回答併用）
調査時期	令和8年5月8日（金曜日）から令和8年6月1日（月曜日）まで
回答数（回収率）	8,648 人（44.3%）

3. 主な調査結果

- 生成 AI の使用（p.223）

  生成 AI を使用していると回答した子供は 60.8%であり、令和7年調査から 23.3 ポイントと大幅に増加した。学年が上がると使用している割合は増加傾向で、17 歳は 86.4%が使用していると回答した。

- 学費（教材費などを除く）の負担感（p.431）

  学費の負担を感じると回答した保護者は 39.8%で、令和7年調査から 6.6 ポイント減少した。

- 育児のイメージの男女ギャップ（p.481）

  男女別にみると、「家事や育児の負担が増える」、「自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる」、「自分の時間が取れなくなる」などで、女性が男性を 10 ポイント超上回る。

- 「平日に、テレビやスマホなどの画面を見ている時間」（スクリーンタイム）×精神的健康状態（WHO-5）（p.512）

  スクリーンタイムが長い子供は、精神的健康状態（WHO-5）が低い傾向にある。

- 悩みの種類の数×生成 AI の使用（p.516）

  悩みの種類の数が多いと回答した子供は、生成 AI を使用している割合が高い傾向にある。

目次

本報告書の要旨

Ⅰ. 調査の概要 1

1. 調査の目的 1
2. 調査の項目 1
3. 調査の設計 1
4. 検討会議 1
5. 調査機関 2
6. 各調査対象の設問数 2
7. 回収結果 2

標本抽出方法 3
標本サイズの配分 3
抽出 4
報告書の見方 5

Ⅱ. 調査結果

1. 子供編

問1. あなたの性別は何ですか。 6
問2. あなたの住んでいる区市町村はどこですか。 7
問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。 8
（A 私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある） 8
（B 私が困っていたら近所の人が助けてくれる） 10
（C 近所の大人たちは私にやさしい） 12
（D 大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる） 14
（E 子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる） 16
（F 近所の人たち同士がお互いに助け合っている） 18
問4. あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。 20
問5. あなたが安心して遊べる場所はどこですか。 23
問6. あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。 27
問7. あなたは週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。 30
問8. 過去 1 年以内に、あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）で、次のような危険な目にあったことはありますか。 32
問9. あなたは東京が好きですか。 35
問 10. 問 9 で、その選択肢を選んだ理由は何ですか。 37
問 11. あなたが、20年後に一番叶えたいことは何ですか。 43
問 12. 問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。 46
問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。 48

問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。.....50
問 15. あなたは「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っていますか。.....52
問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。.....55
（A 将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う）.....55
（B ボランティアをしたいと思う）.....57
（C 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある）.....59
（D 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に
議論している）.....61
（E 未来の社会を良くするために何か行動しようと思う）.....63
（F 自分の行動で社会を変えられると思う）.....65
（G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）.....67
問 17. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。.....69
（A 学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ）.....69
（B 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）.....71
（C 学ぶことが楽しい）.....73
（D 良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない）.....75
問 18. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。
学校に所属しながらのアルバイトは除きます。.....77
問 19. あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。.....80
問 20. あなたは学習や進路に関して、どのようなサポートがあればよいと思いますか。.....83
問 21. あなたは学校に所属または就労（アルバイトを含む）していますか。.....86
問 22. あなたは学校または職場が好きですか。.....88
問 23. 学校について、不満に感じることはありますか。.....90
問 24. 学校が嫌いで休むことはありますか。.....94
問 25. 1 か月のうち、学校に行かないで休む日はどれくらいありますか。.....96
問 26. あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。
学校に所属しながらのアルバイトは除きます。.....98
（A 自分にとって居心地が良い）.....98
（B 自分の意見が言える）.....100
（C 自分の意見が採用される）.....102
（D 自分のことを自分で決められる）.....104
（E 安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる）.....106
（F 規則や運営に対しても自分たちの意見を言える）.....108
（G 規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される）.....110
問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。.....112
（A 毎日たくさん笑っている）.....112
（B 今の自分は幸せだ）.....114
（C 今の自分の生活に満足している）.....115
（D 今の自分が好きだ）.....117
（E 人生を楽しんでいる）.....119

（F 自分は他人から必要とされている）.....121
（G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある）.....123
（H 自分には、夢や目標がある）.....125
問 28. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。.....127
（A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ）.....127
（B 自分の考えを他の人にしっかりと言える）.....129
子問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。.....131
（A 家事）.....131
（B 育児）.....133
（C 仕事）.....135
（D 介護）.....137
問 30. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。...139
（A パソコン）.....139
（B スマートフォン）.....141
（C タブレット）.....143
（D インターネット接続（Wi-Fi など））.....145
（E 家庭用ゲーム機）.....147
（F テレビ）.....149
問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。.....151
（A 家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）.....151
（B 家では安心して過ごしている）.....153
（C 私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている）.....155
（D 親／保護者は私の話を聞いてくれる）.....157
問 32.「親／保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらないのは、なぜですか。.....159
問 33. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。.....162
（A 友達との関係は良好である）.....162
（B 家族との関係は良好である）.....164
（C 学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である）.....166
（D 地域の人との関係は良好である）.....168
問 34. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）は次のうち、どれですか。.....170
問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。.....178
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）.....178
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）.....180
（C 意欲的で、活動的に過ごした）.....182
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）.....184
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）.....186
問 36. あなたは今、悩んでいることはありますか。.....190
問 37. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。
インターネット上での経験は除きます。.....194
問 38. あなたは過去 1 年以内に、インターネット上で次のような経験をしたことがありますか。.....197

問 39. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。 200
問 40. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。 203
問 41. あなたは将来、結婚したいと考えていますか。今つきあっている人がいるかどうかや、
その人と結婚したいかどうかとは関係なく答えてください。 205
問 42. あなたは、「結婚」についてどのようなイメージを持っていますか。 207
問 43. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。 210
（A 起きる時間） 210
（B 寝る時間） 212
（A 起きる時間）（B 寝る時間） 214
問 44. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの
画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。 217
問 45. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。 219
問 46. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。 221
問 47. あなたは、生成 AI を使用していますか。 223

2. 保護者編

問1. あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか。 225
問2（1）. お子様と同居している方を教えてください。 226
問2（1）. また、お子様のきょうだいが同居している場合は、その人数を選択肢5のカッコ内に
数字で記入してください。 228
問2（2）. お子様と同居している方は何人ですか。お子様とあなた自身を含めた合計の人数をカッコ内に
数字で記入してください。 229
問3. あなたとお子様が現在住んでいるお住まいを教えてください。 230
問4. 現在のお住まいに、お子様の部屋はありますか。 233
問5. 現在、あなたは配偶者／パートナーと同居していますか。 235
問6. あなたの年齢を教えてください。 237
問7. あなたの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。 238
問8. あなたの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。
また、「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。 241
（A 1週間あたりの平均就業日数） 241
（B 1日あたりの平均就業時間） 243
問9. あなたの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、1日あたりの往復の
平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。 245
（A 1週間の在宅勤務時間割合） 245
（B 1日あたりの往復の平均通勤時間） 247
問 10. あなたは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか
（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。 249
問 11. 配偶者／パートナーの年齢を教えてください。 251
問 12. 配偶者／パートナーの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。 252

問 13. 配偶者／パートナーの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。
また、「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。 255
（A 1週間あたりの平均就業日数） 255
（B 1日あたりの平均就業時間） 257
問 14. 配偶者／パートナーの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。
また、1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を
選択してください。 259
（A 1週間の在宅勤務時間割合） 259
（B 1日あたりの往復の平均通勤時間） 261
問 15. 配偶者／パートナーは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日は
どれくらいありますか（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。 263
問 16. あなたと配偶者／パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。 265
（A 配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる） 265
（B 配偶者／パートナーのことを信頼している） 267
問 17. あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会は
どれくらいありますか。 269
問 18. ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合はどれくらいですか。 271
問 19. 使用している日本語以外の言語について、全てお答えください。 272
問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。
それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。 274
（1. あなたの割合） 274
（2. 配偶者／パートナーの割合） 276
（3. その他の割合） 278
問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。
それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。 280
（1. あなたの割合） 280
（2. 配偶者／パートナーの割合） 282
（3. その他の割合） 284
問 21A. あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足していますか。 286
問 21B. あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。 288
問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。
また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。 290
（A 介護・補助が必要な方） 290
（B 主に介護・補助をされている方）※A で「祖父母」～「お子様のきょうだい」「その他」と回答された方 292
問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。 295
（A 毎日たくさん笑っている） 295
（B 今の自分は幸せだ） 297
（C 今の自分の生活に満足している） 299
（D 今の自分が好きだ） 301
（E 人生を楽しんでいる） 303

（F 自分は他人から必要とされている）……305
（G 自分には夢や目標がある）……307
（H 子育てを楽しんでいる）……309
問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。……311
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）……311
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）……313
（C 意欲的で、活動的に過ごした）……315
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）……317
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）……319
問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。……323
（A 時間的なゆとり）……323
（B 経済的なゆとり）……325
（C 体力的なゆとり）……327
（D 精神的なゆとり）……329
（E 生活全般のゆとり）……331
問 26. あなたが今、子育てに関して楽しいと感じていることは何ですか。……333
問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。……337
（A 子育てや教育の費用）……337
（B 子育ての相談相手の不足）……339
（C 子供の健康や発達・発育）……341
（D 子供の成績や学力）……343
（E 子供の進学や就職）……345
（F 子供の問題行動）……347
（G 子育てと仕事や家事の両立）……349
問 28. あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。……351
問 29. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は誰ですか。……355
問 30. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は何人いますか。……359
問 31. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を一人にしなければならない時など、家族以外に
お子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思いましたか。……361
問 32. あなたは、直近1年間の普段の生活で、お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、
預けられなかったことはありましたか。……364
問 33. この中から、お子様についてあてはまるものをお選びください。……366
問 34. お子様は過去1年以内に次のような経験をしたことがありますか。……368
問 35. お子様が通う学校について、保護者であるあなたは満足していますか。……371
問 36. お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由は何ですか。……373
問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、
次のことがどれくらいあてはまりますか。……377
（A 子育てに良い場所である）……377
（B 進んで周りの人達を助けようとする）……379
（C 地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い）……381

（D 信用できる）……383
（E 同じ価値観を持っている）……385
（F 異なる世代間の交流が盛んである）……387
問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友人や親戚はいますか。……389
問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。……391
（A 起きる時間）……391
（B 寝る時間）……393
（A 起きる時間）（B 寝る時間）……395
問 40. あなたが平日（仕事などがある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの
画面を見ている時間はどれくらいありますか。仕事で見る時間は除きます。……398
問 41. あなたや配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか。……400
（A あなた）……400
（B 配偶者／パートナー）※いない場合は空欄で構いません。……402
問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。……404
（A 子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）……404
（B 子供は家では安心して過ごしている）……406
（C 子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）……408
（D 保護者は子供の話を聞いている）……410
問 43（1）. これまでに、お子様と一緒に行ったり、お子様が体験したりしたことは何ですか。
なお、学校行事は含みません。……412
問 43（2）. 過去1年以内に、お子様と一緒に行ったり、お子様が体験したりしたことは何ですか。
なお、学校行事は含みません。……415
問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。
最もなってほしいものを選んでください。……418
問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。……421
問 46. それは、お子様の希望と合っていると思いますか。……424
問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。……426
問 48. あなたの世帯の世帯年収は、次のうちどれですか。……429
問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。……431
（A 学費（教材費などを除く））……431
（B 学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など））……433
（C 塾や習い事に関する費用）……435
（D 部活（クラブ活動）に関する費用）……437
（E 食費）……439
（F 住居費）……441
（G 旅行やレジャーなどにかかる費用）……443
（H 靴や洋服などの服飾費用）……445
（I パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用）……447
問 50. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。……449
問 51. あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。……451

3. その他

(1)ギャップ分析

【子供と保護者の差】

・20 年後に一番叶えたいこと……453
・社会に出て働くタイミング……454
・将来像や進路を難しくしている問題……455
・家族と一緒に心地よい時間を過ごしている……456
・親／保護者は私の話を聞いてくれる……457
・過去1年以内の嫌な経験(インターネット上での経験を除く)……458
・(保護者)家庭内での母親の分担割合・家事 × (子供)家庭における男女の役割・家事……459
・(保護者)家庭内での母親の分担の割合・育児 × (子供)家庭における男女の役割・育児……460

【男女の差】

・普段、放課後や休みの日に遊んでいること……461
・週に 30 分以上遊んだり体を動かしたりする日……462
・過去1年以内に住む地域で経験した危険な目……463
・20年後に一番叶えたいこと……464
・将来、子供を育てたいか……465
・将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか……466
・自分の行動で社会を変えられると思う……467
・社会に出て働くタイミング……468
・将来像や進路を難しくしている問題……469
・学校について不満に感じること……470
・自分の考えを他の人にしっかりと言える……471
・家庭における男女の役割・家事……472
・家庭における男女の役割・育児……473
・家庭における男女の役割・仕事……474
・家庭における男女の役割・介護……475
・あなたにとっての居場所(ほっとできる場所・安心できる場所)……476
・精神的健康状態(WHO-5)……477
・今、悩んでいること……478
・将来、結婚したいと考えているか……479
・「結婚」についてどのようなイメージを持っているか……480
・「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っているか……481
・過去 1 年以内の嫌な経験(インターネット上除く)……482
・平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間……483

(2)テーマ別

【子供の意識】

・「子供を育てること」についてのイメージ × 経済的にゆとりがあるなら子供を何人育てたいか……484

・(保護者)子育てを楽しんでいる × (子供)「子供を育てること」についてのイメージ……485
・今の自分が好きだ × 将来、結婚したいと考えているか……486
・家族との関係は良好である × 「結婚」についてのイメージ……487
【子供の意見表明】
・学校や職場で自分の意見が言える × 自分の考えを他の人にしっかりと言える……488
・自分の考えを他の人にしっかりと言える × 今の自分が好きだ……489
・学校等で自分の意見が採用される × 子供が権利の主体であることの認知度……490
【安全安心】
・過去 1 年以内の嫌な経験の種類数 × 精神的健康状態(WHO-5)……491
・安心して遊べる場所の種類の数 × 毎日たくさん笑っている……492
【学校生活】
・学校や職場で自分の意見が言える × 学校や職場は自分にとって居心地が良い……493
・規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される × 自分は他人から必要とされている……494
【学び・成長】
・学ぶことが楽しい × 自分の行動で社会を変えられると思う……495
・もっと他の内容や方法で学びたい × 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う……496
【体験活動・遊び】
・(保護者)過去1年以内にお子様と一緒に行ったり、体験した種類の数× (子供)夢や目標がある……497
・週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日 × 精神的健康状態(WHO-5)……498
【居場所・地域社会】
・地域の人との関係は良好である × 自分は他人から必要とされている……499
・ほっとできる居場所の種類数 × 今の自分が好きだ……500
【子育て】
・精神的なゆとり × 子育てを楽しんでいる……501
・家庭内での育児分担の満足度 × 子育てと仕事や家事の両立の悩み……502
・家庭内でのあなたの『育児分担』の割合 × 家庭内での育児分担の満足度……503
・住む地域に友人や親戚がいるか × 子育ての相談相手の不足の悩み……504
・学費(教材費などを除く)の負担感 × 子育てや教育の費用の悩み……505
【メンタルヘルス】
・困ったり悩んだりしたときの相談相手の種類の数 × 精神的健康状態(WHO-5)……506
・居場所の種類の数 × 相談相手の種類の数……507
・平日の睡眠時間 × 精神的健康状態(WHO-5)……508
【デジタル社会】
・テレビやスマホなどの画面を見ている時間 × 今の自分は幸せだ(学年別)……509
・テレビやスマホなどの画面を見ている時間 × 精神的健康状態(WHO-5)……512
・親／保護者は私の話を聞いてくれる × テレビやスマホなどの画面を見ている時間……513
・遊べる場所や居場所がたくさんある × テレビやスマホなどの画面を見ている時間……514
・学ぶことが楽しい × 生成 AI を使用しているか……515
・今、悩んでいることの種類の数 × 生成 AI の使用……516

(3)重回帰分析 517

(4)他調査比較 521
【欧州委員会「Flash Eurobarometer(579 回)」】＜平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間＞ 521
【スポーツ庁「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」】
＜平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間＞ 523
【PISA 2025】＜生活への満足度＞ 526
【日本財団「18 歳意識調査『第 78 回-国や社会に対する意識(6カ国調査)-』」】＜社会貢献意欲＞ 527
【日本財団「18 歳意識調査『第 77 回-価値観・ライフデザイン-』」】＜将来の結婚意向＞ 529
【こども家庭庁「こども・若者総合調査(令和7年度)」】＜自己肯定感＞ 530
【こども家庭庁「こども・若者総合調査(令和7年度)」】＜幸福感＞ 531
【第 14 回(令和6年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)】＜相談する相手＞ 532

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、都内に居住する子供たちとその保護者の方々の日頃の暮らしや悩み、困りごとについて、福祉や教育など、従来の行政分野の枠組みにとらわれることなく子供たちに関する実態や意識を把握し、今後の子供政策を検討するために、令和5年度から継続的に実施している。

調査結果については、庁内各局で共有するとともに、今後も継続的に調査を行うことで、単年の結果だけでなく経年の変化も分析し、より強固なエビデンスに基づいた実効性のある政策の推進につなげていく。

2. 調査の項目

①子供/保護者自身について
②子供の安全安心について
③子供の遊び場・居場所について
④子供の学び・成長について
⑤子育て家庭支援について
⑥子供の意見表明、参加、権利擁護について
⑦社会的情勢の変化による影響について
⑧基本情報
等

3. 調査の設計

（1）調査地域　東京都全域

（2）調査対象　小学3年生、小学5年生、中学2年生、17 歳の子供とその保護者、
3歳児の保護者

※ 対象となる子供の学年は令和 8 年 4 月 1 日時点を基準とする。17 歳の子供は平成 21 年 4 月 2 日から平成 22 年 4 月 1 日までに生まれた子供（高校 2 年生相当）、3 歳児は令和 5 年 4 月 2 日から令和 6 年 4 月 1 日までに生まれた子供を対象としている。

（3）標本サイズ　10,500 世帯（計 19,500 人）

（4）抽出方法　住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

※ 層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって都内をブロックに分類し（層化）、各層で抽出地点を抽出（一段目）し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して、地点ごとに一定数のサンプル抽出（二段目）を行うものである。

（5）調査方法　郵送法（郵送配布、郵送回収・WEB（インターネット）回答併用）

（6）調査時期　令和8年5月8日（金曜日）から令和8年6月1日（月曜日）まで

4. 検討会議

子供に精通した学識経験者等（外部委員）及び子供政策連携室職員（内部委員）により構成された「令和8年子供に関する定点調査『とうきょう こども アンケート』検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置した。

検討会議委員の意見を踏まえ、調査票を設計し、具体的な調査方法等を決定した。

なお、検討会議委員（外部委員）は以下のとおりである。

池本 美香（株式会社日本総合研究所 上席主任研究員）
土屋 隆裕（横浜市立大学教授）
西田 淳志（公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター長）
松原 康雄（明治学院大学名誉教授）
森田 明美（東洋大学名誉教授）
渡辺 由美子（特定非営利活動法人キッズドア理事長）

（五十音順・敬称略）

5. 調査機関

株式会社日本リサーチセンター

6. 各調査対象の設問数

	子供	保護者
3歳児		46 問
小学3年生	39 問	51 問
小学5年生	39 問	51 問
中学2年生	46 問	51 問
17 歳	47 問	51 問

7. 回収結果

調査対象		発送数(A)	総回収数 (B)			回収率 (B／A)
				郵送回収	WEB 回収	
子供	小学3年生	2,050	1,017	516	501	49.6%
	小学5年生	1,900	948	495	453	49.9%
	中学2年生	2,150	961	382	579	44.7%
	17 歳	2,900	1,046	249	797	36.1%
	子供計	**9,000**	**3,972**	**1,642**	**2,330**	**44.1%**
保護者	3歳児	1,500	935	206	729	62.3%
	小学3年生	2,050	983	464	519	48.0%
	小学5年生	1,900	880	420	460	46.3%
	中学2年生	2,150	894	340	554	41.6%
	17 歳	2,900	984	283	701	33.9%
	保護者計	**10,500**	**4,676**	**1,713**	**2,963**	**44.5%**
合　　計		**19,500**	**8,648**	**3,355**	**5,293**	**44.3%**

標本抽出方法

調査対象 ： 東京都内の区市町村に居住する、小学3年生、小学5年生、中学2年生、
17 歳の子供とその保護者、3歳児の保護者

標本ｻｲｽﾞ ： 10,500 世帯（計 19,500 人）

地 点 数 ： 200 地点

抽出方法 ： 層化二段無作為抽出法

【層化】

都内を次の 7 ブロックに分類した。

地域名	該当区市町村名
①センターコア	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・渋谷区・豊島区・荒川区
②区部東部・北部	北区・板橋区・足立区・葛飾区・江戸川区
③区部西部・南部	品川区・目黒区・大田区・世田谷区・中野区・杉並区・練馬区
④多摩東部	武蔵野市・三鷹市・調布市・小金井市・小平市・東村山市・国分寺市・狛江市・清瀬市・東久留米市・西東京市
⑤多摩中央部北	立川市・昭島市・福生市・東大和市・武蔵村山市・羽村市・瑞穂町
⑥多摩中央部南	八王子市・府中市・町田市・日野市・国立市・多摩市・稲城市
⑦多摩西部・島しょ	青梅市・あきる野市・日の出町・檜原村・奥多摩町・大島町・利島村・新島村・神津島村・三宅村・御蔵島村・八丈町・青ヶ島村・小笠原村

標本サイズの配分

各地域別の層による各学年の人口（令和7年1月時点）に対して、10, 500 の標本を比例配分した。

抽出

１． 令和2年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。

２． 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{調査区における 19 歳以下の人口の合計}}{\text{地域に配分した調査地点数}} = \text{抽出間隔}\right]$$

を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。

３． 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、令和2年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

４． 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・各学年の世帯数・標本サイズ・調査地点数は、次のとおりである。

属性／地域	3歳児	小学3年生	小学5年生	中学2年生	17 歳	合計
①センターコア	18,821	20,907	20,014	18,728	17,521	95,991
	317	403	360	382	491	1,953
	38					
②区部東部・北部	16,396	19,749	20,259	20,332	20,759	97,495
	276	381	365	415	581	2,018
	38					
③区部西部・南部	26,043	30,075	29,576	29,407	28,080	143,181
	439	579	533	600	786	2,937
	56					
④多摩東部	11,600	14,384	14,161	13,950	13,804	67,899
	196	277	255	285	386	1,399
	27					
⑤多摩中央部北	3,831	4,917	4,941	5,123	5,148	23,960
	65	95	89	105	144	498
	9					
⑥多摩中央部南	10,886	14,499	14,581	15,656	15,959	71,581
	183	279	263	320	447	1,492
	28					
⑦多摩西部・島しょ	1,428	1,873	1,973	2,102	2,321	9,697
	24	36	35	43	65	203
	4					
合　計	89,005	106,404	105,505	105,298	103,592	509,804
	1,500	2,050	1,900	2,150	2,900	10,500
	200					

（注）上段は各学年の人口（令和7年1月時点）、中段は標本サイズ、下段は調査地点数である。

報告書の見方

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

(1)比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。また、小数点以下第2位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は「0.0」、回答者がいなかった選択肢については「－」と表示している。

(2)基数となるべき実数は n として掲載した。その比率は n の件数を 100%として算出した。

(3)1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。

(4)複数の選択肢を合わせた表記の回答割合は、各選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、各選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。

(5)回答の基数が 50 人未満の場合は標本誤差が大きくなるため、原則、本文の分析の対象にしていない。また、5ポイント以上の差異が見られない場合は、解説で当該集計結果に触れていない場合がある。また、派生的設問において、基数が少ない属性が多い場合は、解説を行わない場合がある。

(6)各設問に記載している設問番号及び図表中の選択肢は、特に記載のない限り子供に関しては 17 歳、保護者に関しては 17 歳保護者の質問票の番号である。

(7)原則、**設問・選択肢の表記及び条件分岐が同じ場合**に、経年比較を行っている。

(8)経年比較や男女の差の比較等については、比較の結果、**5%水準で有意かつ5ポイント以上差がついている箇所**を中心に解説している。なお、**11 段階評価の設問の場合は、平均値で比較し、5%水準で有意の箇所**について解説している。

(9)「幸福度」については、子供調査票の問 22(小学3年生、小学5年生)、問 26(中学2年生)、問 27(17 歳)の「B 今の自分は幸せだ」の 11 段階評価を3段階に区分し、**8～10 を「幸福度高(8～10)」、4～7を「幸福度中(4～7)」、0～3を「幸福度低(0～3)」と便宜的に区分**している。

(10)自由記述は、一部の回答者のコメントを掲載している。また、原則として原文のまま掲載することとしているが、商品名・サービス名については最小限の範囲において一般的な名称に書き換えを行っている。

Ⅱ. 調査結果

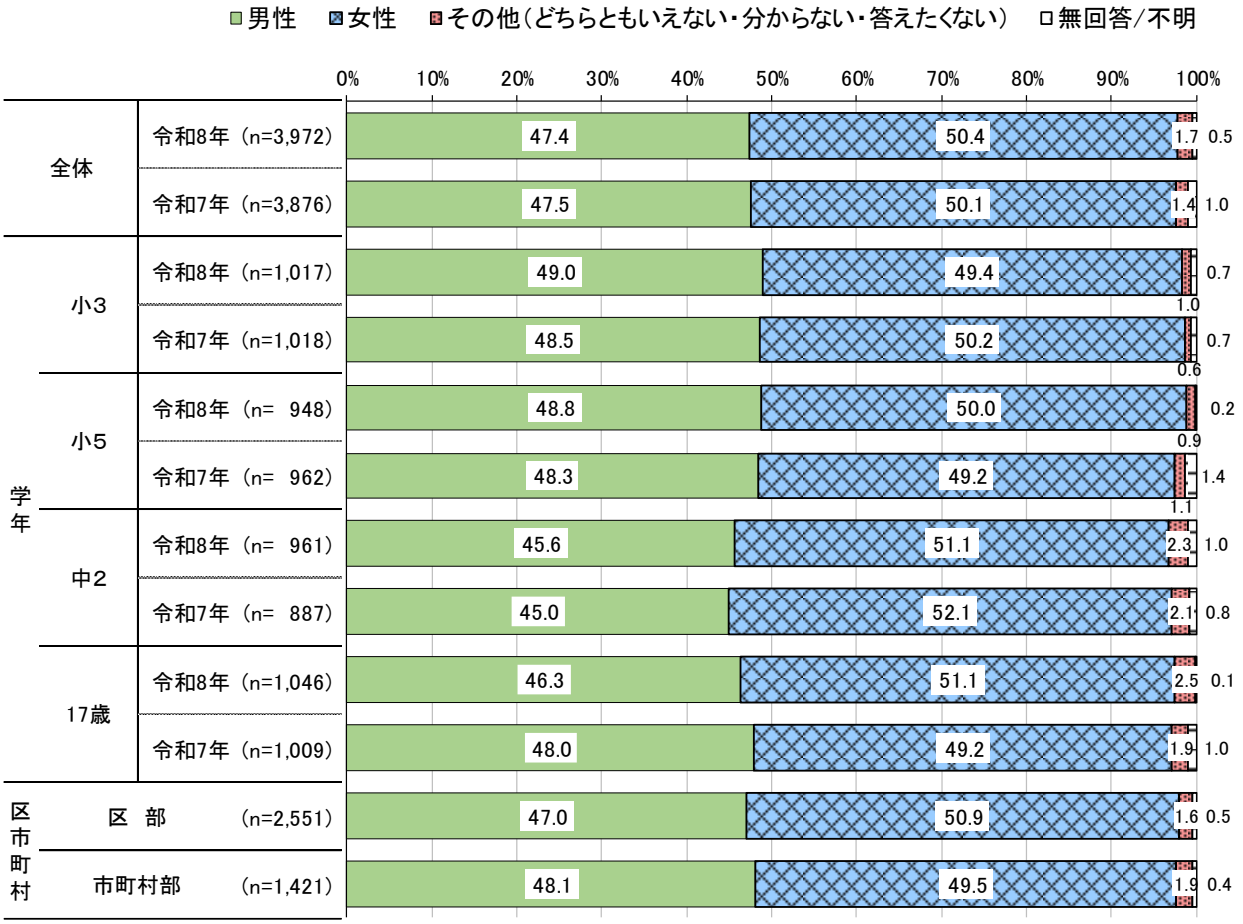
1. 子供編

（子供：共通）問1. あなたの性別は何ですか。（1つだけ）

【全体】

「男性」が 47.4%、「女性」が 50.4%、「その他、（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」が 1.7%である。

図表 1-1 性別 ＜単一回答＞



（子供：共通）問2. あなたの住んでいる区市町村はどこですか。（1つだけ）

図表 1-2 区市町村 ＜単一回答＞※五十音順

		回答者数（人）	割合（%）
回答者数		3,972	100.0
あなたの住んでいる区市町村はどこですか	青ヶ島村	－	－
	昭島市	36	0.9
	あきる野市	20	0.5
	足立区	180	4.5
	荒川区	49	1.2
	板橋区	178	4.5
	稲城市	27	0.7
	江戸川区	194	4.9
	青梅市	28	0.7
	大島町	12	0.3
	大田区	212	5.3
	小笠原村	－	－
	奥多摩町	－	－
	葛飾区	116	2.9
	北区	86	2.2
	清瀬市	18	0.5
	国立市	20	0.5
	神津島村	－	－
	江東区	133	3.3
	小金井市	39	1.0
	国分寺市	45	1.1
	小平市	63	1.6
	狛江市	23	0.6
	品川区	125	3.1
	渋谷区	60	1.5
	新宿区	95	2.4
	杉並区	172	4.3
	墨田区	56	1.4
	世田谷区	206	5.2
	台東区	37	0.9
	立川市	48	1.2

		回答者数（人）	割合（%）
あなたの住んでいる区市町村はどこですか	多摩市	47	1.2
	中央区	38	1.0
	調布市	82	2.1
	千代田区	18	0.5
	豊島区	50	1.3
	利島村	－	－
	中野区	87	2.2
	新島村	－	－
	西東京市	54	1.4
	練馬区	256	6.4
	八王子市	187	4.7
	八丈町	1	0.0
	羽村市	18	0.5
	東久留米市	50	1.3
	東村山市	57	1.4
	東大和市	18	0.5
	日野市	92	2.3
	日の出町	－	－
	檜原村	－	－
	府中市	116	2.9
	福生市	27	0.7
	文京区	84	2.1
	町田市	124	3.1
	御蔵島村	－	－
	瑞穂町	22	0.6
	三鷹市	69	1.7
	港区	61	1.5
	三宅村	－	－
	武蔵野市	63	1.6
	武蔵村山市	15	0.4
	目黒区	58	1.5

（子供：共通）問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（A　私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある）

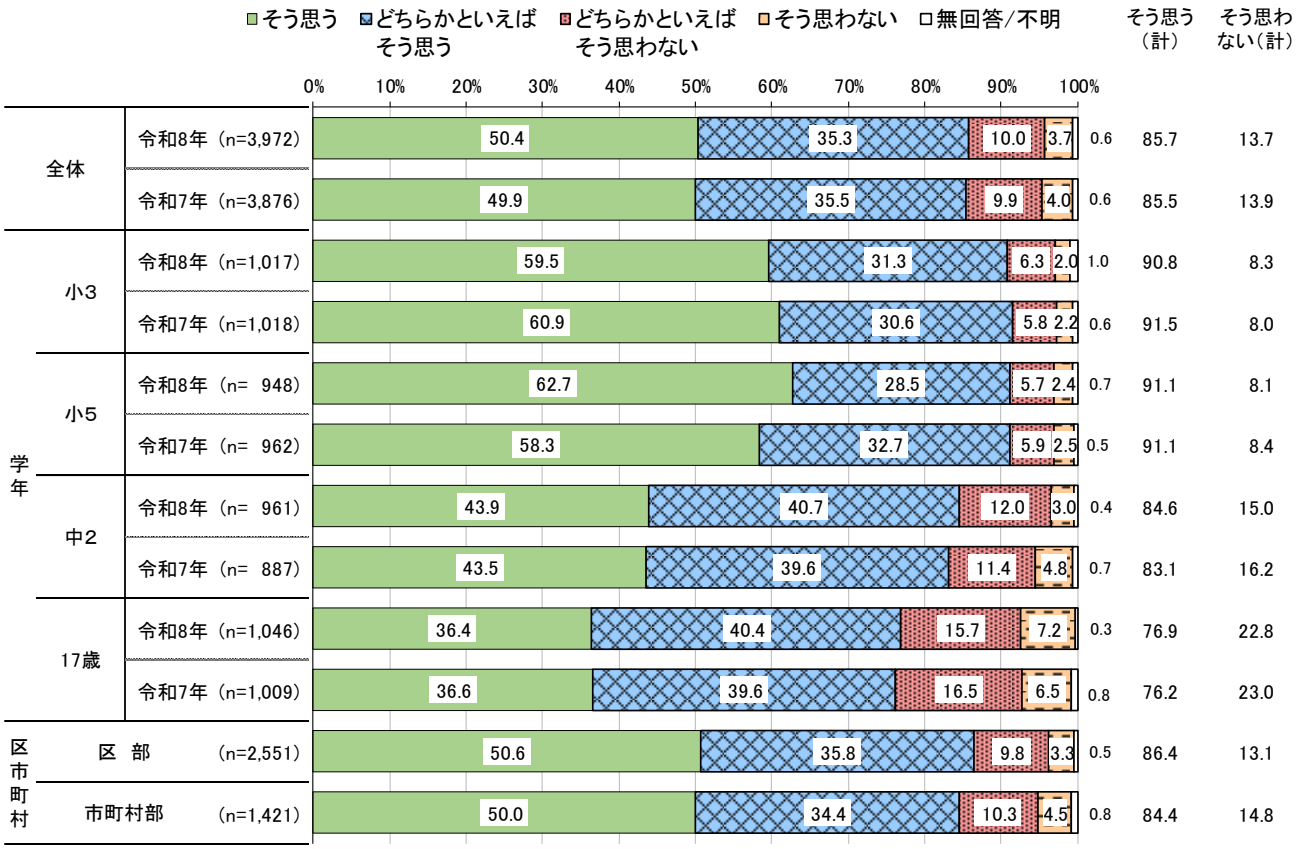
【全体】

「私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」とする子供は 85.7%（「そう思う」が 50.4%＋「どちらかといえばそう思う」が 35.3%）である。

【学年別】

「私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、91.1%である。

図表 1-3　A 私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある ＜単一回答＞

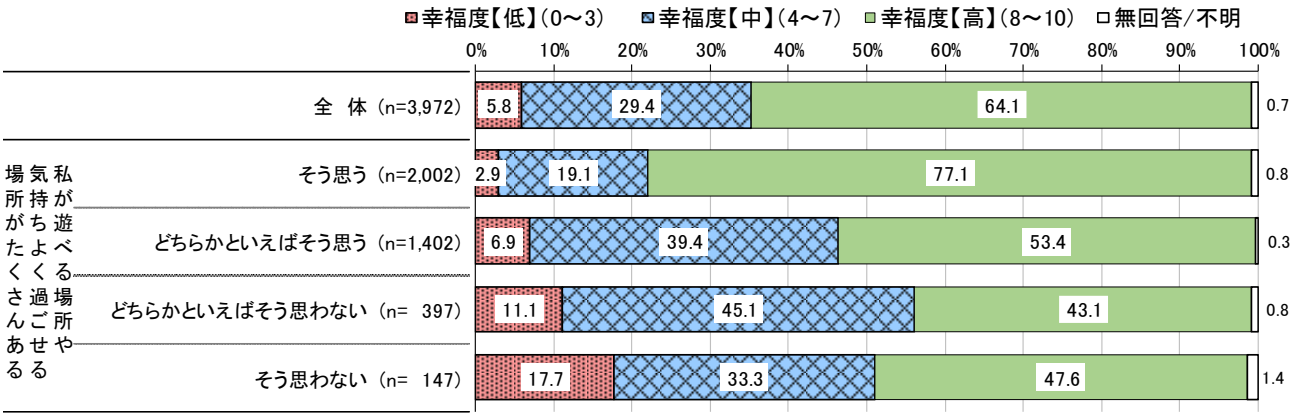


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 77.1%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 47.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-4　子供の幸福度(「私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」の回答別)



（子供：共通）問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（B　私が困っていたら近所の人が助けてくれる）

【全体】

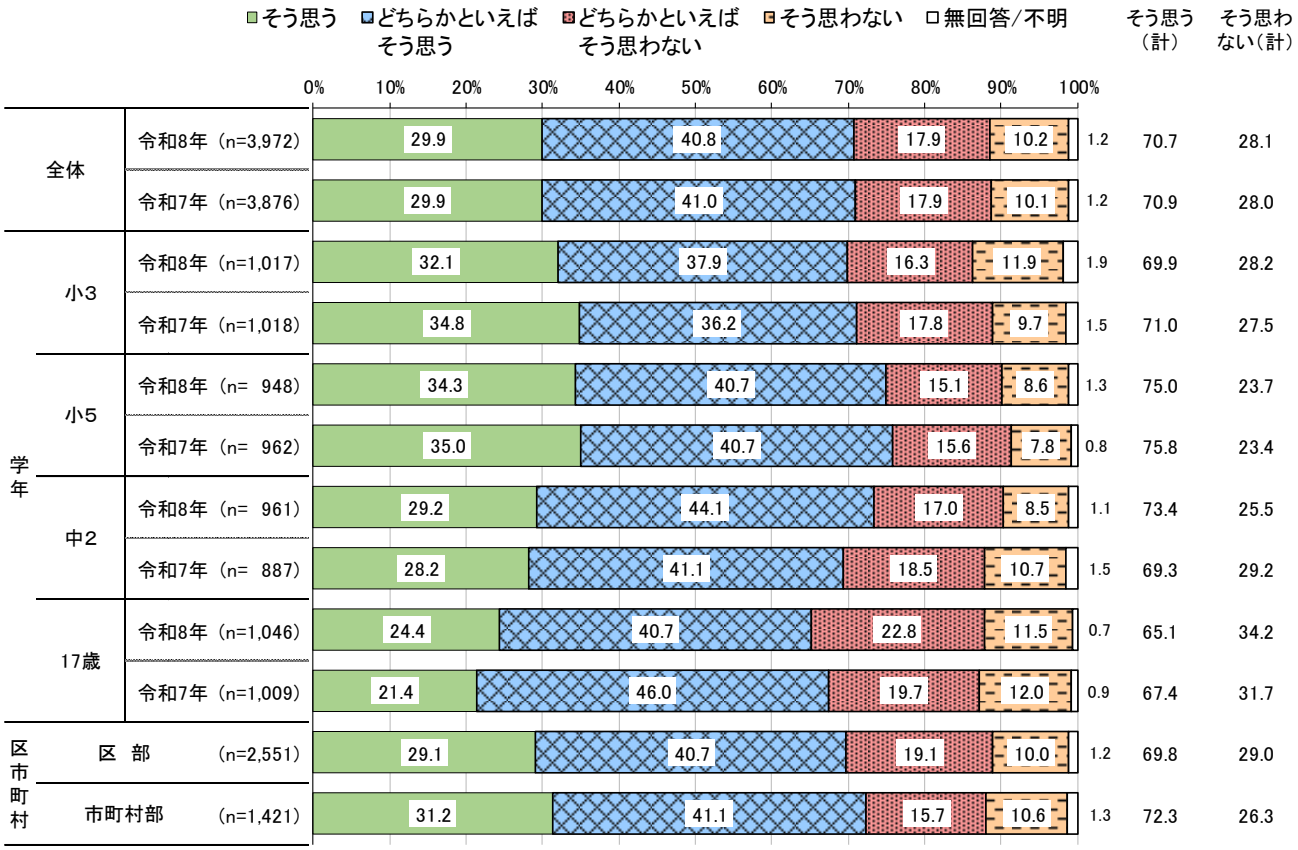
「私が困っていたら近所の人が助けてくれる」とする子供は 70.7%（「そう思う」が 29.9%＋「どちらかといえばそう思う」が 40.8%）である。

【学年別】

「私が困っていたら近所の人が助けてくれる」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、75.0%である。

経年比較でみると、17 歳で「どちらかといえばそう思う」が 5.3 ポイント減少している。

図表 1-5　B 私が困っていたら近所の人が助けてくれる ＜単一回答＞

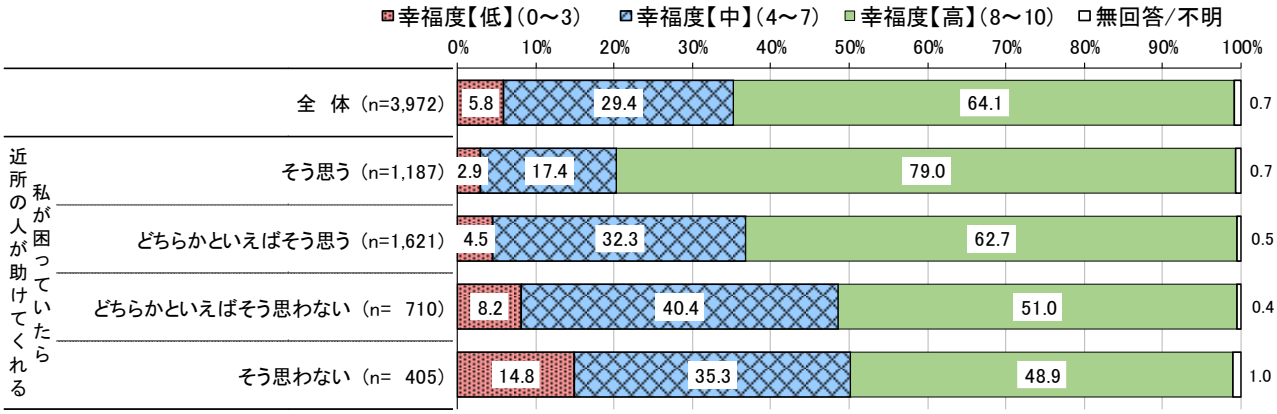


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「私が困っていたら近所の人が助けてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の79.0%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 48.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-6　子供の幸福度(「私が困っていたら近所の人が助けてくれる」の回答別)



（子供：共通）問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（C　近所の大人たちは私にやさしい）

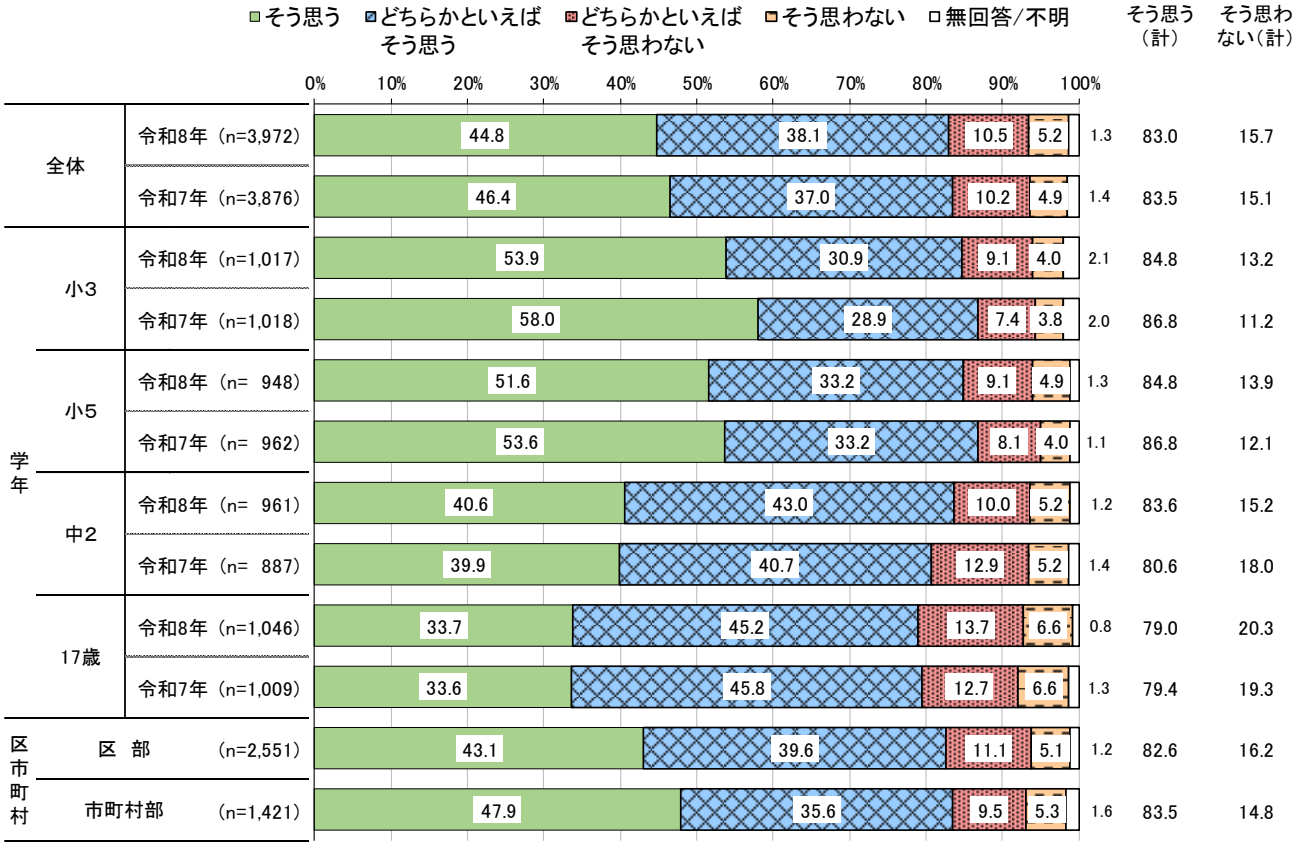
【全体】

「近所の大人たちは私にやさしい」とする子供は 83.0%（「そう思う」が 44.8%＋「どちらかといえばそう思う」が 38.1%）である。

【学年別】

「近所の大人たちは私にやさしい」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小3、小5で最も高く、84.8%である。

図表 1-7　C 近所の大人たちは私にやさしい ＜単一回答＞

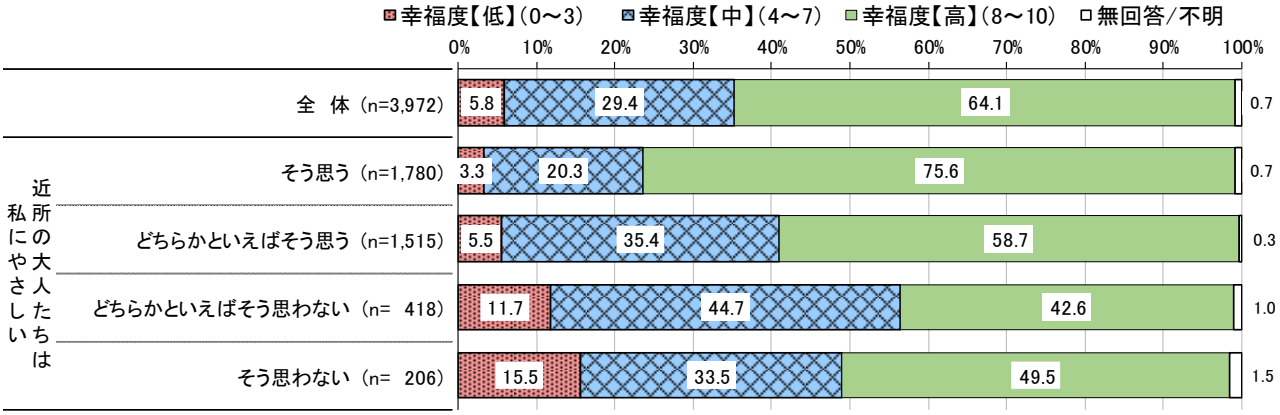


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「近所の大人たちは私にやさしい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 75.6%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 49.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-8　子供の幸福度(「近所の大人たちは私にやさしい」の回答別)



（子供：共通）問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（D　大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる）

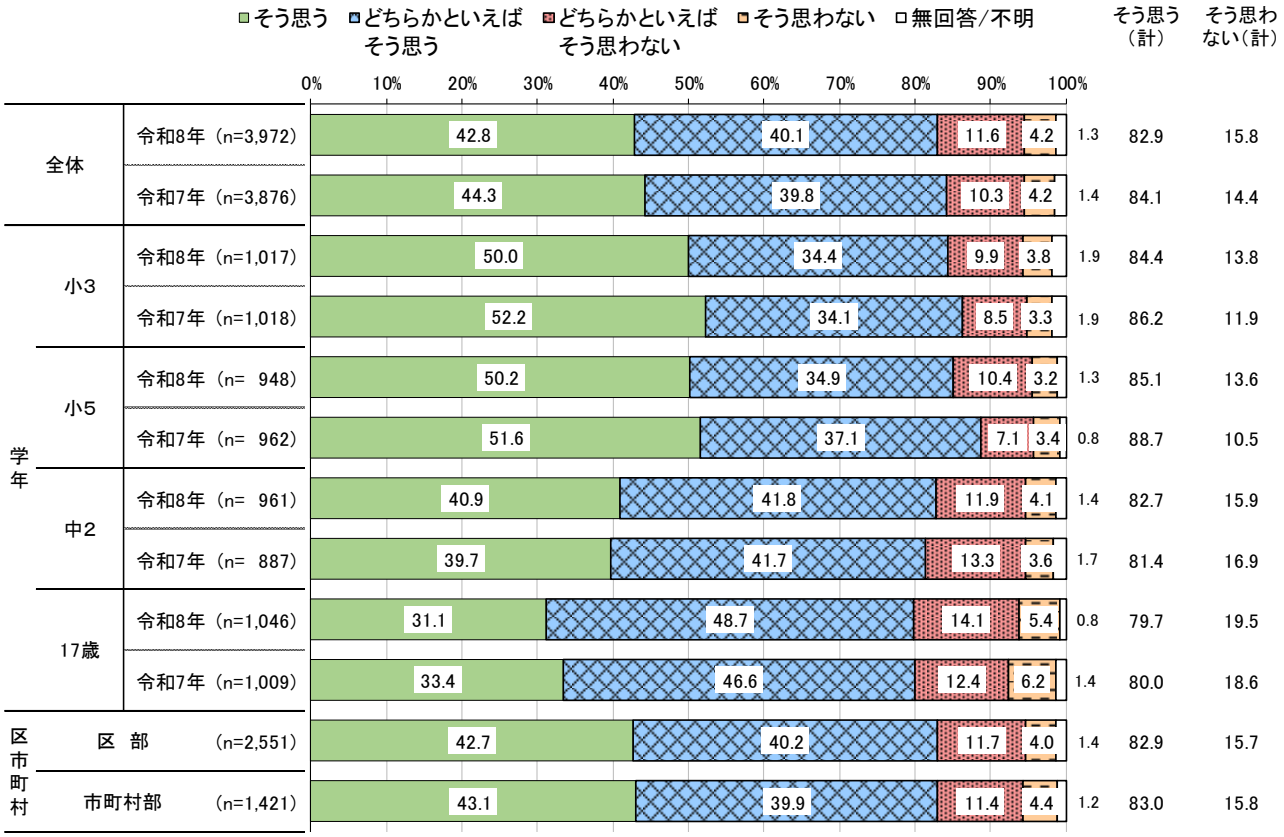
【全体】

「大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる」とする子供は 82.9%（「そう思う」が 42.8%＋「どちらかといえばそう思う」が 40.1%）である。

【学年別】

「大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、85.1%である。

図表 1-9　D 大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる ＜単一回答＞

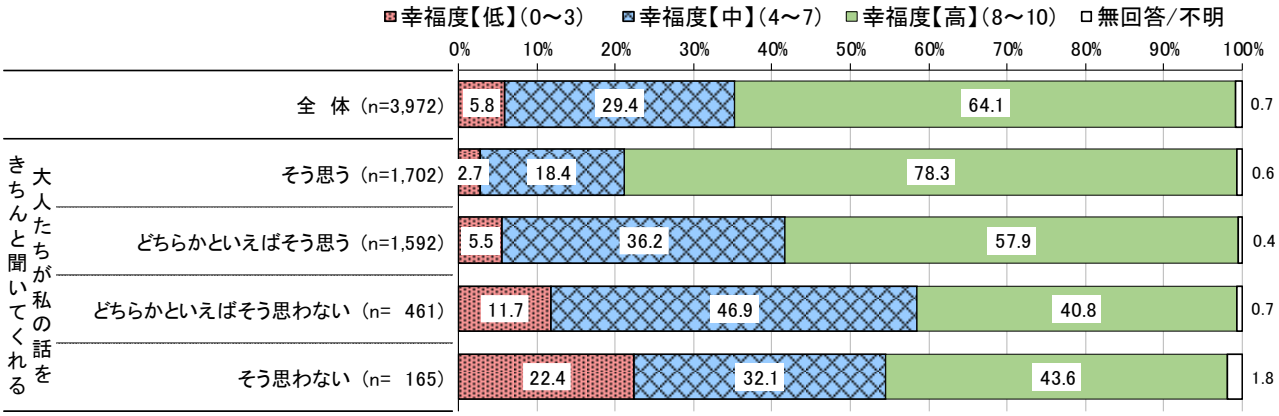


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の78.3%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 43.6%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「そう思わない」と回答した子供の 22.4%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-10　子供の幸福度(「大人たちが私の話をきちんと聞いてくれる」の回答別)



（子供：共通）問3．あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（E　子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる）

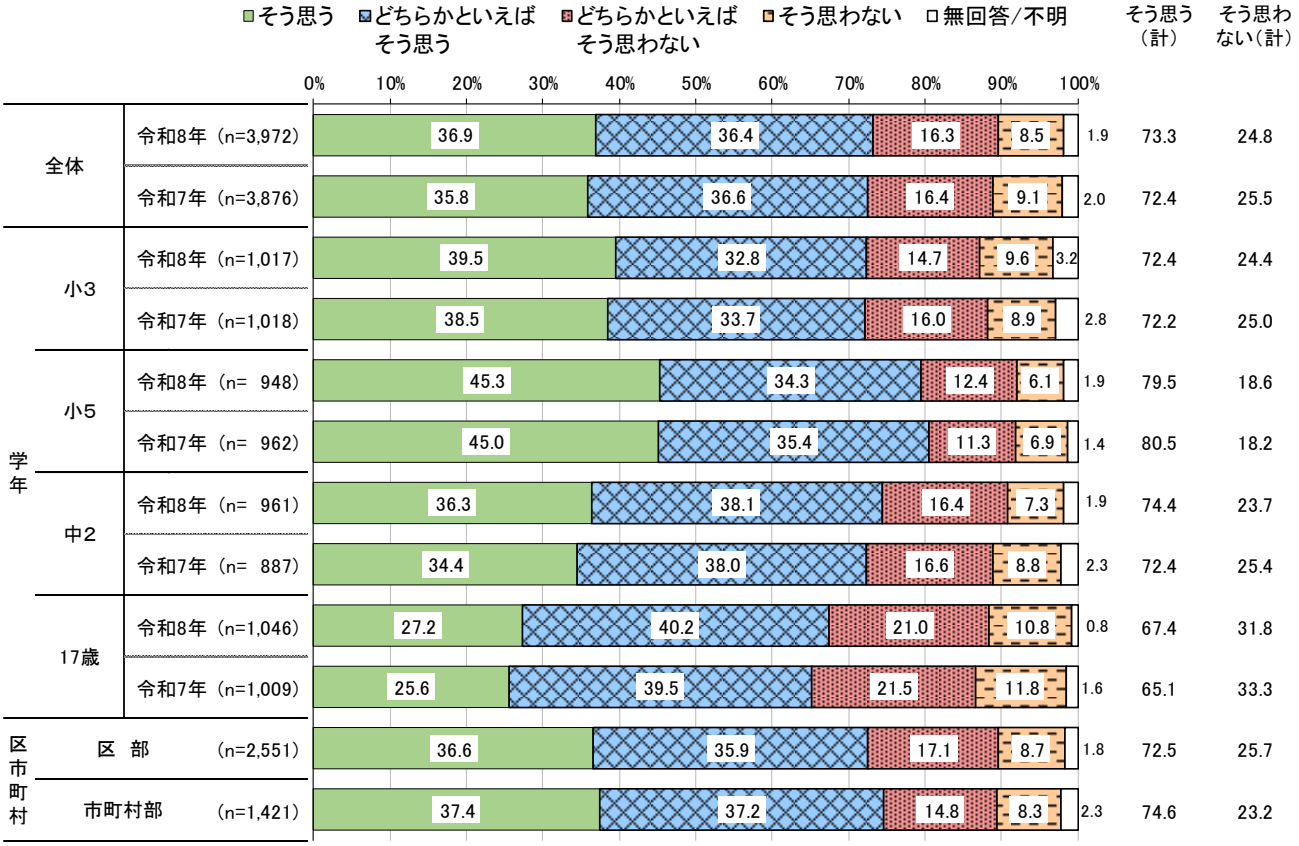
【全体】

「子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる」とする子供は 73.3%（「そう思う」が 36.9%＋「どちらかといえばそう思う」が 36.4%）である。

【学年別】

「子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、79.5%である。

図表 1-11　E　子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる　＜単一回答＞

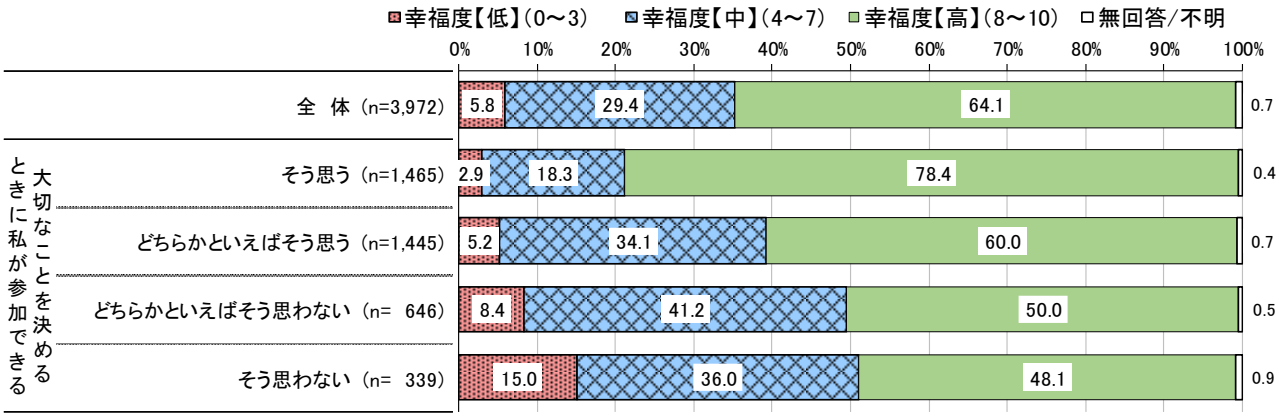


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 78.4%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 48.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-12　子供の幸福度(「子供にとって大切なことを決めるときに私が参加できる」の回答別)



（子供：共通）問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（F　近所の人たち同士がお互いに助け合っている）

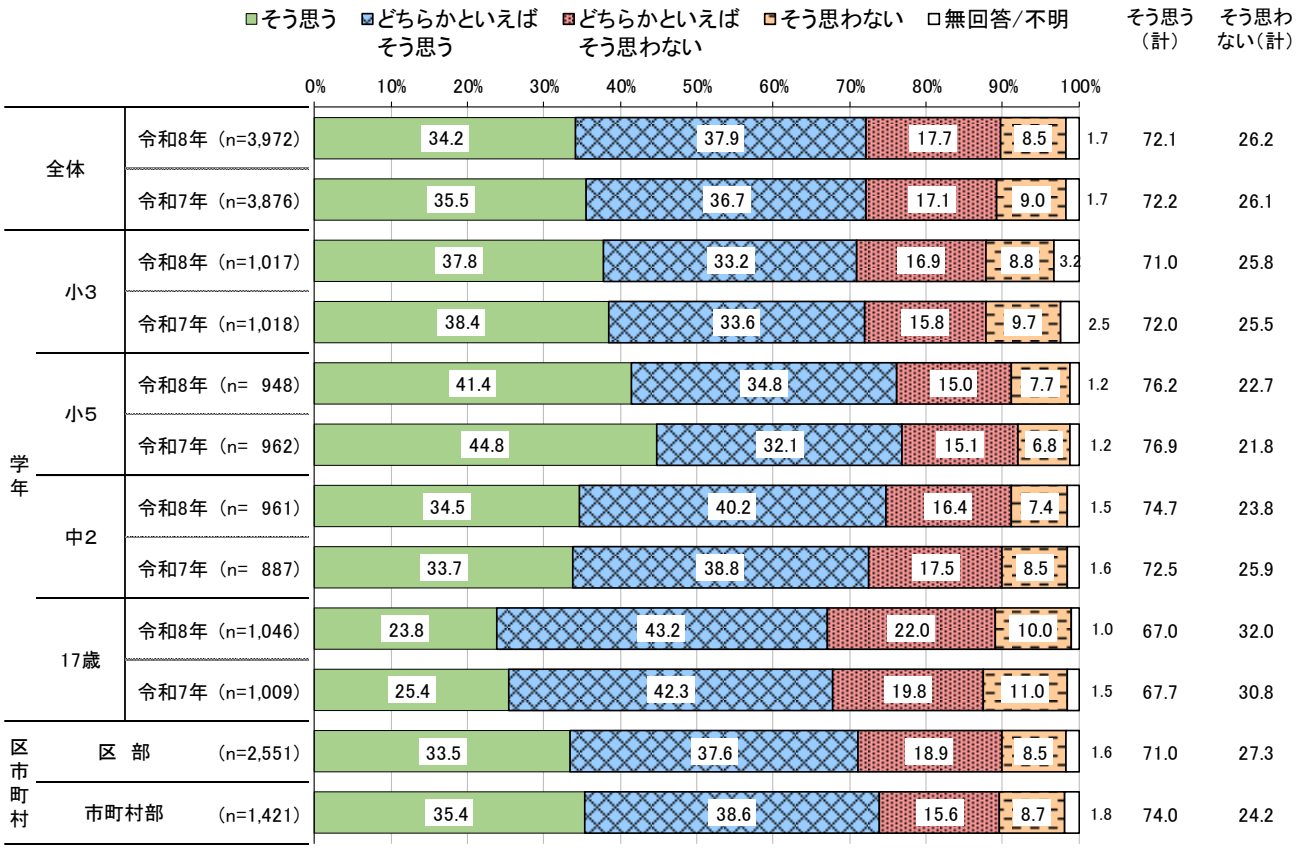
【全体】

「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」とする子供は 72.1%（「そう思う」が 34.2%＋「どちらかといえばそう思う」が 37.9%）である。

【学年別】

「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、76.2%である。

図表 1-13　F　近所の人たち同士がお互いに助け合っている　＜単一回答＞

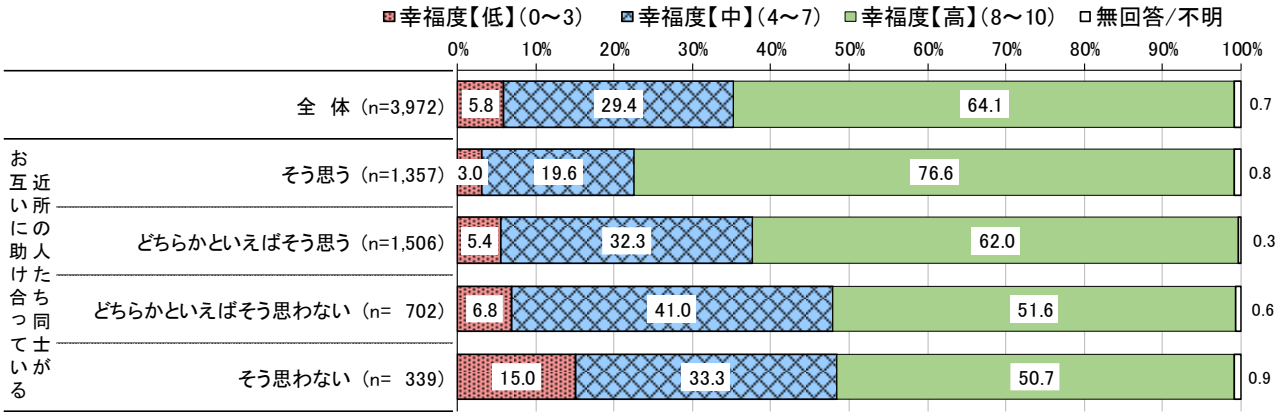


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の76.6%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 50.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-14　子供の幸福度(「近所の人たち同士がお互いに助け合っている」の回答別)



（子供：共通）問4．あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。（いくつでも）

【全体】

「YouTube や SNS、その他のインターネット情報を見る」が 75.2％で最も高く、次いで「テレビを見る」が 58.3％、「DVD や動画配信サービス（Netflix や Amazon プライム・ビデオなど）、録画番組を見る」が 52.9％と続く。

【学年別】

「YouTube や SNS、その他のインターネット情報を見る」は、学年が上がると増加傾向であり、17 歳では 89.8％である。

経年比較でみると、中2で「テレビを見る」が 6.3 ポイント、「公園で遊ぶ」が 5.7 ポイント、「スポーツや体を動かして遊ぶ」と「友達とおしゃべりするなどして遊ぶ」が 5.0 ポイント、それぞれ増加している。

図表 1-15 普段、放課後や休みの日に遊んでいること ＜複数回答＞

(%)

			n	マンガや本を読む	テレビを見る	DVDや動画配信サービス（NetflixやAmazonプライム・ビデオなど）、録画番組を見る	YouTubeやSNS、その他のインターネット情報を見る	オンラインゲームで遊ぶ	家庭用ゲーム機やボードゲーム・カードゲームなどインターネットを使わないゲーム、おもちゃで遊ぶ	スポーツや体を動かして遊ぶ
全体		令和8年	3,972	45.7	58.3	52.9	75.2	41.3	38.1	46.6
		令和7年	3,876	45.6	56.0	51.3	73.5	38.0	37.5	45.7
学年	小3	令和8年	1,017	46.5	64.4	48.9	59.2	25.7	60.5	54.1
		令和7年	1,018	47.2	63.9	49.1	57.8	23.9	62.0	57.4
	小5	令和8年	948	47.8	66.7	48.3	66.1	40.8	46.0	52.6
		令和7年	962	49.1	66.2	47.5	65.0	38.1	45.0	52.4
	中2	令和8年	961	47.6	60.9	58.0	85.1	50.3	28.9	46.6
		令和7年	887	46.3	54.6	53.1	85.5	46.4	25.1	41.6
	17歳	令和8年	1,046	41.5	42.4	56.3	89.8	48.9	17.7	33.7
		令和7年	1,009	40.1	39.4	55.4	86.9	44.6	16.7	31.2
区市町村	区部		2,551	45.4	58.1	53.4	75.5	42.7	38.8	46.0
	市町村部		1,421	46.4	58.6	52.0	74.6	38.9	36.9	47.5

			公園で遊ぶ	友達とおしゃべりするなどして遊ぶ	その他	遊んでいない	無回答/不明	遊んでいる（計）
全体		令和8年	39.1	49.2	9.8	0.3	0.2	99.5
		令和7年	39.0	47.4	9.6	0.5	0.4	99.0
学年	小3	令和8年	63.4	44.6	10.6	－	0.5	99.5
		令和7年	64.3	44.3	9.3	0.3	0.3	99.4
	小5	令和8年	59.5	47.4	9.4	0.1	0.1	99.8
		令和7年	59.8	46.5	10.1	0.4	0.4	99.2
	中2	令和8年	26.8	52.8	10.9	0.2	0.1	99.7
		令和7年	21.1	47.8	8.8	0.1	0.6	99.3
	17歳	令和8年	8.2	52.0	8.3	0.9	0.1	99.0
		令和7年	9.4	51.1	10.0	1.2	0.5	98.3
区市町村	区部		40.4	49.7	10.8	0.2	0.2	99.6
	市町村部		36.8	48.3	8.0	0.4	0.3	99.3

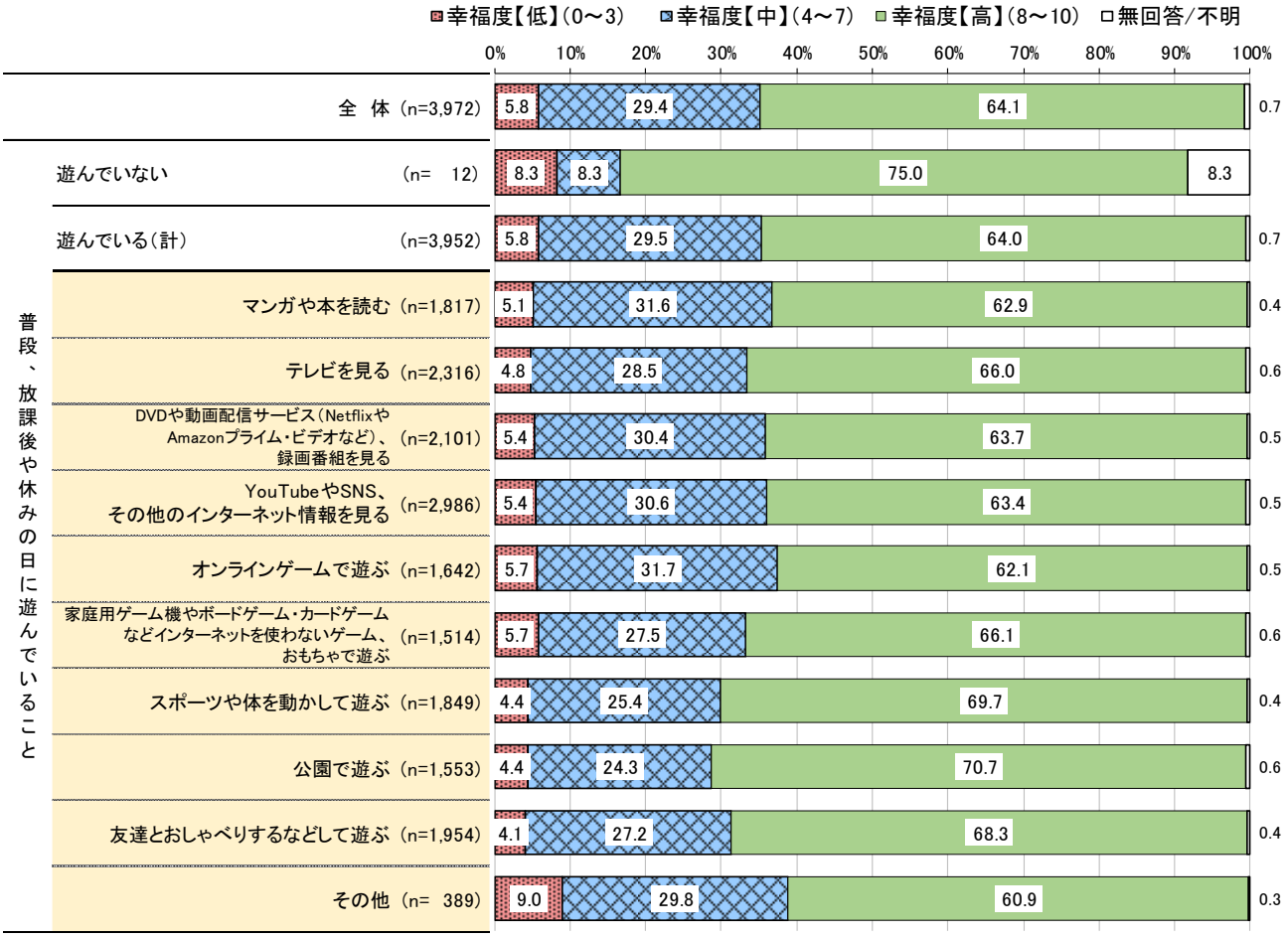
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※遊んでいる（計）は「マンガや本を読む」～「友達とおしゃべりするなどして遊ぶ」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「普段、放課後や休みの日に遊んでいること」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「遊んでいる(計)」と回答した子供の 64.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-16　子供の幸福度(「普段、放課後や休みの日に遊んでいること」の回答別)



【自由記述】

その他（普段、放課後や休みの日に遊んでいること）
宿題（子供・小3）
習い事（子供・小3）
学童に行く（子供・小3）
児童館（子供・小3）
放課後デイサービスに行っている（子供・小3）
弟とあそぶ。（子供・小3）
お絵描き（子供・小3）
タイピングをするか、漫画を書く（子供・小3）
お出かけ（子供・小3）
勉強（子供・小5）
じゅく（子供・小5）
家でならいごとのれんしゅうをしてる（子供・小5）
校庭開放で遊ぶ（子供・小5）
学校のオーケストラ（子供・小5）
絵をかく（子供・小5）
買い物（子供・小5）
勉強（子供・中2）
家族と出かける（子供・中2）
メダカの飼育（子供・中2）
部活や自主練（子供・中2）
絵を描く、推しの尊さについて語っている（子供・中2）
ギター（子供・中2）
絵を描く（子供・中2）
編み物（子供・中2）
作曲（子供・中2）
買い物（子供・中2）
カラオケに行く（子供・中2）
勉強しながらはなす（友達と）（子供・中2）
勉強（子供・17 歳）
音楽をする、楽器（子供・17 歳）
カラオケ、ご飯を食べる、プリクラをとる（子供・17 歳）
ショッピングモールへ行く（子供・17 歳）
コスプレ（子供・17 歳）
AI と話す（子供・17 歳）
バイト、部活（子供・17 歳）

（子供：共通）問5. あなたが安心して遊べる場所はどこですか。（いくつでも）

【全体】

「自宅（自分の家）」が 94.4％で最も高く、次いで「公園」が 50.8％、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」が 48.9％と続く。なお、何らか「安心して遊べる場所がある（計）」は 99.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「自宅（自分の家）」が最も高い。「学校の校庭・グラウンド」は、学年が上がると減少傾向である。一方、「インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）」は、学年が上がると増加傾向で、17 歳では 37.7％である。

経年比較でみると、中2で「公園」が 5.0 ポイント増加している。一方、小3で「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」が 5.3 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部では「図書館」が 29.4％で、市町村部に比べて 7.0 ポイント高い。

図表 1-17 安心して遊べる場所 ＜複数回答＞

(%)

			n	自宅（自分の家）	友達の家	祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家	学校の校庭・グラウンド	公園	児童館	図書館
全　体		令和8年	3,972	94.4	43.6	48.9	40.3	50.8	24.5	26.9
		令和7年	3,876	95.0	44.0	50.7	41.7	50.0	24.5	28.4
学年	小3	令和8年	1,017	96.5	41.1	59.1	54.4	61.9	33.0	35.1
		令和7年	1,018	97.0	41.3	64.4	57.0	61.8	33.5	39.0
	小5	令和8年	948	96.2	50.5	63.3	53.9	64.7	36.9	32.8
		令和7年	962	96.3	50.2	63.3	54.8	62.7	35.0	34.4
	中2	令和8年	961	92.5	47.8	45.6	32.9	49.8	22.1	23.4
		令和7年	887	93.1	47.6	42.1	30.0	44.8	20.9	21.8
	17歳	令和8年	1,046	92.4	35.9	28.9	21.0	28.4	7.3	16.8
		令和7年	1,009	93.5	37.9	32.5	24.0	30.5	8.6	17.8
区市町村	区　部		2,551	94.1	43.8	49.1	40.7	52.0	25.4	29.4
	市町村部		1,421	94.9	43.2	48.4	39.6	48.8	23.0	22.4

			プレーパーク・冒険遊び場	地域にある広場・空き地	近所の路上	ショッピングモール	娯楽施設（映画館・カラオケ・ゲームセンター・ボウリング場など）	インターネット空間（SNS・YouTube・オンラインゲームなど）	その他	安心して遊べる場所はない
全　体		令和8年	10.0	10.5	7.5	24.2	37.1	26.4	2.0	0.5
		令和7年	10.2	10.4	8.4	23.6	34.6	25.3	2.1	0.2
学年	小3	令和8年	13.4	8.8	6.5	13.9	26.0	13.2	2.2	0.2
		令和7年	13.7	11.0	8.5	13.8	23.0	13.9	2.9	－
	小5	令和8年	12.0	11.3	6.8	16.2	24.2	19.5	1.5	0.2
		令和7年	12.9	12.1	9.6	15.5	23.0	20.1	1.6	0.2
	中2	令和8年	9.7	13.9	10.3	33.9	45.6	34.9	2.2	0.4
		令和7年	9.6	10.4	8.7	33.9	42.8	32.9	2.0	0.3
	17歳	令和8年	5.2	8.1	6.7	32.7	51.9	37.7	2.2	1.0
		令和7年	4.6	8.2	6.9	32.0	50.3	35.1	1.7	0.2
区市町村	区　部		10.5	10.4	7.3	24.4	38.7	27.7	2.1	0.4
	市町村部		9.1	10.6	7.9	23.9	34.2	24.0	1.9	0.6

			無回答／不明	安心して遊べる場所がある（計）
全　体		令和8年	0.2	99.4
		令和7年	0.2	99.6
学年	小3	令和8年	0.3	99.5
		令和7年	－	100.0
	小5	令和8年	0.1	99.7
		令和7年	0.2	99.6
	中2	令和8年	0.1	99.5
		令和7年	0.5	99.2
	17歳	令和8年	0.1	98.9
		令和7年	0.3	99.5
区市町村	区　部		0.1	99.5
	市町村部		0.2	99.2

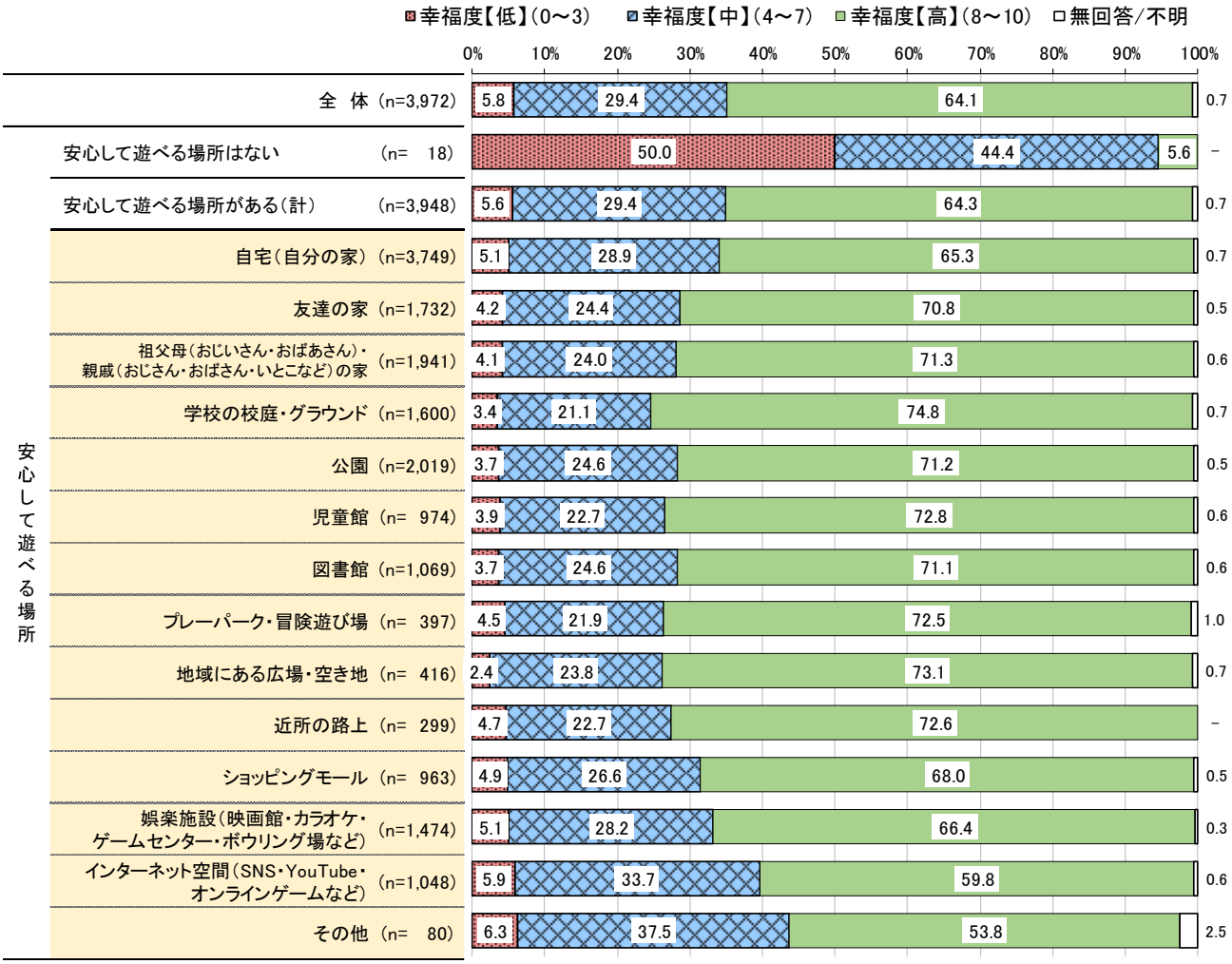
※安心して遊べる場所がある（計）は「自宅」～「インターネット空間（SNS・YouTube・オンラインゲームなど）」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「安心して遊べる場所」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「安心して遊べる場所がある（計）」と回答した子供の 64.3%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-18　子供の幸福度（「安心して遊べる場所」の回答別）



【自由記述】

その他（安心して遊べる場所）
がくどう（子供・小3）
まちとも（子供・小3）
放課後等デイサービス（子供・小3）
区民センター（子供・小3）
習い事のパルクール・ジム（子供・小3）
近所の飲食店（子供・小3）
ひみつきち（子供・小3）
がく童（子供・小5）
新ボップ、放デイ（子供・小5）
社会福祉センター（子供・小5）
学校（子供・小5）
マンションの集会室（子供・小5）
川、水路（子供・小5）
キャンプ場（子供・小5）
駅（子供・小5）
学校（子供・中2）
フリースクール（子供・中2）
体育館（子供・中2）
スポーツセンター（子供・中2）
飲食店（子供・中2）
川沿い（子供・中2）
新大久保（子供・中2）
リサイクルショップ、中古書店（子供・中2）
お布団とアイドル現場（子供・中2）
放課後デイサービス（子供・17 歳）
学校（子供・17 歳）
ジム（子供・17 歳）
飲食店（子供・17 歳）
博物館（子供・17 歳）
有楽町、銀座など（子供・17 歳）
食べ歩きのような目的のない外出（子供・17 歳）
カードショップ・デュエルスペース（子供・17 歳）

（子供：共通）問6. あなたは普段、誰と遊びますか。もっともよく遊ぶ人を選んでください。（1つだけ）

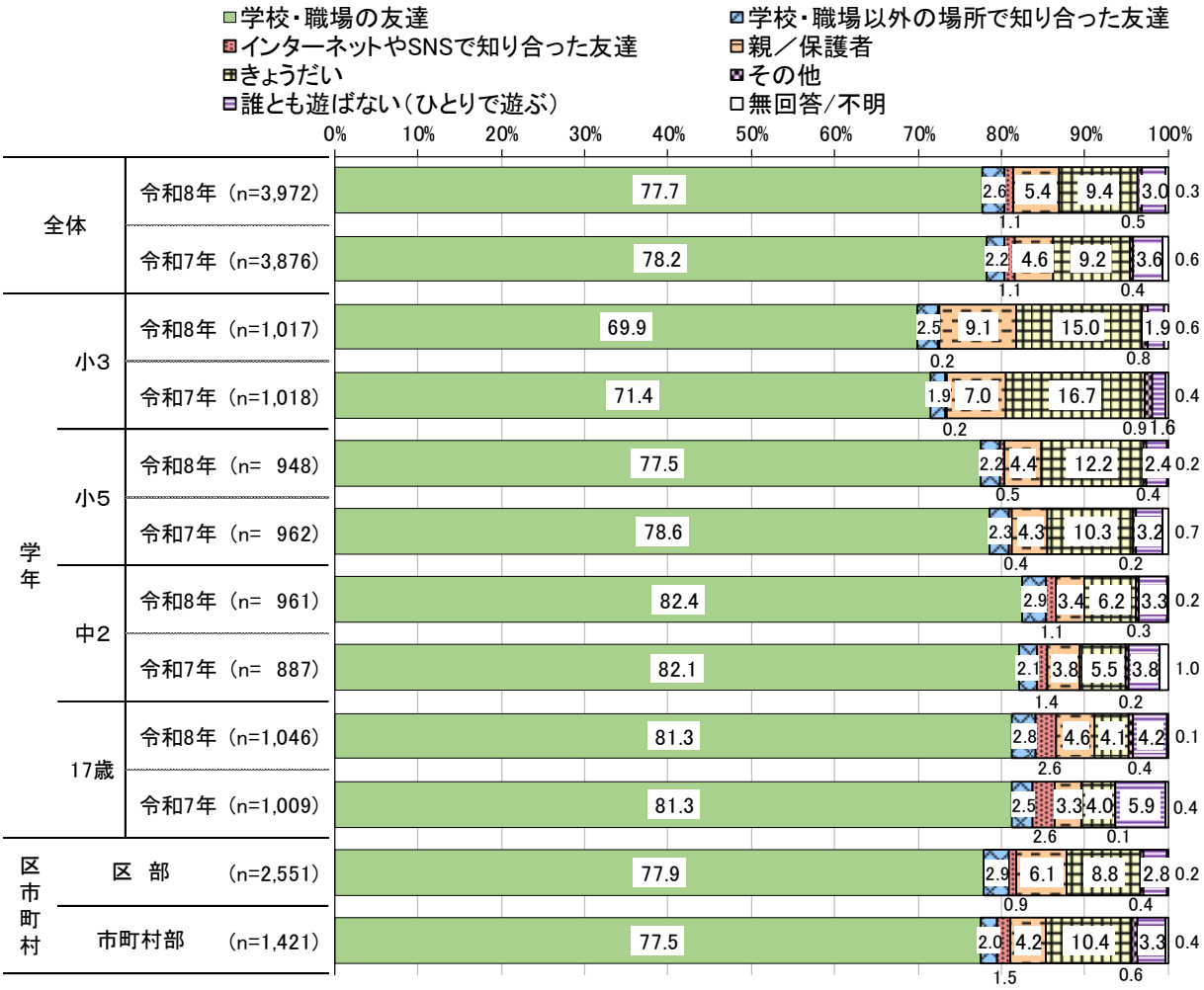
【全体】

「学校・職場の友達」が 77.7％で最も高く、次いで「きょうだい」が 9.4％、「親／保護者」が 5.4％である。「誰とも遊ばない（ひとりで遊ぶ）」は 3.0％である。

【学年別】

いずれの学年でも「学校・職場の友達」が最も高い。「きょうだい」は、学年が上がると減少傾向である。

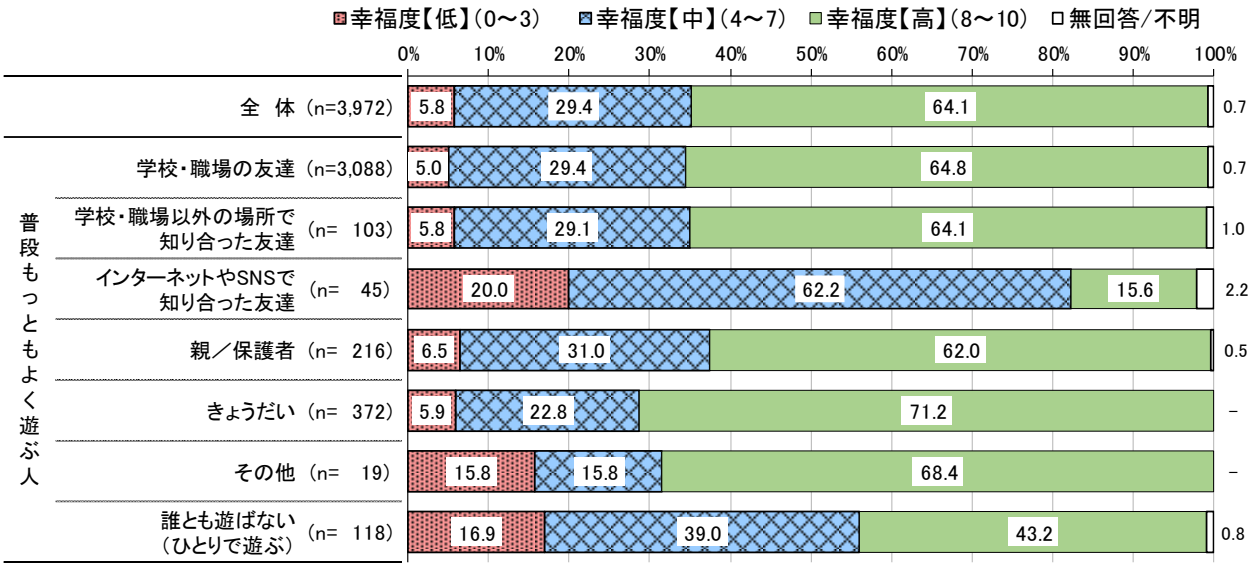
図表 1-19 普段もっともよく遊ぶ人 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「普段もっともよく遊ぶ人」の回答別に子供の幸福度をみると、「きょうだい」と回答した子供の 71.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-20　子供の幸福度(「普段もっともよく遊ぶ人」の回答別)



【自由記述】

その他（普段もっともよく遊ぶ人）
家ぞく全いん（子供・小3）
いとこ（子供・小3）
近じょの子、妹（子供・小3）
ベビーシッター（子供・小3）
従兄弟（子供・小3）
祖父（子供・小5）
家族（きょうだいや親。）（子供・小5）
友達、家ぞく同じくらい（子供・中2）
従兄（子供・中2）
いとこ（子供・17 歳）

（子供：共通）問7. あなたは週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

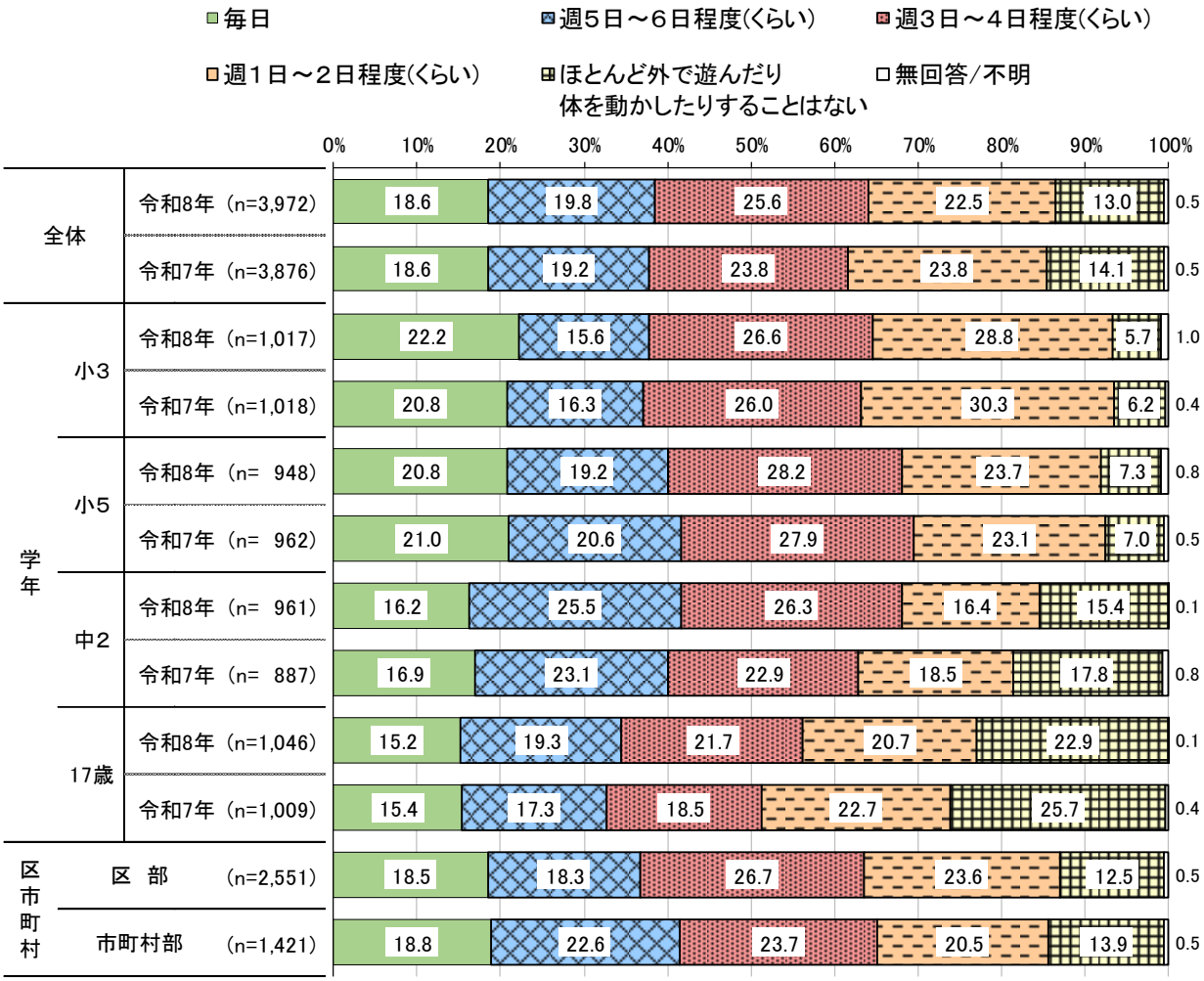
【全体】

「週３日～４日程度」が 25.6%で最も高く、「週１日～２日程度」が 22.5%、「週５日～６日程度」が 19.8%である。

【学年別】

小3では「週１日～２日程度」が 28.8%、小5では「週３日～４日程度」が 28.2%、中2では「週３日～４日程度」が 26.3%、17 歳では「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」が 22.9%で、それぞれ最も高い。「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」は、学年が上がると増加傾向である。

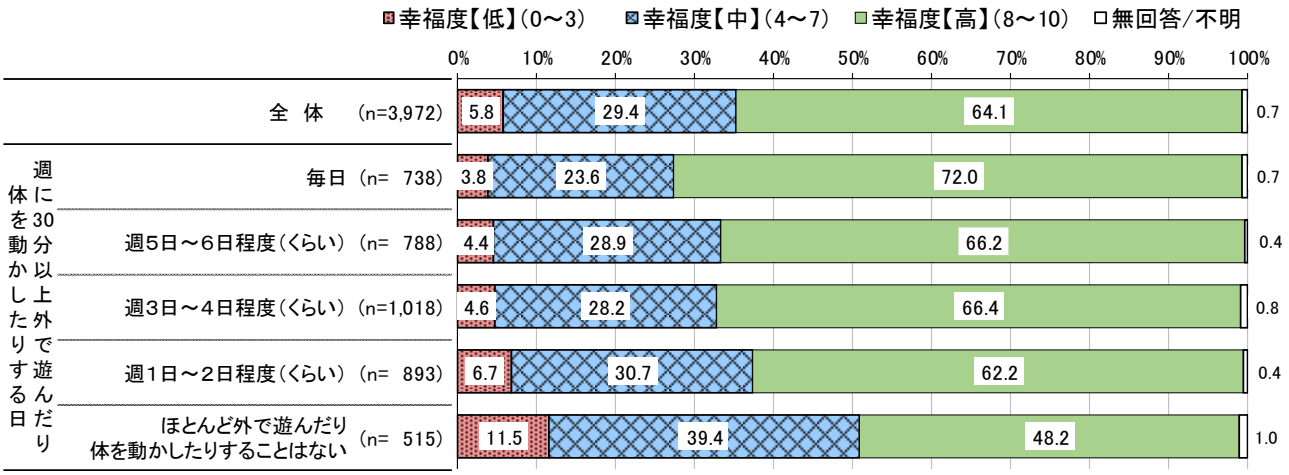
図表 1-21 週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日」の回答別に子供の幸福度をみると、「毎日」と回答した子供の 72.0%が幸福度【高】(8～10)で、「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」と回答した子供の 48.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-22　子供の幸福度(「週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日」の回答別)



（子供：共通）問8. 過去 1 年以内に、あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）で、次のような危険な目にあったことはありますか。（いくつでも）

【全体】

過去1年以内に住む地域で危険な目にあったことの中では、「自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった」が23.3%で最も高く、次いで「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」が 14.4%、「知らない人に声をかけられた」が 11.7%、「知らない人ににらまれた、怒られた」が 11.1%と続く。なお、「危険な目にあったことはない」は 55.0%である。

【学年別】

いずれの学年でも「危険な目にあったことはない」が最も高い。「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」は、学年が上がると増加傾向である。

経年比較でみると、中2で「危険な目にあったことがある（計）」が、5.9 ポイント減少している。

図表 1-23 過去1年以内に住む地域で経験した危険な目 ＜複数回答＞

(%)

		n	車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった	自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった	知らない人に声をかけられた	知らない人ににらまれた、怒られた	知らない人が後ろをついてきた	知らない人に体をさわられた	知らない人から暴力を受けた	知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた
全体	令和8年	3,972	14.4	23.3	11.7	11.1	3.0	0.9	0.3	0.2
	令和7年	3,876	17.2	23.9	11.6	11.0	3.6	0.7	0.4	0.2
学年 小3	令和8年	1,017	10.3	21.4	11.9	7.7	3.6	0.8	0.4	0.2
	令和7年	1,018	12.6	18.1	11.1	6.9	4.0	0.8	0.4	0.3
学年 小5	令和8年	948	10.9	18.9	12.7	11.5	3.1	0.4	0.4	0.1
	令和7年	962	13.4	23.5	11.7	12.5	3.3	0.5	0.4	0.4
学年 中2	令和8年	961	14.6	23.6	11.4	15.1	2.9	0.8	0.1	0.3
	令和7年	887	18.3	26.8	14.0	13.8	4.2	0.8	0.3	－
学年 17歳	令和8年	1,046	21.2	29.0	11.0	10.5	2.5	1.3	0.3	0.1
	令和7年	1,009	24.5	27.7	9.9	11.3	3.1	0.7	0.4	0.2
区市町村 区部		2,551	13.6	24.3	11.3	11.7	3.3	1.0	0.2	0.2
区市町村 市町村部		1,421	15.6	21.5	12.5	10.1	2.5	0.6	0.5	0.1

		その他	危険な目にあったことはない	無回答／不明	危険な目にあったことがある（計）
全体	令和8年	1.4	55.0	2.5	42.5
	令和7年	1.5	53.9	2.0	44.1
学年 小3	令和8年	2.1	58.5	2.6	38.9
	令和7年	2.0	59.4	2.3	38.3
学年 小5	令和8年	1.7	56.2	3.6	40.2
	令和7年	2.6	54.5	2.7	42.8
学年 中2	令和8年	0.9	55.3	2.3	42.5
	令和7年	0.6	49.7	1.9	48.4
学年 17歳	令和8年	1.1	50.4	1.6	48.0
	令和7年	0.9	51.6	1.0	47.4
区市町村 区部		1.5	54.4	2.5	43.1
区市町村 市町村部		1.3	56.2	2.5	41.3

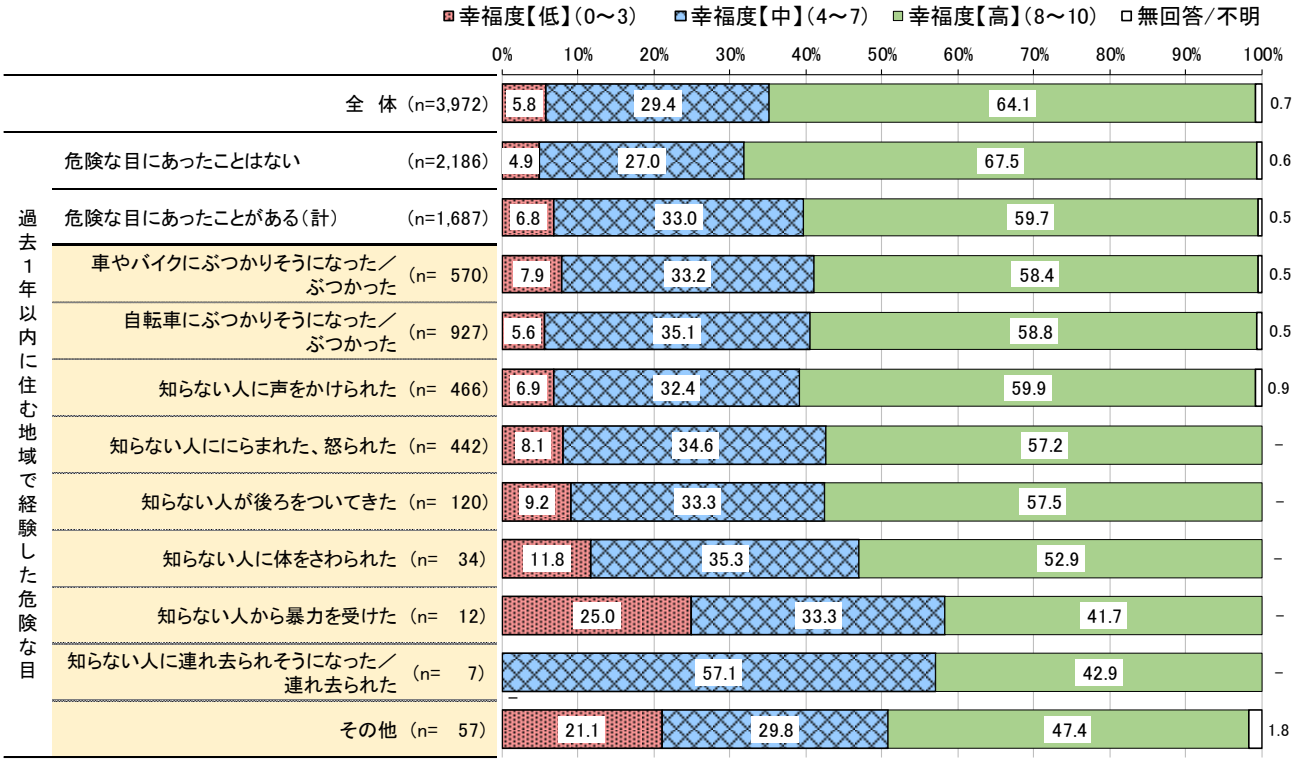
※危険な目にあったことがある（計）は「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」～「知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

「過去1年以内に住む地域で経験した危険な目」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「危険な目にあったことがある(計)」と回答した子供の 59.7%が幸福度【高】(8～10)で、「危険な目にあったことはない」と回答した子供の 67.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-24　子供の幸福度(「過去1年以内に住む地域で経験した危険な目」の回答別)



【自由記述】

その他（経験した危険な目）
じーと見られた（子供・小3）
知らない外国人が家の前にすわってこわかった。（子供・小3）
知らない人に大ごえをだされた。（その人はしょうがいかもしれないともおもう。）（子供・小3）
公園の近くに不審な車がとまっていた（子供・小3）
知らない人からお菓子をもらった（子供・小3）
ふみ切りの所でぶつかってきた（子供・小3）
だいじなものをさわられた（子供・小3）
知らない人とぶつかりそうになった（子供・小3）
知らない人にニヤニヤされて、しゃしんをとられた気がした（子供・小3）
人間がやったようなはとのいたいや、かじ（子供・小3）
怖そうな人を見た（子供・小3）
公園で転んだところを笑われた（子供・小3）
はでに転んだ（子供・小5）
骨を折った（子供・小5）
知らないあやしい人がうろついていた（子供・小5）
全らの人に4月にあった（1回）（子供・小5）
車に乗った人がこっちに来た。（子供・小5）
家の前をうろうろしていた（子供・小5）
知らない人にボールを投げられた。（子供・小5）
かい犬にかまれそうになった（子供・小5）
車やバイクにクラクションを鳴らされた（子供・小5）
おっさんがはだかで公園のトイレにいた（子供・中2）
上裸の人がいた（子供・中2）
傘が車の扉に引き込まれた（子供・中2）
知らない人に写真を撮られそうになった。（子供・中2）
通学の電車で外国人2人に囲まれたり。（よく覚えてない）（子供・中2）
変質者が多い（子供・17 歳）
知らない人が肌を露出していた（子供・17 歳）
盗撮された（子供・17 歳）
友達がお金盗まれた（子供・17 歳）
自転車の車輪を盗まれた（子供・17 歳）
最寄りの駅で夜歩いている時、街灯が消えてて、怖い。（子供・17 歳）

（子供：共通）問9. あなたは東京が好きですか。（1つだけ）

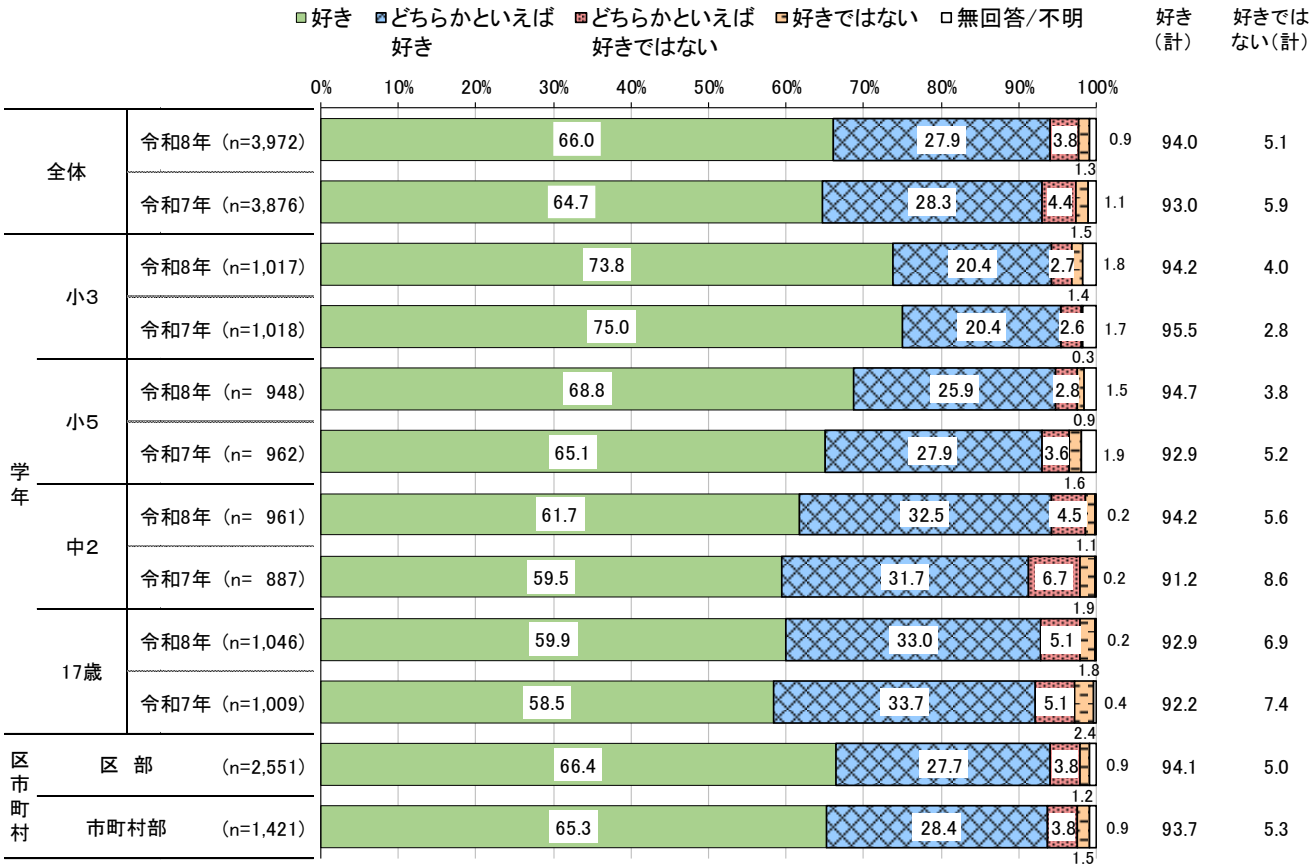
【全体】

「東京が好き」とする子供は 94.0%（「好き」が 66.0%＋「どちらかといえば好き」が 27.9%）である。

【学年別】

いずれの学年でも「好き」が最も高いが、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-25 東京が好きか ＜単一回答＞



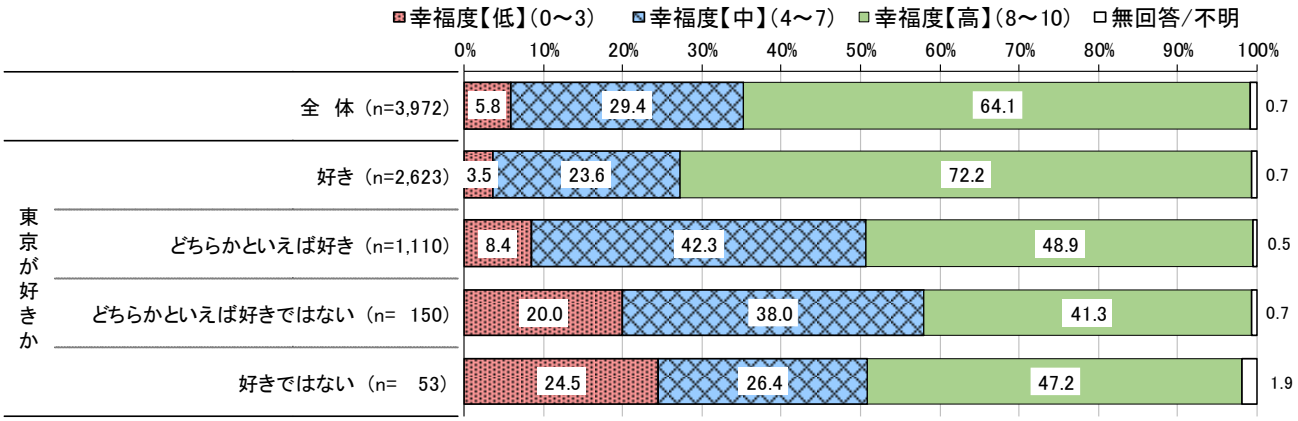
※好き（計）は「好き」及び「どちらかといえば好き」の割合。

好きではない（計）は「好きではない」及び「どちらかといえば好きではない」の割合。

【子供の幸福度】

「東京が好きか」の回答別に子供の幸福度をみると、「好き」と回答した子供の 72.2%が幸福度【高】(8～10)で、「好きではない」と回答した子供の 47.2%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「好きではない」と回答した子供の 24.5%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-26　子供の幸福度(「東京が好きか」の回答別)



（子供：共通）問 10. 問 9 で、その選択肢を選んだ理由は何ですか。（いくつでも）

※上記の設問を、問9で「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した子供と、「好きではない」または「どちらかといえば好きではない」と回答した子供で分けて集計した。

【全体】

問9で東京が「好き」または「どちらかといえば好き」と回答した子供の理由をみると、「施設（公共施設（図書館や児童館）・商業施設（ショッピングモール）・飲食店など）の数」が 63.5％で最も高く、次いで「交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）」が 57.1％、「遊ぶ場所の数」が 54.6％と続く。

【学年別】

小3では「遊ぶ場所の数」が 56.2％、小5、中2では「施設（公共施設（図書館や児童館）・商業施設（ショッピングモール）・飲食店など）の数」がそれぞれ 61.7％、70.7％、17 歳では「交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）」が 77.1％で最も高い。

経年比較でみると、中2で「施設（公共施設（図書館や児童館）・商業施設（ショッピングモール）・飲食店など）の数」が 6.8 ポイント増加している。

【区市町村別】

区部では「交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）」が市町村部に比べて 10.3 ポイント、「施設（公共施設（図書館や児童館）・商業施設（ショッピングモール）・飲食店など）の数」が 5.8 ポイント高い。一方、市町村部では「自然・公園の量」が区部に比べて 6.6 ポイント高い。

図表 1-27 東京が好きな理由 ＜複数回答＞

(%)

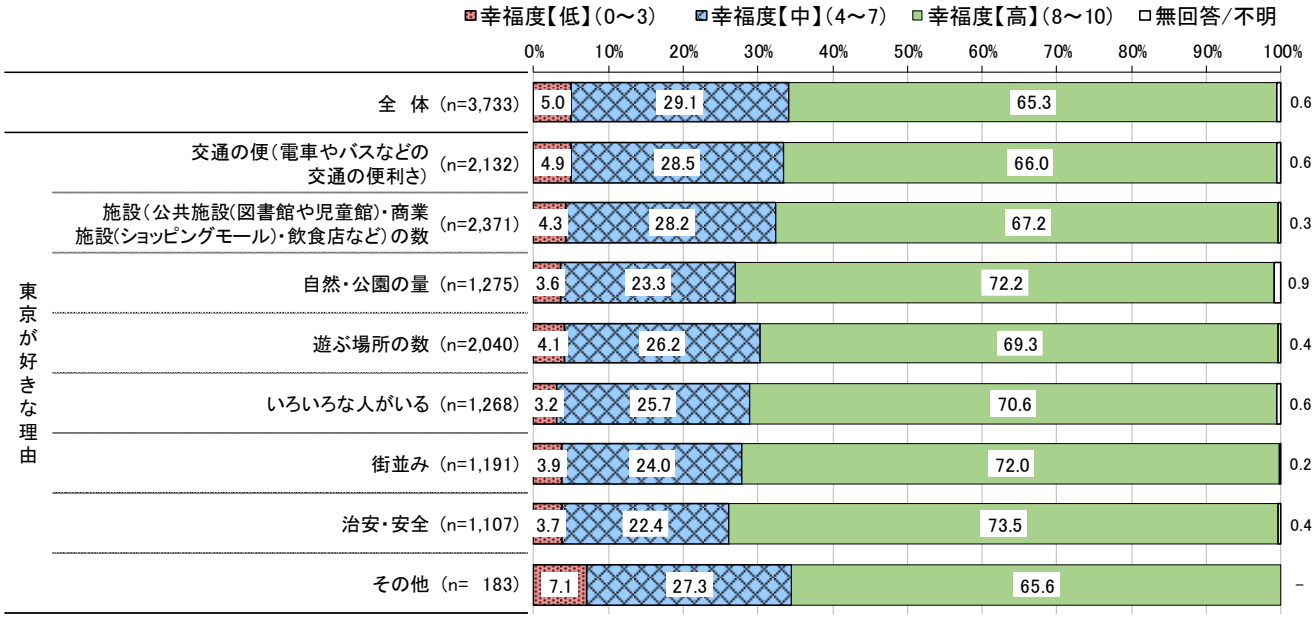
			n	交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）	施設（公共施設(図書館や児童館)・商業施設(ショッピングモール)・飲食店など）の数	自然・公園の量	遊ぶ場所の数	いろいろな人がいる	街並み	治安・安全
全体		令和8年	3,733	57.1	63.5	34.2	54.6	34.0	31.9	29.7
		令和7年	3,605	54.8	60.7	35.8	52.7	33.5	31.7	28.2
学年	小3	令和8年	958	35.0	49.4	48.5	56.2	38.3	22.4	41.0
		令和7年	972	33.4	50.2	53.1	55.1	38.8	23.5	40.5
	小5	令和8年	898	50.6	61.7	49.3	57.0	38.0	38.4	43.4
		令和7年	894	50.1	59.3	51.3	56.5	39.6	36.6	39.4
	中2	令和8年	905	65.6	70.7	26.7	54.3	32.2	37.9	22.0
		令和7年	809	62.1	63.9	23.4	50.1	29.2	36.7	19.4
	17歳	令和8年	972	77.1	72.4	12.9	51.3	27.7	29.6	12.9
		令和7年	930	75.5	70.4	13.7	48.9	25.9	31.2	12.2
区市町村	区部		2,401	60.8	65.6	31.8	55.1	33.5	33.4	30.8
	市町村部		1,332	50.5	59.8	38.4	53.9	34.8	29.2	27.6

			その他	無回答/不明
全体		令和8年	4.9	0.5
		令和7年	3.9	0.4
学年	小3	令和8年	7.8	0.1
		令和7年	4.9	0.9
	小5	令和8年	6.3	0.8
		令和7年	5.0	0.1
	中2	令和8年	3.0	1.1
		令和7年	3.2	0.4
	17歳	令和8年	2.5	0.1
		令和7年	2.2	0.2
区市町村	区部		5.0	0.5
	市町村部		4.7	0.5

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

図表 1-28　子供の幸福度（「東京が好きな理由」の回答別）



【全体】

問9で東京が「好きではない」または「どちらといえば好きではない」と回答した子供の理由をみると、「自然・公園の量」が 35.5%で最も高く、次いで「いろいろな人がいる」が 32.5%、「治安・安全」が 30.0%と続く。

図表 1-29 東京が好きではない理由 ＜複数回答＞

(%)

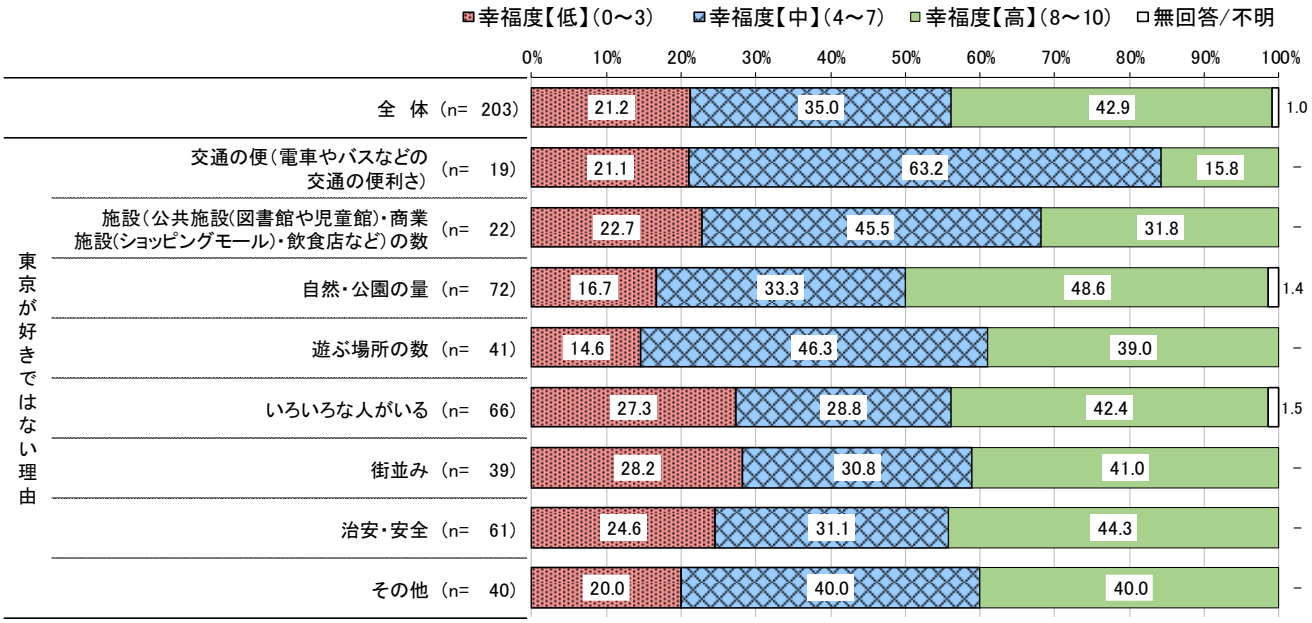
			n	交通の便（電車やバスなどの交通の便利さ）	施設（公共施設（図書館や児童館）・商業施設（ショッピングモール）・飲食店など）の数	自然・公園の量	遊ぶ場所の数	いろいろな人がいる	街並み	治安・安全
全体		令和8年	203	9.4	10.8	35.5	20.2	32.5	19.2	30.0
		令和7年	230	11.3	13.5	32.2	18.7	33.9	23.5	34.8
学年	小3	令和8年	41	4.9	14.6	31.7	24.4	22.0	19.5	26.8
		令和7年	29	3.4	13.8	27.6	20.7	31.0	3.4	13.8
	小5	令和8年	36	−	11.1	33.3	25.0	30.6	22.2	19.4
		令和7年	50	6.0	14.0	36.0	20.0	18.0	26.0	28.0
	中2	令和8年	54	13.0	14.8	44.4	25.9	35.2	13.0	31.5
		令和7年	76	10.5	15.8	34.2	17.1	38.2	26.3	43.4
	17歳	令和8年	72	13.9	5.6	31.9	11.1	37.5	22.2	36.1
		令和7年	75	18.7	10.7	29.3	18.7	41.3	26.7	38.7
区市町村	区部		127	7.9	8.7	36.2	19.7	33.1	19.7	29.9
	市町村部		76	11.8	14.5	34.2	21.1	31.6	18.4	30.3

			その他	無回答/不明
全体		令和8年	19.7	1.5
		令和7年	17.0	0.9
学年	小3	令和8年	22.0	2.4
		令和7年	24.1	−
	小5	令和8年	25.0	5.6
		令和7年	24.0	−
	中2	令和8年	16.7	−
		令和7年	18.4	2.6
	17歳	令和8年	18.1	−
		令和7年	8.0	−
区市町村	区部		17.3	2.4
	市町村部		23.7	−

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

図表 1-30　子供の幸福度（「東京が好きではない理由」の回答別）



【自由記述】

その他（東京が好き／好きではない理由）
【好きな理由】
友だちがいるから（子供・小3）
やさしい人がいっぱいいる（子供・小3）
みんなたすけあう（子供・小3）
あいさつをしてくれる人がいる。（子供・小3）
町内会のイベントがたくさんあるから（子供・小3）
ずっと住んでいるから（子供・小3）
いろんなものがあるから（子供・小3）
にぎやかだから（子供・小3）
東京以外知らない（子供・小3）
ままがよろこんでくれる町だから。（子供・小3）
日本の中心だから（子供・小3）
友だちがいる（子供・小5）
いろんな人がやさしくて、近じょの人が声をかけてくれるから(あいさつなど)（子供・小5）
東京で産まれ育ったから（子供・小5）
推し活しやすい（子供・小5）
みんなが知っているような場所だから（子供・小5）
人との関わりをあまりしなくていい（子供・小5）
都心だから（子供・小5）
楽しいけど怖いこともある（子供・小5）
自分が住んでいるから（子供・中2）
生まれてからずっと東京で暮らしてきたから（子供・中2）
鉄道が沢山さんはしっているから（子供・中2）
東京は色々なイベントがあって楽しい（子供・中2）
のんびりできる環境が沢山ある訳ではないけど、自分の家もあるし、友達もいるから。（子供・中2）
生まれた時から住んでいるから（子供・17 歳）
都民だと学費などの補助金がもらえているから。（子供・17 歳）
生活が地方の地域に比べて不便なく過ごせる。（子供・17 歳）
【好きではない理由】
家が狭いから（子供・小3）
おとながつめたい。公園が赤ちゃん用でつまらない（子供・小3）
街のうるささ(しずかな場所がいい)（子供・小5）
きたない、ポイ捨てなどが多い（子供・小5）
サッカーできるばしょがない（子供・小5）
児童センターであそべるおもちゃのかずが少ない（子供・小5）
人が多くてうるさい。（子供・中2）

（子供：共通）問 11. あなたが、20年後に一番叶えたいことは何ですか。（1つだけ）

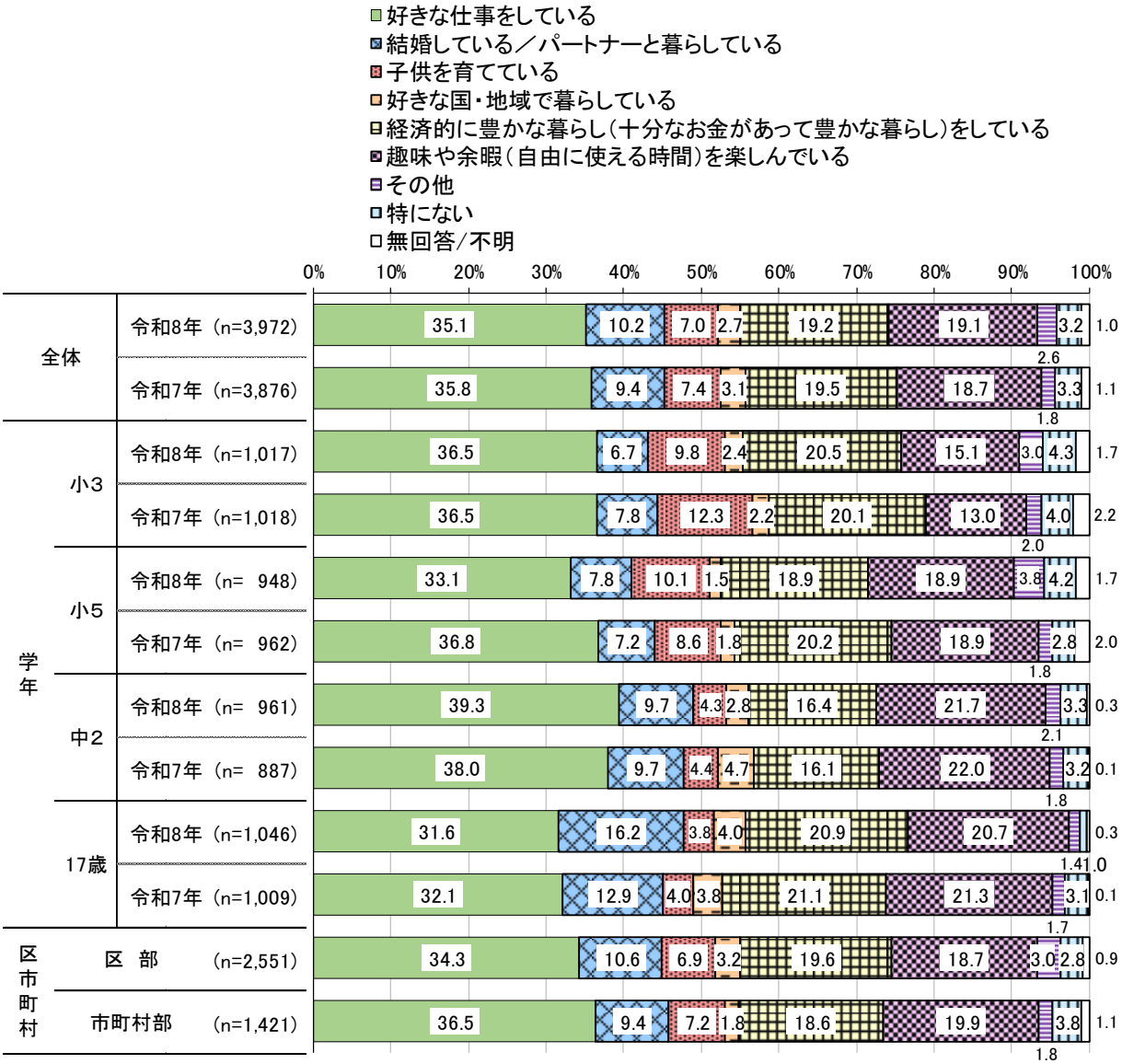
【全体】

「好きな仕事をしている」が 35.1％で最も高く、次いで「経済的に豊かな暮らし（十分なお金があって豊かな暮らし）をしている」が 19.2％、「趣味や余暇（自由に使える時間）を楽しんでいる」が 19.1％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好きな仕事をしている」が最も高い。

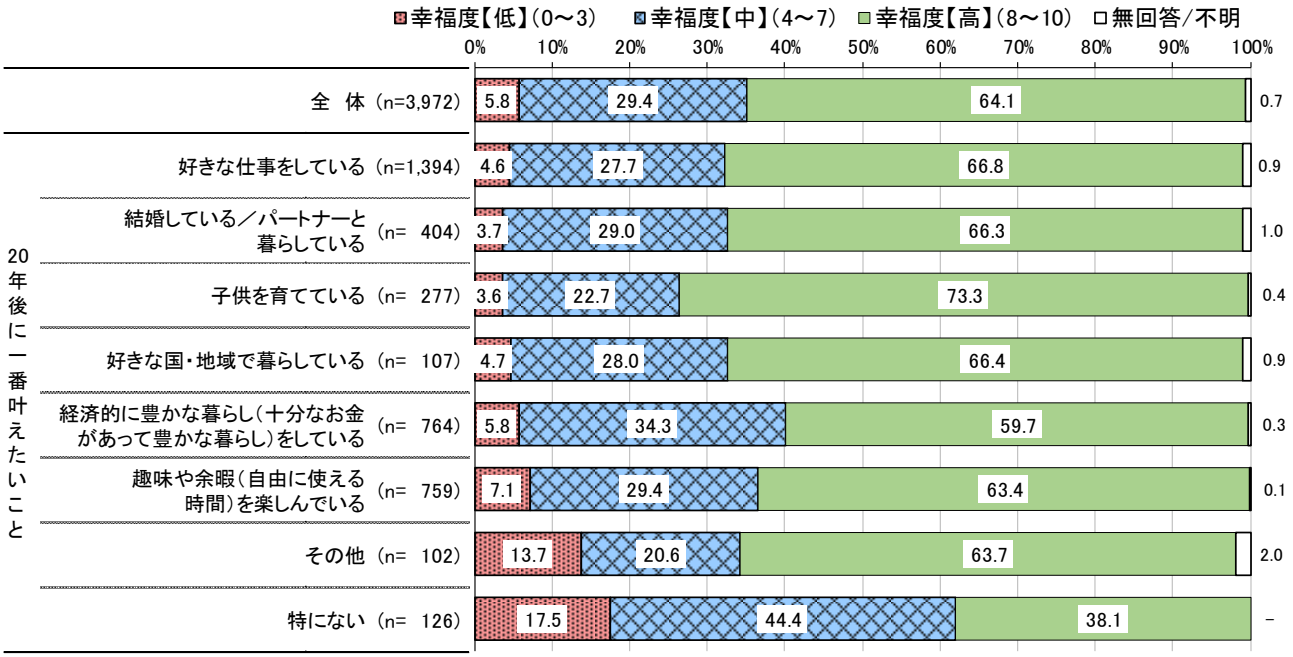
図表 1-31 20 年後に一番叶えたいこと ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「20 年後に一番叶えたいこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を育てている」と回答した子供の 73.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-32　子供の幸福度(「20 年後に一番叶えたいこと」の回答別)



【自由記述】

その他（20年後に一番叶えたいこと）
ホームレスなどの、お金がない人が、あんしんして、くらせる町を、作る。（子供・小3）
しぜんを守りたい（子供・小3）
せんそうをなくす（子供・小3）
結婚してまんがかになる（子供・小3）
今の家族と仲良く暮らしている（子供・小3）
家族を幸せにする（子供・小3）
ペットを飼う（子供・小3）
けがをしないようにくらしていきたい。（子供・小3）
ともだちといっしょにすむ（子供・小3）
幸せに生きる（子供・小3）
平和な世界ですごせていたらいい（子供・小3）
おかしをいっぱいたべたい（子供・小3）
何かのしゃちょうになってひまの時になれる動画はいしん者になりたいと思っている。（子供・小5）
温暖で海が近くにある場所にべっそうをつくる。（子供・小5）
地球温暖化を解決する（子供・小5）
家族と旅行（子供・小5）
家族と元気に過ごしたい（子供・小5）
動物をかいたい（子供・小5）
みんなけんこうでながいきする！（子供・小5）
自由に暮らしてること（子供・小5）
今の友達と、仲良くしている。（子供・小5）
だれもがしあわせ（なにひとつふじゅうのない）にくらしている（子供・小5）
ホワイト企業に就職する（子供・小5）
まわりの人にやさしくする（子供・小5）
多様な人と英語でコミュニケーションをしている（子供・中2）
人生を楽しんでいる（子供・中2）
自分の好きなように生きている（子供・中2）
いつも幸せでいること（子供・中2）
平凡的で平和的で安定した生活（子供・中2）
ほうりつのべんきょう（子供・中2）
戦争などがなくなる（子供・中2）
ちゃんとした大人になる（子供・17 歳）
ママとパパと一緒にいる（子供・17 歳）
まともに生きていたい（子供・17 歳）
元気でいる（子供・17 歳）
幸せに生きている（子供・17 歳）
海外で仕事をすること（子供・17 歳）

（子供：共通）問 12.【問 11 で「好きな仕事をしている」～「趣味や余暇を楽しんでいる」「その他」と答えた方にお聞きします。】
問 11 の答えについて、それが将来的に叶えられていると思いますか。（1つだけ）

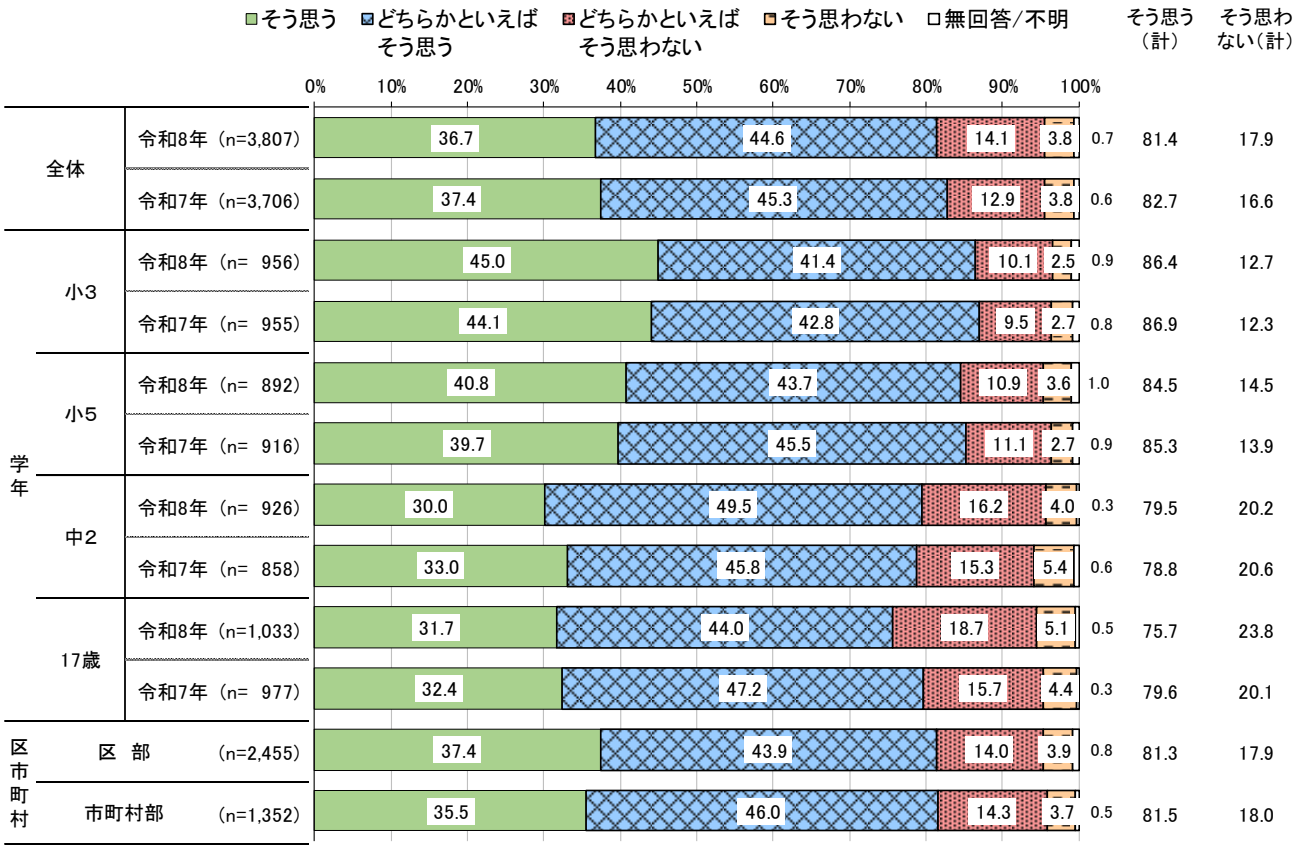
【全体】

「将来的に叶えられている」とする子供は 81.4%（「そう思う」が 36.7%＋「どちらかといえばそう思う」が 44.6%）である。

【学年別】

「将来的に叶えられている」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-33 将来的に叶えられているか ＜単一回答＞

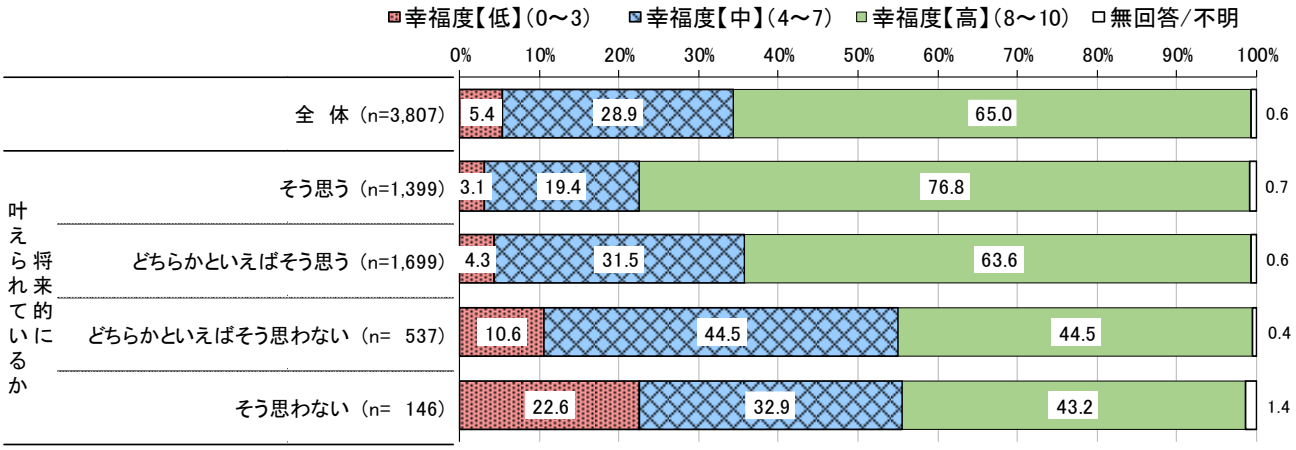


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「将来的に叶えられているか」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 76.8%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 43.2%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「そう思わない」と回答した子供の 22.6%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-34　子供の幸福度(「将来的に叶えられているか」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。（1つだけ）

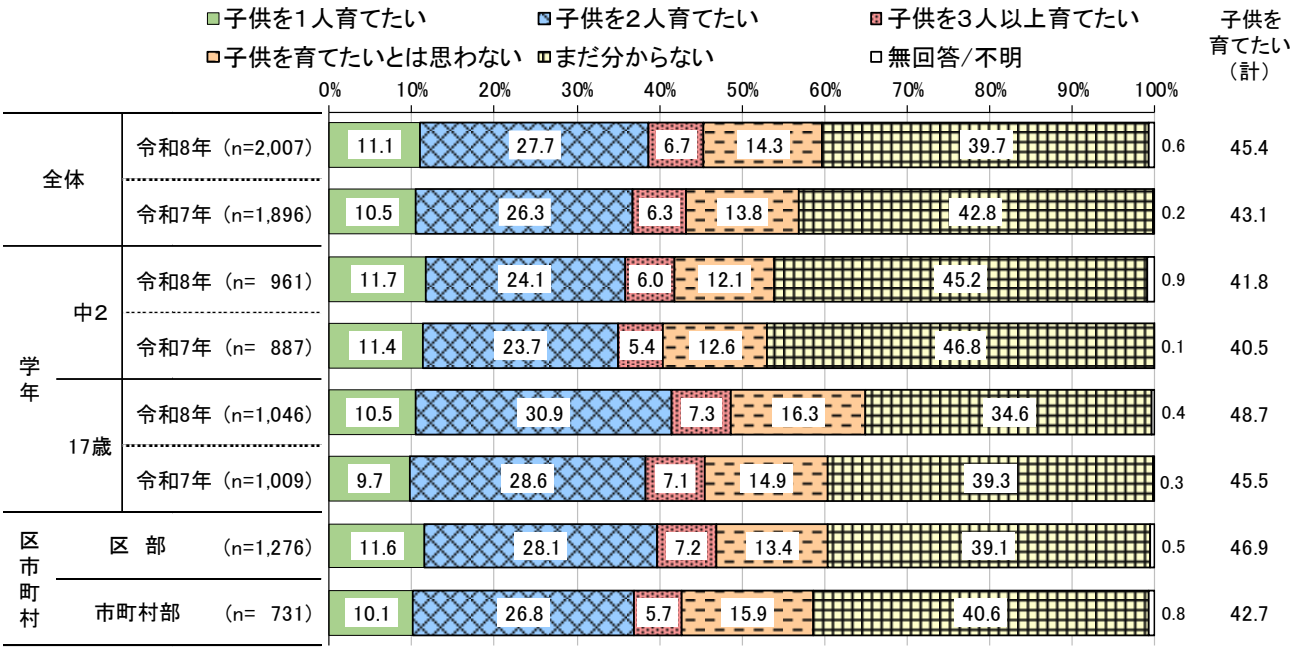
【全体】

子供を育てたいの中では「子供を2人育てたい」が 27.7％で最も高く、次いで「子供を1人育てたい」が 11.1％、「子供を3人以上育てたい」が 6.7％である。一方、「子供を育てたいとは思わない」は 14.3％であり、「まだ分からない」は 39.7％である。

【学年別】

中2は「まだ分からない」が 45.2％、「子供を2人育てたい」が 24.1％である。17 歳は「まだ分からない」が 34.6％、「子供を2人育てたい」が 30.9％である。

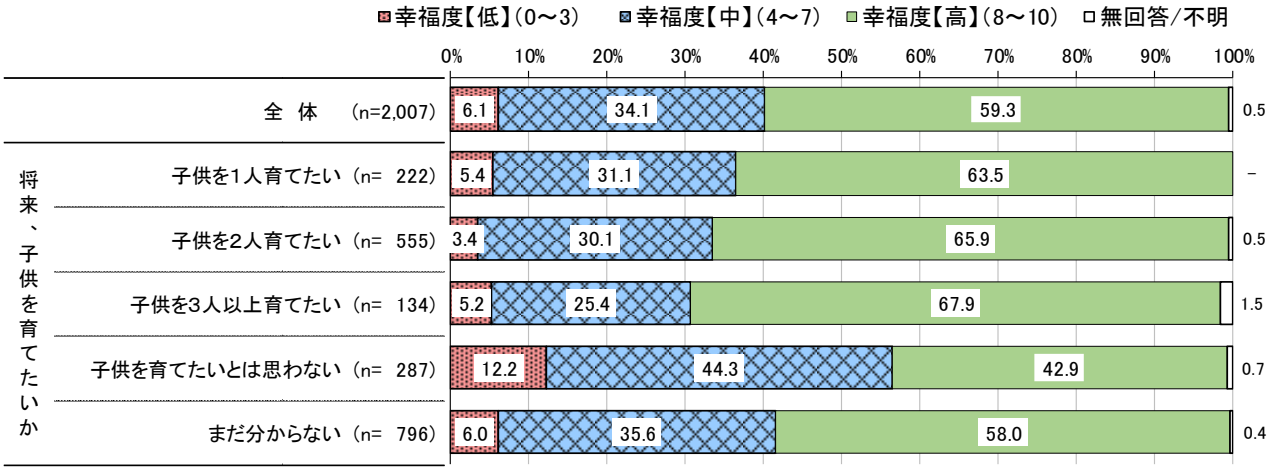
図表 1-35 将来、子供を育てたいか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「将来、子供を育てたいか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を3人以上育てたい」と回答した子供の67.9%が幸福度【高】(8～10)で、「子供を育てたいとは思わない」と回答した子供では42.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-36　子供の幸福度(「将来、子供を育てたいか」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。
（1つだけ）

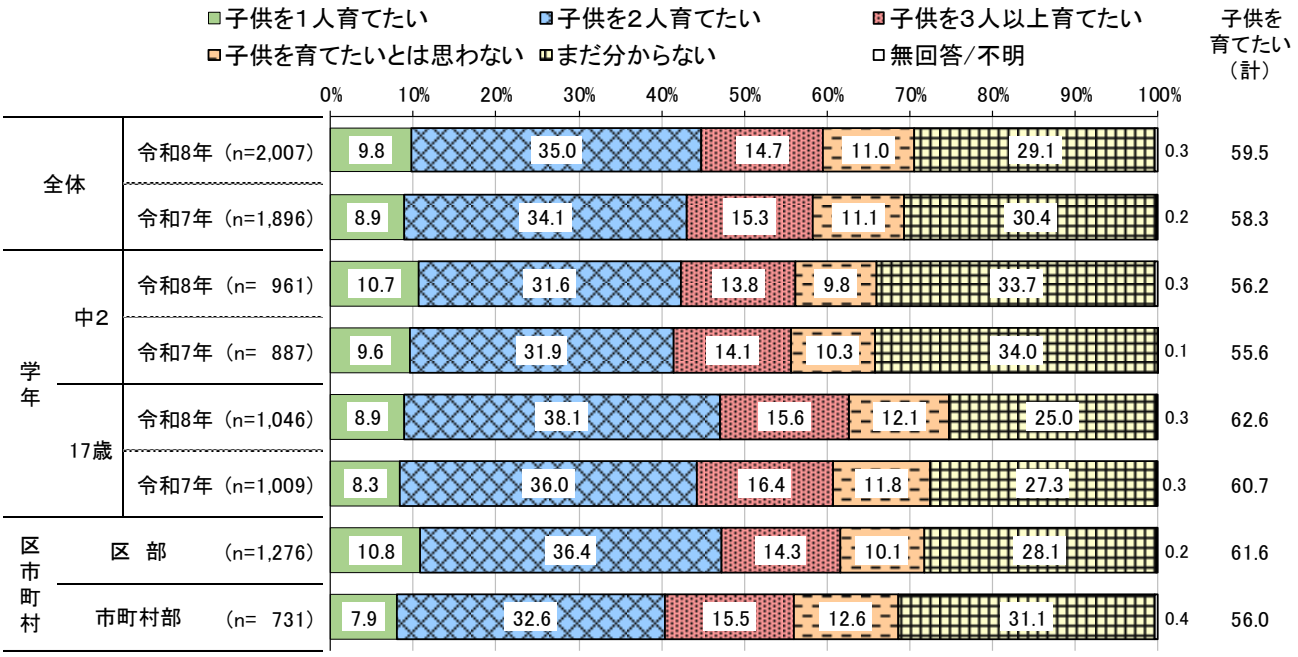
【全体】

子供を育てたいの中では「子供を2人育てたい」が 35.0％で最も高く、次いで「子供を3人以上育てたい」が 14.7％、「子供を1人育てたい」が 9.8％で、それらを合わせた「子供を育てたい（計）」は 59.5％である。一方、「子供を育てたいとは思わない」は 11.0％であり、「まだ分からない」は 29.1％である。

【学年別】

中2は「まだ分からない」が 33.7％、「子供を2人育てたい」が 31.6％である。17 歳は「まだ分からない」が 25.0％、「子供を2人育てたい」が 38.1％である。

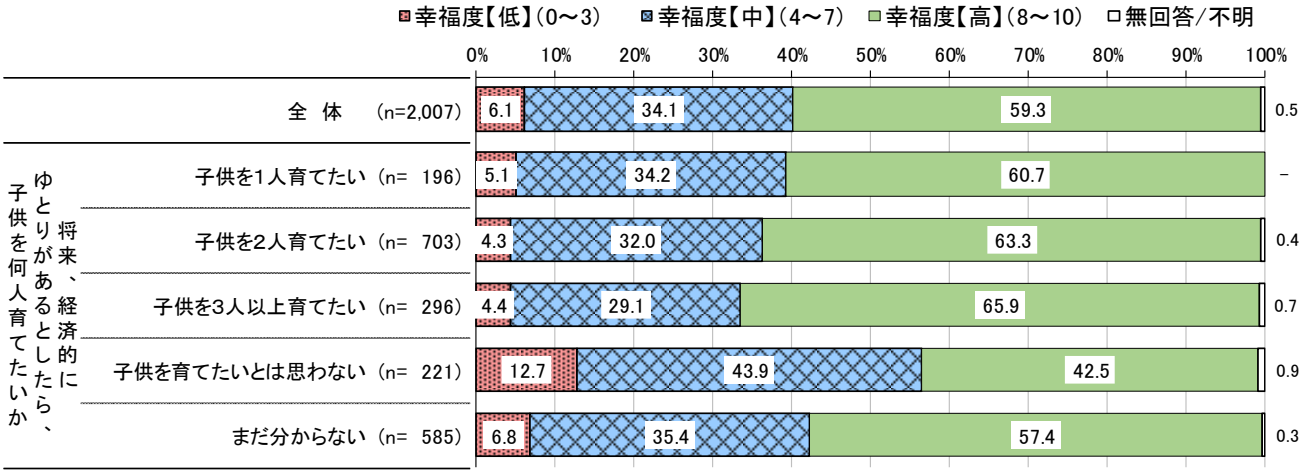
図表 1-37 将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を3人以上育てたい」と回答した子供の 65.9%が幸福度【高】(8～10)で、「子供を育てたいとは思わない」と回答した子供の 42.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-38　子供の幸福度(「将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 15. あなたは「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っていますか。
（いくつでも）

【全体】

「子供がいると生活が楽しく豊かになる」が 59.6％で最も高く、次いで「お金がかかる」が 53.5％、「家事や育児の負担が増える」が 42.9％と続く。なお、何らか「子育てのイメージがある（計）」は 89.7％である。

【学年別】

中2と 17 歳のいずれでも「子供がいると生活が楽しく豊かになる」が最も高い。

図表 1-39 「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っているか ＜複数回答＞

(%)

		n	子供がいると生活が楽しく豊かになる	好きな人と一緒に子育てができる	親／保護者など周囲が安心する	子供を育てることは自然なこと	子供をうまく育てられる自信がない	お金がかかる	自分の時間が取れなくなる
全　体		2,007	59.6	30.3	15.7	11.2	27.3	53.5	39.3
学年	中2	961	61.1	30.7	16.4	10.8	26.5	49.4	38.6
学年	17歳	1,046	58.3	29.9	15.1	11.5	27.9	57.2	40.0
区市町村	区　部	1,276	60.5	31.4	16.5	11.2	27.1	52.7	38.6
区市町村	市町村部	731	58.1	28.3	14.5	11.1	27.5	54.7	40.5

		自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる	家事や育児の負担が増える	まだ分からない	その他	無回答／不明	子育てのイメージがある（計）
全　体		20.6	42.9	10.1	2.8	0.2	89.7
学年	中2	20.1	43.0	12.4	3.0	0.3	87.3
学年	17歳	21.1	42.8	7.9	2.7	0.2	91.9
区市町村	区　部	20.5	43.6	9.5	2.5	0.2	90.4
区市町村	市町村部	20.8	41.7	11.1	3.4	0.4	88.5

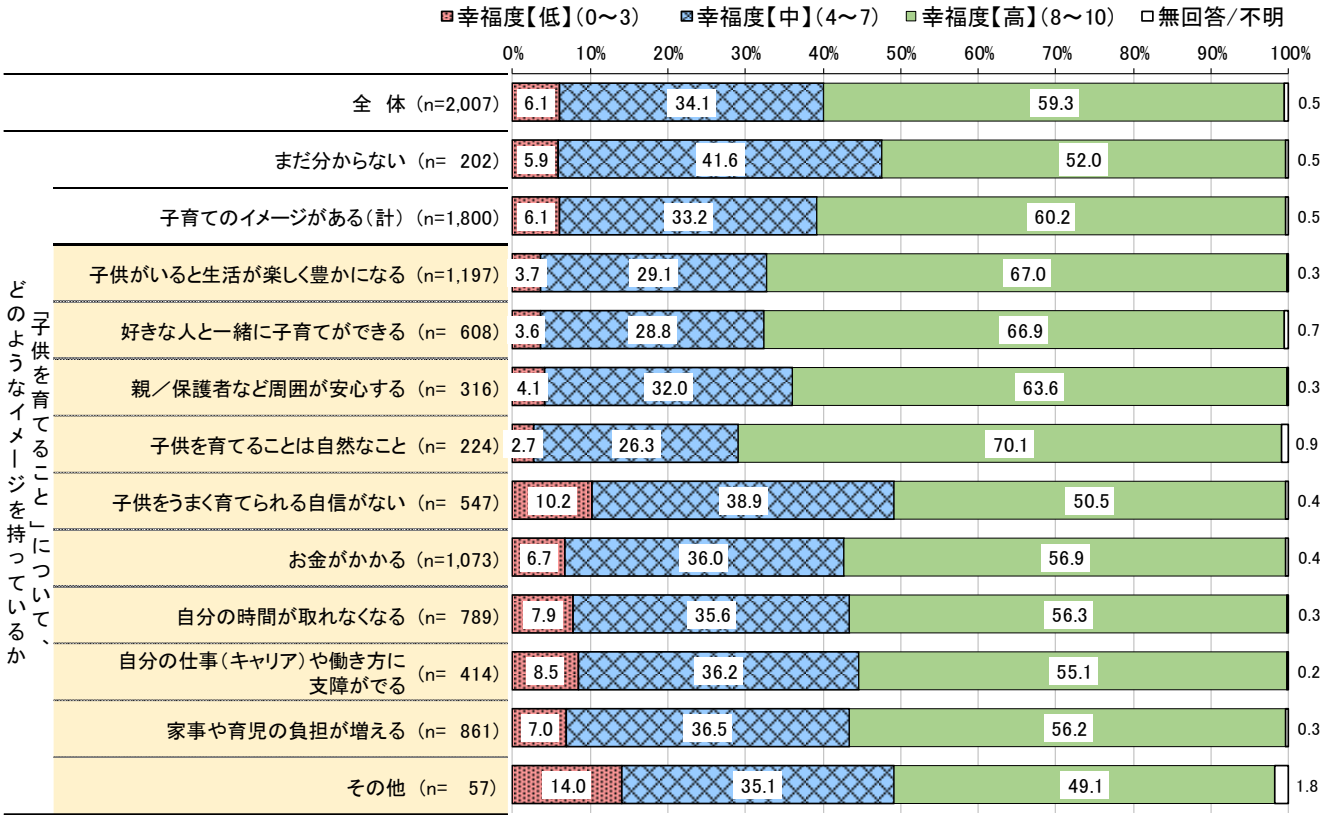
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※子育てのイメージがある（計）は、「子供がいると生活が楽しく豊かになる」～「家事や育児の負担が増える」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「『子どもを育てること』について、どのようなイメージを持っているか」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「子育てのイメージがある（計）」と回答した子供の 60.2%が幸福度【高】（8～10）で、「まだ分からない」と回答した子供の 52.0%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-40　子供の幸福度（「『子どもを育てること』について、どのようなイメージを持っているか」の回答別）



【自由記述】

その他（「子供を育てること」についてのイメージ）
大切な家族が増える（子供・中2）
少子化をおさえる助けになれる（子供・中2）
自分も成長できる（子供・中2）
年をとっても子どもがいたら安心できること。（子供・中2）
いろんな人とつながりを持てる（子供・中2）
家庭だけではなく、幼稚園や学校などコミュニティが増える（子供・中2）
いやされる。かわいいと思う。（子供・中2）
自立するまでが大変そう（子供・中2）
色んなことを考えないといけなさそう（子供・中2）
子どもは好きだけど、命だから自分の命より子どもの命にかけられるじしんが今はない（子供・中2）
好きな人の自分に対しての優先度が下がるなど。（子供・中2）
離婚の原因となりやすい（子供・中2）
めんどくさい（子供・中2）
心身的なストレスが増え、トラブルが多発する。（子供・中2）
うるさい（子供・中2）
つかれる（子供・中2）
子どもを育てる大変さを理解しようともしてなさそうな大人が自分が都合良いようになるようにできたせいどのせいで子育ては大変だと子どもながらに考えます。（子供・中2）
育休が取りづらい（子供・中2）
楽しいこともあるけど、大変なことも多い。（子供・中2）
新しい経験が出来る（子供・17 歳）
自分が死ぬ時に看取ってもらえるから安心（子供・17 歳）
子供を通して自分の人間関係の輪も広がる（子供・17 歳）
私も祖母に16年間育ててもらっているから、何とかなる。（子供・17 歳）
障がいを持っていたらどう対処すれば良いか分からないため不安（子供・17 歳）
育てられる環境じゃない気がする（子供・17 歳）
赤ちゃんが好きではない（子供・17 歳）
パートナーとの二人きりの時間が減る（子供・17 歳）
自分の人生に必ず他人が介入してくる（子供・17 歳）
正直避けたい（子供・17 歳）
精神的に負担がかかる（子供・17 歳）
大変だけどかけがえのない経験になる（子供・17 歳）
幸せな瞬間は多いだろうが、それを超える不幸せな瞬間が山程ある。（子供・17 歳）

（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（A　将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う）

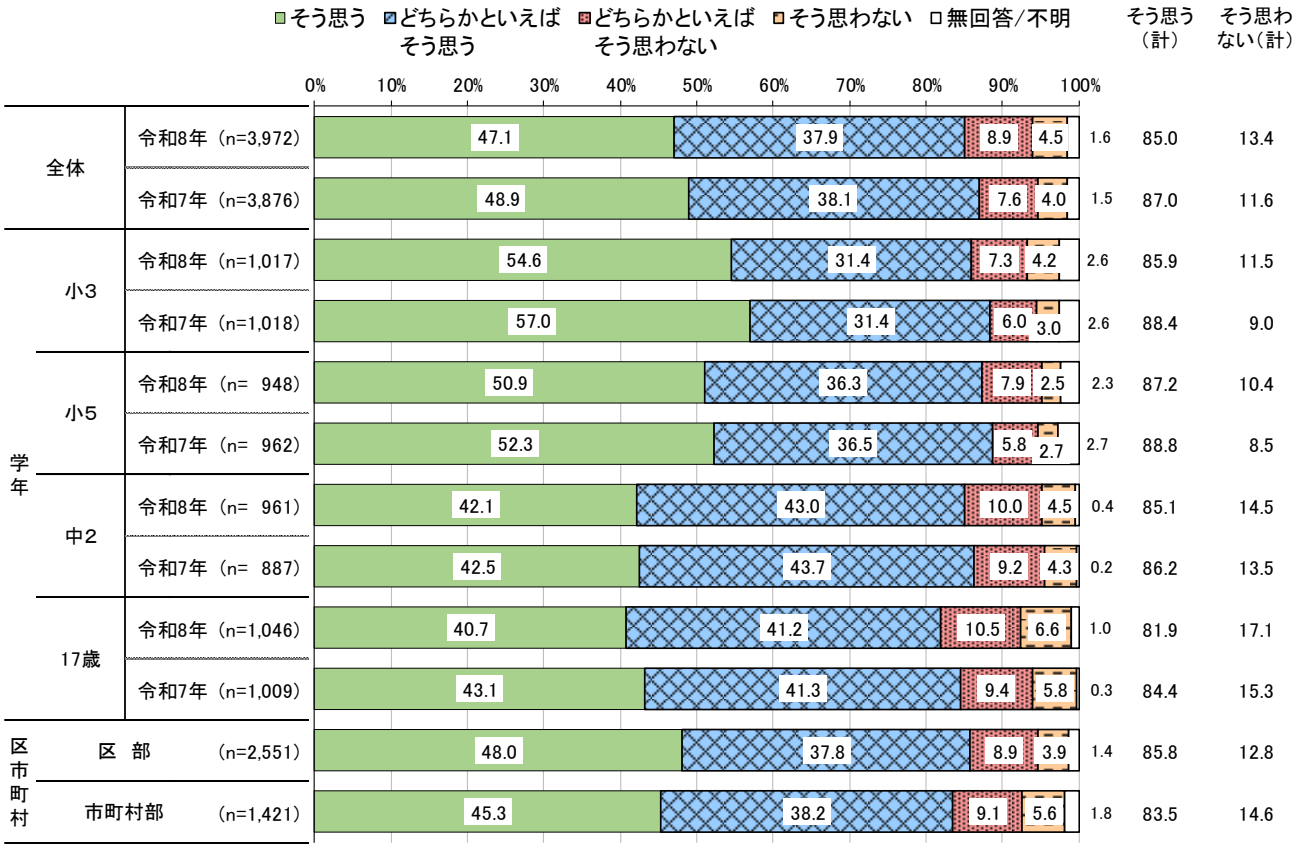
【全体】

「将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う」とする子供は 85.0%（「そう思う」が 47.1%＋「どちらかといえばそう思う」が 37.9%）である。

【学年別】

「将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、87.2%である。

図表 1-41　A　将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う　＜単一回答＞

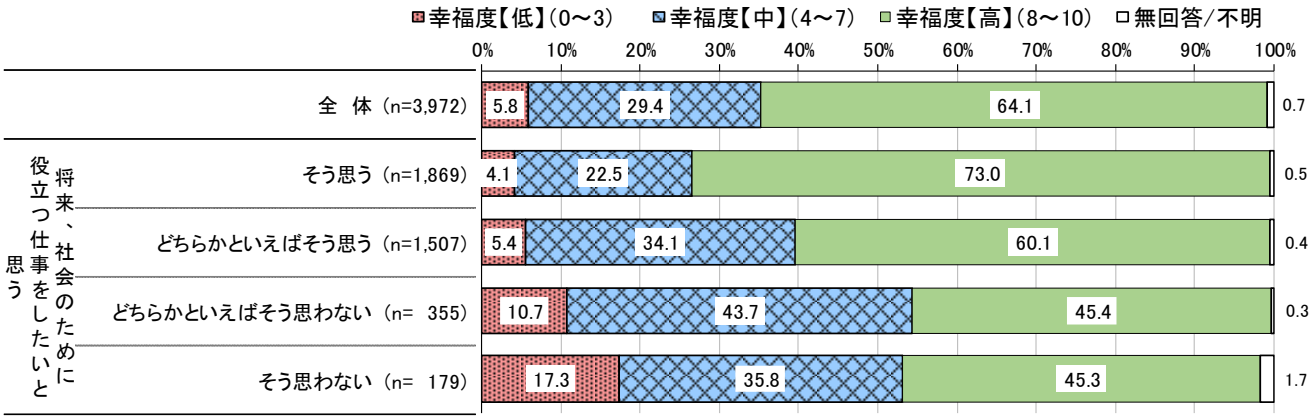


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の73.0%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 45.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-42　子供の幸福度(「将来、社会のために役立つ仕事をしたいと思う」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（B　ボランティアをしたいと思う）

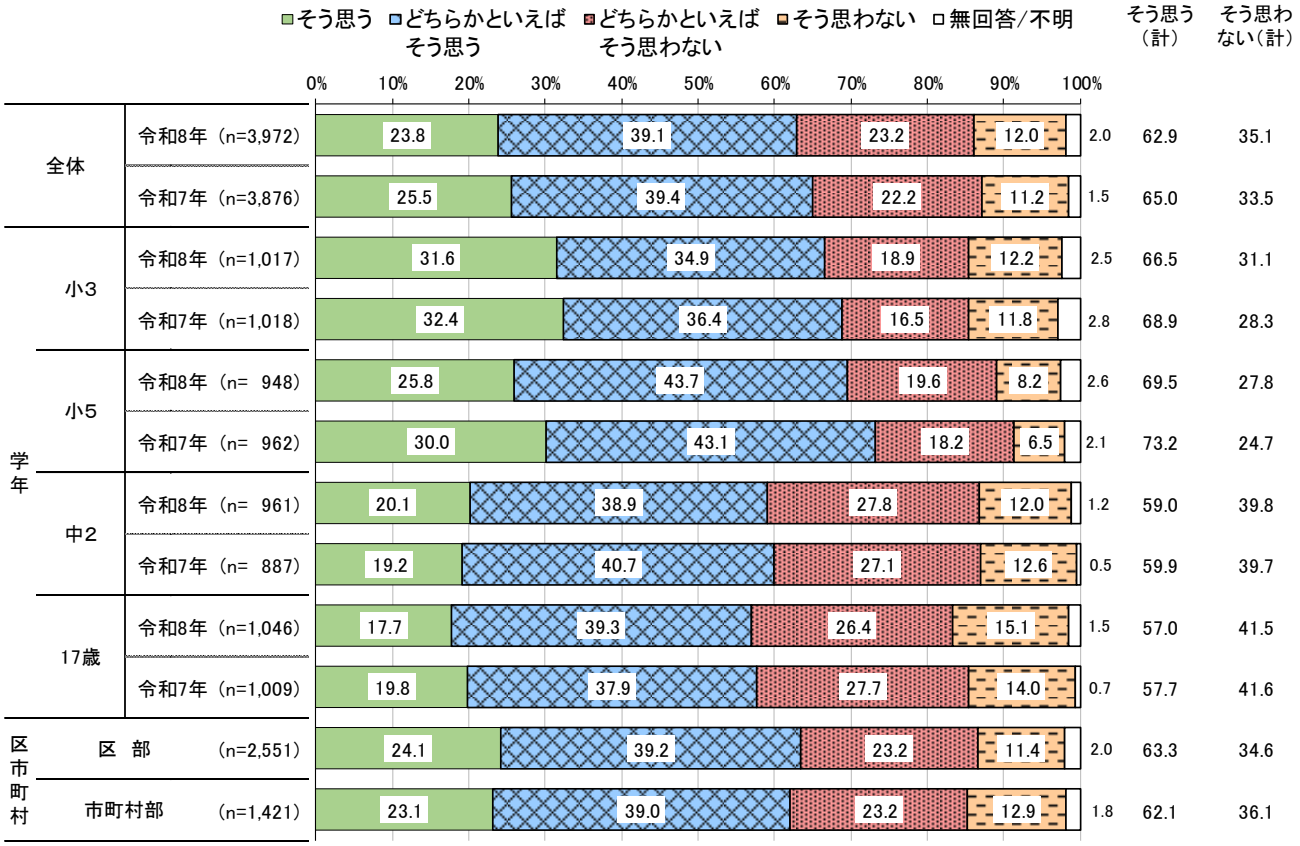
【全体】

「ボランティアをしたいと思う」とする子供は 62.9%（「そう思う」が 23.8%＋「どちらかといえばそう思う」が 39.1%）である。

【学年別】

「ボランティアをしたいと思う」とする子供は（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、69.5%である。

図表 1-43　B ボランティアをしたいと思う ＜単一回答＞

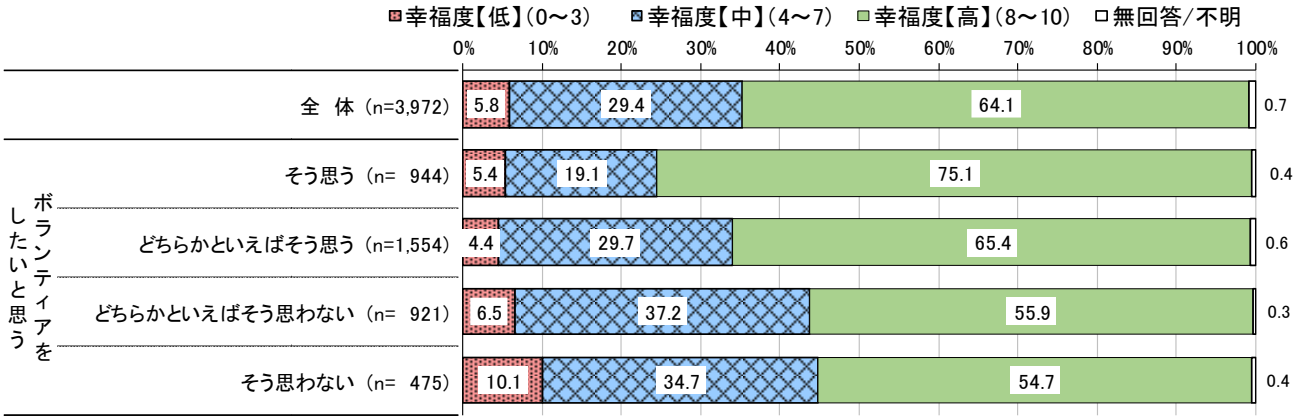


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「ボランティアをしたいと思う」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 75.1%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 54.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-44　子供の幸福度(「ボランティアをしたいと思う」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（C　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある）

【全体】

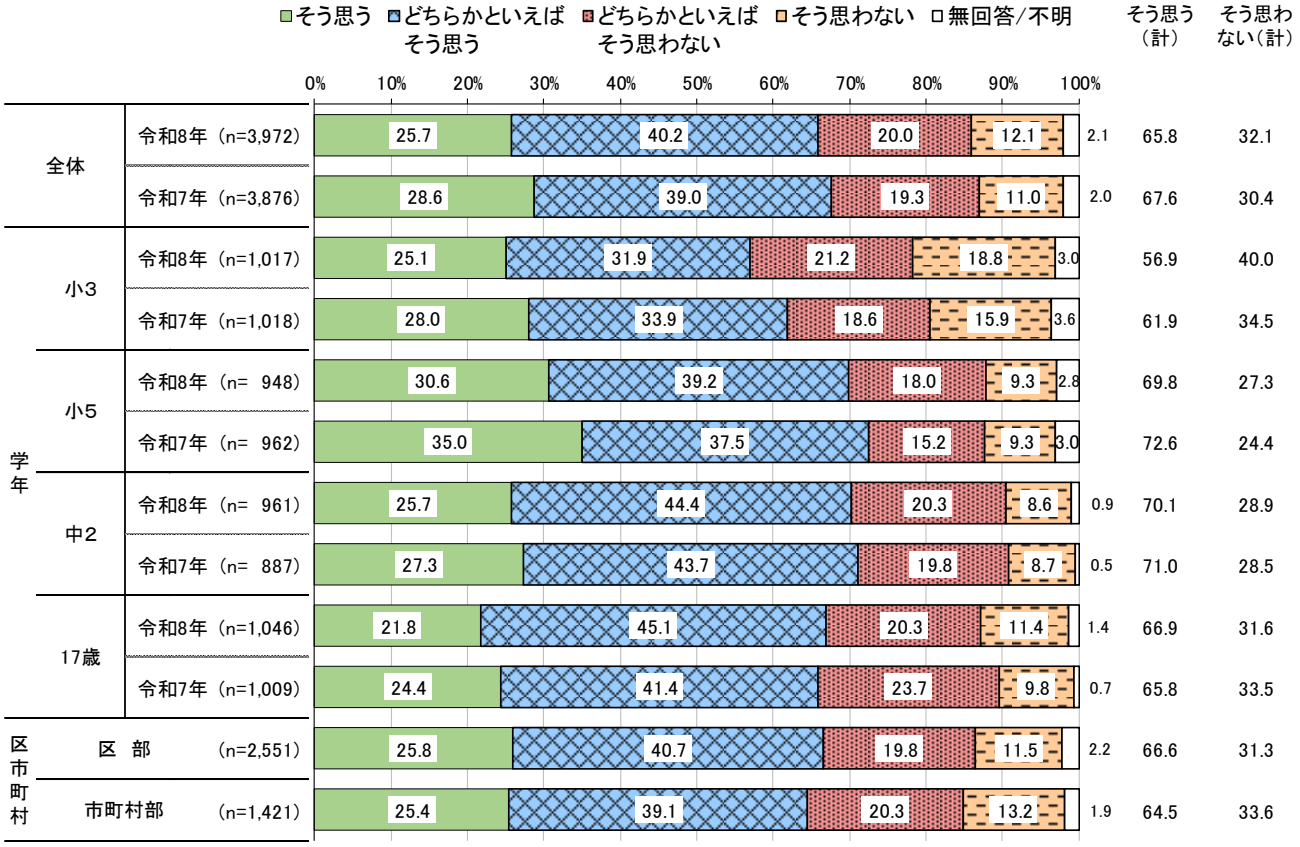
「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」とする子供は 65.8%（「そう思う」が 25.7%＋「どちらかといえばそう思う」が 40.2%）である。

【学年別】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、中2で最も高く、70.1%である。

経年比較でみると、小3で「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」とする子供（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が、5.0 ポイント減少している。

図表 1-45　C 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）についての関心がある＜単一回答＞

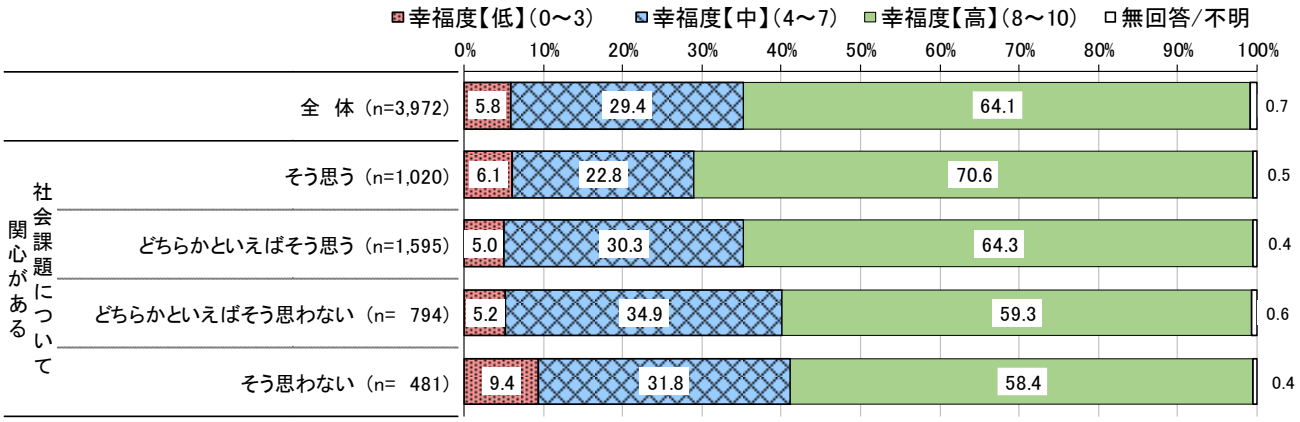


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 70.6%が幸福度【高】（8～10）で、「そう思わない」と回答した子供の 58.4%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-46　子供の幸福度（「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について関心がある」の回答別）



（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（D　社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している）

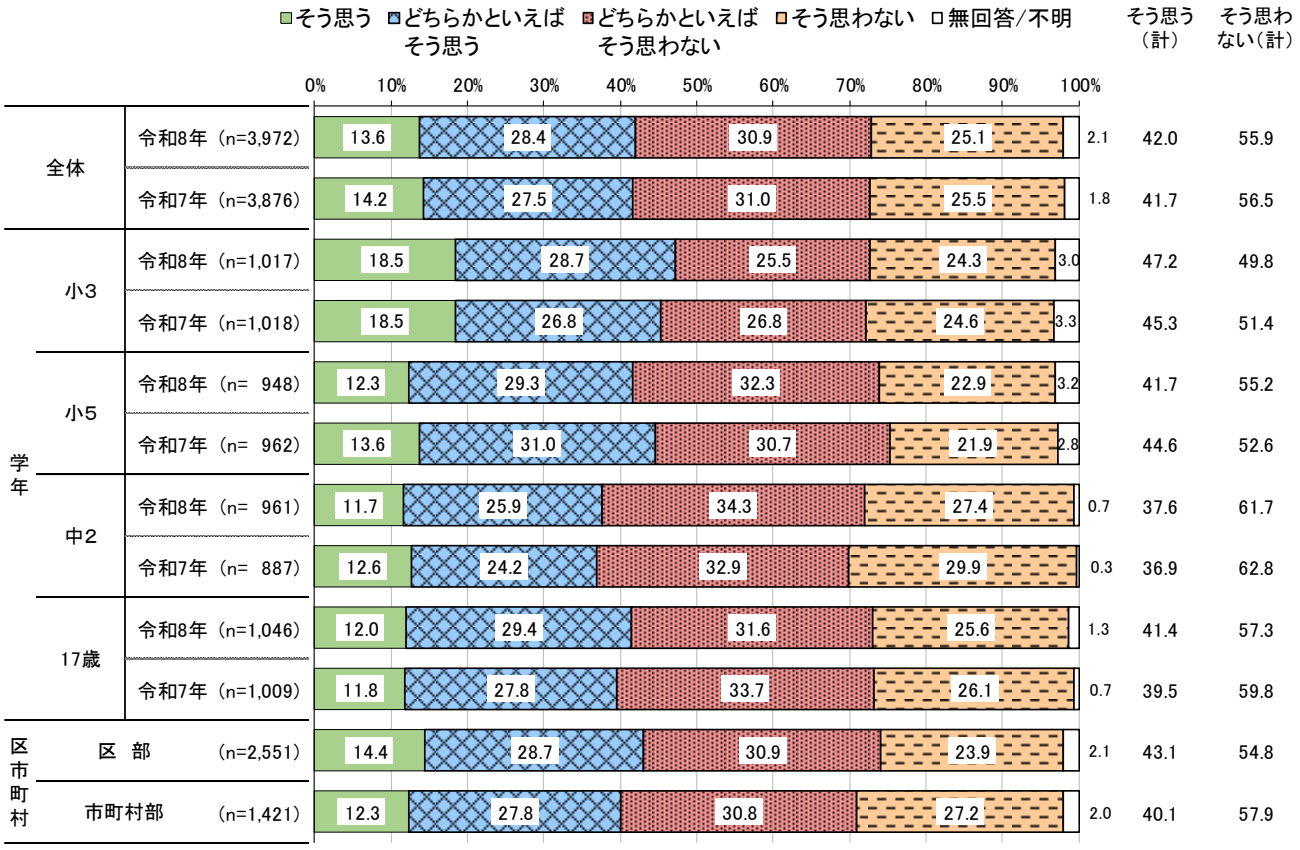
【全体】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している」とする子供は 42.0%（「そう思う」が 13.6%＋「どちらかといえばそう思う」が 28.4%）である。なお、「どちらかといえばそう思わない」が 30.9%で最も高い。

【学年別】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小3で最も高く、47.2%である。

図表 1-47　D 社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している ＜単一回答＞

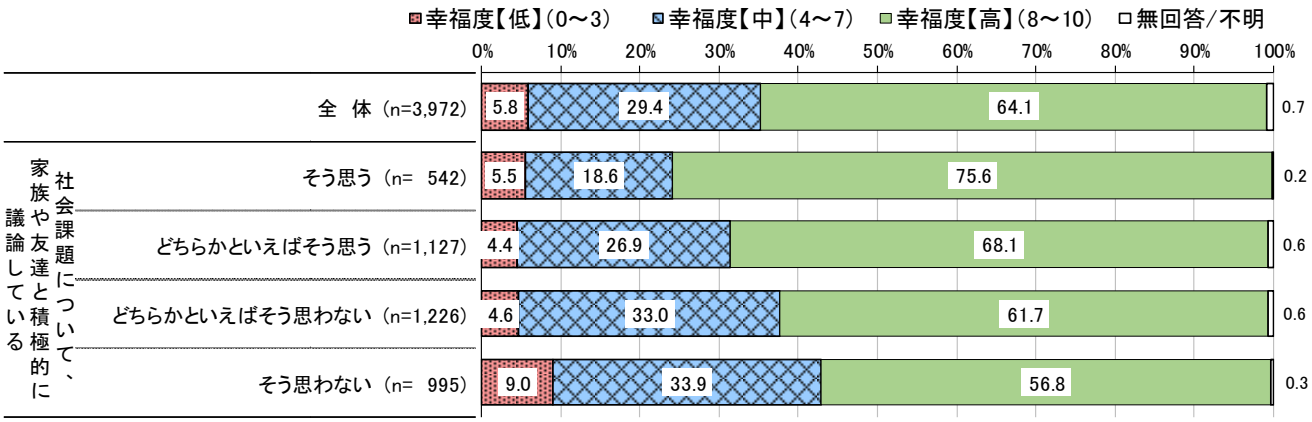


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 75.6%が幸福度【高】（8～10）で、「そう思わない」と回答した子供の 56.8%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-48　子供の幸福度（「社会課題（SDGs、環境問題、いじめや差別の問題など）について、家族や友達と積極的に議論している」の回答別）



（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（E　未来の社会を良くするために何か行動しようと思う）

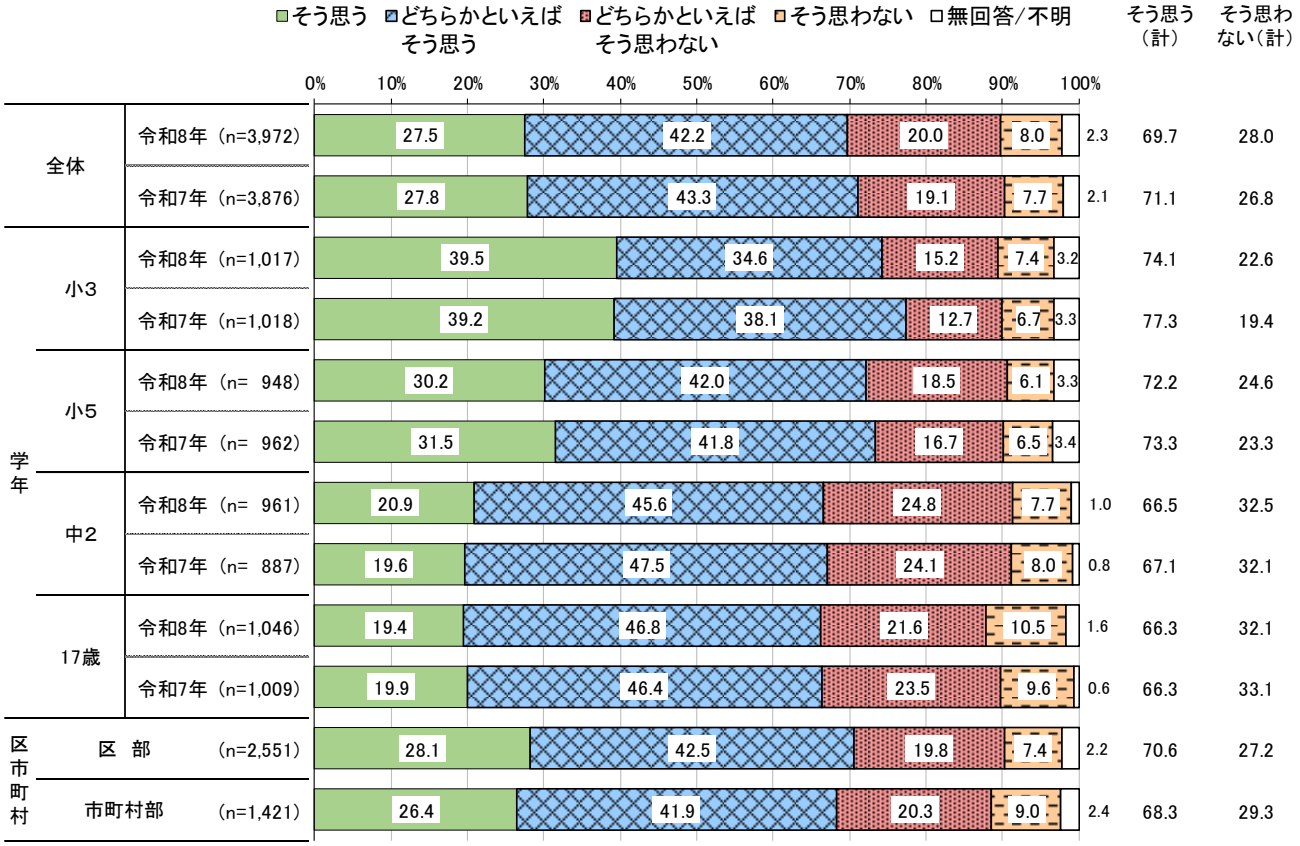
【全体】

「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」とする子供は 69.7%（「そう思う」が 27.5%＋「どちらかといえばそう思う」が 42.2%）である。

【学年別】

「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-49　E 未来の社会を良くするために何か行動しようと思う ＜単一回答＞

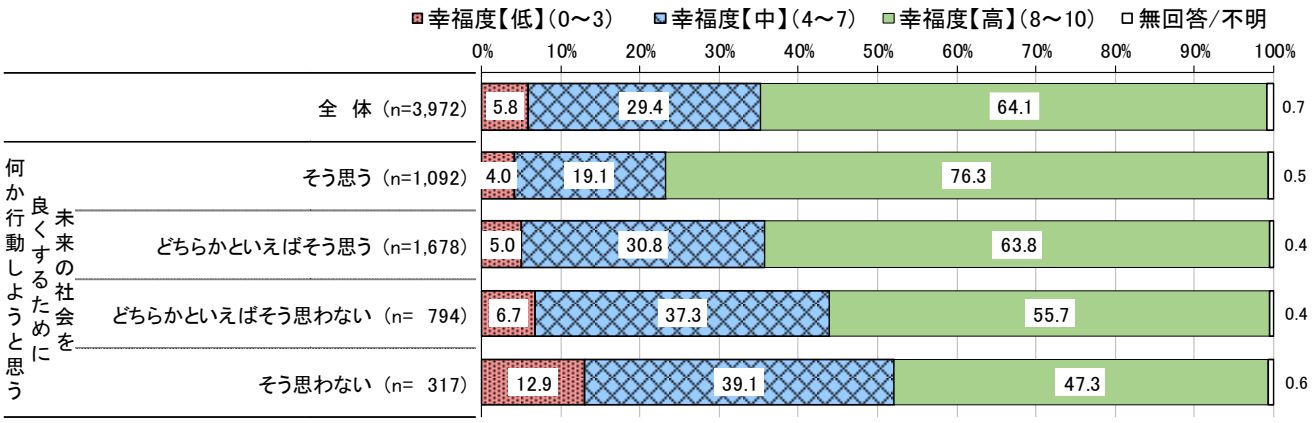


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 76.3%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 47.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-50　子供の幸福度(「未来の社会を良くするために何か行動しようと思う」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

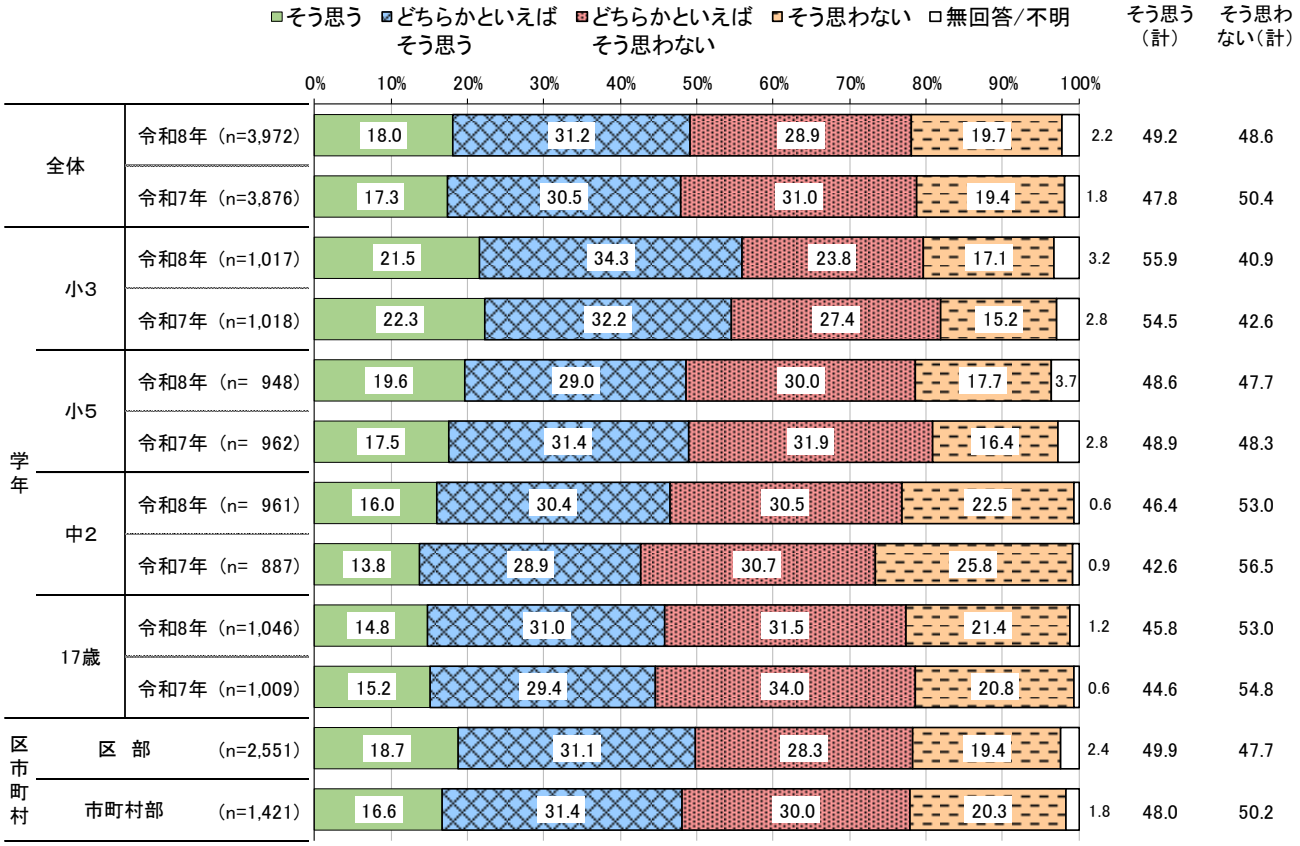
【全体】

「自分の行動で社会を変えられると思う」とする子供は 49.2%（「そう思う」が 18.0%＋「どちらかといえばそう思う」が 31.2%）である。

【学年別】

「自分の行動で社会を変えられると思う」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-51　F　自分の行動で社会を変えられると思う　＜単一回答＞

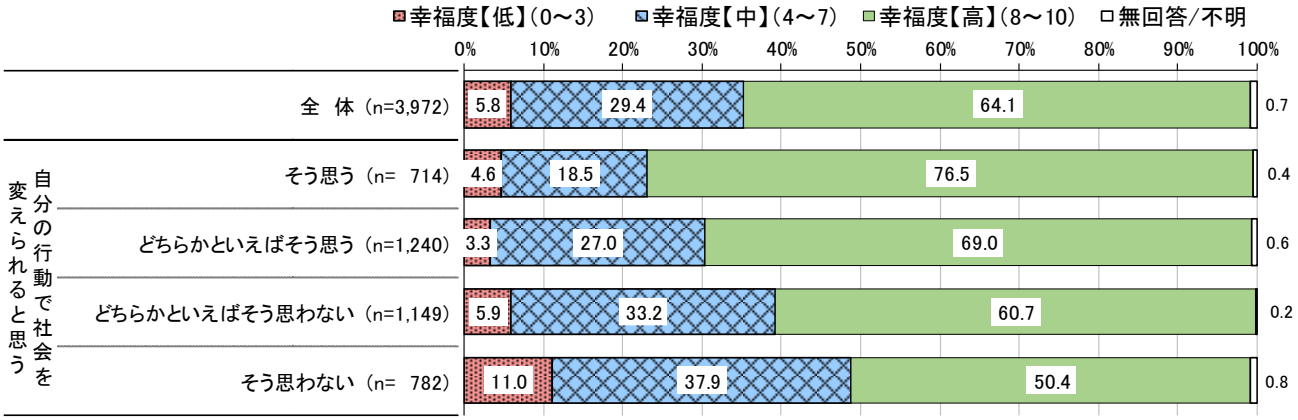


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の行動で社会を変えられると思う」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 76.5%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 50.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-52　子供の幸福度(「自分の行動で社会を変えられると思う」の回答別)



（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）

【全体】

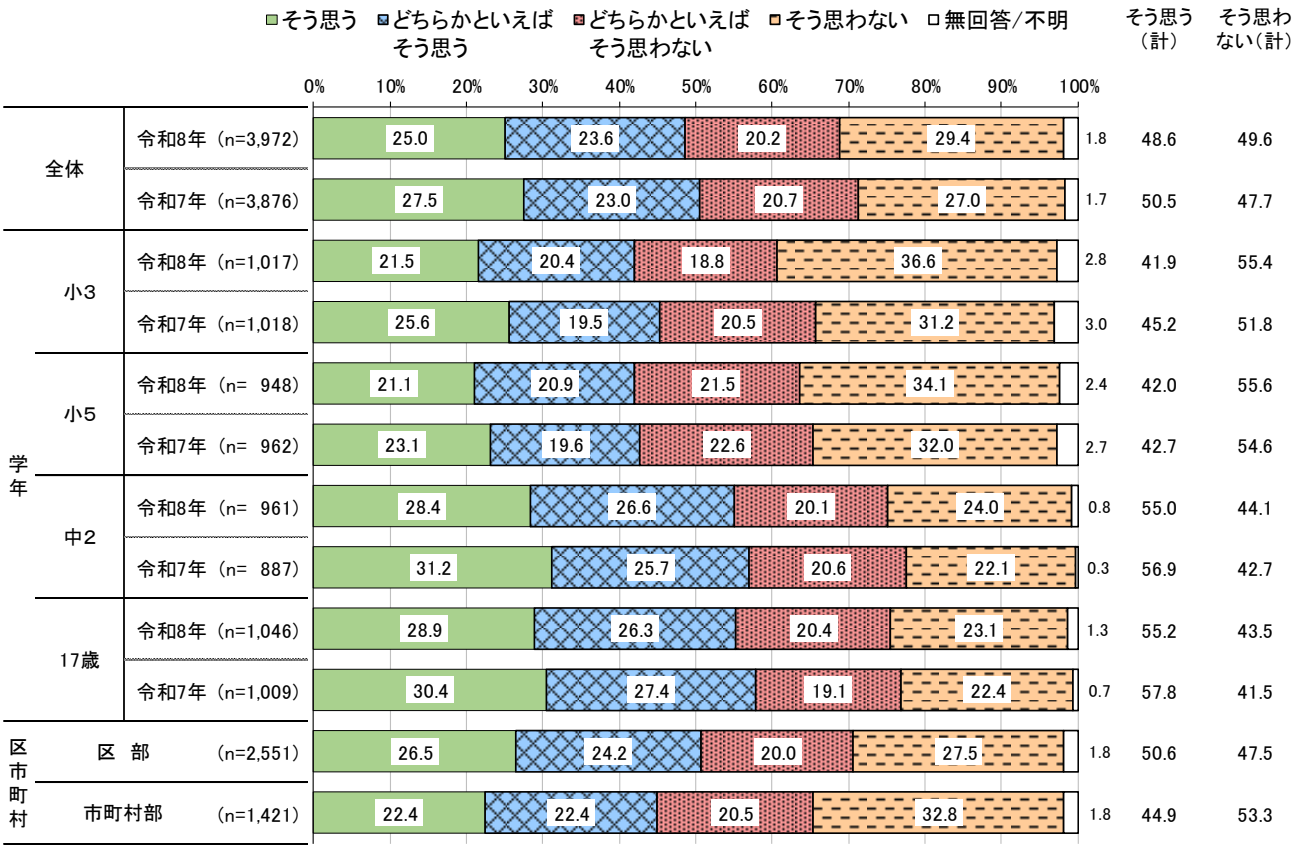
「機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う」とする子供は 48.6%（「そう思う」が 25.0%＋「どちらかといえばそう思う」が 23.6%）である。なお、「そう思わない」が 29.4%で最も高い。

【学年別】

「機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、学年が上がると増加傾向で、小3、小5ではそれぞれ 41.9%、42.0%であるが、中2、17 歳ではそれぞれ 55.0%、55.2%である。

経年比較でみると、小3で「そう思わない」が、5.4 ポイント増加している。

図表 1-53 G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う ＜単一回答＞

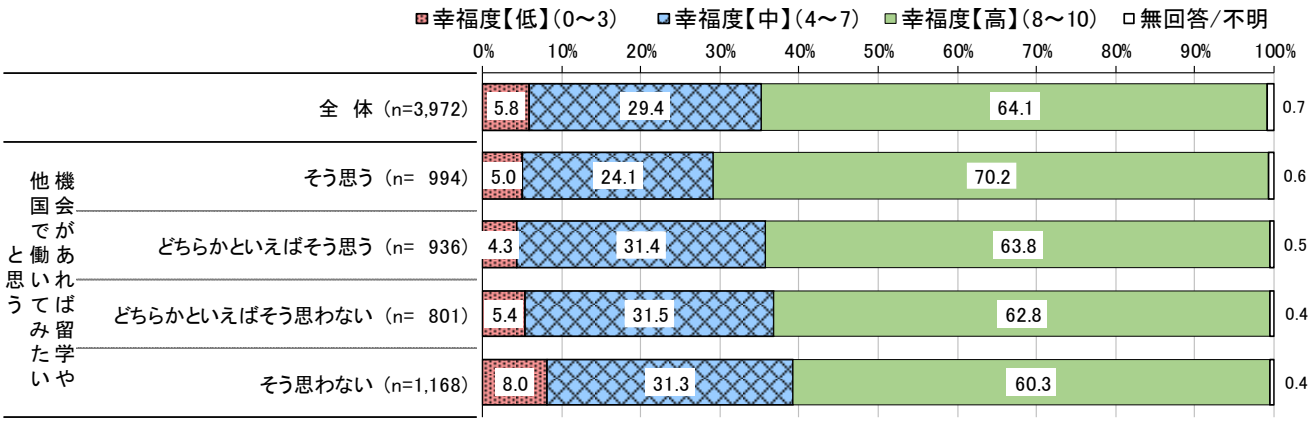


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の70.2%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 60.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-54　子供の幸福度(「機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う」の回答別)



（子供：共通）問 17. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（A　学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ）

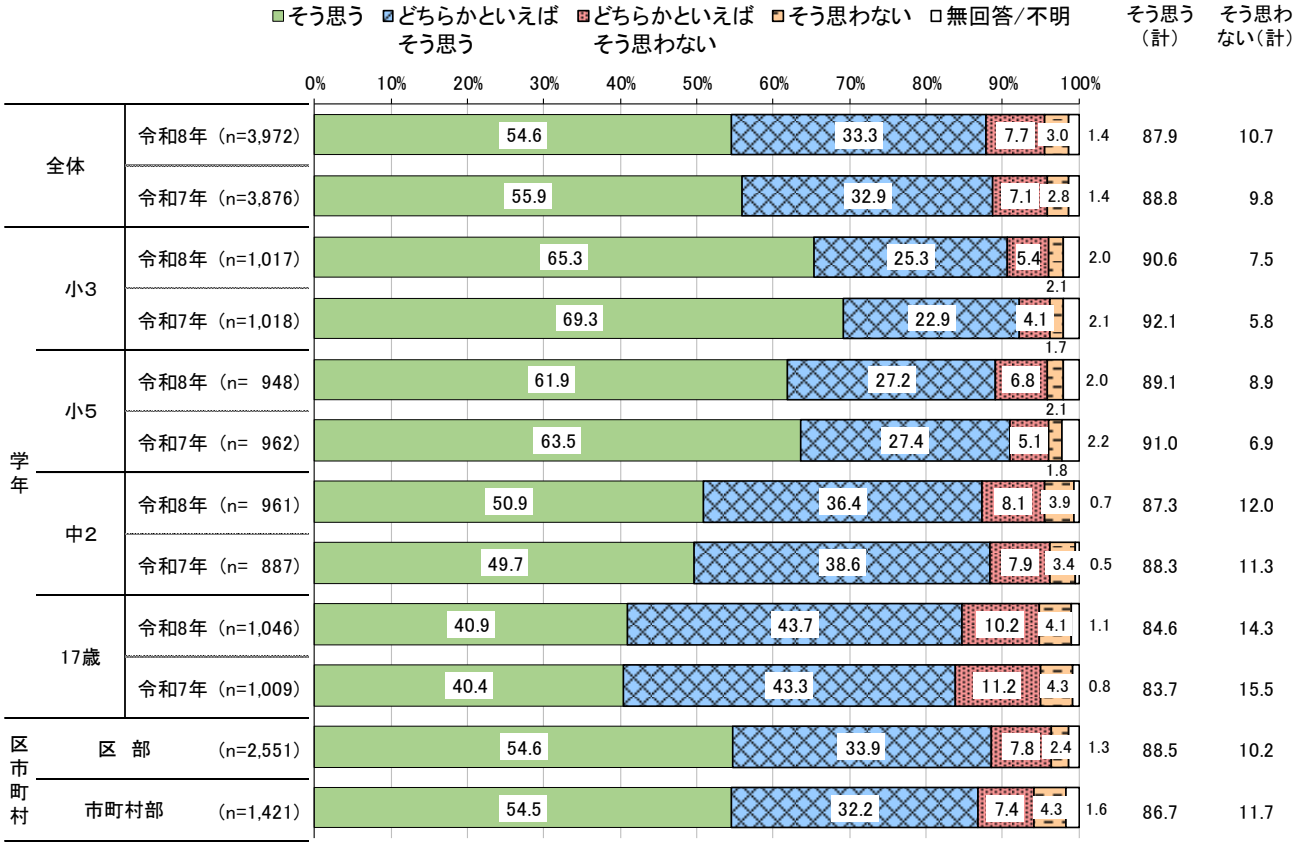
【全体】

「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」とする子供は 87.9%（「そう思う」が 54.6%＋「どちらかといえばそう思う」が 33.3%）である。

【学年別】

「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-55　A 学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ ＜単一回答＞

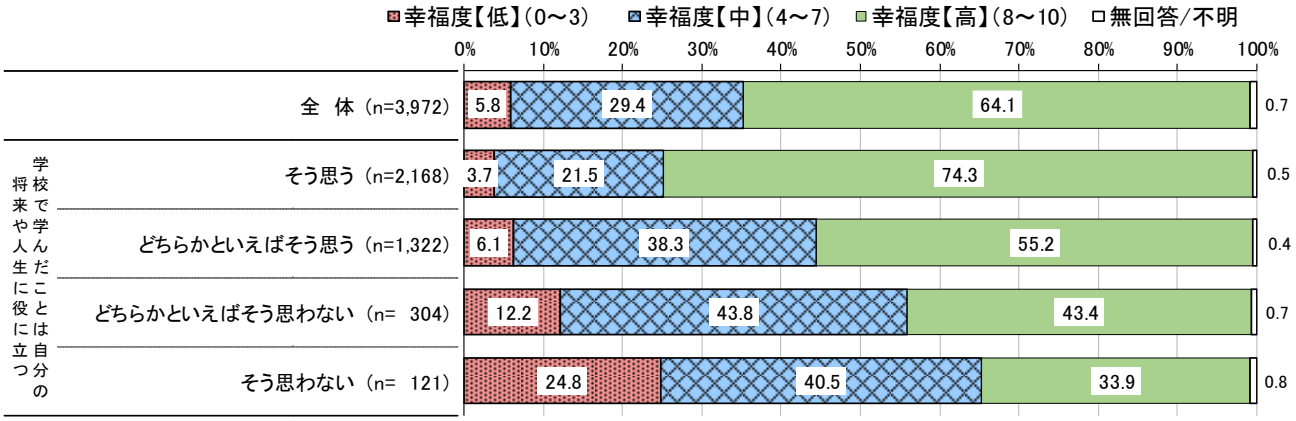


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 74.3%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 33.9%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「そう思わない」と回答した子供の 24.8%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-56　子供の幸福度(「学校で学んだことは自分の将来や人生にとって役に立つ」の回答別)



（子供：共通）問 17. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（B　学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）

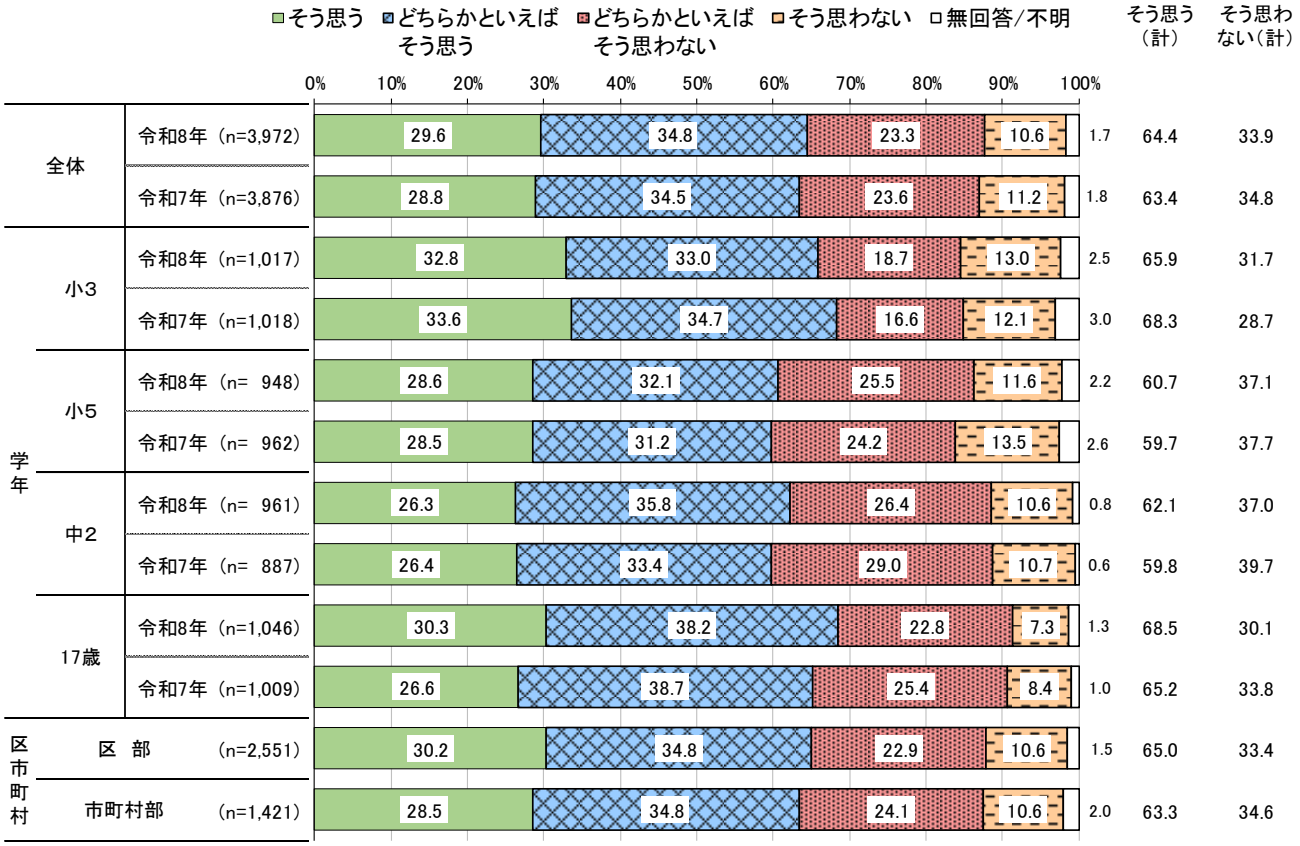
【全体】

「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」とする子供は 64.4%（「そう思う」が 29.6%＋「どちらかといえばそう思う」が 34.8%）である。

【学年別】

「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、17 歳で最も高く、68.5%である。

図表 1-57　B 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい　＜単一回答＞

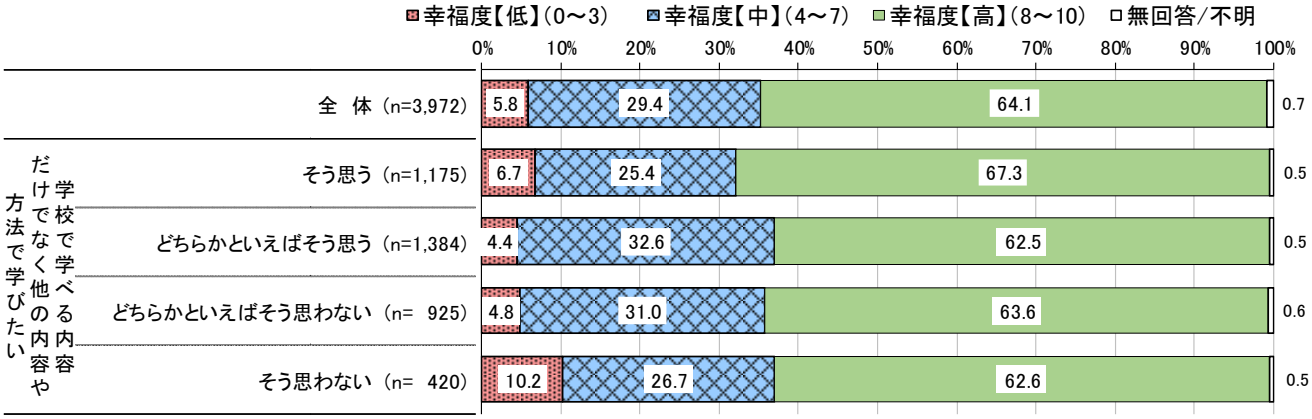


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 67.3%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 62.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-58　子供の幸福度(「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」の回答別)



（子供：共通）問 17. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

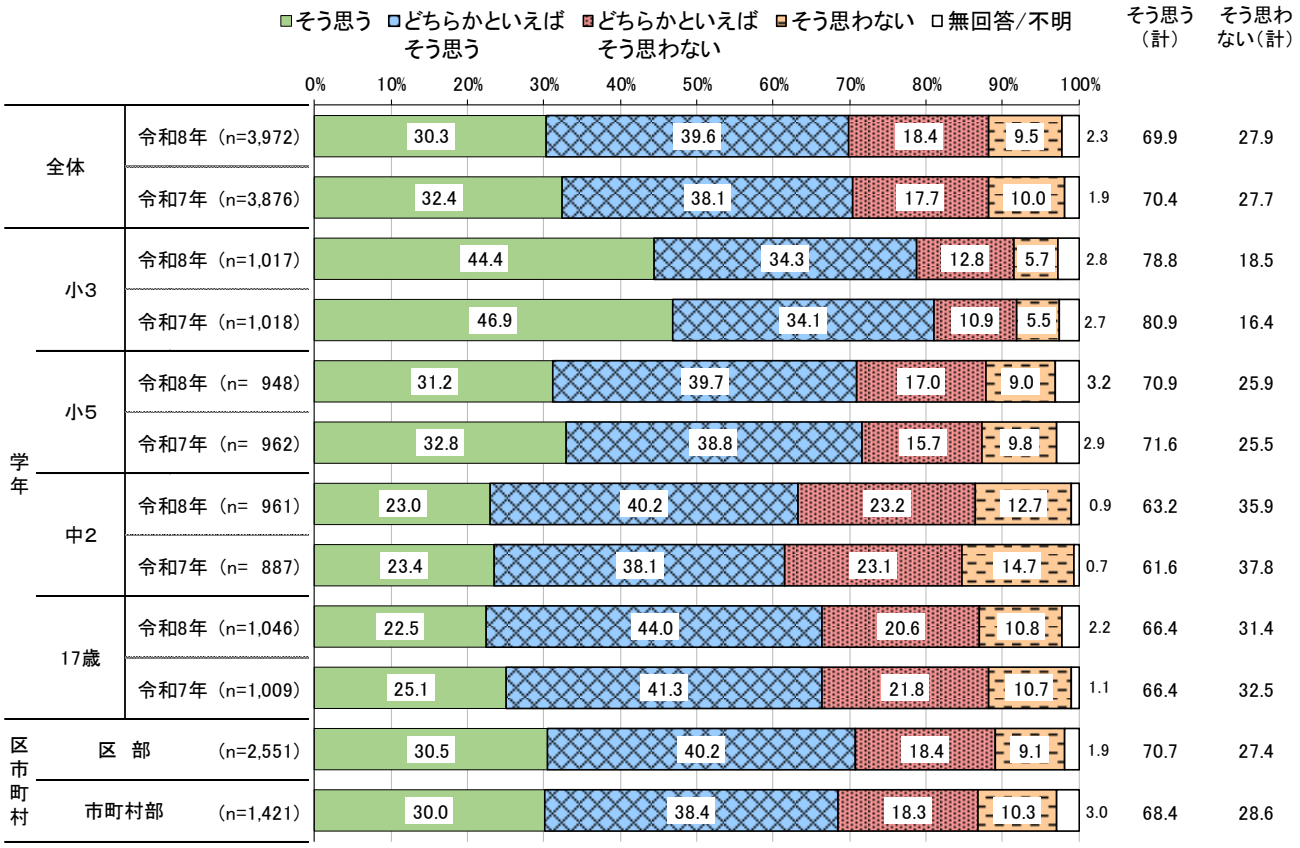
【全体】

「学ぶことが楽しい」とする子供は 69.9%（「そう思う」が 30.3%＋「どちらかといえばそう思う」が 39.6%）である。

【学年別】

「学ぶことが楽しい」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小3で最も高く、78.8%である。

図表 1-59　C　学ぶことが楽しい　＜単一回答＞

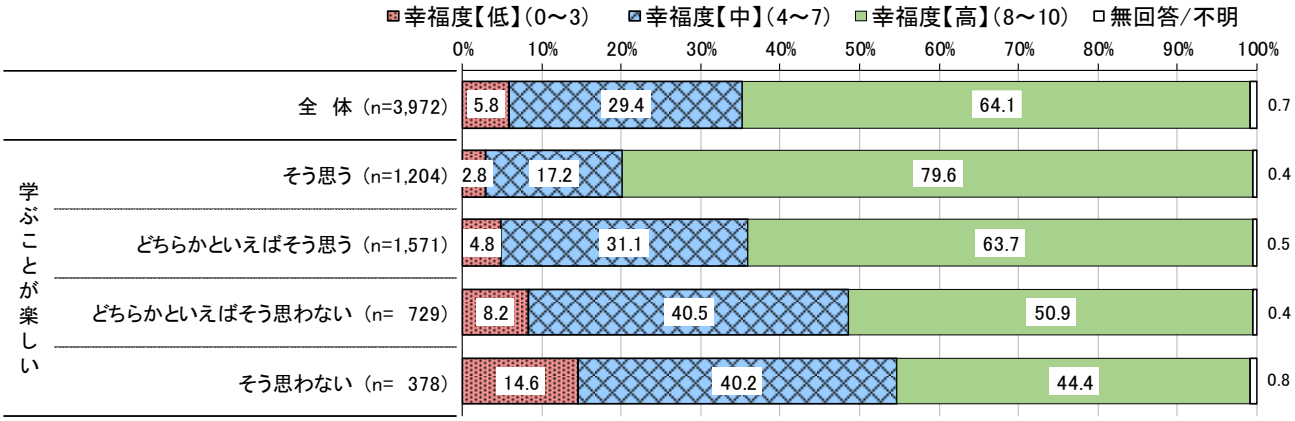


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「学ぶことが楽しい」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 79.6%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 44.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-60　子供の幸福度(「学ぶことが楽しい」の回答別)



（子供：共通）問 17. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（D　良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない）

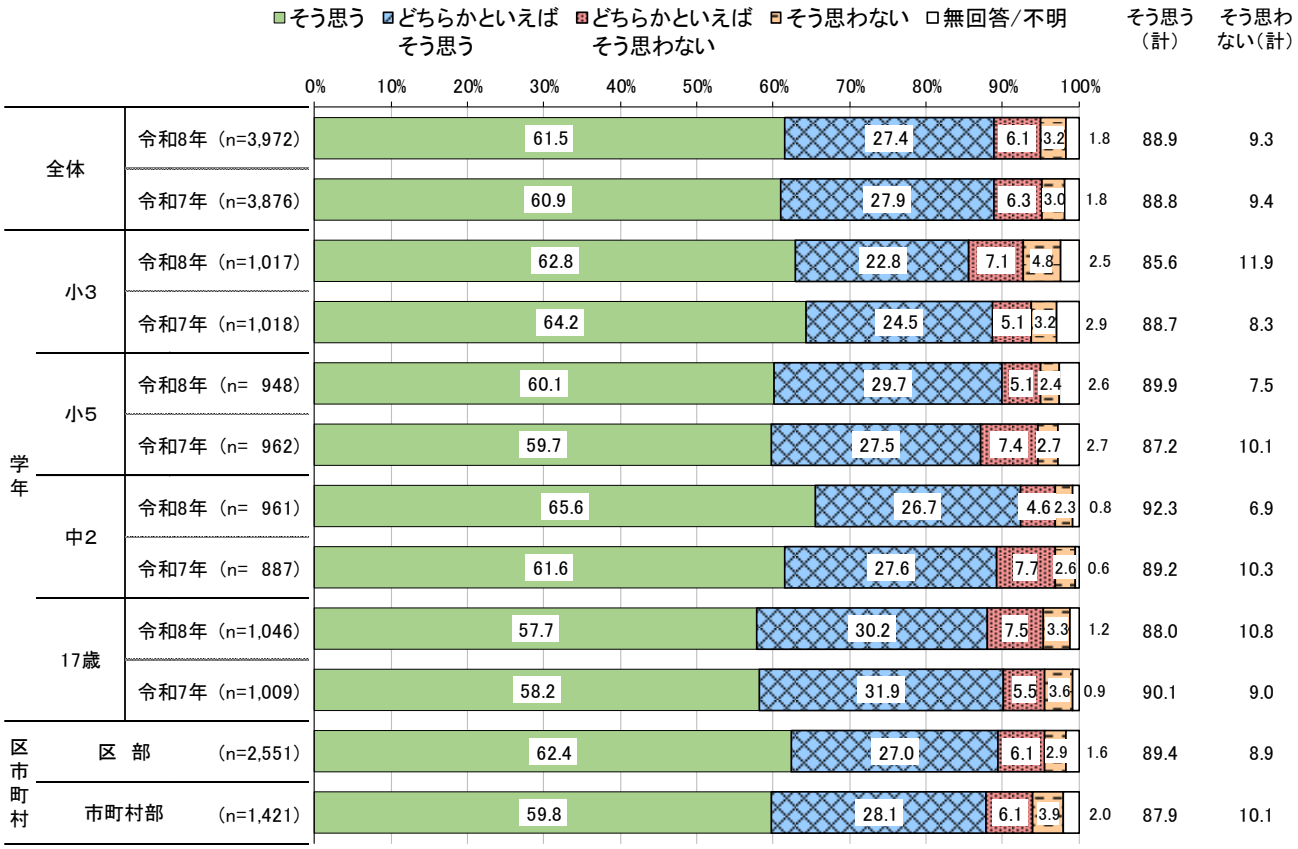
【全体】

「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」とする子供は 88.9%（「そう思う」が 61.5%＋「どちらかといえばそう思う」が 27.4%）である。

【学年別】

「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」とする子供（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、中2で最も高く、92.3%である。

図表 1-61　D 良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない＜単一回答＞

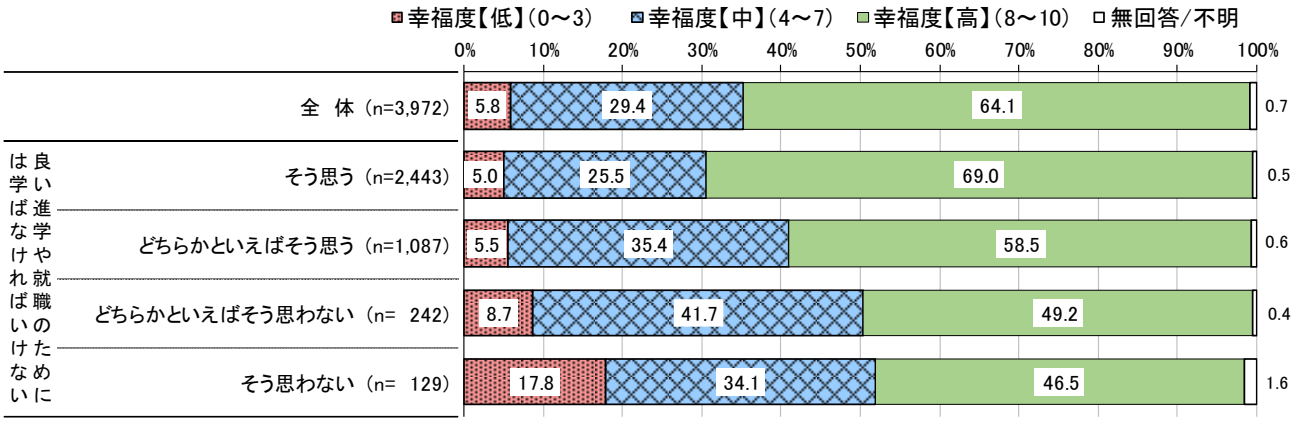


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 69.0%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 46.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-62　子供の幸福度(「良い学校に進学したり、良い会社に就職するためには、学ばなければいけない」の回答別)



（子供：共通）問 18. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

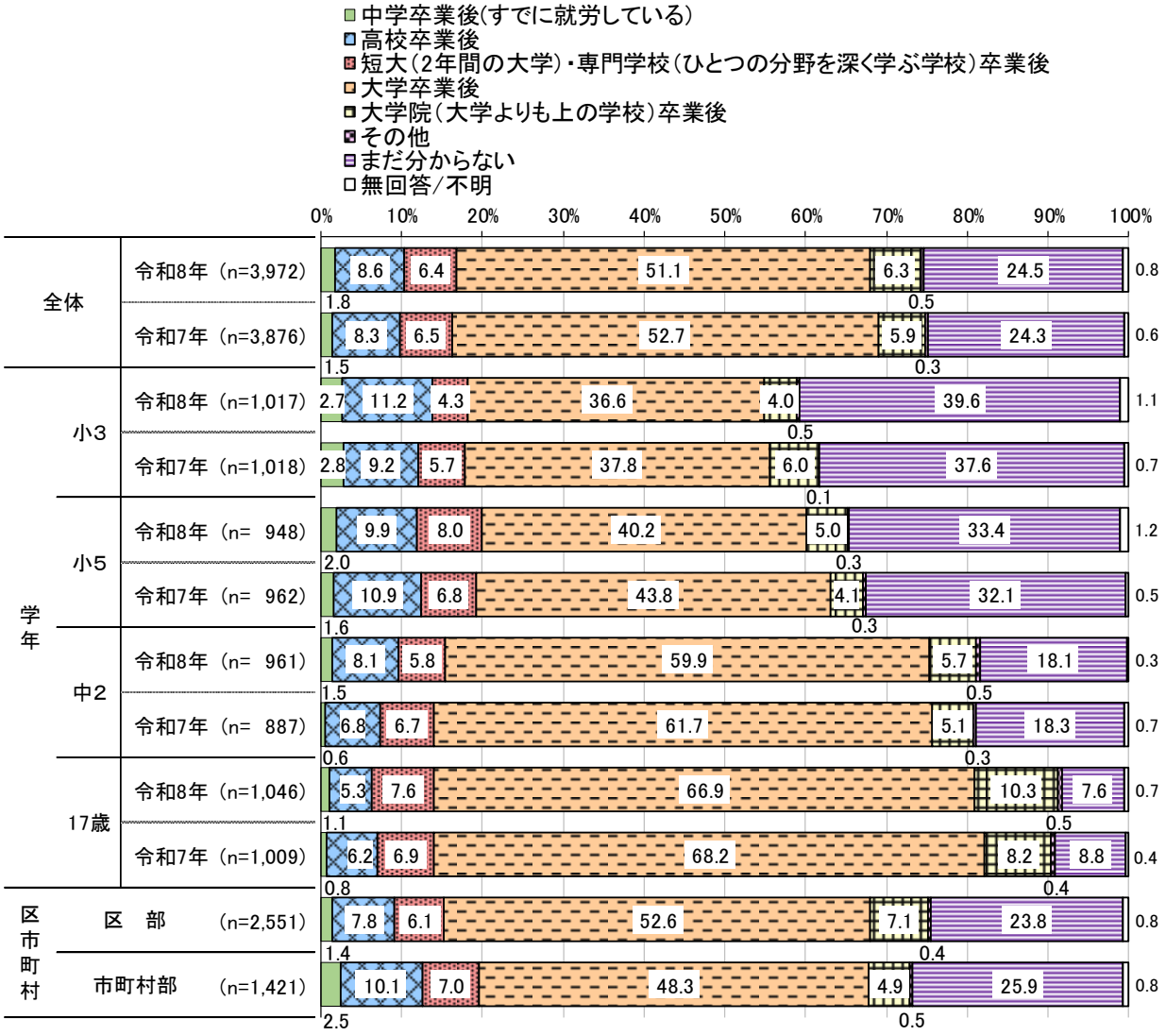
【全体】

「大学卒業後」が 51.1％で最も高く、「高校卒業後」が 8.6％である。なお、「まだ分からない」は 24.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「大学卒業後」が最も高く、学年が上がると増加傾向である。一方、「まだ分からない」は、学年が上がると減少傾向である。

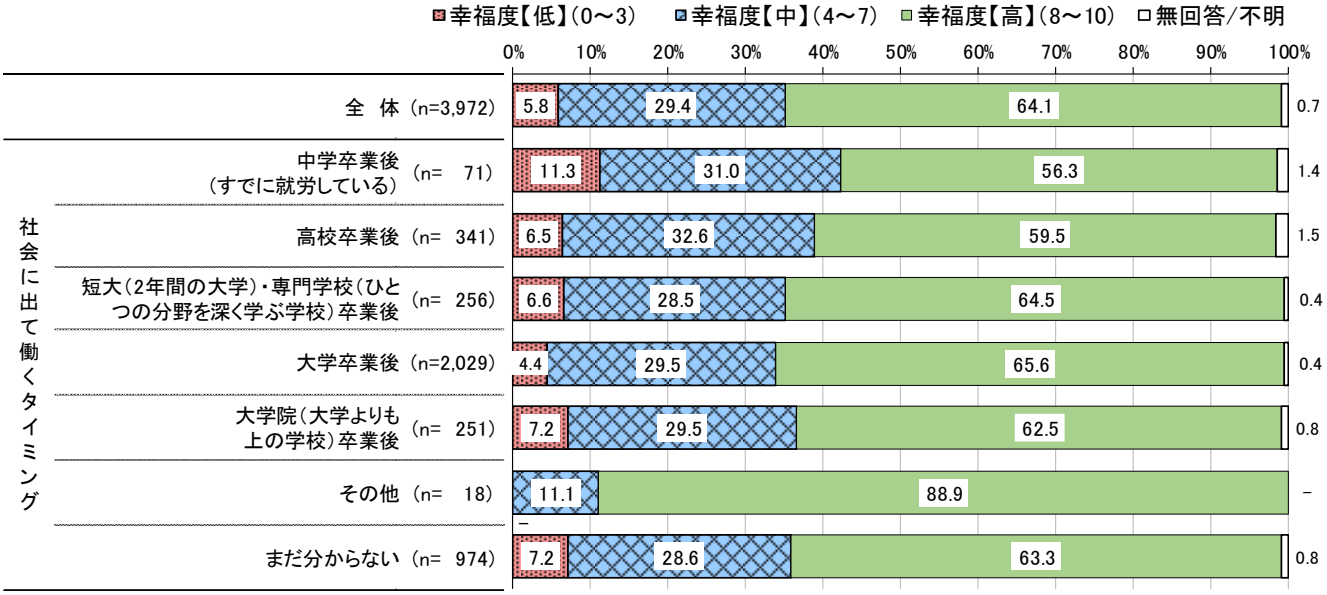
図表 1-63　社会に出て働くタイミング　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「社会に出て働くタイミング」の回答別に子供の幸福度をみると、「大学卒業後」と回答した子供の 65.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-64　子供の幸福度(「社会に出て働くタイミング」の回答別)



【自由記述】

その他（社会に出て働くタイミング）
大学二年生のとき（子供・小3）
やらないと思う（子供・小3）
大学か高校卒業してから（子供・小5）
航空学校（子供・小5）
自分の目指す仕事のための資格がとれるまで（子供・中2）
高校か大学（子供・中2）
国家資格習得後（子供・中2）
海外に留学した後（子供・中2）

（子供：共通）問 19. あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。
（いくつでも）

【全体】

将来像や進路を難しくしている問題の中では、「自分の努力不足」が 40.7%で最も高く、次いで「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない」が 31.3%、「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」が 23.4%と続く。なお、「まだ分からない」が 24.3%、「特に問題はない」が 11.1%である。

【学年別】

中2、17 歳では「自分の努力不足」がそれぞれ 58.2%、57.9%と最も高い。また、「希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法や進路を叶える方法）が分からない」は、学年が上がると増加傾向である。一方、「まだ分からない」は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-65　将来像や進路を難しくしている問題　＜複数回答＞

(%)

		n	進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	親／保護者の理解が得られない（わかってくれない）、考え方の違い（意見が合わない）	自分の健康上の問題	自分の努力不足	その他	まだ分からない
全　体	令和8年	3,972	23.4	31.3	6.3	8.3	40.7	1.7	24.3
	令和7年	3,876	22.3	30.5	5.4	7.8	38.9	1.5	24.2
学年 小3	令和8年	1,017	21.7	19.1	4.9	8.5	15.8	0.7	39.0
	令和7年	1,018	19.5	20.4	5.0	6.5	18.2	1.0	36.7
学年 小5	令和8年	948	23.9	23.3	4.6	8.8	30.7	2.0	31.6
	令和7年	962	26.1	24.0	4.1	10.1	30.4	1.6	29.6
学年 中2	令和8年	961	20.9	40.1	8.8	7.4	58.2	2.8	17.4
	令和7年	887	19.8	36.0	7.4	7.2	52.0	1.7	19.2
学年 17歳	令和8年	1,046	27.0	42.4	6.9	8.4	57.9	1.3	9.8
	令和7年	1,009	23.8	42.0	5.3	7.4	56.5	2.0	10.7
区市町村 区　部		2,551	22.5	31.4	6.9	8.2	40.7	1.7	24.3
区市町村 市町村部		1,421	25.1	31.2	5.3	8.4	40.7	1.6	24.3

		特に問題はない	無回答／不明	将来像や進路に問題がある（計）
全　体	令和8年	11.1	0.9	63.7
	令和7年	12.0	0.7	63.1
学年 小3	令和8年	19.2	1.1	40.7
	令和7年	19.3	1.4	42.6
学年 小5	令和8年	14.5	1.3	52.6
	令和7年	15.4	0.6	54.4
学年 中2	令和8年	5.6	0.3	76.7
	令和7年	7.7	0.5	72.7
学年 17歳	令和8年	5.3	0.8	84.2
	令和7年	5.4	0.5	83.4
区市町村 区　部		11.1	0.9	63.7
区市町村 市町村部		11.1	0.8	63.8

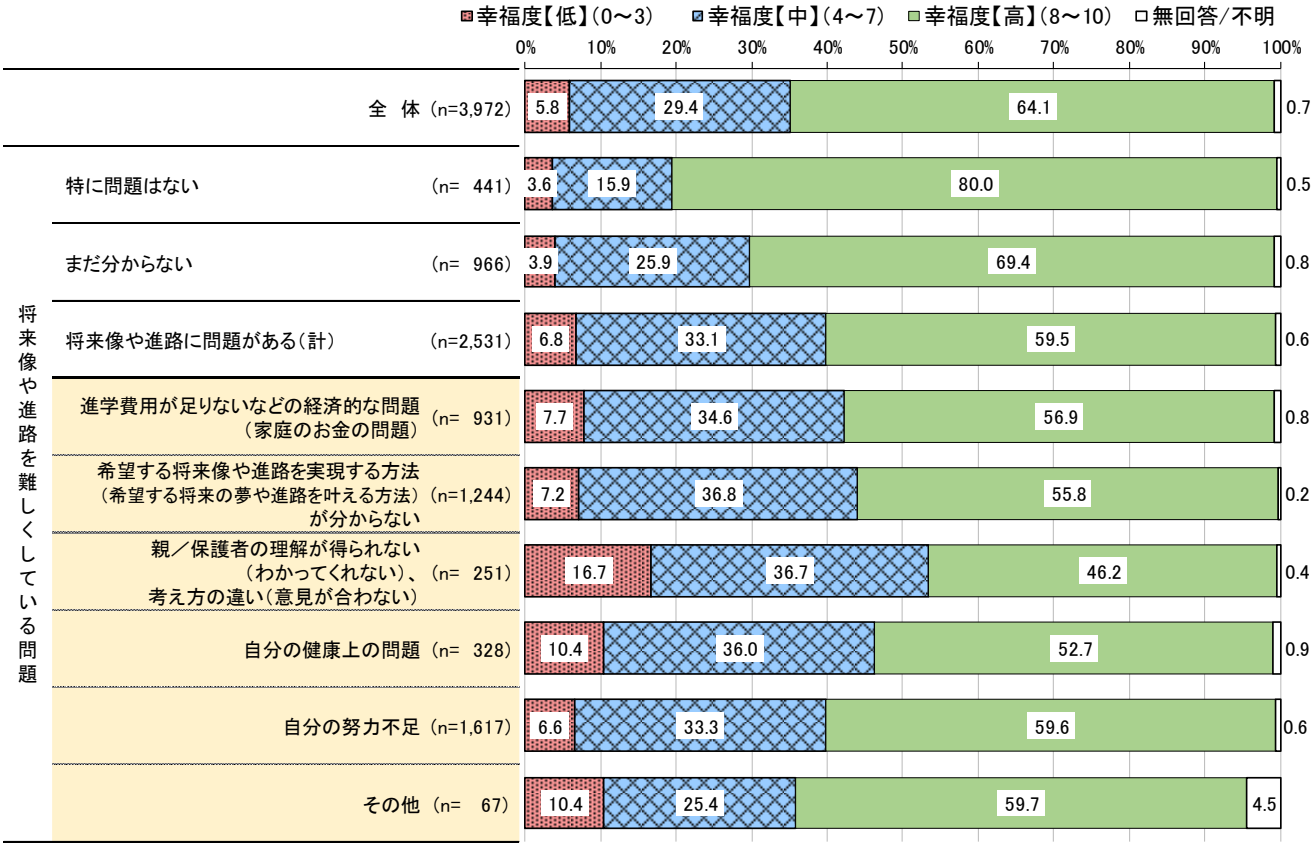
※将来像や進路に問題がある（計）は、「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「自分の努力不足」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「将来像や進路を難しくしている問題」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「将来像や進路に問題がある(計)」と回答した子供の 59.5%が幸福度【高】(8～10)で、「特に問題はない」と回答した子供の 80.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-66　子供の幸福度(「将来像や進路を難しくしている問題」の回答別)



【自由記述】

その他（将来像や進路を難しくしている問題）
パニックになっちゃう（子供・小3）
サッカー選手になりたいけどなれるか分からない（子供・小3）
はならびがわるい（子供・小3）
家てい（子供・小3）
自分の学力（子供・小5）
自分の諦めない心（子供・小5）
選ばれないかもしれない、進路（子供・小5）
叶ったときにちゃんと活躍できるのか（子供・小5）
しけんにうかるかどうか（子供・小5）
その仕事がなくなるかもしれない（子供・小5）
自由にくらせるか（子供・小5）
友達との関係（子供・小5）
塾のせいでサッカーの練習の時間がない（子供・小5）
勉強が分からない（子供・中2）
学力が足りるかわからない（子供・中2）
親のかいご（子供・中2）
親の健康上の問題（子供・中2）
自分の精神上の問題（子供・中2）
自分自身のやる気のなさや、相談できる人がいるのか（子供・中2）
不安（子供・中2）
自分の将来の夢が今はファッションモデルあたりで命の安全（変人がいるから）とか、そういうぎょうかいでやってけるか不安（子供・中2）
経験したことのないことに迷ってテンパる（子供・中2）
テストに受かるか分からない（子供・中2）
将来像をたててしまってそれにしばられたくはない（子供・中2）
自分の性格（子供・中2）
まだ親に夢を伝えられていない（子供・中2）
通学時間など（子供・中2）
学力不足（子供・17 歳）
医学部だから色々と考えることあります。（子供・17 歳）
音楽の道なのでコンクール入賞に左右されるからです（子供・17 歳）
グループホーム不足（子供・17 歳）
中学・高校と、内申制度を撤廃してほしい。（特に、中学の副教科2倍）（子供・17 歳）
資格の取得（子供・17 歳）
未来の社会の先行きが見えない（子供・17 歳）
不登校（子供・17 歳）

（子供：17 歳、中2）問 20. あなたは学習や進路に関して、どのようなサポートがあればよいと思いますか。
（いくつでも）

【全体】

「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」が 59.1％で最も高く、次いで「家・学校以外で勉強に集中できる場所」が 49.0％、「学費や生活費などの経済的な支援」が 37.0％と続く。なお、何らか「サポート希望あり（計）」は 90.5％である。

【学年別】

中2と 17 歳のいずれでも「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」が最も高い。

図表 1-67　学習や進路に関してあったら良いサポート　＜複数回答＞

(%)

			n	勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人	家・学校以外で勉強に集中できる場所	学費や生活費などの経済的な支援	学校に行きづらい人でも勉強できる場所	グローバル・デジタルなど先端・専門的な分野が学べる機会	体験学習（芸術文化・ビジネス体験など）ができる機会	海外留学するための情報提供や支援【R8新規】	その他
全　体		令和8年	2,007	59.1	49.0	37.0	17.2	18.1	24.3	19.4	1.3
		令和7年	1,896	57.5	49.2	36.3	19.9	20.3	27.5		1.2
学年	中2	令和8年	961	64.4	49.1	35.9	19.3	19.3	25.8	19.8	1.6
		令和7年	887	61.4	48.1	33.9	22.0	22.0	29.1		0.9
	17歳	令和8年	1,046	54.3	48.9	38.0	15.4	17.1	22.8	19.1	1.1
		令和7年	1,009	54.0	50.1	38.5	18.0	18.8	26.1		1.4
区市町村	区　部		1,276	58.2	49.9	35.7	16.6	17.4	24.7	20.5	1.1
	市町村部		731	60.7	47.3	39.4	18.3	19.4	23.5	17.5	1.8

			特にない	無回答／不明	サポート希望あり（計）
全　体		令和8年	9.0	0.4	90.5
		令和7年	9.2	0.4	90.4
学年	中2	令和8年	9.6	0.2	90.2
		令和7年	10.5	0.3	89.2
	17歳	令和8年	8.5	0.7	90.8
		令和7年	8.1	0.4	91.5
区市町村	区　部		8.7	0.3	91.0
	市町村部		9.6	0.7	89.7

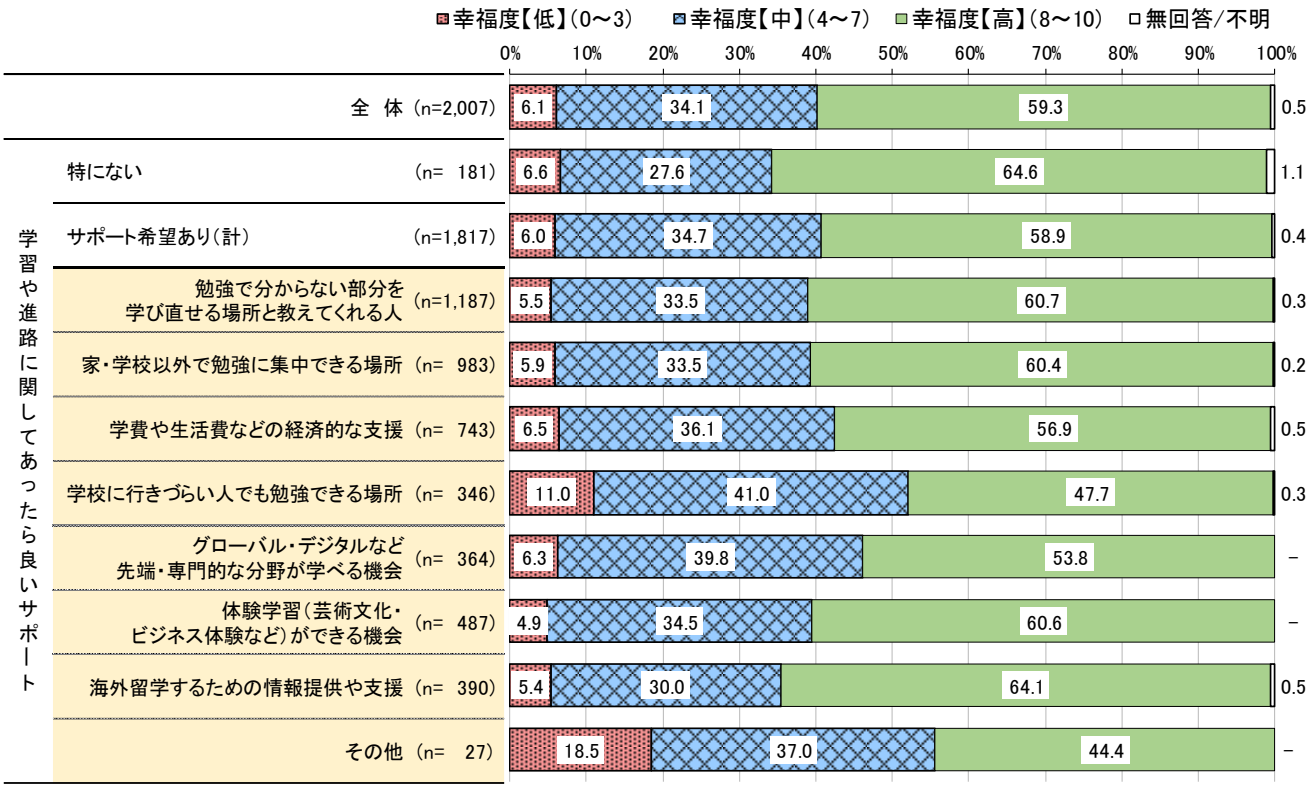
※サポート希望あり（計）は「勉強で分からない部分を学び直せる場所と教えてくれる人」～「海外留学するための情報提供や支援」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「学習や進路に関してあったら良いサポート」の回答別に子供の幸福度をみると、「サポート希望あり(計)」と回答した子供の 58.9%が幸福度【高】(8～10)で、「特にない」と回答した子供の 64.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-68　子供の幸福度(「学習や進路に関してあったら良いサポート」の回答別)



【自由記述】

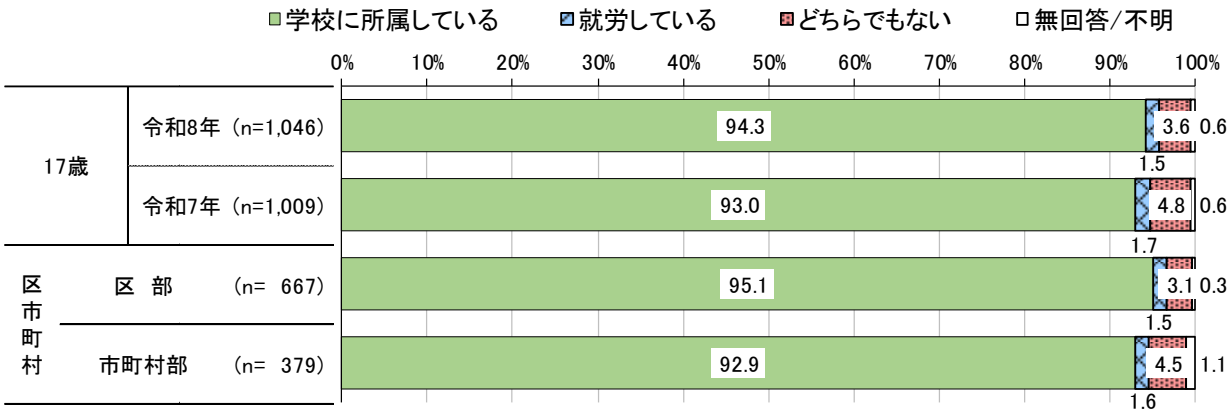
その他（学習や進路に関してあったら良いサポート）
生徒一人一人に合った教え方や内容があると良いと思う。（子供・中2）
自分のやる気を出してくれる支援（子供・中2）
学校の文化部等における前例のない活動への容認（子供・中2）
自分にあう進路を示してくれる（子供・中2）
静かで緑がいっぱいの心を休められるところ（子供・中2）
自分では学ばずAIに教えてもらう（子供・中2）
私のやる気を出してくれる人（子供・中2）
ゆうわくに勝つ方法を教えてくれる人（子供・中2）
進路についてどのような選択肢があるか提供してくれる場（子供・17歳）
信頼ができる第三者の助け（子供・17歳）
重度の障害者雇用支援（子供・17歳）
自分の進路について相談できる場所（子供・17歳）
学習や進路で悩んでいることを相談でき、アドバイスをくれる人（子供・17歳）
背中を押してくれる大人（子供・17歳）
学習や進路、その他家庭のことなどを相談する場所（子供・17歳）
まだどんな仕事をしたいか決まっていないので、そのことについて本心を安心して話せる人と場所。（子供・17歳）

（子供：17 歳）問 21. あなたは学校に所属または就労（アルバイトを含む）していますか。（1つだけ）
学校に所属しながら就労している場合は「学校に所属している」を選択してください。学校には通信制や定時制を含み、実際に登校している頻度は問いません。

【全体】

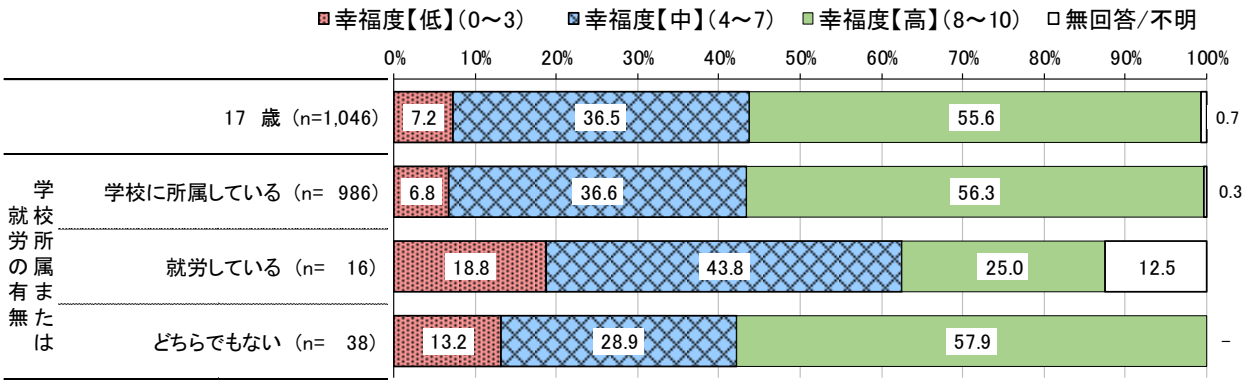
「学校に所属している」は 94.3%、「どちらでもない」が 3.6%、「就労している」が 1.5%である。

図表 1-69 学校（通信制や定時制を含む）所属または就労の有無 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

図表 1-70　子供の幸福度（「学校（通信制や定時制を含む）所属または就労の有無」の回答別）



（子供：共通）問 22.【問 20 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたは学校または職場が好きですか。（1つだけ）

【全体】

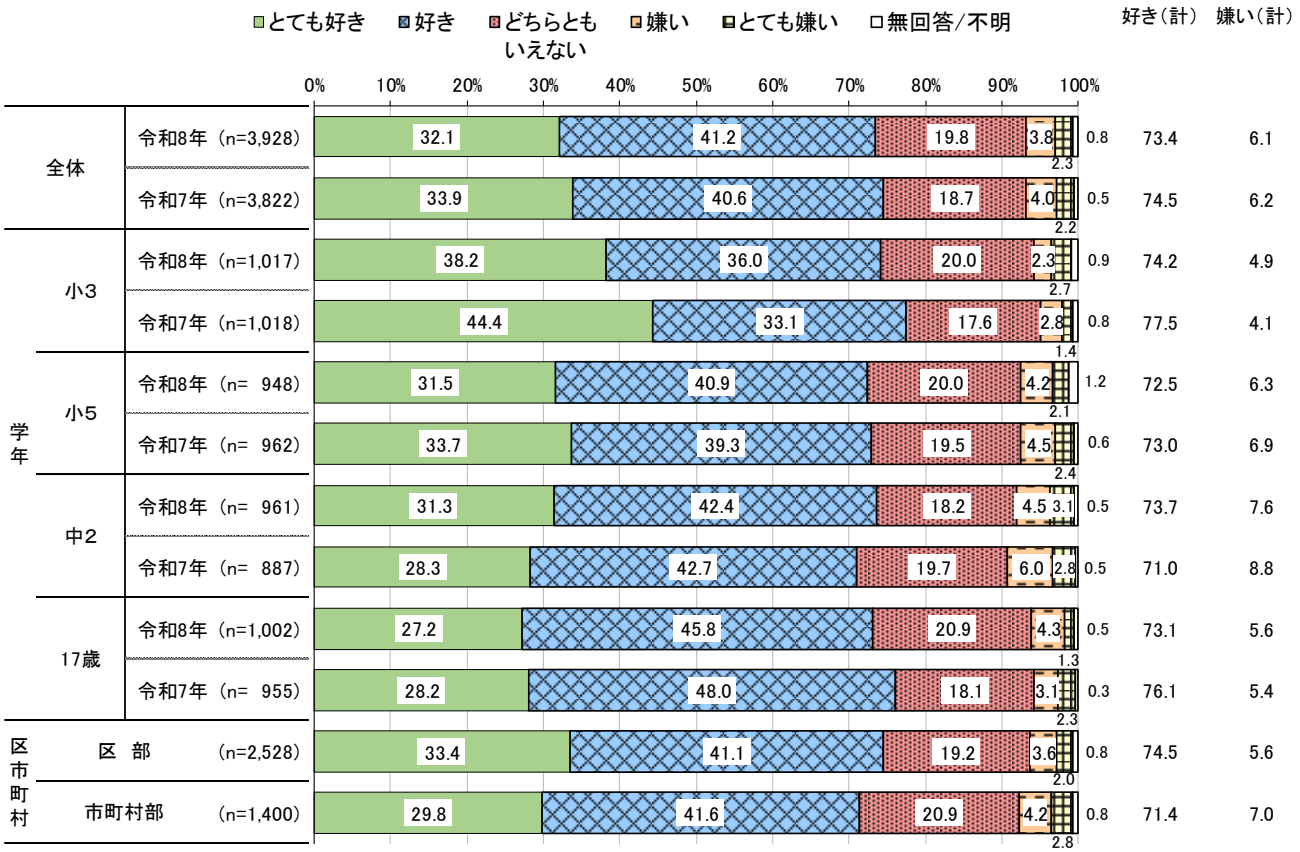
「好き」とする子供は 73.4%（「とても好き」が 32.1%＋「好き」が 41.2%）である。

【学年別】

小3では「とても好き」が最も高く、小5、中2、17 歳では「好き」が最も高い。

経年比較でみると、小3で「とても好き」が 6.2 ポイント減少している。

図表 1-71 学校または職場が好きか ＜単一回答＞

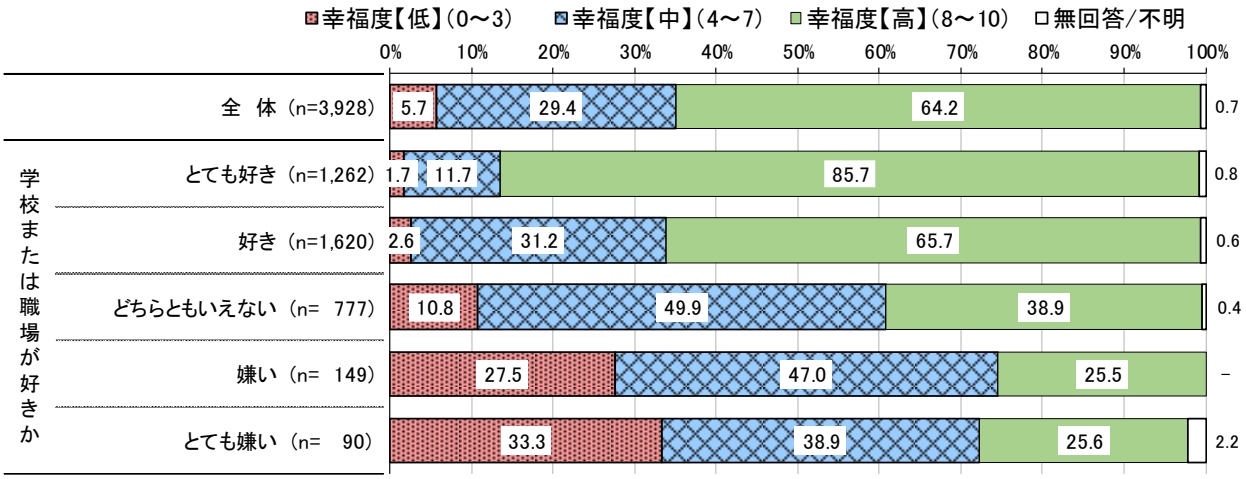


※好き（計）は「とても好き」及び「好き」の割合。
嫌い（計）は「とても嫌い」及び「嫌い」の割合。

【子供の幸福度】

「学校または職場が好きか」の回答別に幸福度をみると、「とても好き」と回答した子供の 85.7%が幸福度【高】(8～10)で、「とても嫌い」と回答した子供の 25.6%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「とても嫌い」と回答した子供の 33.3%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-72　子供の幸福度(「学校または職場が好きか」の回答別)



（子供：共通）問 23.【問 21 で「学校に所属している」と答えた方にお聞きします。】
学校について、不満に感じることはありますか。（いくつでも）

【全体】

学校について不満に感じることの中では、「友達や先輩・後輩との関係（友達関係のこと）（苦手な人がいる、仲の良い人がいないなど）」が 24.3％で最も高く、次いで「先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）」が 19.6％、「授業が難しい」が 18.4％、「校則など生活上のルールが厳しい」が 16.3％と続く。なお、「特にない」は 33.8％である。

【学年別】

何らか「学校への不満がある（計）」と回答した子供は、小3、小5（それぞれ 55.9％、56.4％）と比べて、中2、17 歳（それぞれ 69.4％、78.1％）のほうが高い。学校について不満に感じることの中では、中2では「友達や先輩・後輩との関係（友達関係のこと）（苦手な人がいる、仲の良い人がいないなど）」が 28.8％で最も高く、17 歳では「先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）」が 29.9％で最も高い。

図表 1-73 学校について不満に感じること ＜複数回答＞

(%)

			n	授業が簡単すぎる	授業が難しい	先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）	友達や先輩・後輩との関係（友達関係のこと）（苦手な人がいる、仲が良い人がいないなど）	行事に関すること（行事のこと）（参加したくない行事があるなど）	雰囲気・居心地	校則など生活上のルールが厳しい
全体		令和8年	3,912	8.3	18.4	19.6	24.3	10.7	10.5	16.3
		令和7年	3,805	9.2	16.9	18.3	23.4	11.6	10.8	16.2
学年	小3	令和8年	1,017	14.1	18.0	11.0	18.5	8.7	5.7	8.2
		令和7年	1,018	14.0	15.9	9.0	18.6	10.1	5.0	7.8
	小5	令和8年	948	12.3	12.9	14.0	26.1	11.5	7.6	9.1
		令和7年	962	14.7	12.2	13.0	26.0	12.0	8.6	8.7
	中2	令和8年	961	3.5	21.3	23.6	28.8	11.3	12.9	21.2
		令和7年	887	3.8	19.2	26.6	26.7	11.8	15.0	21.9
	17歳	令和8年	986	3.2	21.1	29.9	24.3	11.4	16.0	26.7
		令和7年	938	3.4	20.6	26.1	22.8	12.5	15.4	27.7
区市町村	区部		2,518	8.8	18.0	19.6	24.0	11.1	10.0	16.6
	市町村部		1,394	7.5	18.9	19.6	25.0	9.9	11.5	15.6

			施設に関すること（施設のこと）（古い・狭い・暗い・使いづらいなど）	学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活（クラブ活動）で使う道具など）が高い	その他	特にない	無回答/不明	学校への不満がある（計）
全体		令和8年	12.8	8.3	2.2	33.8	1.2	65.0
		令和7年	12.6	8.1	2.4	34.0	1.0	65.0
学年	小3	令和8年	7.6	3.2	2.0	43.0	1.1	55.9
		令和7年	6.1	3.9	1.1	47.2	1.0	51.8
	小5	令和8年	7.1	3.5	2.0	41.9	1.7	56.4
		令和7年	8.8	4.3	2.3	39.9	1.2	58.8
	中2	令和8年	14.5	9.5	2.7	29.1	1.5	69.4
		令和7年	16.7	9.2	2.6	25.5	1.1	73.4
	17歳	令和8年	22.2	17.0	2.3	21.2	0.7	78.1
		令和7年	19.7	15.6	3.8	21.7	0.5	77.7
区市町村	区部		12.4	8.3	1.9	34.1	1.3	64.6
	市町村部		13.6	8.3	2.9	33.3	1.1	65.6

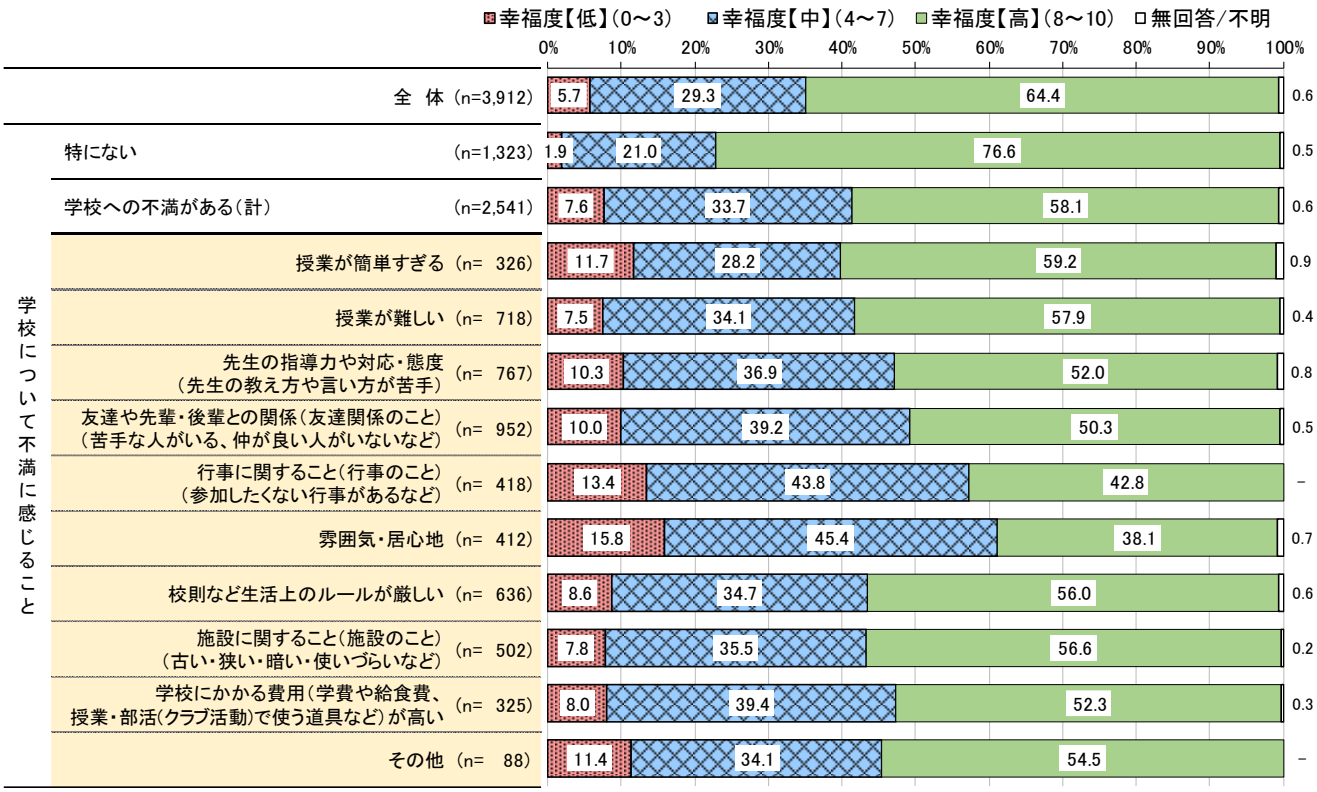
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※学校への不満がある（計）は、「授業が簡単すぎる」～「学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活で使う道具など）が高い」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「学校について不満に感じること」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「学校への不満がある（計）」と回答した子供の 58.1%が幸福度【高】（8～10）で、「特にない」と回答した子供の 76.6%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-74　子供の幸福度（「学校について不満に感じること」の回答別）



【自由記述】

その他（学校について不満に感じること）
タブレット学習が多くて、よくない（子供・小3）
授業がつまらない（子供・小3）
自分のクラスだけ、しゅくだいが多い。（子供・小3）
給食が美味しくない、量が足りない、牛乳が苦手だけど、のまないと給食はおかわりできない。（子供・小3 ）
きょりがとおい（子供・小3）
朝が早い（子供・小3）
終わるのが遅い（子供・小3）
他のクラスに入っていけないので、雨の日に他のクラスの友達と遊べる場所がない（子供・小3）
授業の時間が長い（子供・小5）
水泳が難しい（子供・小5）
給食がコロナが終わってもいまだに黙食なのがおかしい（子供・小5）
給食がおいしくない（子供・小5）
差別（子供・小5）
教室の人数が多くて使いにくい（子供・小5）
6 時間が嫌だ。（子供・小5）
休み時間が少ない（子供・小5）
宿題が多く、自分の時間があまり取れない（子供・中2）
部活動が盛んでないこと（子供・中2）
給食がおいしくない（子供・中2）
通学に時間がかかる（子供・中2）
学校にいる時間がながすぎる（子供・中2）
学校側の自分勝手な方針。（子供・中2）
水泳男女一緒（子供・中2）
大学受験を見据えると、授業の効率が悪い（子供・17 歳）
勉強を多くさせられる（子供・17 歳）
部活に時間を取られる（子供・17 歳）
定時制に通っているが、私の通う II 部帯の生徒は昼食や夕食の給食が食べられないこと（子供・17 歳）
家や学校の最寄駅から遠い（子供・17 歳）
自主自立を謳っている癖に実のところは教師の管理が多く、学校の目標とかけ離れている、つまり、スクールポリシーとの乖離（子供・17 歳）
通信制の為、登校日数が少なすぎ（子供・17 歳）
完全下校時間を早めたにも関わらず説明さえないこと、またそのせいで学校の課外活動に支障が出ていること（子供・17 歳）
考え方や校則が現代社会に合っていない（古い）（子供・17 歳）
集団に合わせて急かされる（子供・17 歳）
暴力を受けてもわからない（子供・17 歳）

（子供：共通）問 24.【問 22 で「嫌い」「とても嫌い」と答えた方にお聞きします。】
学校が嫌いで休むことはありますか。（1つだけ）

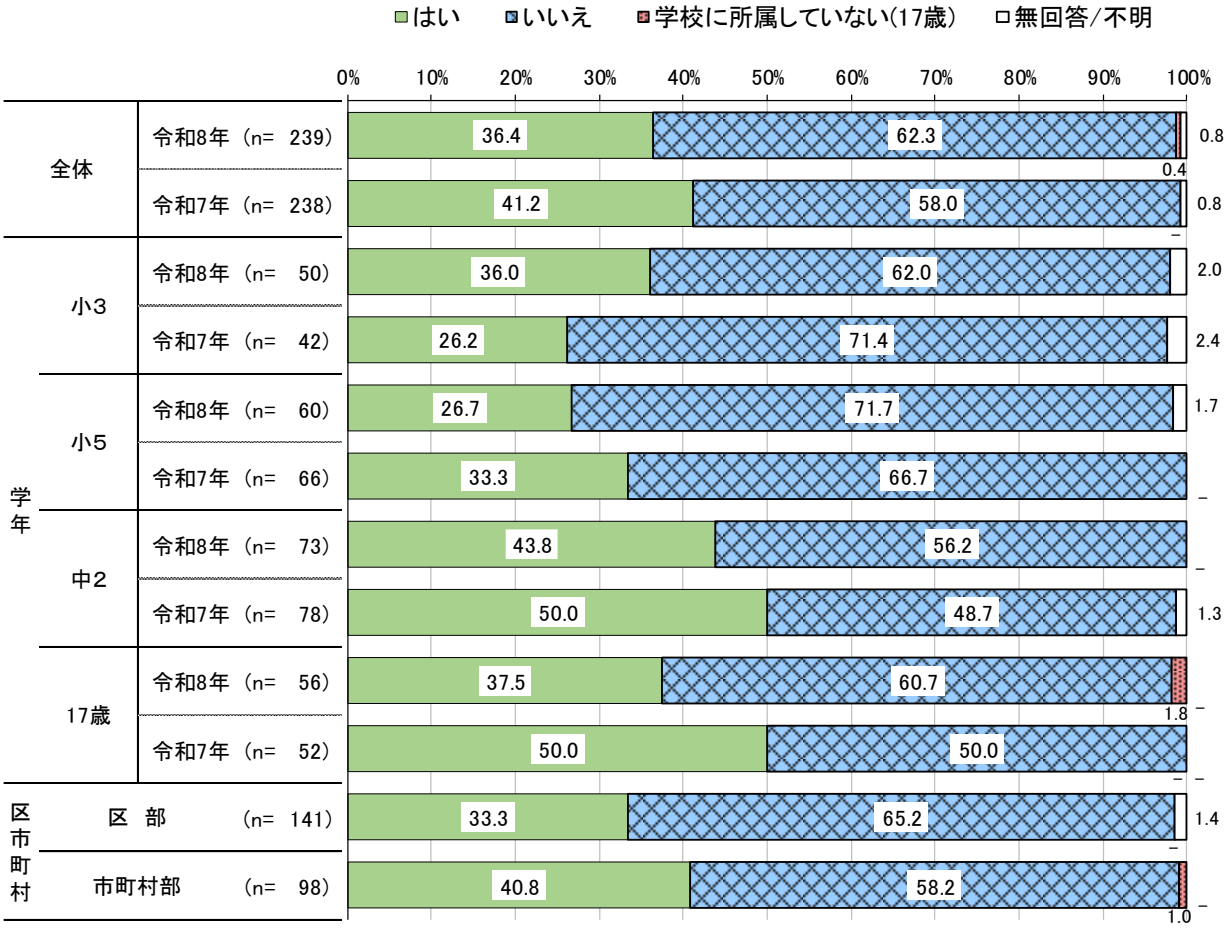
【全体】

「いいえ」が 62.3％で、「はい」が 36.4％である。

【学年別】

「はい」と回答した子供は、中2で最も高く、43.8％である。

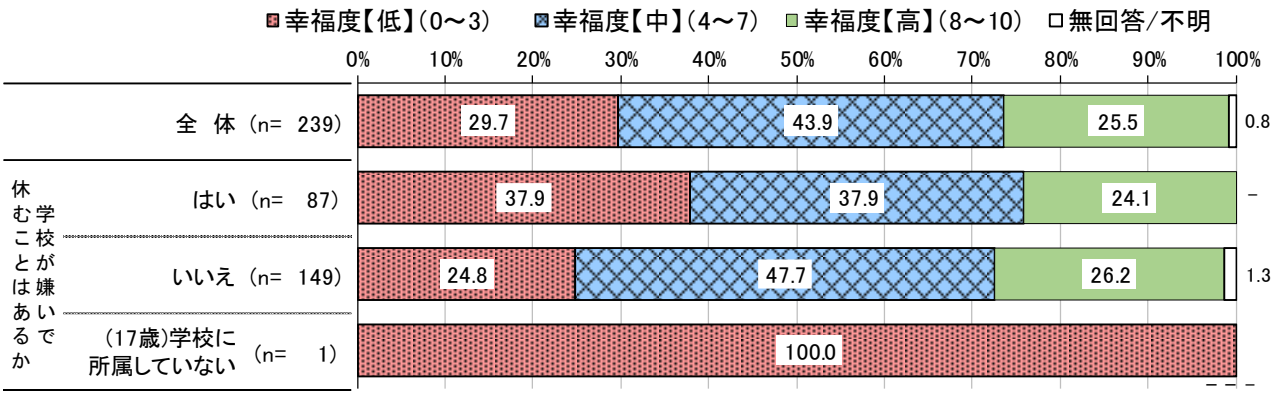
図表 1-75　学校が嫌いで休むことがあるか　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「学校が嫌いで休むことはあるか」の回答別に子供の幸福度をみると、「いいえ」と回答した子供の 26.2%が幸福度【高】(8～10)で、「はい」と回答した子供の 24.1%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「はい」と回答した子供の 37.9%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-76 子供の幸福度(「学校が嫌いで休むことはあるか」の回答別)

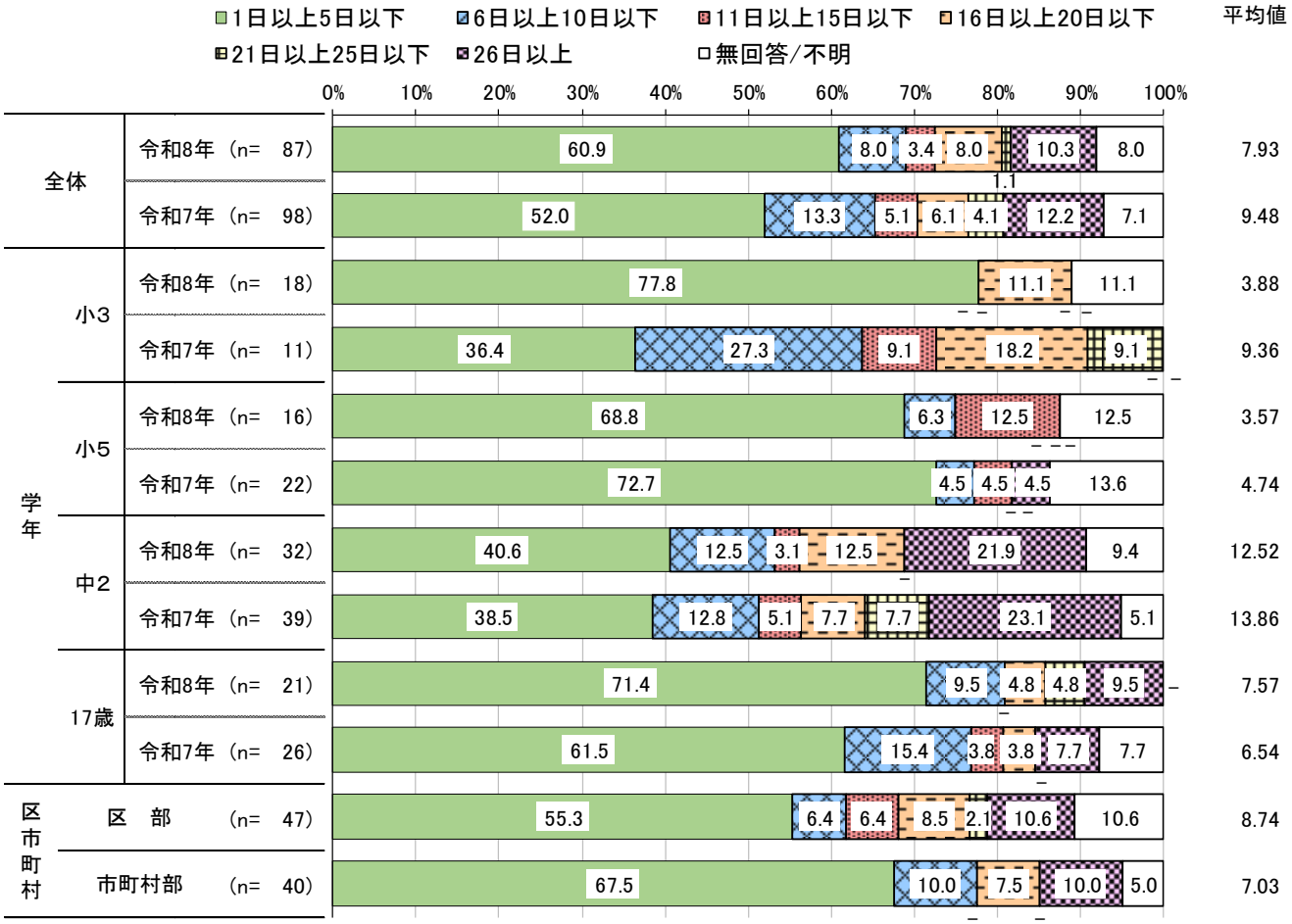


（子供：共通）問 25.【問 24 で「はい」と答えた方にお聞きします。】
1 か月のうち、学校に行かないで休む日はどれくらいありますか。カッコ内に数字を書いてください。

【全体】

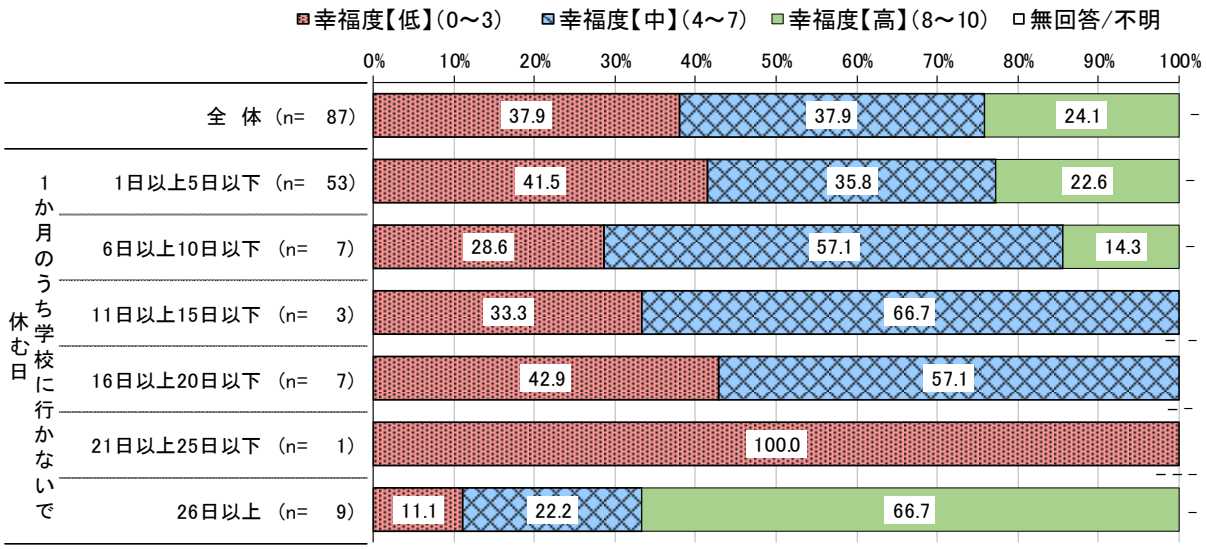
学校が嫌いで休むことがある人が学校を休む日数は、「1 日以上5日以下」が 60.9%で最も高く、平均値は 7.93 日である。

図表 1-77 1 か月のうち学校に行かないで休む日 ＜実数回答＞



【子供の幸福度】

図表 1-78　子供の幸福度（「1 か月のうち学校に行かないで休む日」の回答別）



（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）

（A　自分にとって居心地が良い）

【全体】

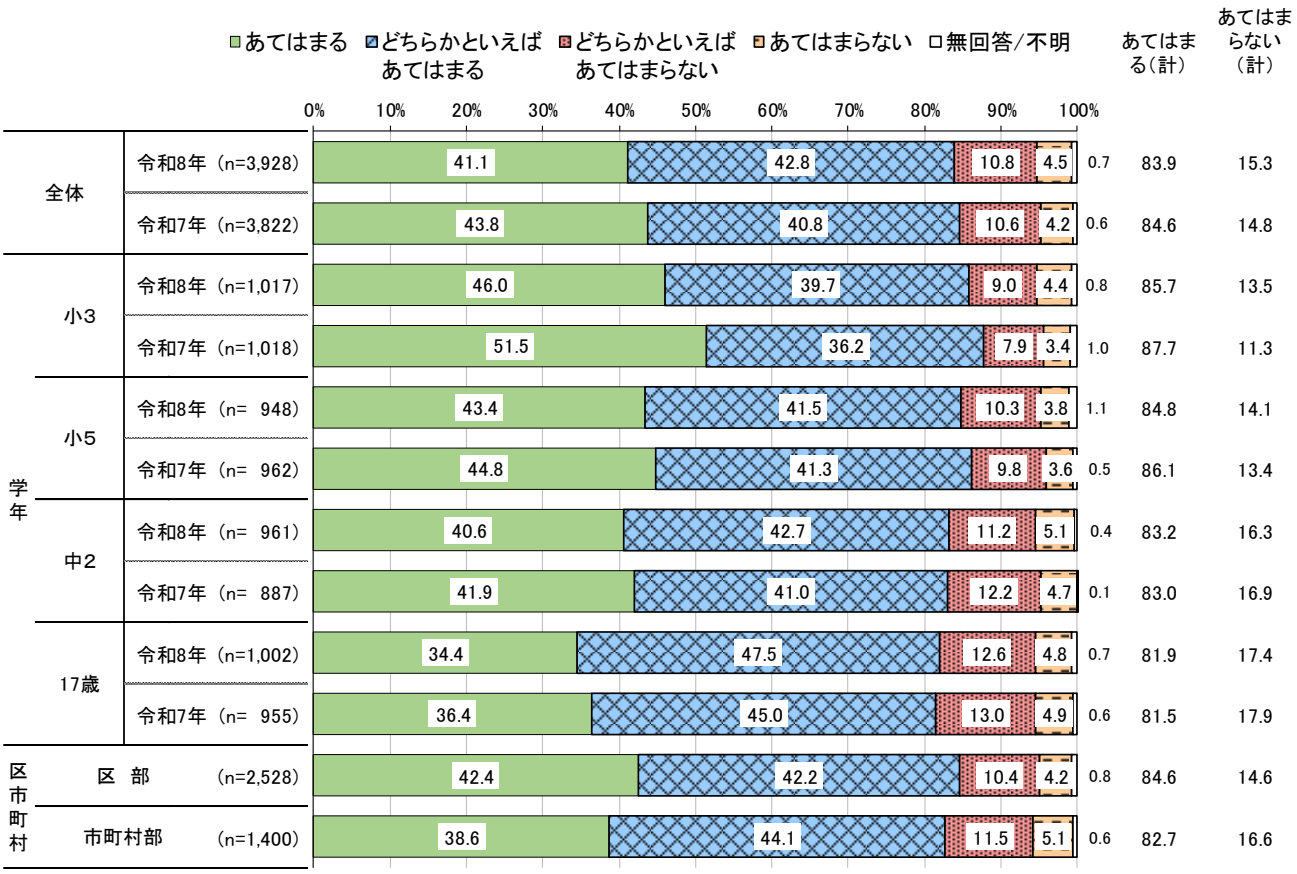
学校や職場が「自分にとって居心地が良い」とする子供は 83.9%（「あてはまる」が 41.1%＋「どちらかといえばあてはまる」が 42.8%）である。

【学年別】

小3、小5では「あてはまる」が最も高く、中2、17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。

経年比較でみると、小3で「あてはまる」が、5.5 ポイント減少している。

図表 1-79　A　自分にとって居心地が良い　＜単一回答＞

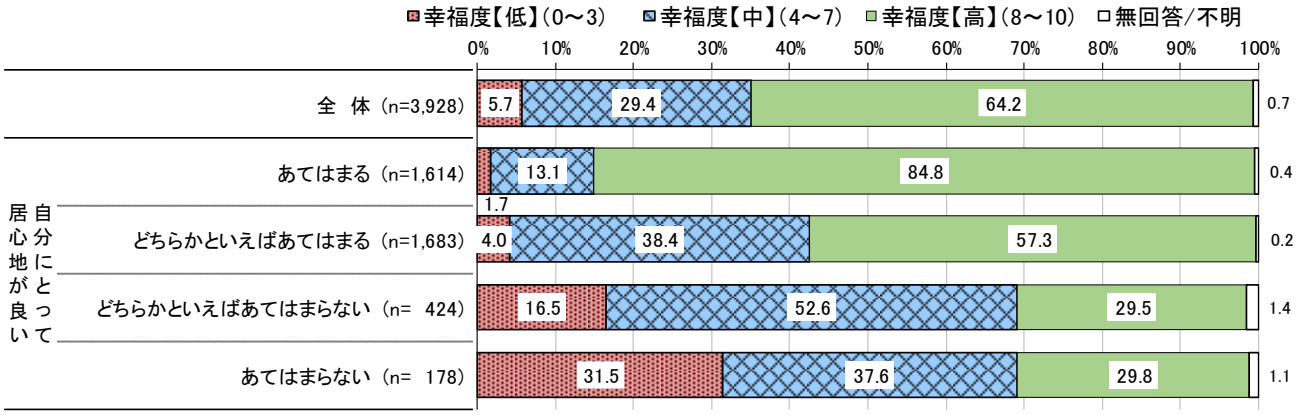


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

学校や職場が「自分にとって居心地が良い」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の84.8%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の29.8%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「あてはまらない」と回答した子供の31.5%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-80　子供の幸福度(「自分にとって居心地が良い」の回答別)



（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）

（B　自分の意見が言える）

【全体】

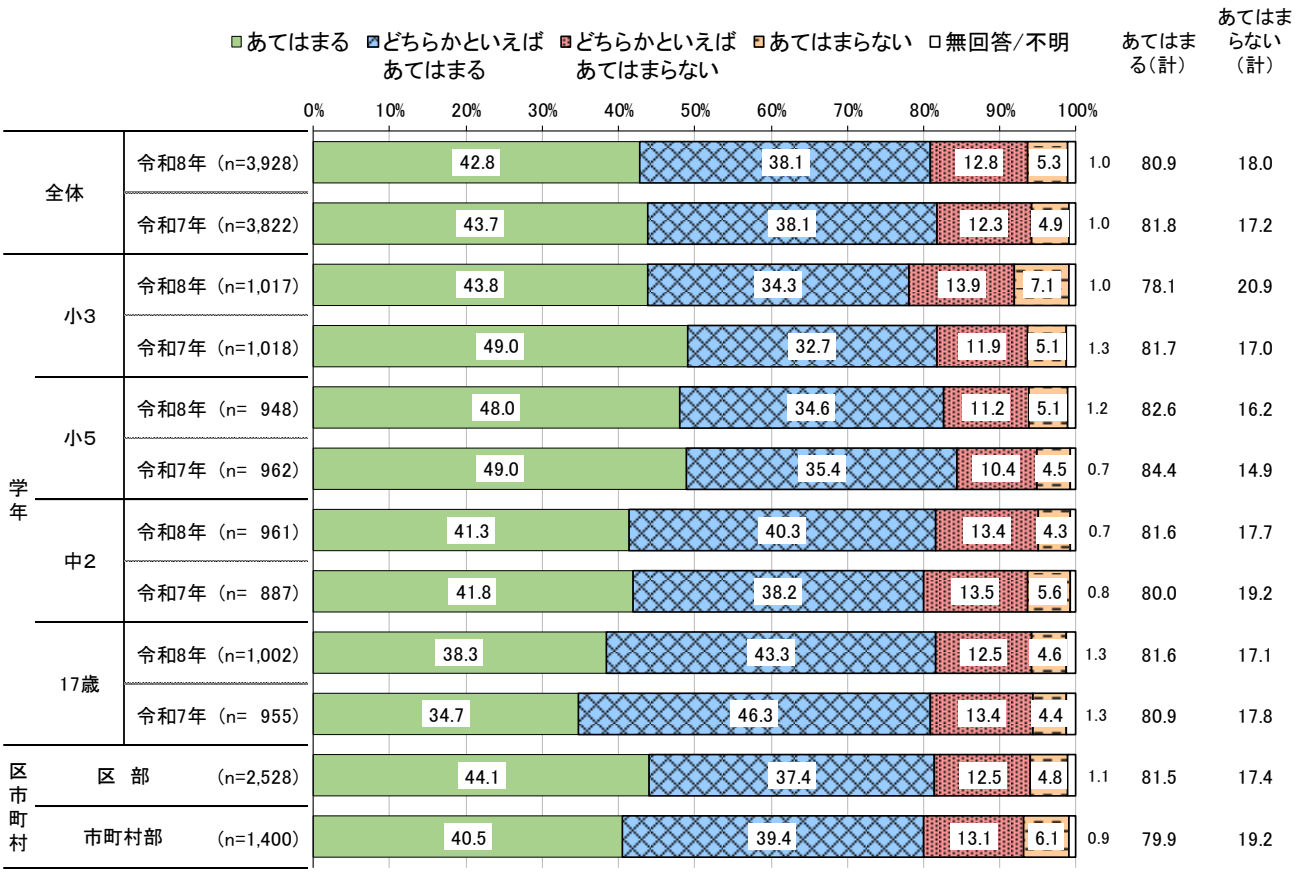
学校や職場で「自分の意見が言える」とする子供は 80.9％（「あてはまる」が 42.8％＋「どちらかといえばあてはまる」が 38.1％）である。

【学年別】

小3、小5、中2では「あてはまる」が最も高く、17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。

経年比較でみると、小3で「あてはまる」が、5.2 ポイント減少している。

図表 1-81　B 自分の意見が言える ＜単一回答＞

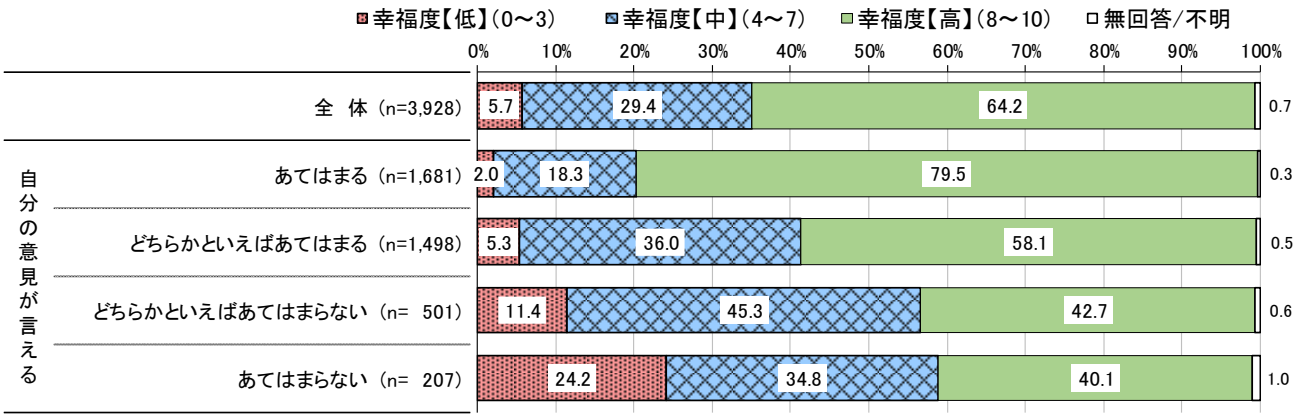


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

学校や職場で「自分の意見が言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の 79.5%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の 40.1%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「あてはまらない」と回答した子供の 24.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-82　子供の幸福度(「自分の意見が言える」の回答別)



（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（C　自分の意見が採用される）

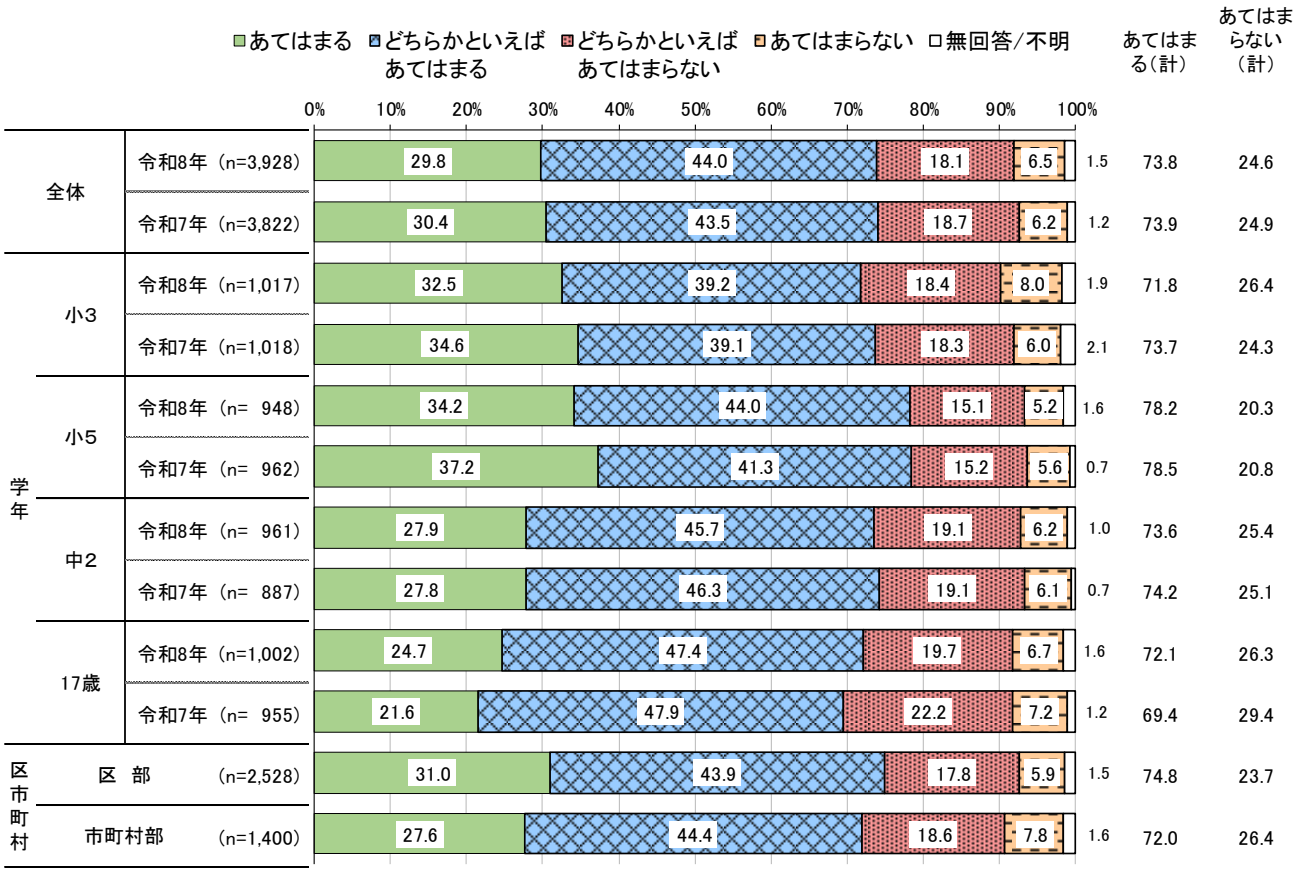
【全体】

学校や職場で「自分の意見が採用される」とする子供は 73.8%（「あてはまる」が 29.8%＋「どちらかといえばあてはまる」が 44.0%）である。

【学年別】

学校や職場で「自分の意見が採用される」とする子供（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、小5で最も高く、78.2%である。

図表 1-83　C　自分の意見が採用される　＜単一回答＞

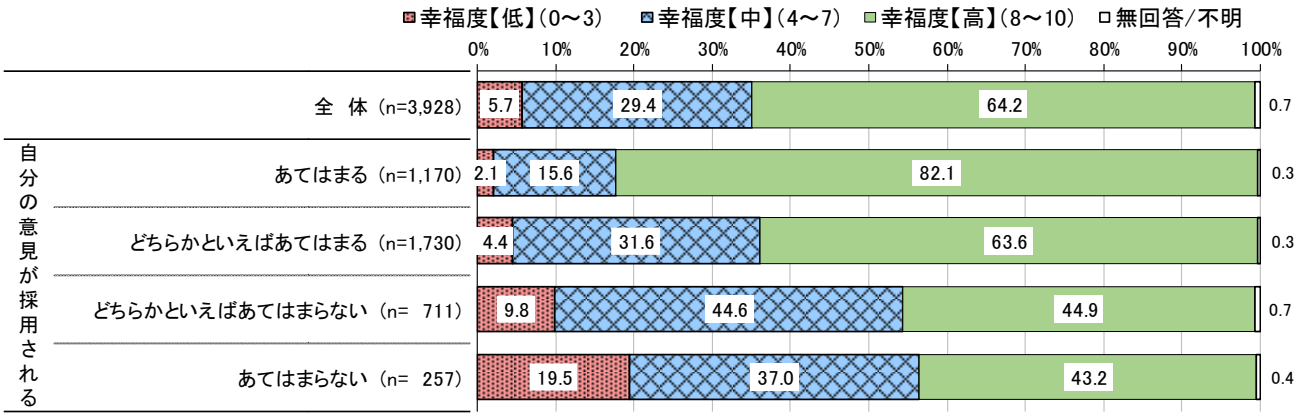


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

学校や職場で「自分の意見が採用される」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の82.1%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の43.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-84 子供の幸福度(「自分の意見が採用される」の回答別)



（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（D　自分のことを自分で決められる）

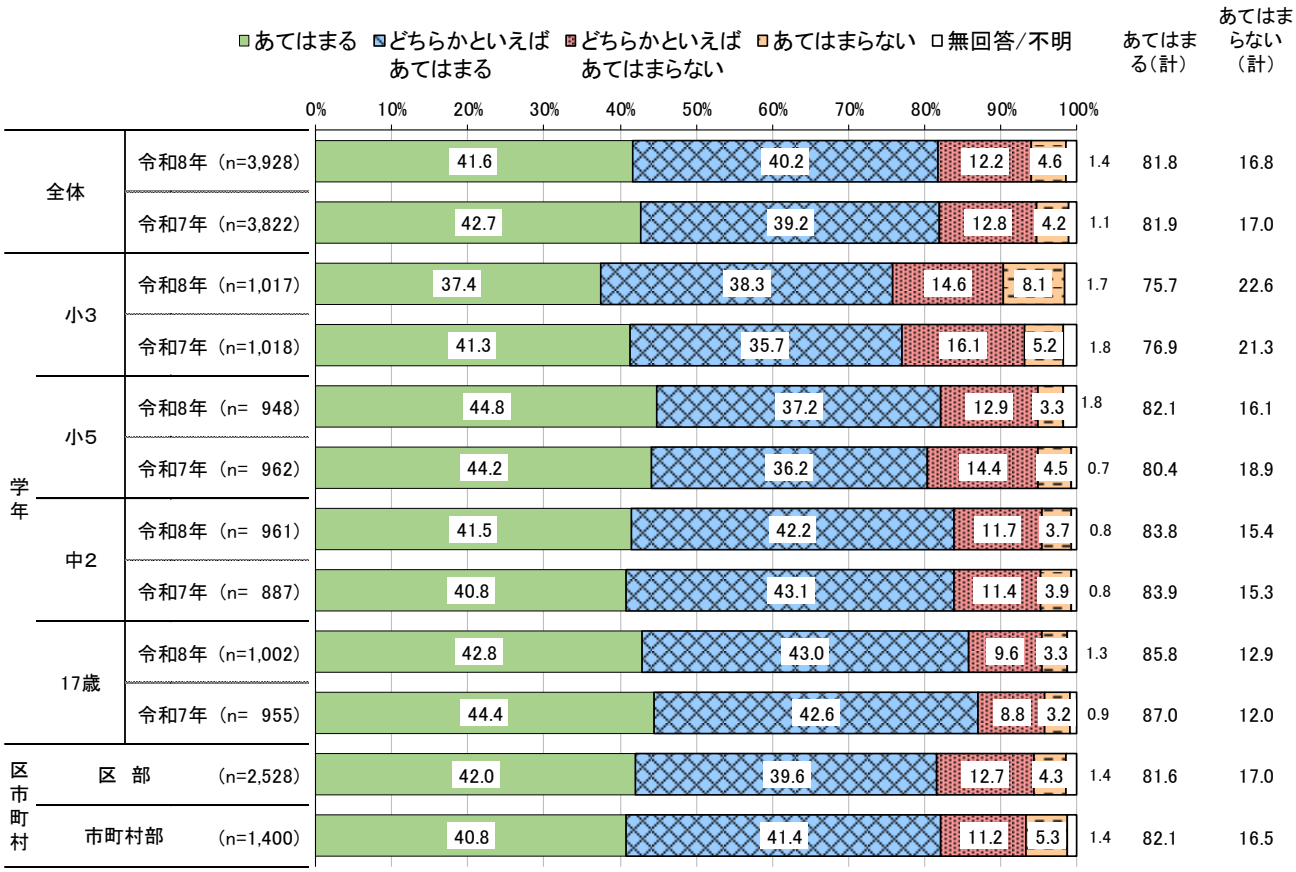
【全体】

学校や職場で「自分のことを自分で決められる」とする子供は 81.8%（「あてはまる」が 41.6%＋「どちらかといえばあてはまる」が 40.2%）である。

【学年別】

学校や職場で「自分のことを自分で決められる」とする子供（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。

図表 1-85　D 自分のことを自分で決められる ＜単一回答＞

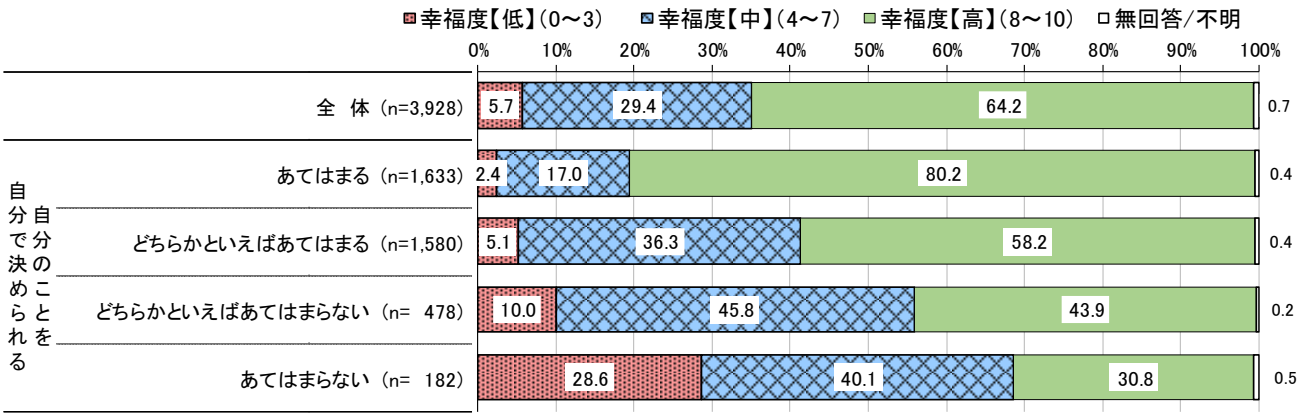


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

学校や職場で「自分のことを自分で決められる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の 80.2%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の 30.8%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「あてはまらない」と回答した子供の 28.6%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-86　子供の幸福度(「自分のことを自分で決められる」の回答別)



（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（E　安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる）

【全体】

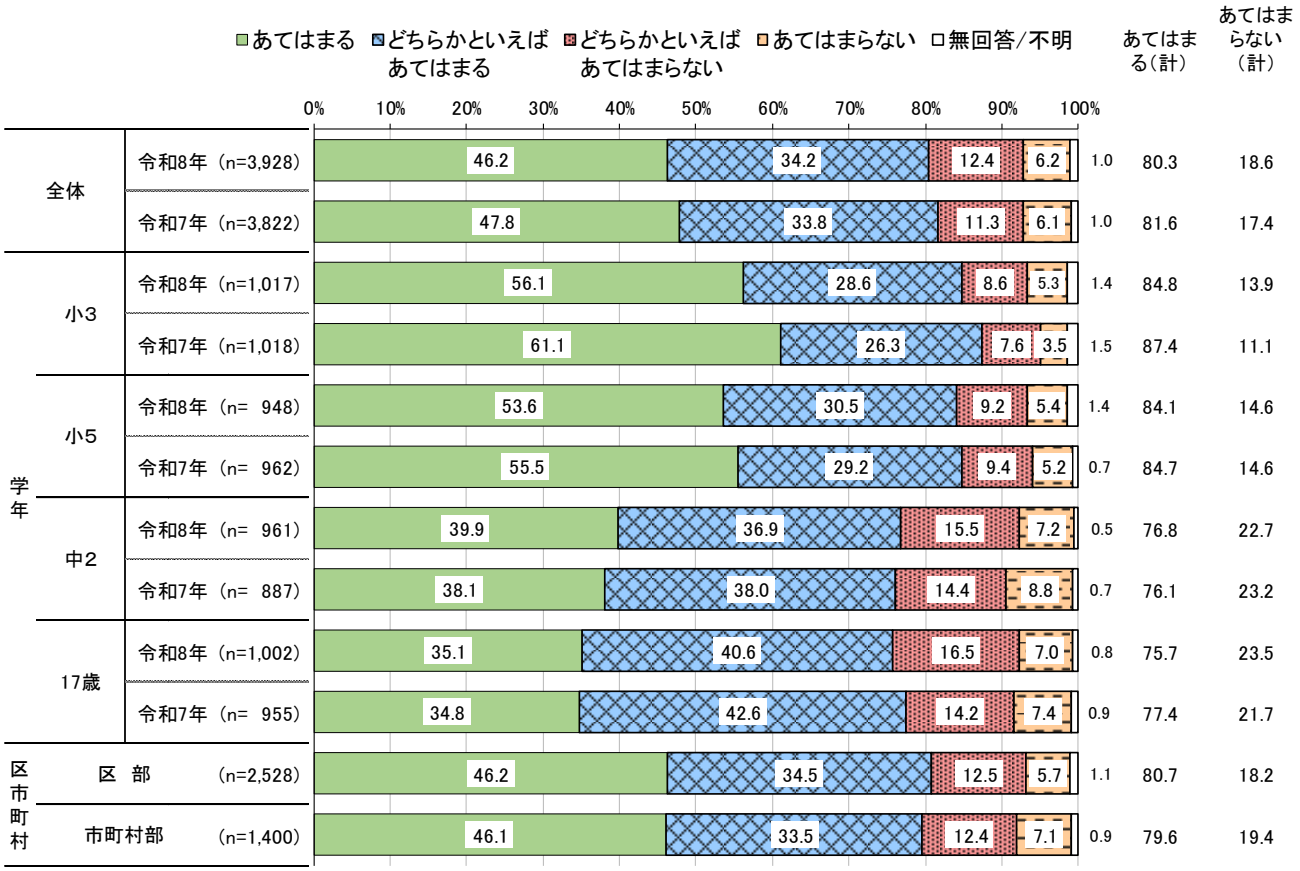
学校や職場で「安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」とする子供は 80.3%（「あてはまる」が 46.2%＋「どちらかといえばあてはまる」が 34.2%）である。

【学年別】

学校や職場で「安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」とする子供（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、小3、小5（それぞれ 84.8%、84.1%）と比べて、中2、17 歳（それぞれ 76.8%、75.7%）のほうが低い。

経年比較でみると、小3で「あてはまる」が、5.0 ポイント減少している。

図表 1-87　E 安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる ＜単一回答＞

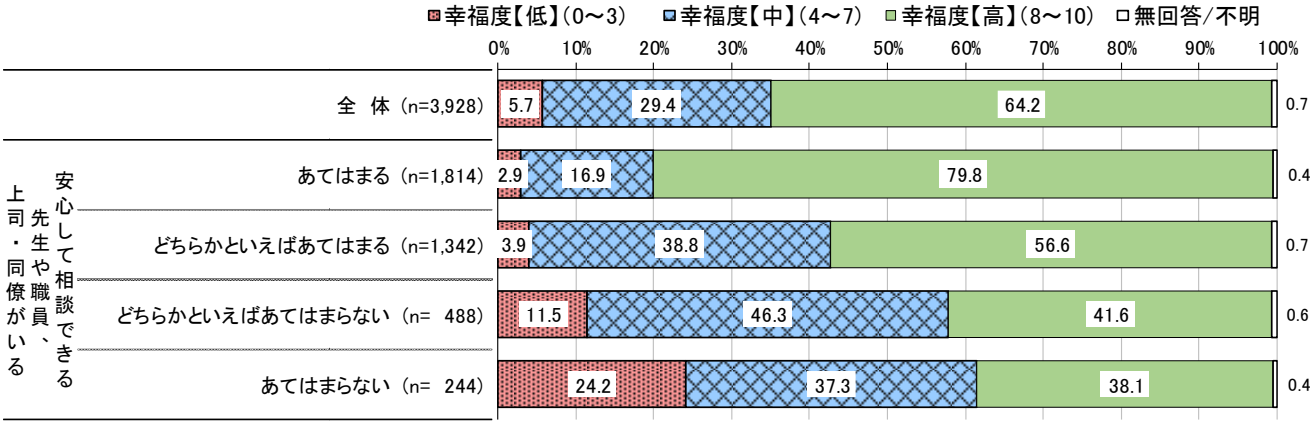


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

学校や職場で「安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の 79.8%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の 38.1%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「あてはまらない」と回答した子供の 24.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-88　子供の幸福度(「安心して相談できる先生や職員、上司・同僚がいる」の回答別)



（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（F　規則や運営に対しても自分たちの意見を言える）

【全体】

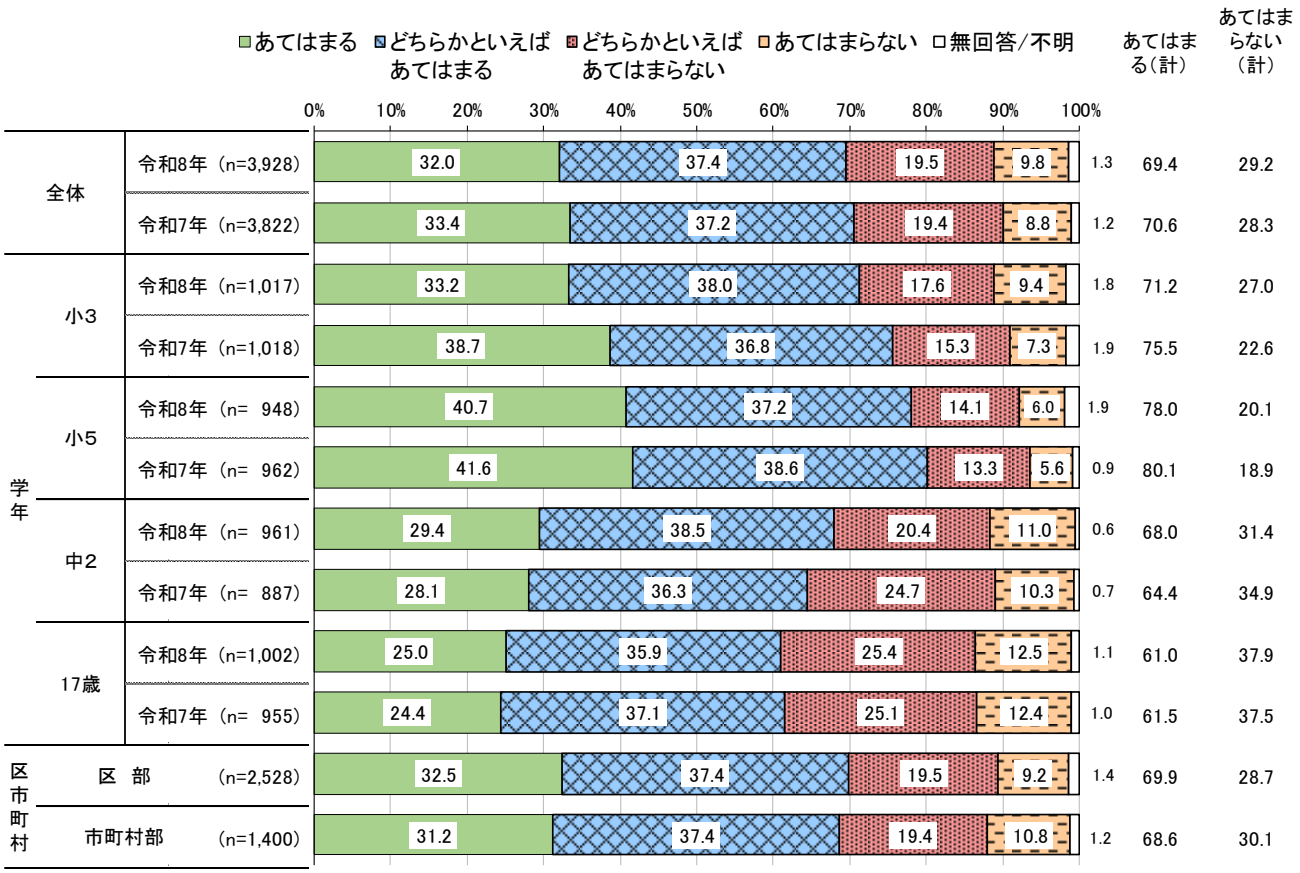
学校や職場で「規則や運営に対しても自分たちの意見が言える」とする子供は 69.4%（「あてはまる」が 32.0%＋「どちらかといえばあてはまる」が 37.4%）である。

【学年別】

学校や職場で「規則や運営に対しても自分たちの意見が言える」とする子供（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、小5で最も高く 78.0%である。

経年比較でみると、小3で「あてはまる」が、5.5 ポイント減少している。

図表 1-89　F 規則や運営に対しても自分たちの意見を言える ＜単一回答＞

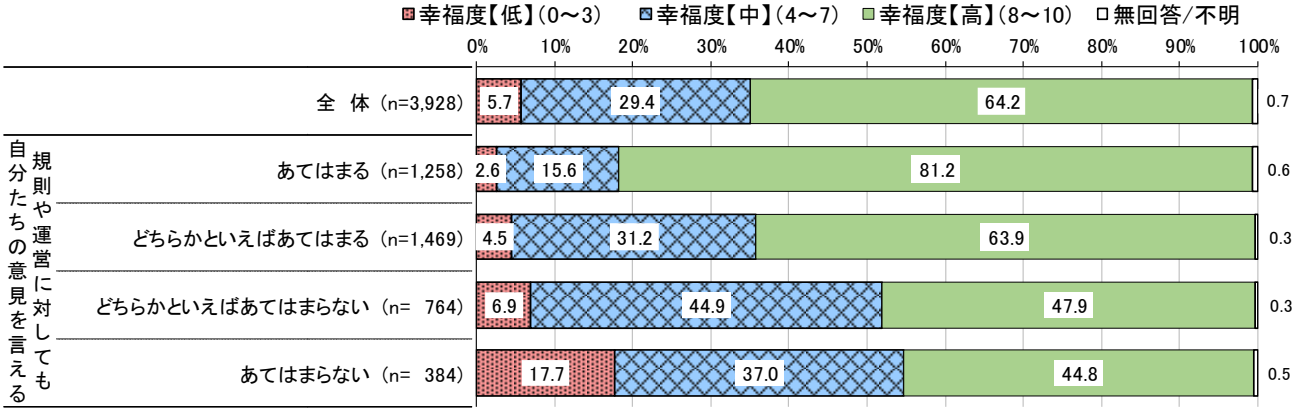


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

学校や職場で「規則や運営に対しても自分たちの意見を言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の 81.2%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の 44.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-90　子供の幸福度(「規則や運営に対しても自分たちの意見を言える」の回答別)



（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（G 規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される）

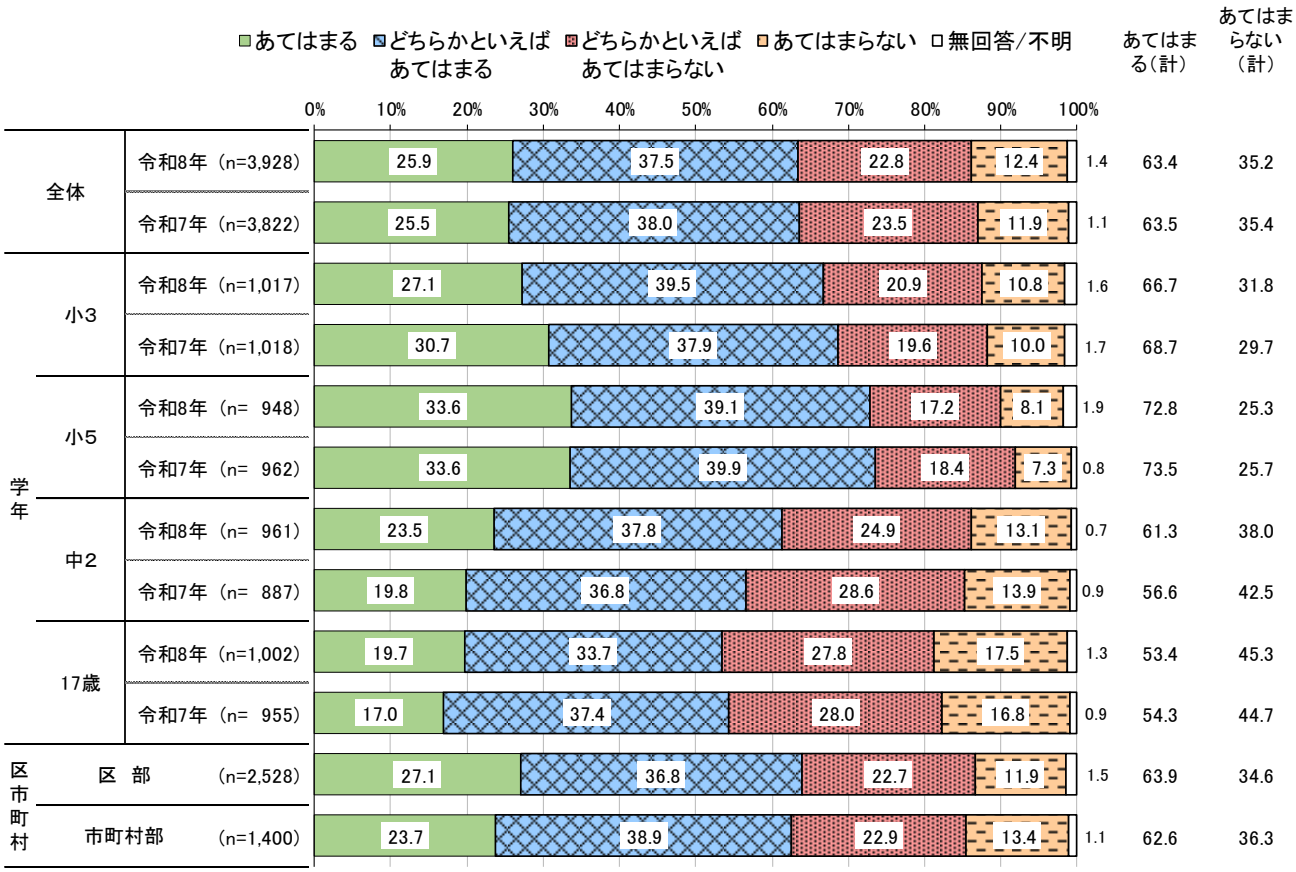
【全体】

学校や職場で「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」とする子供は 63.4%（「あてはまる」が 25.9%＋「どちらかといえばあてはまる」が 37.5%）である。

【学年別】

学校や職場で「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」とする子供（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、小5で最も高く、72.8%である。

図表 1-91 G 規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される ＜単一回答＞

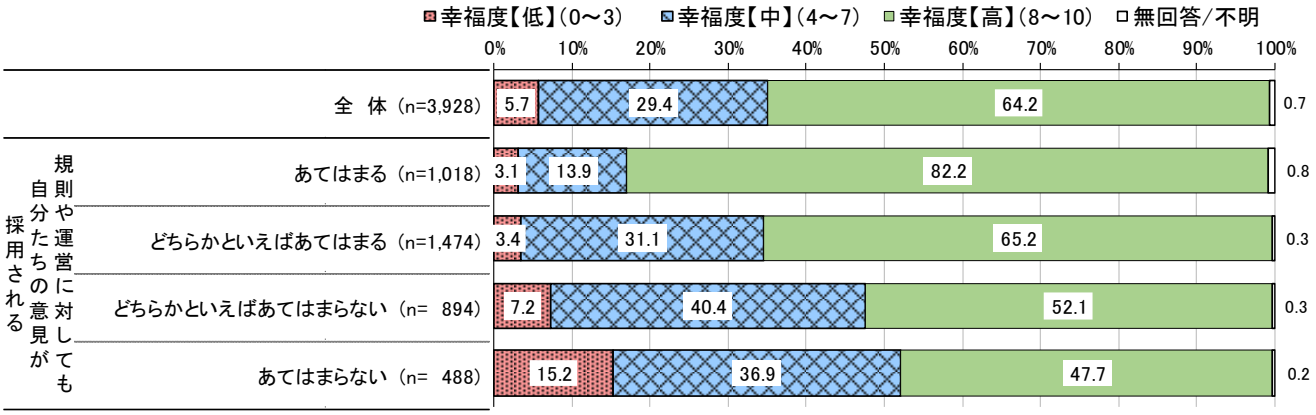


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

学校や職場で「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の 82.2%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の 47.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-92　子供の幸福度(「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」の回答別)

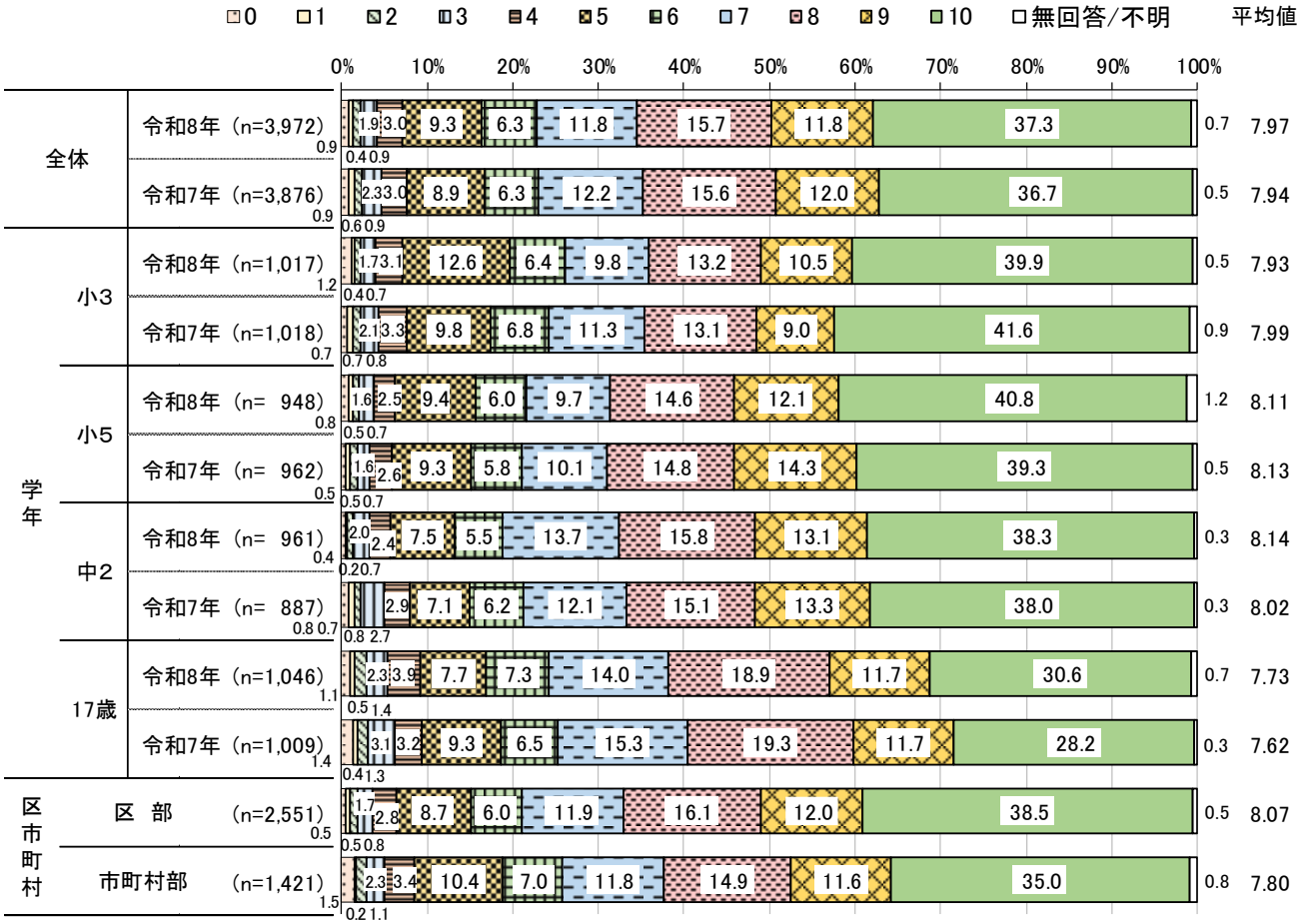


（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　毎日たくさん笑っている）

【全体】
「10」（とてもあてはまる）が 37.3％で最も高く、平均値は 7.97 である。

【学年別】
いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小5が 40.8％で最も高く、17 歳が 30.6％で最も低い。平均値は、中2では 8.14 で最も高く、17 歳では 7.73 で最も低い。

図表 1-93　A　毎日たくさん笑っている　＜単一回答＞

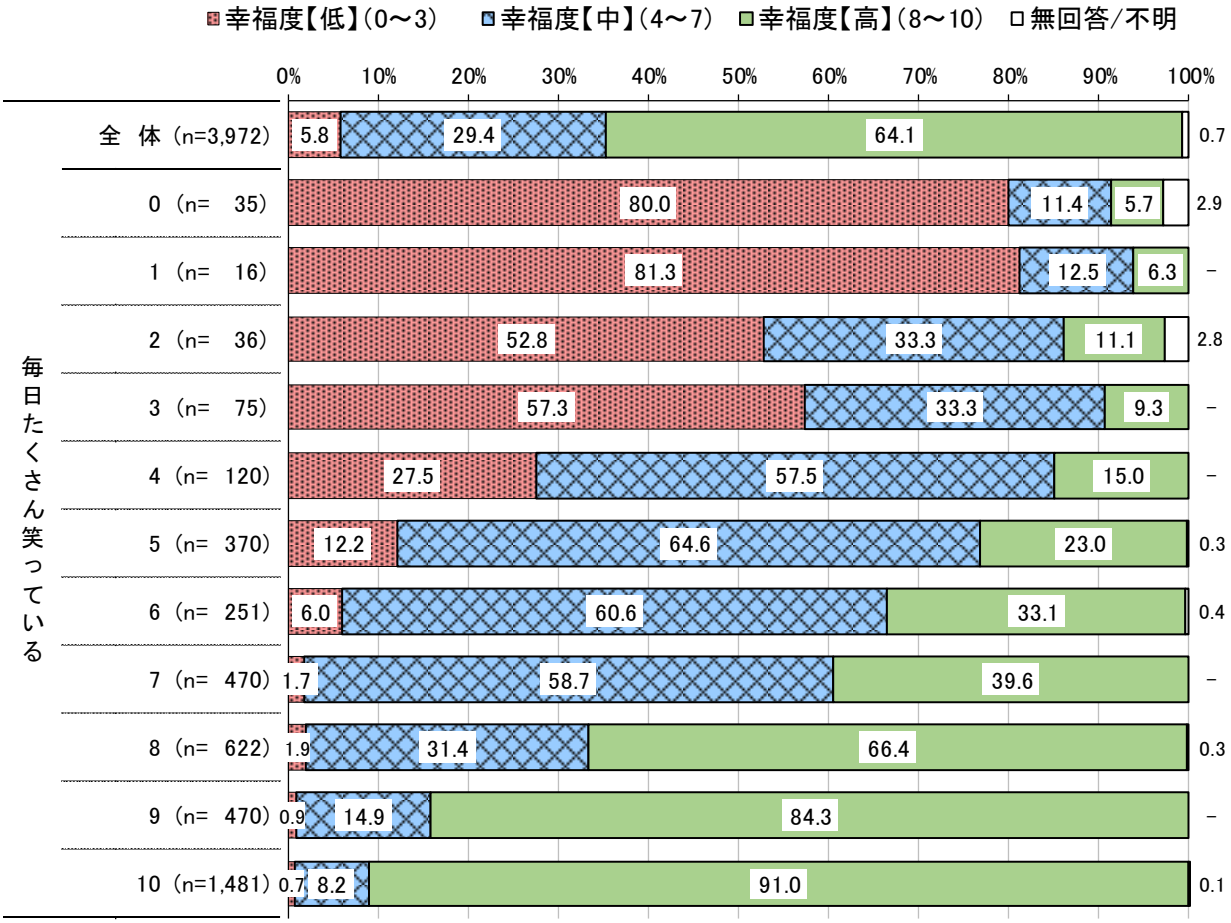


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「毎日たくさん笑っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 91.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-94　子供の幸福度(「毎日たくさん笑っている」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　今の自分は幸せだ）

※上記の設問を、【子供の幸福度】別の集計軸としているため、【子供の幸福度】別は除いている。

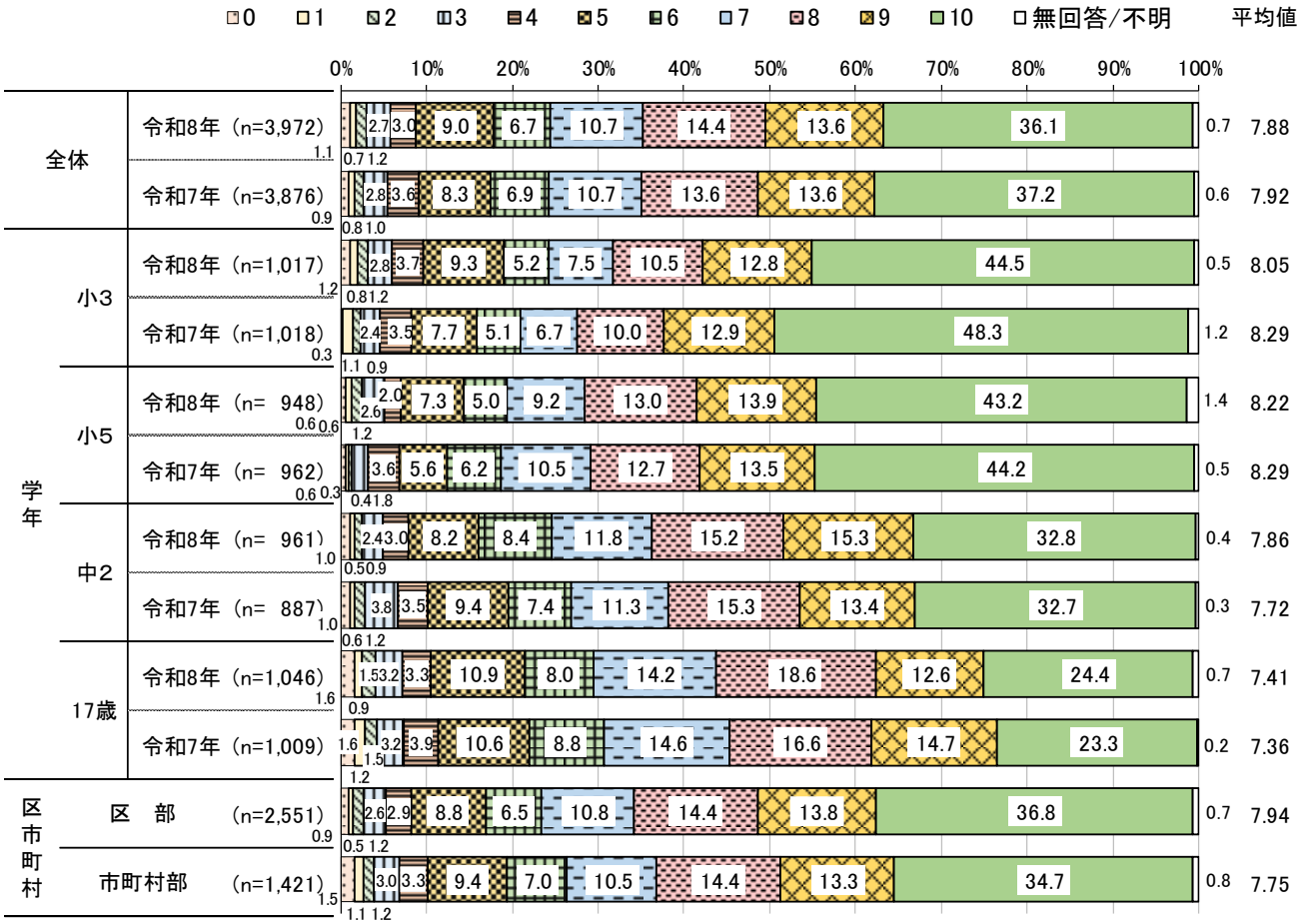
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 36.1％で最も高く、平均値は 7.88 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がると減少傾向である。平均値は、小5では 8.22 で最も高く、17 歳では 7.41 で最も低い。

図表 1-95　B　今の自分は幸せだ　＜単一回答＞



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　今の自分の生活に満足している）

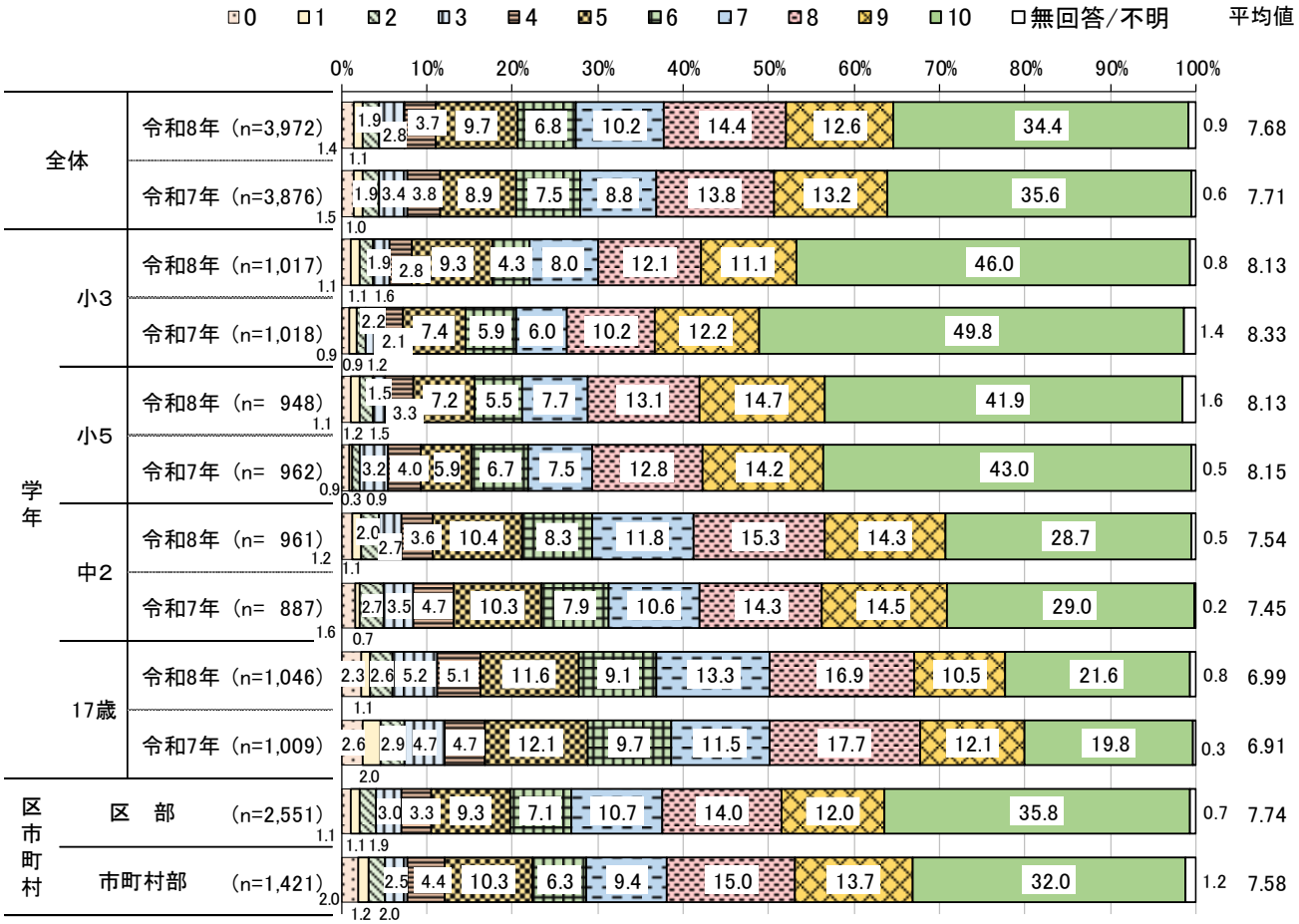
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 34.4％で最も高く、平均値は 7.68 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がると減少傾向である。平均値は小3、小5はともに 8.13 で最も高く、17 歳では 6.99 で最も低い。

図表 1-96　C 今の自分の生活に満足している ＜単一回答＞

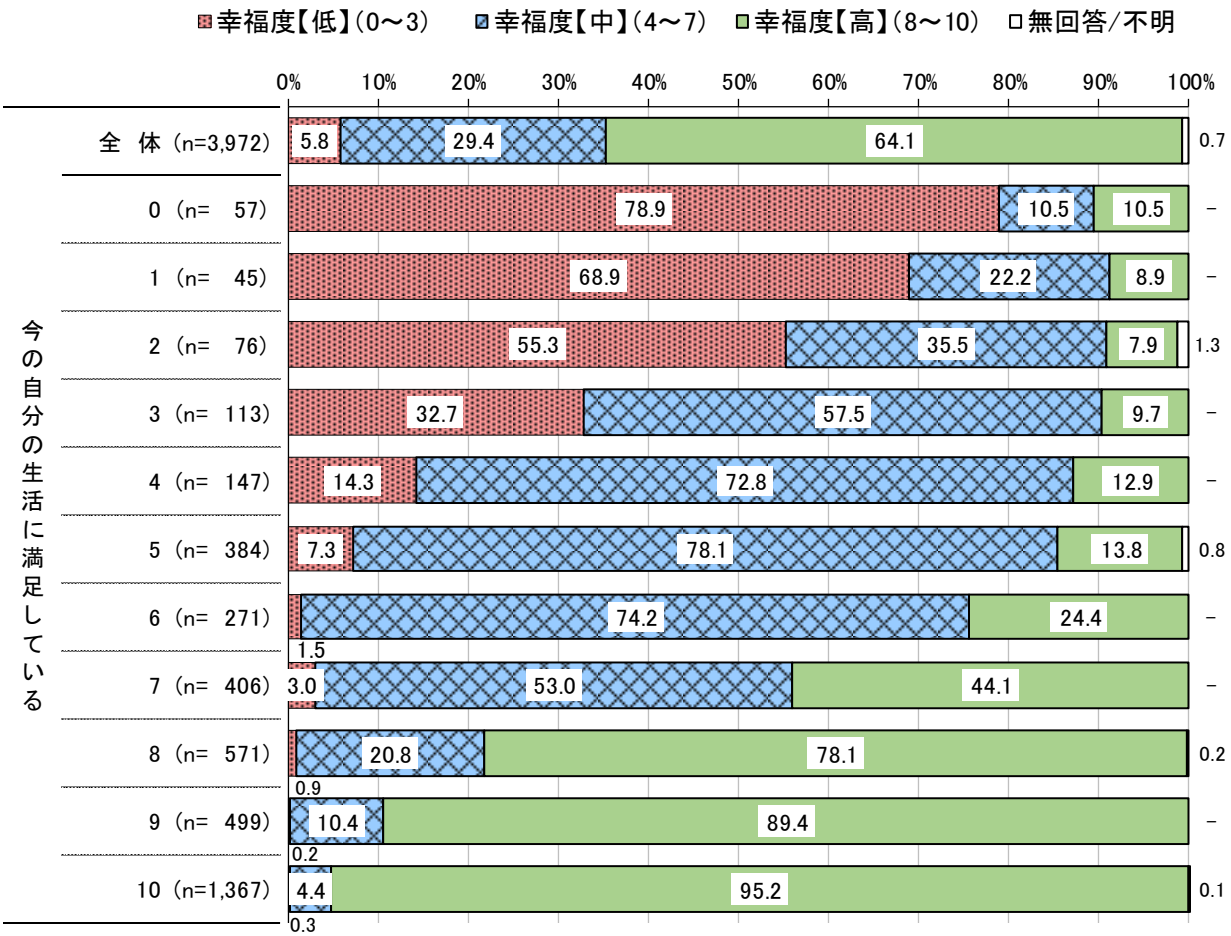


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分の生活に満足している」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の95.2%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の10.5%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の78.9%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-97　子供の幸福度(「今の自分の生活に満足している」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

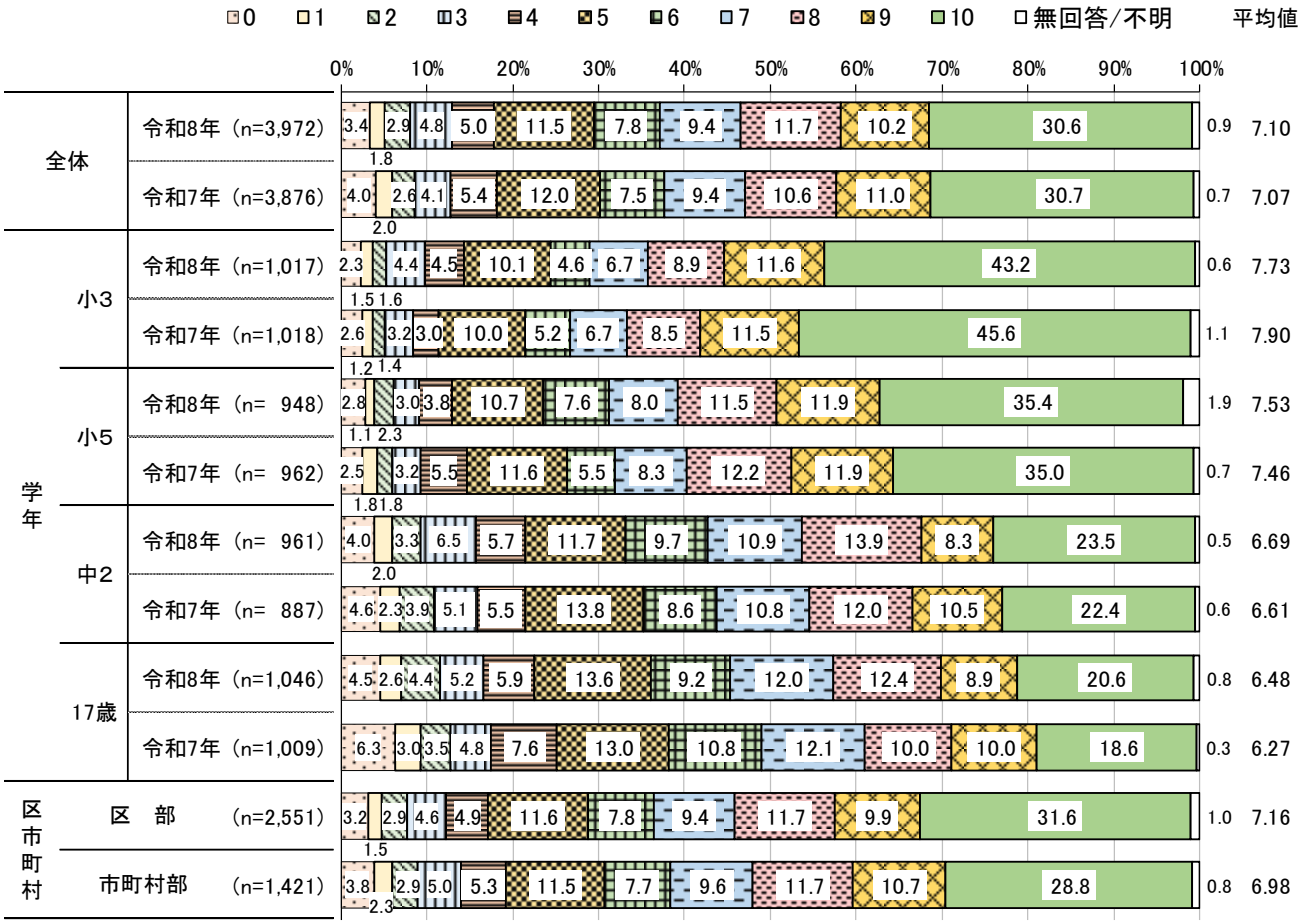
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 30.6％で最も高く、平均値は 7.10 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がると減少傾向である。平均値も小3では 7.73 で最も高く、17 歳では 6.48 で最も低い。

図表 1-98　D　今の自分が好きだ　＜単一回答＞

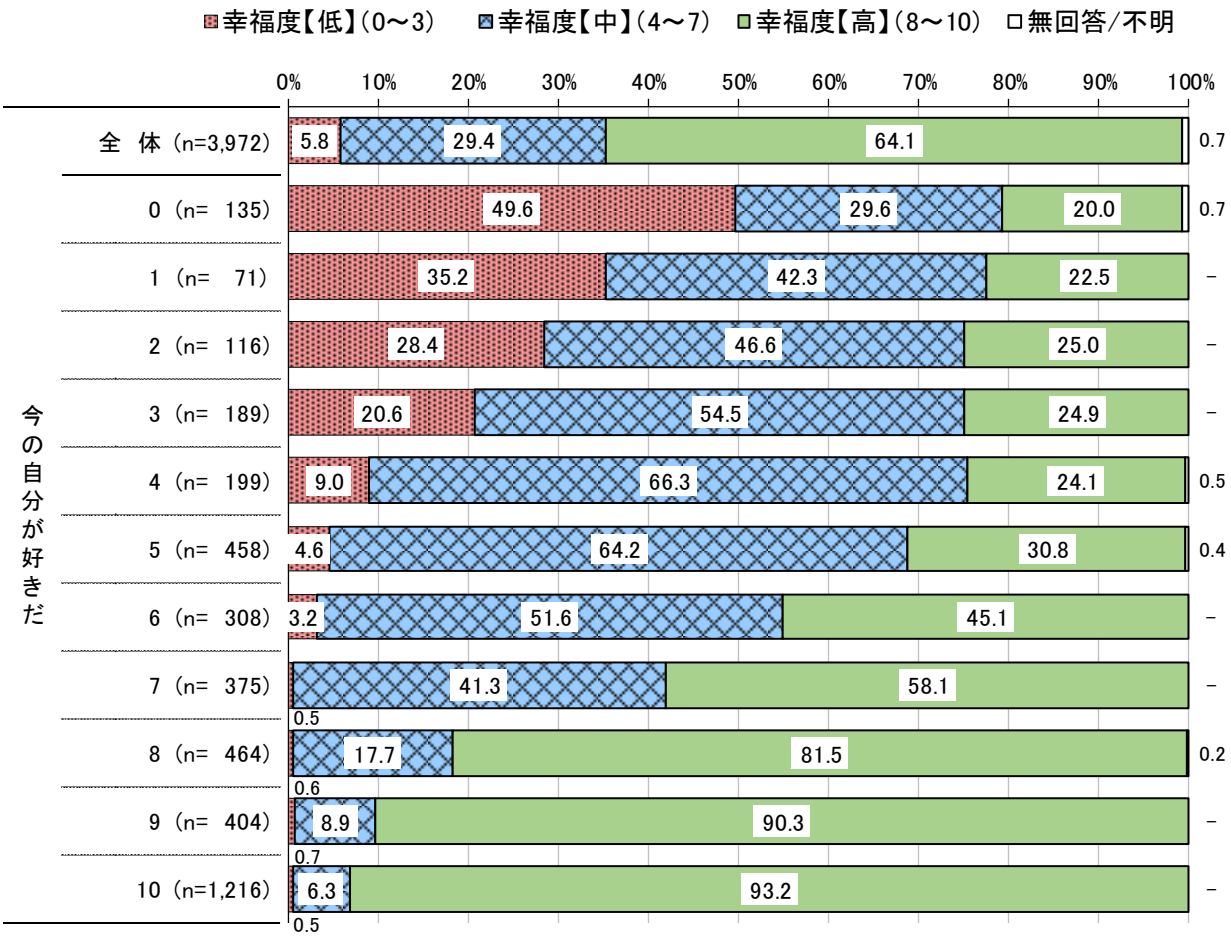


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分が好きだ」の回答別に幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 93.2%が、幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 20.0%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 49.6%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-99　子供の幸福度(「今の自分が好きだ」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　人生を楽しんでいる）

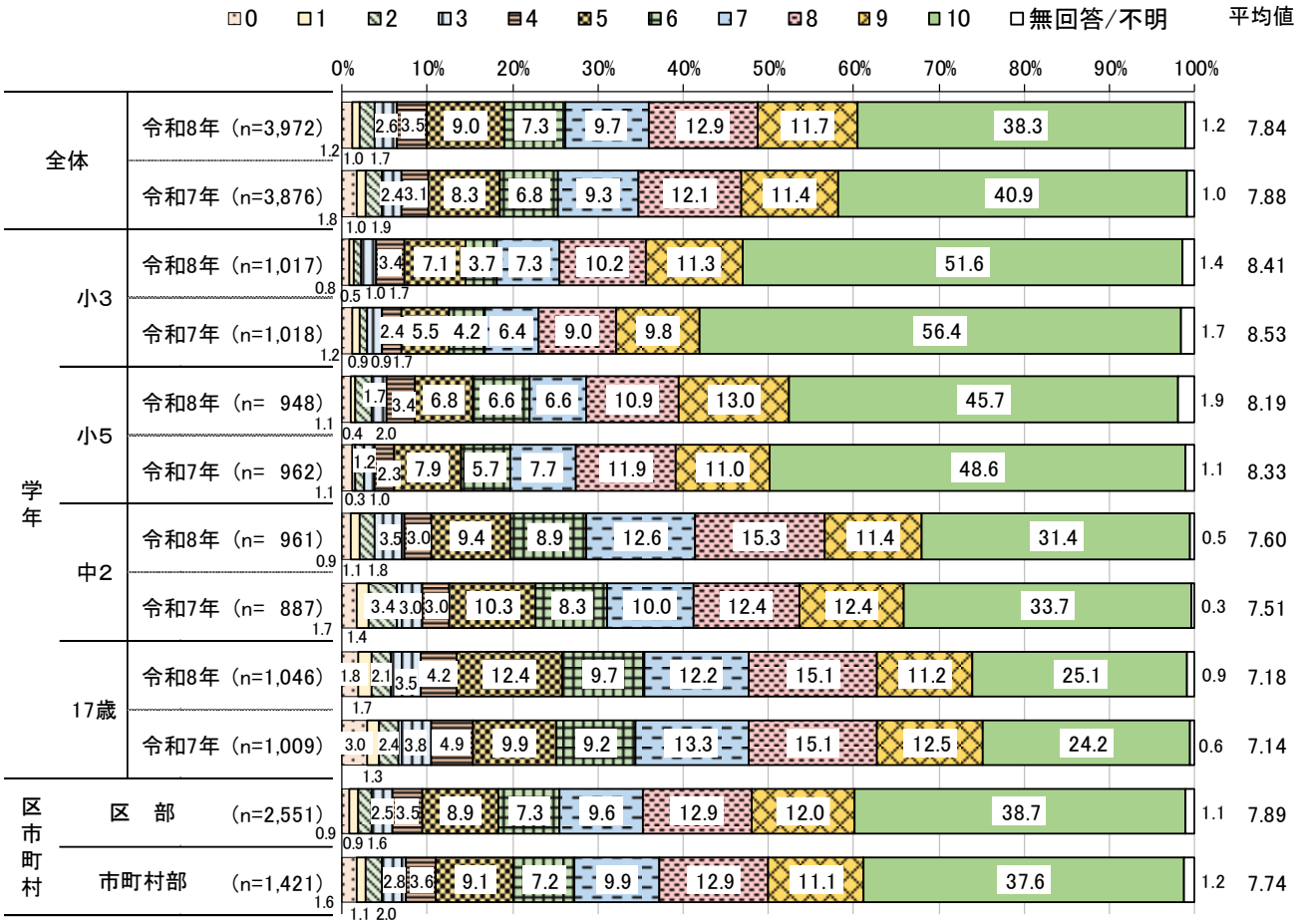
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 38.3％で最も高く、平均値は 7.84 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、学年が上がると減少傾向である。平均値も小3では 8.41 で最も高く、17 歳では 7.18 で最も低い。

図表 1-100　E　人生を楽しんでいる　＜単一回答＞

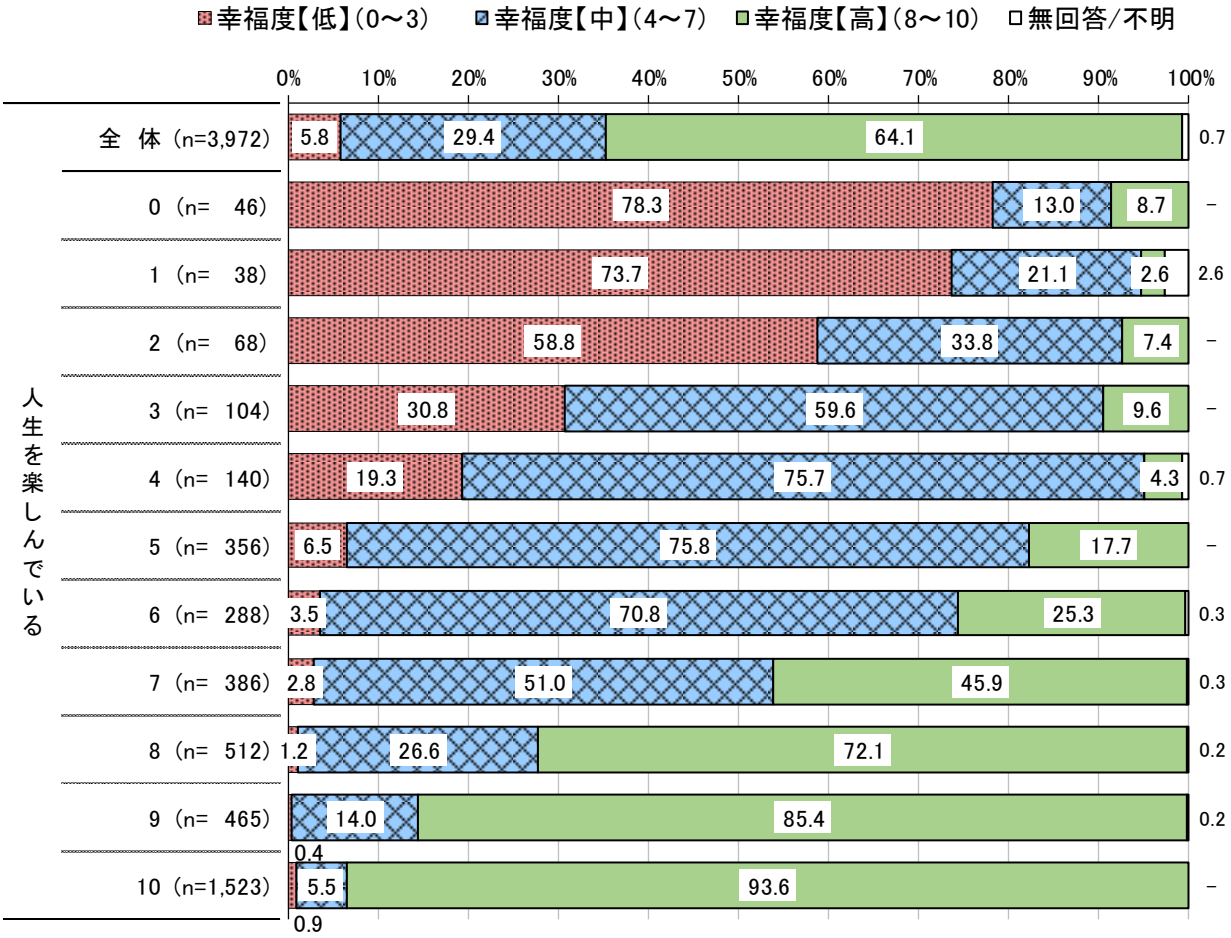


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「人生を楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 93.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-101 子供の幸福度(「人生を楽しんでいる」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

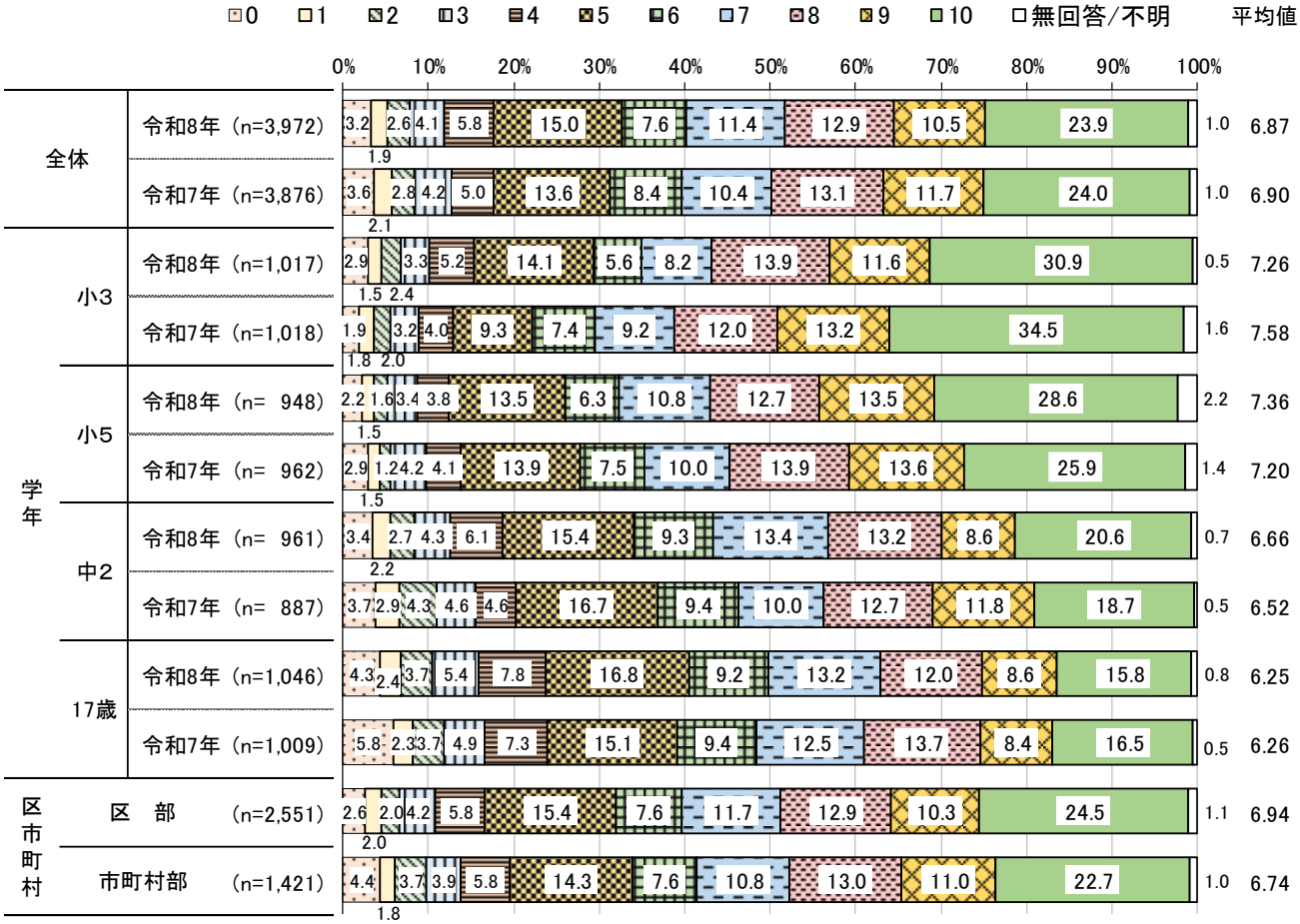
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 23.9％で最も高く、平均値は 6.87 である。

【学年別】

小3、小5、中2では「10」（とてもあてはまる）が最も高く、17 歳では「5」が最も高い。「10」（とてもあてはまる）は、学年が上がると減少傾向である。平均値は小5では 7.36 で最も高く、17 歳では 6.25 で最も低い。

図表 1-102　F 自分は他人から必要とされている ＜単一回答＞

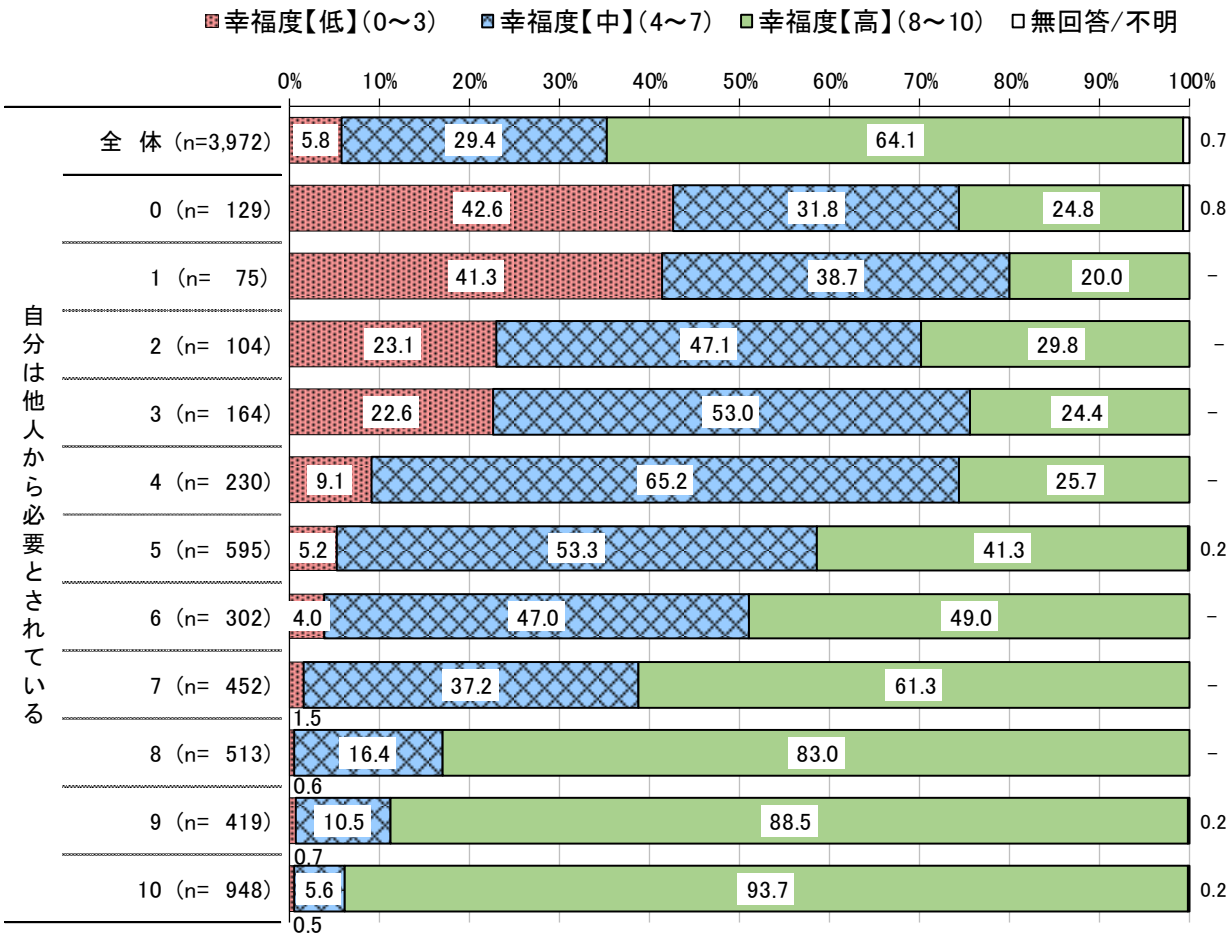


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分は他人から必要とされている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の93.7%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の24.8%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の42.6%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-103　子供の幸福度(「自分は他人から必要とされている」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある）

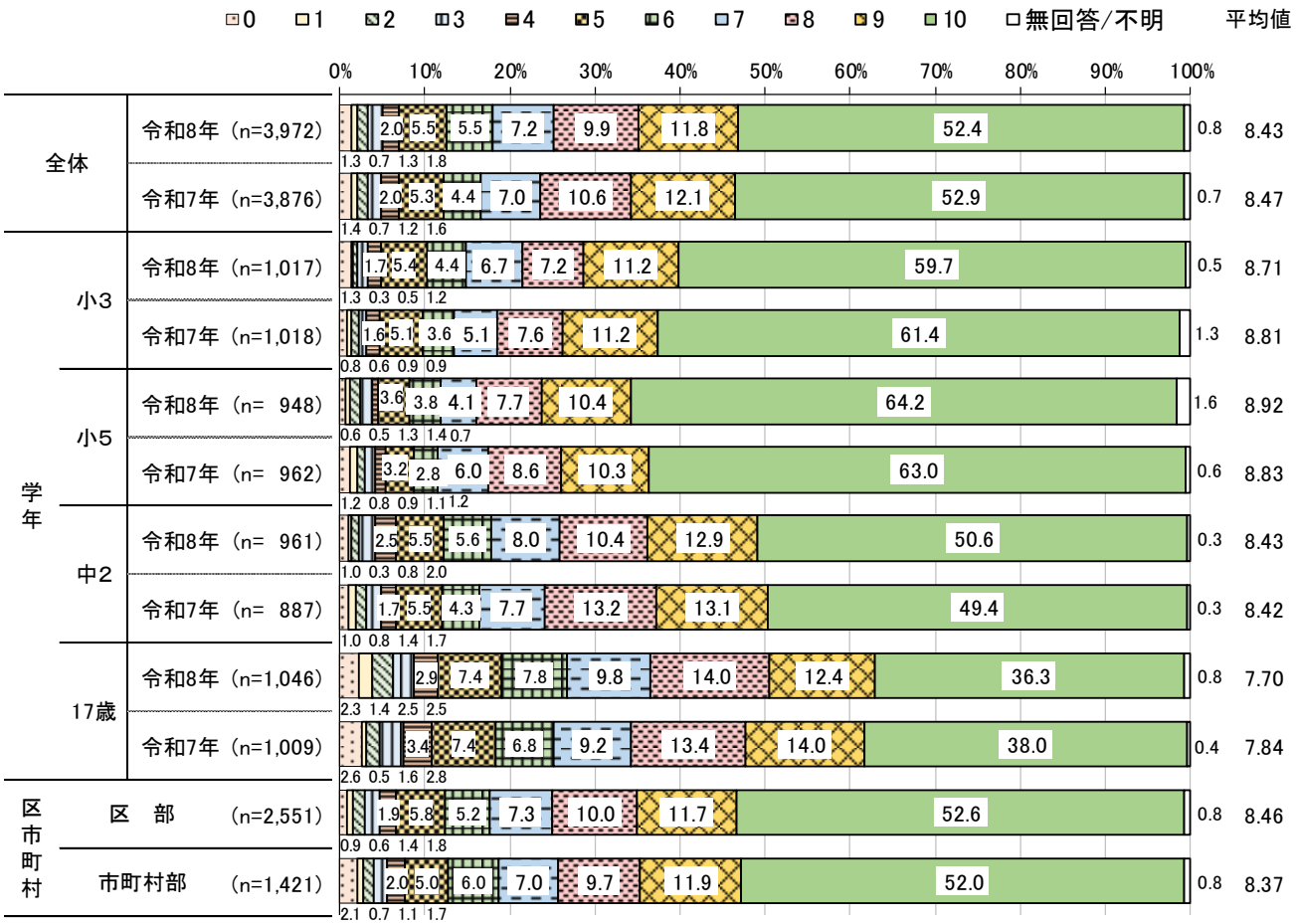
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 52.4％で最も高く、平均値は 8.43 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高く、小5は 64.2％で最も高く、17 歳は 36.3％で最も低い。平均値も小5では 8.92 で最も高く、17 歳では 7.70 で最も低い。

図表 1-104 G 勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある ＜単一回答＞

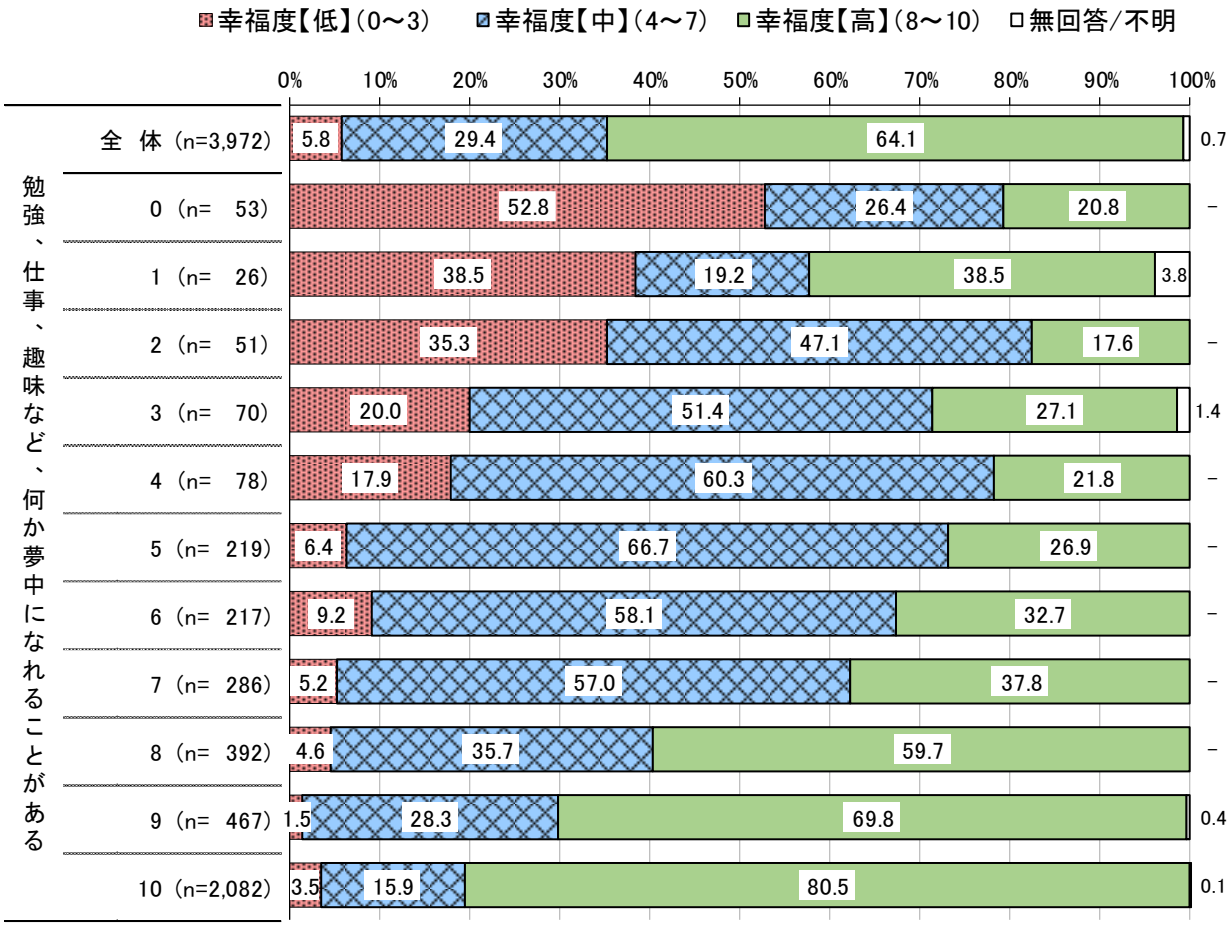


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 80.5%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 20.8%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 52.8%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-105　子供の幸福度(「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」の回答別)



（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H　自分には、夢や目標がある）

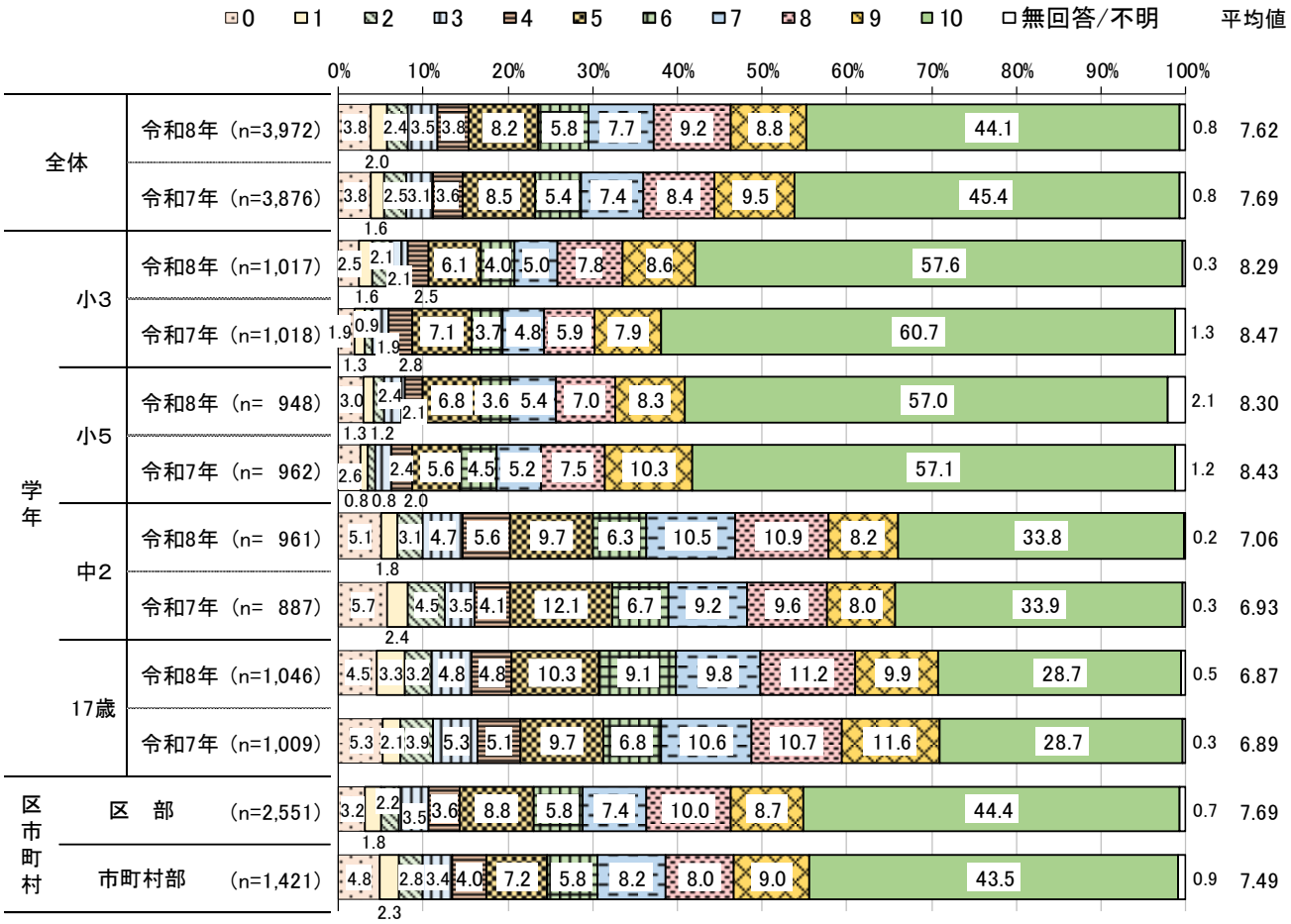
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 44.1％で最も高く、平均値は 7.62 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高いが、小3、小5（それぞれ 57.6％、57.0％）と比べて、中2、17 歳（それぞれ 33.8％、28.7％）のほうが低い。平均値は小5では 8.30 で最も高く、17 歳では 6.87 で最も低い。

図表 1-106　H　自分には、夢や目標がある　＜単一回答＞

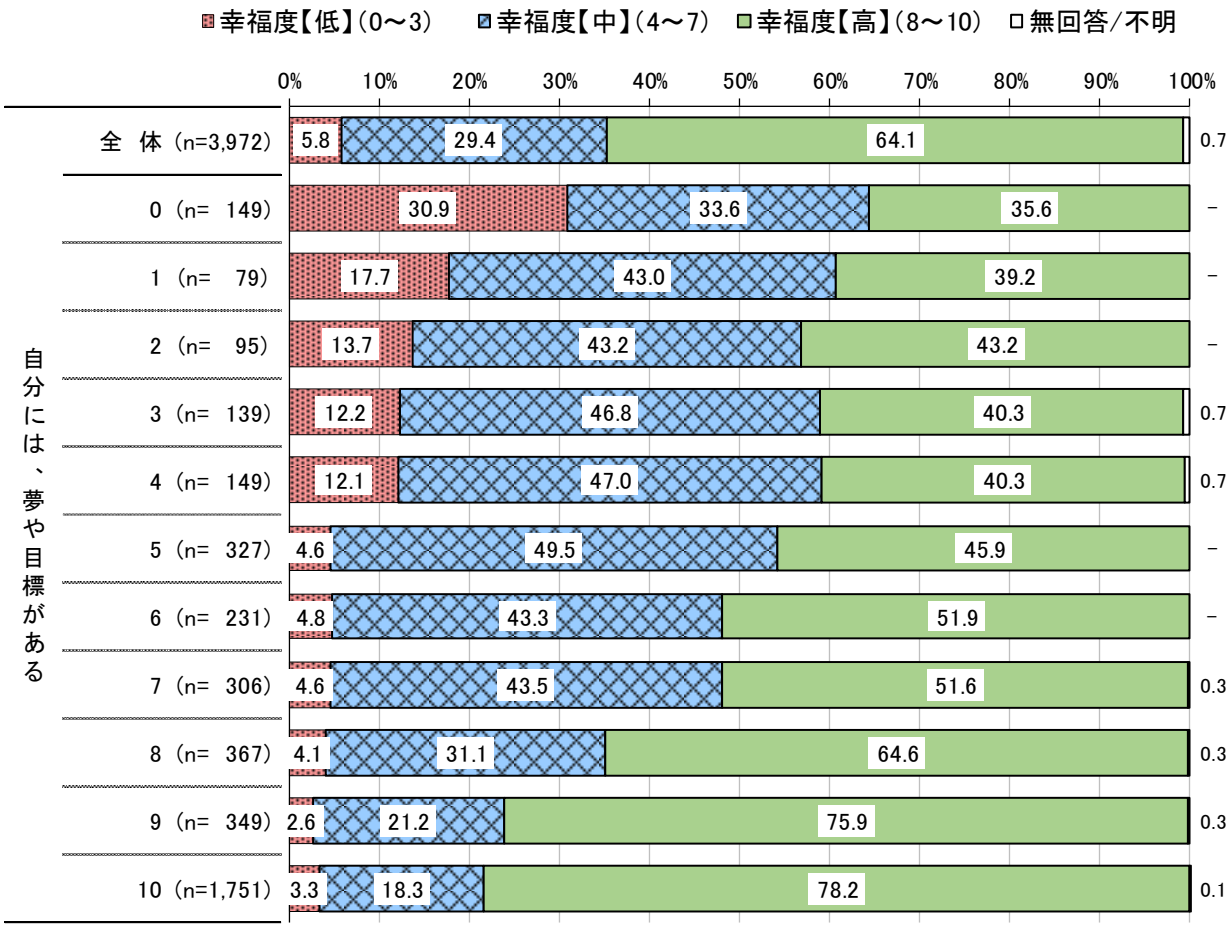


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分には、夢や目標がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の78.2%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の35.6%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の30.9%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-107　子供の幸福度(「自分には、夢や目標がある」の回答別)

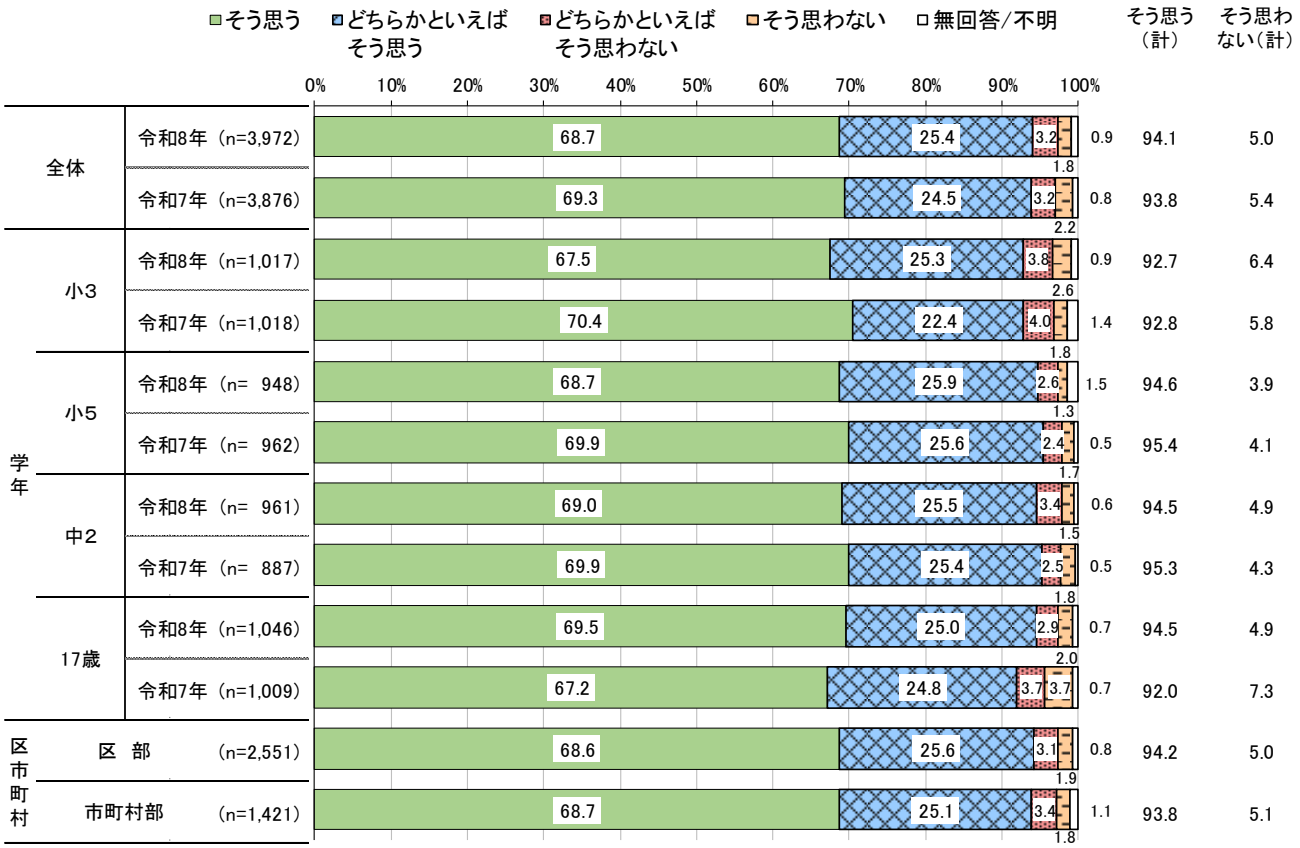


（子供：共通）問 28. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ）

【全体】

「自分の考えをしっかり持つことは大事だ」とする子供は 94.1%（「そう思う」が 68.7%＋「どちらかといえばそう思う」が 25.4%）である。

図表 1-108　A　自分の考えをしっかり持つことは大事だ　＜単一回答＞

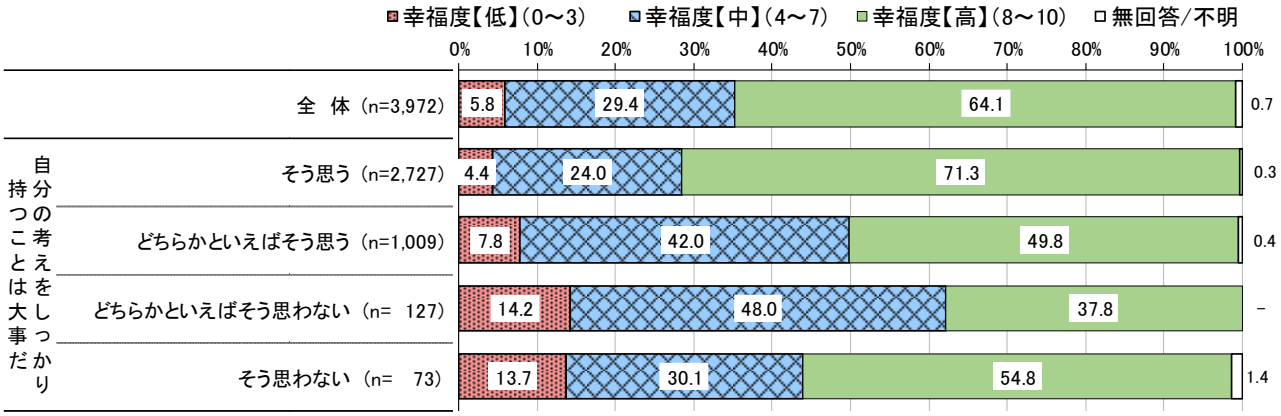


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の考えをしっかり持つことは大事だ」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 71.3%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 54.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-109　子供の幸福度(「自分の考えをしっかり持つことは大事だ」の回答別)



（子供：共通）問 28. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

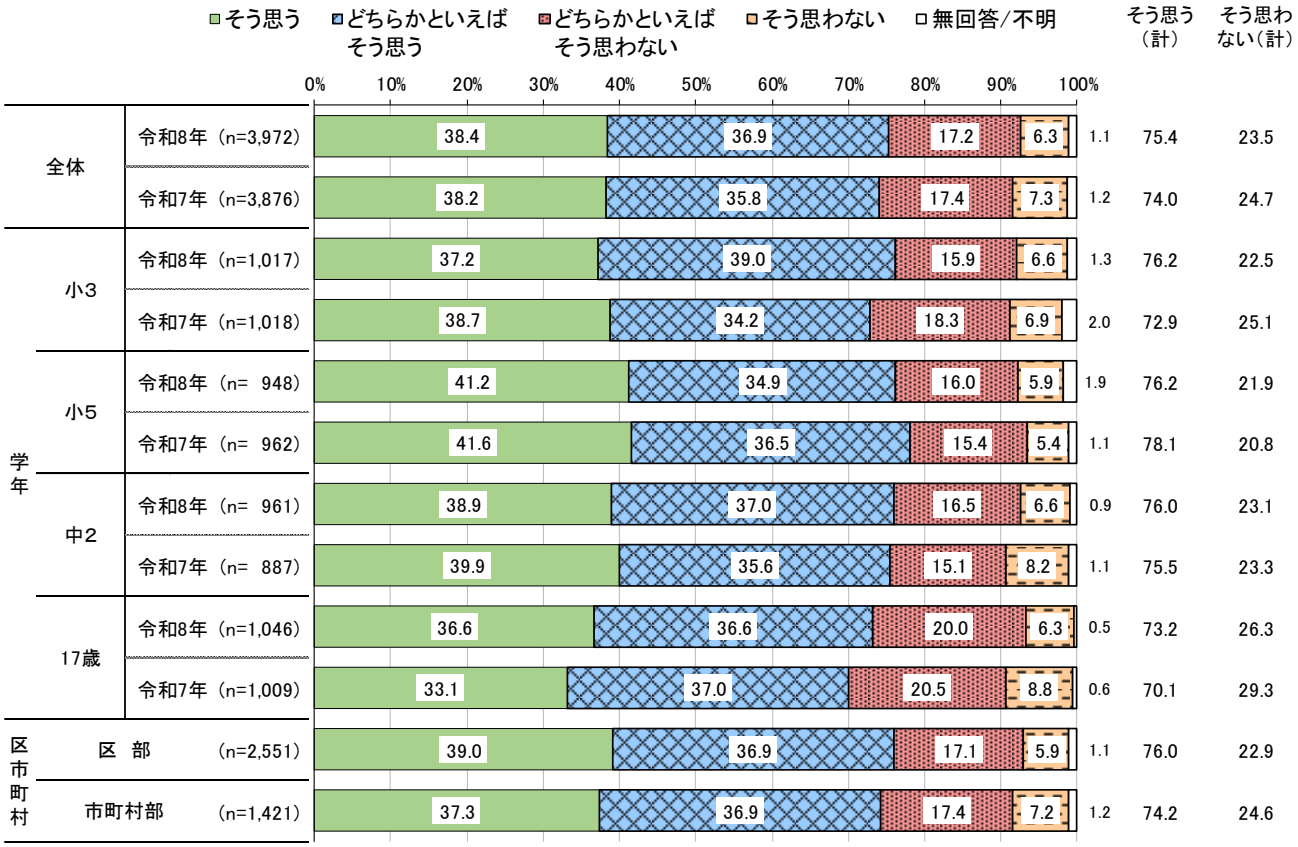
【全体】

「自分の考えを他の人にしっかりと言える」とする子供は 75.4%（「そう思う」が 38.4%＋「どちらかといえばそう思う」が 36.9%）である。

【学年別】

小5、中2では「そう思う」が最も高く、小3では「どちらかといえばそう思う」が最も高い。17 歳では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」がともに 36.6%である。

図表 1-110　B　自分の考えを他の人にしっかりと言える　＜単一回答＞

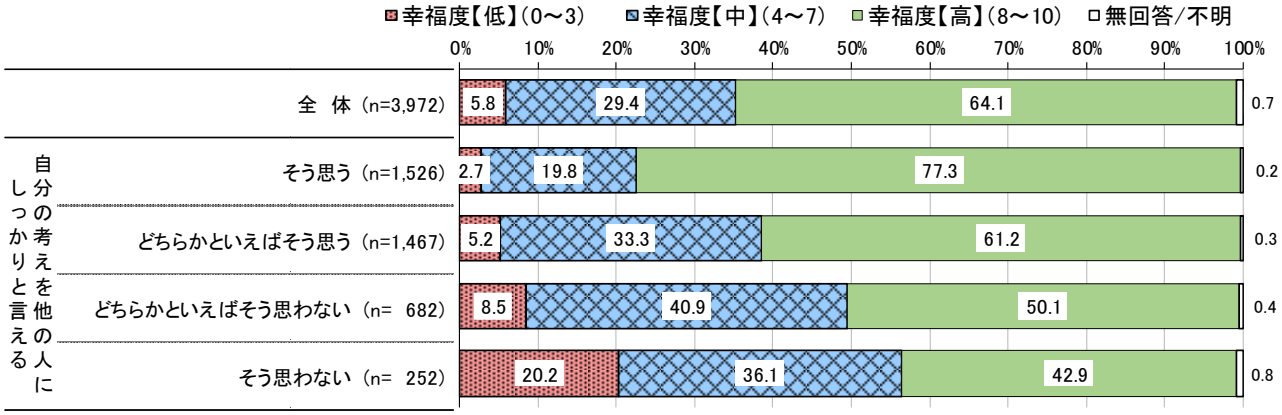


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「自分の考えを他の人にしっかりと言える」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した子供の 77.3%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した子供の 42.9%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「そう思わない」と回答した子供の 20.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-111　子供の幸福度(「自分の考えを他の人にしっかりと言える」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（A 家事）

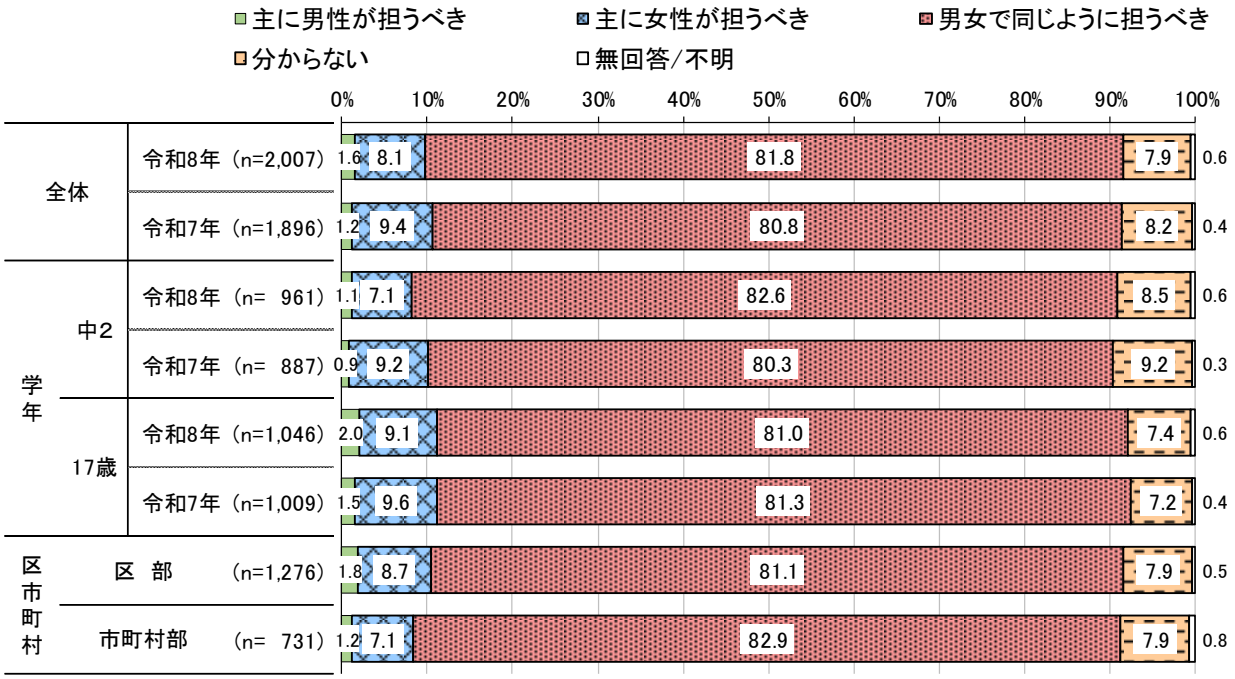
【全体】

家庭における男女の家事分担について、「男女で同じように担うべき」が 81.8％で最も高く、「主に女性が担うべき」が 8.1％、「主に男性が担うべき」は 1.6％である。なお「分からない」は 7.9％である。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 82.6％、17 歳では 81.0％である。

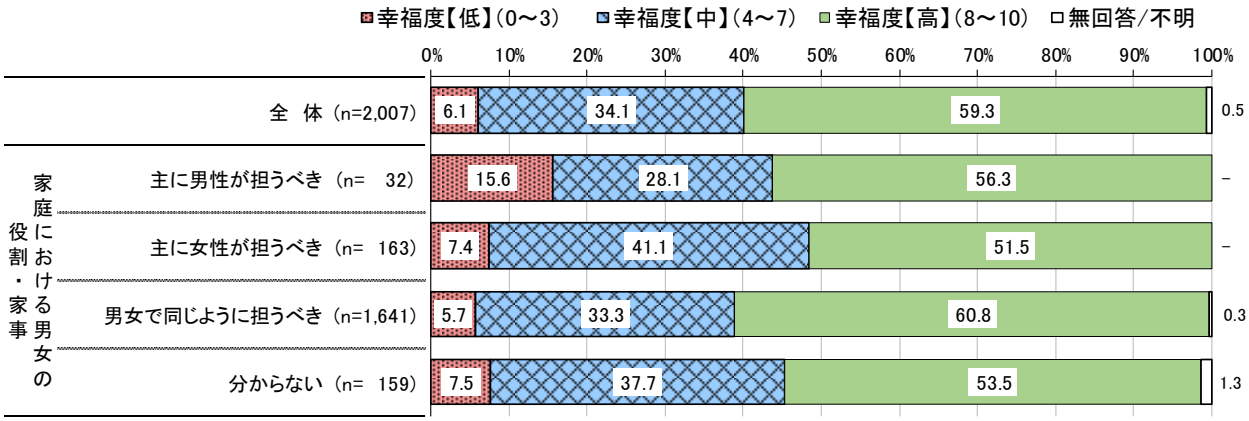
図表 1-112 A 家庭における男女の役割・家事 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・家事」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供の 60.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-113　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・家事」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（B 育児）

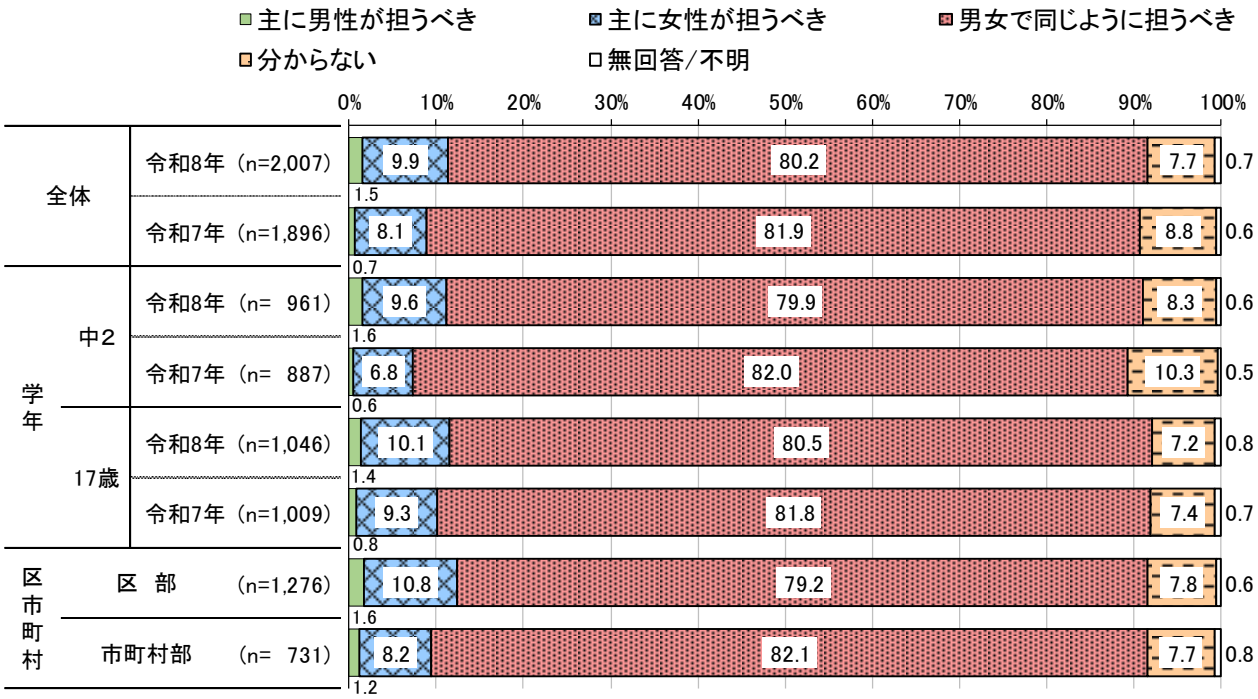
【全体】

家庭における男女の育児分担について、「男女で同じように担うべき」が 80.2%で最も高く、次いで「主に女性が担うべき」が 9.9%、「主に男性が担うべき」が 1.5%である。なお「分からない」は 7.7%である。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 79.9%、17 歳では 80.5%である。

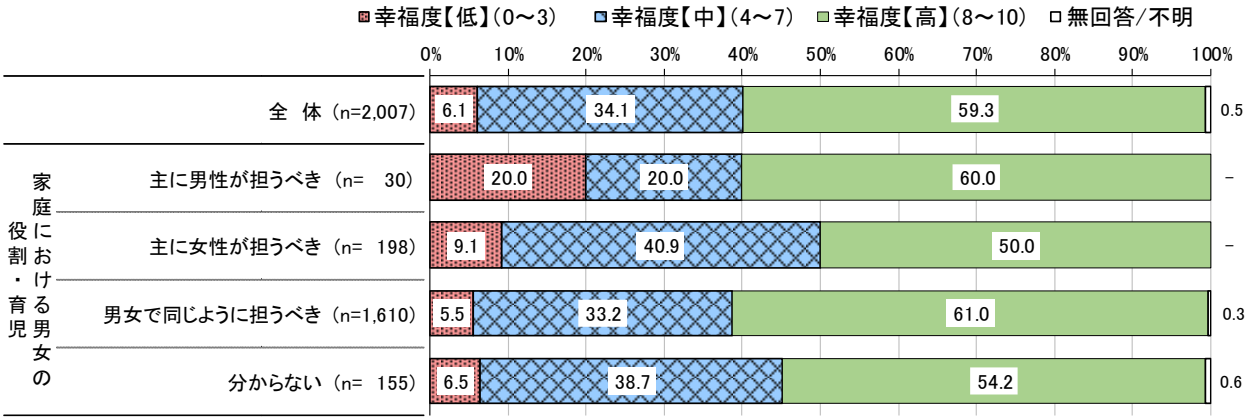
図表 1-114 B 家庭における男女の役割・育児 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・育児」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供の 61.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-115　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・育児」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（C 仕事）

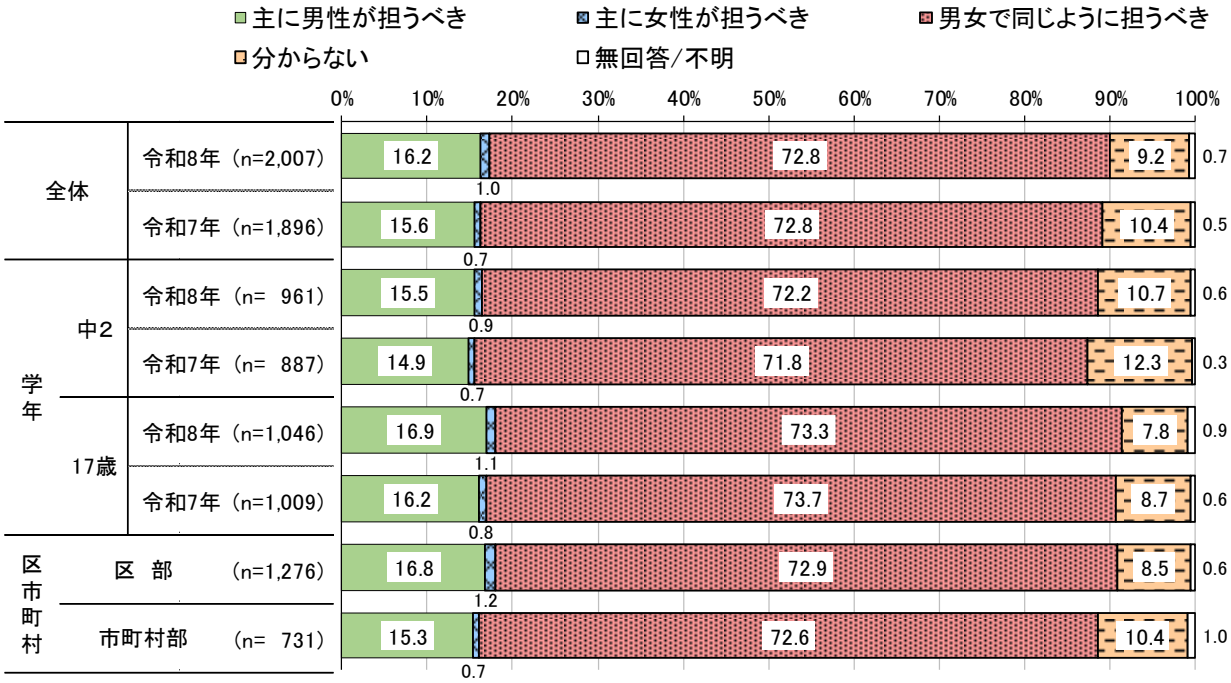
【全体】

家庭における男女の仕事分担について、「男女で同じように担うべき」が 72.8％で最も高く、「主に男性が担うべき」が 16.2％、「主に女性が担うべき」が 1.0％である。なお「分からない」は 9.2％である。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 72.2％、17 歳では 73.3％である。

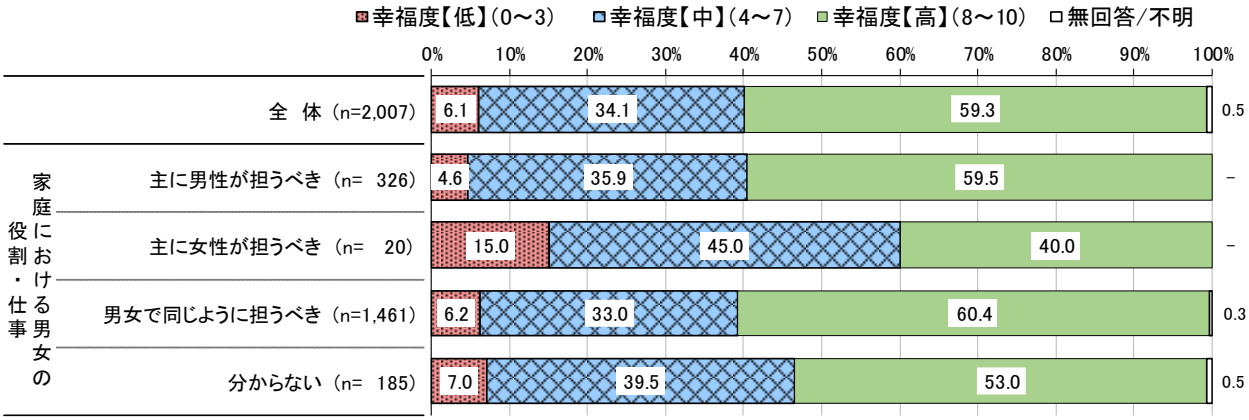
図表 1-116 C 家庭における男女の役割・仕事 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・仕事」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供の 60.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-117　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・仕事」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（D　介護）

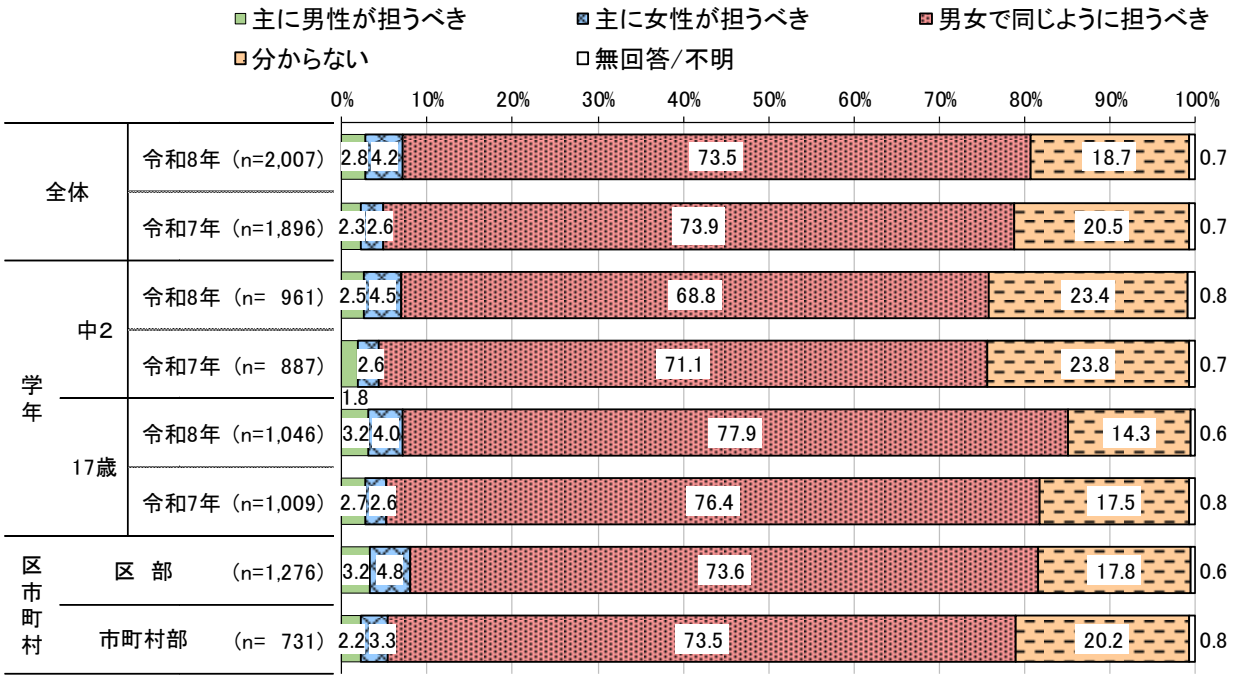
【全体】

家庭における男女の介護分担について、「男女で同じように担うべき」が 73.5％で最も高く、「主に女性が担うべき」が 4.2％、「主に男性が担うべき」が 2.8％である。なお「分からない」は 18.7％である。

【学年別】

中2、17 歳ともに「男女で同じように担うべき」が最も高く、中2では 68.8％、17 歳では 77.9％である。

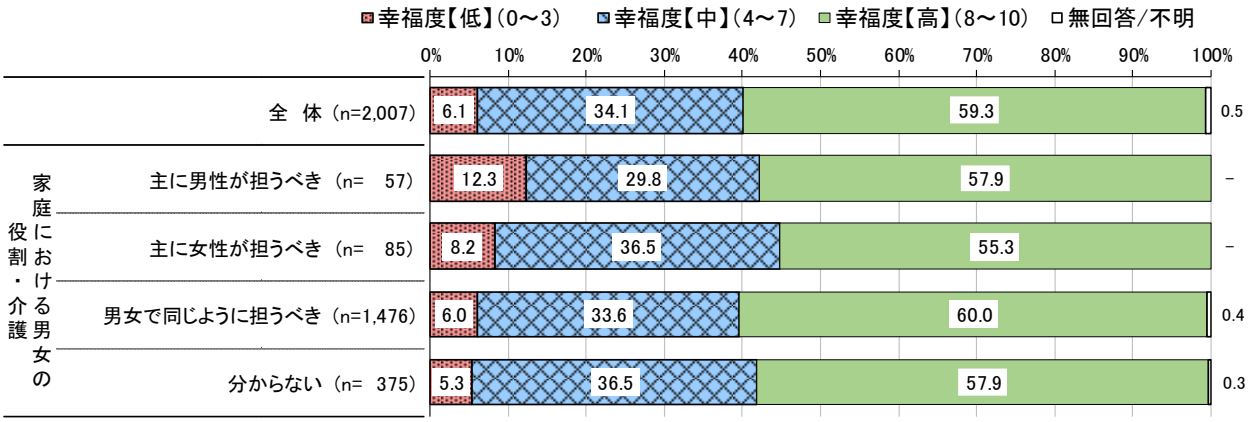
図表 1-118　D　家庭における男女の役割・介護　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「家庭における男女の役割・介護」の回答別に子供の幸福度をみると、「男女で同じように担うべき」と回答した子供の 60.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-119　子供の幸福度(「家庭における男女の役割・介護」の回答別)



（子供：共通）問 30. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ 1 つ）

（A パソコン）

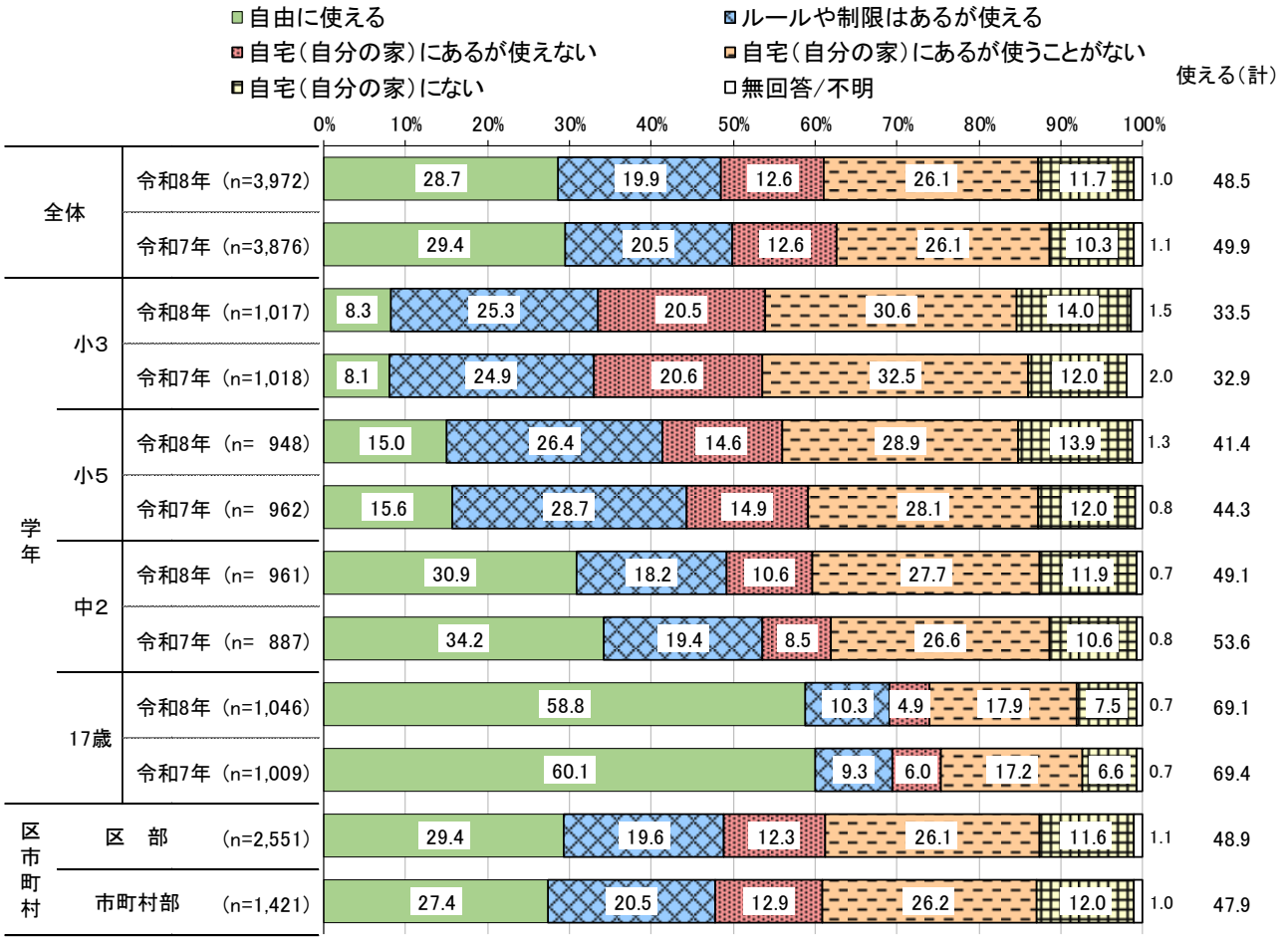
【全体】

パソコンが「使える」とする子供は 48.5%（「自由に使える」が 28.7%＋「ルールや制限はあるが使える」が 19.9%）である。なお、「自宅（自分の家）にあるが使うことがない」は 26.1%である。

【学年別】

パソコンが「使える」とする子供（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。なお、小3、小5では「自宅（自分の家）にあるが使うことがない」が最も高く、中2、17 歳では「自由に使える」が最も高い。

図表 1-120 A パソコンの有無・使用状況 ＜単一回答＞

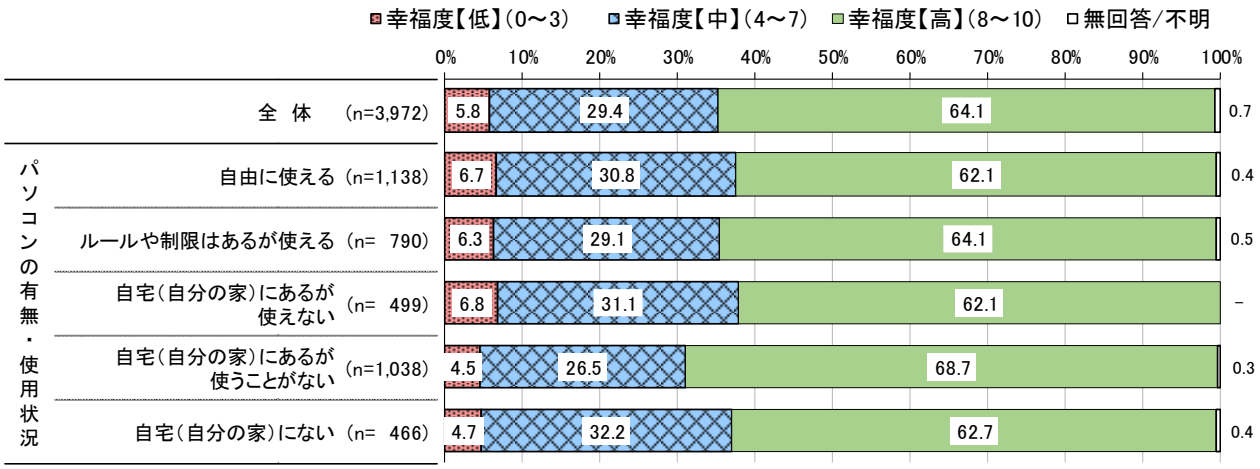


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」と回答した子供の割合。

【子供の幸福度】

「パソコンの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にあるが使うことがない」と回答した子供の 68.7%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-121　子供の幸福度（「パソコンの有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 30. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ 1 つ）
（B スマートフォン）

【全体】

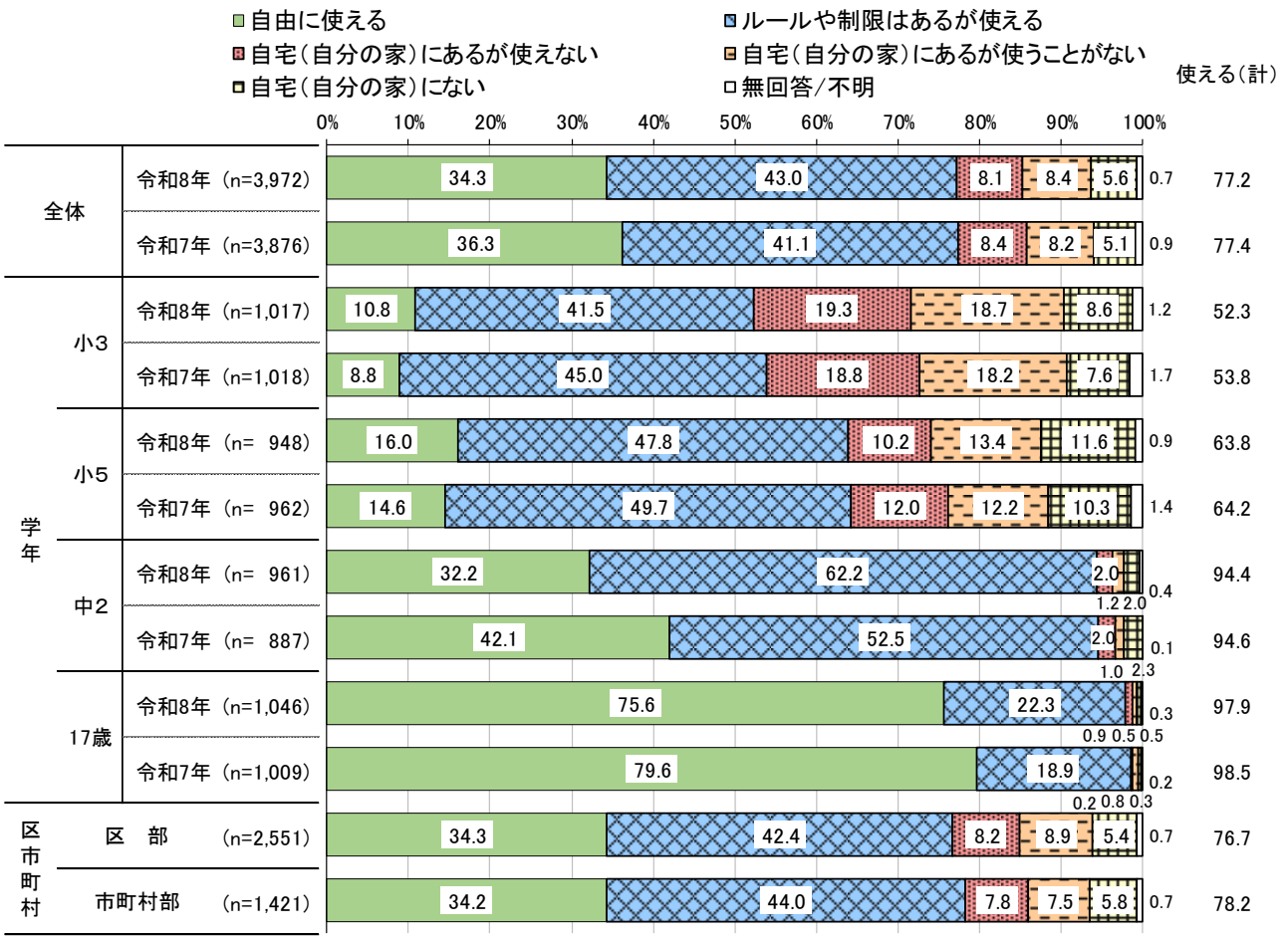
スマートフォンが「使える」とする子供は 77.2%（「自由に使える」が 34.3%＋「ルールや制限はあるが使える」が 43.0%）である。

【学年別】

スマートフォンが「使える」とする子供（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。なお、小3、小5、中2では「ルールや制限はあるが使える」が最も高く、17 歳では「自由に使える」が最も高い。

経年比較でみると、中2で「自由に使える」が 9.9 ポイント減少し、「ルールや制限はあるが使える」が 9.7 ポイント増加している。

図表 1-122 B スマートフォンの有無・使用状況 ＜単一回答＞

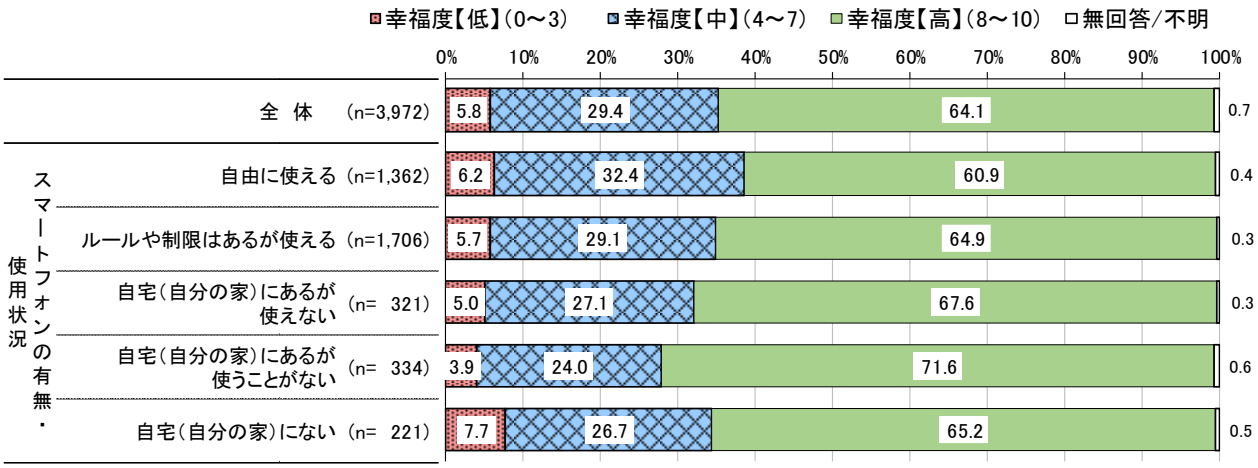


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「スマートフォンの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にあるが使うことがない」と回答した子供の 71.6％が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-123　子供の幸福度（「スマートフォンの有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 30. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ 1 つ）
（C タブレット）

【全体】

タブレットが「使える」とする子供は 72.8%（「自由に使える」が 35.2%＋「ルールや制限はあるが使える」が 37.6%）である。

【学年別】

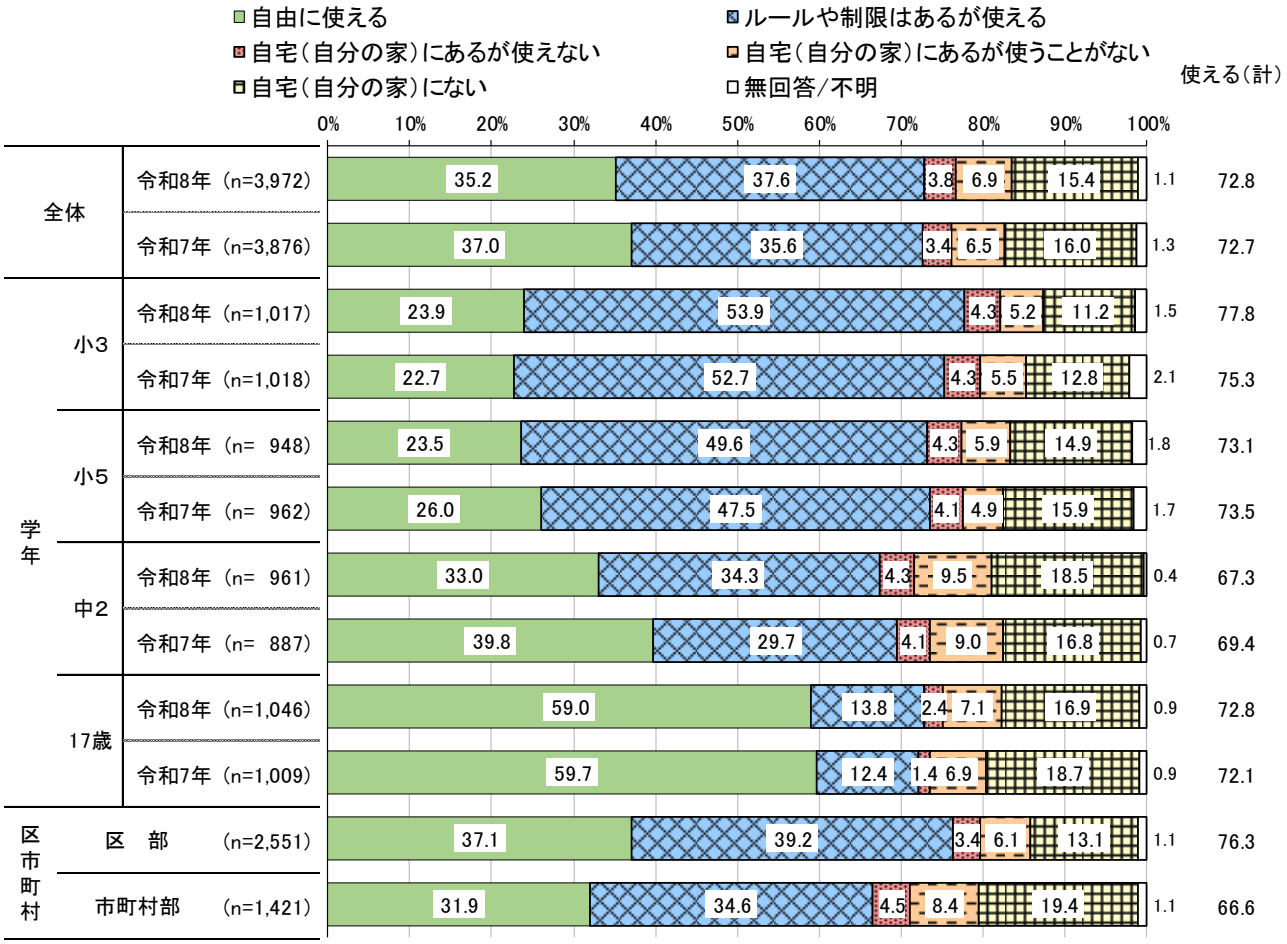
タブレットが「使える」とする子供（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）は、小3が 77.8%で最も高い。小3、小5では、「自由に使える」がそれぞれ 23.9%、23.5%であるが、中2で 33.0%、17 歳では 59.0%である。

経年比較でみると、中2で「自由に使える」が 6.8 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部はタブレットが「使える」とする子供（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）が 76.3%で、市町村部に比べて 9.7 ポイント高い。市町村部は「自宅（自分の家）にない」が 19.4%で、区部に比べて 6.3 ポイント高い。

図表 1-124 タブレットの有無・使用状況 ＜単一回答＞

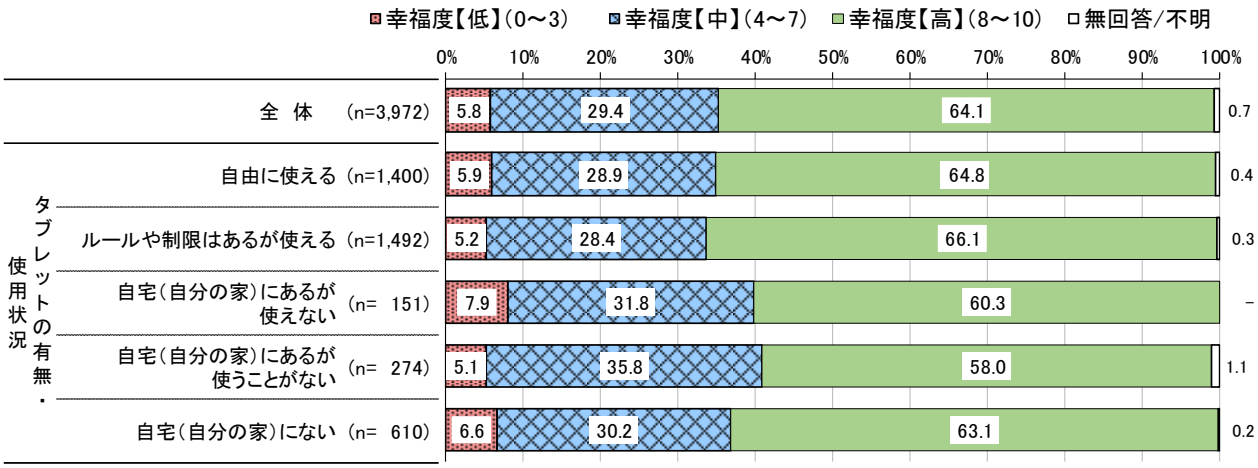


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「タブレットの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「ルールや制限はあるが使える」と回答した子供の 66.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-125　子供の幸福度(「タブレットの有無・使用状況」の回答別)



（子供：共通）問 30. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ 1 つ）
（D インターネット接続（Wi-Fi など））

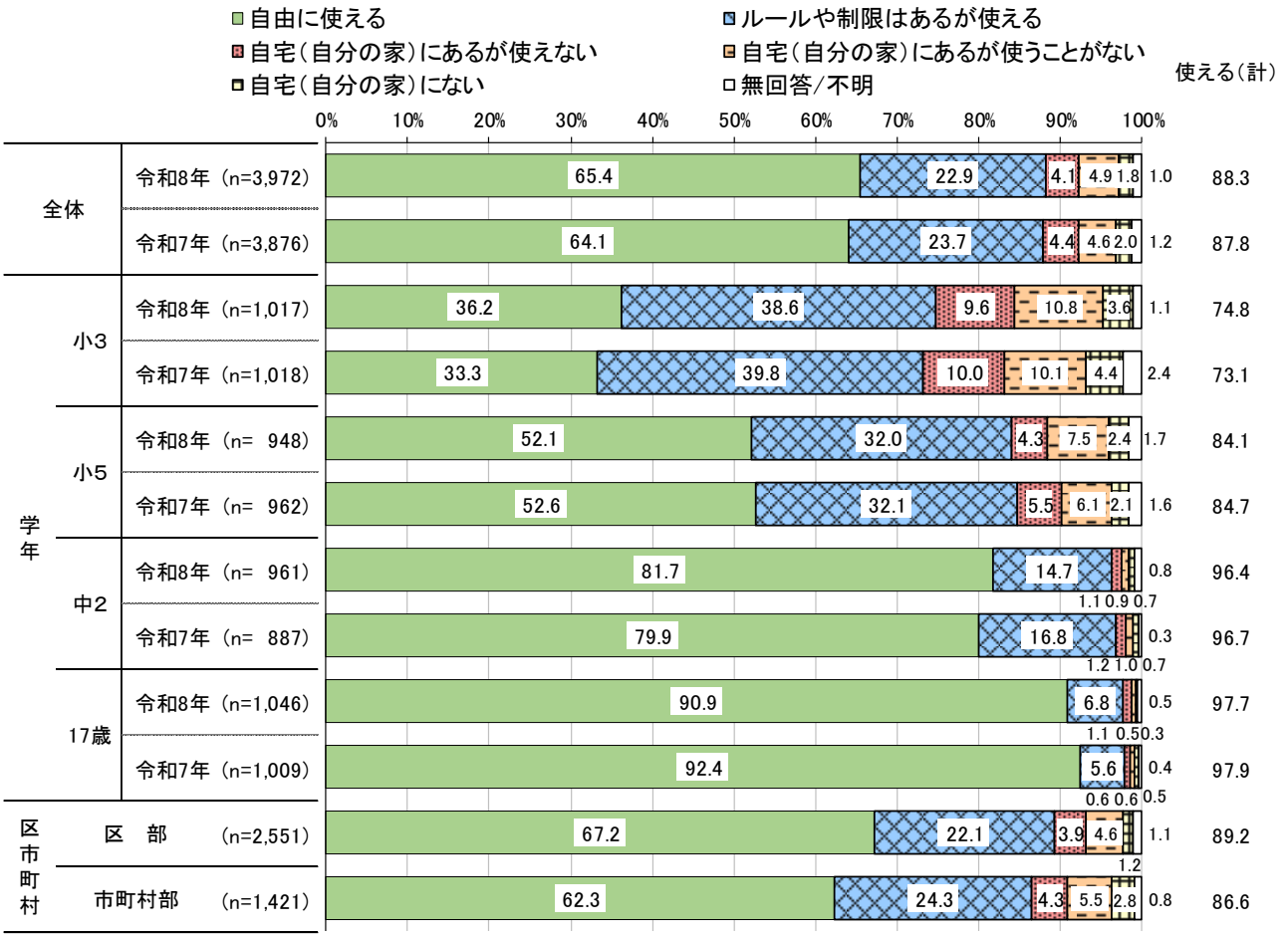
【全体】

インターネット接続（Wi-Fi など）が「使える」とする子供は 88.3%（「自由に使える」が 65.4%＋「ルールや制限はあるが使える」が 22.9%）である。

【学年別】

インターネット接続（Wi-Fi など）が「使える」とする子供（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。

図表 1-126 D インターネット接続（Wi-Fi など）の有無・使用状況 ＜単一回答＞

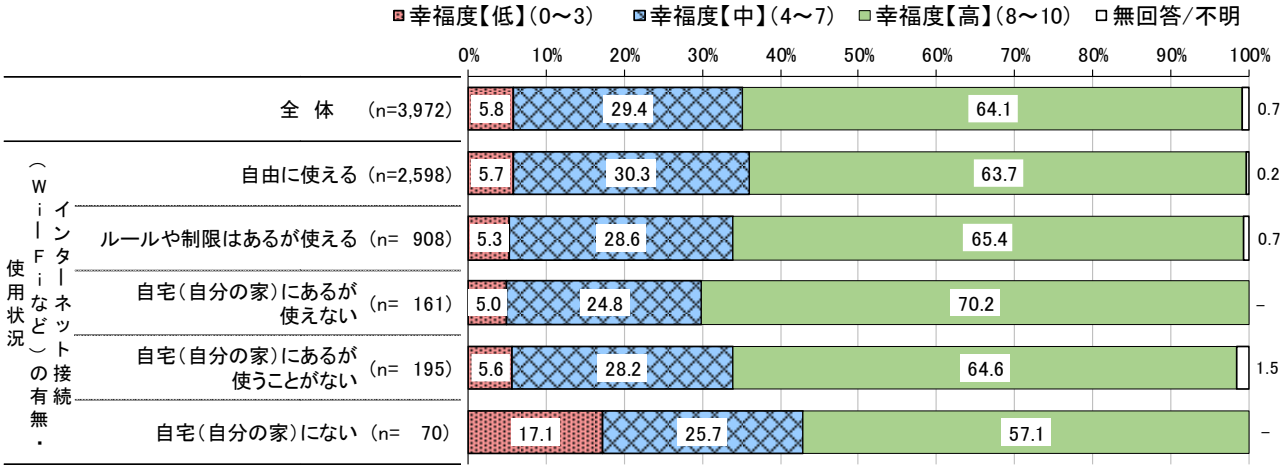


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「インターネット接続(Wi-Fi など)の有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅(自分の家)にあるが使えない」と回答した子供の 70.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-127　子供の幸福度(「インターネット接続(Wi-Fi など)の有無・使用状況」の回答別)



（子供：共通）問 30. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ１つ）
（E 家庭用ゲーム機）

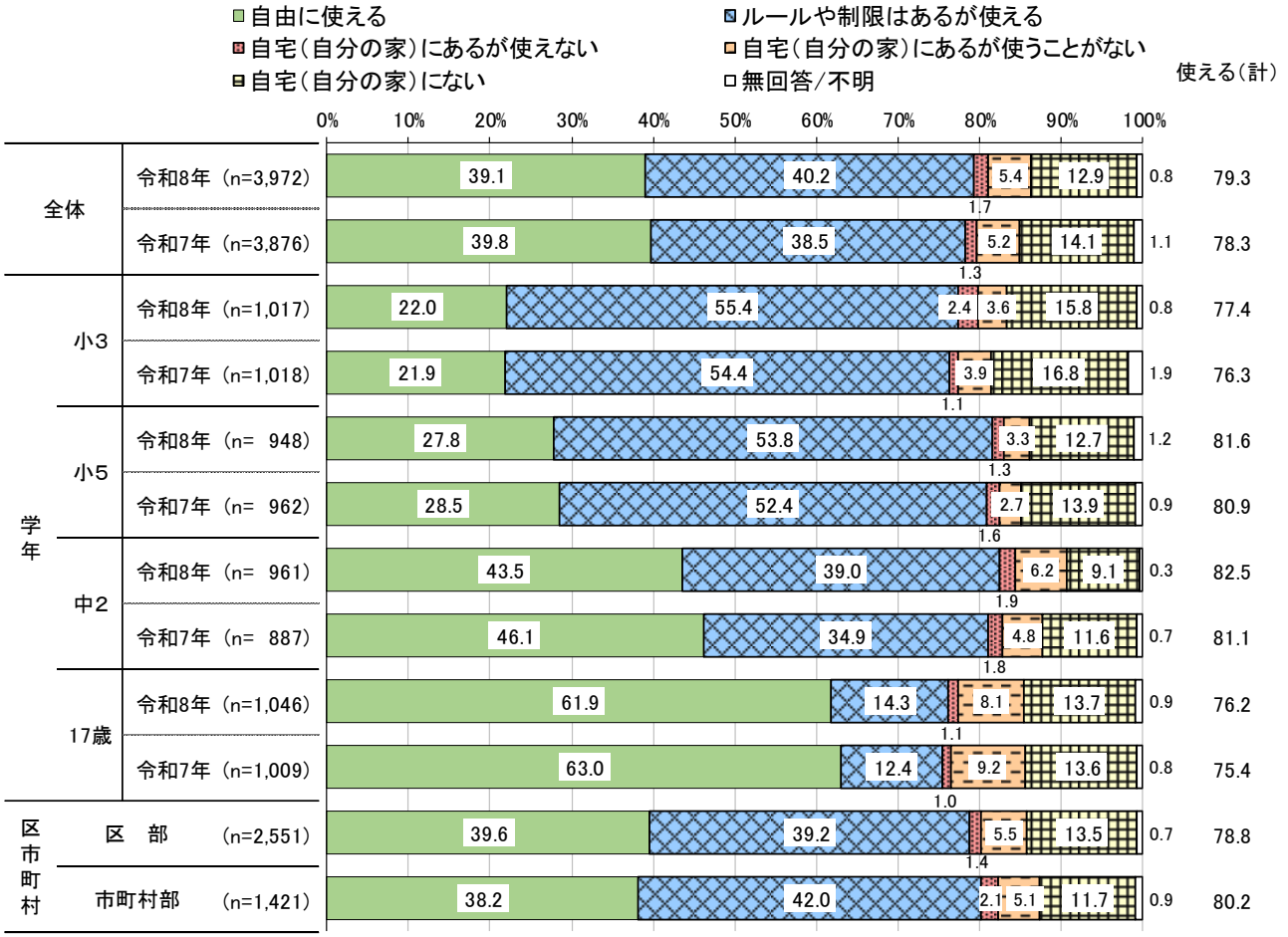
【全体】

家庭用ゲーム機が「使える」とする子供は 79.3%（「自由に使える」が 39.1%＋「ルールや制限はあるが使える」が 40.2%）である。

【学年別】

家庭用ゲーム機が「使える」とする子供（「自由に使える」と「ルールや制限はあるが使える」の割合）は、中2で最も高く、82.5%である。「自由に使える」は、学年が上がると増加傾向である。

図表 1-128 E 家庭用ゲーム機の有無・使用状況 ＜単一回答＞

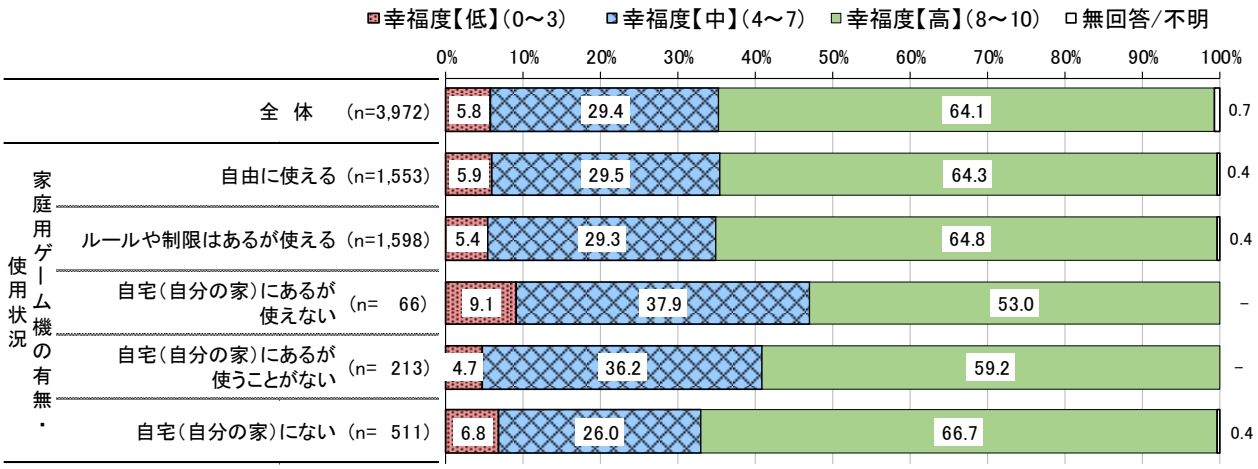


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「家庭用ゲーム機の有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にない」と回答した子供の 66.7%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-129　子供の幸福度（「家庭用ゲーム機の有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 30. 以下のものについて、あなたの自宅にあるかどうか、また、あなたが使えるかどうかを教えてください。（それぞれ 1 つ）
（F テレビ）

【全体】

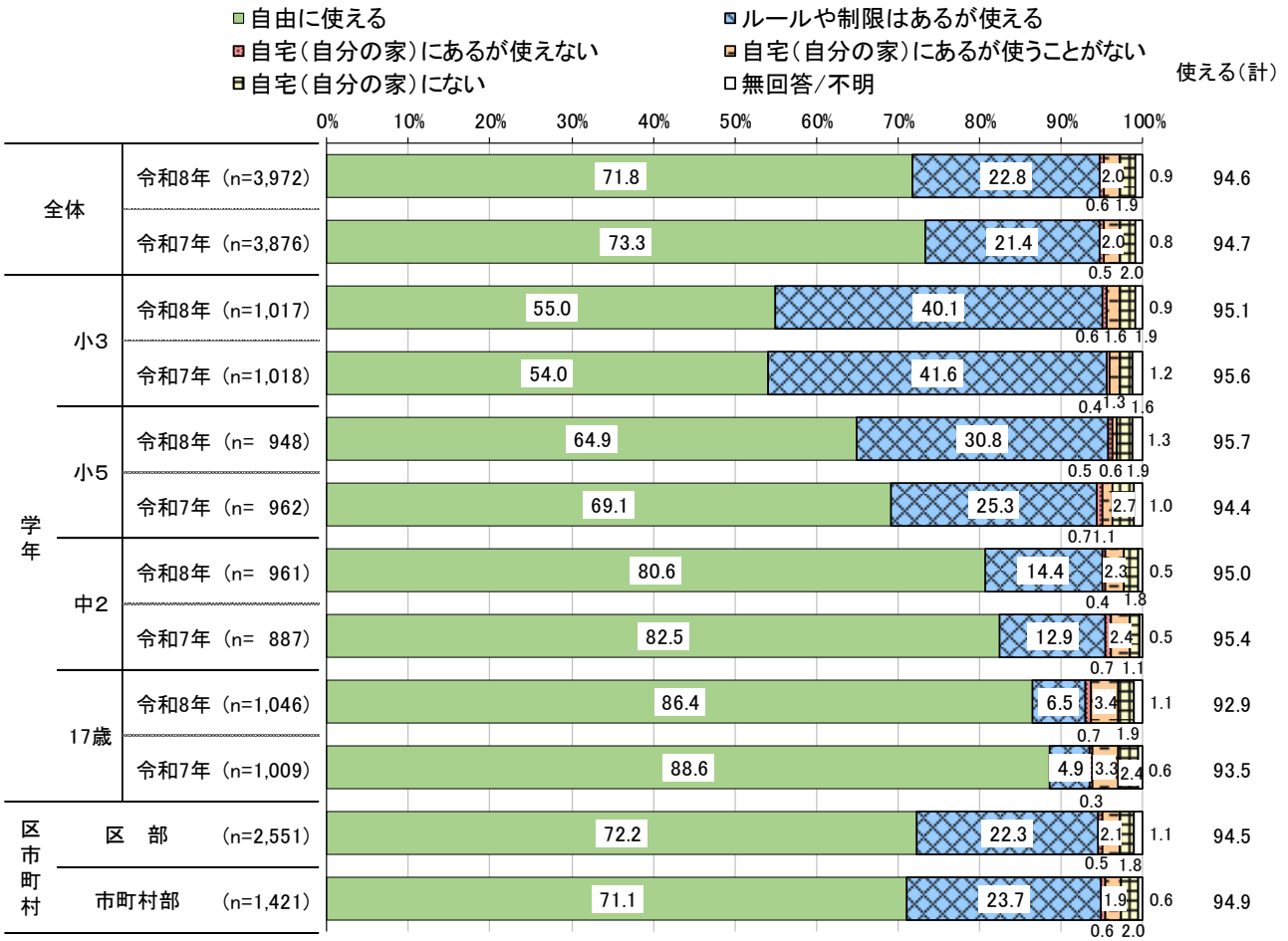
テレビが「使える」とする子供は 94.6%（「自由に使える」が 71.8%＋「ルールや制限はあるが使える」が 22.8%）である。

【学年別】

いずれの学年でも「自由に使える」が最も高く、学年が上がると増加傾向である。

経年比較でみると、小5で「ルールや制限はあるが使える」が 5.5 ポイント増加している。

図表 1-130 F テレビの有無・使用状況 ＜単一回答＞

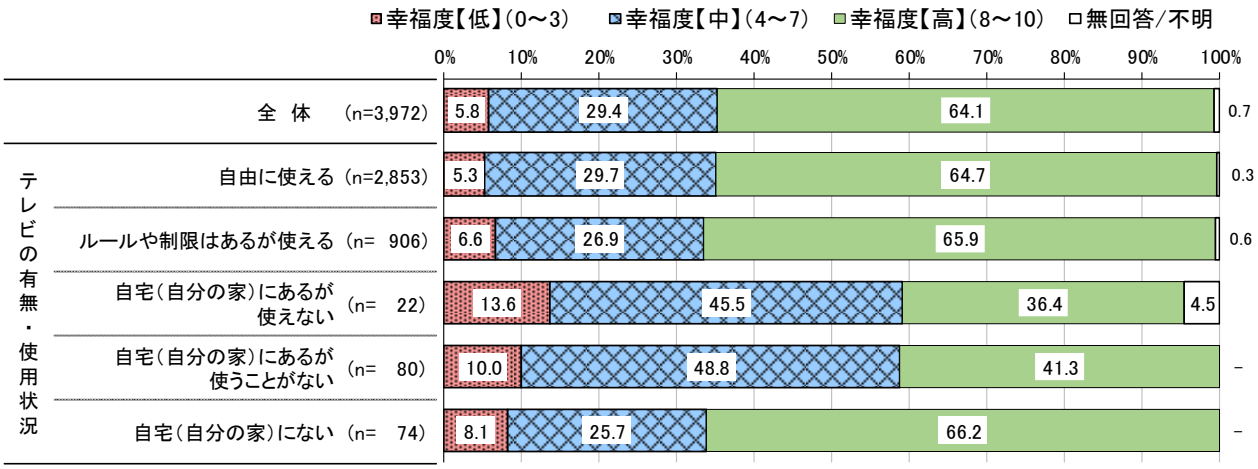


※使える（計）は「自由に使える」及び「ルールや制限はあるが使える」の割合。

【子供の幸福度】

「テレビの有無・使用状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅（自分の家）にない」と回答した子供の 66.2%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-131　子供の幸福度（「テレビの有無・使用状況」の回答別）



（子供：共通）問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

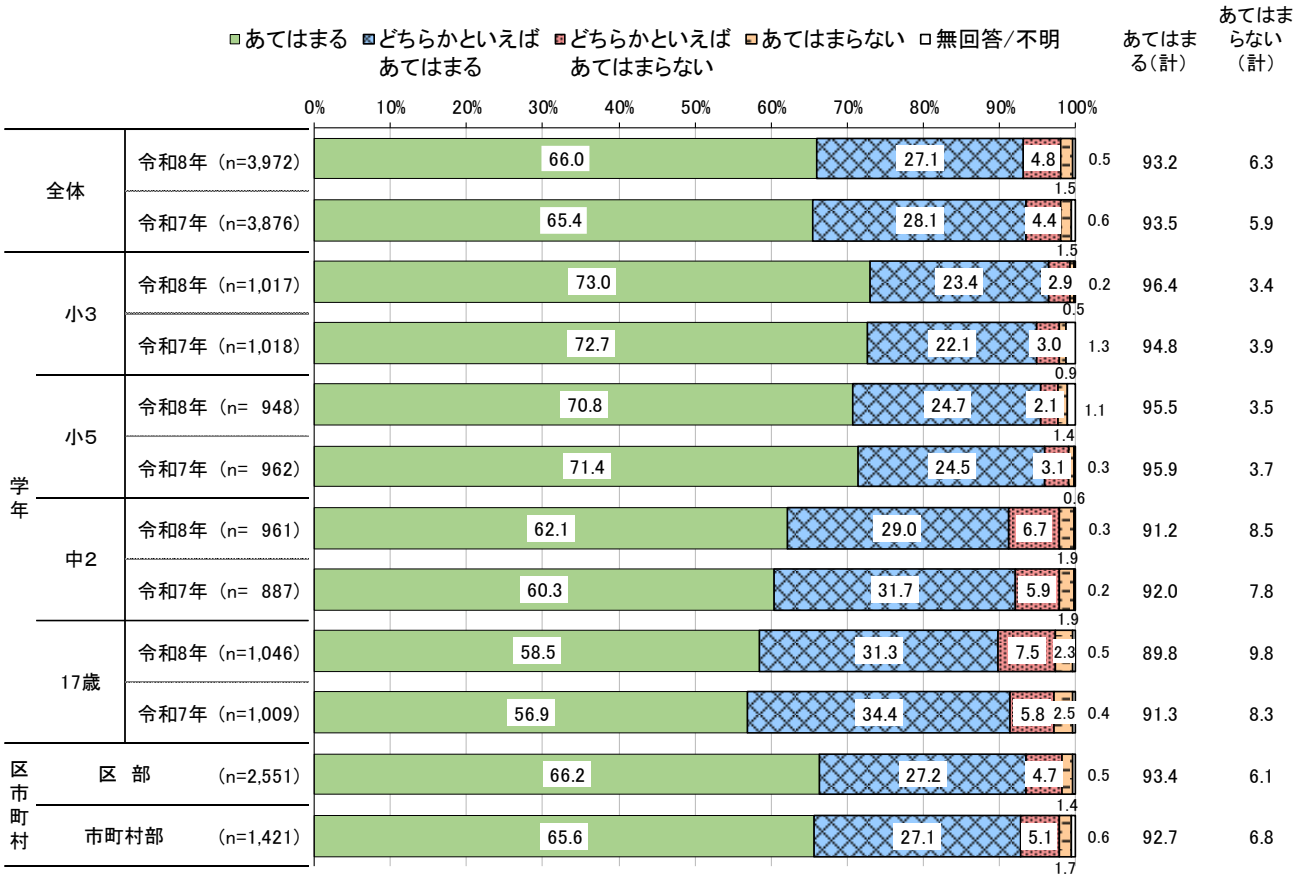
【全体】

「家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」とする子供は 93.2%（「あてはまる」が 66.0%＋「どちらかといえばあてはまる」が 27.1%）である。

【学年別】

「あてはまる」と回答した割合は、学年が上がると減少傾向で、小3では 73.0%であるが、17 歳では 58.5%である。

図表 1-132　A 家族と一緒に心地よい時間を過ごしている ＜単一回答＞



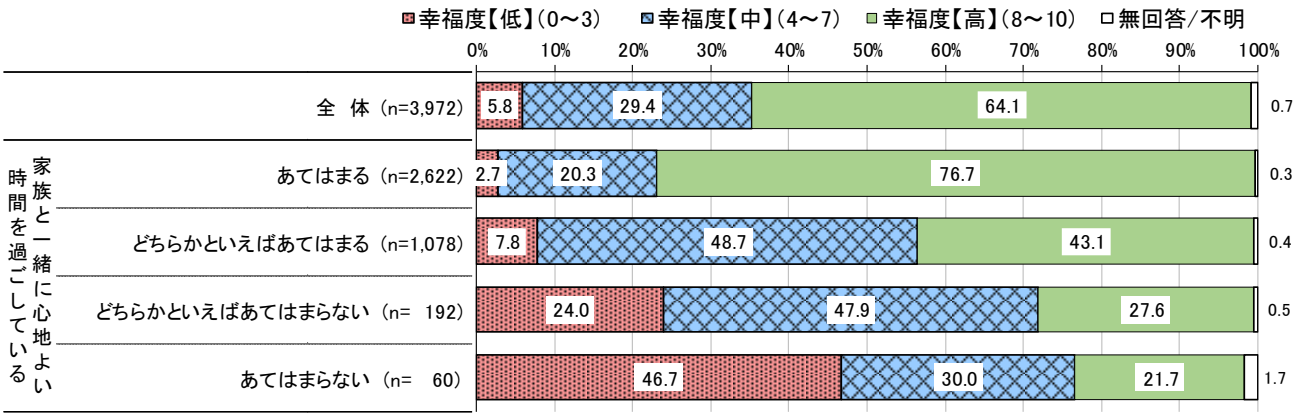
※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。

あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の76.7%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の21.7%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「あてはまらない」と回答した子供の46.7%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-133　子供の幸福度(「家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別)



（子供：共通）問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家では安心して過ごしている）

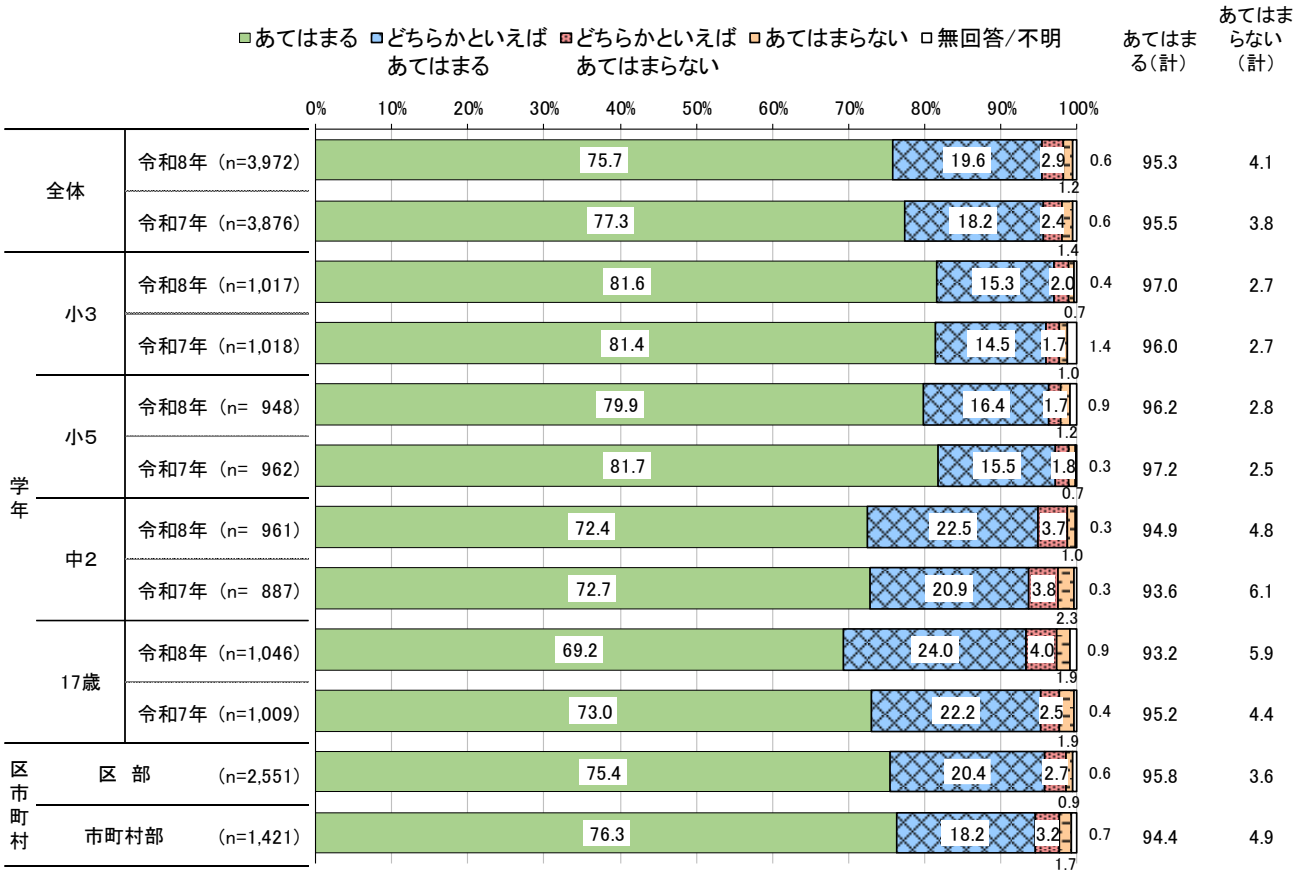
【全体】

「家では安心して過ごしている」とする子供は 95.3%（「あてはまる」が 75.7%＋「どちらかといえばあてはまる」が 19.6%）である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高く、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-134　B 家では安心して過ごしている ＜単一回答＞

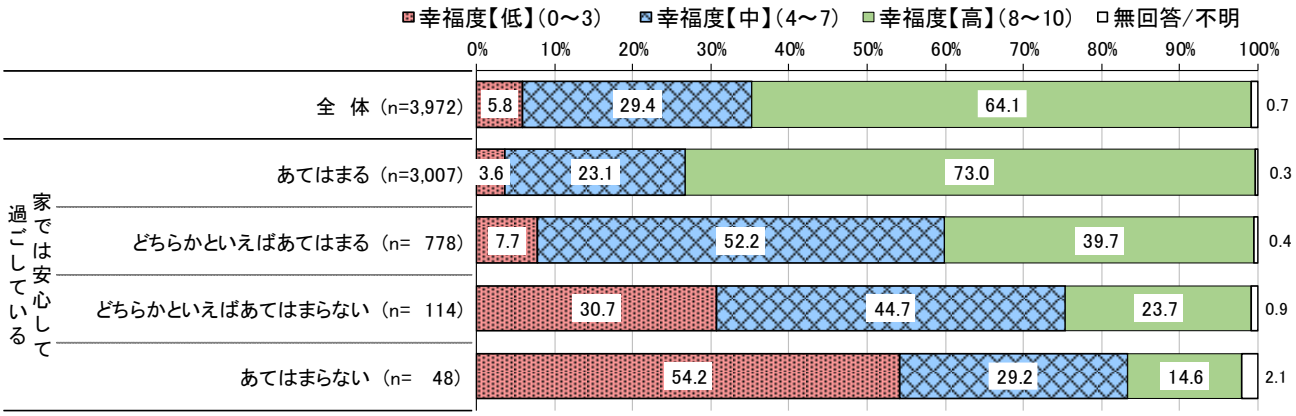


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「家では安心して過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供では 73.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-135　子供の幸福度(「家では安心して過ごしている」の回答別)



（子供：共通）問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている）

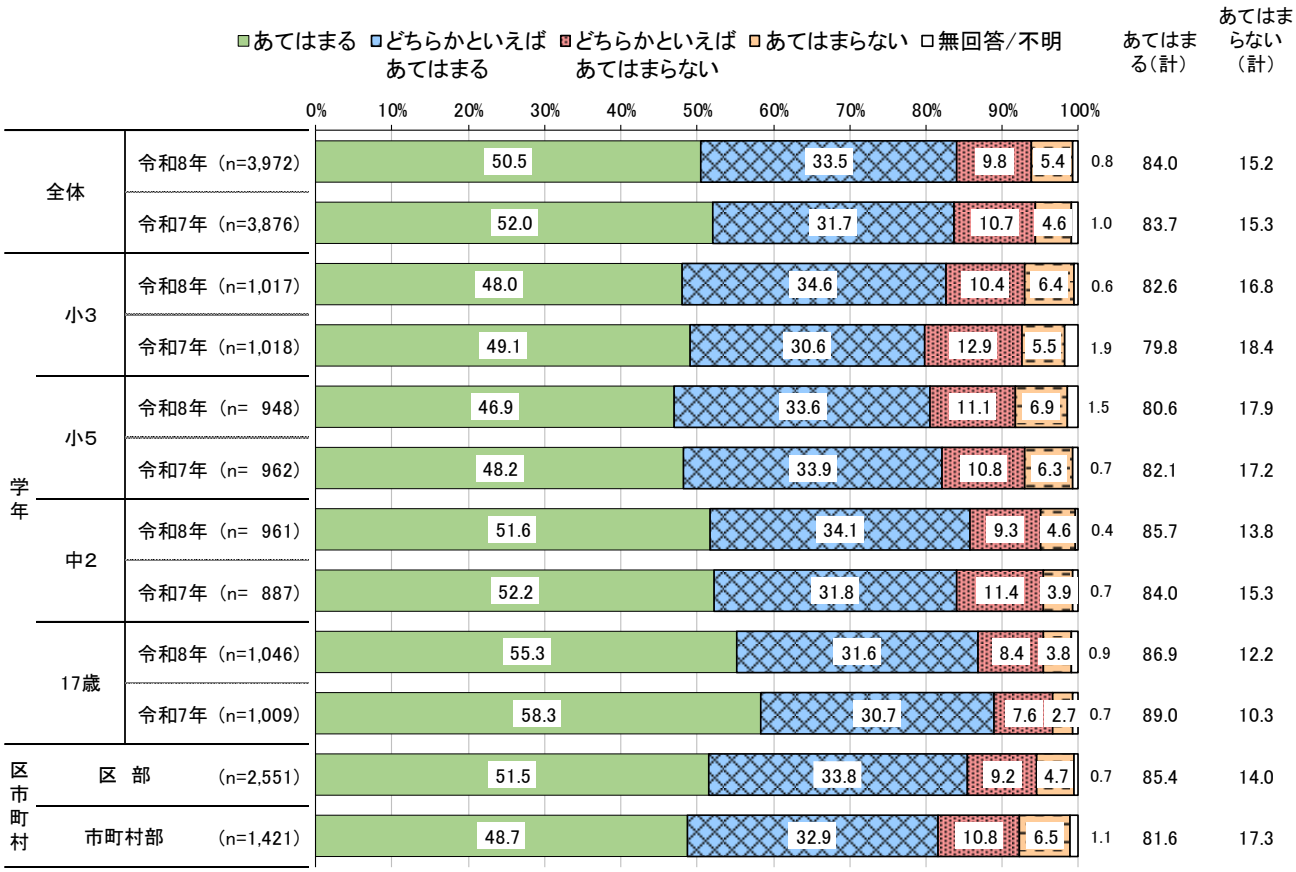
【全体】

「私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている」とする子供は 84.0%（「あてはまる」が 50.5%＋「どちらかといえばあてはまる」が 33.5%）である。

【学年別】

「私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている」とする子供（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、17 歳で最も高く、86.9%である。

図表 1-136　C 私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている ＜単一回答＞

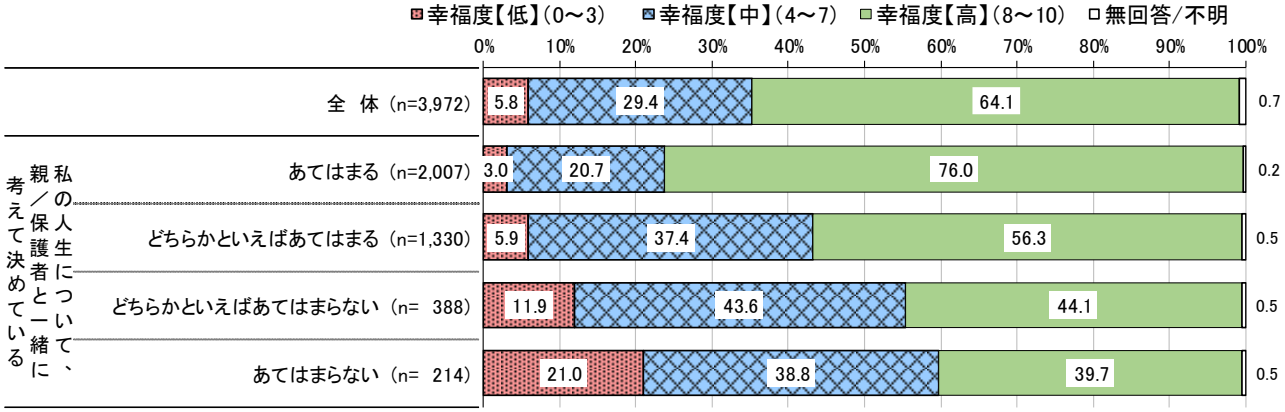


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
　あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の 76.0%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の 39.7%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「あてはまらない」と回答した子供の 21.0%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-137　子供の幸福度(「私の人生について、親／保護者と一緒に考えて決めている」の回答別)



（子供：共通）問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　親／保護者は私の話を聞いてくれる）

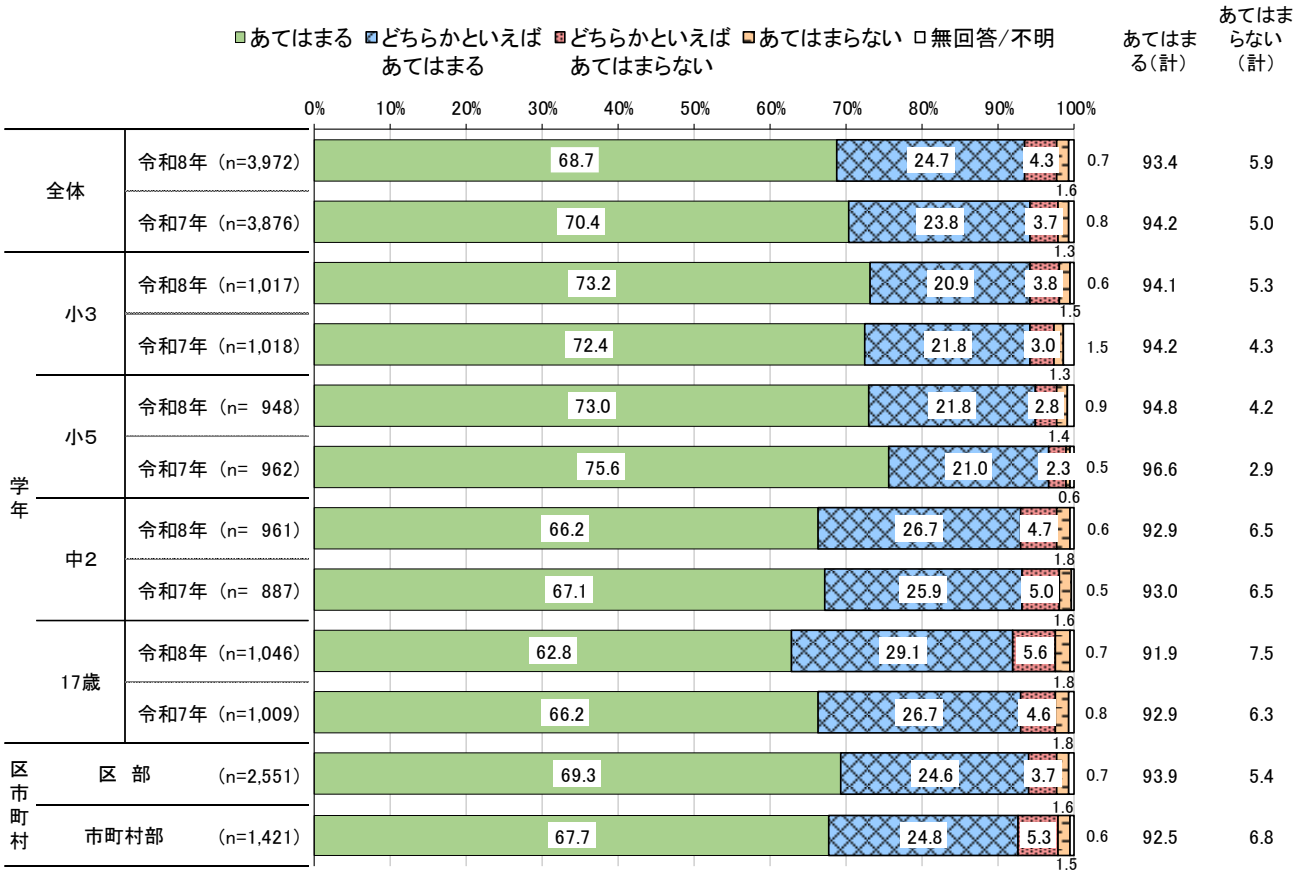
【全体】

「親／保護者は私の話を聞いてくれる」とする子供は 93.4%（「あてはまる」が 68.7%＋「どちらかといえばあてはまる」が 24.7%）である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高く、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-138　D 親／保護者は私の話を聞いてくれる ＜単一回答＞



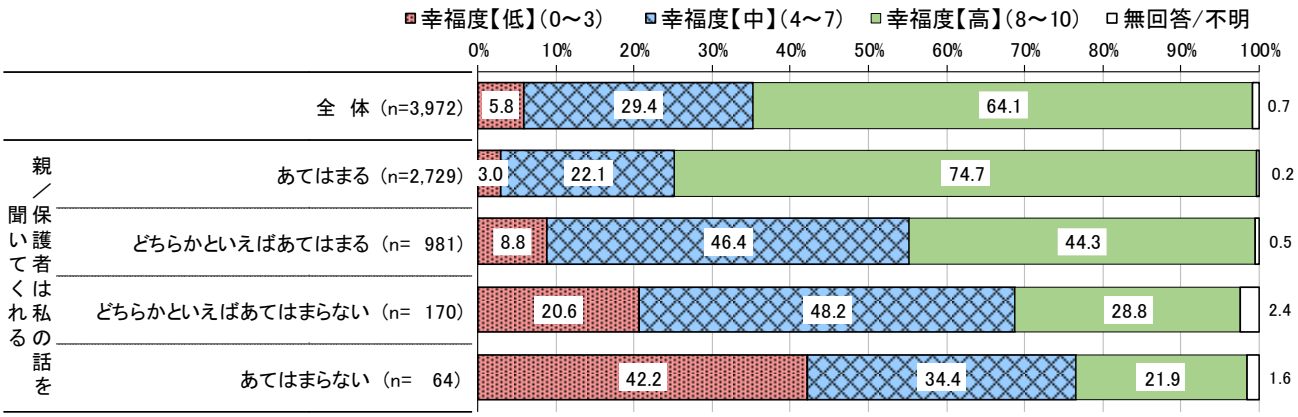
※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。

あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「親／保護者は私の話を聞いてくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した子供の 74.7%が幸福度【高】(8～10)で、「あてはまらない」と回答した子供の 21.9%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「あてはまらない」と回答した子供の 42.2%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-139　子供の幸福度(「親／保護者は私の話を聞いてくれる」の回答別)



（子供：共通）問 32.【問 31 の「D　親／保護者は私の話を聞いてくれる」について「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」と答えた方にお聞きします。】
「親／保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらないのは、なぜですか。（1つだけ）

【全体】

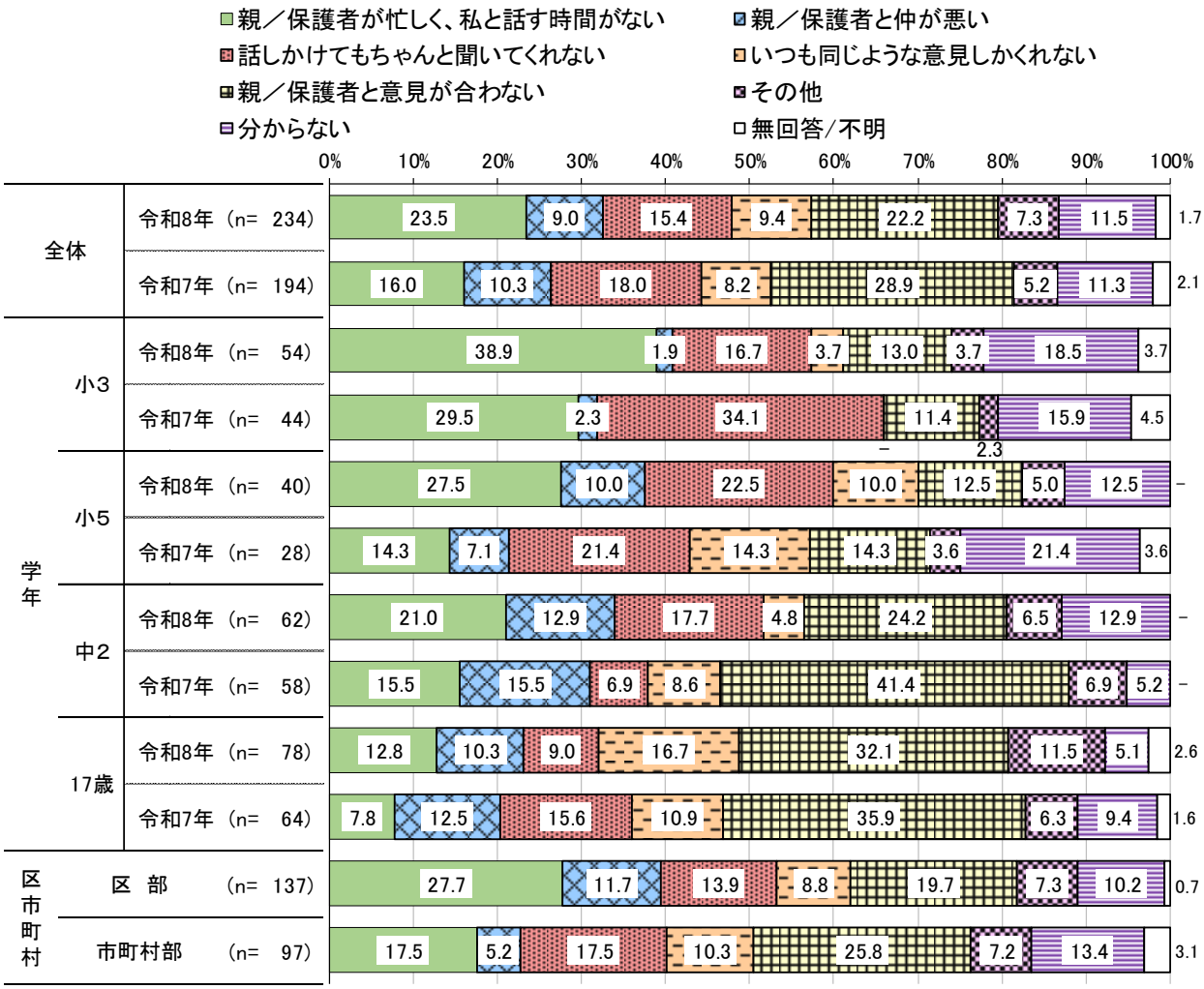
「親／保護者が忙しく、私と話す時間がない」が 23.5％で最も高く、次いで「親／保護者と意見が合わない」が 22.2％、「話しかけてもちゃんと聞いてくれない」が 15.4％である。

【学年別】

小3、小5では「親／保護者が忙しく、私と話す時間がない」がそれぞれ 38.9％、27.5％で最も高く、中2、17 歳では「親／保護者と意見が合わない」がそれぞれ 24.2％、32.1％で最も高い。

経年比較でみると、中2で「親／保護者と意見が合わない」が 17.2 ポイント減少している。

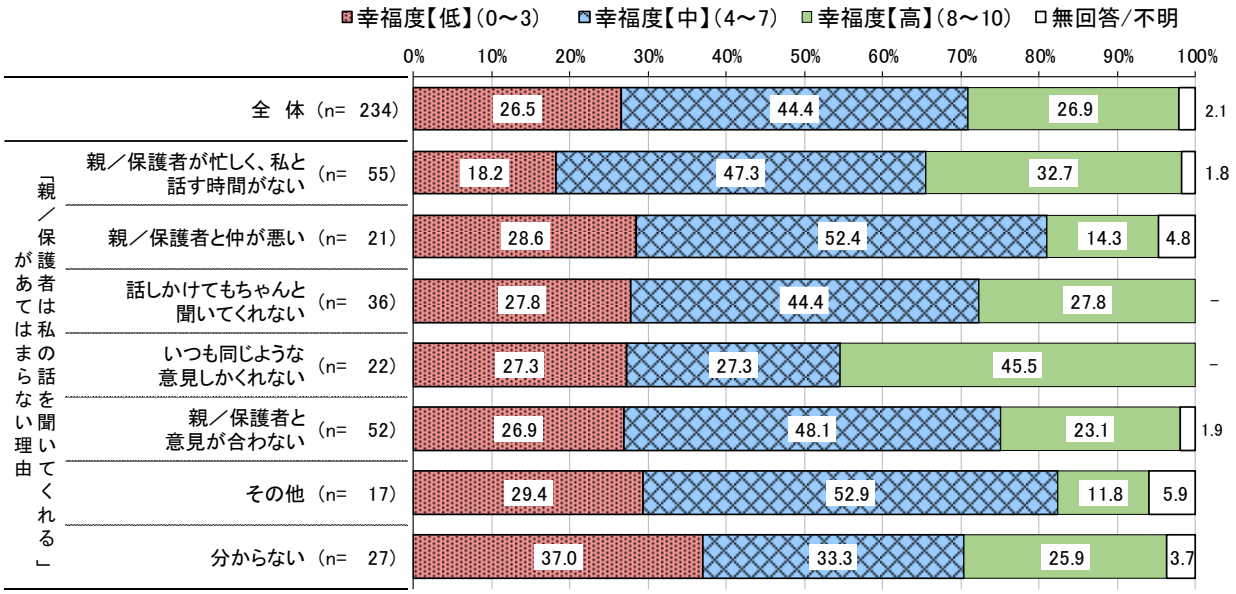
図表 1-140 「親／保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらない理由 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「『親／保護者は私の話を聞いてくれる』があてはまらない理由」の回答別に子供の幸福度をみると、「親／保護者が忙しく、私と話す時間がない」と回答した子供の 32.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-141　子供の幸福度(「『親／保護者は私の話を聞いてくれる』があてはまらない理由」の回答別)



【自由記述】

その他（「親／保護者は私の話を聞いてくれる」があてはまらない理由）
どうせ○○したからでしょと言われる（子供・小3）
しんじないことがある（子供・小5）
話しかけられない（子供・小5）
意見を聞こうとしないことが多少ある（子供・中2）
いつも否定してくる（子供・中2）
自分が話しかけに行かないから（子供・17 歳）
勉強しろとうるさい（子供・17 歳）
聞くことが無いが、意見が通りにくそうだった、（子供・17 歳）
親はこうと思ったことを頑として変えないし、キレやすいし、逆ギレする時がある。正しいことを言ってることもある事は理解しています。（子供・17 歳）
親に話すのが怖いことがある（子供・17 歳）
あまり相談しない（子供・17 歳）

（子供：共通）問 33. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　友達との関係は良好である）

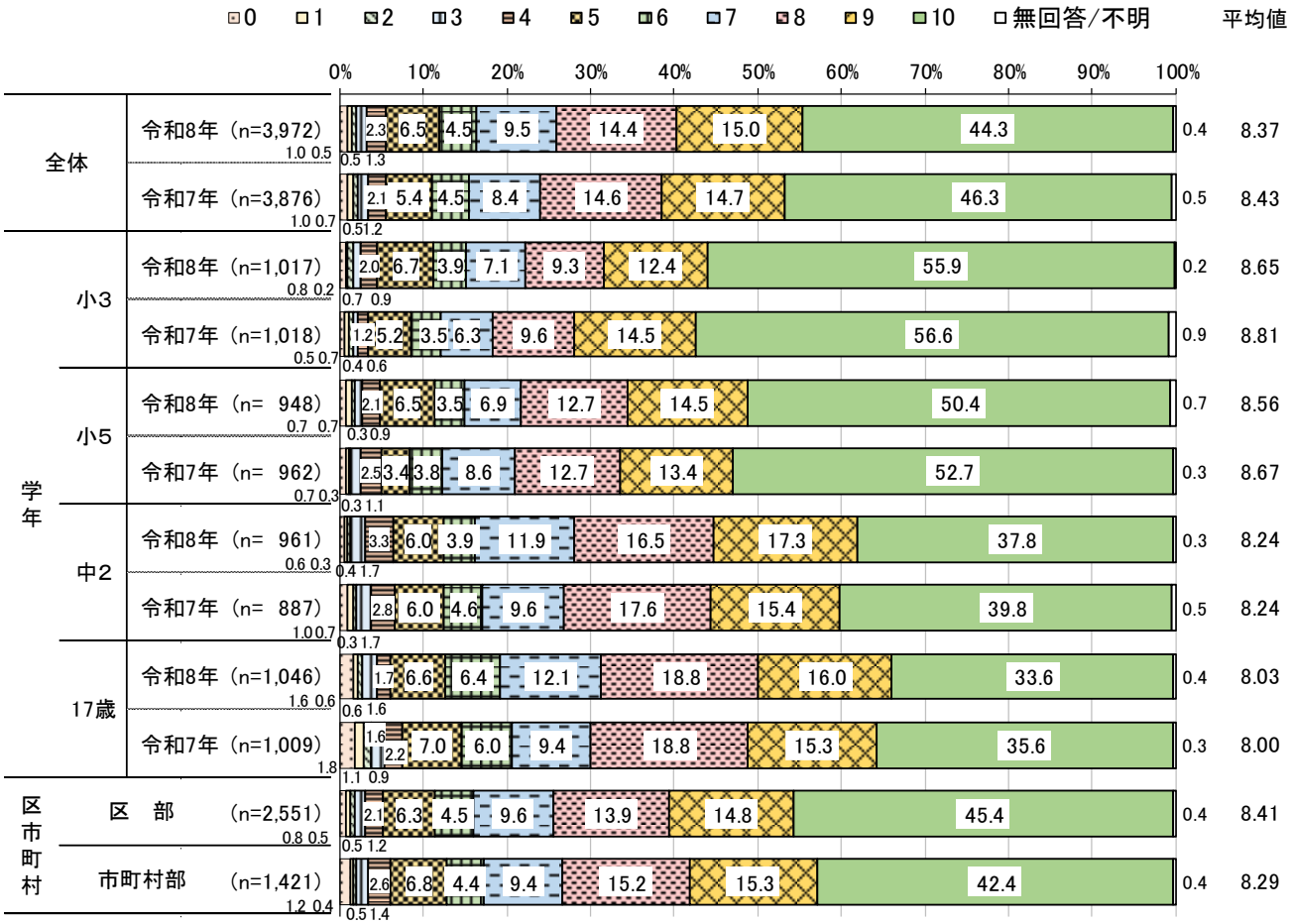
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 44.3％で最も高く、平均値は 8.37 である。

【学年別】

「10」（とてもあてはまる）は、学年が上がると減少傾向である。平均値も、学年が上がると減少傾向で、小3では 8.65、17 歳では 8.03 である。

図表 1-142　A 友達との関係は良好である ＜単一回答＞

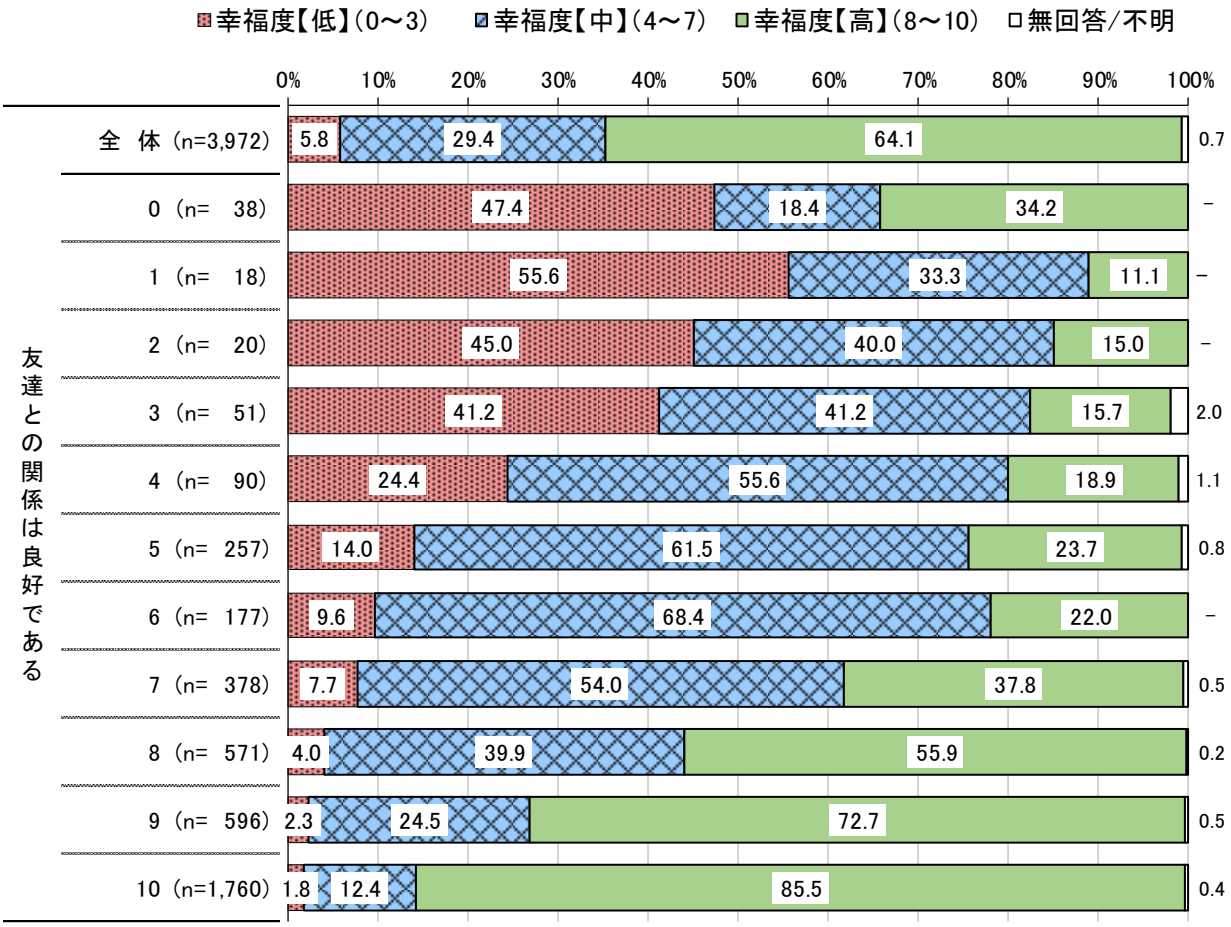


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「友達との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の85.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-143　子供の幸福度(「友達との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 33. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家族との関係は良好である）

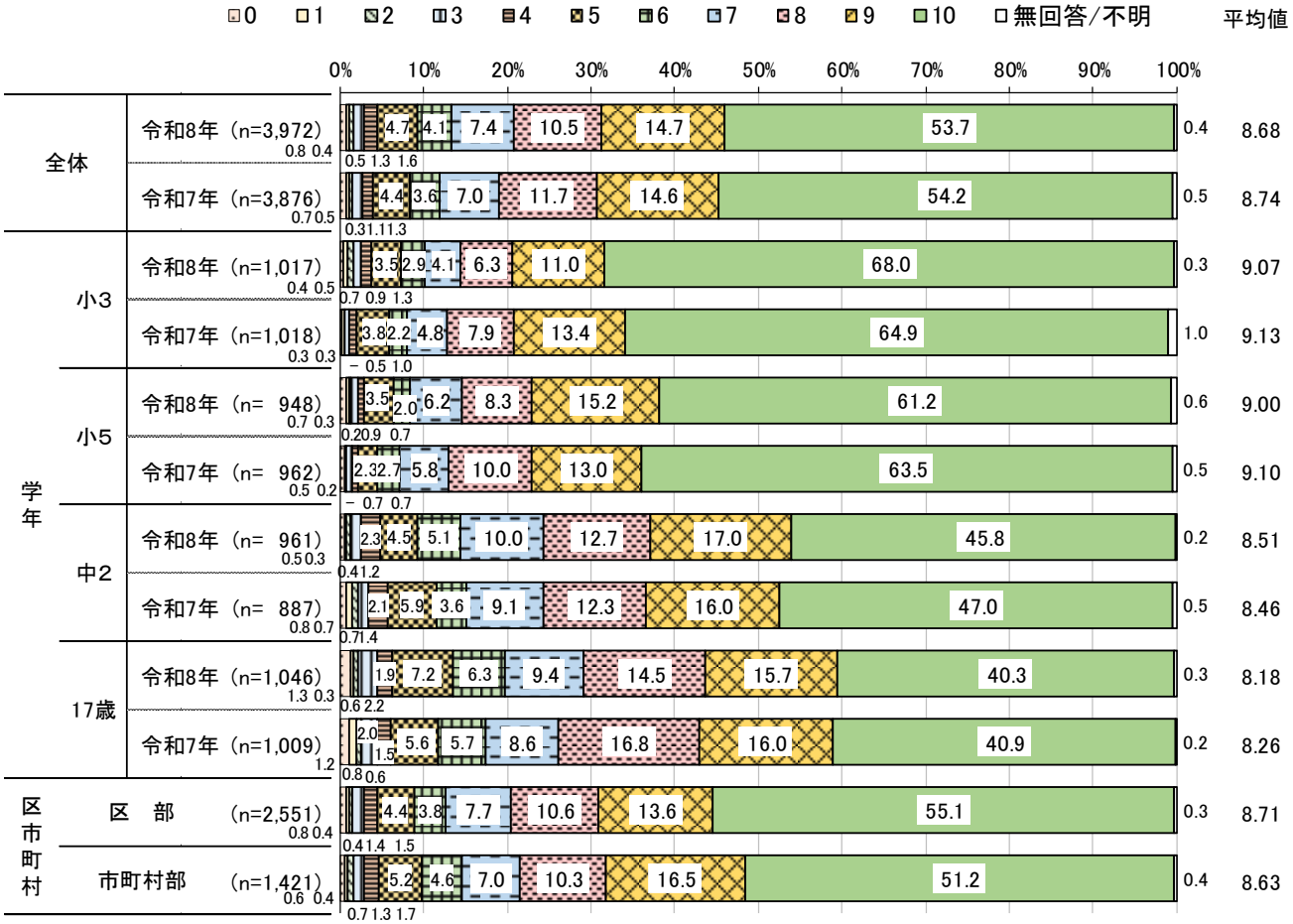
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 53.7％で最も高く、平均値は 8.68 である。

【学年別】

「10」（とてもあてはまる）は、学年が上がると減少傾向である。平均値も、学年が上がると減少傾向で、小3で 9.07、17 歳では 8.18 である。

図表 1-144　B 家族との関係は良好である ＜単一回答＞

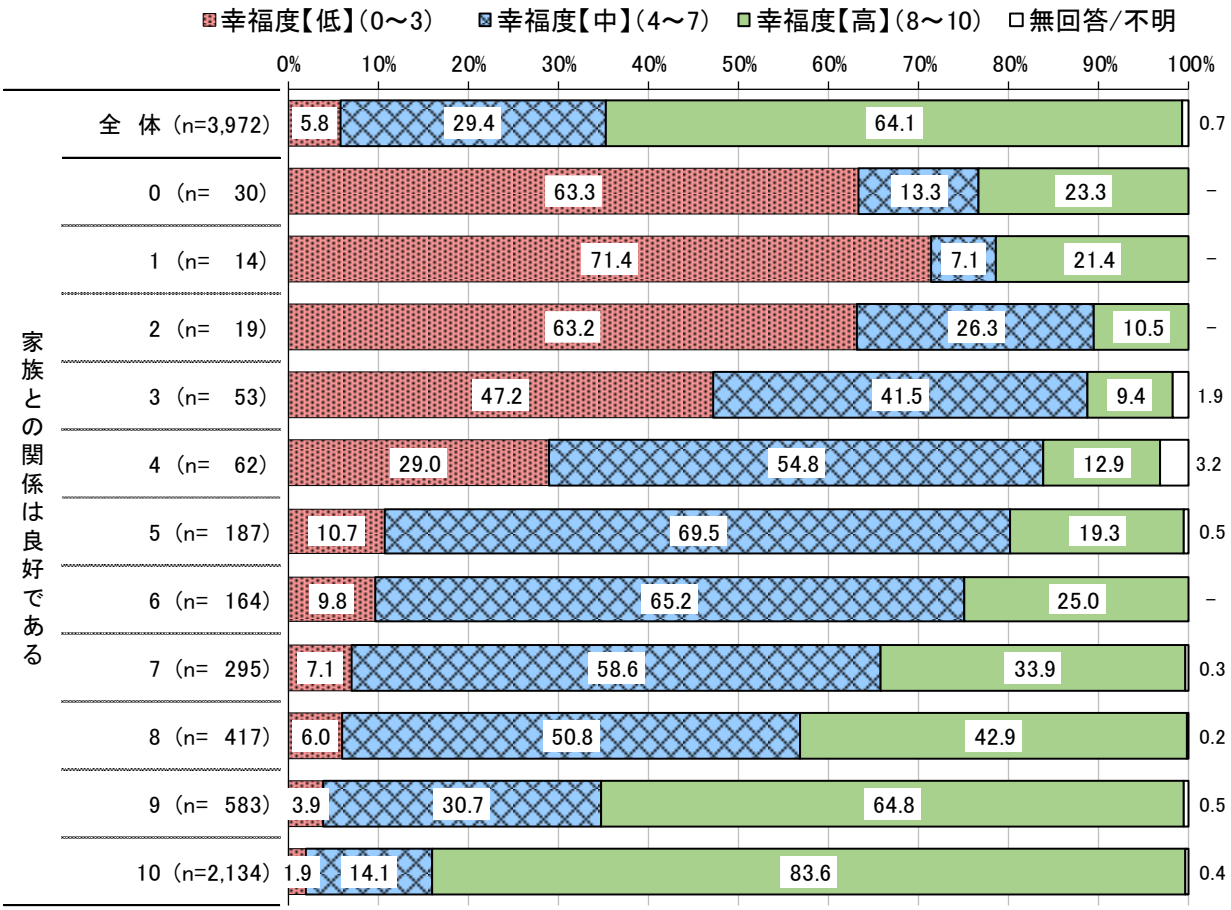


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「家族との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の83.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-145　子供の幸福度(「家族との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 33. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C 学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である）

【全体】

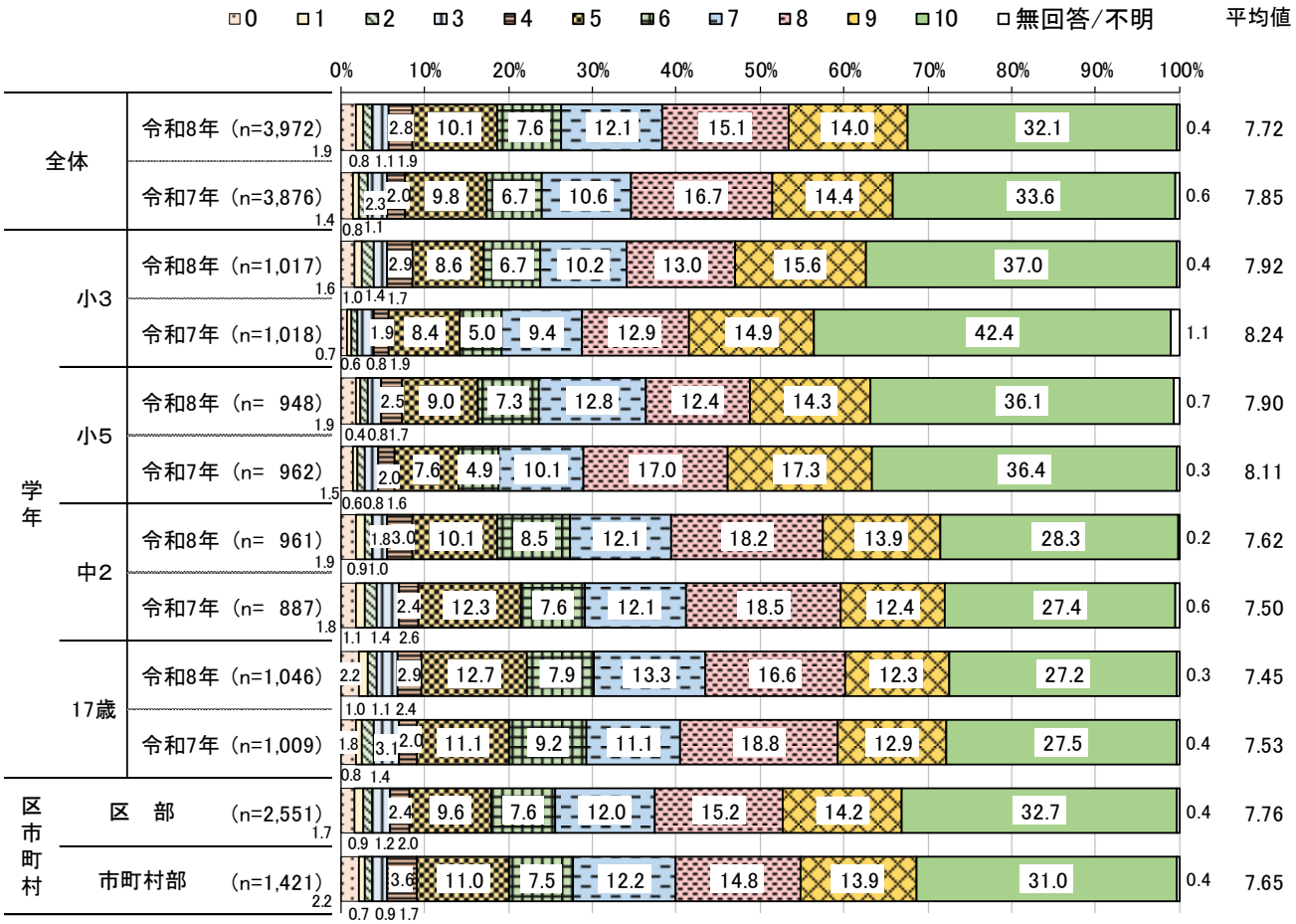
「10」（とてもあてはまる）が 32.1％で最も高く、平均値は 7.72 である。

【学年別】

「10」（とてもあてはまる）は学年が上がると減少傾向で、小3、小5ではそれぞれ 37.0％、36.1％であるが、中2、17 歳ではそれぞれ 28.3％、27.2％である。平均値も、学年が上がると減少傾向で、小3、小5ではそれぞれ 7.92、7.90 であるが、中2、17 歳ではそれぞれ 7.62、7.45 である。

経年比較でみると、小3で「10」（とてもあてはまる）が、5.4 ポイント減少している。

図表 1-146 C 学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である ＜単一回答＞

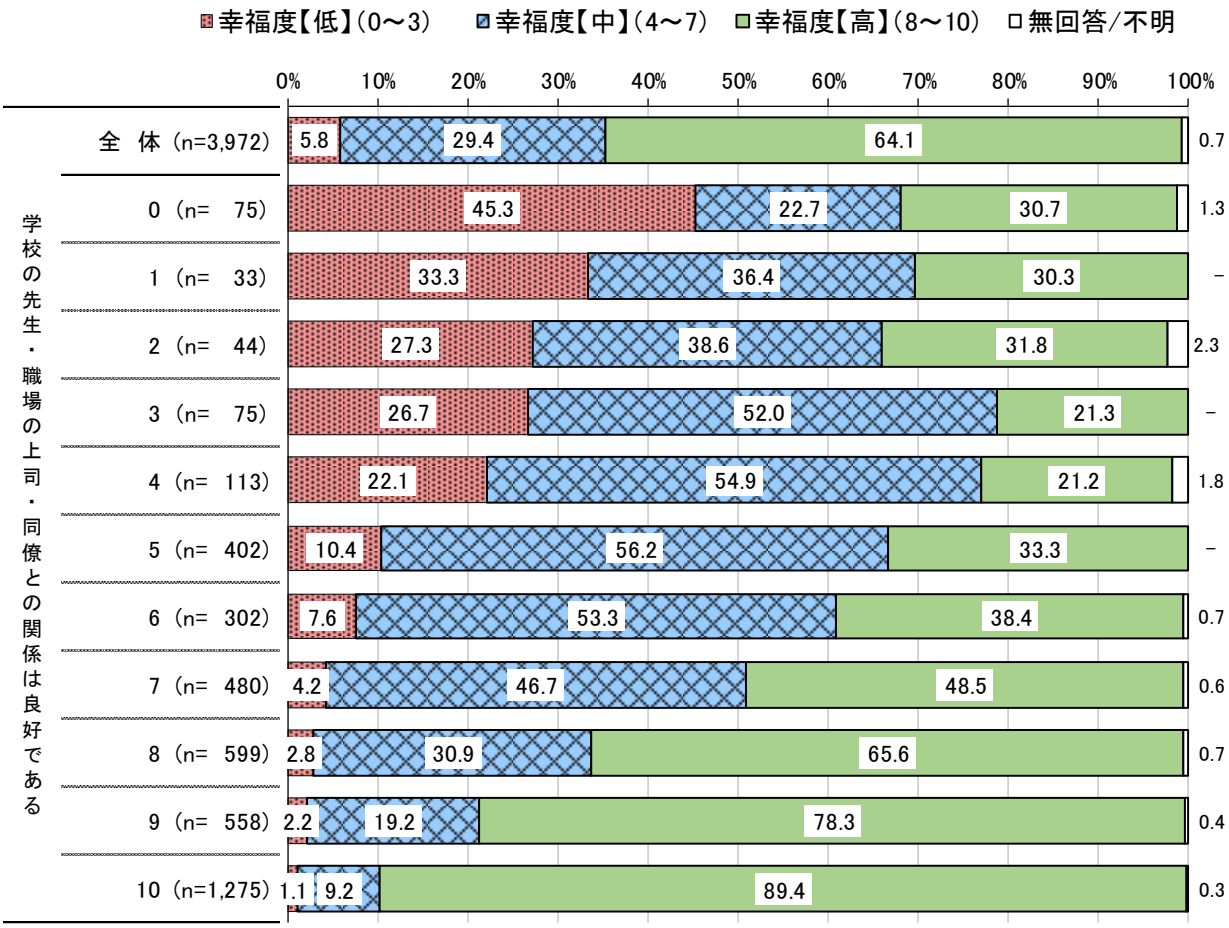


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の 89.4%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 30.7%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の 45.3%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-147　子供の幸福度(「学校の先生・職場の上司・同僚との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 33. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

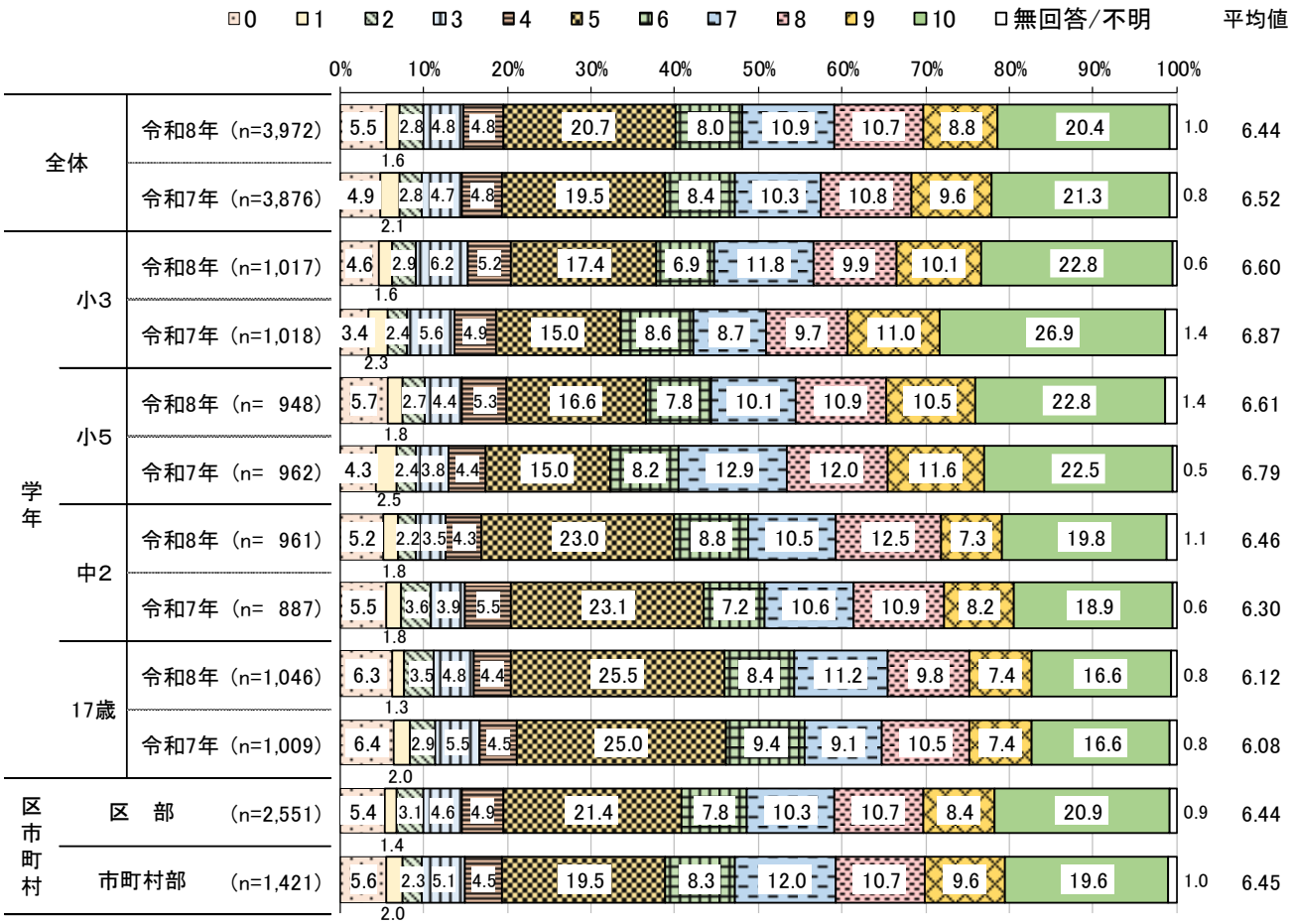
【全体】

「5」が 20.7%で最も高く、平均値は 6.44 である。

【学年別】

小3、小5では「10」（とてもあてはまる）が最も高く、中2、17 歳では「5」が最も高い。平均値は、小5では 6.61 で最も高く、17 歳では 6.12 で最も低い。

図表 1-148　D 地域の人との関係は良好である ＜単一回答＞

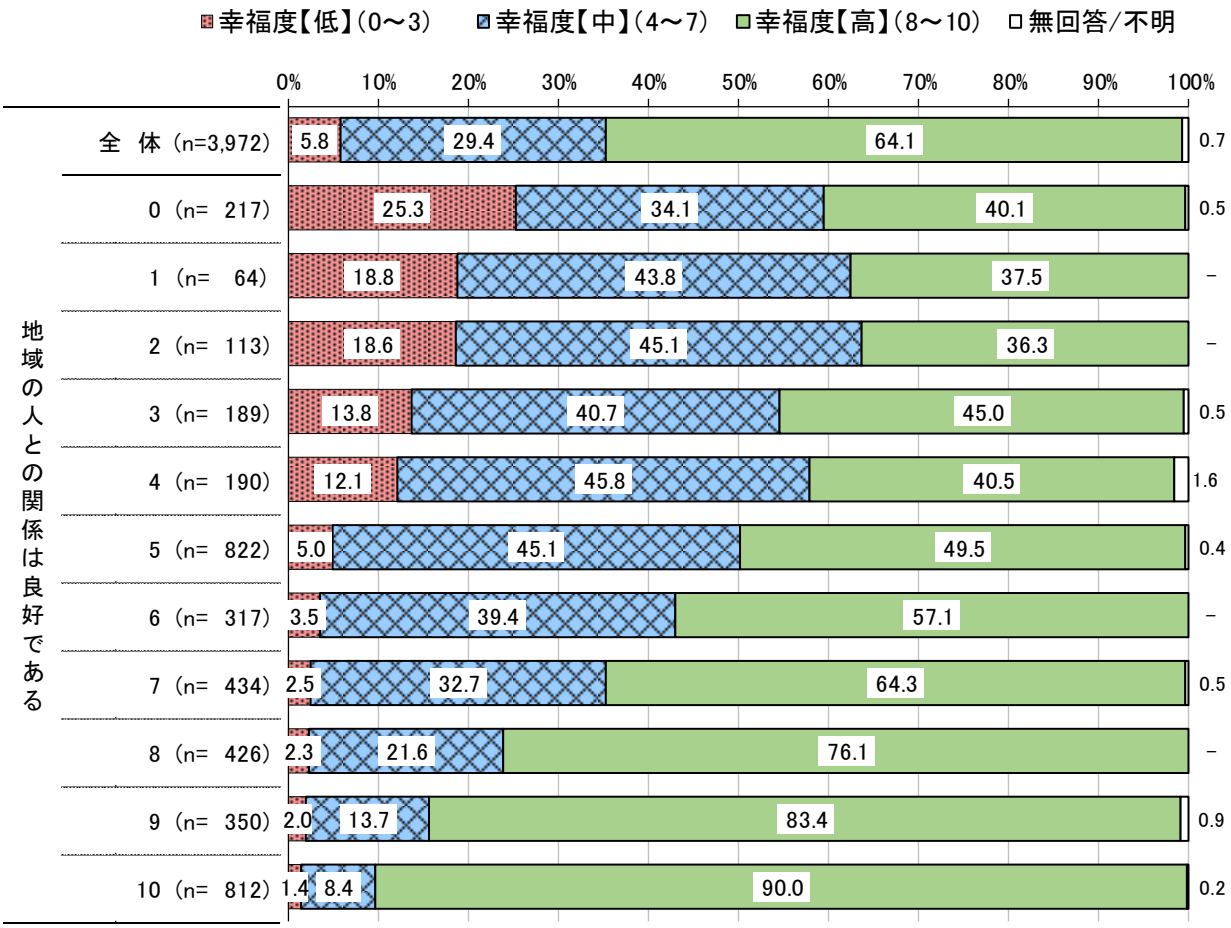


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「地域の人との関係は良好である」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した子供の90.0%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の40.1%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「0」(全くあてはまらない)と回答した子供の25.3%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-149　子供の幸福度(「地域の人との関係は良好である」の回答別)



（子供：共通）問 34. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

【全体】

「自分の部屋以外の家の中」が 69.3％で最も高く、「自分の部屋」が 68.4％、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」が 47.6％と続く。なお、何らか「居場所がある（計）」は 98.6％である。

【学年別】

中2、17 歳では「自分の部屋」が最も高く、小3、小5では「自分の部屋以外の家の中」が最も高い。

経年比較でみると、小3で「学校の教室」が 7.1 ポイント、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家」が 6.2 ポイント減少している。

図表 1-150 あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所） ＜複数回答＞

(%)

		n	自分の部屋	自分の部屋以外の家の中	祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家	友達の家	学校の教室	教室以外の学校内の場所	(17歳) 職場・アルバイト先
全体	令和8年	3,972	68.4	69.3	47.6	28.5	35.9	25.0	0.6
	令和7年	3,876	66.7	69.4	50.3	27.7	38.2	25.0	0.7
学年 小3	令和8年	1,017	48.0	80.6	57.7	32.4	44.6	27.3	
	令和7年	1,018	45.4	81.3	63.9	31.5	51.7	31.3	
小5	令和8年	948	59.9	77.4	62.7	38.0	43.9	31.2	
	令和7年	962	57.4	74.0	59.4	35.4	45.4	29.1	
中2	令和8年	961	79.2	64.3	42.5	29.8	32.4	24.7	
	令和7年	887	80.7	62.2	45.1	29.2	32.1	20.7	
17歳	令和8年	1,046	86.0	55.4	28.8	15.1	23.4	17.3	2.1
	令和7年	1,009	84.6	59.3	32.4	15.2	23.2	18.5	2.7
区市町村 区部		2,551	68.8	67.8	47.2	29.5	35.8	25.0	0.5
市町村部		1,421	67.6	71.9	48.2	26.9	36.2	24.8	0.6

		地域（図書館・公民館・児童館・公園など）	学習塾・習い事の場所	インターネット空間（SNS・YouTube・オンラインゲームなど）	飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）	その他	居場所はない	無回答/不明	居場所がある（計）
全体	令和8年	27.7	22.2	23.1	15.2	1.9	0.5	1.0	98.6
	令和7年	29.5	22.0	23.2	15.3	2.1	0.3	1.1	98.6
学年 小3	令和8年	41.2	33.0	13.4	16.8	2.2	0.4	1.3	98.3
	令和7年	45.3	34.5	13.9	17.0	2.0	−	1.5	98.5
小5	令和8年	38.7	31.5	19.8	15.7	1.7	0.2	1.9	97.9
	令和7年	38.6	30.8	20.7	15.2	1.8	0.3	2.4	97.3
中2	令和8年	20.8	17.0	31.5	16.9	2.1	0.4	0.5	99.1
	令和7年	19.1	14.4	31.5	18.0	2.6	0.3	0.3	99.3
17歳	令和8年	10.8	7.9	27.6	11.7	1.7	0.8	0.2	99.0
	令和7年	14.2	7.5	27.8	11.4	2.0	0.4	0.2	99.4
区市町村 区部		28.7	21.8	23.9	14.9	1.8	0.4	0.9	98.8
市町村部		25.8	22.9	21.5	15.8	2.0	0.6	1.1	98.2

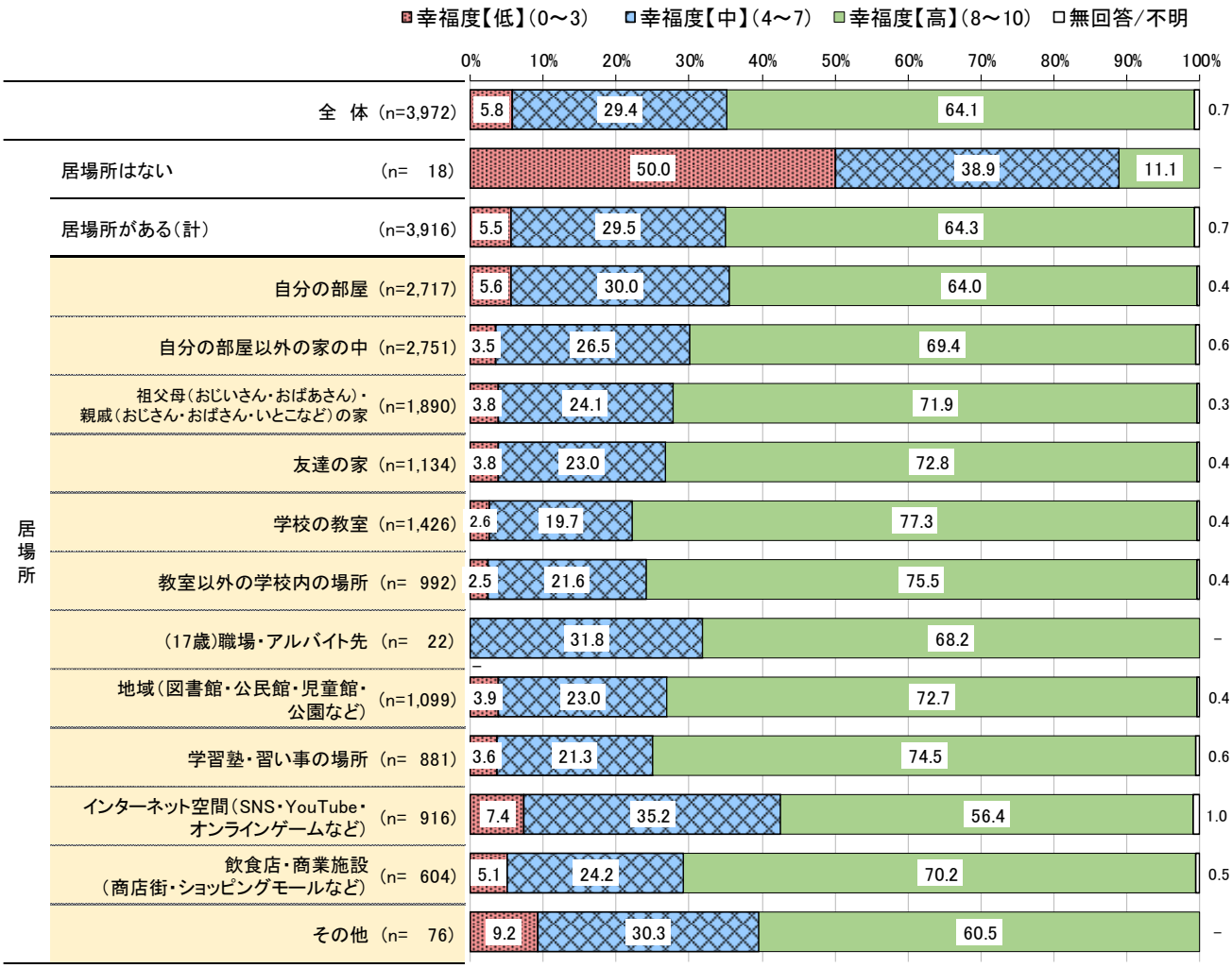
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※居場所がある（計）は「自分の部屋」～「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「居場所がある（計）」と回答した子供の 64.3%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-151 子供の幸福度（「居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）」の回答別）



【自由記述】

その他（居場所（ほっとできる場所・安心できる場所））
自分の家（子供・小3）
トイレ（子供・小3）
お母さんといっしょにいるとき。（子供・小3）
祖母の病院（子供・小3）
友だちのそば（子供・小3）
きょうかい（子供・小3）
ピーポーくんの家（子供・小3）
フリースクール（子供・小3）
こども食堂（子供・小3）
自然、森や山など（子供・小3）
ひみつきち（子供・小3）
アイスリンク（子供・小3）
仲の良い友達と居られる場所（子供・小5）
つりぼり（子供・小5）
自然（子供・小5）
ロビー（子供・小5）
駅、電車が見れる安全な所（子供・小5）
駅（子供・小5）
親や友達などの知っている人といるなら安心できる（子供・小5）
フリースクール（子供・中2）
海、山（子供・中2）
誰もいない、読書に集中できる場所（子供・中2）
電車の内（子供・中2）
団地の空がみえる階段の14階（最上階）（子供・中2）
アイドル現場（子供・中2）
彼女の家（子供・中2）
野球のグラウンド（子供・中2）
自分の家の中（子供・17 歳）
トイレ・お風呂（子供・17 歳）
皇居周辺（子供・17 歳）
自然の中（子供・17 歳）
1 人になれるところ（子供・17 歳）
いつも通っている道など（子供・17 歳）
景色を眺められる場所（子供・17 歳）
部活（子供・17 歳）

（子供：共通）問 34. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

※上記の設問で回答した選択肢の数を居場所の種類の数として集計した。

【全体】

居場所の種類の数は、「3個」が 19.3%で最も多く、次いで「2個」が 19.0%である。

【学年別】

小3、17 歳では「2個」、小5、中2では「3個」が最も高い。

図表 1-152 居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）の種類の数

(%)

		n	1個	2個	3個	4個	5個	6個	7個
全体	令和8年	3,972	15.4	19.0	19.3	14.5	11.0	7.0	5.0
	令和7年	3,876	14.0	19.4	19.1	15.1	10.5	7.9	5.4
学年 小3	令和8年	1,017	14.3	16.1	16.0	13.6	13.3	8.8	6.4
	令和7年	1,018	10.6	17.0	16.2	13.7	12.6	10.5	6.9
学年 小5	令和8年	948	10.4	14.2	16.5	15.8	13.0	8.8	8.4
	令和7年	962	10.1	16.3	15.7	15.3	12.4	10.6	8.6
学年 中2	令和8年	961	13.2	20.3	22.3	16.0	10.7	6.2	3.1
	令和7年	887	14.0	20.7	23.0	16.6	8.3	6.1	4.2
学年 17歳	令和8年	1,046	22.8	25.0	22.2	12.9	7.3	4.5	2.4
	令和7年	1,009	21.3	23.7	22.0	15.0	8.6	4.5	1.9
区市町村 区部		2,551	15.4	18.7	19.2	15.0	10.9	7.6	5.0
区市町村 市町村部		1,421	15.3	19.6	19.4	13.7	11.3	6.0	5.1

		8個	9個	10個以上	居場所はない	無回答/不明
全体	令和8年	3.9	2.3	1.2	0.5	1.0
	令和7年	3.8	2.0	1.3	0.3	1.1
学年 小3	令和8年	5.5	3.4	1.0	0.4	1.3
	令和7年	6.2	2.9	2.0	－	1.5
学年 小5	令和8年	6.0	3.1	1.7	0.2	1.9
	令和7年	5.2	1.9	1.2	0.3	2.4
学年 中2	令和8年	3.3	1.9	2.0	0.4	0.5
	令和7年	2.6	1.8	2.0	0.3	0.3
学年 17歳	令和8年	0.9	0.8	0.3	0.8	0.2
	令和7年	1.2	1.2	0.1	0.4	0.2
区市町村 区部		3.7	2.4	1.0	0.4	0.9
区市町村 市町村部		4.2	2.1	1.6	0.6	1.1

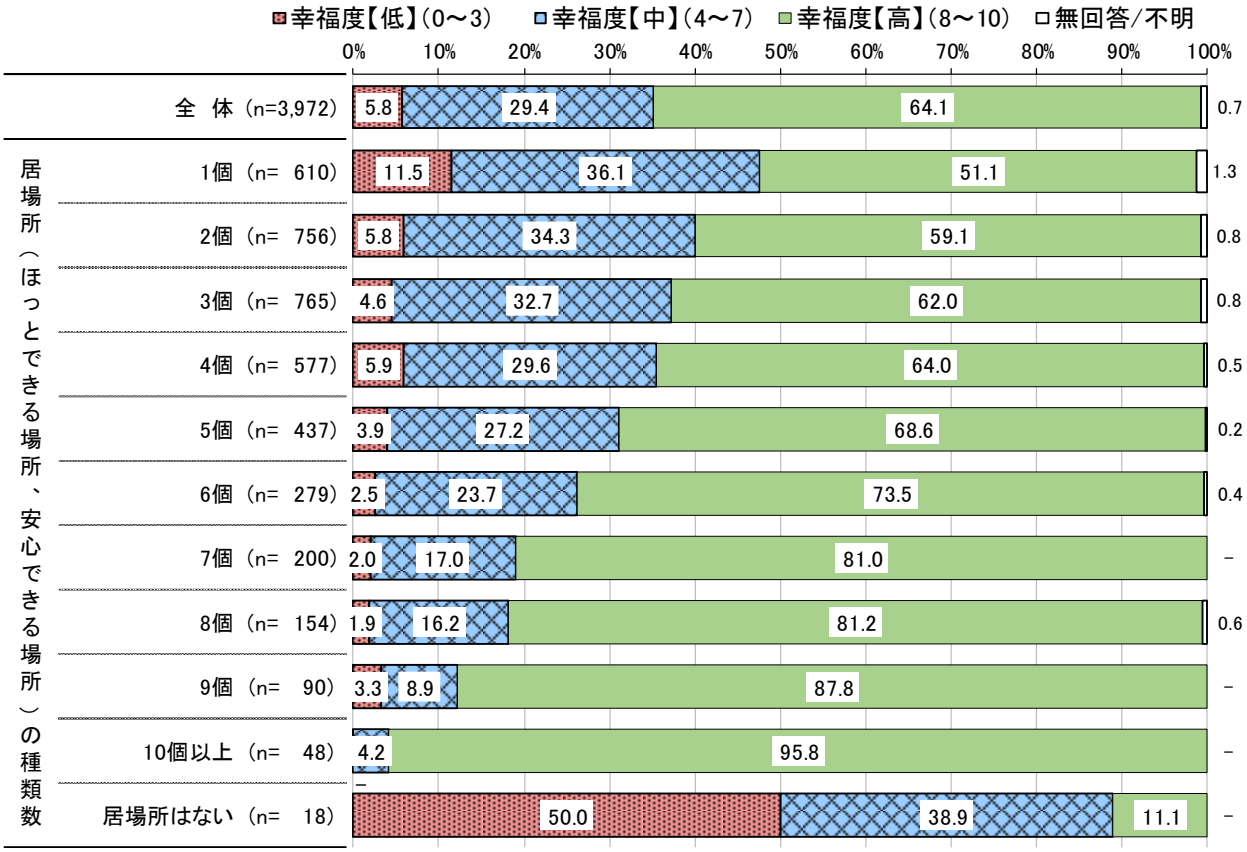
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

「居場所の数」別に子供の幸福度をみると、居場所の数が「1個」の子供の 51.1%が幸福度【高】(8～10)である。

居場所の数が増えるほど、幸福度【高】(8～10)の割合も高い傾向にある。

図表 1-153　子供の幸福度(「居場所(ほっとできる場所・安心できる場所)の種類数」の回答別)



（子供：共通）問 34. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

※上記の設問で回答した選択肢を、「自分の部屋」「自分の部屋以外の家の中」のいずれかのみを選択した子供を「自宅のみが居場所」、「祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこ）の家」～「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」「その他」のいずれかを選択した子供を「自宅以外の居場所がある」、「居場所はない」に分けて集計した。

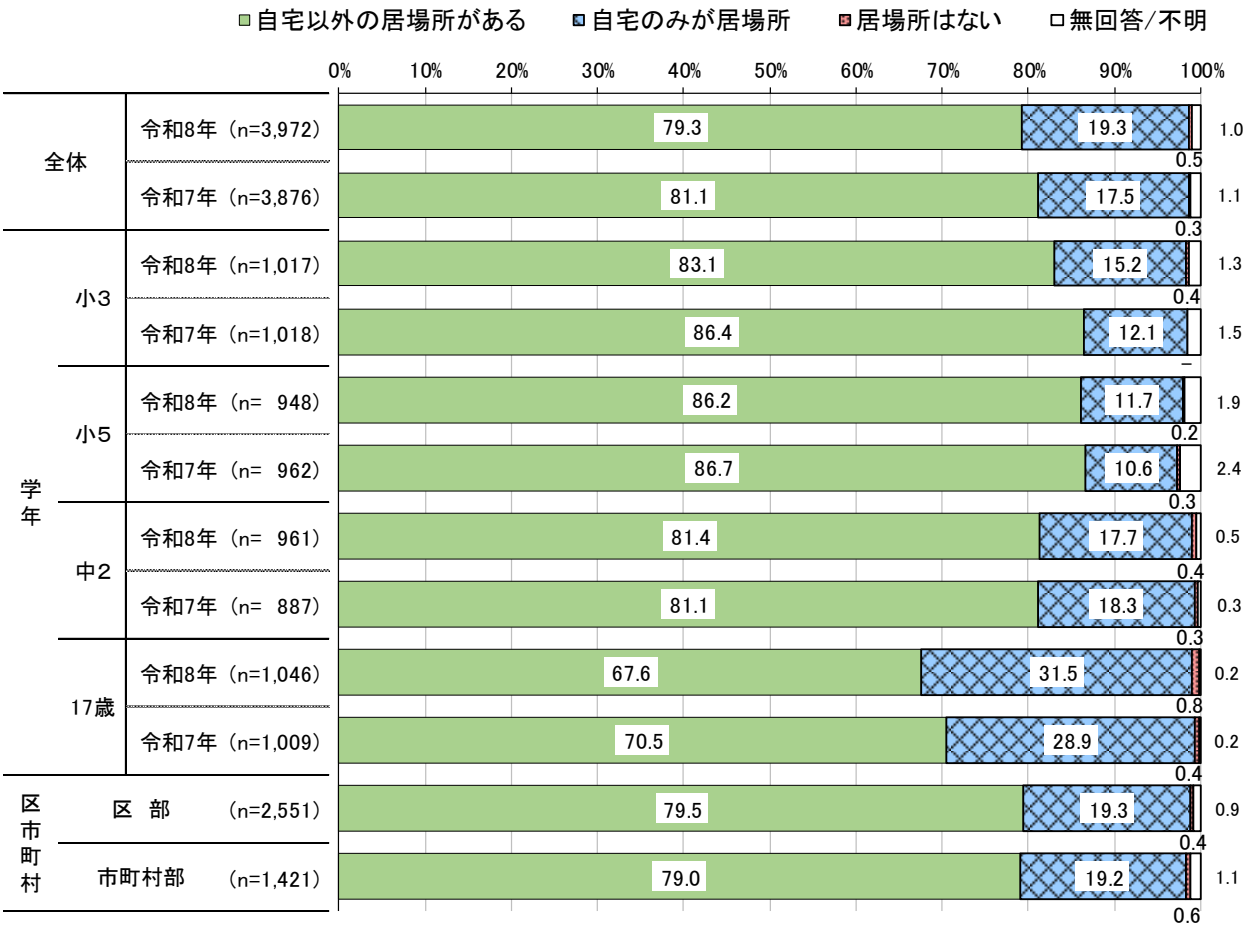
【全体】

「自宅以外の居場所がある」が 79.3%、「自宅のみが居場所」が 19.3%である。

【学年別】

いずれの学年でも「自宅以外の居場所がある」が最も高い。17 歳では「自宅のみが居場所」が 31.5%で、他の学年より高い。

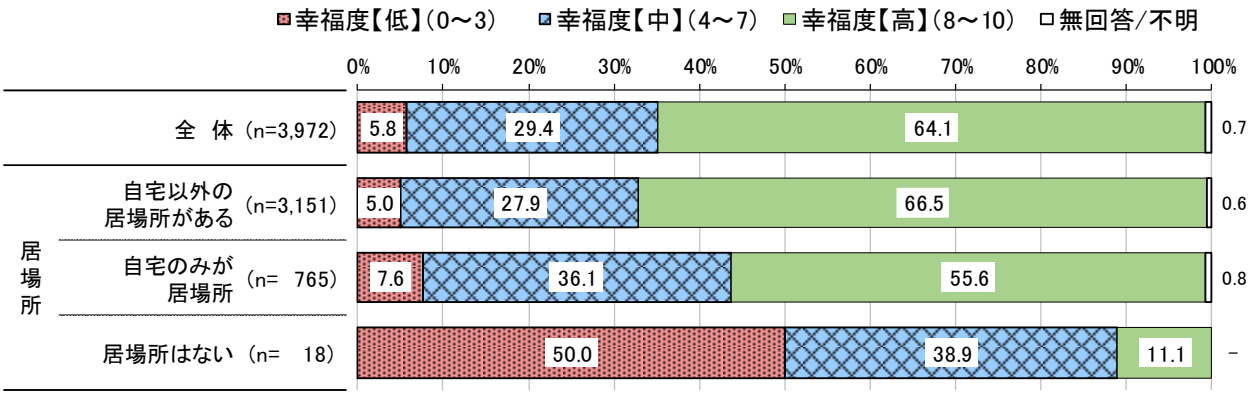
図表 1-154 居場所（自宅以外と自宅のみ）



【子供の幸福度】

「居場所（自宅以外と自宅のみ）」の回答別に子供の幸福度をみると、「自宅以外の居場所がある」と回答した子供の 66.5%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-155　子供の幸福度（「居場所（自宅以外と自宅のみ）」の回答別）



（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）

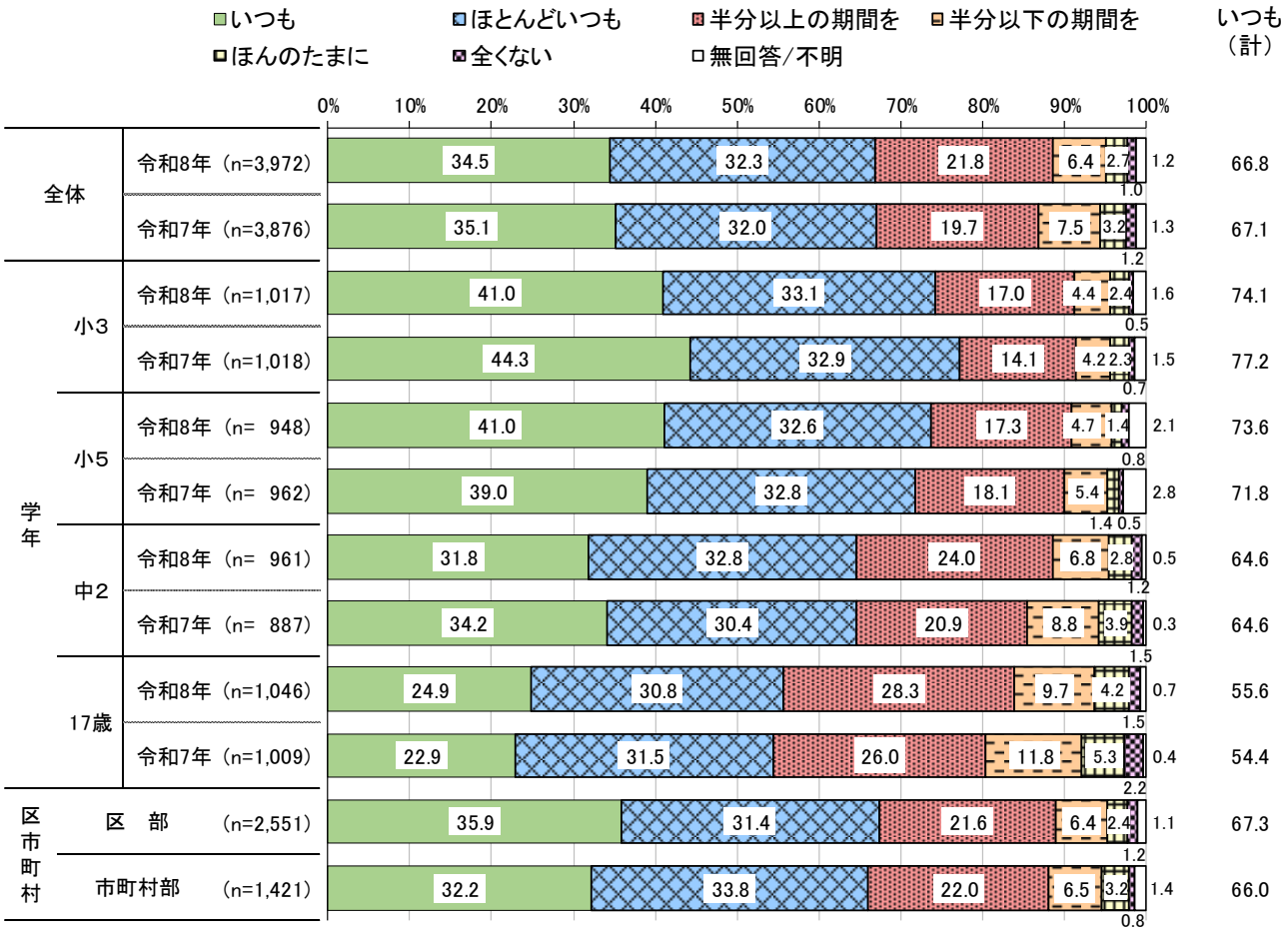
【全体】

いつも「明るく、楽しい気分で過ごした」とする子供は 66.8%（「いつも」が 34.5%＋「ほとんどいつも」が 32.3%）である。

【学年別】

いつも「明るく、楽しい気分で過ごした」とする子供（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、小3、小5（それぞれ 74.1%、73.6%）と比べて、中2、17 歳（それぞれ 64.6%、55.6%）のほうが低い。

図表 1-156　A 明るく、楽しい気分で過ごした ＜単一回答＞

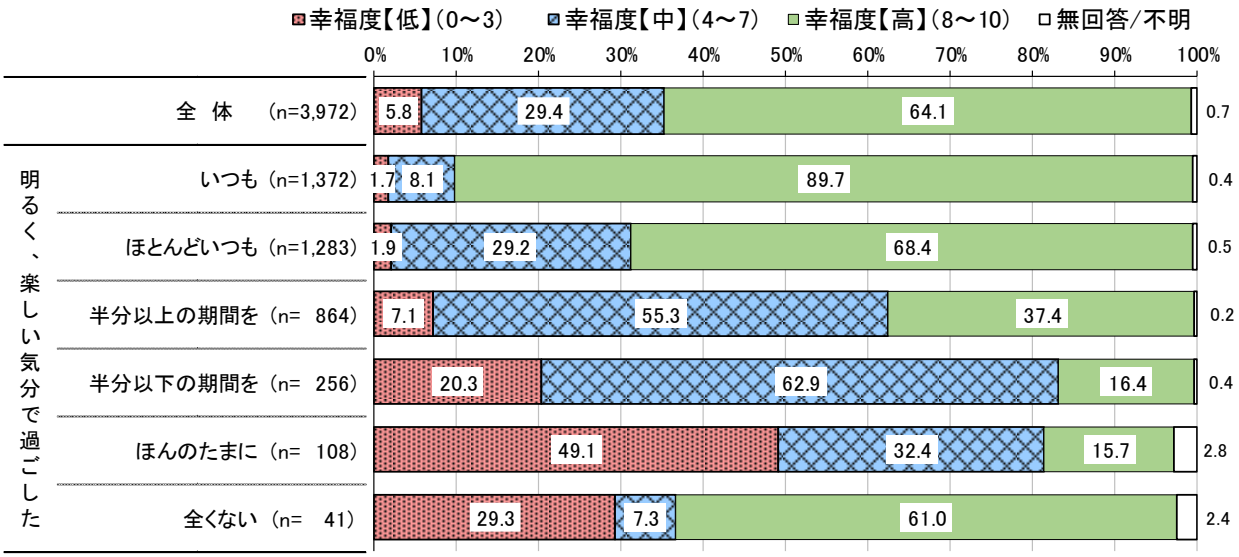


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供の 89.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-157　子供の幸福度(「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別)



（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

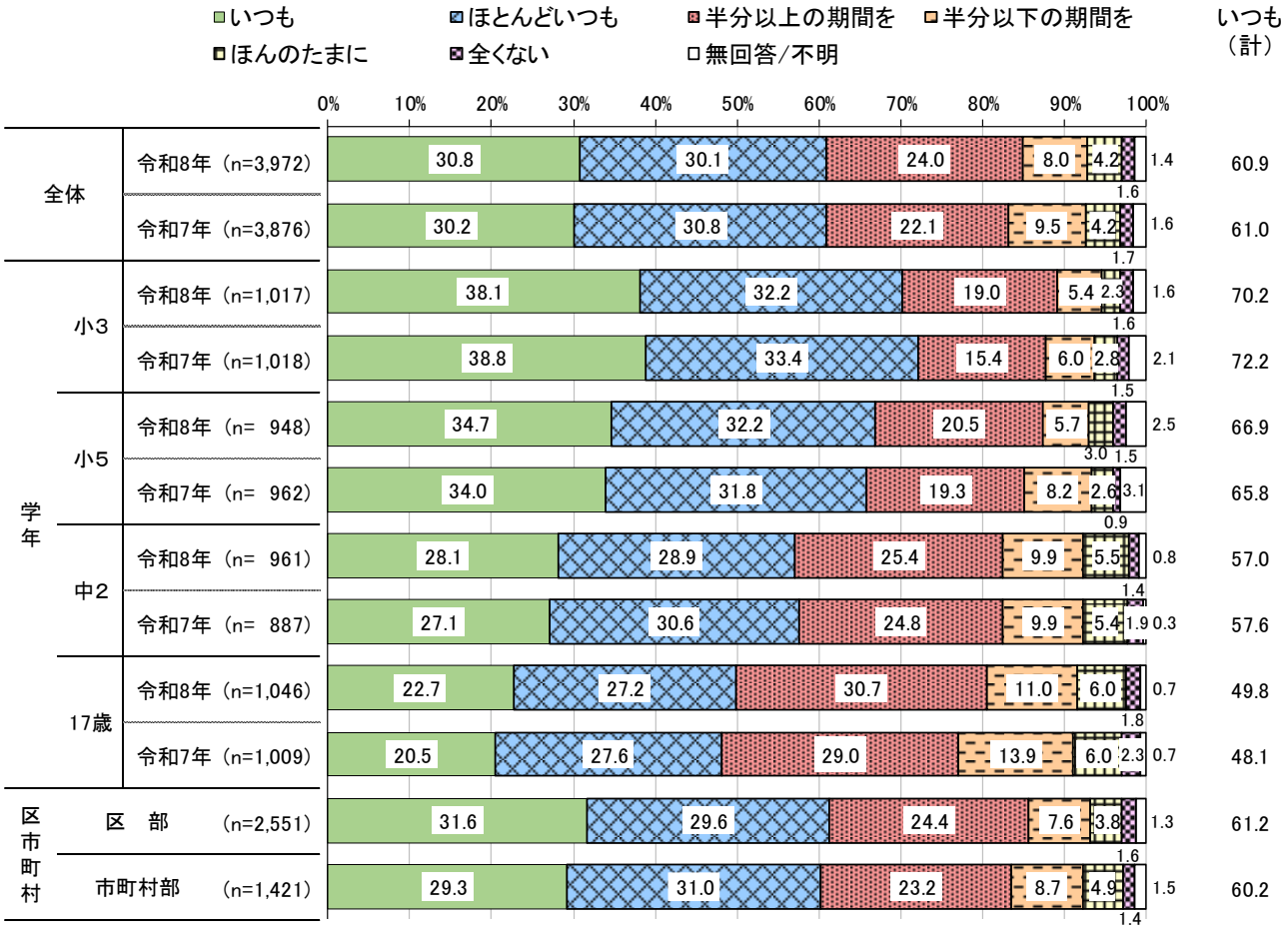
【全体】

いつも「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」とする子供は 60.9%（「いつも」が 30.8%＋「ほとんどいつも」が 30.1%）である。

【学年別】

いつも「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」とする子供（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-158　B　落ち着いた、リラックスした気分で過ごした　＜単一回答＞

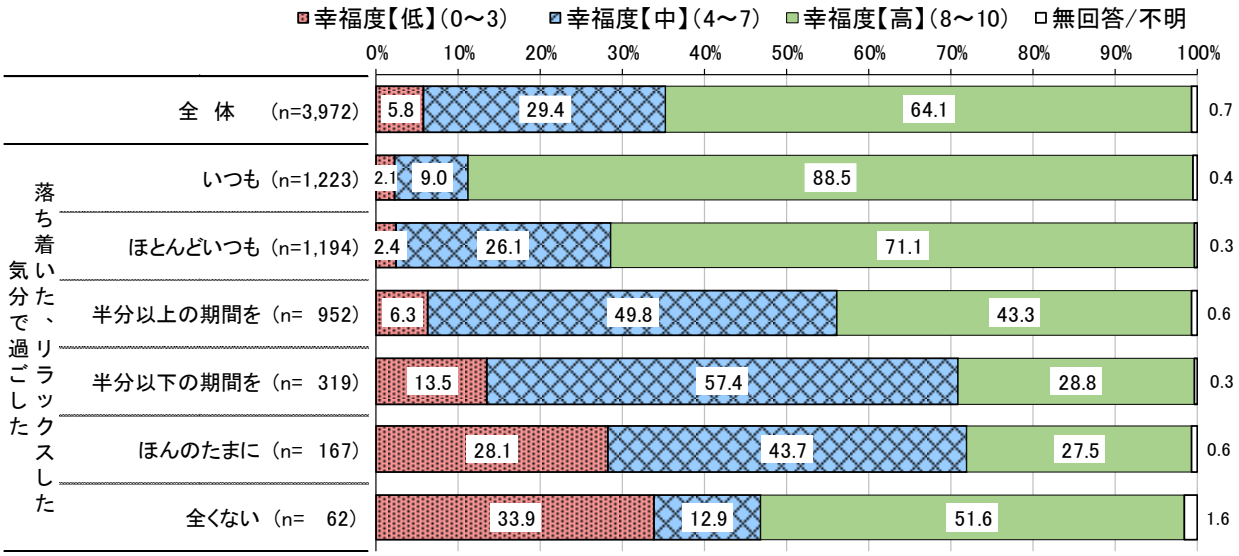


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供の88.5%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した子供の51.6%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「全くない」と回答した子供の33.9%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-159　子供の幸福度(「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別)



（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　意欲的で、活動的に過ごした）

【全体】

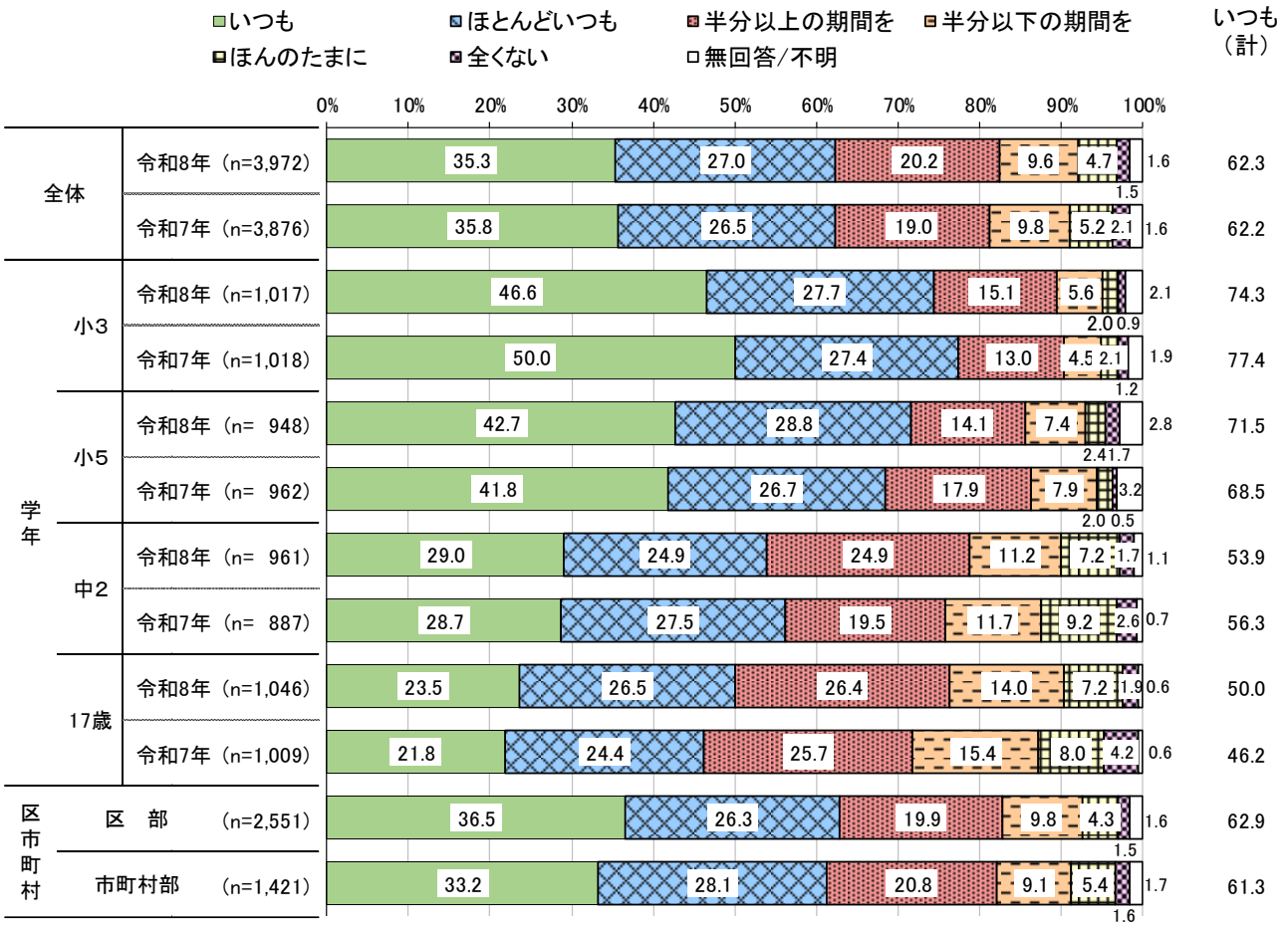
いつも「意欲的で、活動的に過ごした」とする子供は 62.3%（「いつも」が 35.3%＋「ほとんどいつも」が 27.0%）である。

【学年別】

いつも「意欲的で、活動的に過ごした」とする子供（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

経年比較でみると、中2で「半分以上の期間を」が、5.4 ポイント増加している。

図表 1-160　C 意欲的で、活動的に過ごした ＜単一回答＞

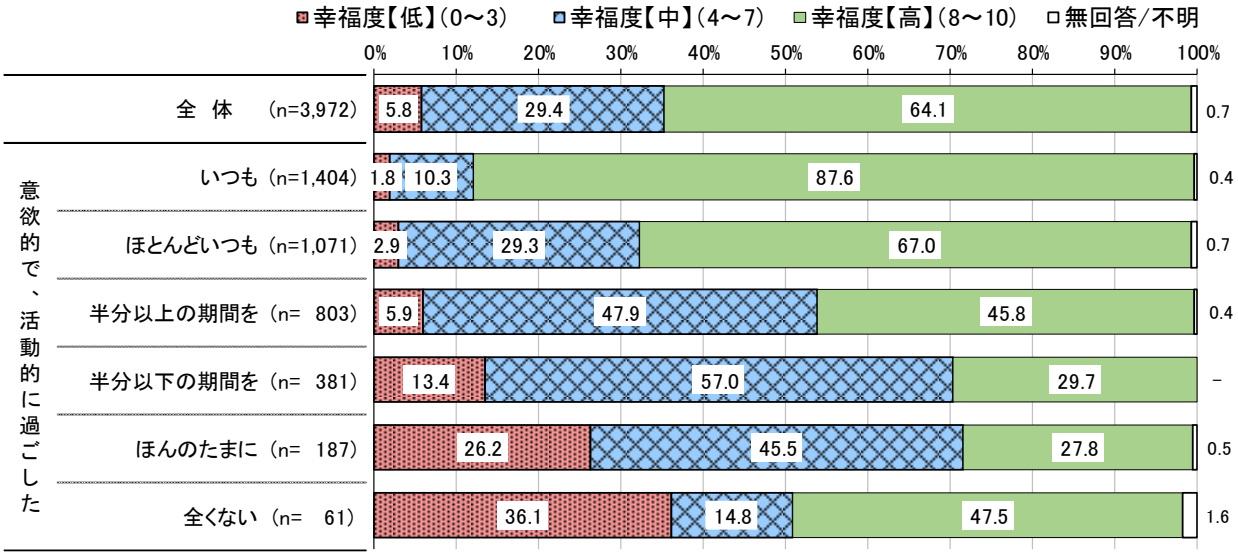


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供の 87.6%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した子供の 47.5%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「全くない」と回答した子供の 36.1%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-161　子供の幸福度(「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別)



（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

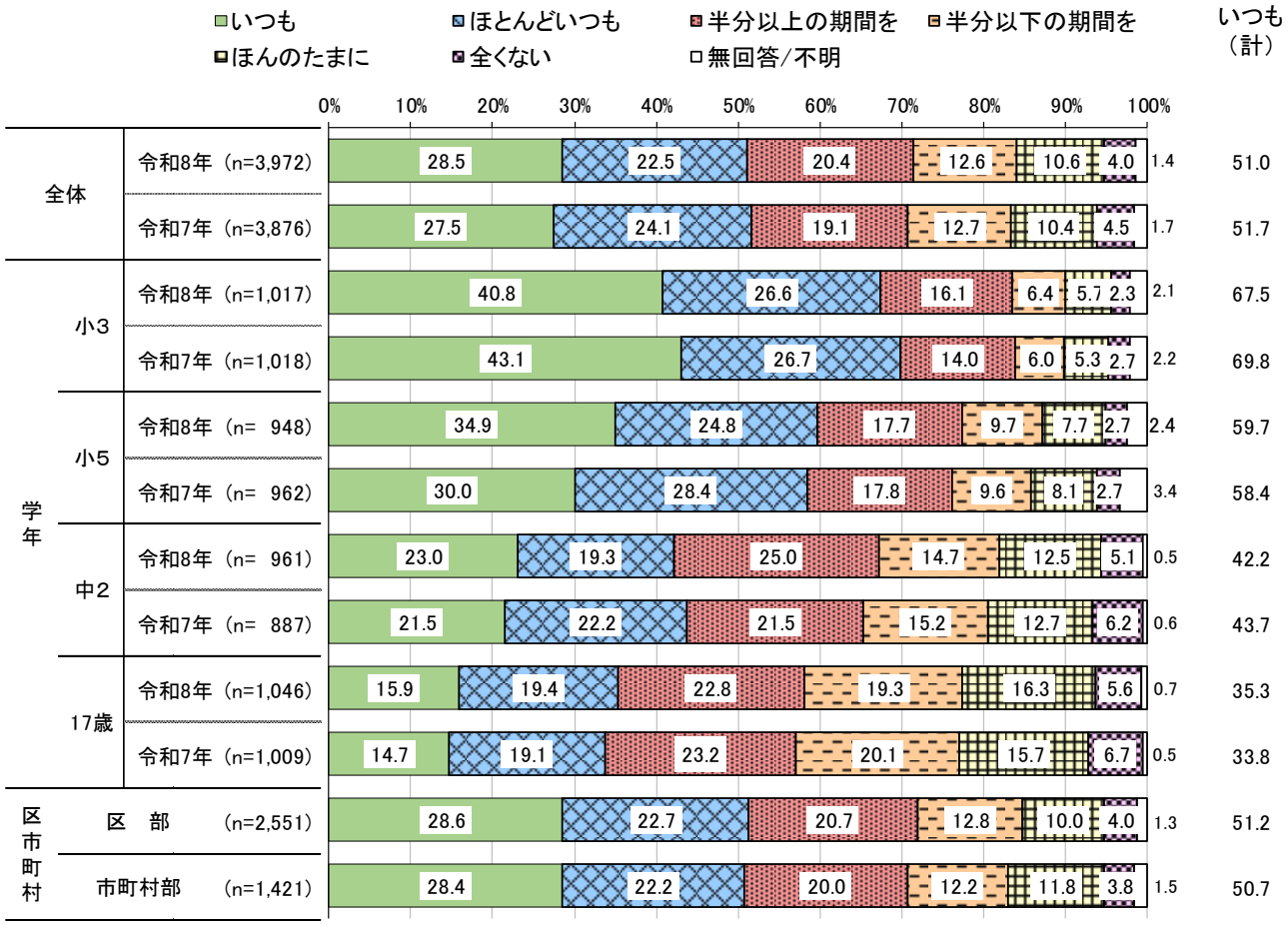
【全体】

いつも「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」とする子供は 51.0%（「いつも」が 28.5%＋「ほとんどいつも」が 22.5%）である。

【学年別】

いつも「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」とする子供（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-162 D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた ＜単一回答＞

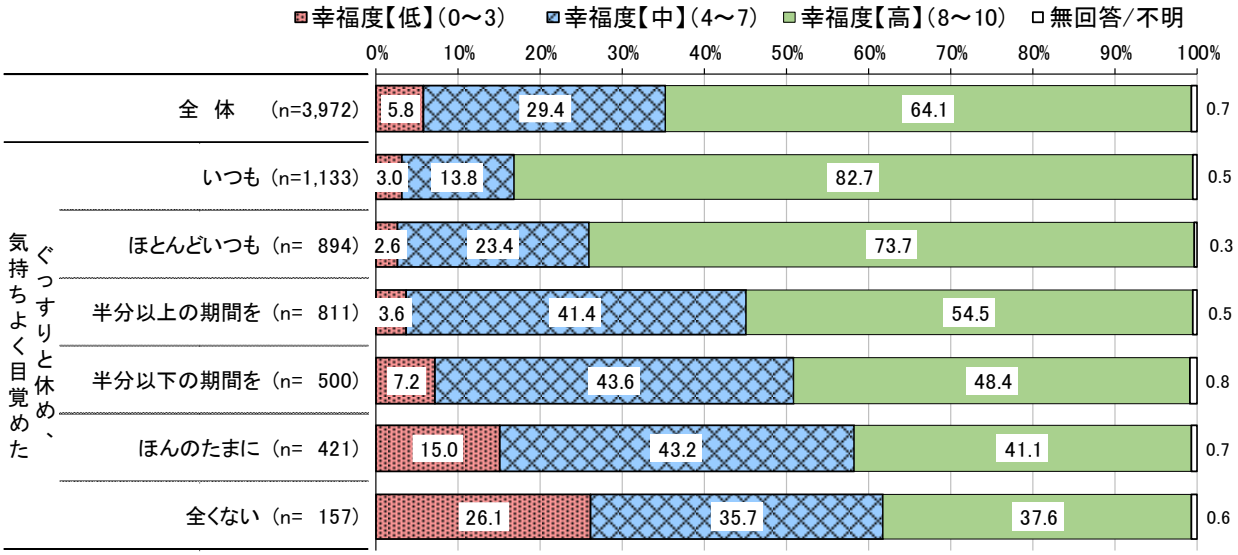


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供の 82.7%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した子供の 37.6%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「全くない」と回答した子供の 26.1%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-163　子供の幸福度(「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別)



（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

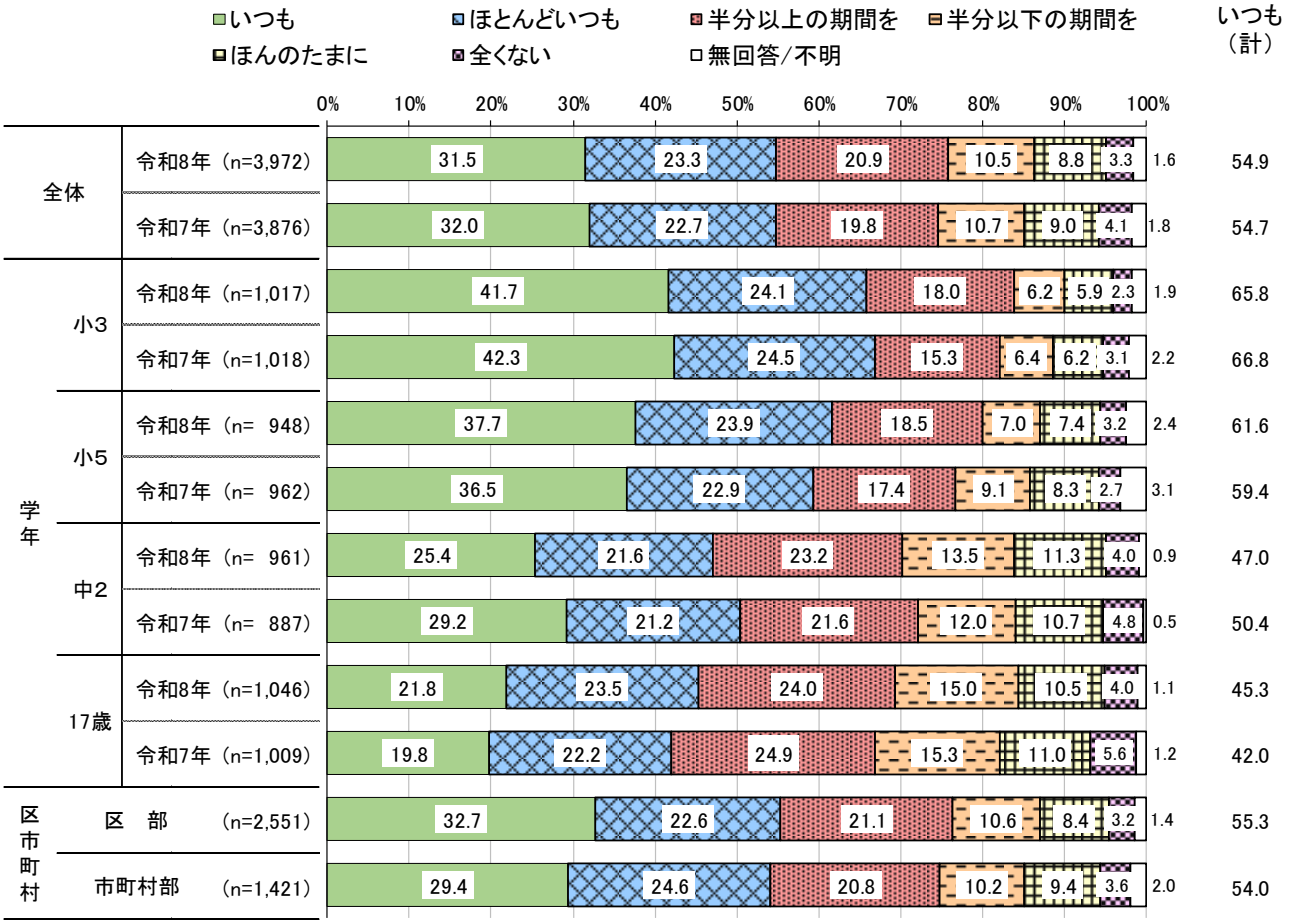
【全体】

いつも「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」とする子供は 54.9%（「いつも」が 31.5%＋「ほとんどいつも」が 23.3%）である。

【学年別】

いつも「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」とする子供（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-164　E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった　＜単一回答＞

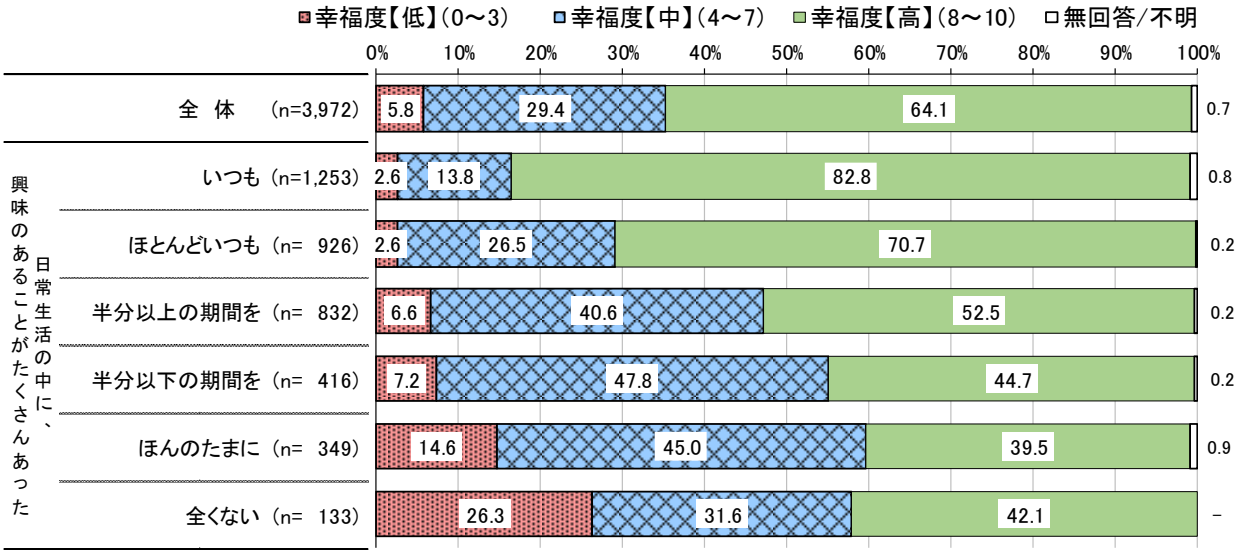


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した子供の 82.8%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した子供の 42.1%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「全くない」と回答した子供の 26.3%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-165　子供の幸福度(「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別)



（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C 意欲的で、活動的に過ごした）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問のAからEの各選択肢を0～5点で換算し（「いつも」：5点 「ほとんどいつも」：4点 「半分以上の期間を」：3点 「半分以下の期間を」：2点 「ほんのたまに」：1点 「全くない」：0点）、AからEのいずれにも回答がある子供について、AからEの合計点（5項目×5点満点）を精神的健康状態（WHO-5）として算出した。

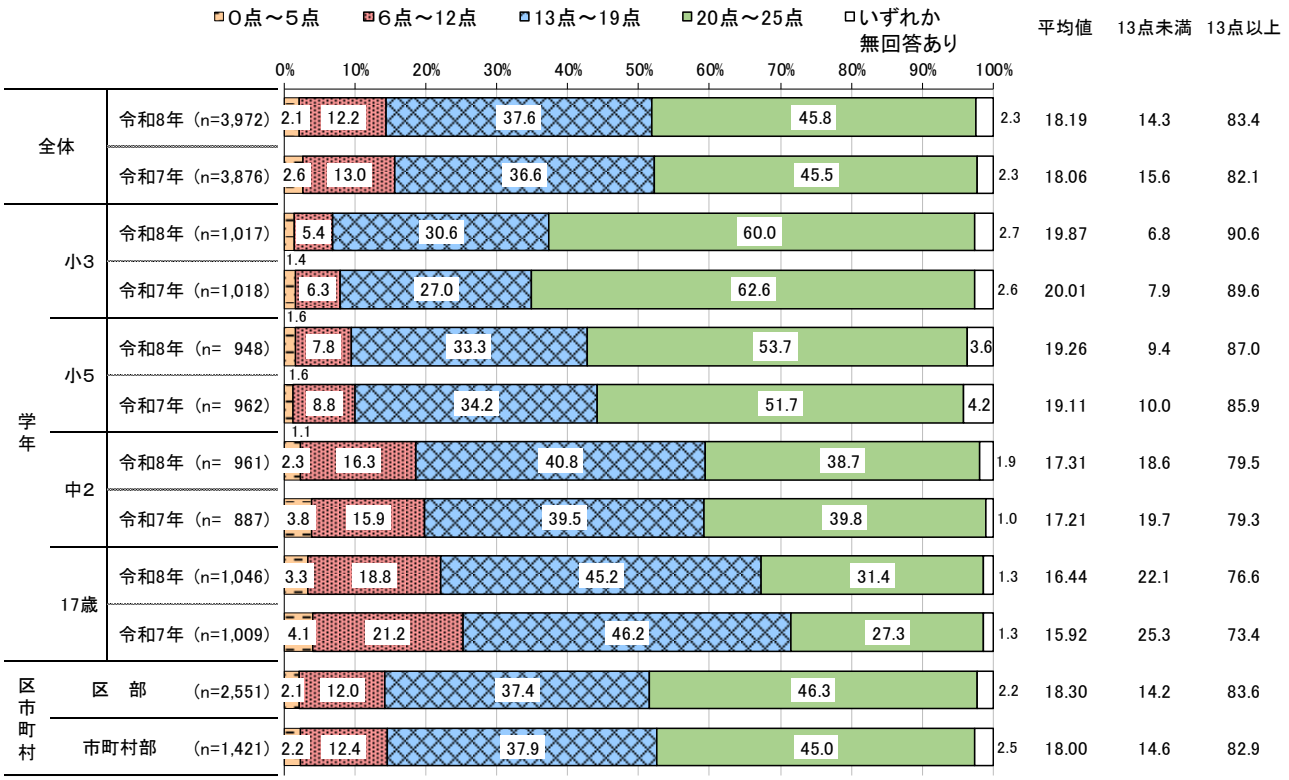
【全体】

「20 点～25 点」が 45.8%で最も高く、次いで「13 点～19 点」が 37.6%で、平均値は 18.19 点である。「13 点以上」は 83.4%である。

【学年別】

小3、小5では「20 点～25 点」が最も高く、それぞれ 60.0%、53.7%で、中2、17 歳では「13 点～19 点」が最も高く、それぞれ 40.8%、45.2%である。合計得点が 13 点未満は精神的健康状態が低いとされるが、17 歳では 13 点未満が 22.1%で他の学年より高い。平均値は、学年が上がると減少傾向で、小3では 19.87 点、17 歳では 16.44 点である。

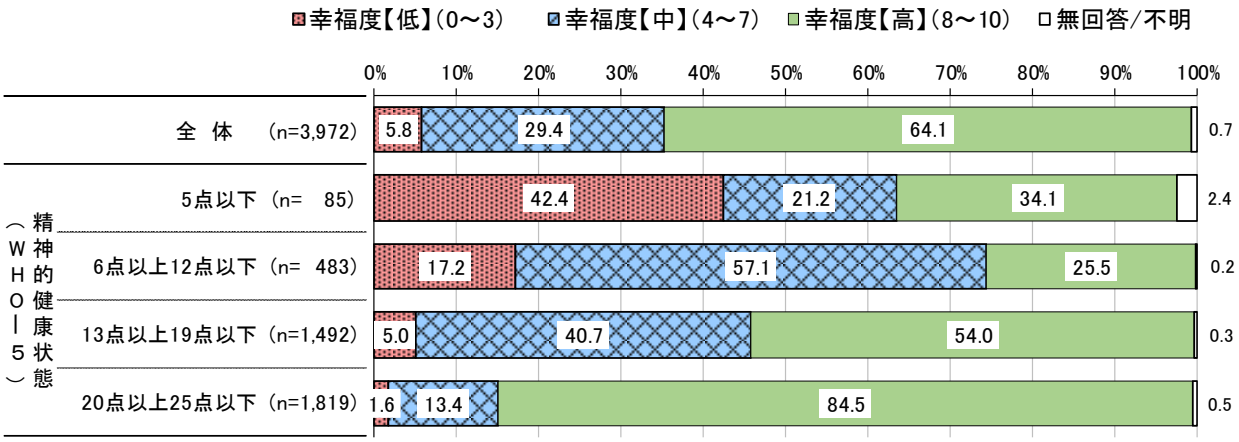
図表 1-166 精神的健康状態（WHO-5） ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「精神的健康状態(WHO-5)」別に子供の幸福度をみると、「20 点以上 25 点以下」の子供の 84.5%が幸福度【高】(8～10)であり、「5点以下」の子供の 34.1%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「5点以下」の子供の 42.4%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-167　子供の幸福度(「精神的健康状態(WHO-5)」別)



（子供：共通）問 36. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

【全体】

今、悩んでいることの中では、「勉強に関すること」が 47.9％で最も高く、「将来に関すること」が 29.3％、「進学に関すること」が 29.1％と続く。なお、「悩みはない」は 25.7％である。

【学年別】

小3、小5では「悩みはない」がそれぞれ 44.9％、33.4％で最も高く、中2、17 歳では「勉強に関すること」がそれぞれ 65.2％、70.9％で最も高い。何らか「悩んでいることがある（計）」は、学年が上がると増加傾向である。

図表 1-168 今、悩んでいること ＜複数回答＞

(%)

			n	勉強に関すること	(17歳)仕事に関すること	友達に関すること	家族に関すること	学校に関すること	(17歳、中2、小5)部活・クラブ活動に関すること	塾・習い事に関すること
全体		令和8年	3,972	47.9	4.2	22.9	8.6	16.4	12.8	13.0
		令和7年	3,876	47.0	3.5	22.0	8.0	16.1	11.8	13.2
学年	小3	令和8年	1,017	21.9		13.5	5.1	11.1		11.9
		令和7年	1,018	20.9		13.2	6.1	9.8		10.7
	小5	令和8年	948	32.7		21.3	6.5	11.0	3.7	15.0
		令和7年	962	35.2		19.3	5.1	11.9	4.0	18.2
	中2	令和8年	961	65.2		28.5	10.8	20.9	25.2	14.5
		令和7年	887	63.0		30.1	11.4	21.8	22.8	16.2
	17歳	令和8年	1,046	70.9	15.8	28.2	11.7	22.2	22.1	10.8
		令和7年	1,009	70.4	13.4	26.2	9.8	21.6	21.6	8.2
区市町村	区部		2,551	48.4	3.8	22.5	8.9	15.9	13.1	13.6
	市町村部		1,421	47.0	4.8	23.4	8.0	17.2	12.2	11.8

			進学に関すること	(17歳)就職に関すること	恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること	インターネットやSNSの人間関係に関すること	(戦争や事件などの)ニュースに関すること
全体		令和8年	29.1	5.5	13.3	18.7	10.0	29.3	3.1	13.6
		令和7年	28.1	5.4	12.7	18.9	11.1	29.9	3.2	14.0
学年	小3	令和8年	4.8		5.6	11.3	9.4	17.7	2.9	16.5
		令和7年	5.0		6.5	11.5	10.0	18.4	2.1	15.9
	小5	令和8年	14.6		10.7	13.8	8.2	23.2	2.2	17.8
		令和7年	14.8		9.6	14.4	10.6	25.4	2.4	19.0
	中2	令和8年	39.9		15.7	22.8	9.5	35.4	3.4	11.1
		令和7年	37.7		15.4	23.2	12.4	36.0	4.2	11.7
	17歳	令和8年	55.9	20.7	20.9	26.5	12.7	40.6	3.7	9.3
		令和7年	55.8	20.6	19.5	26.9	11.5	40.6	4.3	9.2
区市町村	区部		29.0	4.9	13.6	18.5	10.2	29.4	3.1	14.1
	市町村部		29.3	6.5	12.7	18.9	9.6	29.3	3.0	12.7

			その他	悩みはない	無回答/不明	悩んでいることがある(計)
全体		令和8年	1.4	25.7	1.3	73.0
		令和7年	1.6	24.6	1.6	73.8
学年	小3	令和8年	0.9	44.9	1.5	53.6
		令和7年	0.9	45.0	2.3	52.8
	小5	令和8年	0.9	33.4	2.8	63.7
		令和7年	1.9	28.8	3.1	68.1
	中2	令和8年	1.8	16.2	0.4	83.4
		令和7年	1.9	15.4	0.6	84.0
	17歳	令和8年	1.9	8.6	0.5	90.9
		令和7年	1.8	8.1	0.3	91.6
区市町村	区部		1.4	25.0	1.3	73.7
	市町村部		1.3	26.9	1.3	71.9

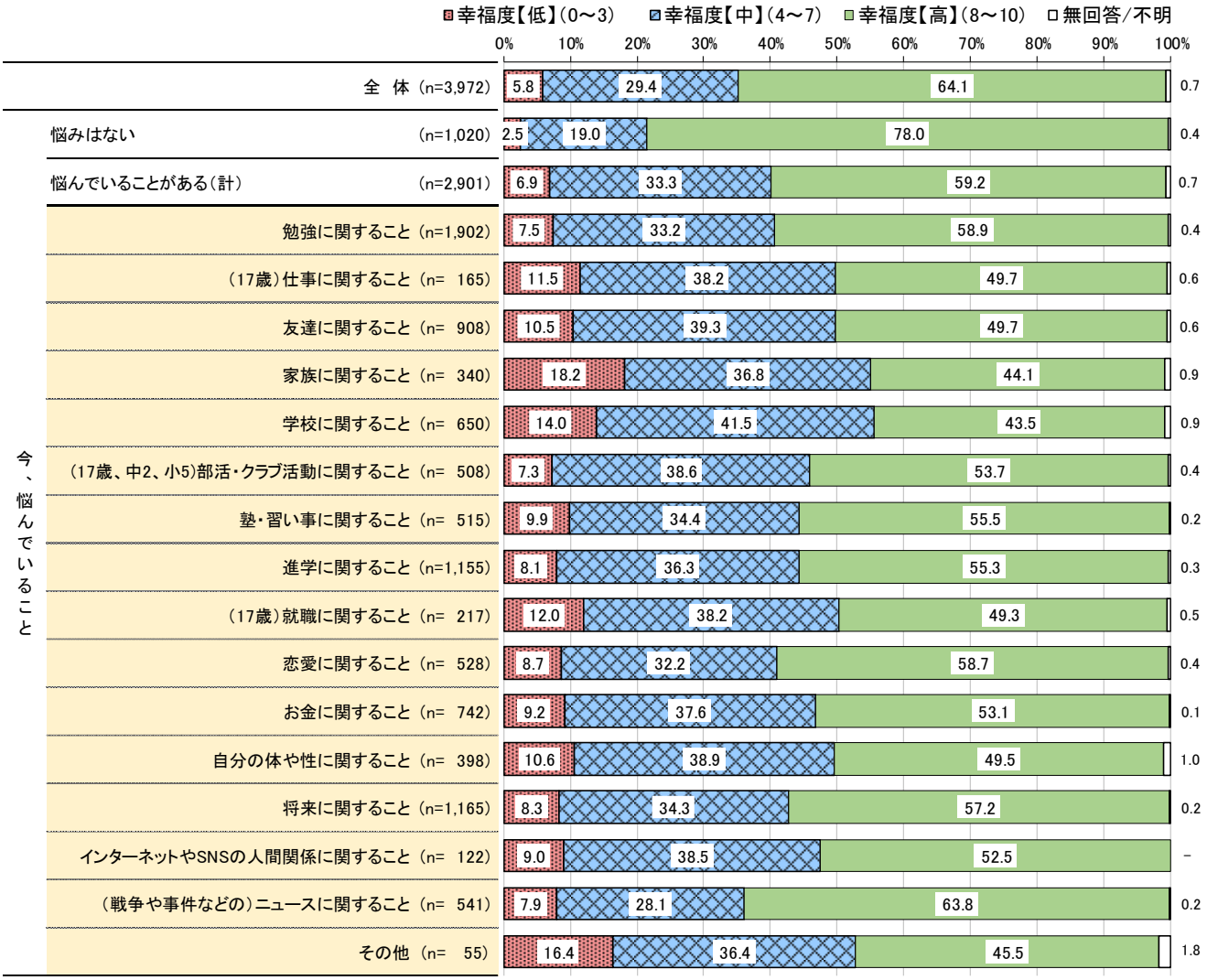
※悩んでいることがある(計)は、「勉強に関すること」～「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

「今、悩んでいること」の回答別に幸福度をみると、何らか「悩んでいることがある（計）」と回答した子供の 59.2%が幸福度【高】（8～10）で、「悩みはない」と回答した子供の 78.0%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-169　子供の幸福度（「今、悩んでいること」の回答別）



【自由記述】

その他（今、悩んでいること）
ストレスのこと（子供・小3）
わすれもの（子供・小3）
言葉つかい（子供・小3）
ゲーム機が没収されていること（子供・小3）
親に反抗したくなる、動画やゲームで腹が立つこと（子供・小3）
自分はみんな にひつようとされているか（子供・小3）
あそび関係で（子供・小3）
何となく心配（子供・小5）
死ぬのこわい（子供・小5）
ちきゅうおんだんかがしんぱい（子供・小5）
自分で自分の意見をおしこめてしまうこと（子供・中2）
部屋が汚い（子供・中2）
勉強をしようと思ったら寝むくなること＆集中力がないこと。（子供・中2）
朝起きられないこと（子供・中2）
アメリカに引っ越すこと（子供・中2）
自分という存在に対して（子供・中2）
人生（子供・中2）
感染症などのこと（子供・中2）
過去のあやまち（子供・中2）
周りの関わってる人達のこと（子供・中2）
自分の性格のこと（子供・17 歳）
自分の精神状態についてのこと（子供・17 歳）
精神疾患（子供・17 歳）
寝つきが悪い、寝ても疲れが取れない（子供・17 歳）
SNS の使い方（子供・17 歳）
地域の安全（子供・17 歳）
このまま生き続けなければならないこと（子供・17 歳）
日本の経済や地震について（子供・17 歳）
どうしたら世の中が良くなるのか（子供・17 歳）
インターネット上で思想・主義の対立による争いが目に入ってしまうこと（子供・17 歳）
人間の生死について、自分の感情について（子供・17 歳）

（子供：共通）問 37. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

【全体】

嫌な経験の中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 22.3%で最も高く、次いで「無視をされた、仲間外れにされた」が 12.0%、「暴力を受けた」が 7.2%、「いじめを受けた」が 6.5%で続く。なお「特に嫌な経験はしていない」が 67.4%で最も高い。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験はしていない」が最も高く、学年が上がると増加傾向である。

図表 1-170　過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）　＜複数回答＞

(%)

			n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験
全　体		令和8年	3,972	22.3	12.0	6.5	1.7	0.5	7.2	2.5
		令和7年	3,876	23.0	11.9	6.7	1.9	0.6	7.9	1.8
学年	小3	令和8年	1,017	28.5	15.7	12.0	2.2	0.4	12.9	2.9
		令和7年	1,018	28.0	16.1	11.8	2.5	0.6	13.9	2.0
	小5	令和8年	948	26.6	14.9	8.6	2.0	0.3	10.5	2.3
		令和7年	962	28.8	15.1	7.4	2.9	0.4	10.9	2.1
	中2	令和8年	961	20.5	9.6	3.9	1.2	0.4	4.2	2.2
		令和7年	887	20.5	10.4	5.2	1.4	0.2	5.0	1.7
	17歳	令和8年	1,046	14.0	7.9	1.6	1.3	0.9	1.5	2.6
		令和7年	1,009	14.5	5.9	2.3	0.7	1.0	1.6	1.5
区市町村	区　部		2,551	22.1	11.4	6.3	1.6	0.6	7.5	2.4
	市町村部		1,421	22.5	13.0	6.9	1.8	0.3	6.7	2.7

			特に嫌な経験はしていない	無回答/不明	嫌な経験をしたことがある（計）
全　体		令和8年	67.4	2.2	30.3
		令和7年	67.8	2.3	30.0
学年	小3	令和8年	59.1	2.6	38.3
		令和7年	59.9	2.4	37.7
	小5	令和8年	61.0	3.9	35.1
		令和7年	60.5	3.2	36.3
	中2	令和8年	71.3	1.1	27.6
		令和7年	71.3	1.7	27.1
	17歳	令和8年	77.9	1.3	20.7
		令和7年	79.5	1.8	18.7
区市町村	区　部		67.8	2.1	30.1
	市町村部		66.8	2.5	30.8

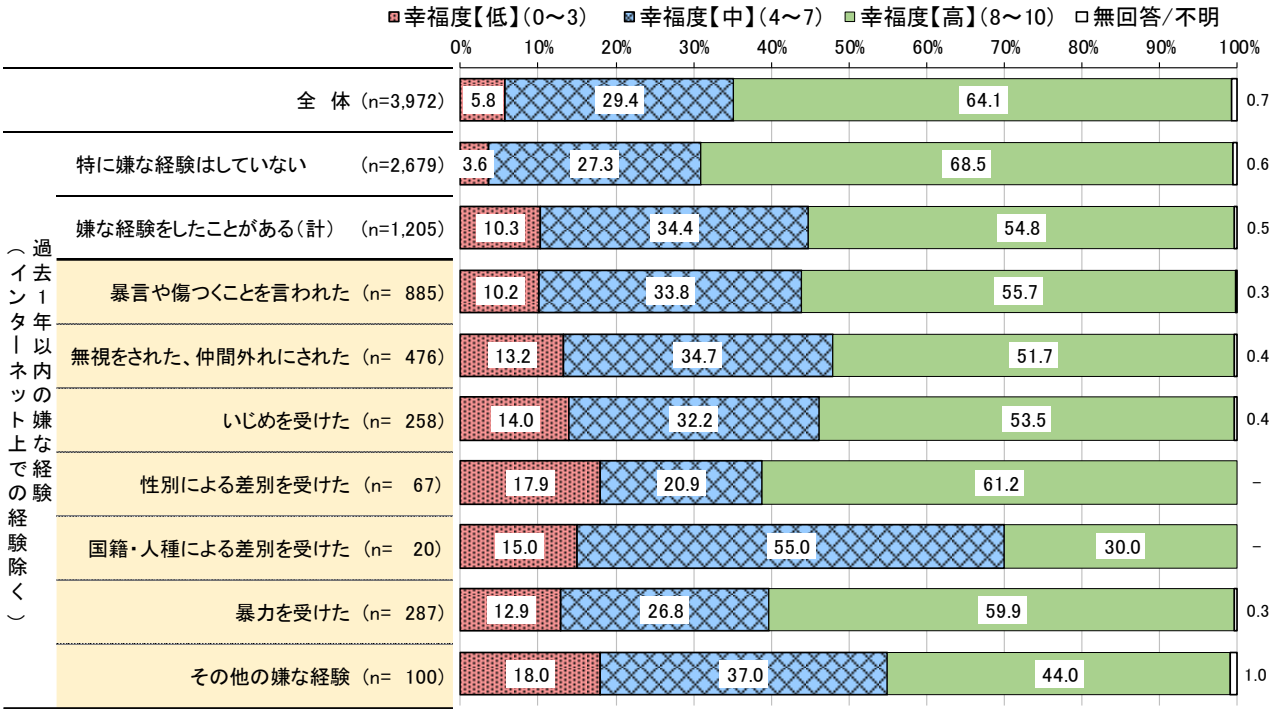
※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「暴力を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

【子供の幸福度】

「過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験除く）」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答した子供の 54.8%が幸福度【高】（8～10）で、「特に嫌な経験はしていない」と回答した子供の 68.5%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-171 子供の幸福度（「過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験除く）」の回答別）



【自由記述】

その他（過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く））
きょうだいげんか。（子供・小3）
父親がむりやりスポーツをやらせようとしてくる。（子供・小3）
まち合わせ場所に友だちがこなかった。（子供・小3）
きらいな人にあそぼってさそわれる。（子供・小3）
じゅくのときに、うるさい人がいてめいわく（子供・小3）
だんしに、にらまれて、こわかった。（子供・小3）
けしゴムのかすなげられたり、人の物にらくがきする（子供・小3）
担任の先生が合わない（子供・小3）
知らない人に小声でまねをされた。（子供・小3）
つばはかれた（子供・小3）
間違えた時に笑われた（子供・小3）
変なあだ名をつけられた事（子供・小3）
自分で自転車でこけた（子供・小3）
お兄ちゃんと喧嘩した（子供・小5）
遊びにさそわれて、他の子と遊びたかったからことわったら、おこって、「じゃあいいよ」と言われた。（子供・小5）
先生に無視された、先生に一年間きゅうしょくおかわりぬきにされた（子供・小5）
つきまとわれた（子供・小5）
知らない人に声をかけられた（子供・小5）
知らない人に肩を触られた（子供・小5）
シールをぬすまれた（子供・小5）
裏切られた（子供・小5）
気持ち悪いことをされた（子供・小5）
友達に利用された（子供・中2）
自席の近くで他の人の陰口をずっと言っている人がいた。（子供・中2）
学校内の同級生とのケンカ（子供・中2）
学校で、カッターで机をピーピーと引かれた（子供・中2）
理不尽に叱られた（子供・中2）
嫌がらせをうけた（子供・中2）
友人関係（子供・17 歳）
デートDV（彼氏に性的な写真を送るよう要求された。送ることはなく、その後別れた）（子供・17 歳）
ストーカー（子供・17 歳）
痴漢（子供・17 歳）
友人が暴言を言われるのを見た（子供・17 歳）
他人に対する暴言を聞いた（子供・17 歳）
特定の人から執拗にメッセージを送られて続けている（子供・17 歳）
貸したお金を返さず逃げられた（子供・17 歳）

（子供：共通）問 38. あなたは過去 1 年以内に、インターネット上で次のような経験をしたことがありますか。
（いくつでも）

【全体】

嫌な経験の中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 4.4%である。なお、「特に嫌な経験はしていない」が 88.8%で最も高い。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験はしていない」が最も高い。

図表 1-172 過去1年以内のインターネット上での嫌な経験 ＜複数回答＞

(%)

			n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	ネット詐欺に遭った（金銭や個人情報などを求められた）（お金を求められたり、個人情報を聞かれた）	会ったことのない人から会うことを求められた	勝手に自分の写真をアップされた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない
全体		令和8年	3,972	4.4	1.7	0.8	1.1	1.2	0.8	88.8
		令和7年	3,876	3.8	1.8	0.7	1.1	1.1	0.6	90.4
学年	小3	令和8年	1,017	3.3	2.0	0.7	0.2	0.2	0.7	90.5
		令和7年	1,018	2.1	1.9	0.6	0.3	0.2	0.5	92.4
	小5	令和8年	948	4.0	1.4	0.6	0.3	0.5	0.8	88.8
		令和7年	962	2.9	1.4	0.5	0.6	0.4	1.0	90.6
	中2	令和8年	961	4.6	1.6	0.5	1.4	2.1	0.6	89.2
		令和7年	887	4.5	2.1	0.7	1.2	2.7	0.7	89.7
	17歳	令和8年	1,046	5.5	2.0	1.3	2.3	1.9	1.1	87.0
		令和7年	1,009	5.9	1.7	0.9	2.4	1.2	0.4	88.5
区市町村	区部		2,551	4.4	1.6	0.8	0.9	0.9	0.7	89.6
	市町村部		1,421	4.4	2.0	0.8	1.3	1.6	1.1	87.5

			無回答/不明	嫌な経験をしたことがある（計）
全体		令和8年	3.4	7.8
		令和7年	3.1	6.5
学年	小3	令和8年	4.5	5.0
		令和7年	3.5	4.0
	小5	令和8年	5.5	5.7
		令和7年	4.7	4.7
	中2	令和8年	1.9	8.9
		令和7年	2.3	8.0
	17歳	令和8年	1.8	11.2
		令和7年	2.1	9.4
区市町村	区部		3.1	7.4
	市町村部		4.0	8.4

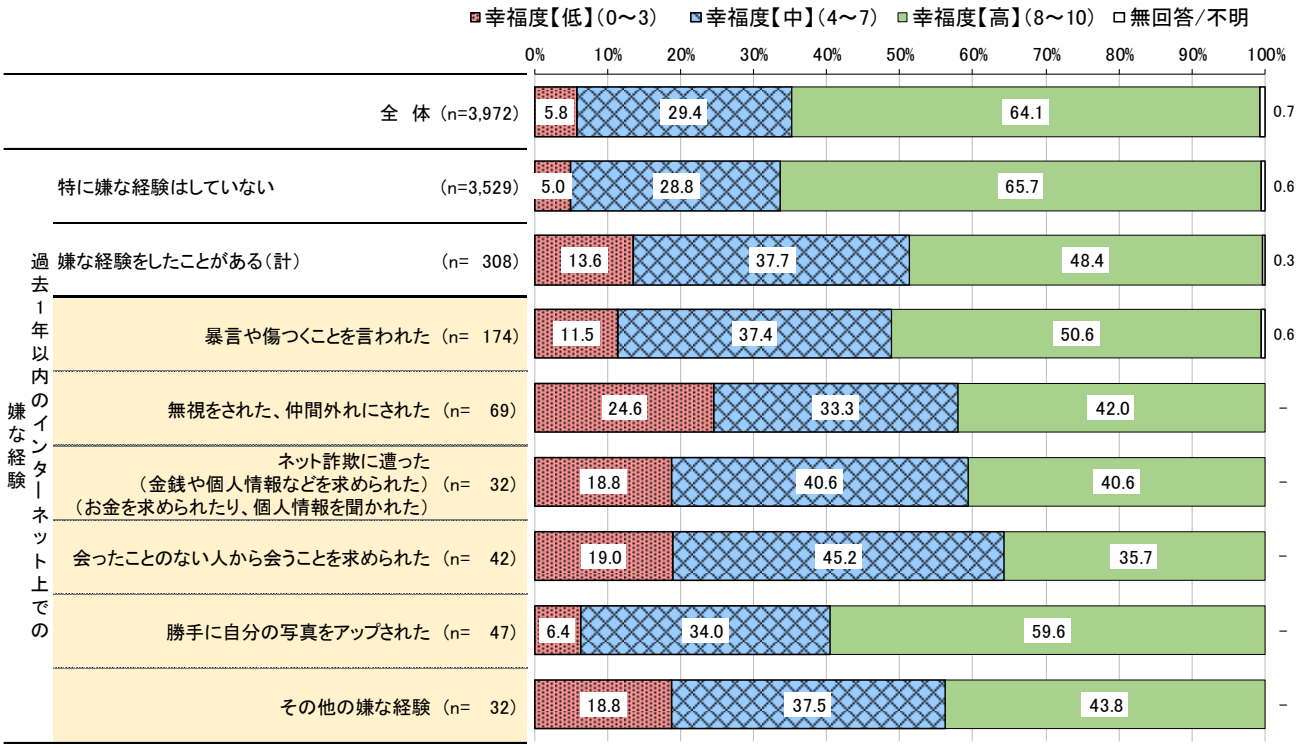
※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「勝手に自分の写真をアップされた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

「過去１年以内のインターネット上での嫌な経験」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「嫌な経験をしたことがある（計）」と回答した子供の 48.4％が幸福度【高】（8～10）で、「特に嫌な経験はしていない」と回答した子供の 65.7％が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-173 子供の幸福度（「過去1年以内のインターネット上での嫌な経験」の回答別）



【自由記述】

その他（過去 1 年以内のインターネット上での嫌な経験）
すきな人をかってにいわれた。（子供・小3）
ゲームを邪魔された（子供・小3）
ルール違反された（子供・小3）
じぶんかって。（子供・小3）
自分の家を写真にとられた（子供・小5）
ゲームでしらないひとにあおられた（子供・小5）
インターネットであおられた。（子供・小5）
ロブロックスというゲームでしょたいめん（インターネットで）なのに、○○（ユーザー名）ちゃんといわれた。（子供・小5）
DM でちょっとキモイ人からメッセージが来た（子供・中2）
言いたくない（子供・中2）
知らない人からの連絡（子供・中2）
不正アクセスをされたこと（子供・17 歳）
フォローリクエスト等を断っても、何度もリクエストされた。（子供・17 歳）
オンラインゲームで見ず知らずの人に煽り行為を行う人がよくいる（子供・17 歳）
荒らしコメントを見た（子供・17 歳）
sns で卑猥な内容をダイレクトメールで送られて、親に対処してもらいました。（子供・17 歳）
執着、迷惑行為（子供・17 歳）

（子供：共通）問 39. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。（いくつでも）

【全体】

「母親（お母さん）」が 80.2%で最も高く、「友達や先輩」が 63.8%、「父親（お父さん）」が 56.1%と続く。なお、何らか「相談する人がいる（計）」は 96.5%である。

【学年別】

小3、小5では「母親（お母さん）」が最も高く、中2、17 歳では「友達や先輩」が最も高い。また、「母親（お母さん）」「父親（お父さん）」は、学年が上がると減少傾向である。

図表 1-174　困ったり悩んだりしたときの相談相手　＜複数回答＞

(%)

		n	友達や先輩	きょうだい	母親（お母さん）	父親（お父さん）	祖父母（おじいさん、おばあさん）	親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）	近所の人	学校の先生・職場の上司	保健室の先生
全体	令和8年	3,972	63.8	25.9	80.2	56.1	25.4	11.8	3.0	37.3	9.4
	令和7年	3,876	63.6	25.6	81.1	56.9	25.7	11.1	3.6	37.7	10.6
学年 小3	令和8年	1,017	45.6	26.5	91.3	74.0	34.5	15.8	4.1	51.3	15.1
	令和7年	1,018	45.3	25.7	92.1	72.4	35.3	16.1	6.1	53.4	16.7
小5	令和8年	948	61.6	29.2	86.8	67.2	36.1	19.9	5.0	45.0	14.6
	令和7年	962	60.7	28.2	87.4	64.1	34.5	16.2	4.5	44.4	15.3
中2	令和8年	961	74.1	25.5	73.6	45.7	20.7	7.8	2.3	31.4	5.5
	令和7年	887	73.5	23.2	74.0	50.4	21.9	7.7	2.7	30.6	7.6
17歳	令和8年	1,046	74.0	22.8	69.3	38.0	11.2	4.1	0.8	21.9	2.8
	令和7年	1,009	76.1	25.1	70.2	40.0	11.2	4.1	1.1	21.7	2.8
区市町村 区部		2,551	65.3	25.1	79.7	55.6	24.4	11.0	2.4	37.4	9.6
区市町村 市町村部		1,421	61.1	27.4	81.0	56.9	27.2	13.2	4.2	37.0	9.1

		相談員（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど）	放課後児童クラブ（学童保育）・児童館の職員	塾や習い事の先生	インターネットやSNSで知り合った人	NPO法人、ボランティアの人	その他	相談できる人はいない	無回答/不明	相談する人がいる（計）
全体	令和8年	10.2	5.3	9.3	3.3	1.2	1.8	3.0	0.6	96.5
	令和7年	11.1	4.9	8.5	2.7	1.6	1.5	2.7	0.6	96.7
学年 小3	令和8年	8.1	12.6	12.2	0.4	2.9	1.1	2.2	0.4	97.4
	令和7年	10.6	11.5	10.3	0.1	3.4	0.9	0.9	0.8	98.3
小5	令和8年	19.3	6.4	10.9	2.1	1.2	1.2	2.1	0.3	97.6
	令和7年	19.9	5.6	10.4	1.6	0.9	1.8	1.8	0.7	97.5
中2	令和8年	10.7	1.6	8.5	5.1	0.8	2.8	3.2	1.0	95.7
	令和7年	9.9	1.8	8.5	4.8	1.8	1.8	3.6	0.2	96.2
17歳	令和8年	3.5	0.6	5.6	5.6	0.1	2.1	4.4	0.5	95.1
	令和7年	4.4	0.2	4.8	4.4	0.1	1.7	4.6	0.8	94.6
区市町村 区部		10.1	5.3	8.7	3.3	1.1	1.7	2.7	0.5	96.7
区市町村 市町村部		10.4	5.3	10.2	3.4	1.5	1.9	3.4	0.6	96.0

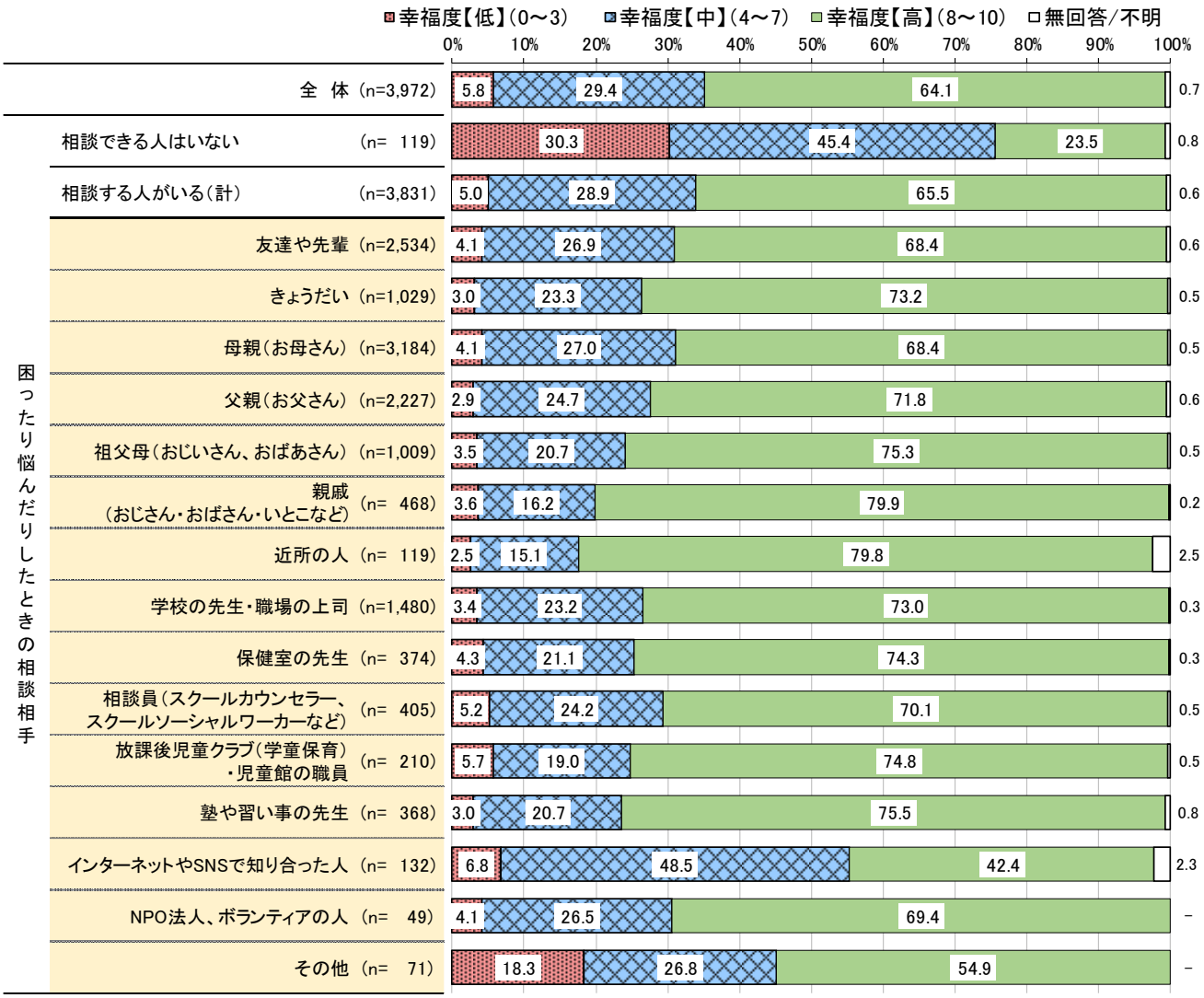
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※相談する人がいる（計）は「友達や先輩」～「NPO 法人、ボランティアの人」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「困ったり悩んだりしたときの相談相手」の回答別に子供の幸福度をみると、誰か「相談する人がいる(計)」と回答した子供の 65.5%が幸福度【高】(8～10)で、「相談できる人はいない」と回答した子供の 23.5%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「相談できる人はいない」と回答した子供の 30.3%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 1-175　子供の幸福度(「困ったり悩んだりしたときの相談相手」の回答別)



【自由記述】

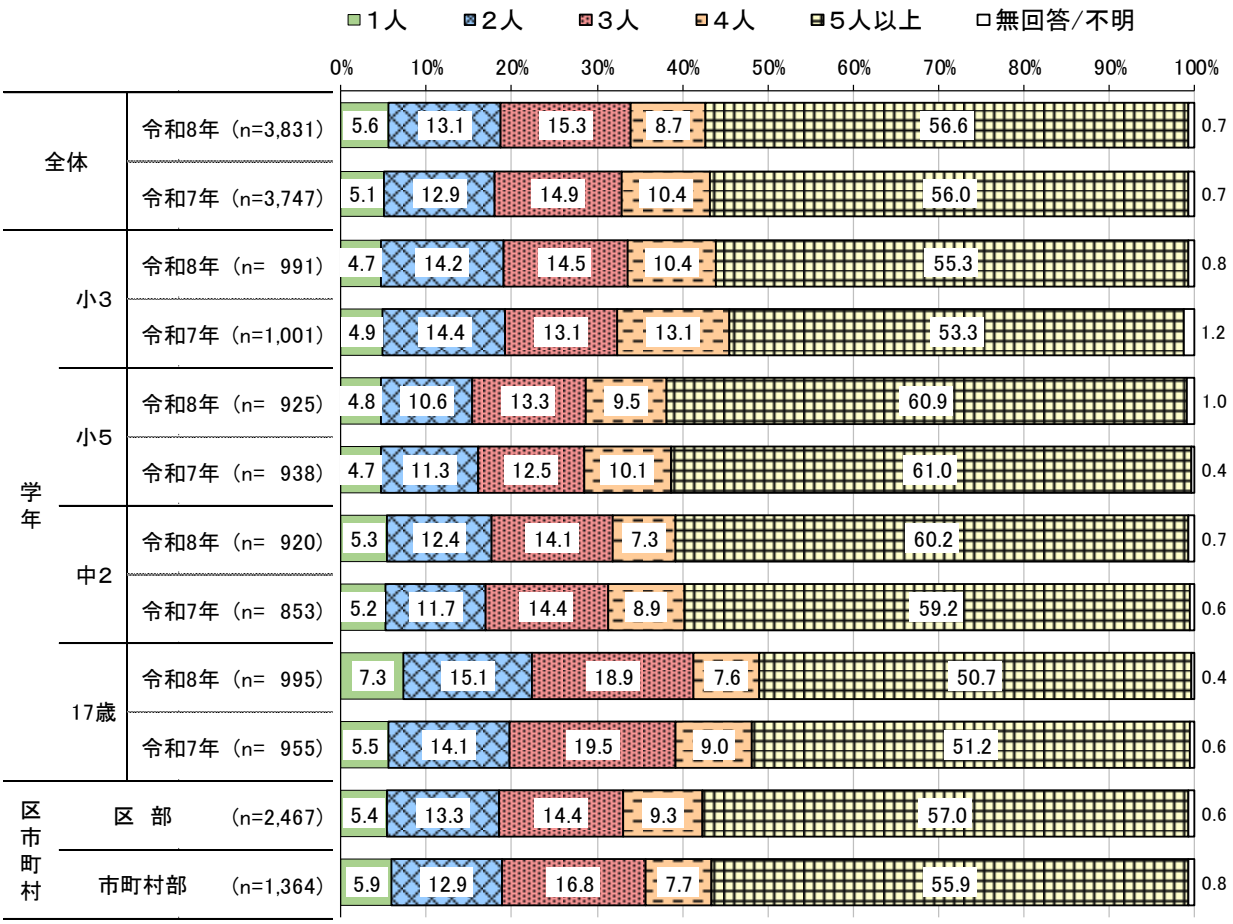
その他（困ったり悩んだりしたときの相談相手）
かぞく（子供・小3）
学校の友だちのお母さん（子供・小3）
AI（子供・小3）
ぬいぐるみ（子供・小3）
なやみがない（子供・小3）
ベビーシッター（子供・小3）
「かくれてしまえばいいのです」というアプリのAI（子供・小5）
AI チャッピー（子供・小5）
自分の大好きなマイメロのぬいぐるみ（子供・小5）
相だんしなくてもべつにいい（子供・小5）
恋人（子供・中2）
ChatGPT（子供・中2）
AI（子供・中2）
フリースクールの先生（子供・中2）
大学病院の先生（子供・中2）
自分自身（子供・中2）
困ったり、悩んだりしない。（子供・中2）
今のところ悩みがないから相談してない（子供・中2）
相談をしたくない（子供・中2）
相談出来る人は居るが相談しない（子供・中2）
人形、祖母の友（子供・中2）
友達の母（子供・17 歳）
彼氏（子供・17 歳）
生成 AI（子供・17 歳）
chat GPT・Google検索（子供・17 歳）
部活動の外部指導員（子供・17 歳）
メンクリのカウンセリング（子供・17 歳）
ネコ（子供・17 歳）
愛犬（子供・17 歳）
自分で解決することが多いです。（子供・17 歳）
ヘルパーさん（子供・17 歳）

（子供：共通）問 40.【問 39 で「友達や先輩」～「NPO 法人、ボランティアの人」「その他」と答えた方にお聞きします。】
あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談できる人は何人いますか。（1つだけ）

【全体】
「5人以上」が 56.6%で最も高く、次いで、「3人」が 15.3%、「2人」が 13.1%である。

【学年別】
いずれの学年でも「5人以上」が最も高い。「5人以上」は小5が 60.9%で最も高く、17 歳が 50.7%で最も低い。

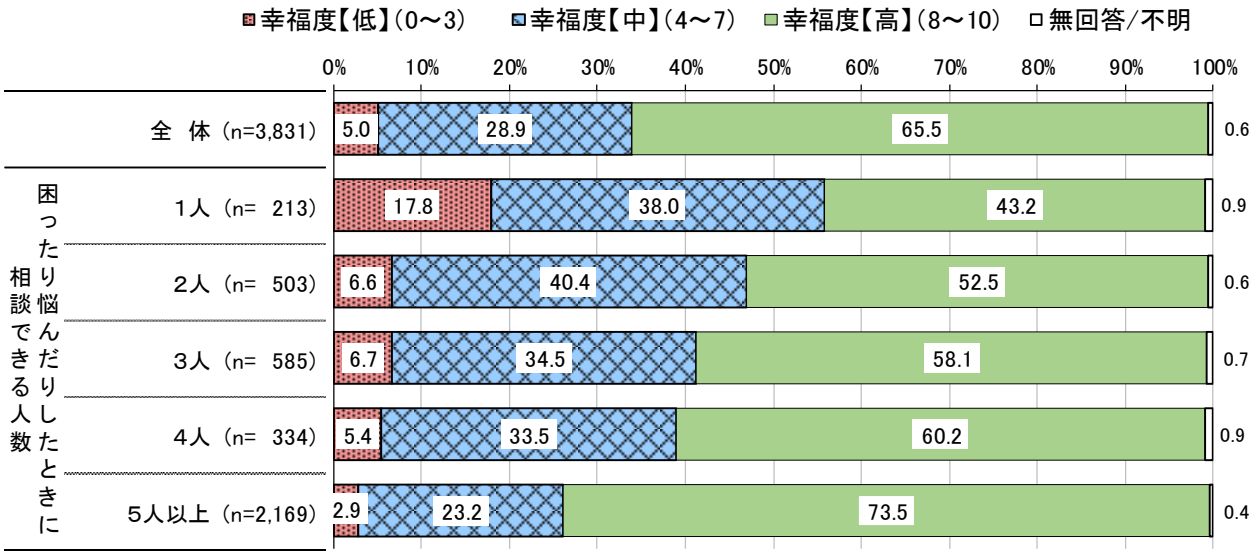
図表 1-176　困ったり悩んだりしたときに相談できる人数　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「困ったり悩んだりしたときに相談できる人数」の回答別に子供の幸福度をみると、「5人以上」と回答した子供の73.5%が幸福度【高】(8～10)で、「1人」と回答した子供の43.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-177 子供の幸福度(「困ったり悩んだりしたときに相談できる人数」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 41. あなたは将来、結婚したいと考えていますか。今つきあっている人がいるかどうかや、その人と結婚したいかどうかとは関係なく答えてください。（1つだけ）

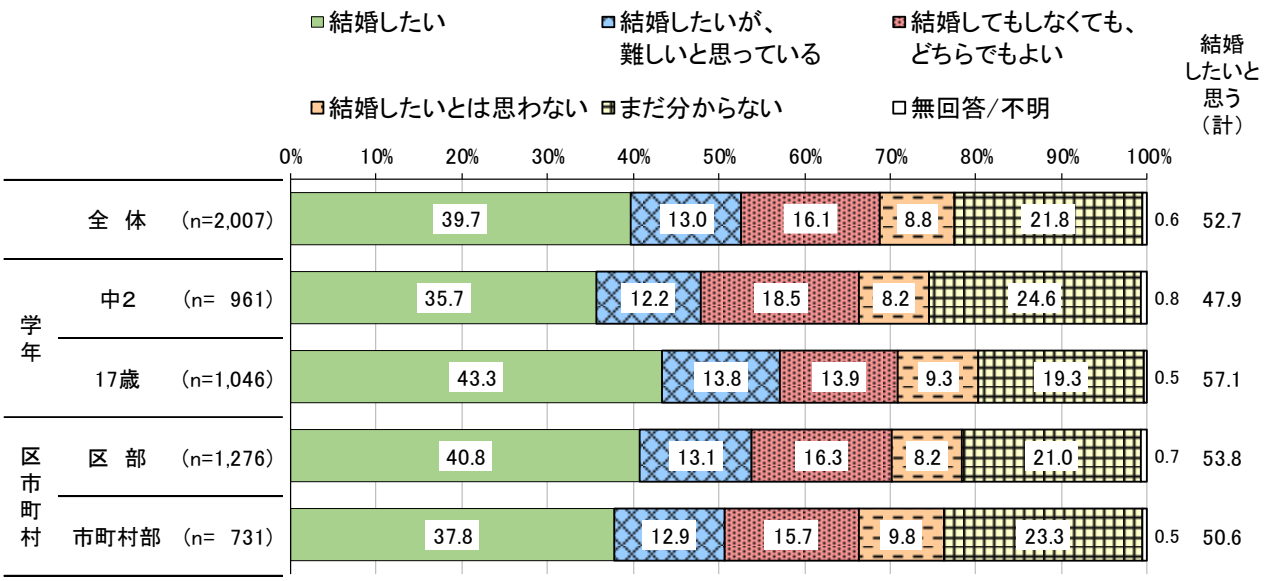
【全体】

「結婚したい」が 39.7％で最も高く、次いで、「まだ分からない」が 21.8％、「結婚してもしなくても、どちらでもよい」が 16.1％、「結婚したいが、難しいと思っている」が 13.0％である。

【学年別】

中2、17 歳ともに「結婚したい」が最も高く、それぞれ 35.7％、43.3％である。

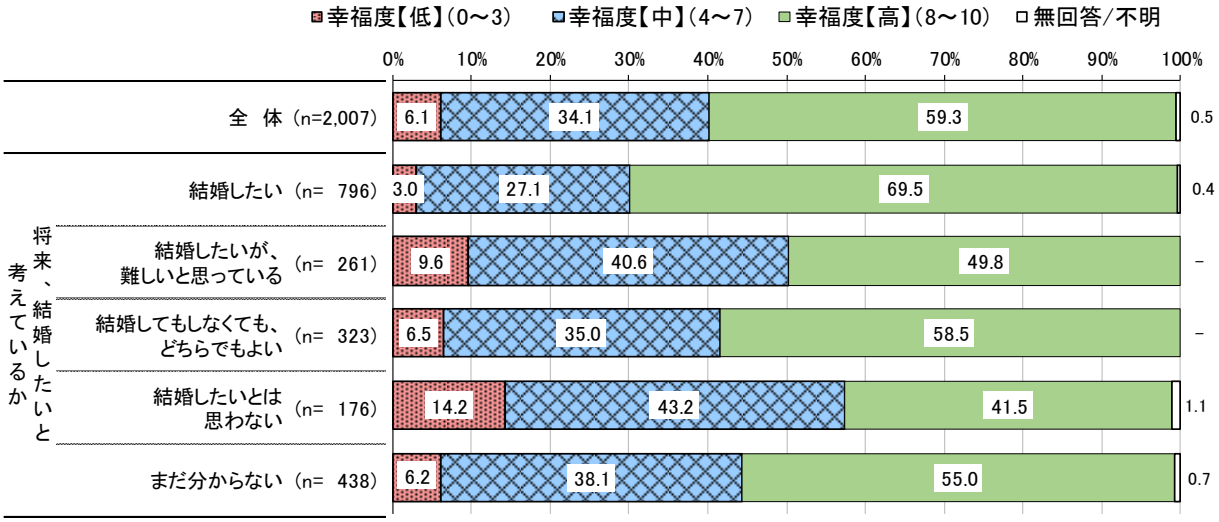
図表 1-178　将来、結婚したいと考えているか　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「将来、結婚したいと考えているか」の回答別に子供の幸福度をみると、「結婚したい」と回答した子供の 69.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-179 子供の幸福度(「将来、結婚したいと考えているか」の回答別)



（子供：17 歳、中2）問 42. あなたは、「結婚」についてどのようなイメージを持っていますか。（いくつでも）

【全体】

「好きな人と一緒に暮らせる」が 64.7％で最も高く、次いで「精神的な安らぎの場が得られたり、寂しさを感じなくなる」が 45.7％、「家事などの負担が増える」が 24.7％、「お金がかかる」が 24.2％、「自分の時間が取れなくなる」が 23.5％と続く。なお、何らか「結婚のイメージがある（計）」は 84.5％である。

【学年別】

中2、17 歳ともに「好きな人と一緒に暮らせる」が最も高い。

図表 1-180 「結婚」についてどのようなイメージを持っているか ＜複数回答＞

(%)

		n	好きな人と一緒に暮らせる	親／保護者など周囲が安心する	お金に余裕ができる	精神的な安らぎの場が得られたり、寂しさを感じなくなる	お金がかかる	自分の時間が取れなくなる	自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる
全　体		2,007	64.7	18.7	11.7	45.7	24.2	23.5	10.1
学年	中2	961	63.3	18.9	12.6	44.8	23.9	21.2	9.4
学年	17歳	1,046	66.1	18.5	10.9	46.5	24.5	25.5	10.7
区市町村	区　部	1,276	66.2	19.8	12.1	47.4	25.5	23.2	10.1
区市町村	市町村部	731	62.1	16.8	10.9	42.7	22.0	23.9	10.0

		家事などの負担が増える	まだ分からない	その他	無回答／不明	結婚のイメージがある（計）
全　体		24.7	14.9	2.4	0.6	84.5
学年	中2	26.3	17.2	2.2	0.7	82.1
学年	17歳	23.1	12.9	2.6	0.5	86.6
区市町村	区　部	24.4	13.9	2.3	0.7	85.3
区市町村	市町村部	25.2	16.7	2.6	0.4	82.9

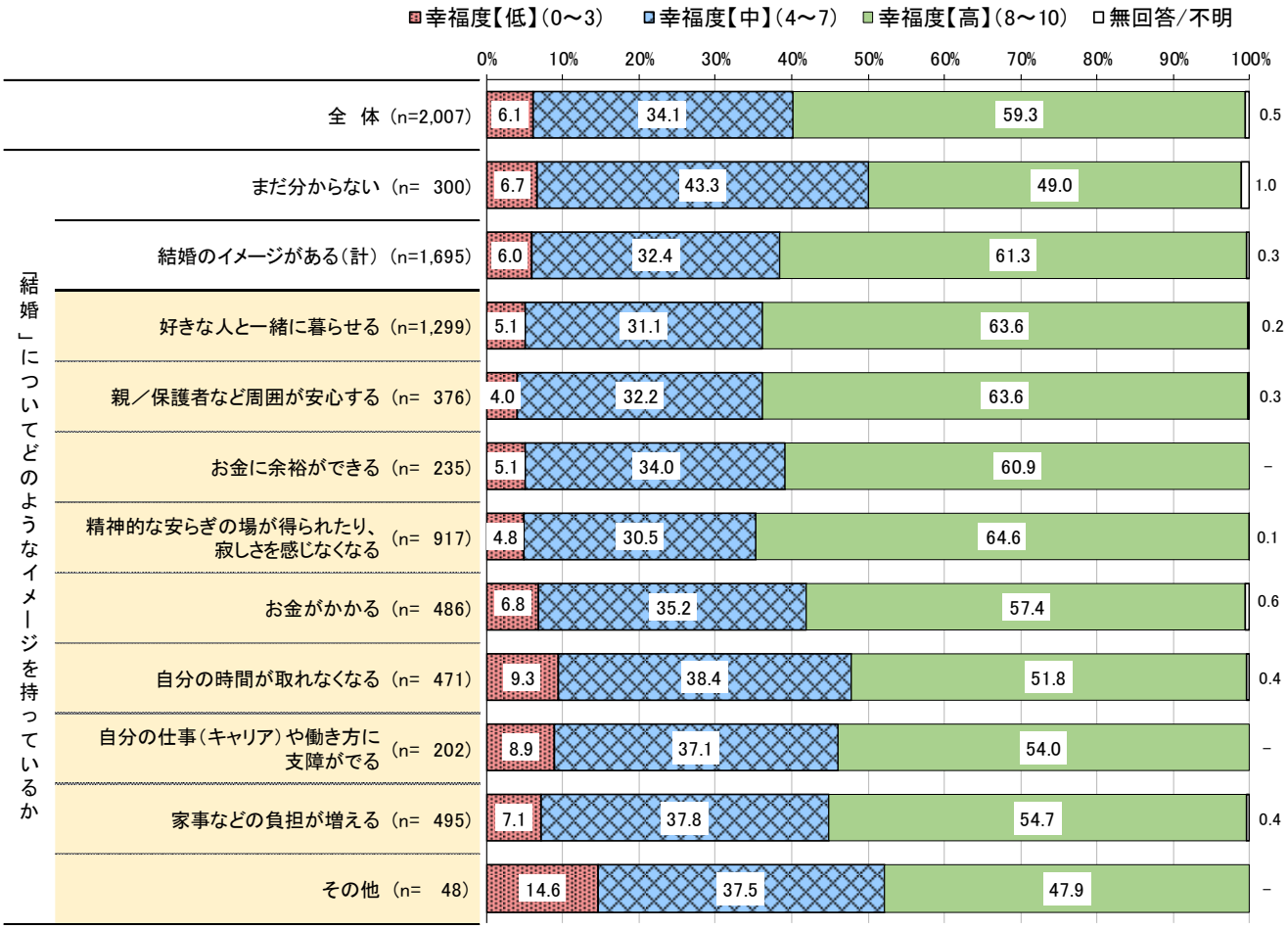
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※結婚のイメージがある（計）は、「好きな人と一緒に暮らせる」～「家事などの負担が増える」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

【子供の幸福度】

「『結婚』についてどのようなイメージを持っているか」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「結婚のイメージがある（計）」と回答した子供の 61.3%が幸福度【高】（8～10）である。「まだ分からない」と回答した子供の 49.0%が幸福度【高】（8～10）である。

図表 1-181 子供の幸福度（「『結婚』についてどのようなイメージを持っているか」の回答別）



【自由記述】

その他（「結婚」についてどのようなイメージを持っているか）
子供ができる（子供・中2）
たのしい（子供・中2）
しあわせ（子供・中2）
めんどくさい（子供・中2）
大変そう（子供・中2）
トラブルが多い（子供・中2）
気を遣う（子供・中2）
面倒な人間関係が増える（子供・中2）
離婚とか浮気されちゃう（子供・中2）
同性婚認められたい（子供・中2）
今のような家庭になる。（子供・中2）
婚約者との仲（子供・中2）
大変なのが楽しいんだと思う（子供・中2）
楽しいこともあるが負担もある。（子供・中2）
自分で家庭を作れる（子供・17 歳）
子供を必ず持つ（子供・17 歳）
子供ができる（子供・17 歳）
安心感（子供・17 歳）
楽しいことが増える（子供・17 歳）
信頼を得られる（子供・17 歳）
傷つくこともある（子供・17 歳）
人生の墓場だと思う（子供・17 歳）
とんでもなく不幸になる場合もある（子供・17 歳）
他人と一緒に過ごさなければならない（子供・17 歳）
人間関係が崩れる（子供・17 歳）
自分の人生に他人が介入してくる（子供・17 歳）
同性婚及びそれに対応するパートナーシップの整備などがまだまだ進んでいない点で未だ少し窮屈な制度となっている（子供・17 歳）
人間として当然のこと（子供・17 歳）
形式的なもの（子供・17 歳）

（子供：共通）問 43. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）

（A 起きる時間）

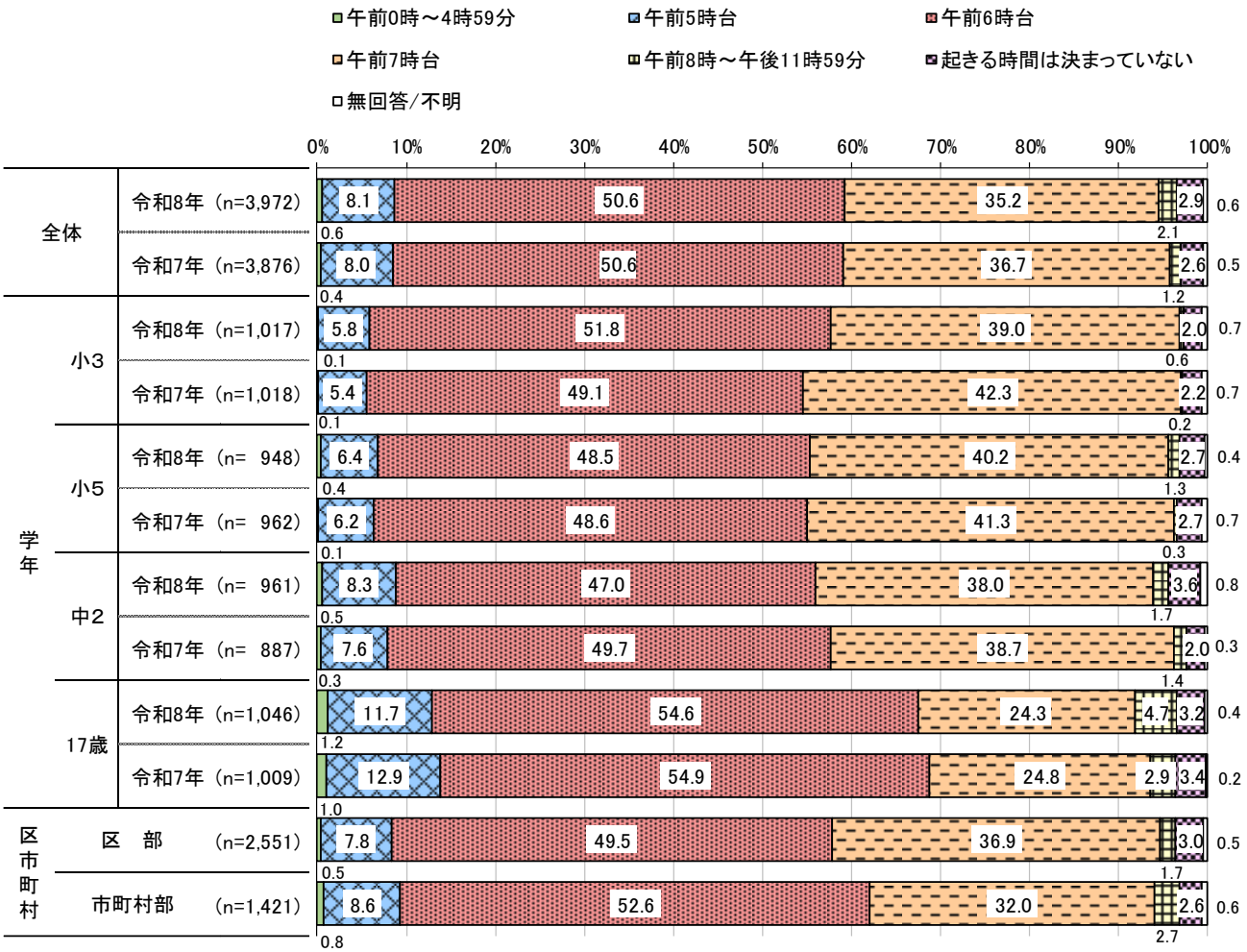
【全体】

「午前6時台」が 50.6%で最も高く、次いで「午前7時台」が 35.2%、「午前5時台」が 8.1%である。

【学年別】

いずれの学年でも「午前6時台」が最も高く、17 歳では 54.6%で最も高い。

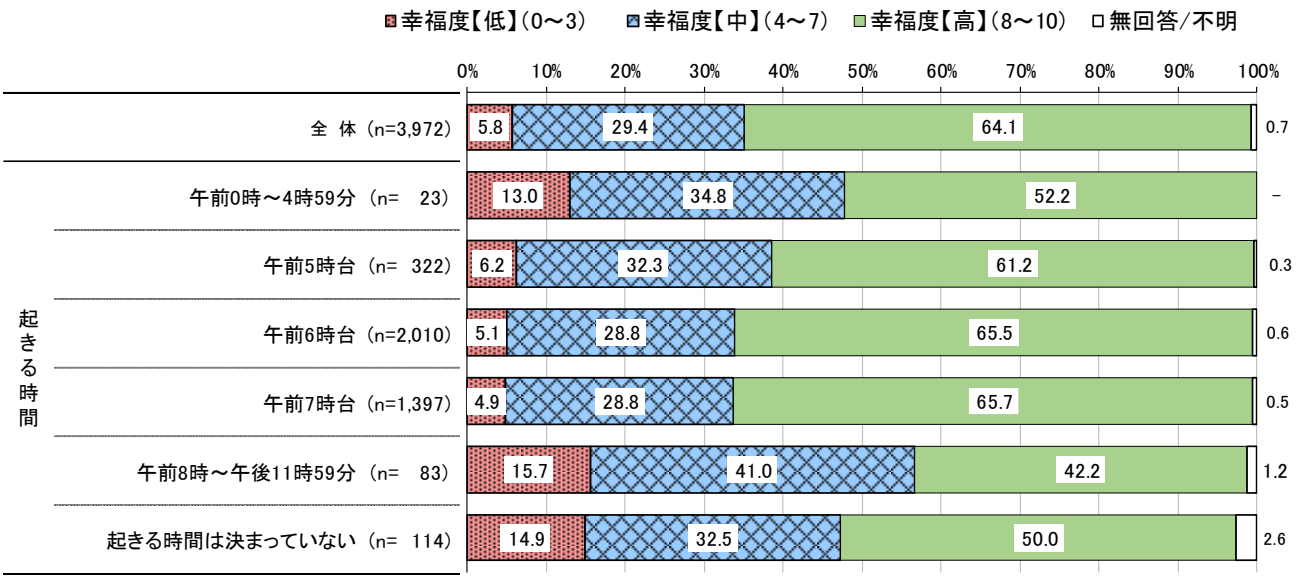
図表 1-182 A 起きる時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「起きる時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「午前7時台」と回答した子供の 65.7%、「午前6時台」と回答した子供の 65.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-183　子供の幸福度(「起きる時間」の回答別)



（子供：共通）問 43. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）

（B 寝る時間）

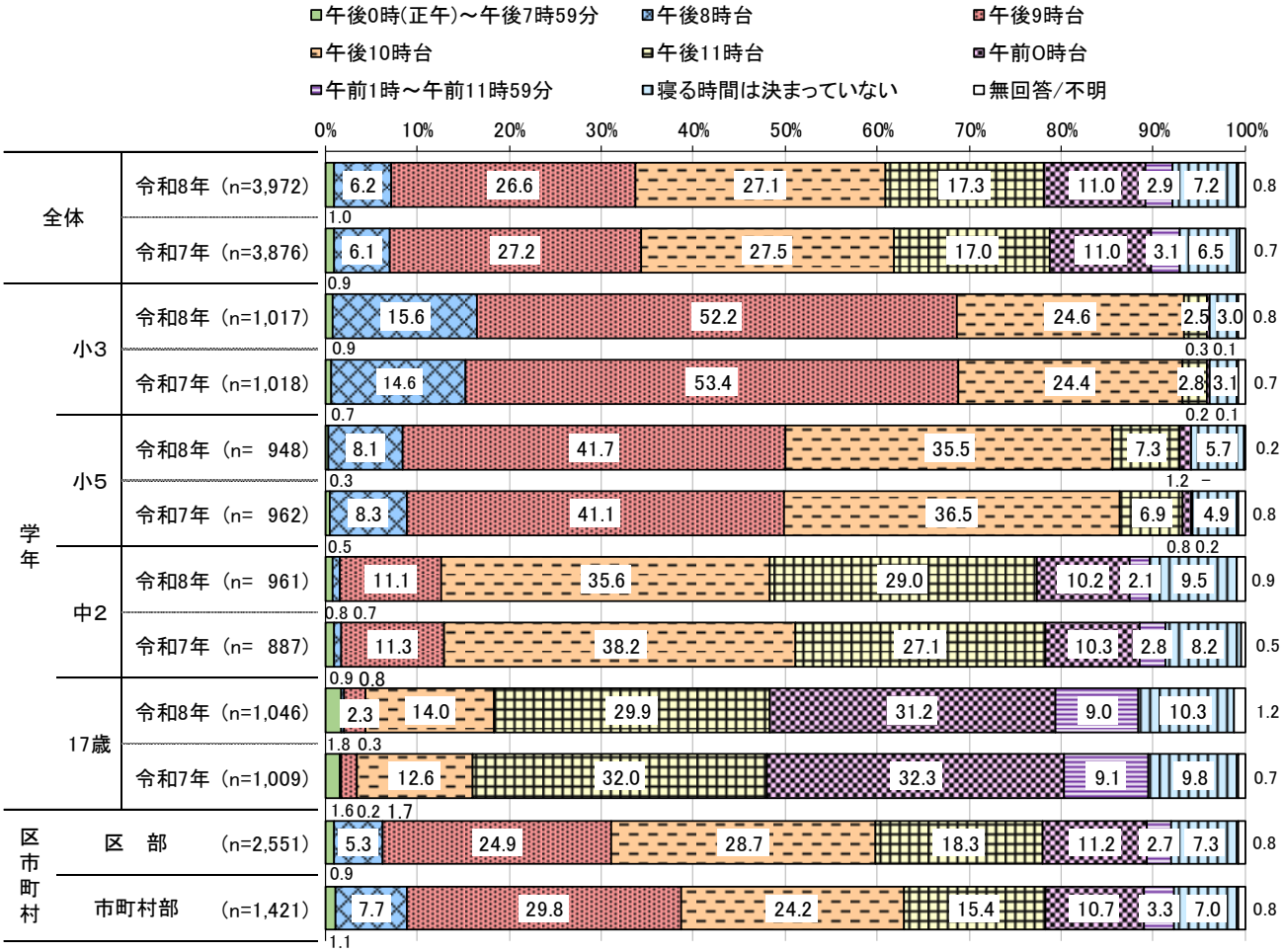
【全体】

「午後 10 時台」が 27.1%で最も高く、次いで「午後9時台」が 26.6%、「午後 11 時台」が 17.3%である。

【学年別】

小3、小5では「午後9時台」がそれぞれ 52.2%、41.7%で最も高く、中2では「午後 10 時台」が 35.6%、17 歳では「午前0時台」が 31.2%でそれぞれ最も高い。

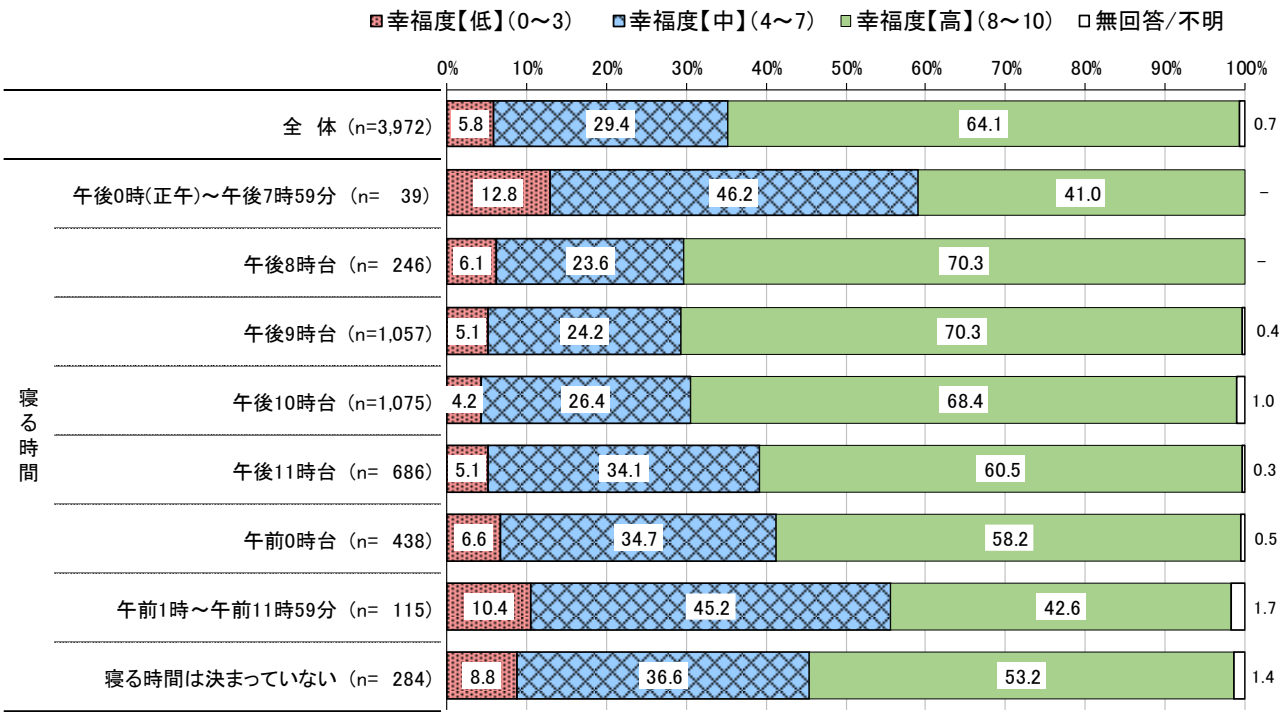
図表 1-184 B 寝る時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「寝る時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「午後8時台」、「午後9時台」と回答した子供のそれぞれ 70.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-185　子供の幸福度(「寝る時間」の回答別)



（子供：共通）問 43. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を参考に算出した。

【全体】

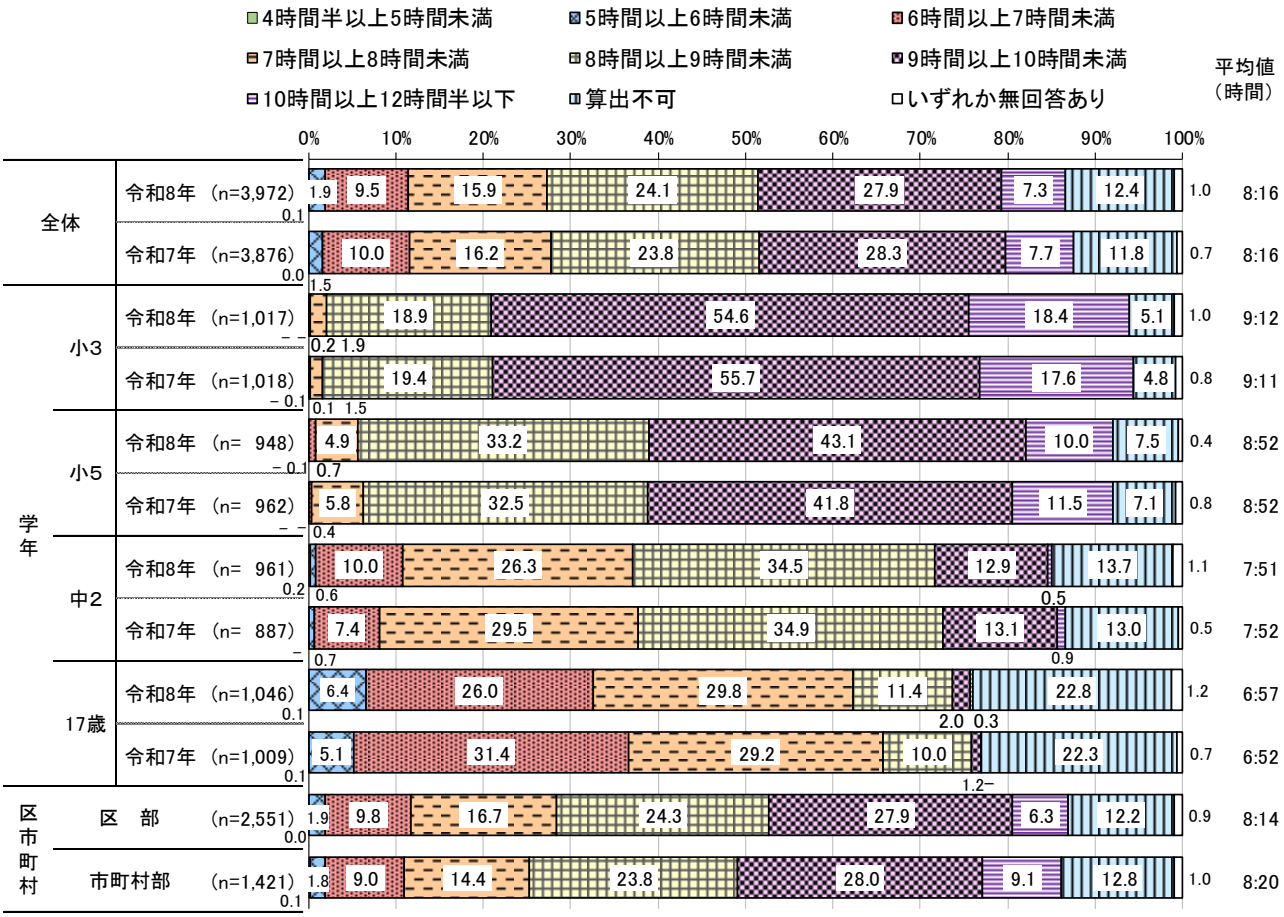
睡眠時間は、「9時間以上 10 時間未満」が 27.9%、「8時間以上9時間未満」が 24.1%である。平均値は8時間 16 分である。

【学年別】

小3、小5では「9時間以上 10 時間未満」が、中2では「8時間以上9時間未満」が、17 歳では「7時間以上8時間未満」が、それぞれ最も高い。睡眠時間の平均値は、学年が上がると短くなる傾向があり、小3では9時間 12 分で、17 歳では6時間 57 分である。

経年比較でみると、17 歳で「6時間以上7時間未満」は、5.4 ポイント減少している。

図表 1-186 睡眠時間 ＜単一回答＞



※睡眠時間は、「A 起きる時間」の「午前5時～5時 29 分」～「午前8時 30 分～8時 59 分」と、「B 寝る時間」の「午後8時～8時 29 分」～「午前0時 30 分～0時 59 分」の双方のいずれにも回答がある子供について、それぞれ選択

肢の中間値を設定し、差分をとって算出した。

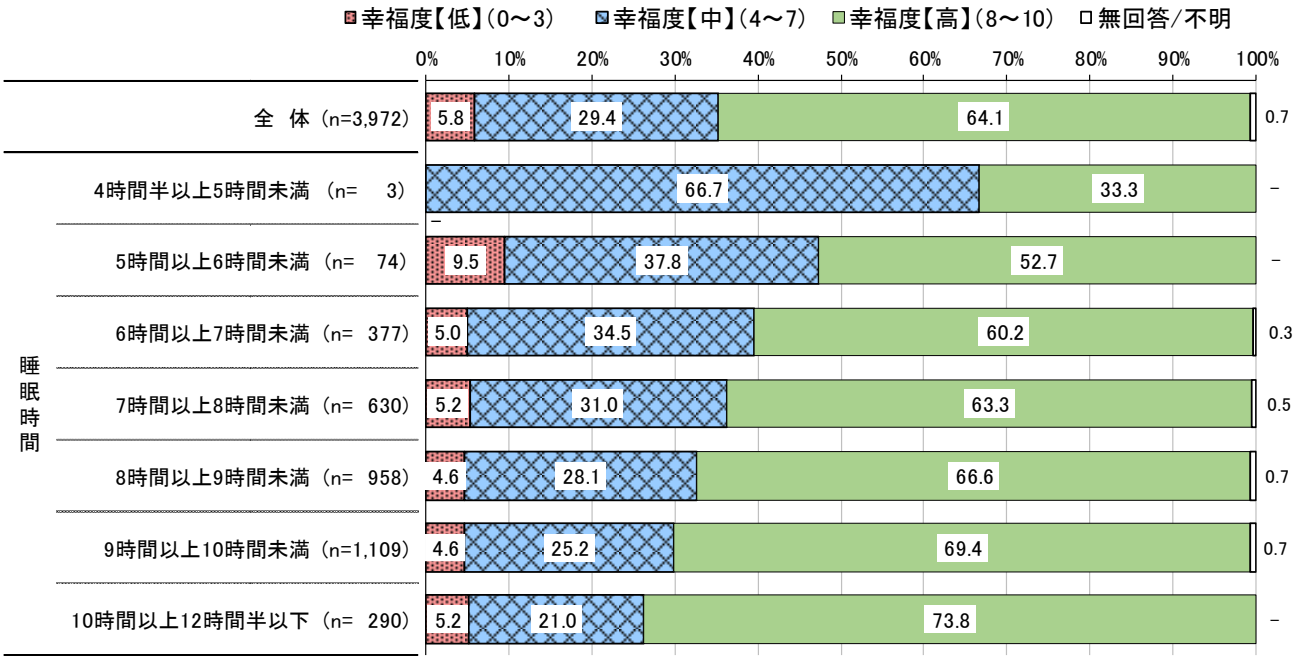
（例）B 寝る時間：午後9時～9時 29 分＝21 時 15 分
　　A 起きる時間：午前6時～6時 29 分＝6時 15 分　→睡眠時間9時間

なお、時間の幅が他の選択肢に比べて大きく中間値を設定できないため、「A 起きる時間」の「午前0時～4時 59 分」「午前9時～午前 11 時 59 分」～「起きる時間は決まっていない」と、「B 寝る時間」の「午後0時(正午)～午後7時 59 分」「午前1時～午前 11 時 59 分」「寝る時間は決まっていない」のいずれかを選択した子供は、「算出不可」としている。

【子供の幸福度】

「睡眠時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「10 時間以上 12 時間半以下」である子供の 73.8%が幸福度【高】(8～10)である。「睡眠時間」が長いほど、幸福度【高】(8～10)の割合が高い傾向にある。

図表 1-187 子供の幸福度(「睡眠時間」の回答別)



（子供：共通）問 44. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

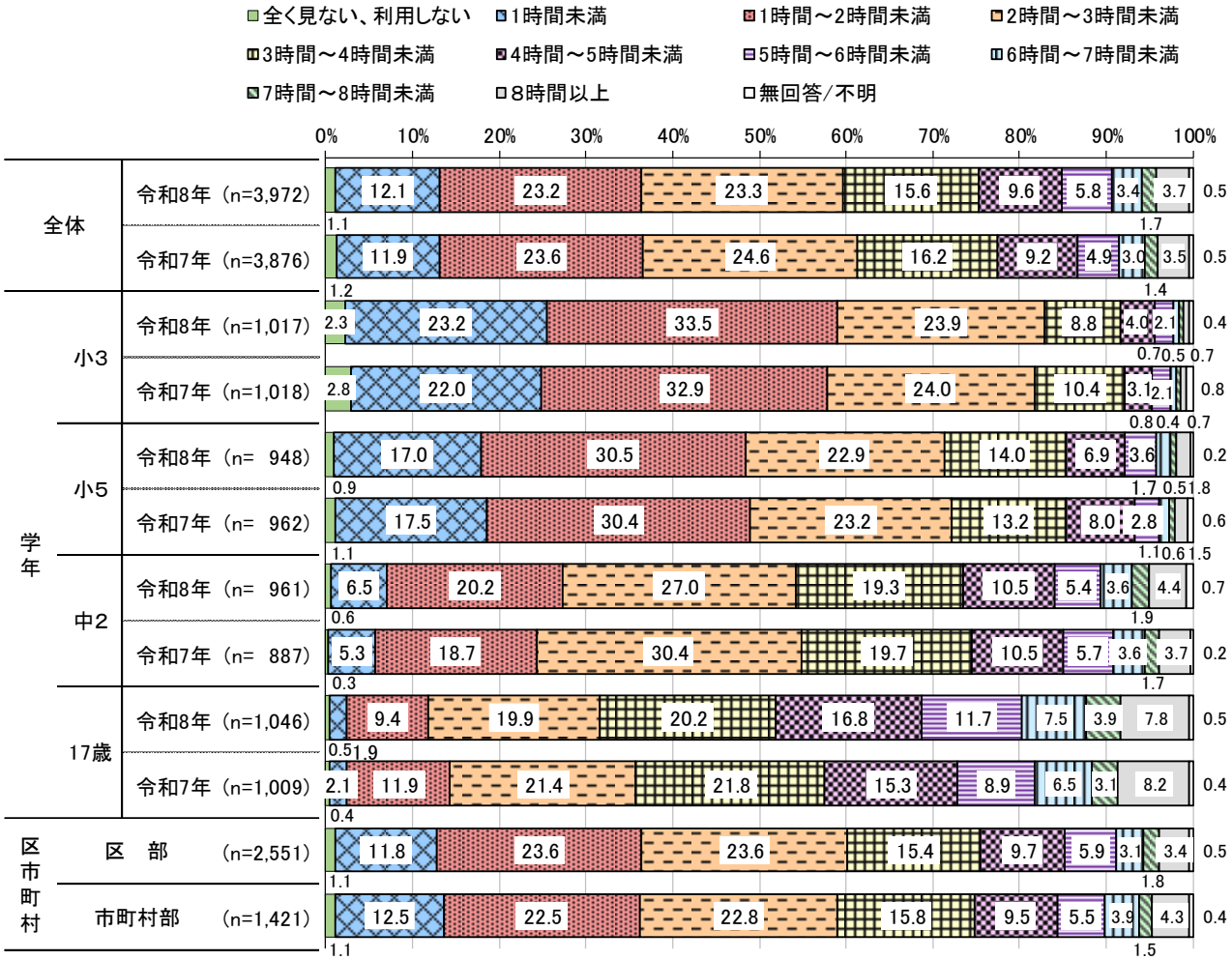
【全体】

「2時間～3時間未満」が 23.3%で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が 23.2%、「3時間～4時間未満」が 15.6%である。

【学年別】

小3、小5では「1時間～2時間未満」がそれぞれ 33.5%、30.5%で最も高い。中2では「2時間～3時間未満」が 27.0%、17 歳では「3時間～4時間未満」が 20.2%でそれぞれ最も高い。

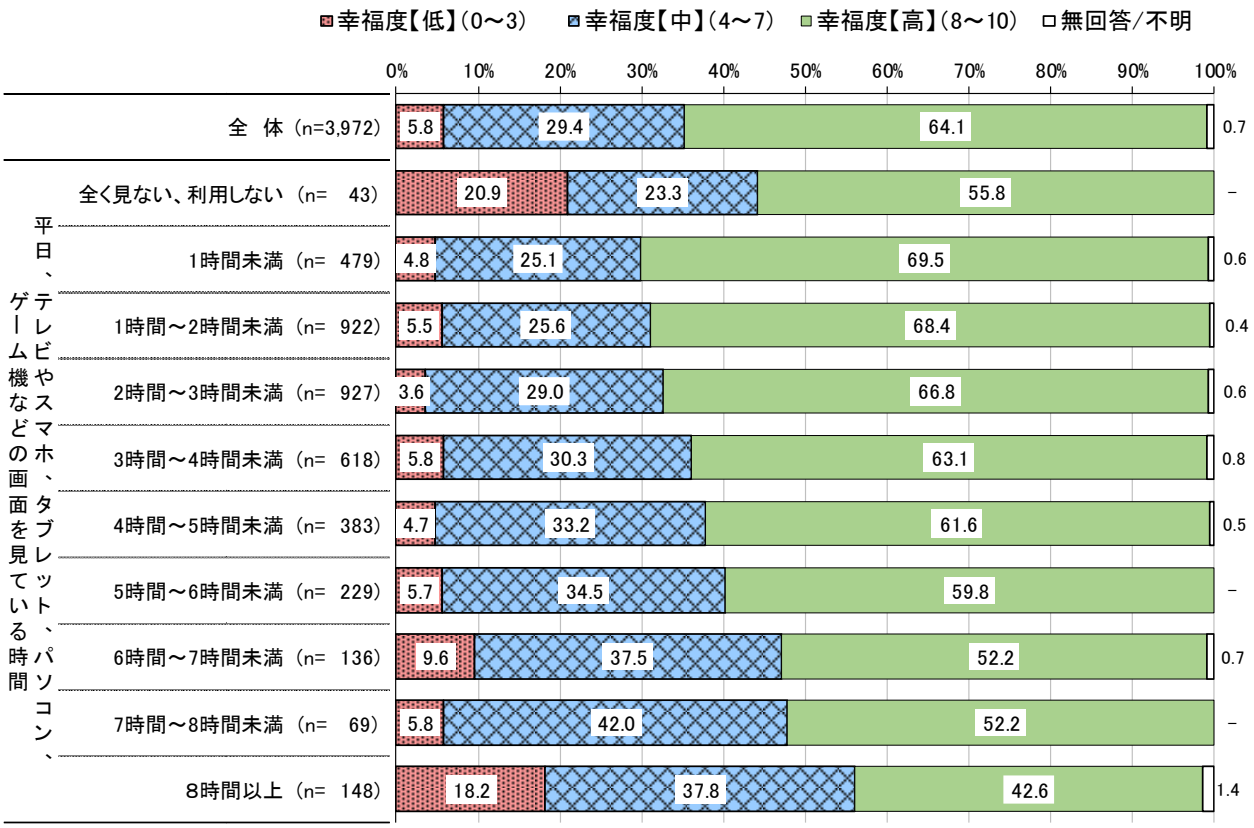
図表 1-188 平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「1時間未満」と回答した子供の 69.5%が幸福度【高】(8～10)で、「8時間以上」と回答した子供の 42.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-189 子供の幸福度(「平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別)



（子供：共通）問 45. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。

（１つだけ）

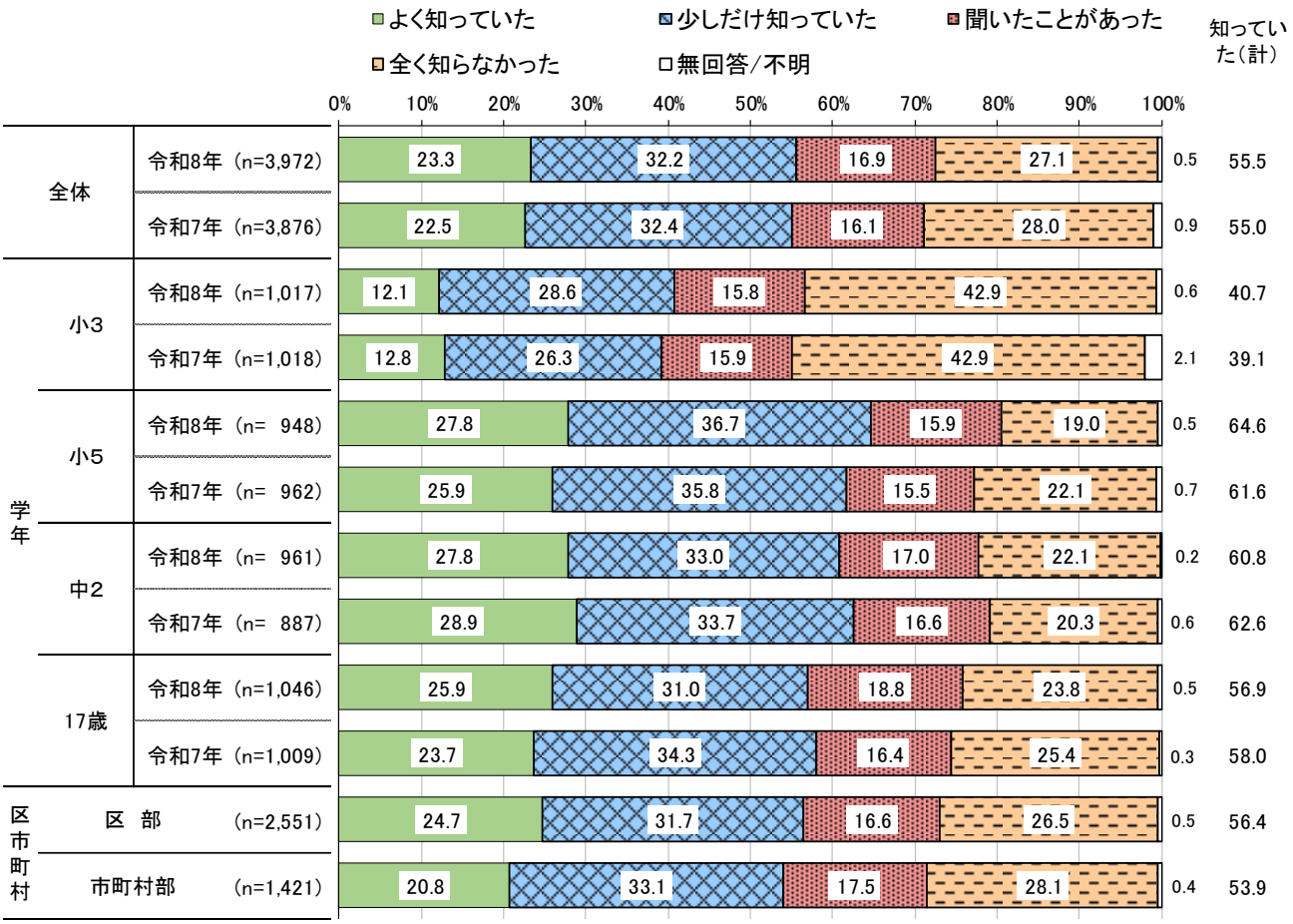
【全体】

子供が権利の主体であることを「知っていた」とする子供は 55.5%（「よく知っていた」が 23.3%＋「少しだけ知っていた」が 32.2%）である。

【学年別】

子供が権利の主体であることを「知っていた」とする子供（「よく知っていた」と「少しだけ知っていた」の割合）は、小5で最も高く、64.6%である。

図表 1-190 子供が権利の主体であることの認知度 ＜単一回答＞

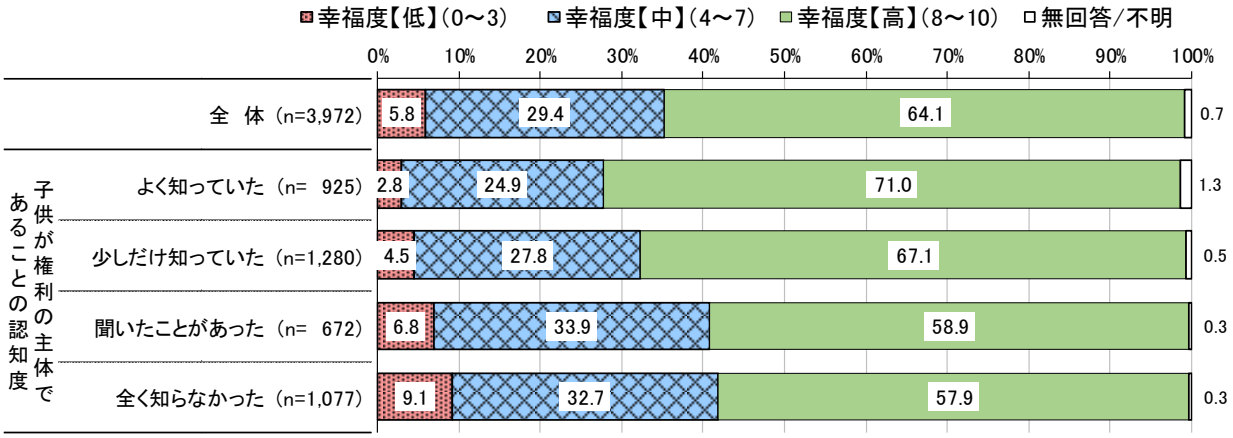


※知っていた（計）は「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「よく知っていた」と回答した子供の71.0%が幸福度【高】(8～10)で、「全く知らなかった」と回答した子供の57.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-191　子供の幸福度(「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別)



（子供：共通）問 46. 東京都では、子供の権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように「東京都こども基本条例」を定めています。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。（1つだけ）

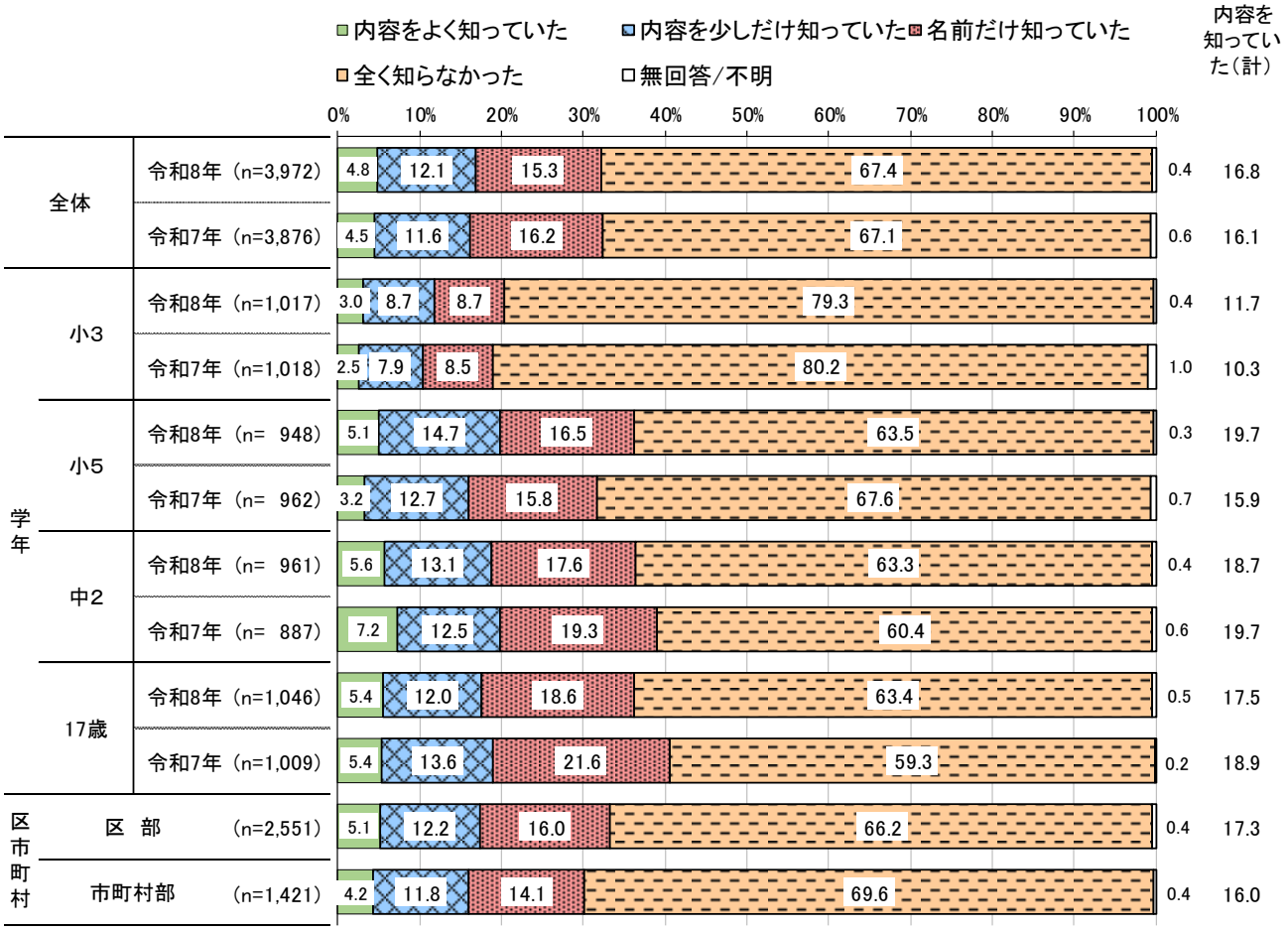
【全体】

「東京都こども基本条例」の「内容を知っていた」とする子供は 16.8%（「内容をよく知っていた」が 4.8%＋「内容を少しだけ知っていた」が 12.1%）である。なお、「全く知らなかった」が 67.4%であり、「名前だけ知っていた」が 15.3%である。

【学年別】

「東京都こども基本条例」の「内容を知っていた」とする子供（「内容をよく知っていた」と「内容を少しだけ知っていた」の割合）は、小5で最も高く、19.7%である。

図表 1-192　東京都こども基本条例の認知度　＜単一回答＞

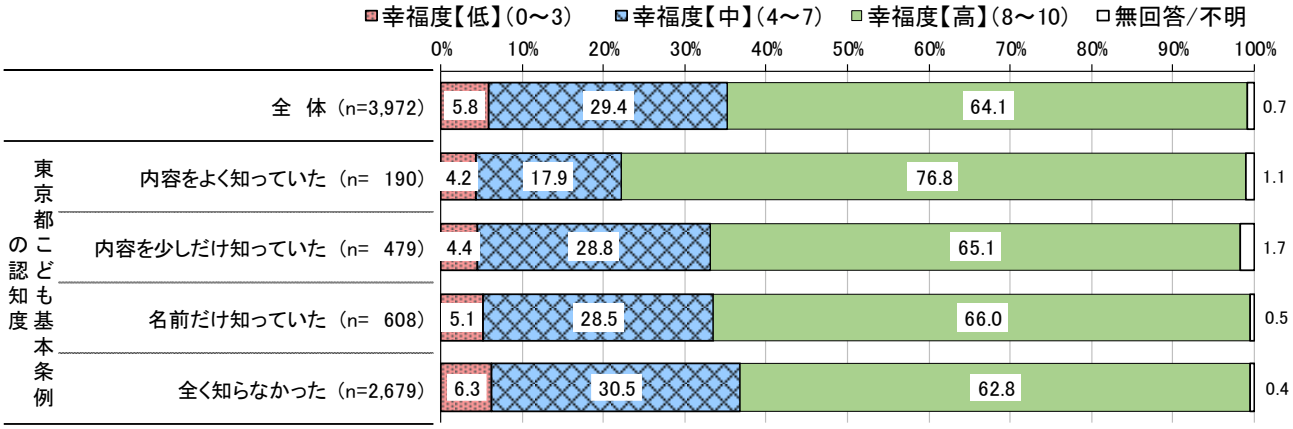


※内容を知っていた（計）は「内容をよく知っていた」及び「内容を少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「東京都こども基本条例の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「内容をよく知っていた」と回答した子供の76.8%が幸福度【高】(8～10)で、「全く知らなかった」と回答した子供の62.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-193　子供の幸福度(「東京都こども基本条例の認知度」の回答別)



（子供：共通）問 47. あなたは、生成 AI（※）を使用していますか。（1つだけ）
※画像や音声、文章などを学習して、実際に存在するものに似た新しいデータをつくりだす人工知能のこと。
ChatGPT や DeepL 翻訳など。

【全体】

生成 AI を「使用している」とする子供は 60.8%（「よく使用している」が 22.4%＋「ときどき使用している」が 38.5%）である。

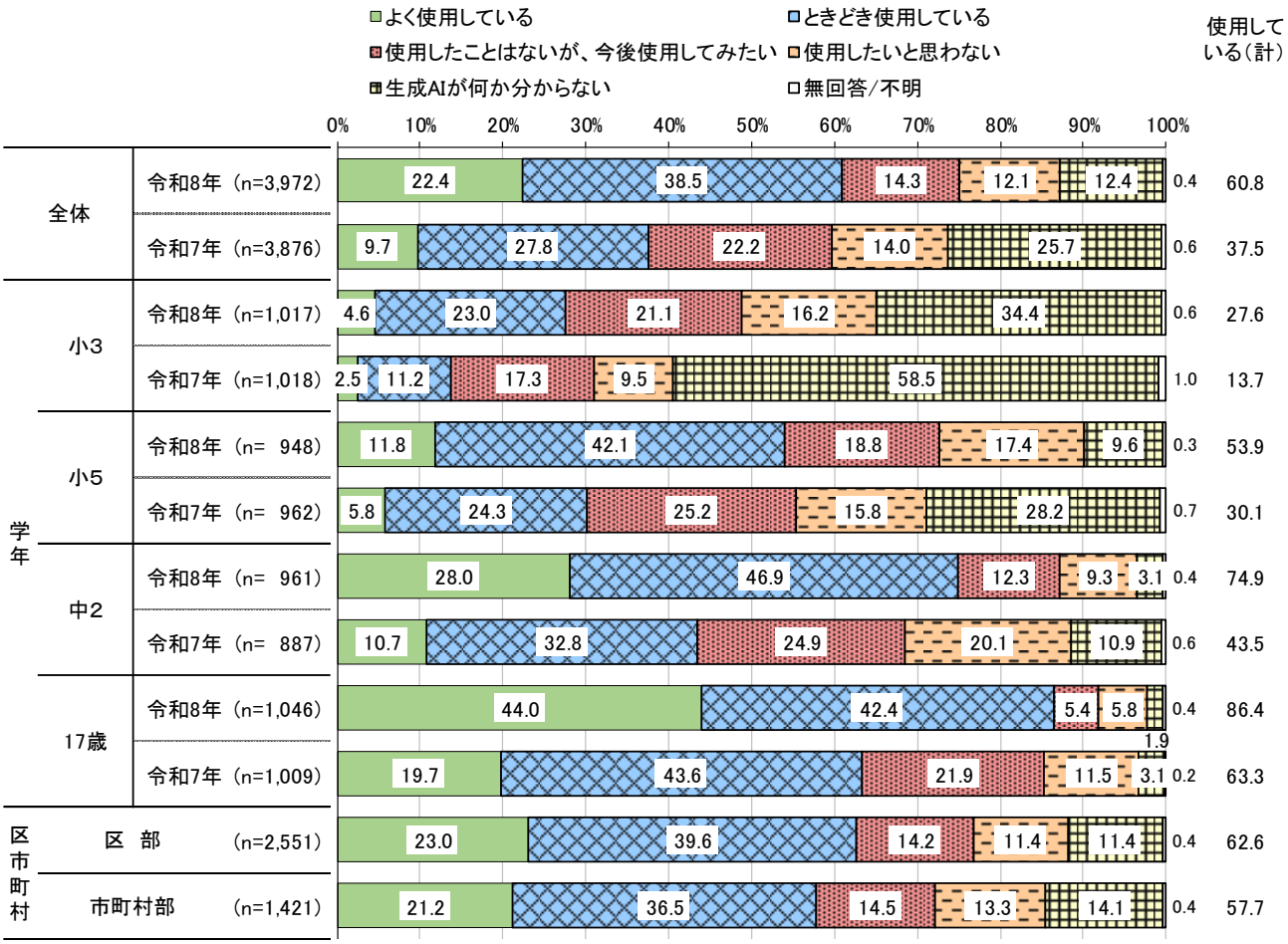
経年比較でみると、生成 AI を「使用している」とする子供は、23.3 ポイント増加している。

【学年別】

生成 AI を「使用している」とする子供（「よく使用している」と「ときどき使用している」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。

経年比較でみると、生成 AI を「使用している」とする子供は、いずれの学年でも増加しており、小3で 13.9 ポイント、小5で 23.8 ポイント、中2で 31.4 ポイント、17 歳では 23.1 ポイント増加している。

図表 1-194　生成AIの使用経験　＜単一回答＞

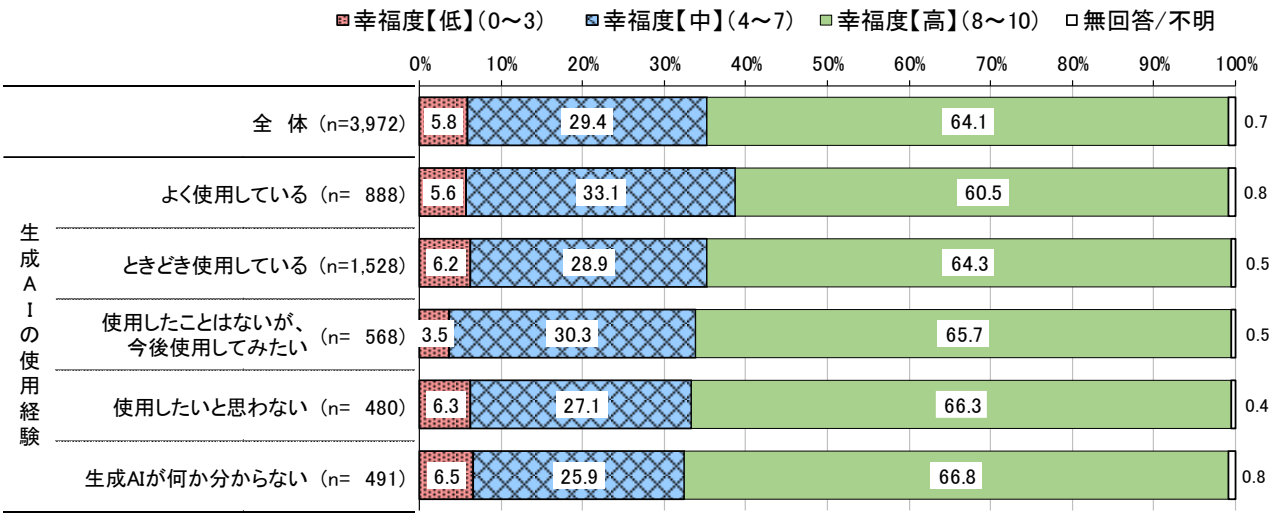


※使用している（計）は「よく使用している」及び「ときどき使用している」の割合。

【子供の幸福度】

「生成AIの使用経験」の回答別に子供の幸福度をみると、「よく使用している」と回答した子供の 60.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 1-195　子供の幸福度(「生成AIの使用経験」の回答別)



2. 保護者編

（保護者：共通）問1. あなたと、お子様の関係は次のうちどれですか。（1 つだけ）

【全体】

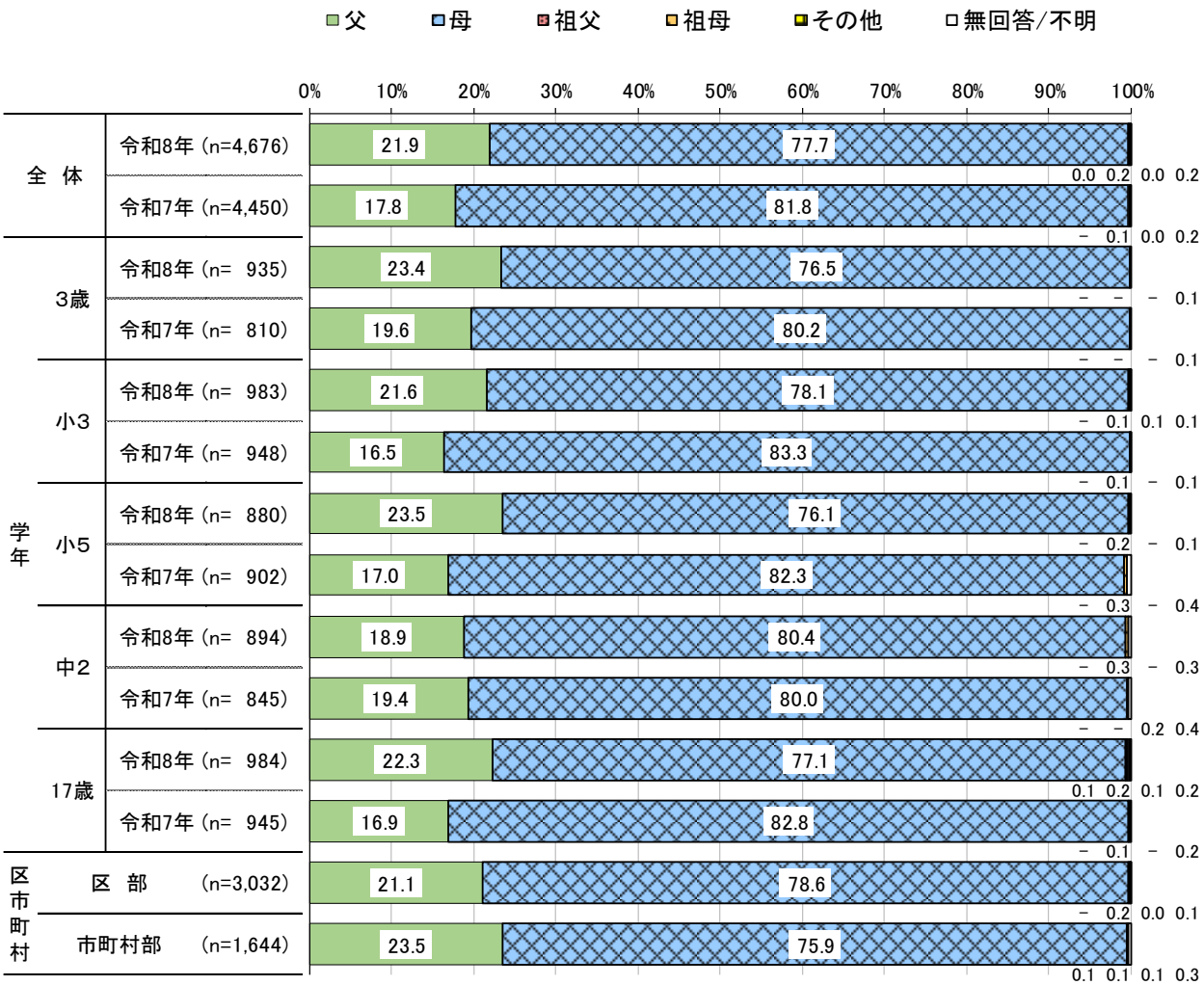
「母」が 77.7%で最も高く、次いで「父」が 21.9%である。

【学年別】

いずれの学年でも「母」が最も高い。

経年比較でみると、小3、小5、17 歳で「父」が、それぞれ 5.1 ポイント、6.5 ポイント、5.4 ポイント増加している。

図表 2-1 あなたと、お子様の関係 ＜単一回答＞



（保護者：共通）問2（1）．お子様と同居している方を教えてください。（いくつでも）
選択肢は調査対象のお子様から見た続柄で回答してください。

【全体】

「母」が 89.8%で最も高く、次いで「父」が 88.0%、「きょうだい」が 71.6%と続く。

【学年別】

3歳では「父」が最も高く、小3、小5、中2、17 歳では「母」が最も高い。3歳では「きょうだい」が 61.8%で、他の学年より低い。

経年比較でみると、3歳で「きょうだい」が 6.6 ポイント増加している。

【区市町村別】

市町村部は「きょうだい」が 76.8%で、区部に比べて 8.1 ポイント高い。

図表 2-2 お子様と同居している方 ＜複数回答＞

(%)

			n	父	母	祖父	祖母	きょうだい	その他	無回答/不明
全体		令和8年	4,676	88.0	89.8	3.7	6.3	71.6	2.1	0.7
		令和7年	4,450	88.3	87.9	4.1	7.0	70.8	1.4	0.6
学年	3歳	令和8年	935	93.0	89.0	2.6	3.7	61.8	1.4	0.7
		令和7年	810	93.3	87.3	2.0	4.0	55.2	1.1	0.4
	小3	令和8年	983	89.6	90.2	4.5	7.5	72.6	1.7	0.5
		令和7年	948	90.8	89.3	4.0	7.3	73.1	1.3	0.7
	小5	令和8年	880	88.3	90.7	3.1	6.7	75.5	2.5	0.7
		令和7年	902	88.7	89.2	5.4	7.6	74.5	2.1	0.7
	中2	令和8年	894	84.2	88.9	4.1	7.4	74.5	1.8	0.4
		令和7年	845	86.7	86.5	5.4	8.8	74.4	1.4	0.7
	17歳	令和8年	984	84.9	90.2	4.3	6.2	73.7	3.3	1.0
		令和7年	945	82.6	87.0	3.4	7.0	74.9	1.2	0.4
区市町村	区部		3,032	88.1	89.5	3.5	6.4	68.7	2.2	0.6
	市町村部		1,644	88.0	90.5	4.2	6.2	76.8	2.0	0.9

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【自由記述】

その他（お子様と同居している方）
おじ （保護者・3歳）
叔母 （保護者・3歳）
曾祖母 （保護者・3歳）
父母の友人 （保護者・3歳）
叔父 （保護者・小3）
伯母 （保護者・小3）
叔母 （保護者・小3）
いとこ1人 （保護者・小3）
曾祖母 （保護者・小3）
叔父・叔母 （保護者・小5）
伯父 （保護者・小5）
伯母 （保護者・小5）
いとこ （保護者・小5）
曽祖父母、叔父 （保護者・小5）
おじ （保護者・中2）
祖母の妹 （保護者・中2）
母のパートナー （保護者・中2）
伯父1人（保護者・17 歳）
伯母（保護者・17 歳）
叔母（保護者・17 歳）
曽祖母（保護者・17 歳）
ルームシェア3人（保護者・17 歳）
大叔父、大叔母（保護者・17 歳）
寮生（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問2（1）．また、お子様のきょうだいが同居している場合は、その人数を選択肢5のカッコ内に数字で記入してください。

【全体】

「1人」が 70.3％で最も高く、次いで「2人」が 23.2％、「3人」が 4.4％で、平均値は 1.37 人である。

【学年別】

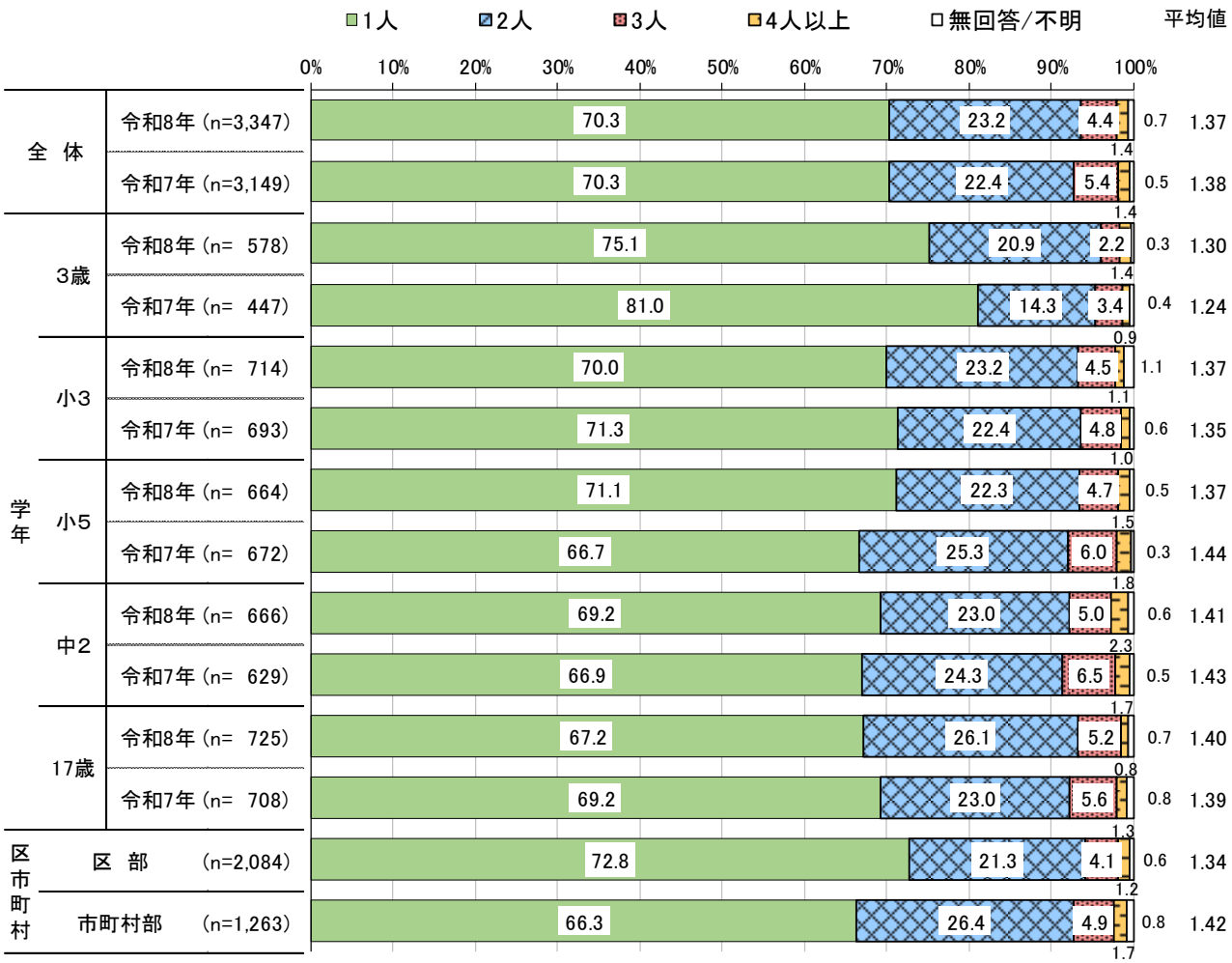
いずれの学年でも「1人」が最も高い。「1人」は、3歳が 75.1％で最も高い。平均値は、中2が 1.41 人で最も高く、3歳が 1.30 人で最も低い。

経年比較でみると、3歳で「2人」が 6.6 ポイント増加している。

【区市町村別】

区部は「1人」が 72.8％で、市町村部に比べて 6.5 ポイント高い。市町村部は「2人」が 26.4％で、区部に比べて 5.1 ポイント高い。

図表 2-3 同居しているきょうだいの人数 ＜数値回答＞



（保護者：共通）問2（2）．お子様と同居している方は何人ですか。お子様とあなた自身を含めた合計の人数をカッコ内に数字で記入してください。

【全体】

「4人」が 45.3%で最も高く、次いで「3人」が 24.4%、「5人」が 16.5%で、平均値は 3.97 人である。

【学年別】

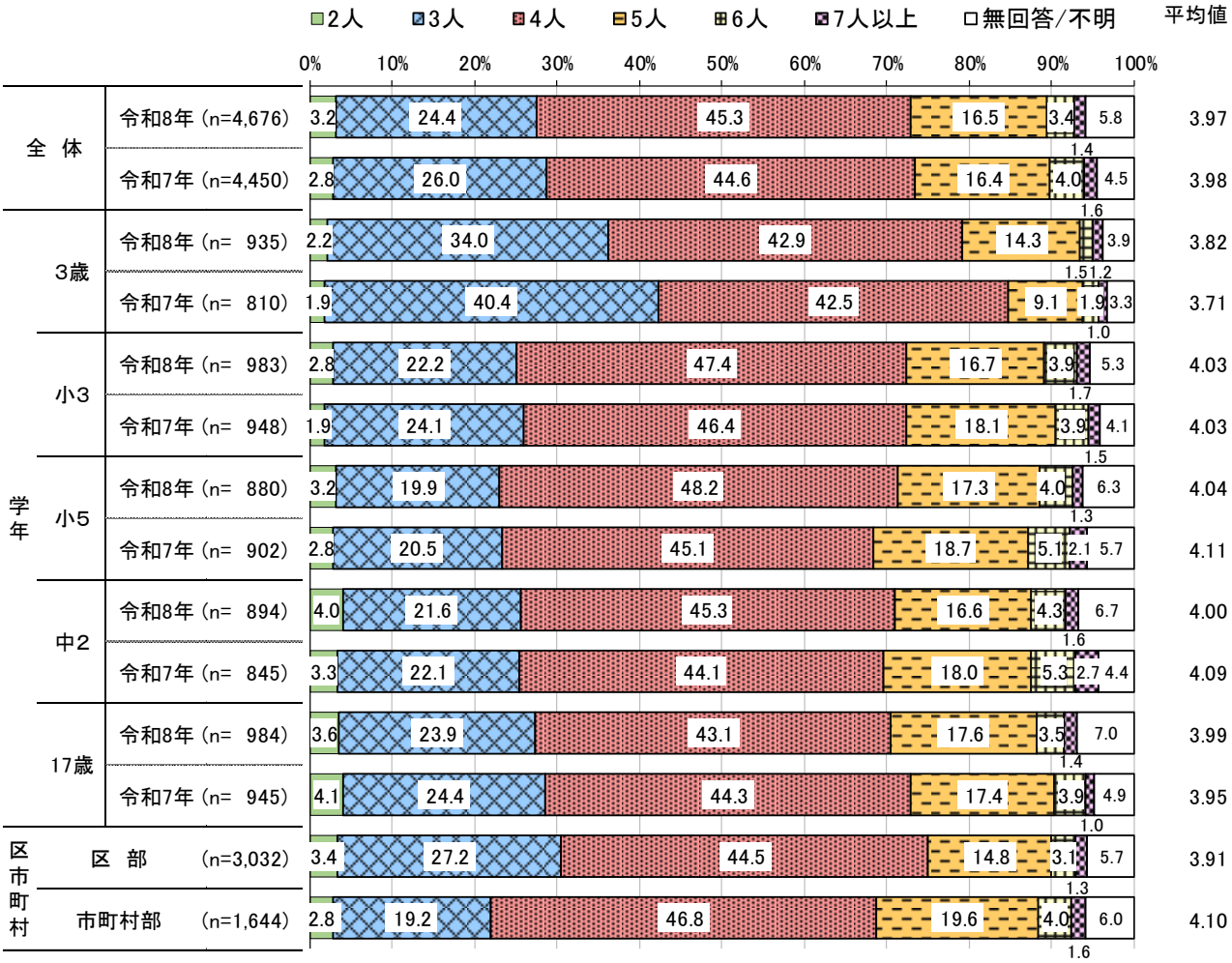
いずれの学年でも「4人」が最も高い。3歳では「3人」が 34.0%で、他の学年より高い。

経年比較でみると、3歳で「3人」が 6.4 ポイント減少、「5人」が 5.2 ポイント増加している。

【区市町村別】

区部は「3人」が 27.2%で、市町村部に比べて 8.0 ポイント高い。

図表 2-4 お子様と同居している人数 ＜数値回答＞



（保護者：共通）問3．あなたとお子様が現在住んでいるお住まいを教えてください。（1 つだけ）

【全体】

「持ち家・一戸建」が 45.3％で最も高く、次いで「持ち家・集合住宅」「賃貸・集合住宅」が 24.6％である。

【学年別】

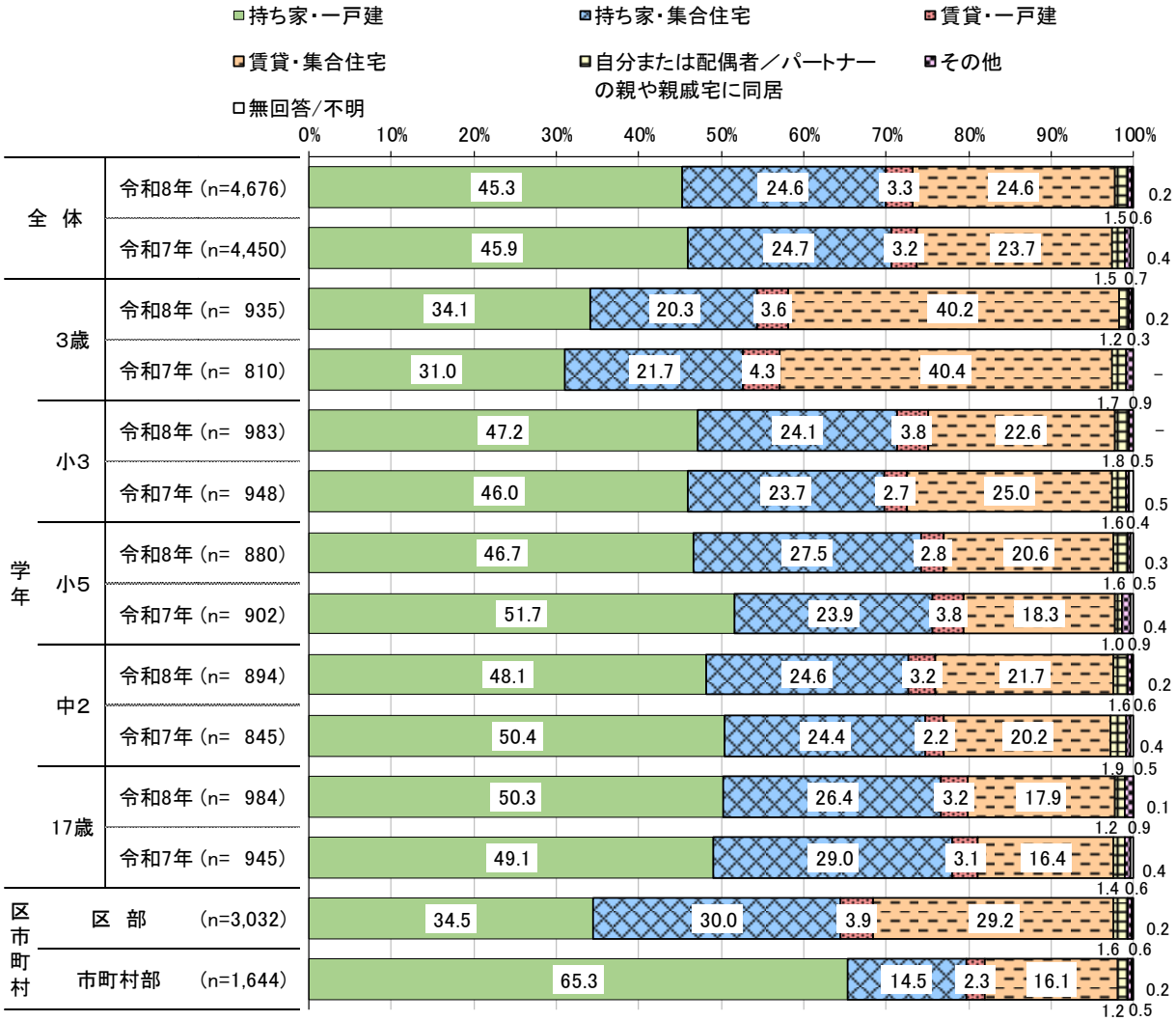
3歳では「賃貸・集合住宅」が最も高く、小3、小5、中2、17 歳では「持ち家・一戸建」が最も高い。

経年比較でみると、小5で「持ち家・一戸建」が 5.0 ポイント減少している。

【区市町村別】

市町村部は「持ち家・一戸建」が 65.3％で、区部に比べて 30.8 ポイント高い。区部は「持ち家・集合住宅」が 30.0％で、市町村部に比べて 15.5 ポイント高く、「賃貸・集合住宅」が 29.2％で、市町村部に比べて 13.1 ポイント高い。

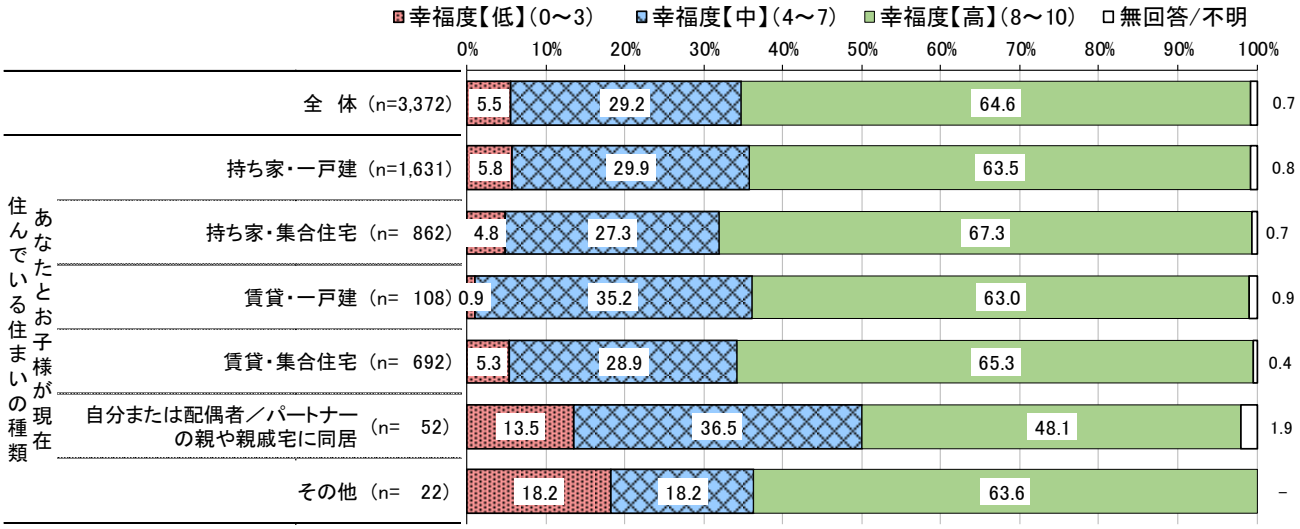
図表 2-5 あなたとお子様が現在住んでいるお住まいの種類 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたとお子様が現在住んでいる住まいの種類」の回答別に子供の幸福度をみると、「持ち家・集合住宅」と回答した保護者の子供の 67.3%が幸福度【高】(8～10)で、「自分または配偶者／パートナーの親や親戚宅に同居」と回答した保護者の子供の 48.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-6 子供の幸福度(「あなたとお子様が現在住んでいる住まいの種類」の回答別)



【自由記述】

その他（現在住んでいるお住まいの種類）
社宅（保護者・3歳）
配偶者の両親が所有している一戸建に家賃を支払うかたちで住んでいる（保護者・小3）
親（祖父）の持ち家、集合住宅（保護者・小3）
二世帯住宅（保護者・小3）
官舎（保護者・小3）
社宅マンション（保護者・小3）
社宅（保護者・小5）
曽祖母の家と母の実家の両方（保護者・小5）
親の持ち家で親とは別居　（保護者・中2）
完全分離型二世帯住宅　（保護者・中2）
社宅　（保護者・中2）
親戚の持ち家（保護者・17 歳）
親の持ち家（保護者・17 歳）
持ち家二世帯（保護者・17 歳）
官舎（保護者・17 歳）
社宅（保護者・17 歳）
母の職場の寮（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問4. 現在のお住まいに、お子様の部屋はありますか。（1つだけ）

【全体】

「専用の子供部屋（個室）がある」が 47.3％で最も高く、次いで「子供部屋はない」が 27.7％、「きょうだいと共有の子供部屋がある」が 24.8％である。

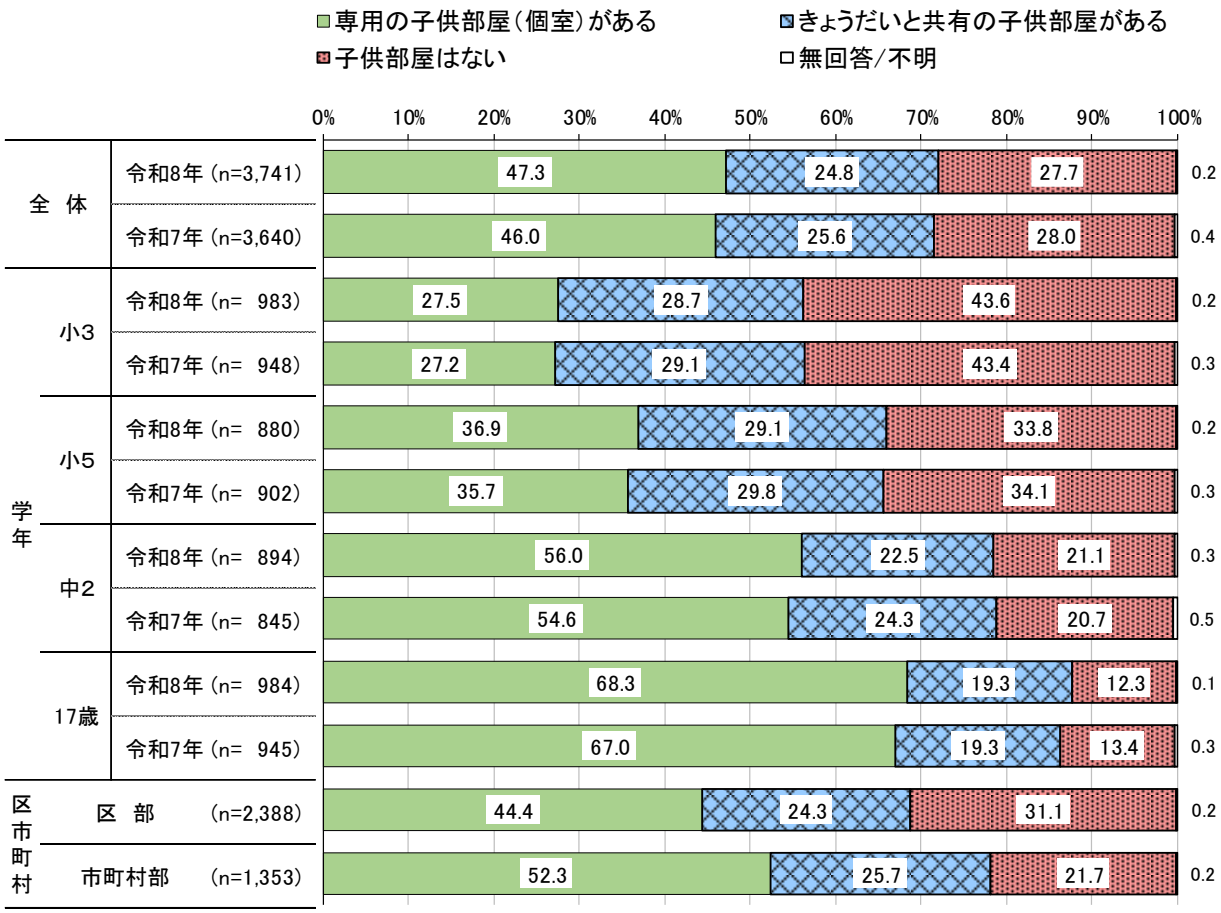
【学年別】

小3では「子供部屋はない」、小5、中2、17 歳では「専用の子供部屋（個室）がある」が最も高い。「専用の子供部屋（個室）がある」は、学年が上がると増加傾向で、小3では 27.5％、17 歳では 68.3％である。

【区市町村別】

市町村部は「専用の子供部屋（個室）がある」が 52.3％で、区部に比べて 7.9 ポイント高い。区部は「子供部屋はない」が 31.1％で、市町村部に比べて 9.4 ポイント高い。

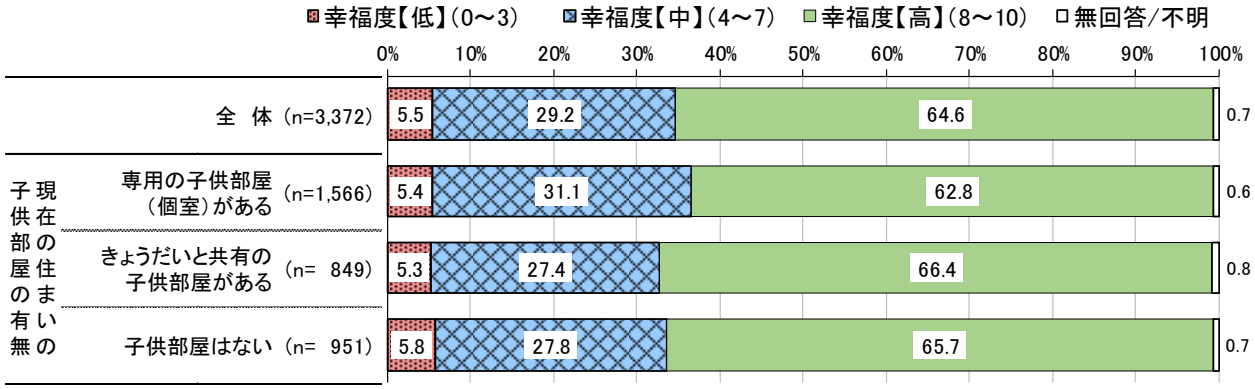
図表 2-7 現在の住まいの子供部屋の有無 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「現在の住まいの子供部屋の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、「きょうだいと共有の子供部屋がある」と回答した保護者の子供の 66.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-8 子供の幸福度(「現在の住まいの子供部屋の有無」の回答別)



（保護者：共通）問5．現在、あなたは配偶者／パートナーと同居していますか。（1つだけ）

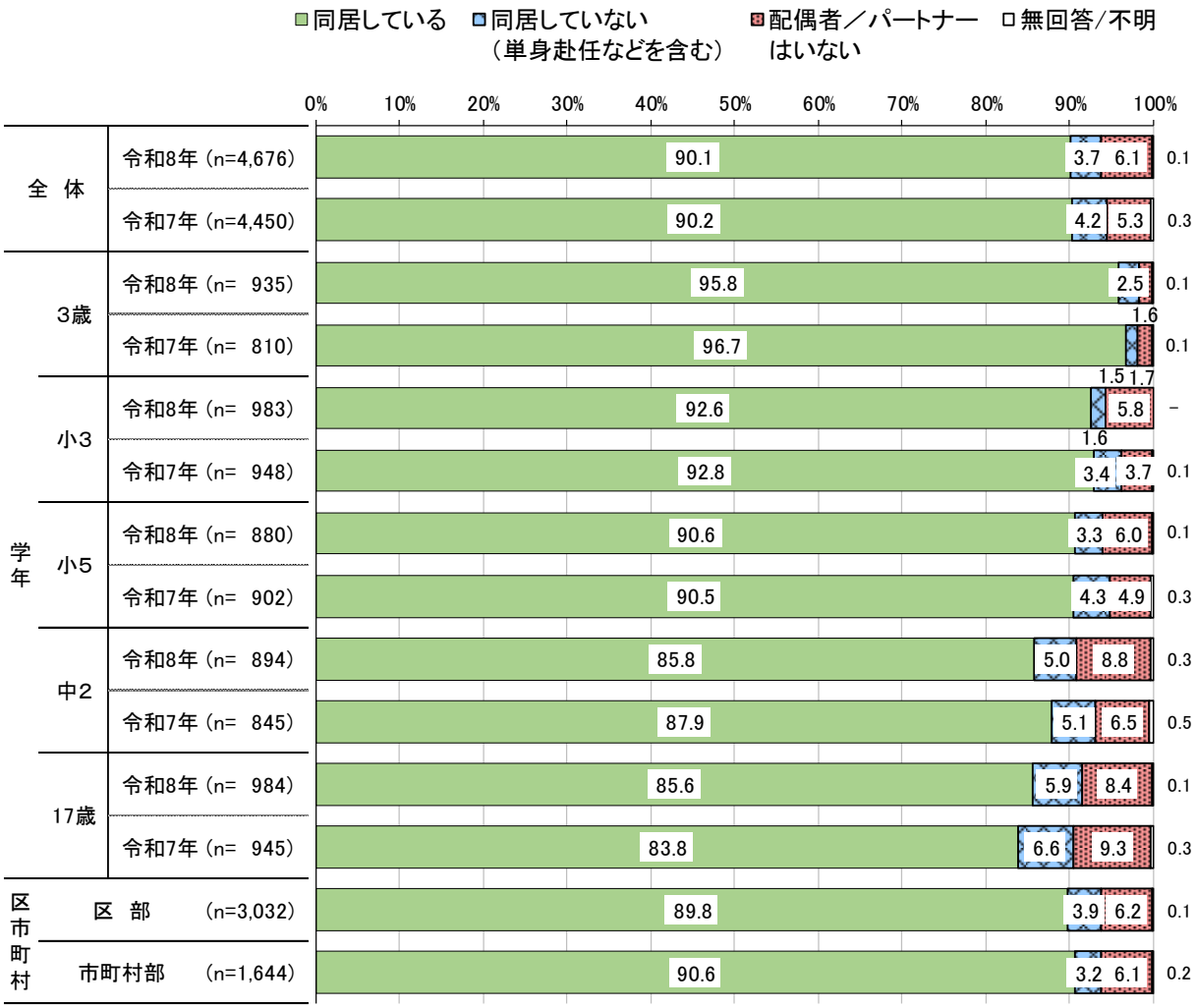
【全体】

「同居している」が 90.1％で最も高く、次いで「配偶者／パートナーはいない」が 6.1％、「同居していない（単身赴任などを含む）」が 3.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「同居している」が最も高い。「同居している」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 95.8％、17 歳では 85.6％である。

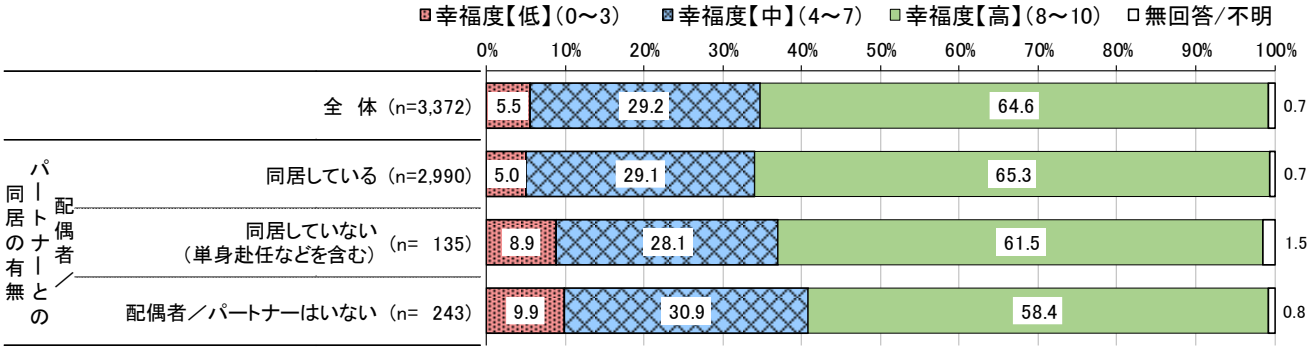
図表 2-9 配偶者／パートナーとの同居の有無 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーとの同居の有無」の回答別に子供の幸福度をみると、「同居している」と回答した保護者の子供の 65.3%が幸福度【高】(8～10)で、「配偶者／パートナーはいない」と回答した保護者の子供の 58.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-10 子供の幸福度(「配偶者／パートナーとの同居の有無」の回答別)



（保護者：共通）問6. あなたの年齢を教えてください。（1つだけ）

【全体】

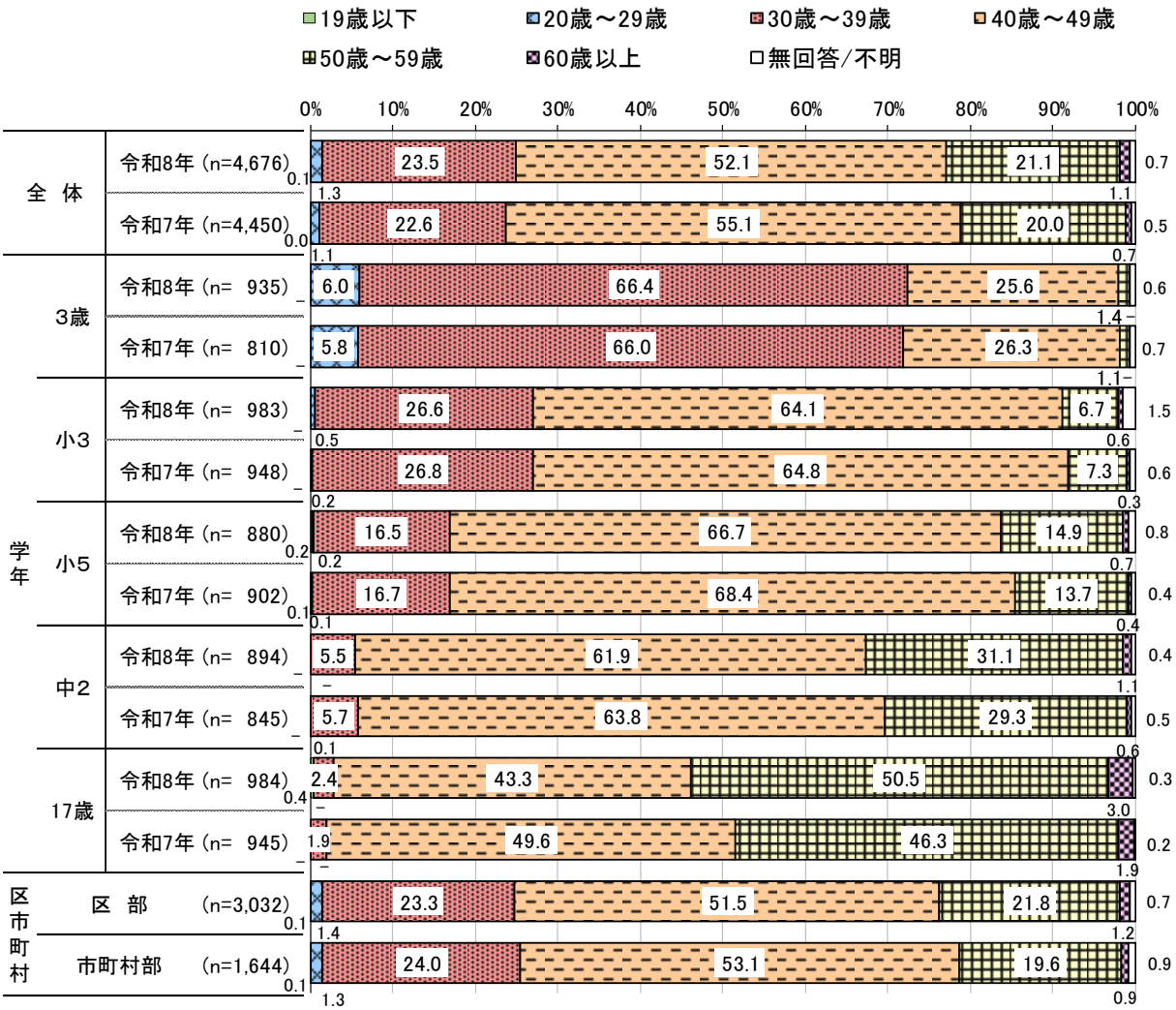
「40 歳～49 歳」が 52.1％で最も高く、次いで「30 歳～39 歳」が 23.5％、「50 歳～59 歳」が 21.1％である。

【学年別】

3歳では「30 歳～39 歳」、小3、小5、中2では「40 歳～49 歳」、17 歳では「50 歳～59 歳」が最も高い。

経年比較でみると、17 歳で「40 歳～49 歳」が 6.3 ポイント減少している。

図表 2-11 あなたの年齢 ＜単一回答＞



（保護者：共通）問7．あなたの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。（1つだけ）
副業・兼業をしている方は、主たる職業を回答してください。

【全体】

「正規の職員・従業員」が 51.8％で最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト」が 20.8％、「主婦（夫）」が 12.9％である。

経年比較でみると、「正規の職員・従業員」が 5.3 ポイント増加している。

【学年別】

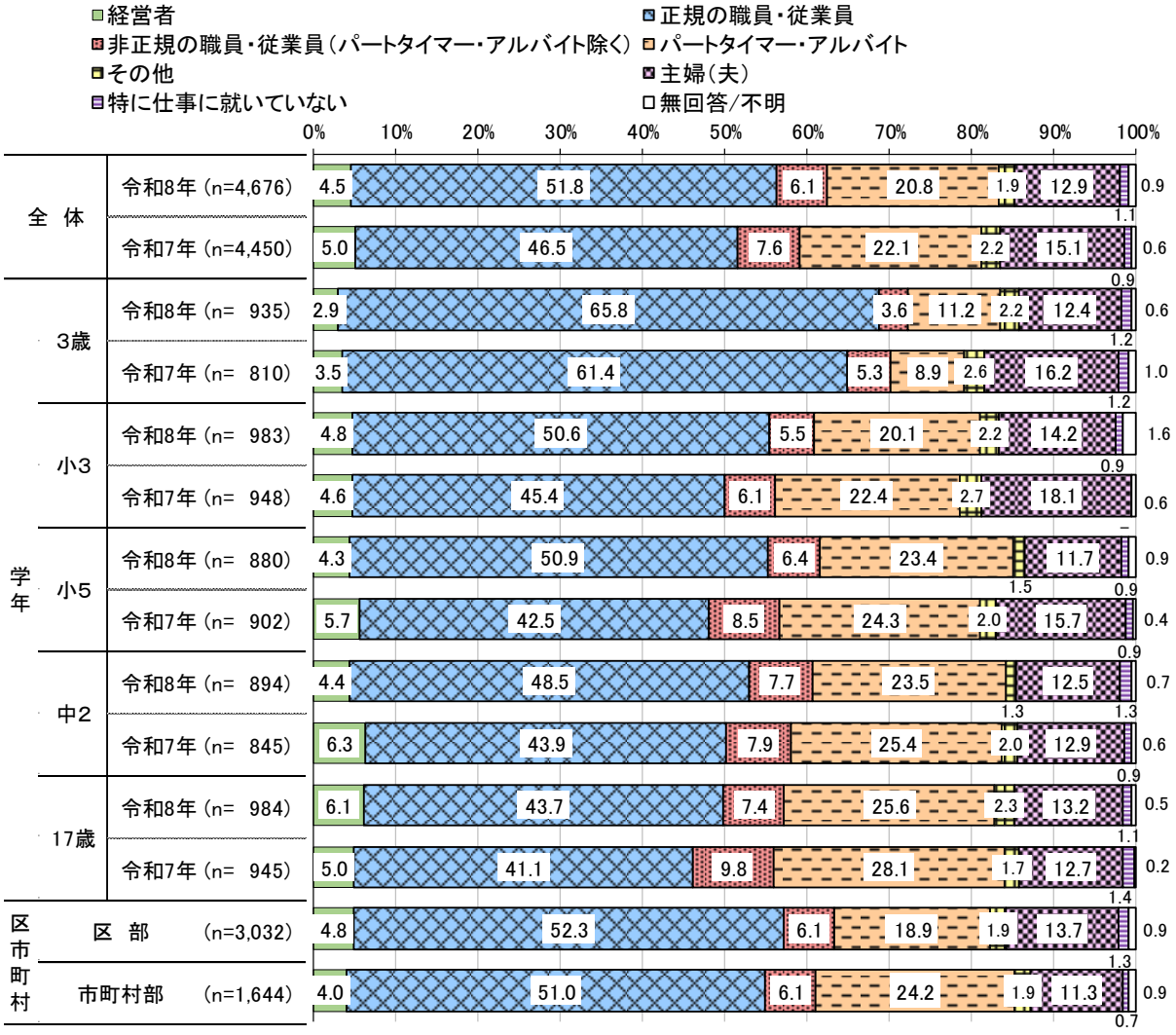
いずれの学年でも「正規の職員・従業員」が最も高いが、3歳が 65.8％で最も高く、17 歳が 43.7％で最も低い。

経年比較でみると、小3、小5で「正規の職員・従業員」が、それぞれ 5.2 ポイント、8.4 ポイント増加している。

【区市町村別】

市町村部は「パートタイマー・アルバイト」が 24.2％で、区部に比べて 5.3 ポイント高い。

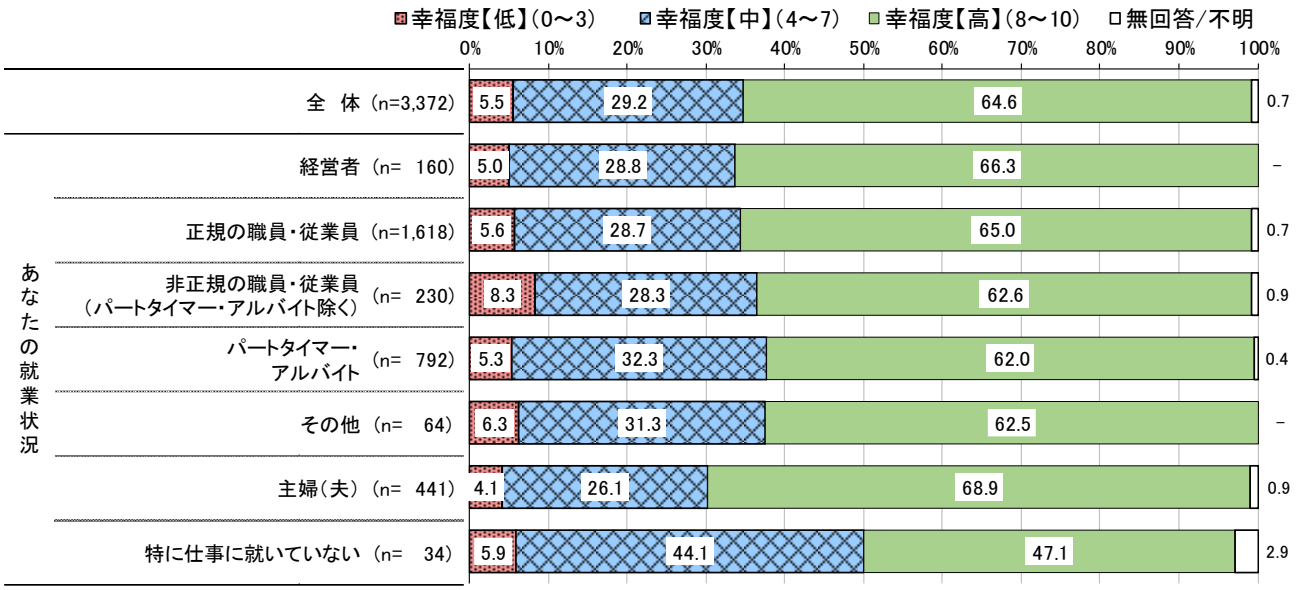
図表 2-12 あなたの就業状況 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの就業状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「主婦（夫）」と回答した保護者の子供の 68.9％が幸福度【高】（8～10）である。

図表 2-13 子供の幸福度（「あなたの就業状況」の回答別）



【自由記述】

その他（あなたの就業状況）
個人事業主（保護者・3歳）
自営業の青色専従者（保護者・3歳）
フリーランス（保護者・3歳）
個人事業主（保護者・小3）
青色専従者（保護者・小3）
フリーランス（保護者・小3）
内職（保護者・小3）
在宅　業務委託（保護者・小3）
学生（保護者・小3）
有償ボランティア（保護者・小3）
個人事業主（保護者・小5）
自営業フルート講師（保護者・小5）
専従者（パート）（保護者・小5）
フリーランス通訳（保護者・小5）
自営業、事務手伝い（保護者・小5）
個人事業主（保護者・中2）
夫の仕事の手伝い（保護者・中2）
自営業の専従者（保護者・中2）
自由業（保護者・中2）
内職（保護者・中2）
学生（保護者・中2）
投資家（保護者・中2）
個人事業主でありつつ、派遣社員（保護者・中2）
教室運営（保護者・17 歳）
個人事業主（保護者・17 歳）
自営業専従者（保護者・17 歳）
フリーランス（保護者・17 歳）
内職（保護者・17 歳）
医師（保護者・17 歳）
フリーランス　業務委託（保護者・17 歳）
ピアノ講師（保護者・17 歳）
自営とパート（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問8.【問7で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】あなたの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（A　1週間あたりの平均就業日数）

【全体】

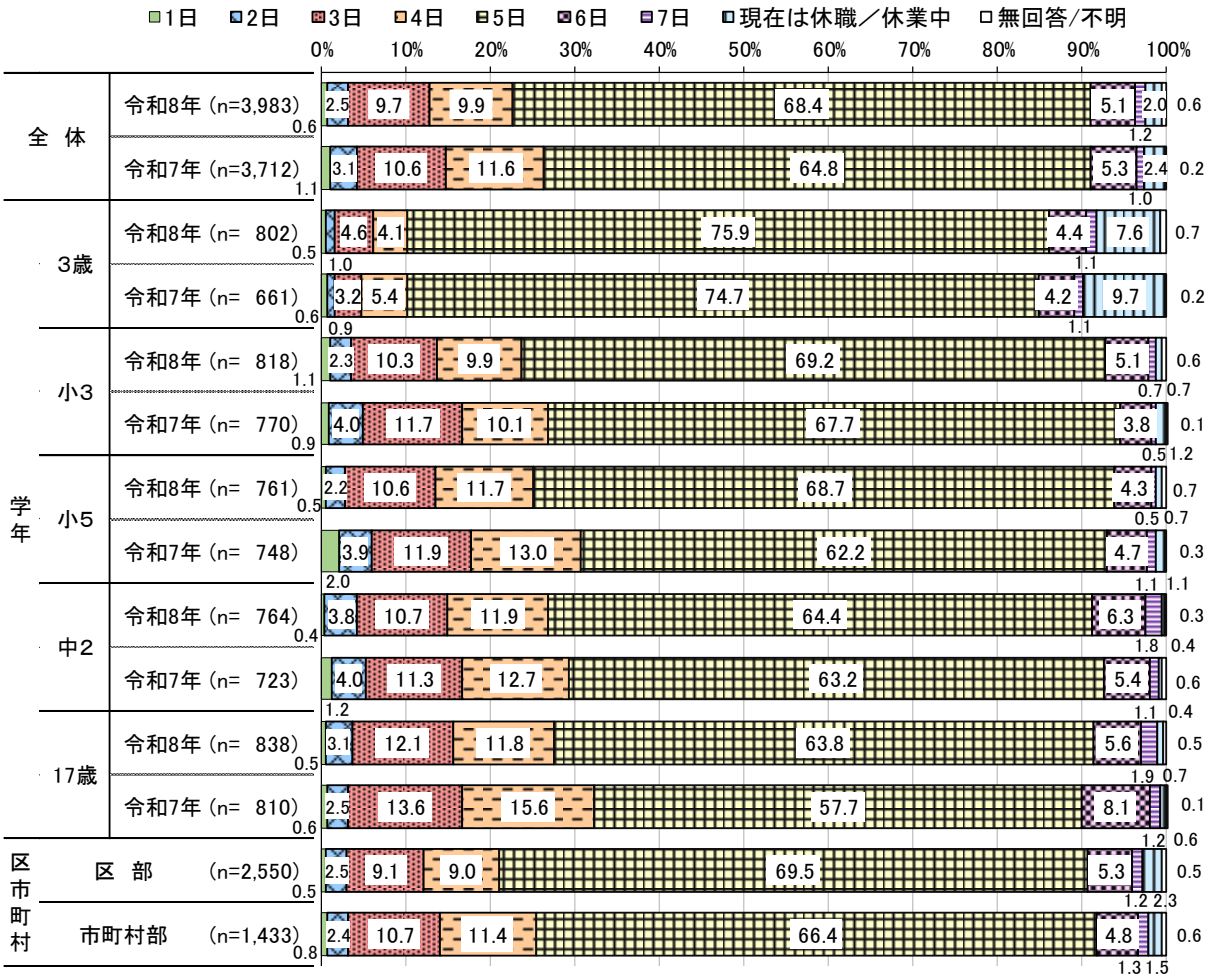
「5日」が 68.4%で最も高く、次いで「4日」が 9.9%、「3日」が 9.7%である。

【学年別】

いずれの学年でも「5日」が最も高い。「5日」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 75.9%、17 歳では 63.8%である。また、3歳では「現在は休職／休業中」が、他の学年よりも高い。

経年比較でみると、小5、17 歳で「5日」が、それぞれ 6.5 ポイント、6.1 ポイント増加している。

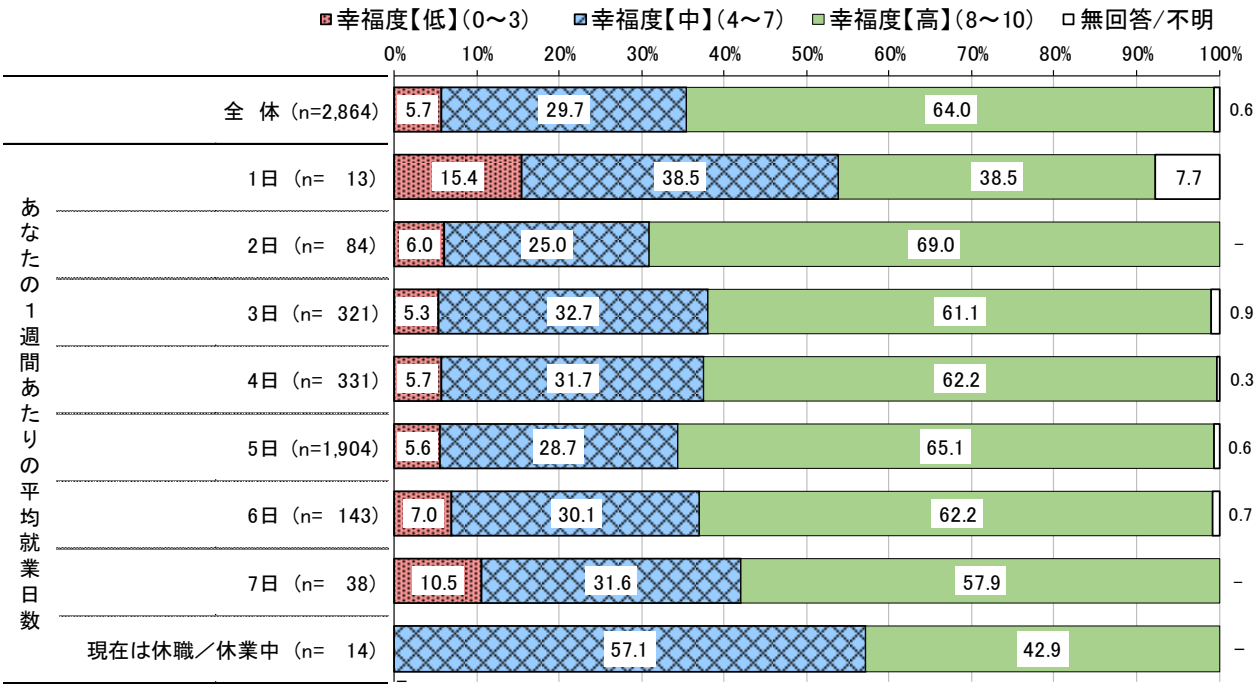
図表 2-14　あなたの1週間あたりの平均就業日数　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1週間あたりの平均就業日数」の回答別に子供の幸福度をみると、「2日」と回答した保護者の子供の69.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-15 子供の幸福度(「あなたの1週間あたりの平均就業日数」の回答別)



（保護者：共通）問8.【問7で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】あなたの1週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「1日」～「7日」と答えた方は、1日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（B　1日あたりの平均就業時間）

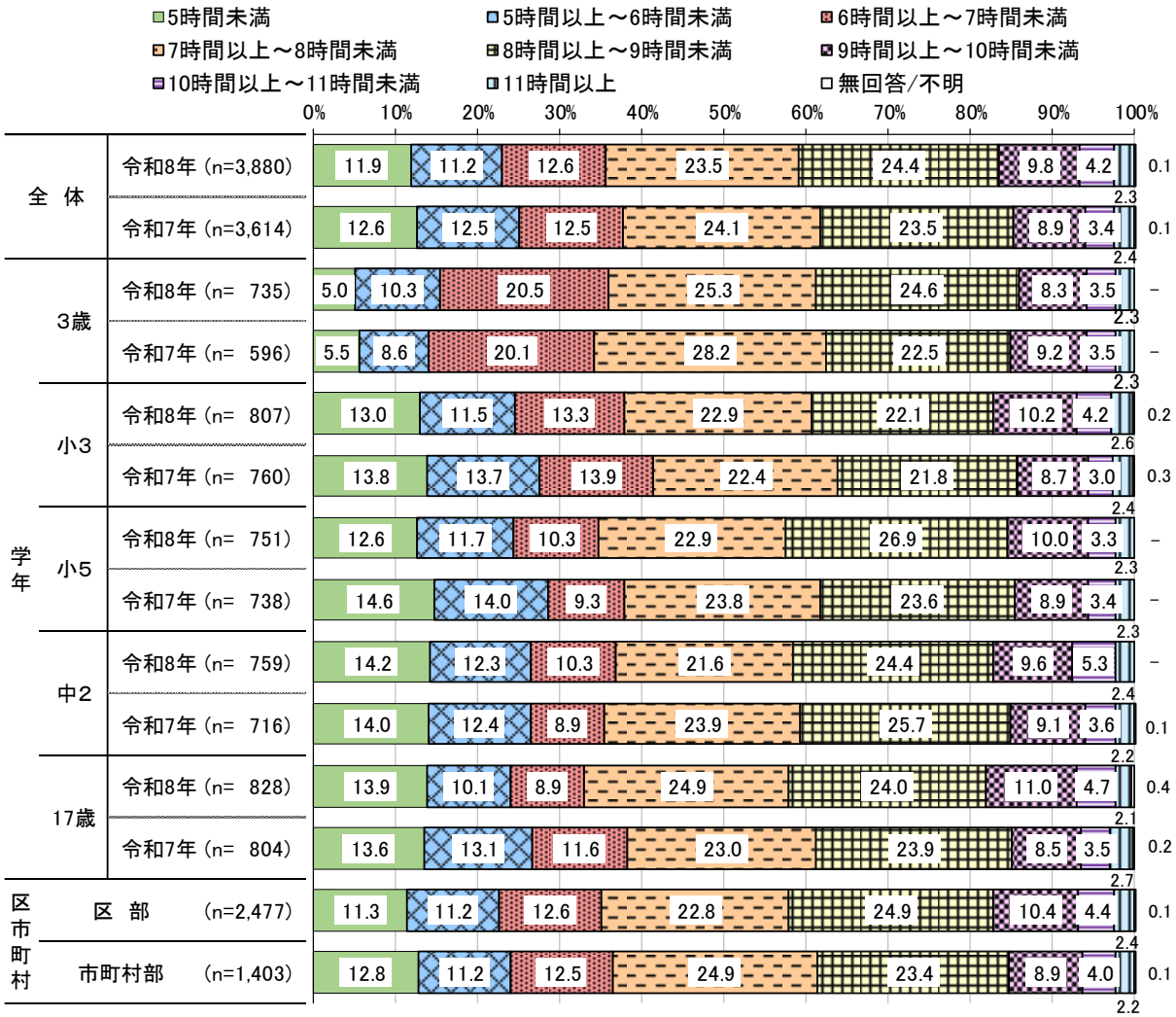
【全体】

「8時間以上～9時間未満」が 24.4%で最も高く、次いで「7時間以上～8時間未満」が 23.5%、「6時間以上～7時間未満」が 12.6%である。

【学年別】

3歳、小3、17 歳では「7時間以上～8時間未満」、小5、中2では「8時間以上～9時間未満」が最も高い。3歳では「6時間以上～7時間未満」が 20.5%で、他の学年より高い。

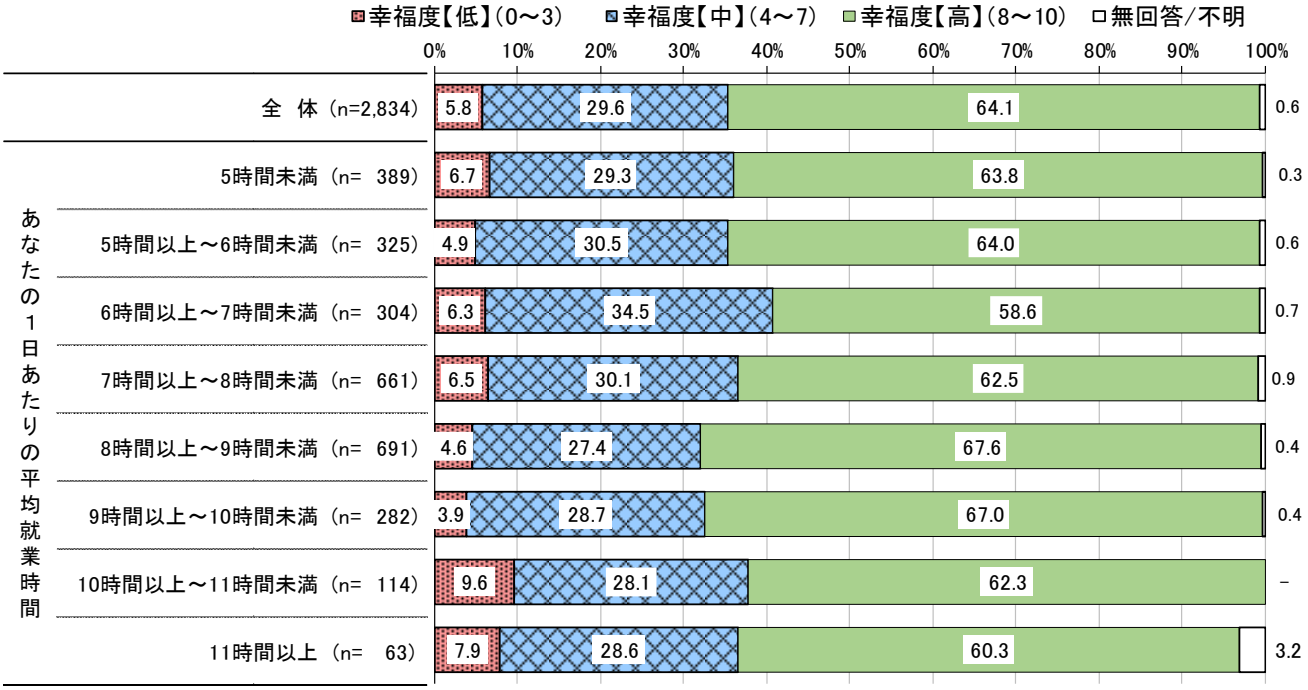
図表 2-16　あなたの1日あたりの平均就業時間　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1日あたりの平均就業時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「8時間以上～9時間未満」と回答した保護者の子供の 67.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-17 子供の幸福度(「あなたの1日あたりの平均就業時間」の回答別)



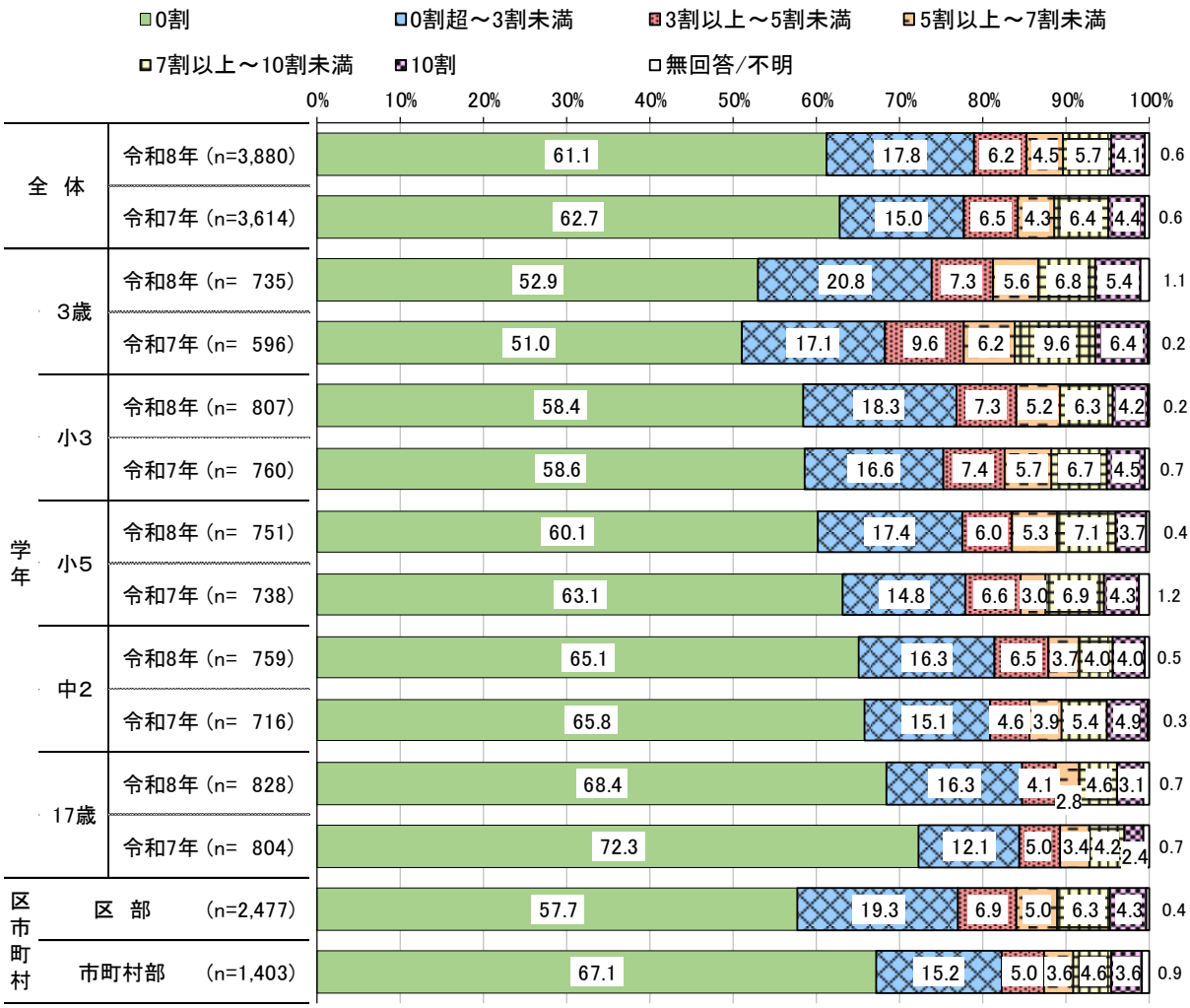
（保護者：共通）問9.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（A　1週間の在宅勤務時間割合）

【全体】
「0割」が 61.1％で最も高く、次いで「0割超～3割未満」が 17.8％、「3割以上～5割未満」が 6.2％と続く。

【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高い。「0割」は、学年が上がると増加傾向で、3歳では 52.9％、17 歳では 68.4％である。

【区市町村別】
市町村部では「0割」が 67.1％で、区部に比べて 9.4 ポイント高い。

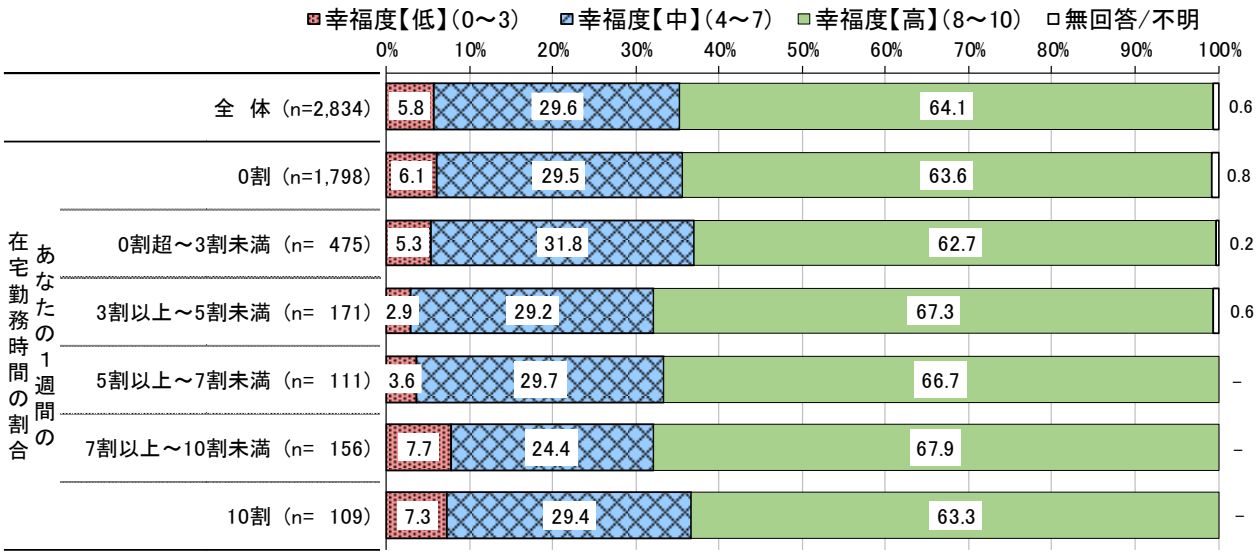
図表 2-18　あなたの1週間の在宅勤務時間の割合　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1週間の在宅勤務時間の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「7割以上～10 割未満」と回答した保護者の子供の 67.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-19 子供の幸福度(「あなたの1週間の在宅勤務時間の割合」の回答別)



（保護者：共通）問9.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたの1週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、1日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（B　1日あたりの往復の平均通勤時間）

【全体】

「1分以上～30 分未満」が 30.1%で最も高く、次いで「30 分以上～1時間未満」が 29.1%、「1時間以上～1時間 30 分未満」が 16.3%である。

【学年別】

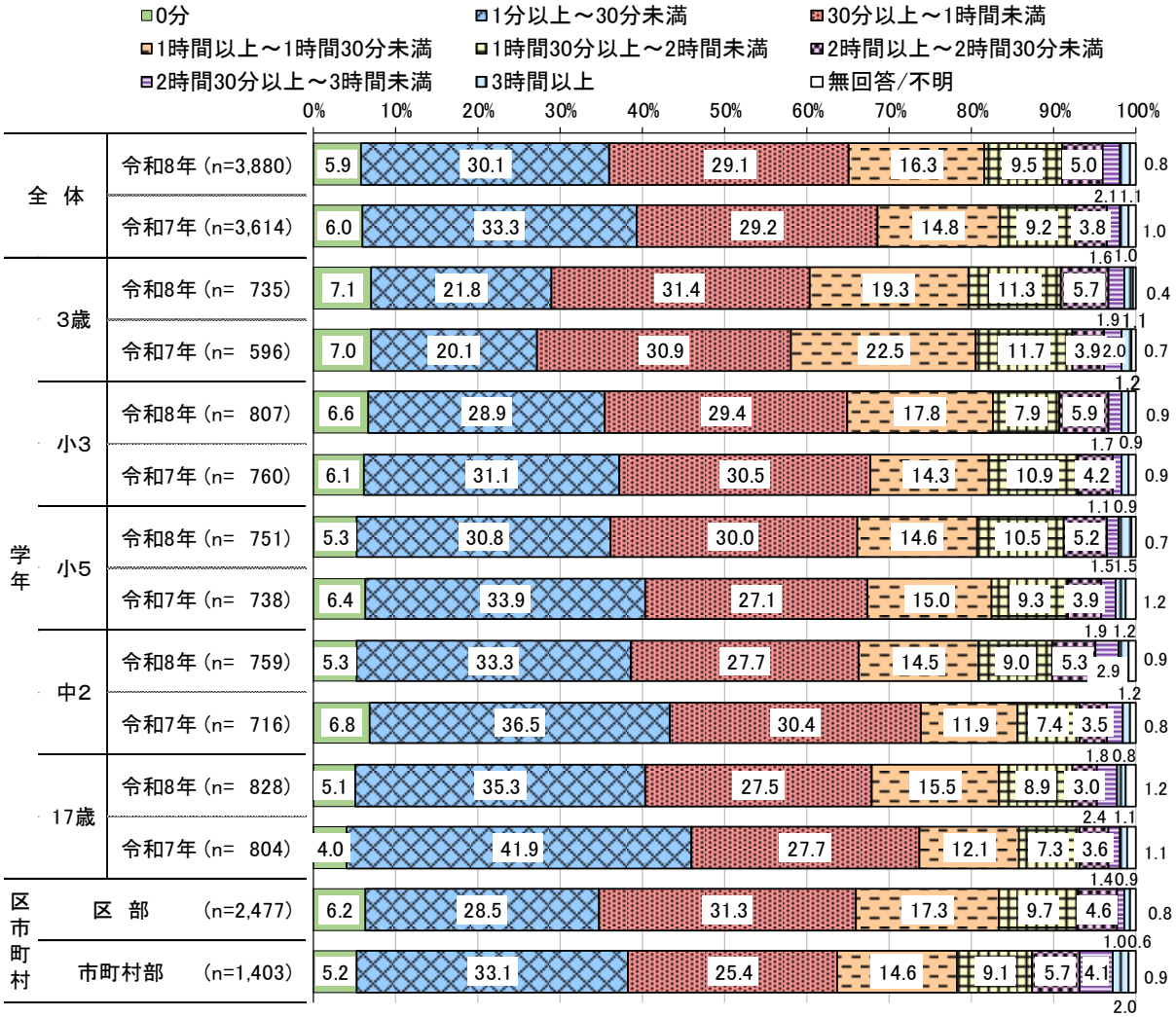
3歳、小3では「30 分以上～1時間未満」、小5、中2、17 歳では「1分以上～30 分未満」が最も高い。「1分以上～30 分未満」は、学年が上がると増加傾向で、3歳では 21.8%、17 歳では 35.3%である。

経年比較でみると、17 歳で「1分以上～30 分未満」が 6.6 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部は「30 分以上～1時間未満」が 31.3%で、市町村部に比べて 5.9 ポイント高い。

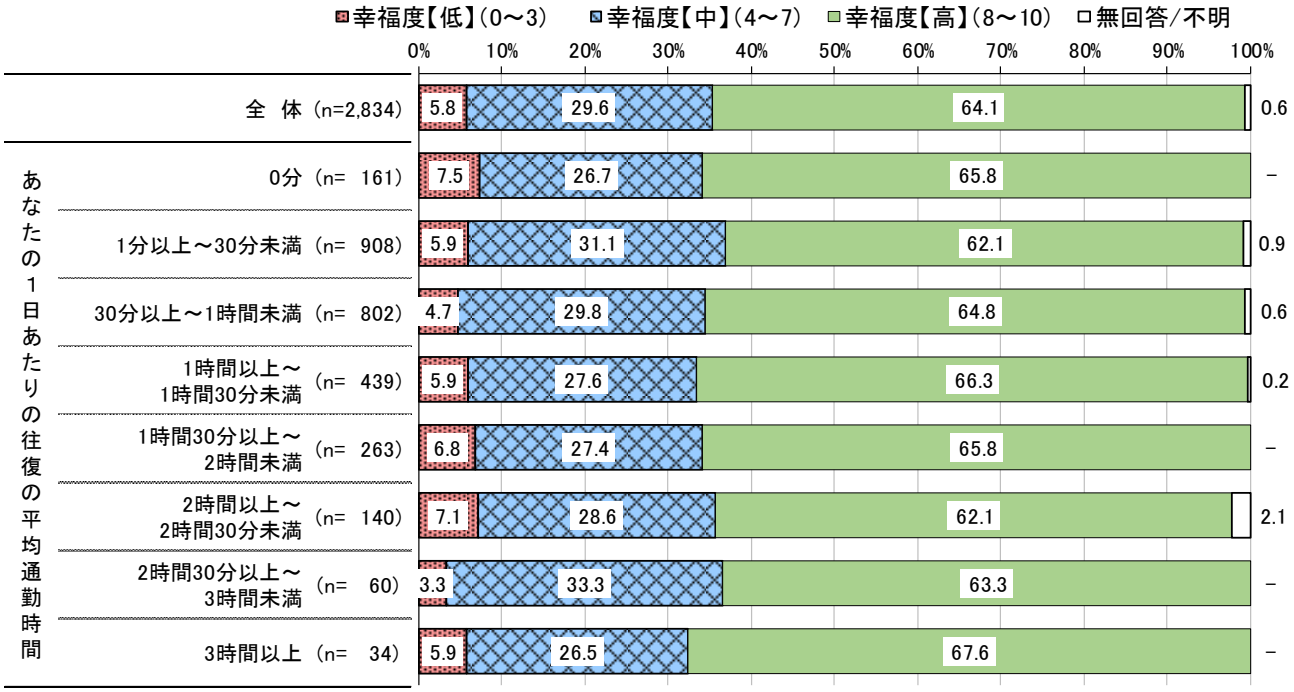
図表 2-20　あなたの1日あたりの往復の平均通勤時間　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「1時間以上～1時間 30 分未満」と回答した保護者の子供の 66.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-21 子供の幸福度(「あなたの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別)



（保護者：共通）問 10.【問8A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
あなたは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。（1つだけ）

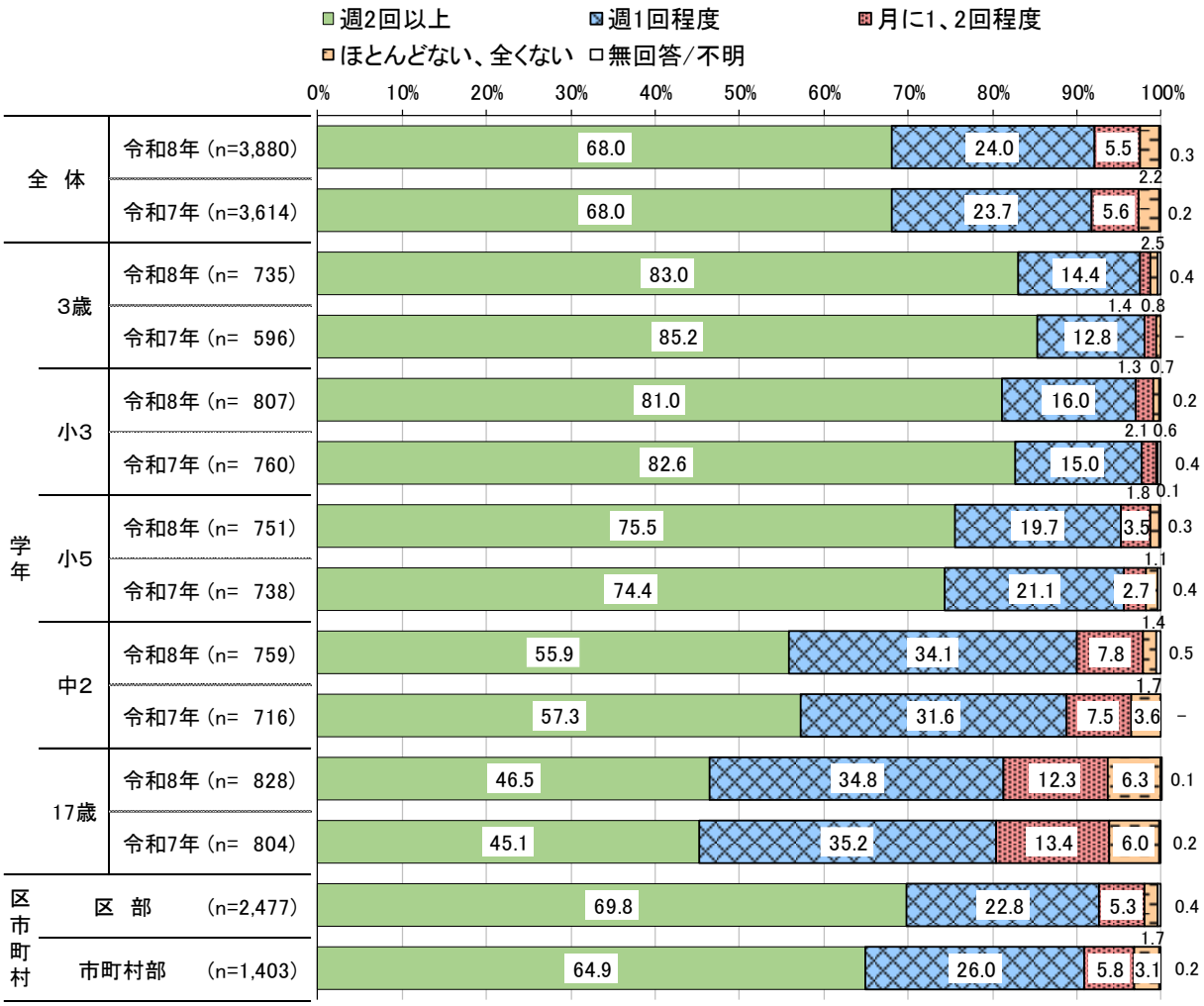
【全体】

「週2回以上」が 68.0％で最も高く、次いで「週1回程度」が 24.0％、「月に1、2回程度」が 5.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「週2回以上」が最も高い。「週2回以上」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 83.0％、17 歳では 46.5％である。

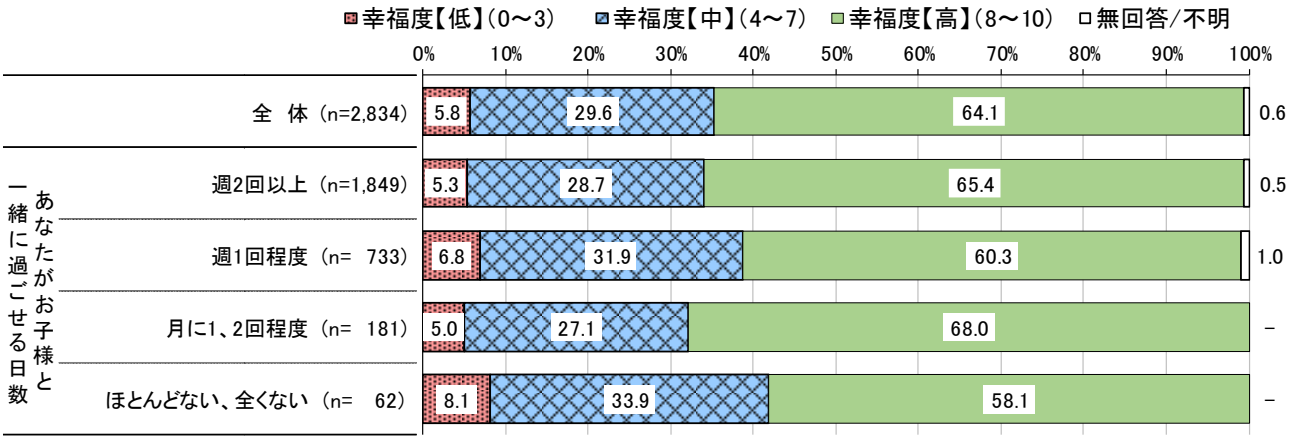
図表 2-22 あなたがお子様と一緒に過ごせる日数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別に子供の幸福度をみると、「月に1、2回程度」と回答した保護者の子供の 68.0%が幸福度【高】(8～10)で、「ほとんどない、全くない」と回答した保護者の子供の 58.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-23 子供の幸福度(「あなたがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別)



（保護者：共通）問 11.【配偶者／パートナーがいる（問5で「同居している」、「同居していない（単身赴任などを含む）」と回答された）方にお聞きします。】
配偶者／パートナーの年齢を教えてください。（1つだけ）

【全体】

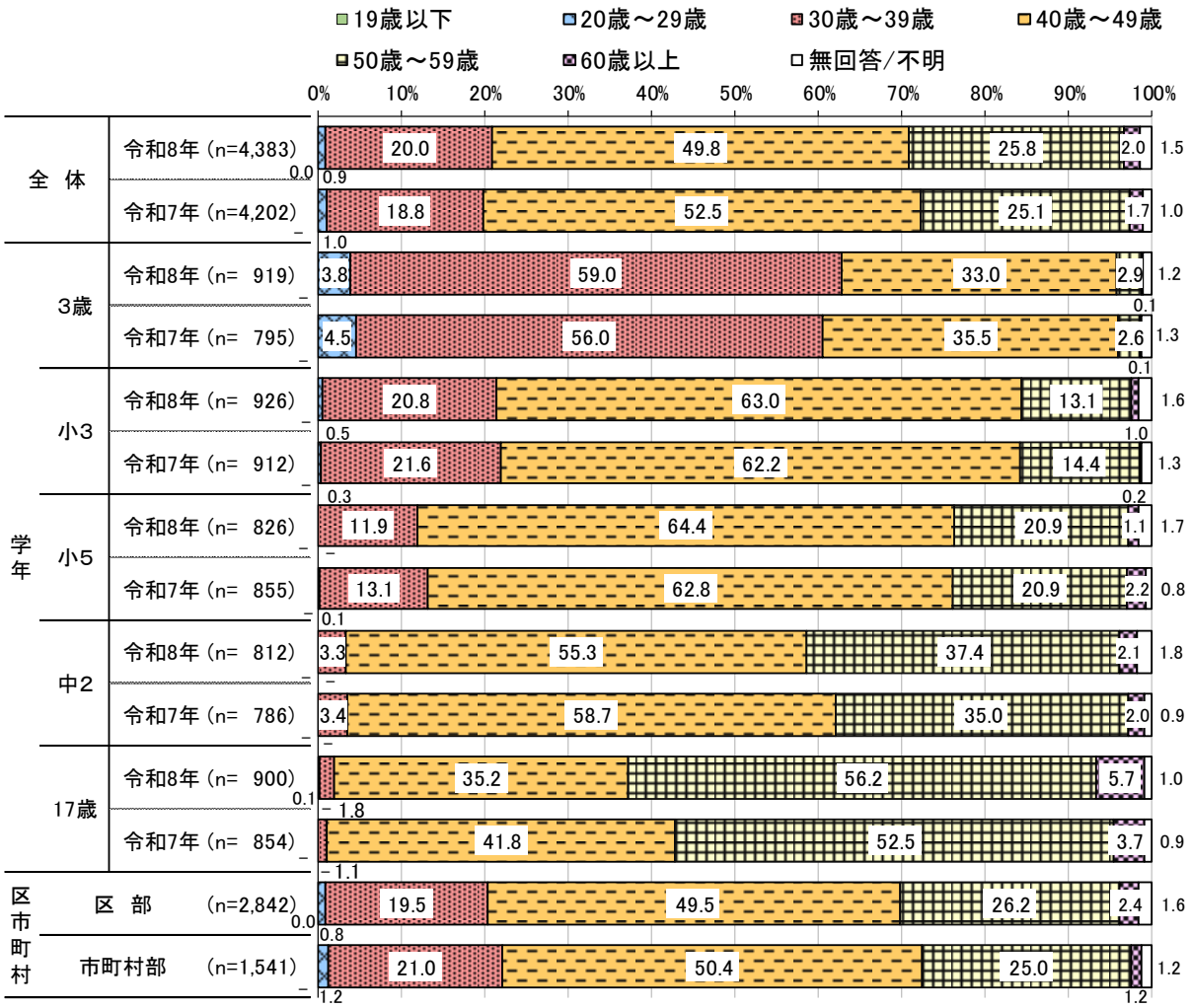
「40 歳～49 歳」が 49.8%で最も高く、次いで「50 歳～59 歳」が 25.8%、「30 歳～39 歳」が 20.0%である。

【学年別】

3歳では「30 歳～39 歳」、小3、小5、中2では「40 歳～49 歳」、17 歳では「50 歳～59 歳」が最も高い。

経年比較でみると、17 歳で「40 歳～49 歳」が 6.6 ポイント減少している。

図表 2-24 配偶者／パートナーの年齢 ＜単一回答＞



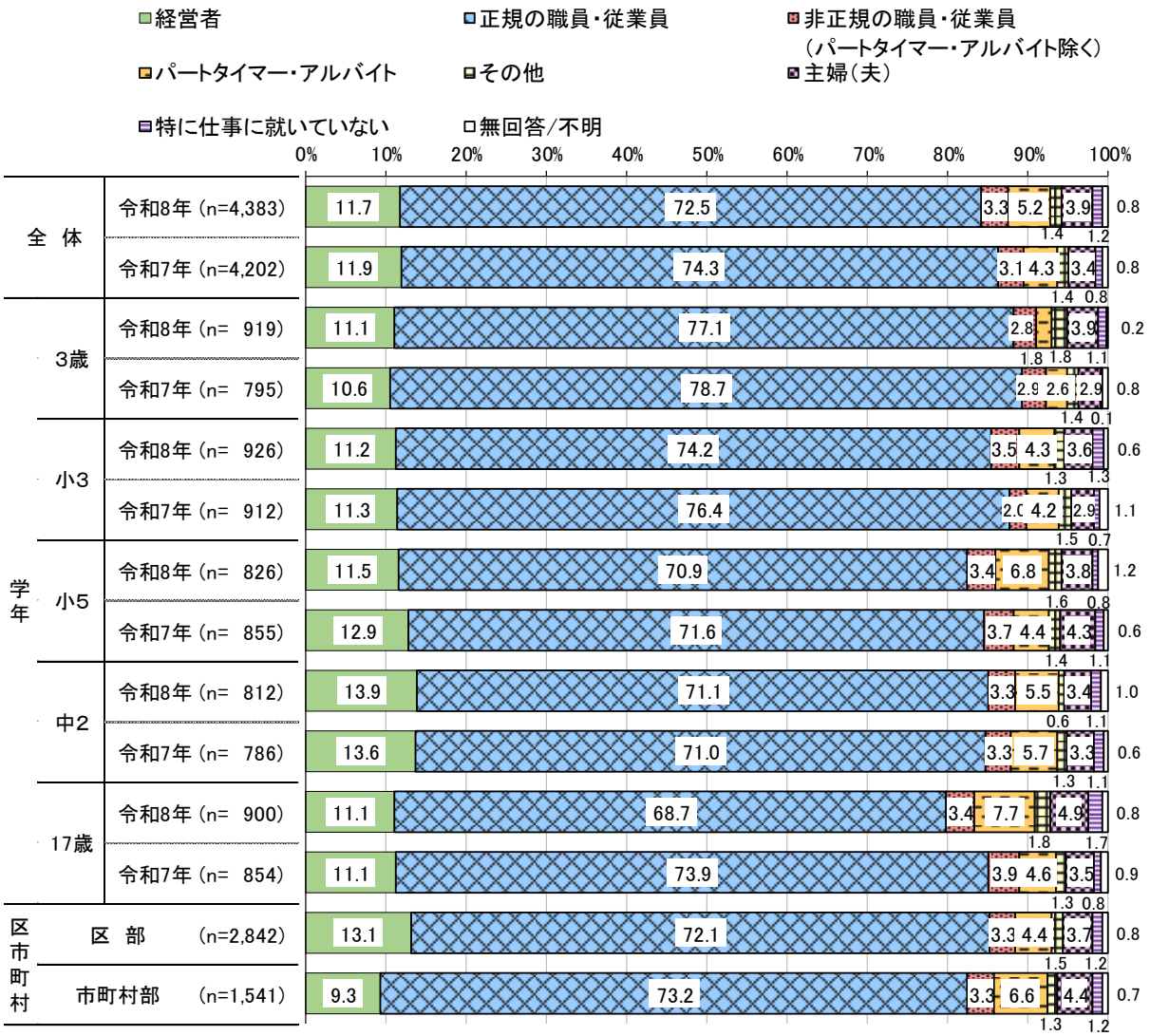
（保護者：共通）問 12.【配偶者／パートナーがいる（問5で「同居している」、「同居していない（単身赴任などを含む）」と回答された）方にお聞きします。】
配偶者／パートナーの就業状況について、次のどれがあてはまりますか。（1つだけ）
副業・兼業をしている方は、主たる職業を回答してください。

【全体】
「正規の職員・従業員」が 72.5%で最も高く、次いで「経営者」が 11.7%、「パートタイマー・アルバイト」が 5.2%である。

【学年別】
いずれの学年も「正規の職員・従業員」が最も高いが、3歳が 77.1%で最も高く、17 歳が 68.7%で最も低い。

経年比較でみると、17 歳で「正規の職員・従業員」が 5.2 ポイント減少している。

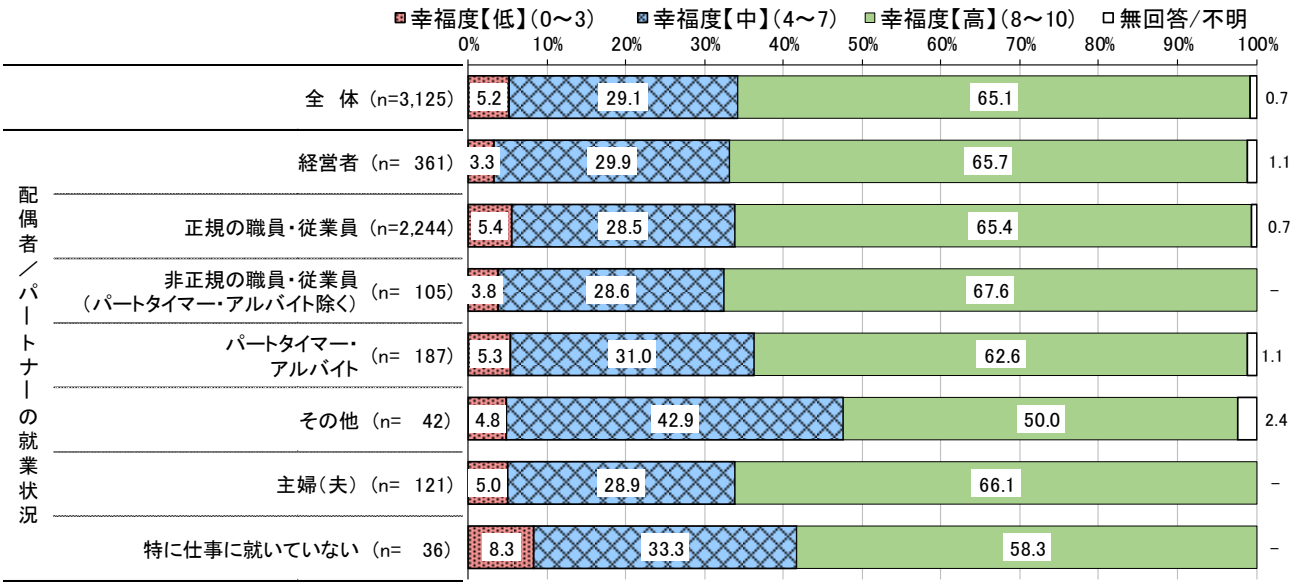
図表 2-25 配偶者／パートナーの就業状況 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの就業状況」の回答別に子供の幸福度をみると、「非正規の職員・従業員（パートタイマー・アルバイト除く）」と回答した保護者の子供の 67.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-26 子供の幸福度（「配偶者／パートナーの就業状況」の回答別）



【自由記述】

その他(配偶者／パートナーの就業状況)
個人事業主（保護者・3歳）
自営業(弁護士)（保護者・3歳）
自営業(芸術家)（保護者・3歳）
フリーランス（保護者・3歳）
医師（保護者・3歳）
僧侶（保護者・3歳）
個人事業主（保護者・小3）
フリーランス（保護者・小3）
個人事業主（保護者・小5）
フリーランス（保護者・小5）
自由業（保護者・小5）
フリーランスグラフィックデザイナー（保護者・小5）
医師（保護者・小5）
内職（保護者・小5）
業務委託（保護者・小5）
個人事業主（保護者・中2）
不動産運用者（保護者・中2）
個人事業主（保護者・17 歳）
フリーランス（保護者・17 歳）
弁護士（保護者・17 歳）
大学院生（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 13.【問 12 で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】

配偶者／パートナーの１週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「１日」～「７日」と答えた方は、１日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）

（A 1週間あたりの平均就業日数）

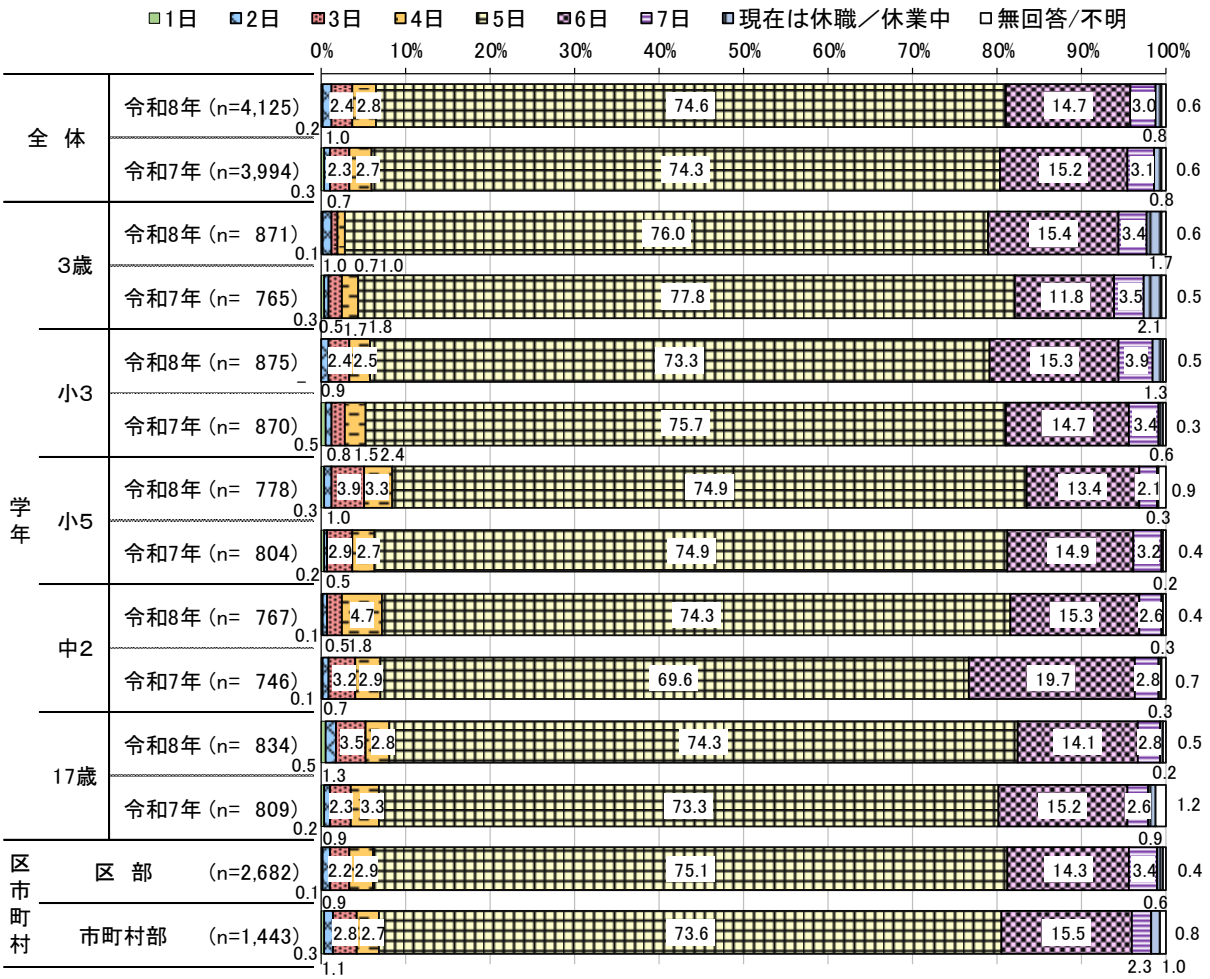
【全体】

「５日」が 74.6％で最も高く、次いで「６日」が 14.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「５日」が最も高い。

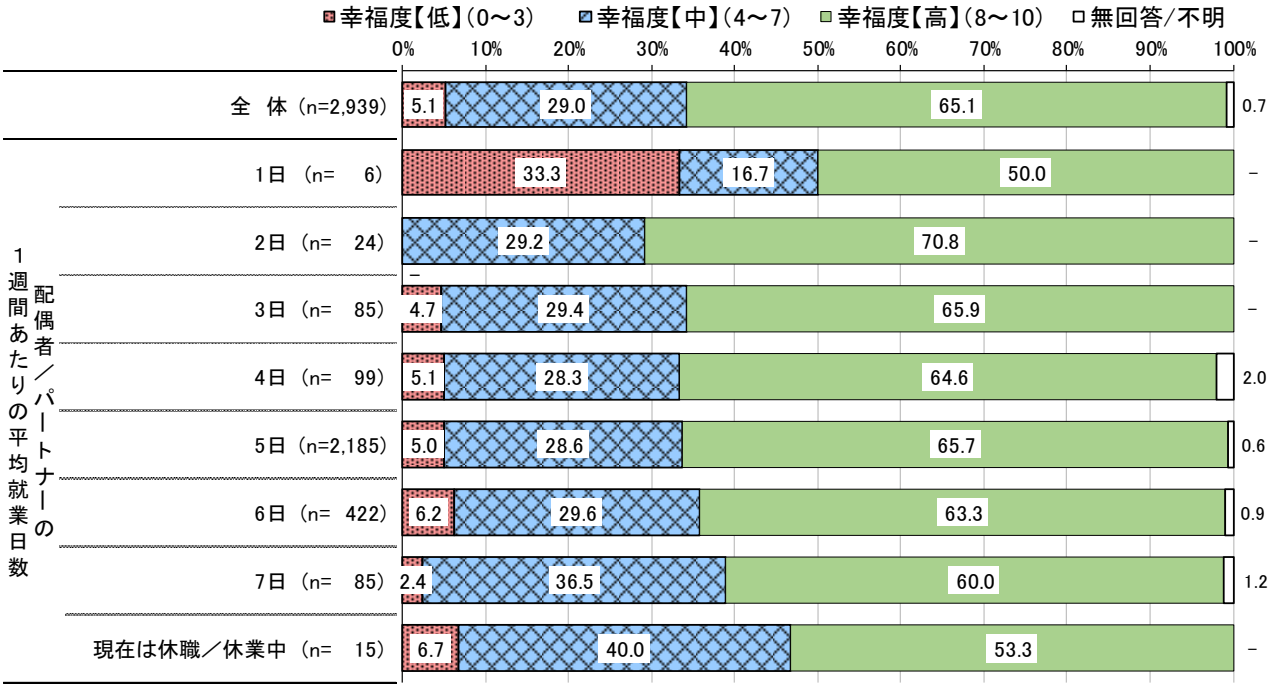
図表 2-27 配偶者／パートナーの１週間あたりの平均就業日数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1週間あたりの平均就業日数」の回答別に子供の幸福度をみると、「3日」と回答した保護者の子供の 65.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-28 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの1週間あたりの平均就業日数」の回答別)



（保護者：共通）問 13.【問 12 で「経営者」～「パートタイマー・アルバイト」「その他」と回答された方にお聞きします。】
配偶者／パートナーの１週間あたりの平均就業日数（副業・兼業含む）は何日ですか。また、「１日」～「７日」と答えた方は、１日あたりの平均就業時間を教えてください。（それぞれ1つ）
（B　１日あたりの平均就業時間）

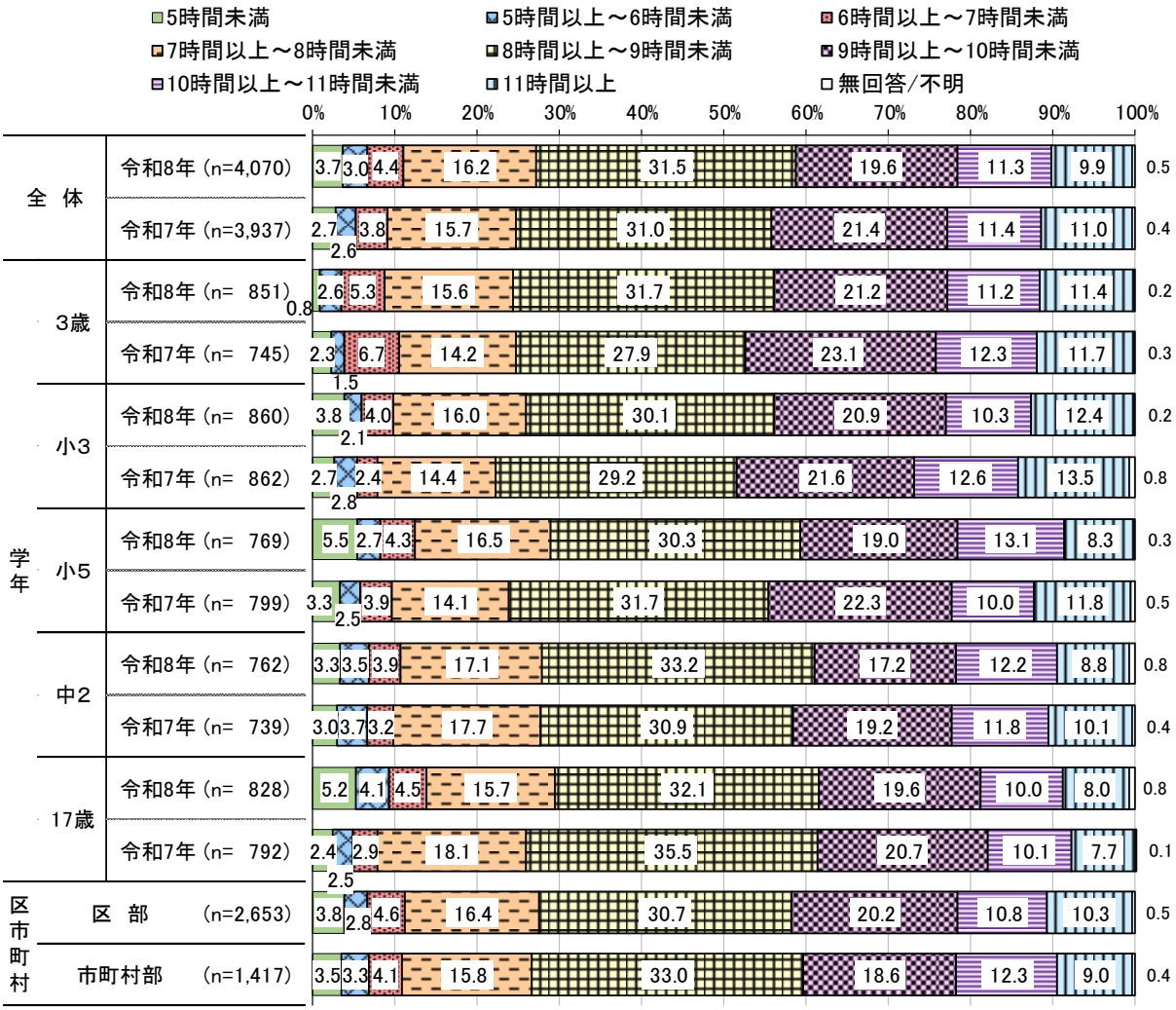
【全体】

「8時間以上～9時間未満」が 31.5％で最も高く、次いで「9時間以上～10 時間未満」が 19.6％、「7時間以上～8時間未満」が 16.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「8時間以上～9時間未満」が最も高い。

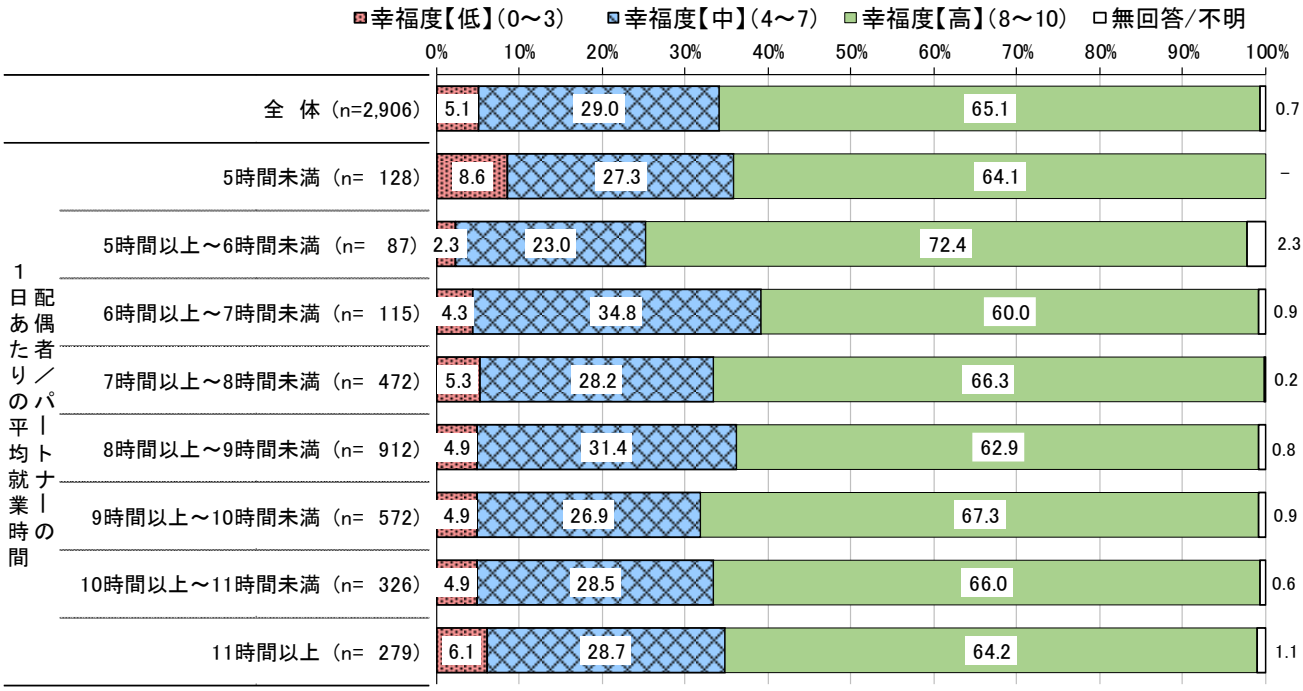
図表 2-29 配偶者／パートナーの１日あたりの平均就業時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1日あたりの平均就業時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「5時間以上～6時間未満」と回答した保護者の子供の 72.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-30 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの1日あたりの平均就業時間」の回答別)



（保護者：共通）問 14.【問 13A で「１日」～「７日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者／パートナーの１週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、１日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（A　１週間の在宅勤務時間割合）

【全体】

「0割」が 59.7％で最も高く、次いで「0割超～3割未満」が 20.2％、「3割以上～5割未満」が 6.7％である。

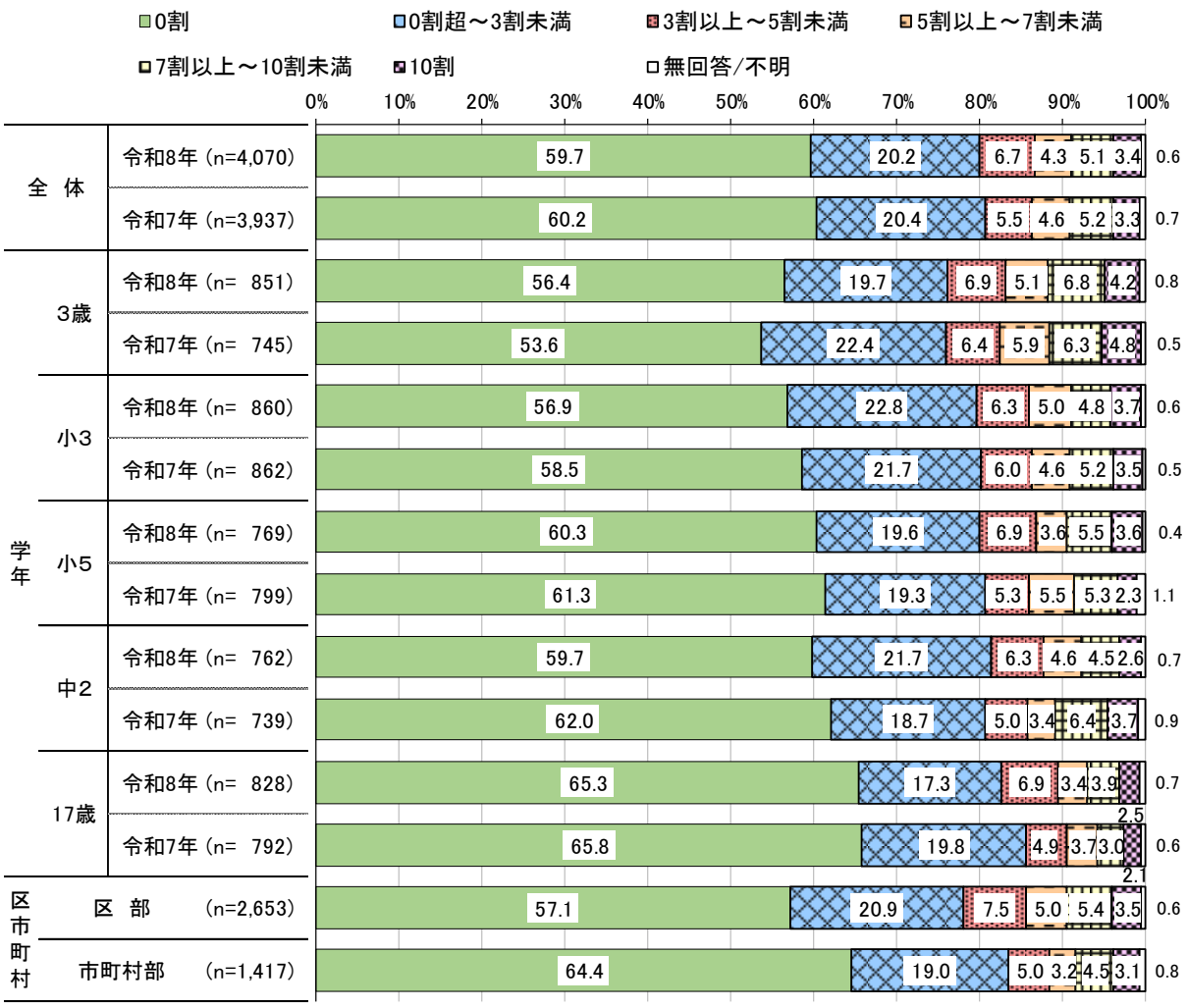
【学年別】

いずれの学年でも「0割」が最も高いが、17 歳が 65.3％で最も高く、3歳が 56.4％で最も低い。

【区市町村別】

市町村部では「0割」が 64.4％で、区部に比べて 7.3 ポイント高い。

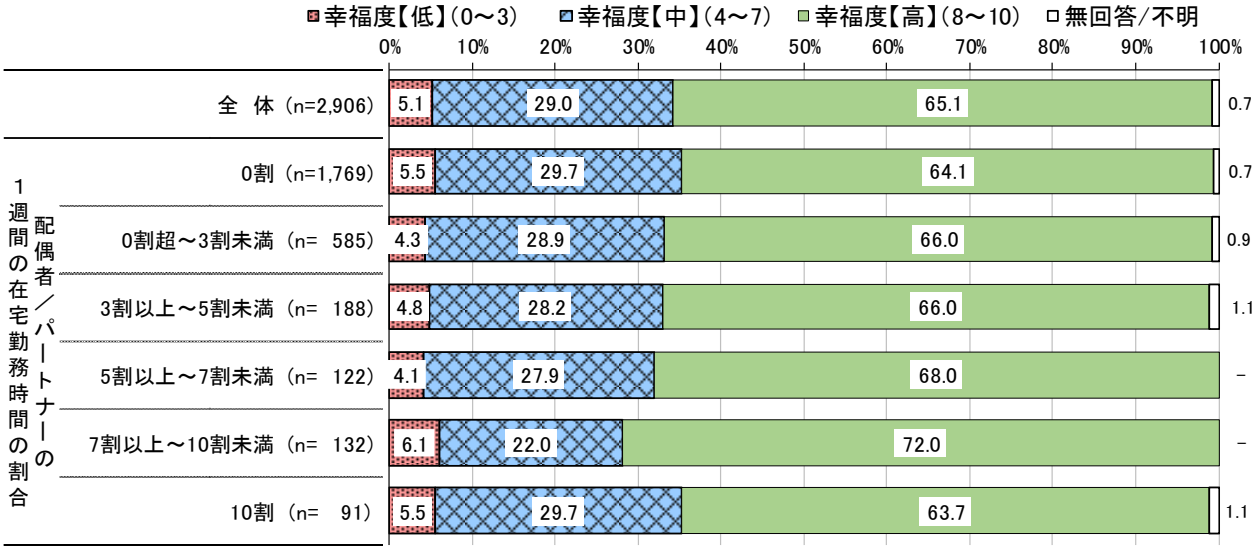
図表 2-31　配偶者／パートナーの１週間の在宅勤務時間の割合　＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1週間の在宅勤務時間の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「7割以上～10 割未満」と回答した保護者の子供の 72.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-32 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの１週間の在宅勤務時間の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 14.【問 13A で「１日」～「７日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者／パートナーの１週間の就業時間のうち、在宅勤務の時間は何割ですか。また、１日あたりの往復の平均通勤時間を教えてください。なお、在宅勤務が「10 割」の場合は「0 分」を選択してください。（それぞれ1つ）
（B　１日あたりの往復の平均通勤時間）

【全体】

「30 分以上～1時間未満」が 30.7%で最も高く、次いで「1時間以上～1時間 30 分未満」が 22.6%、「1分以上～30 分未満」が 17.2%である。

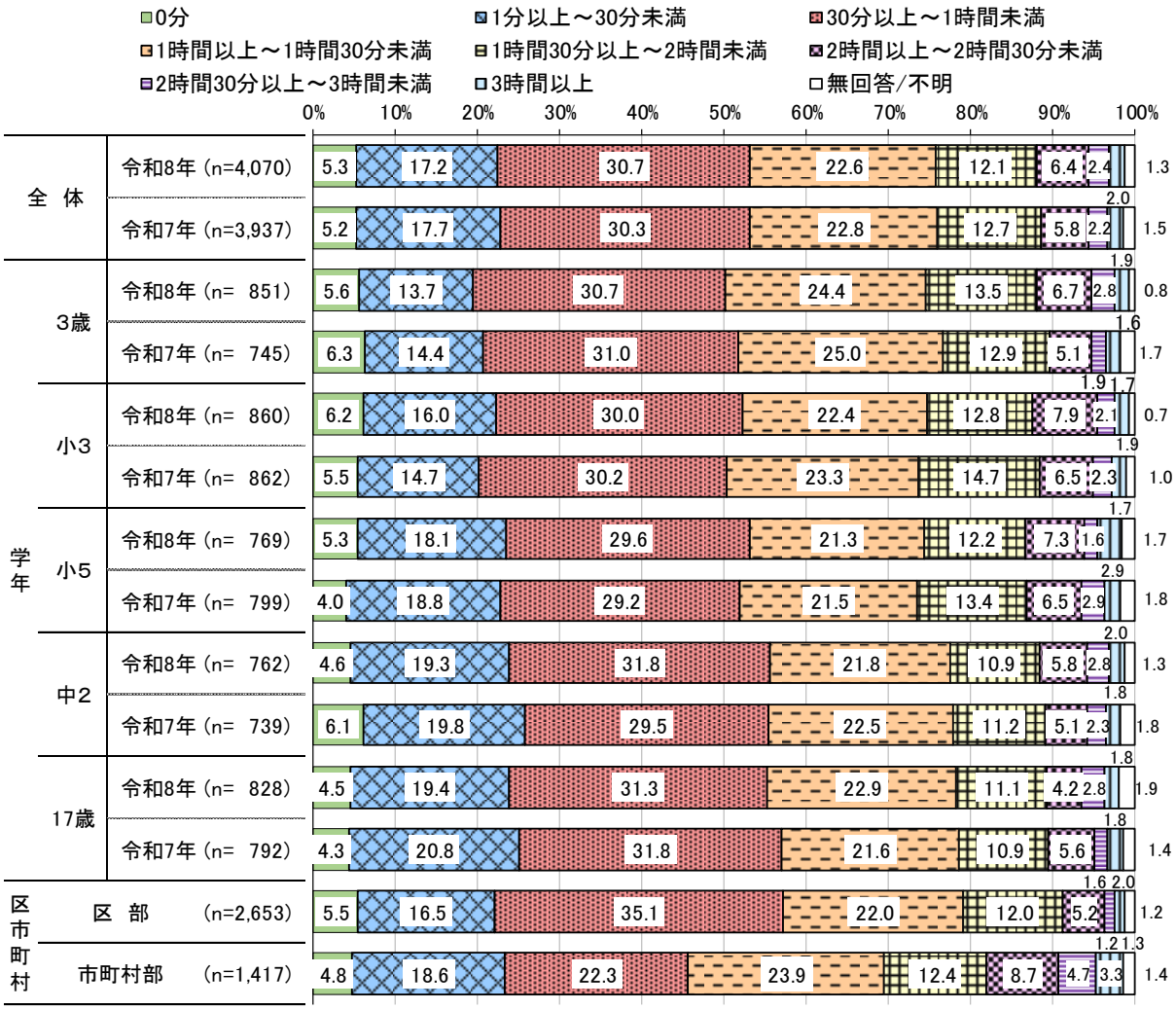
【学年別】

いずれの学年でも「30 分以上～1時間未満」が最も高い。

【区市町村別】

区部は「30 分以上～1時間未満」が 35.1%で、市町村部に比べて 12.8 ポイント高い。

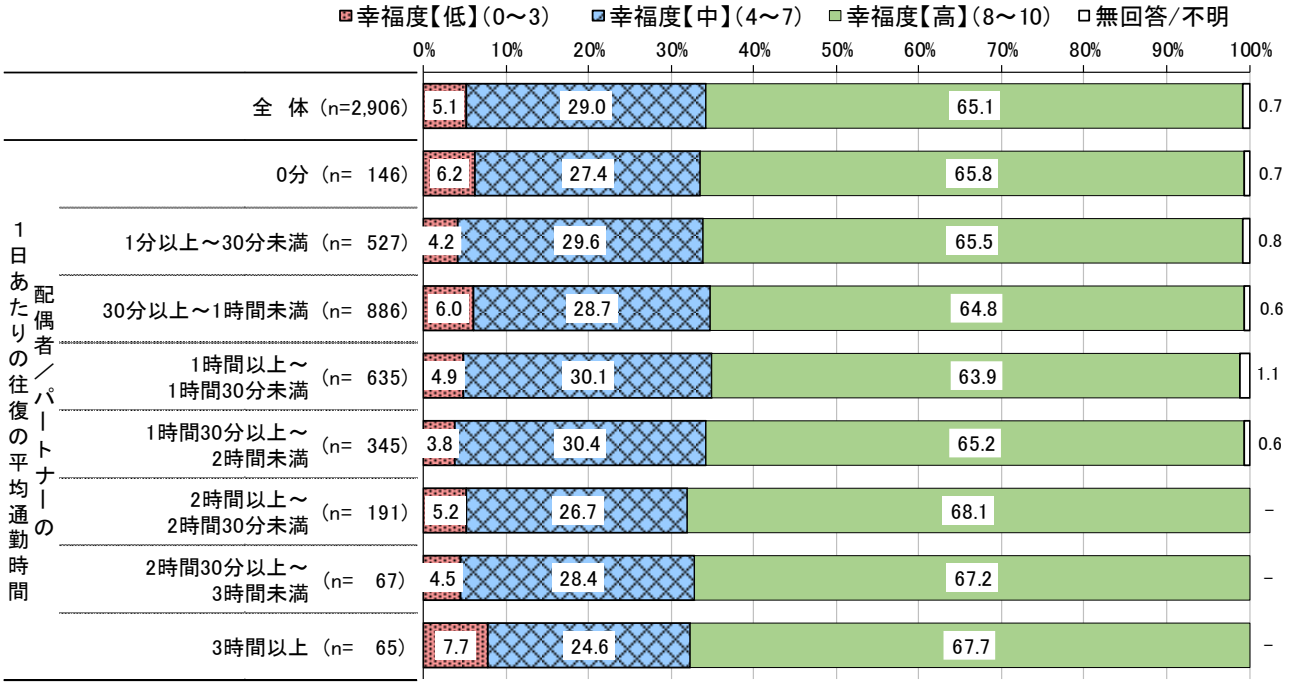
図表 2-33 配偶者／パートナーの１日あたりの往復の平均通勤時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「2時間以上～2時間 30 分未満」と回答した保護者の子供の 68.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-34 子供の幸福度(「配偶者／パートナーの1日あたりの往復の平均通勤時間」の回答別)



（保護者：共通）問 15.【問 13A で「1日」～「7日」と回答された方にお聞きします。】
配偶者／パートナーは、例えば土日祝日など、日単位でお子様と一緒に過ごせる日はどれくらいありますか（お子様の夏休みなどの長期休暇中は除く）。（1つだけ）

【全体】

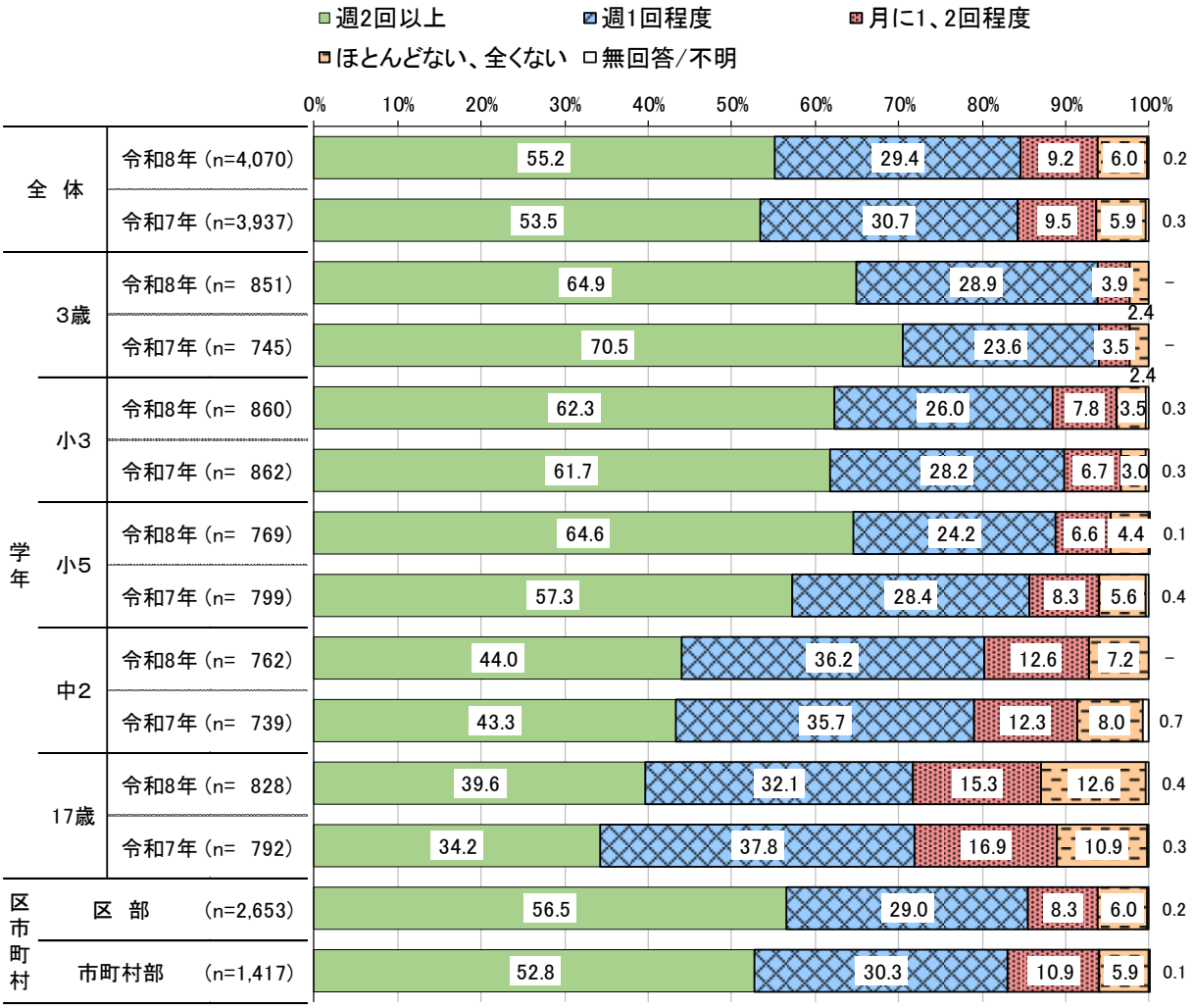
「週2回以上」が 55.2%で最も高く、次いで「週1回程度」が 29.4%、「月に1、2回程度」が 9.2%である。

【学年別】

いずれの学年でも「週2回以上」が最も高いが、3歳が 64.9%で最も高く、17 歳が 39.6%で最も低い。

経年比較でみると、小5で「週2回以上」が 7.3 ポイント増加している。17 歳では「週2回以上」が 5.4 ポイント増加し、「週1回程度」が 5.7 ポイント減少している。また、3歳で「週1回程度」の 5.3 ポイント増加し、「週2回以上」が 5.6 ポイント減少している。

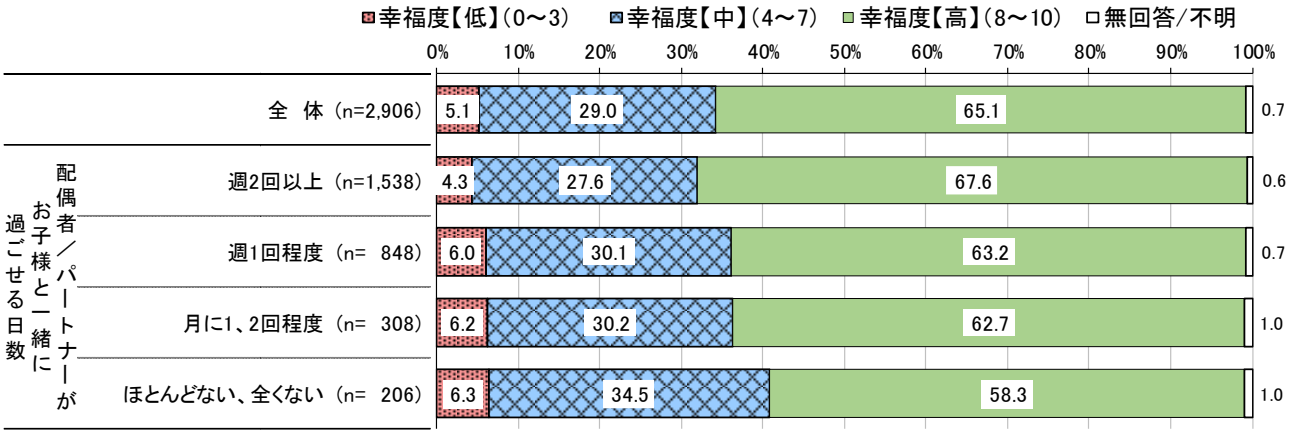
図表 2-35 配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別に子供の幸福度をみると、「週2回以上」と回答した保護者の子供の 67.6%が幸福度【高】(8～10)で、「ほとんどない、全くない」と回答した保護者の子供の 58.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-36 子供の幸福度(「配偶者／パートナーがお子様と一緒に過ごせる日数」の回答別)



（保護者：共通）問 16.【配偶者／パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる）

【全体】

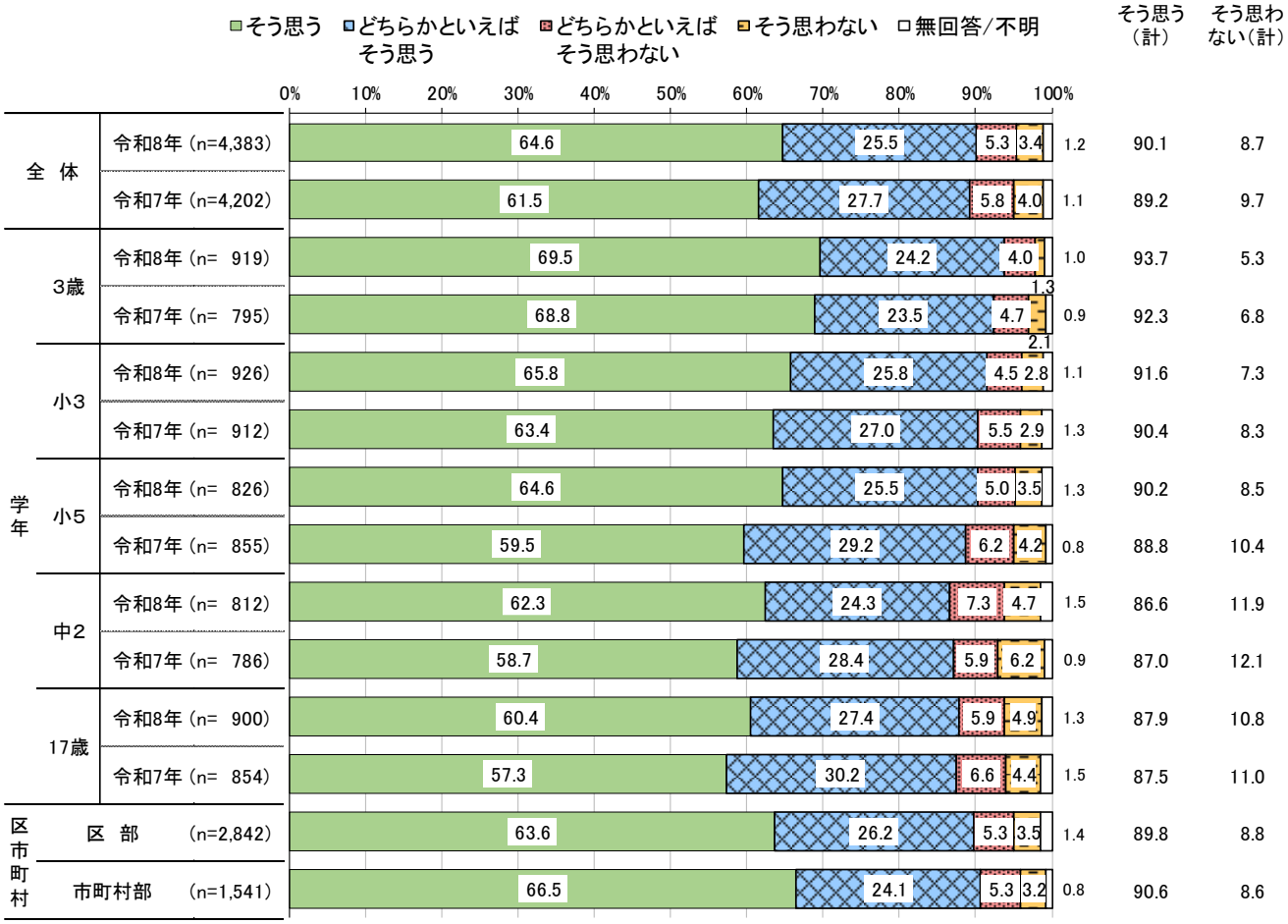
「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」とする保護者は 90.1%（「そう思う」が 64.6%＋「どちらかといえばそう思う」が 25.5%）である。

【学年別】

「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、3歳で最も高く、93.7%である。

経年比較でみると、小5で「そう思う」が 5.1 ポイント増加している。

図表 2-37　A 配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる　＜単一回答＞

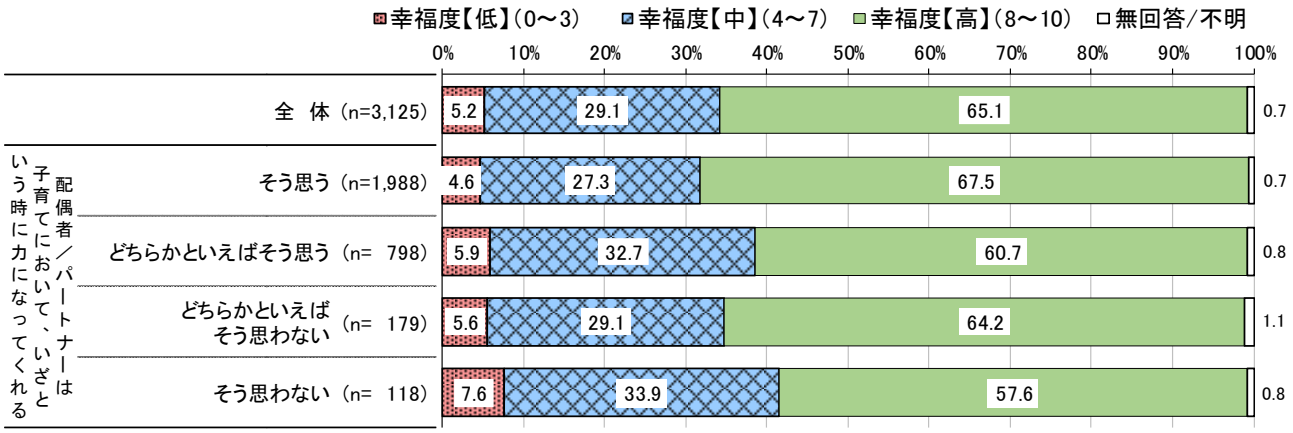


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 67.5%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の57.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-38 子供の幸福度(「配偶者／パートナーは子育てにおいて、いざという時に力になってくれる」の回答別)



（保護者：共通）問 16.【配偶者／パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナーとの関係について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　配偶者／パートナーのことを信頼している）

【全体】

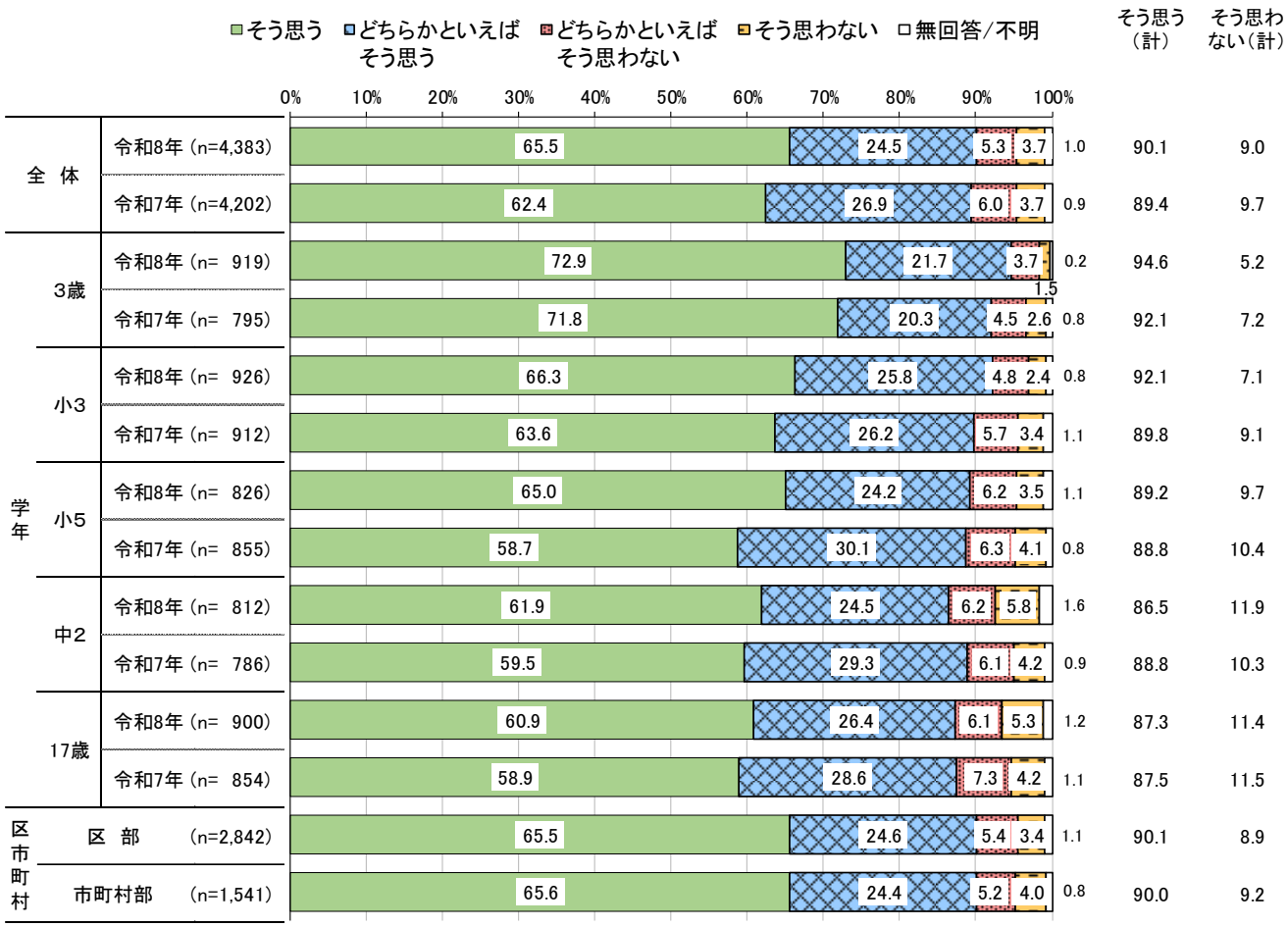
「配偶者／パートナーのことを信頼している」とする保護者は 90.1%（「そう思う」が 65.5%＋「どちらかといえばそう思う」が 24.5%）である。

【学年別】

「配偶者／パートナーのことを信頼している」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、3歳で最も高く、94.6%である。

経年比較でみると、小5で「そう思う」が 6.3 ポイント増加している。

図表 2-39　B 配偶者／パートナーのことを信頼している　＜単一回答＞

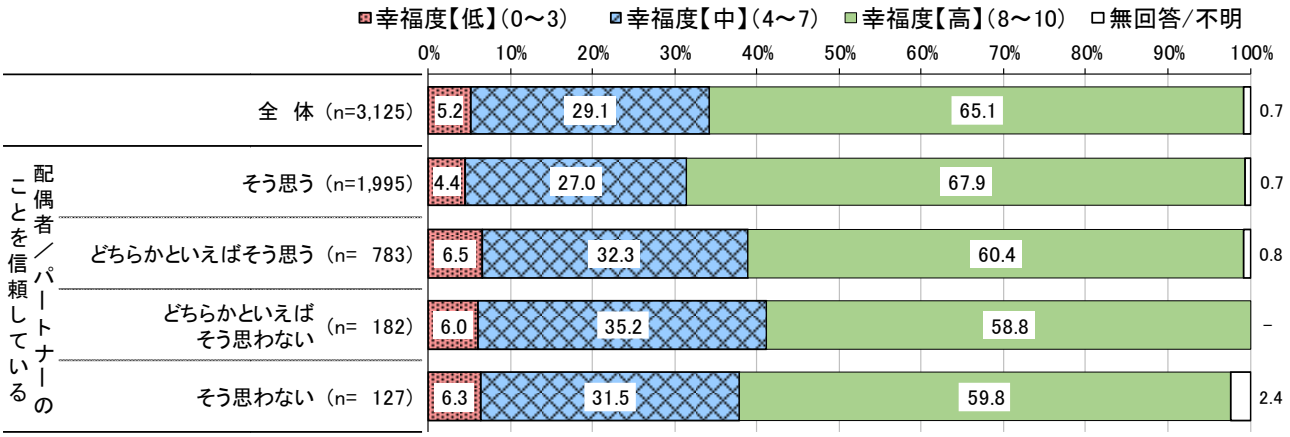


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーのことを信頼している」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 67.9%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 59.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-40 子供の幸福度(「配偶者／パートナーのことを信頼している」の回答別)

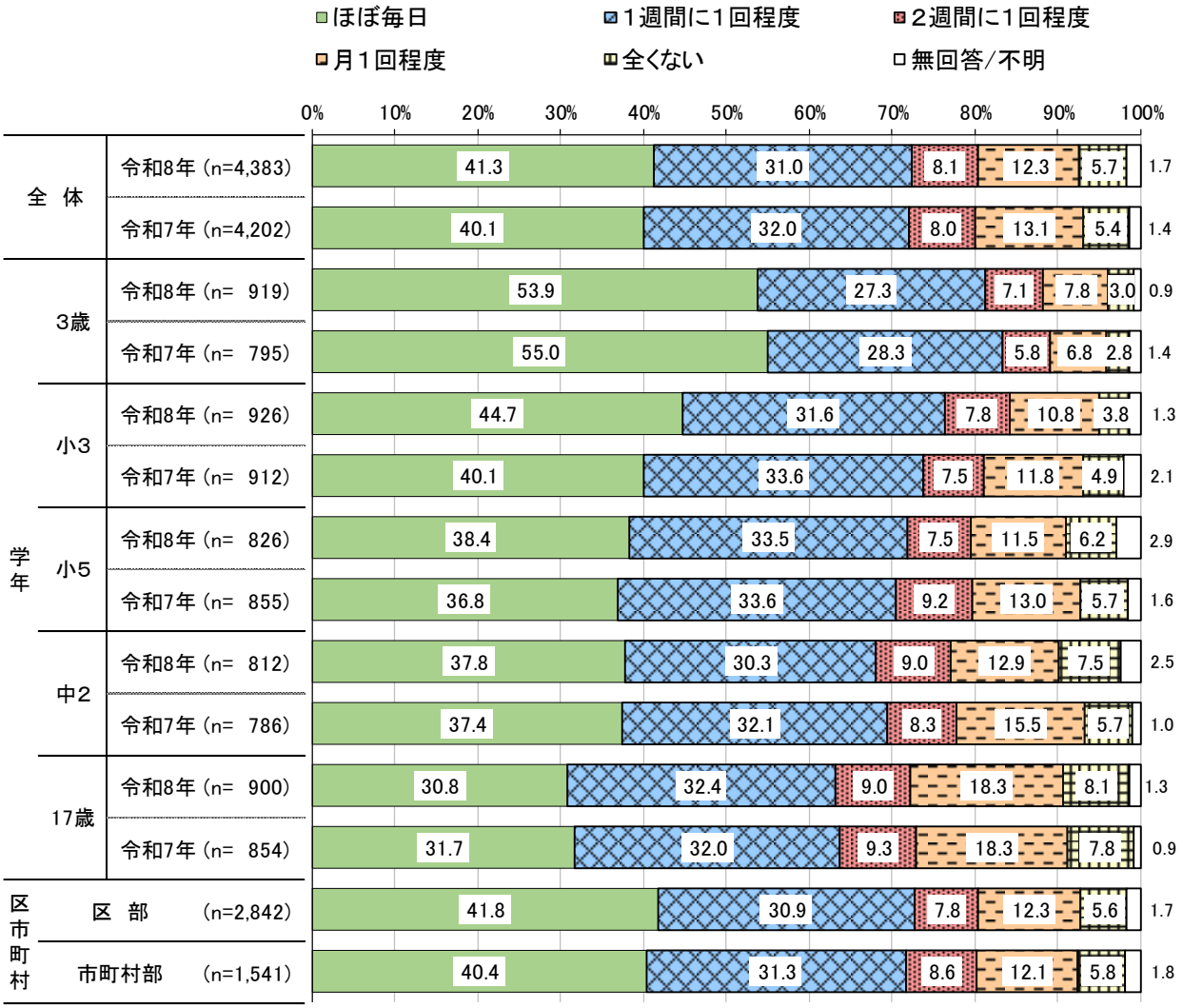


（保護者：共通）問 17.【配偶者／パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会はどれくらいありますか。
（1つだけ）

【全体】
「ほぼ毎日」が 41.3%で最も高く、次いで「1週間に1回程度」が 31.0%、「月1回程度」が 12.3%である。

【学年別】
3歳、小3、小5、中2では「ほぼ毎日」、17 歳では「1週間に1回程度」が最も高い。「ほぼ毎日」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 53.9%、17 歳では 30.8%である。

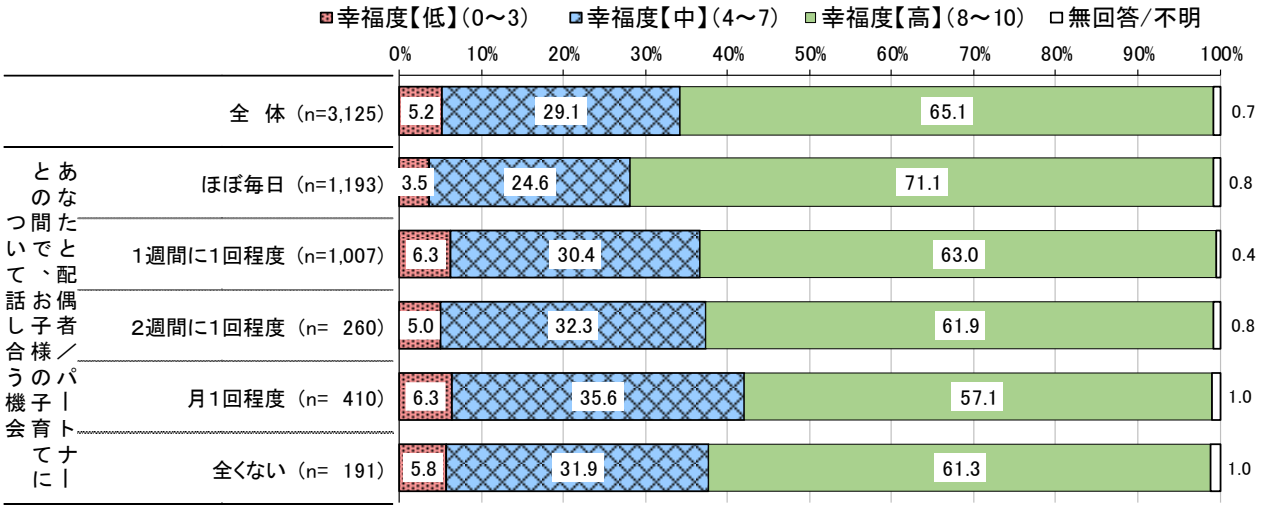
図表 2-41 あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会」の回答別に子供の幸福度をみると、「ほぼ毎日」と回答した保護者の子供の 71.1%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した保護者の子供の61.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-42 子供の幸福度(「あなたと配偶者／パートナーとの間で、お子様の子育てについて話し合う機会」の回答別)



（保護者：共通）問 18. ご家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合はどれくらいですか。（1つだけ）

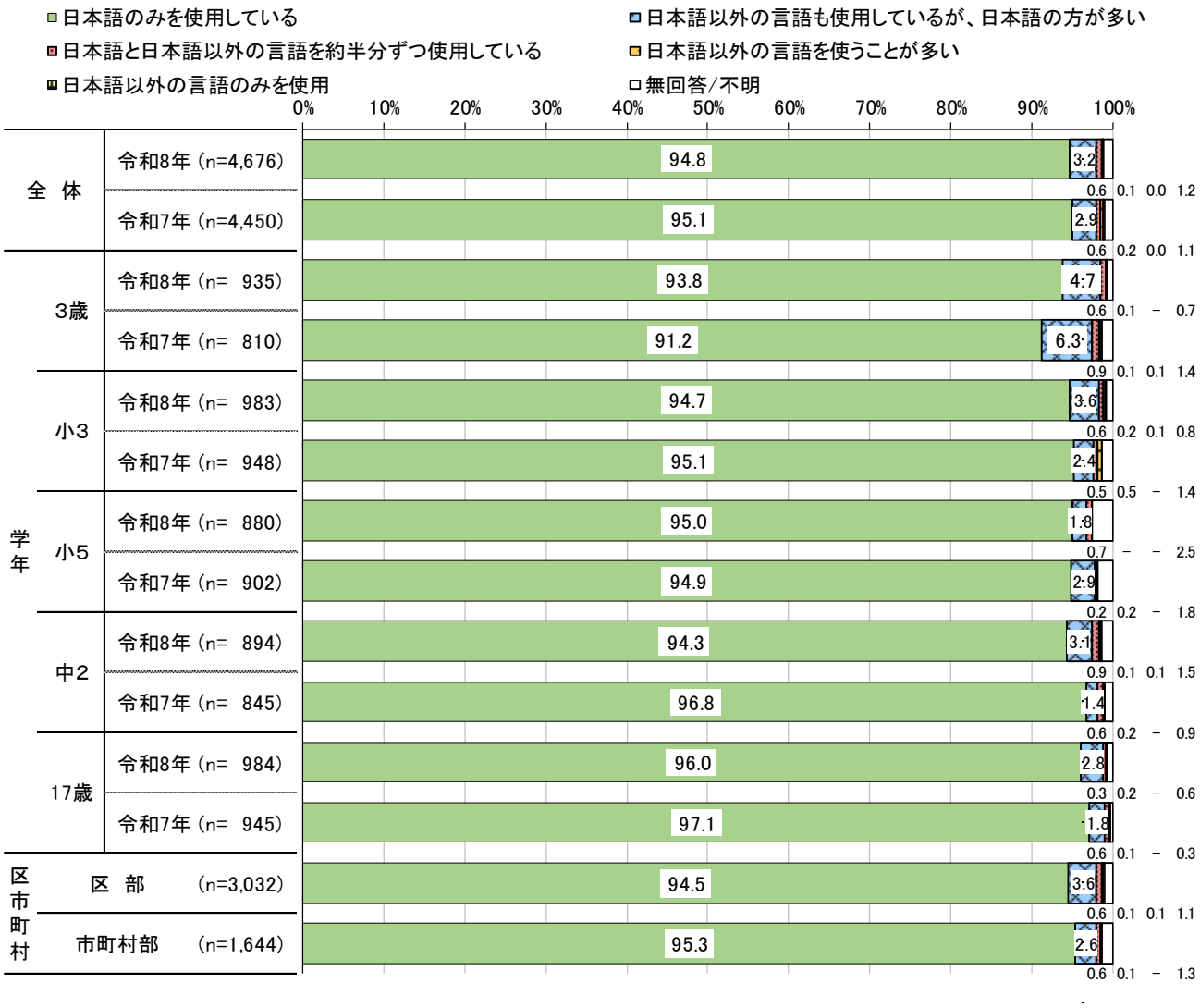
【全体】

「日本語のみを使用している」が 94.8%で最も高く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 3.2%、「日本語と日本語以外の言語を約半分ずつ使用している」が 0.6%である。

【学年別】

いずれの学年でも「日本語のみを使用している」が最も高い。

図表 2-43 家庭内の会話での日本語と他の言語の使用割合 ＜単一回答＞



（保護者：共通）問 19.【問 18 で「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」～「日本語以外の言語のみを使用」と回答された方にお聞きします。】
使用している日本語以外の言語について、全てお答えください。（いくつでも）

【全体】

「英語」が 69.1％で最も高く、次いで「中国語」が 17.0％、「韓国語」が 12.2％と続く。

【学年別】

いずれの学年でも「英語」が最も高い。

【区市町村別】

市町村部は「韓国語」が 20.0％で、区部に比べて 11.0 ポイント高い。

図表 2-44 使用している日本語以外の言語について ＜複数回答＞

(%)

			n	英語	中国語	韓国語	スペイン語	フィリピン語	ベトナム語	その他	無回答/不明
全体		令和8年	188	69.1	17.0	12.2	3.7	4.3	0.5	8.0	1.1
		令和7年	166	73.5	19.9	5.4	1.2	2.4	1.8	7.2	1.2
学年	3歳	令和8年	51	80.4	9.8	7.8	－	5.9	－	5.9	2.0
		令和7年	60	83.3	13.3	3.3	－	－	1.7	6.7	－
	小3	令和8年	44	68.2	20.5	13.6	9.1	2.3	－	6.8	－
		令和7年	33	69.7	27.3	9.1	－	－	3.0	9.1	3.0
	小5	令和8年	22	54.5	22.7	18.2	4.5	4.5	－	－	4.5
		令和7年	30	66.7	23.3	3.3	3.3	－	－	6.7	3.3
	中2	令和8年	38	71.1	23.7	13.2	2.6	2.6	－	10.5	－
		令和7年	19	63.2	21.1	10.5	5.3	5.3	5.3	－	－
	17歳	令和8年	33	60.6	12.1	12.1	3.0	6.1	3.0	15.2	－
		令和7年	24	70.8	20.8	4.2	－	12.5	－	12.5	－
区市町村	区部		133	71.4	18.8	9.0	3.0	3.8	0.8	6.0	1.5
	市町村部		55	63.6	12.7	20.0	5.5	5.5	－	12.7	－

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【自由記述】

その他（家庭内で使用している日本語以外の言語）
タイ語（保護者・3歳）
ポルトガル語（保護者・3歳）
タイ語（保護者・小3）
インドネシア語（保護者・中2）
フランス語（保護者・中2）
イタリア語（保護者・中2）
モンゴル語（保護者・中2）
タイ語（保護者・17 歳）
インドネシア語（保護者・17 歳）
ポーランド語（保護者・17 歳）
フランス語、ドイツ語（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（1. あなたの割合）

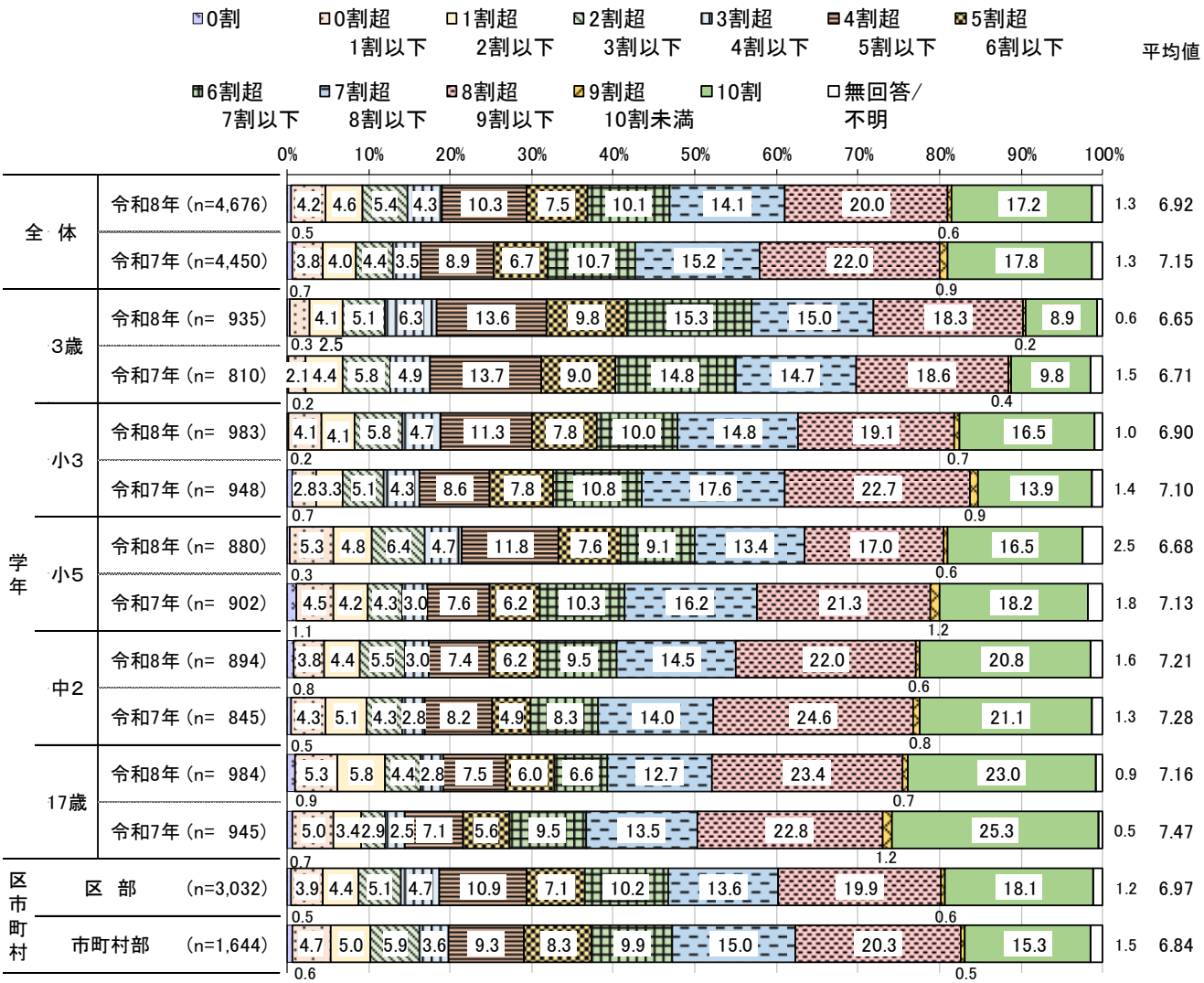
【全体】

「8割超9割以下」が 20.0％で最も高く、次いで「10 割」が 17.2％、「7割超8割以下」が 14.1％で、平均値は 6.92 割である。

【学年別】

いずれの学年でも「8割超9割以下」が最も高い。平均値は、中2が 7.21 割で最も高く、3歳が 6.65 割で最も低い。

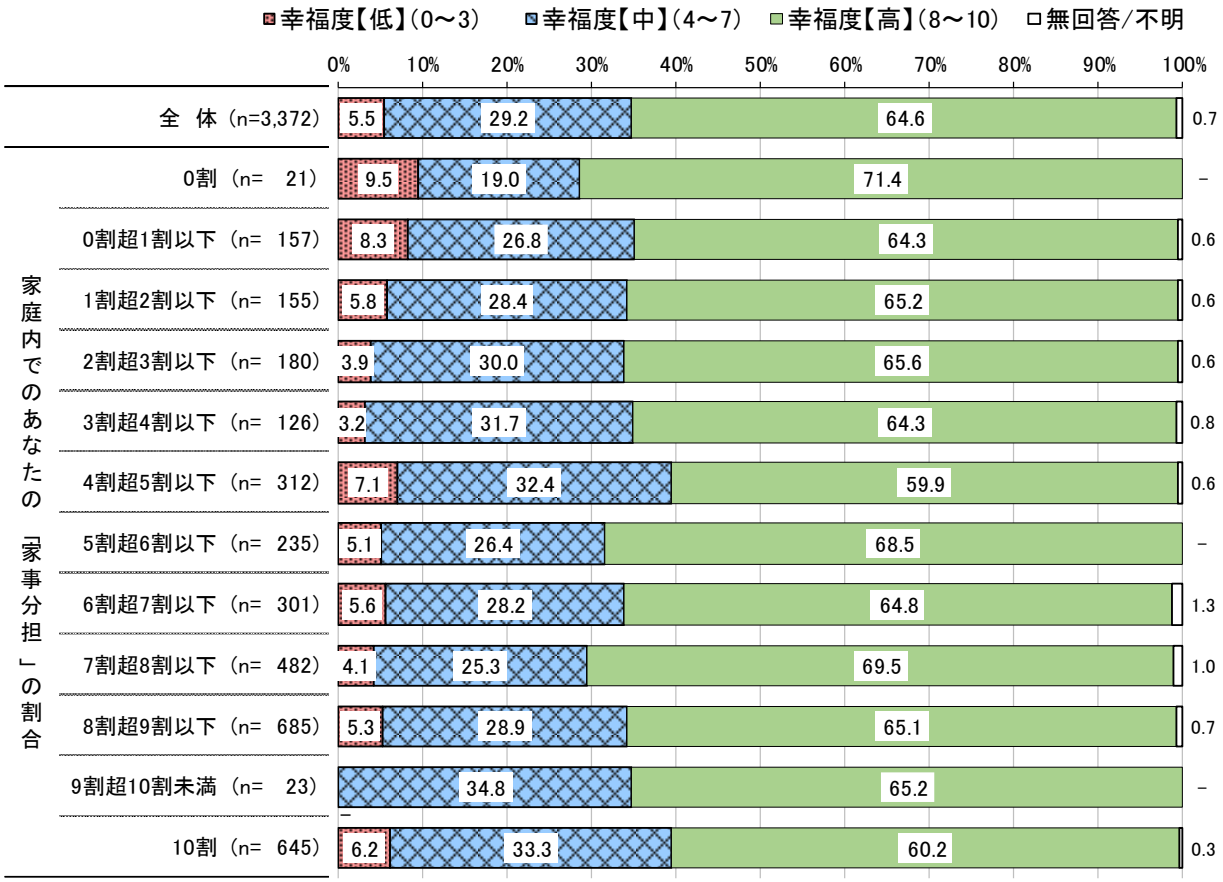
図表 2-45 家庭内でのあなたの「家事分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内でのあなたの『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「7割超8割以下」と回答した保護者の子供の 69.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-46 子供の幸福度(「家庭内でのあなたの『家事分担』の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（2. 配偶者／パートナーの割合）

【全体】

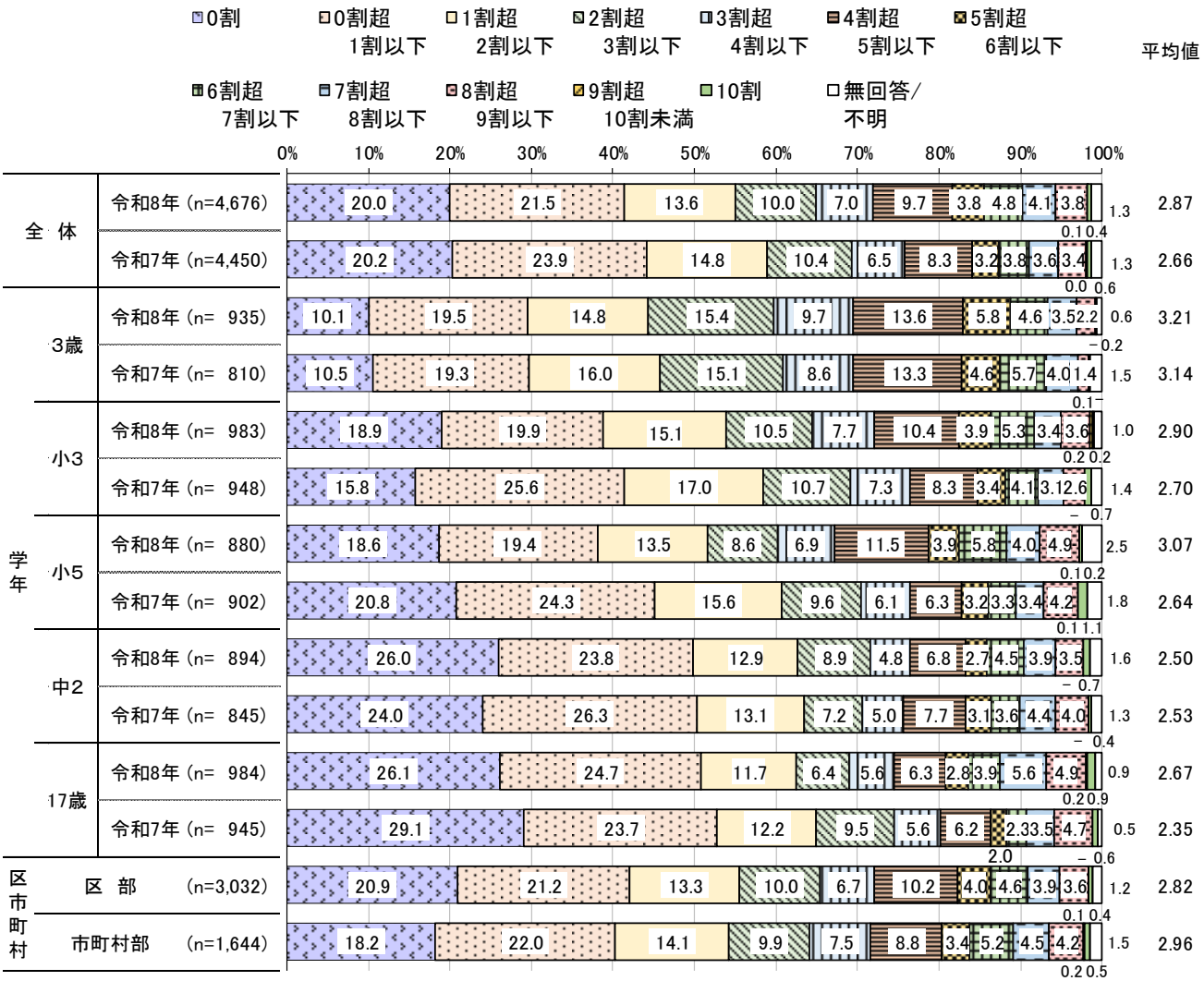
「0割超1割以下」が 21.5％で最も高く、次いで「0割」が 20.0％、「1割超2割以下」が 13.6％で、平均値は 2.87 割である。

【学年別】

3歳、小3、小5では「0割超1割以下」、中2、17 歳では「0割」が最も高い。平均値は、3歳が 3.21 割で最も高く、中2が 2.50 割で最も低い。

経年比較でみると、小3で「0割超1割以下」が 5.7 ポイント減少している。また、小5で「4割超5割以下」が 5.2 ポイント増加している。

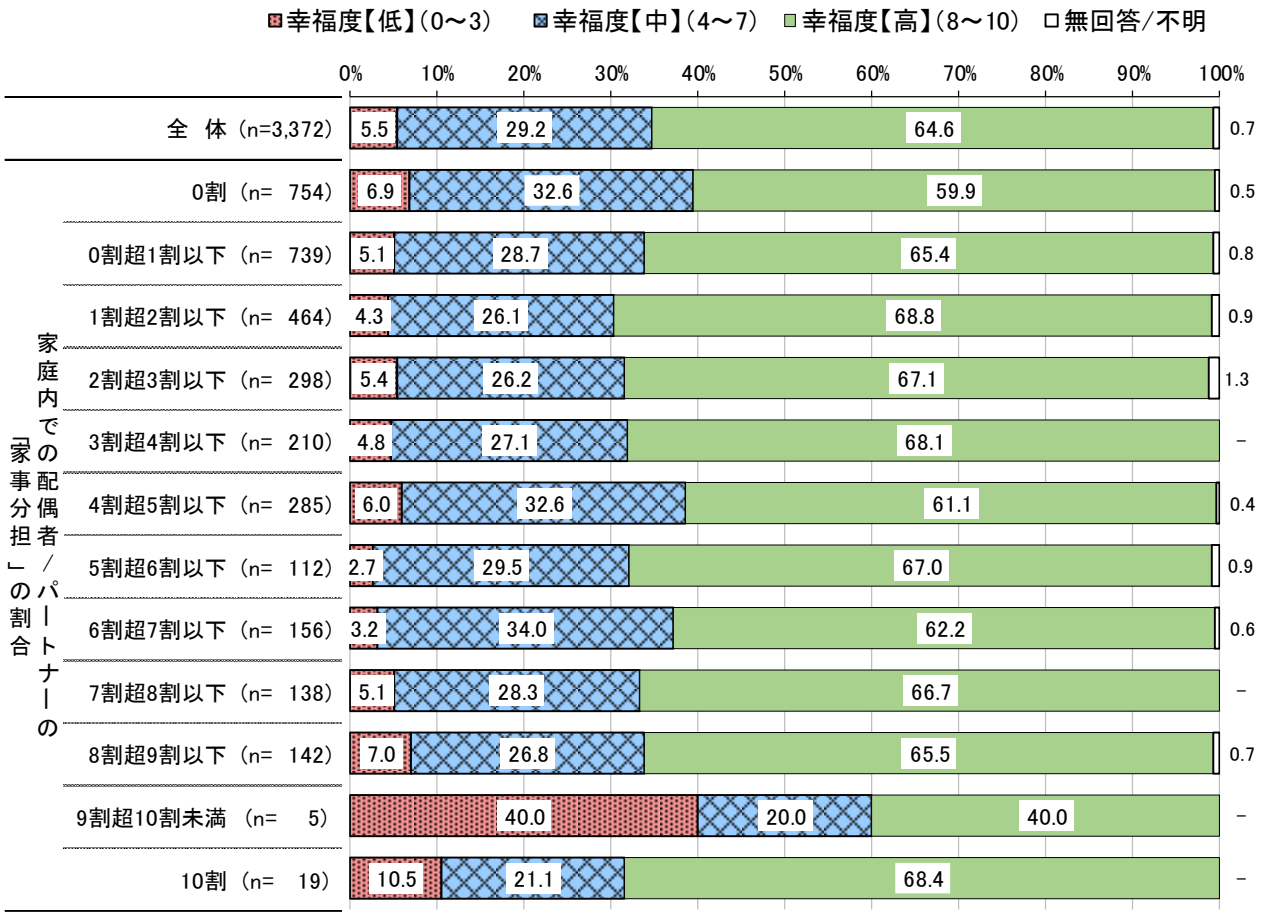
図表 2-47 家庭内での配偶者／パートナーの「家事分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内での配偶者／パートナーの『家事分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「1割超2割以下」と回答した保護者の子供の 68.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-48 子供の幸福度(「家庭内での配偶者／パートナーの『家事分担』の割合」の回答別)

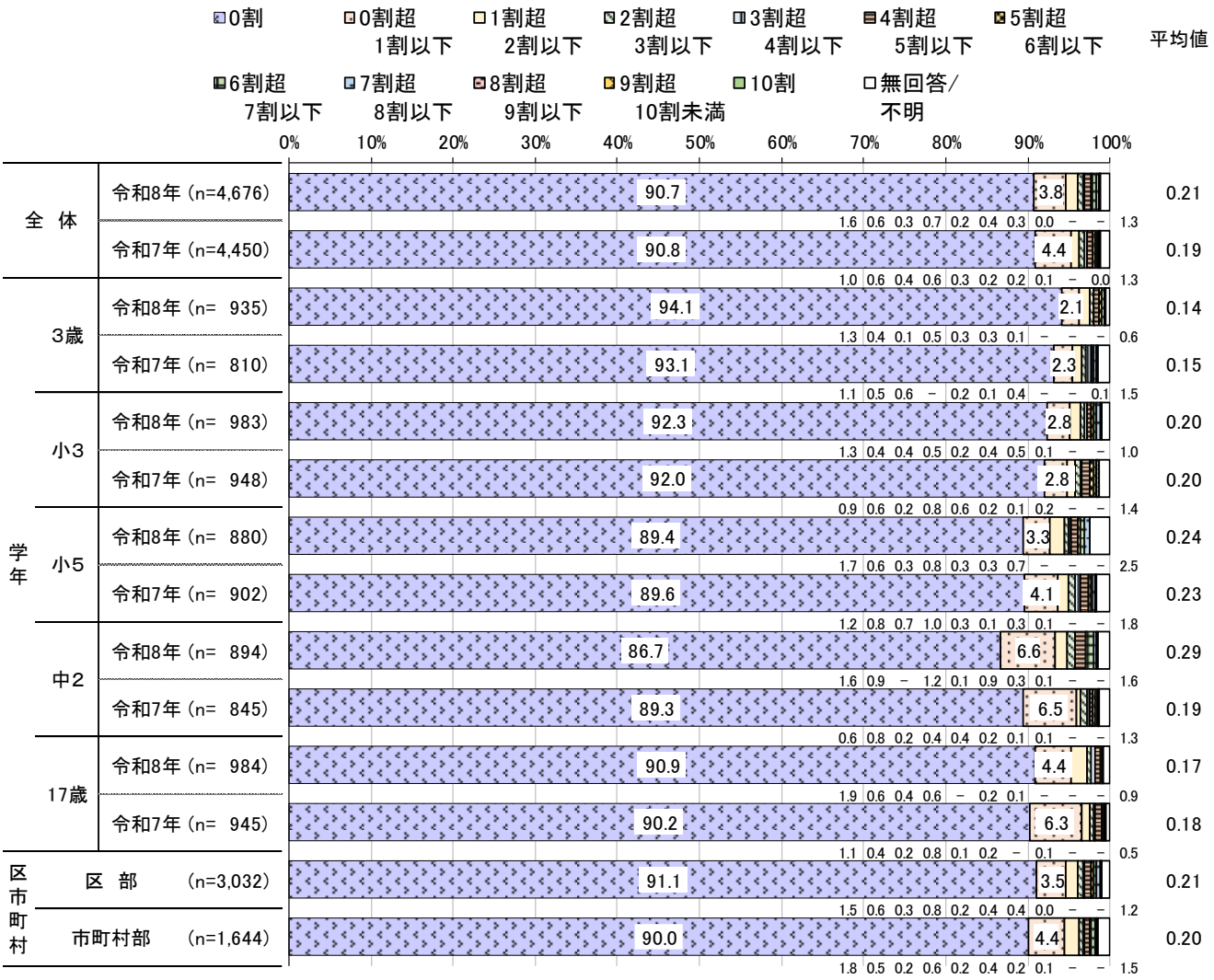


（保護者：共通）問 20A. ご家庭内での「家事の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（3. その他の割合）

【全体】
「0割」が 90.7％で最も高い。平均値は 0.21 割である。

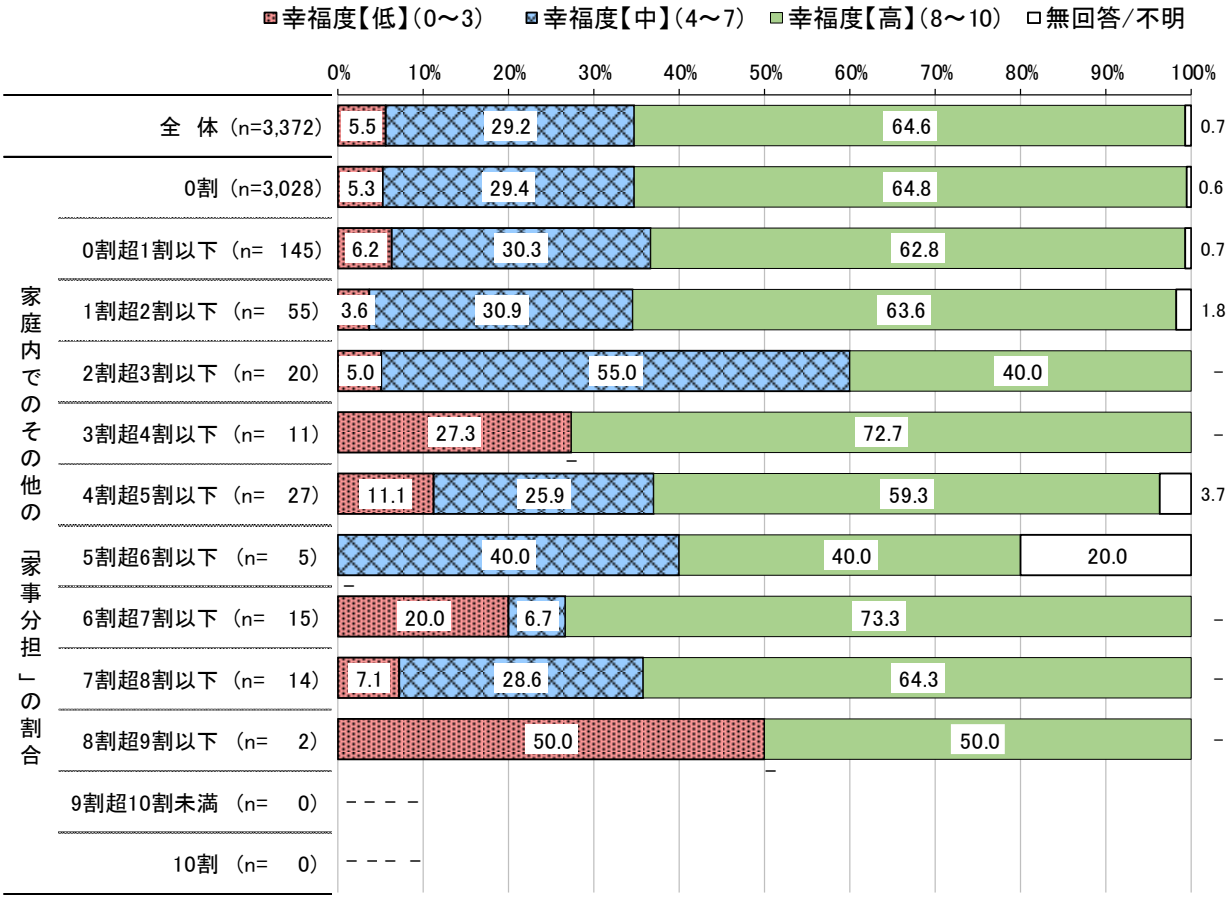
【学年別】
いずれの学年でも「0割」が最も高いが、3歳が 94.1％で最も高く、中2が 86.7％で最も低い。平均値は、中2が 0.29 割で最も高く、3歳が 0.14 割で最も低い。

図表 2-49 家庭内でのその他の「家事分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

図表 2-50 子供の幸福度（「家庭内でのその他の『家事分担』の割合」の回答別）



（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（1. あなたの割合）

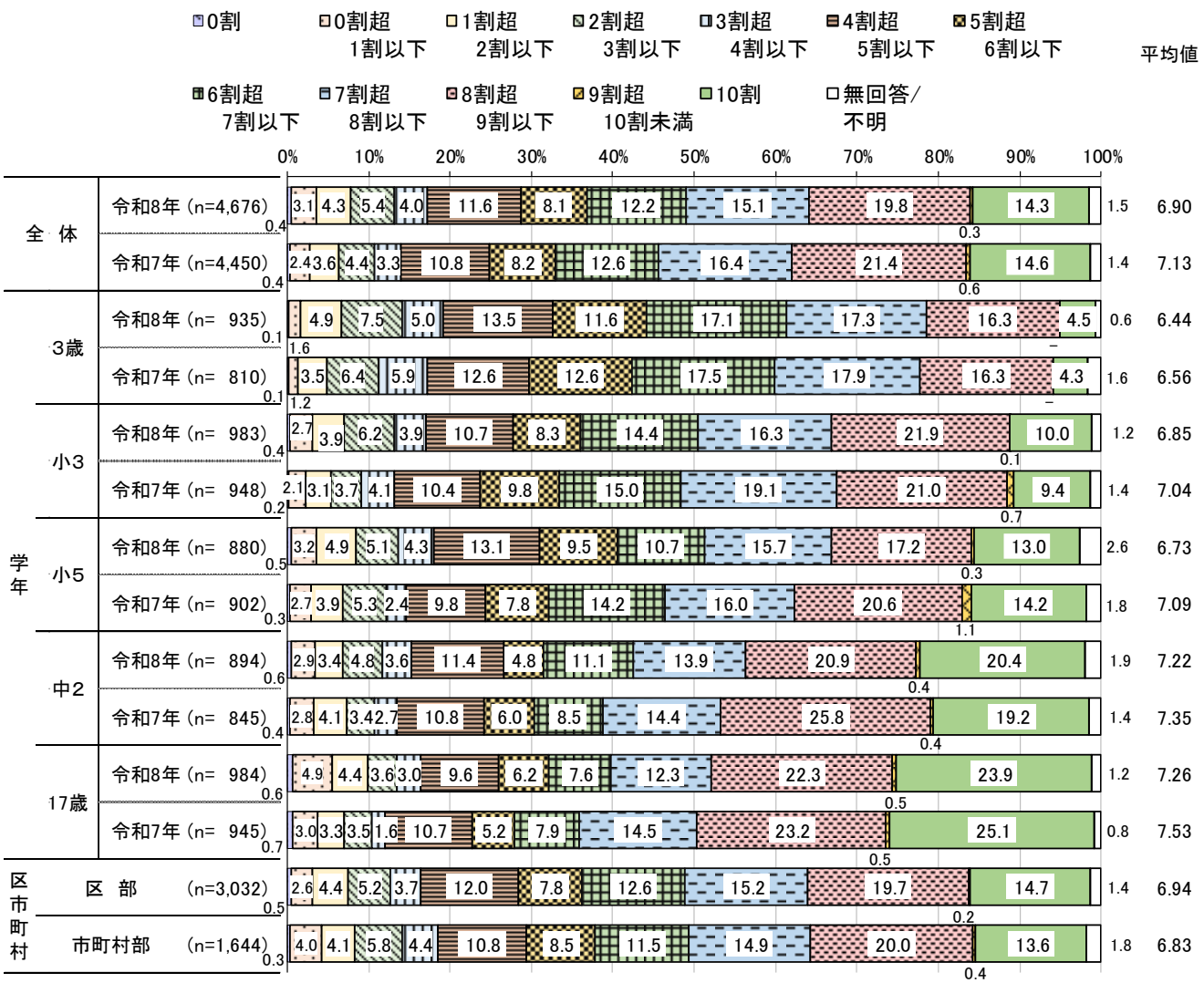
【全体】

「8割超9割以下」が 19.8％で最も高く、次いで「7割超8割以下」が 15.1％、「10 割」が 14.3％で、平均値は 6.90 割である。

【学年別】

3歳では「7割超8割以下」、小3、小5、中2では「8割超9割以下」、17 歳では「10 割」が最も高い。平均値は、17 歳が 7.26 割で最も高く、3歳が 6.44 割で最も低い。

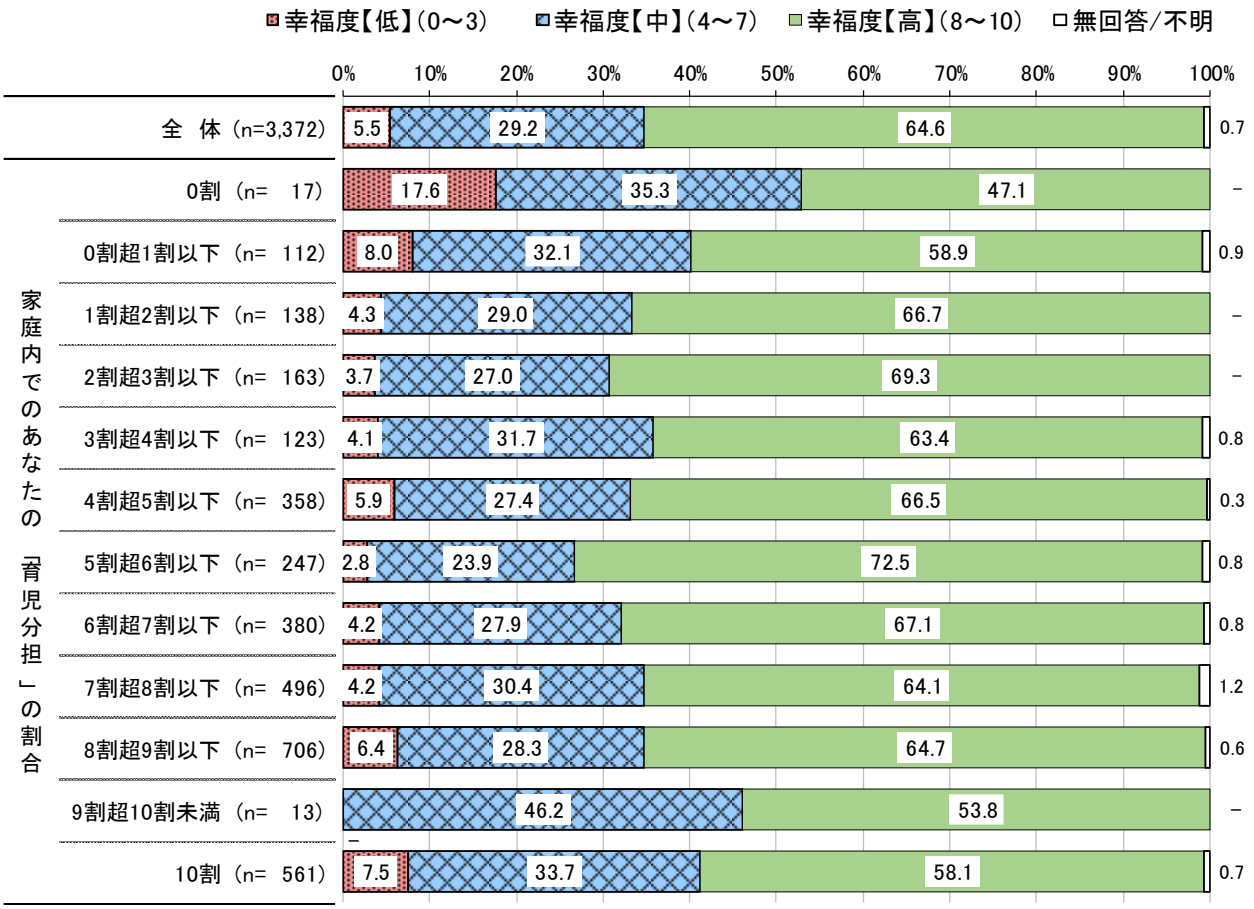
図表 2-51 家庭内でのあなたの「育児分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内でのあなたの『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「5割超6割以下」と回答した保護者の子供の 72.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-52 子供の幸福度(「家庭内でのあなたの『育児分担』の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（2. 配偶者／パートナーの割合）

【全体】

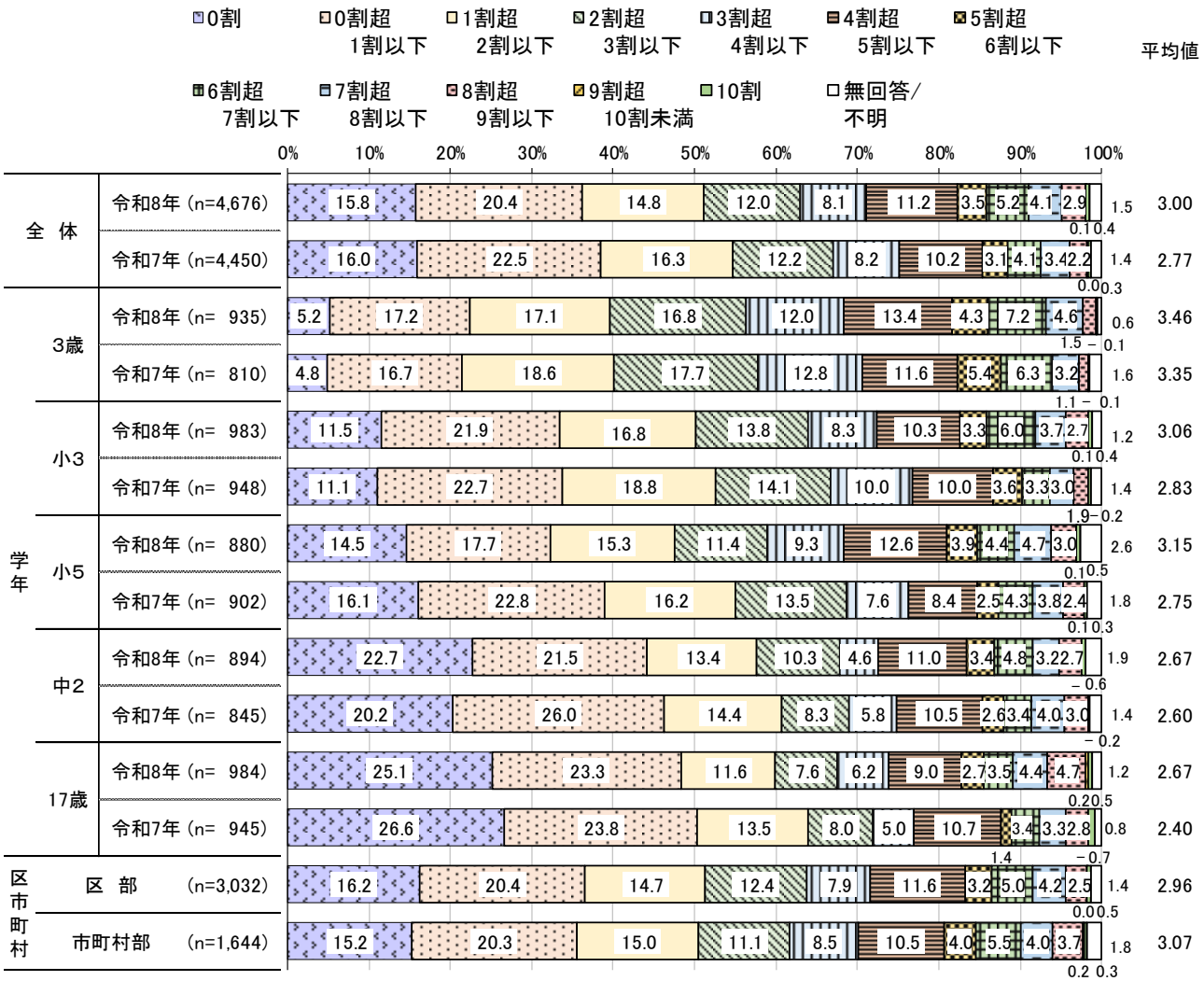
「0割超1割以下」が 20.4％で最も高く、次いで「0割」が 15.8％、「1割超2割以下」が 14.8％で、平均値は 3.00 割である。

【学年別】

3歳、小3、小5では「0割超1割以下」、中2、17 歳では「0割」が最も高い。平均値は、3歳が 3.46 割で最も高く、中2、17 歳が 2.67 割で最も低い。

経年比較でみると、小5で「0割超1割以下」が 5.1 ポイント減少している。

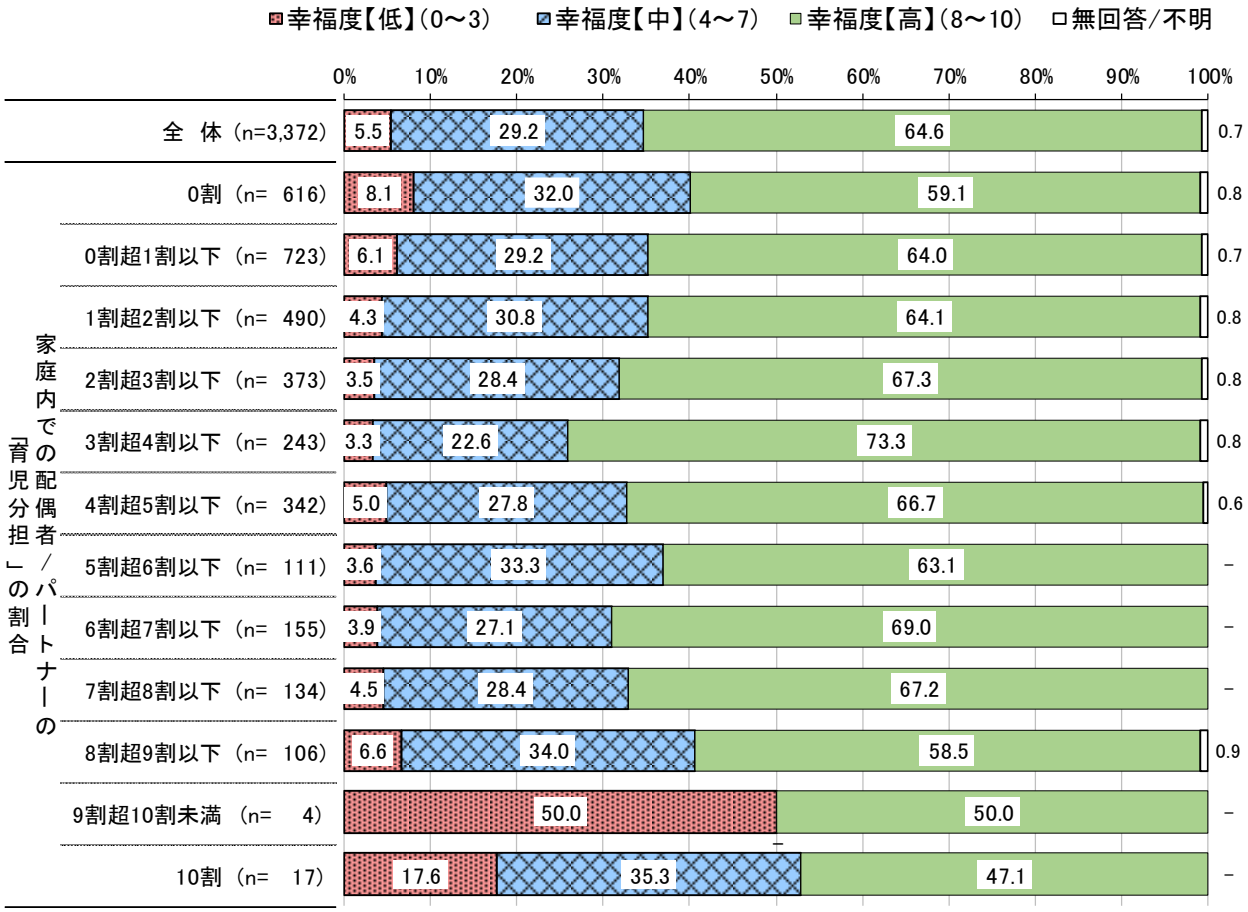
図表 2-53 家庭内での配偶者／パートナーの「育児分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

「家庭内での配偶者／パートナーの『育児分担』の割合」の回答別に子供の幸福度をみると、「3割超4割以下」と回答した保護者の子供の 73.3%が幸福度【高】(8～10)である。

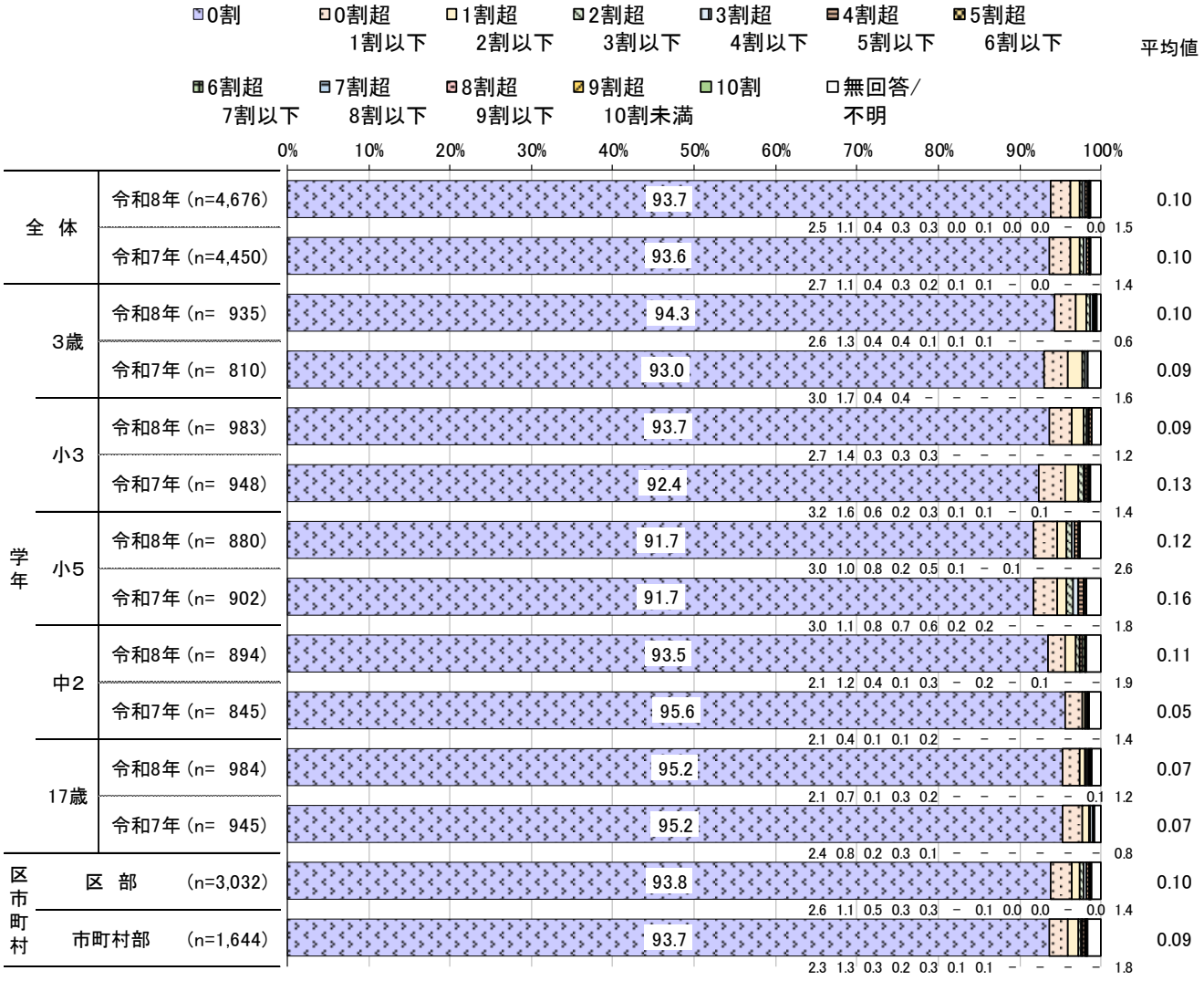
図表 2-54 子供の幸福度(「家庭内での配偶者／パートナーの『育児分担』の割合」の回答別)



（保護者：共通）問 20B. ご家庭内での「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（3. その他の割合）

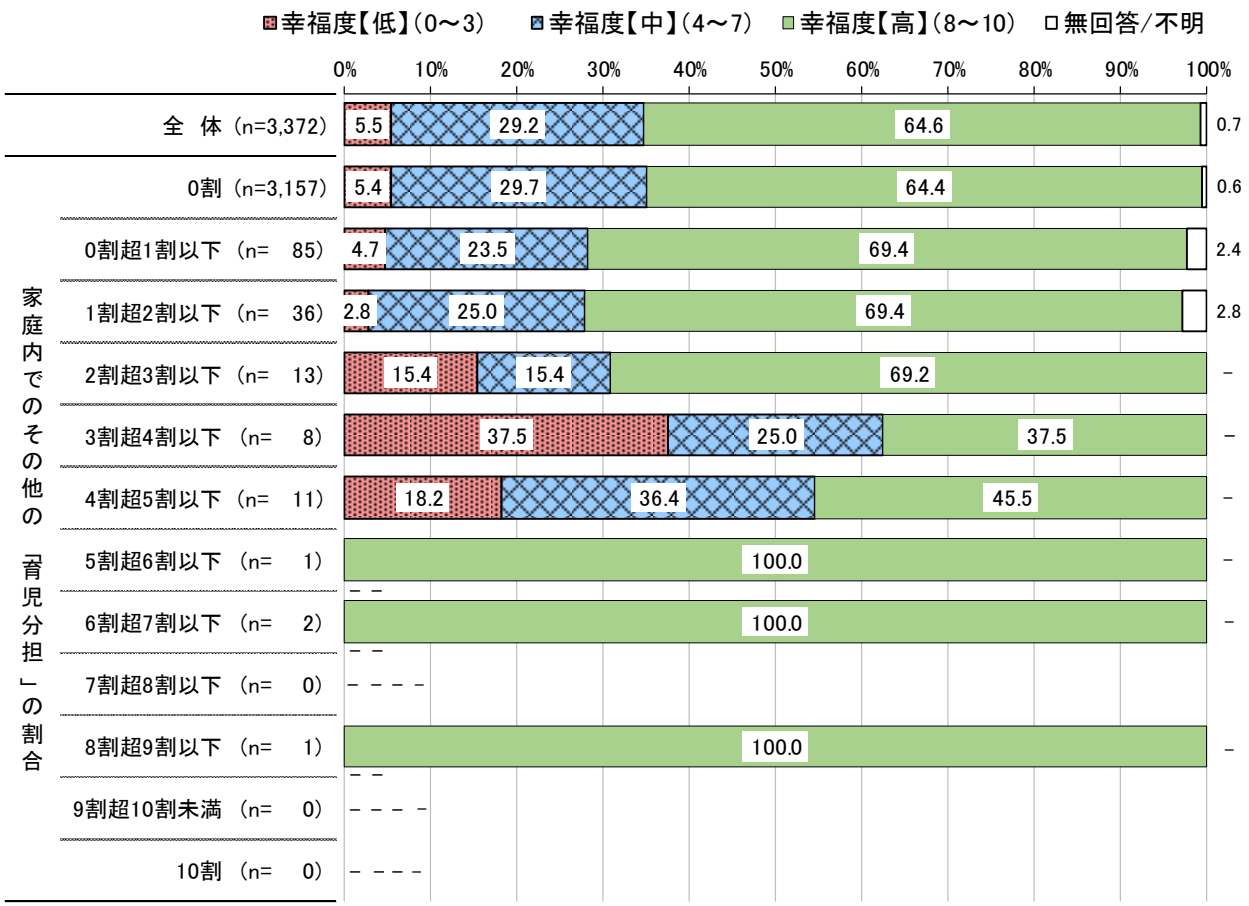
【全体】
「0割」が 93.7％で最も高い。平均値は 0.10 割である。

図表 2-55 家庭内でのその他の「育児分担」の割合 ＜数値回答＞



【子供の幸福度】

図表 2-56 子供の幸福度（「家庭内でのその他の『育児分担』の割合」の回答別）



（保護者：共通）問 21A.【配偶者／パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足していますか。（1つだけ）

【全体】

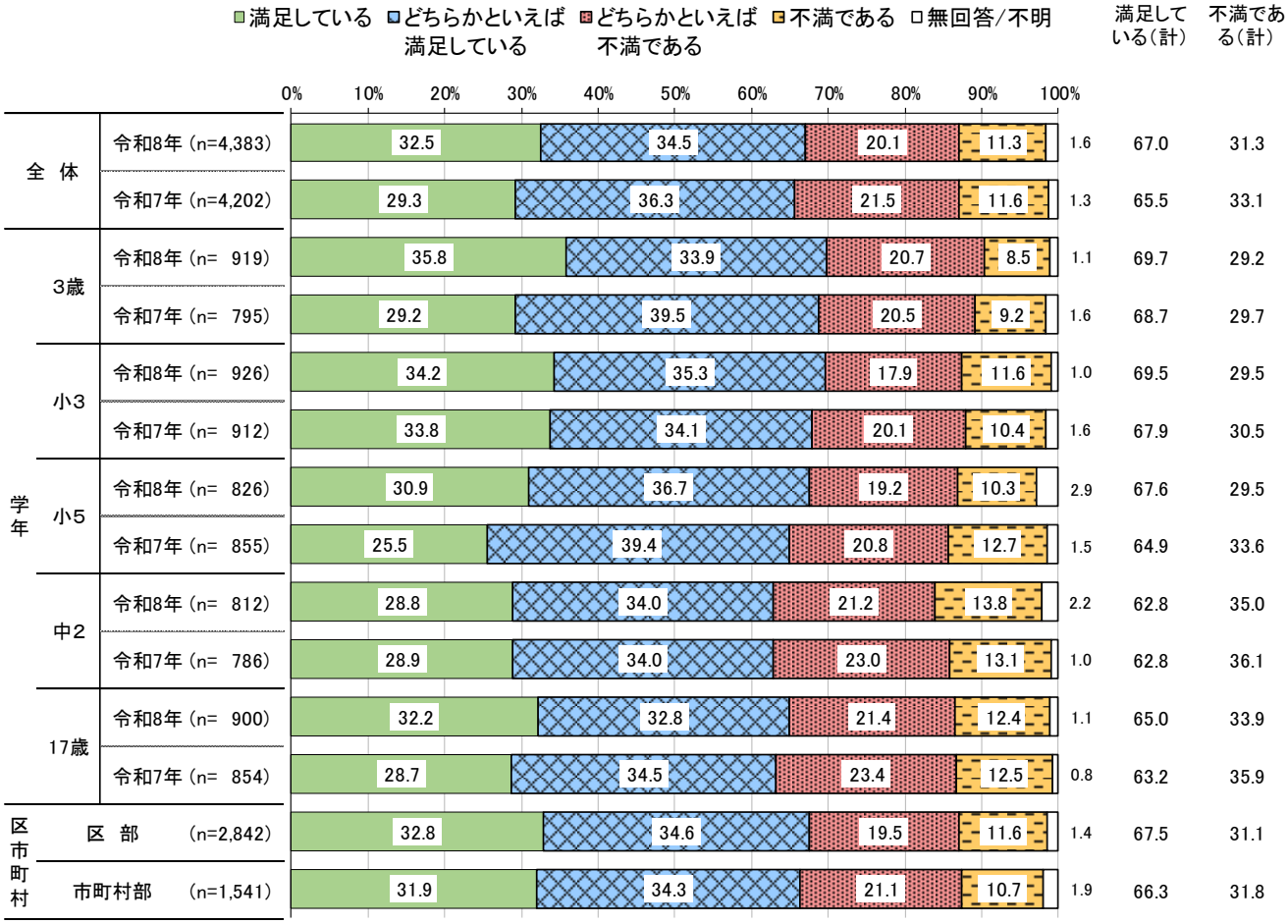
「あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足している」とする保護者は 67.0％（「満足している」が 32.5％＋「どちらかといえば満足している」が 34.5％）である。

【学年別】

「あなたと配偶者／パートナー間の今の家事分担に満足している」とする保護者は（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）は、3歳で最も高く、69.7％である。

経年比較でみると、3歳で「満足している」が 6.6 ポイント増加しており、「どちらかといえば満足している」が 5.6 ポイント減少している。また、小5で「満足している」が 5.4 ポイント増加している。

図表 2-57 家庭内での家事分担の満足度 ＜単一回答＞

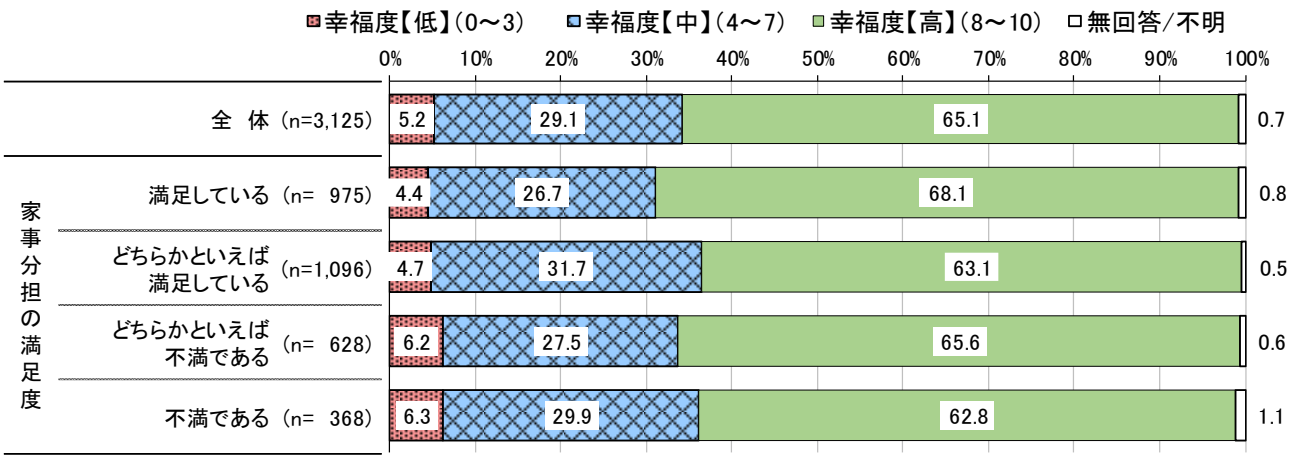


※満足している（計）は「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合。
不満である（計）は「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の割合。

【子供の幸福度】

「家庭内での家事分担の満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、「満足している」と回答した保護者の子供の68.1%が幸福度【高】(8～10)で、「不満である」と回答した保護者の子供の 62.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-58 子供の幸福度(「家庭内での家事分担の満足度」の回答別)



（保護者：共通）問 21B.【配偶者／パートナーがいる方にお聞きします。】
あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

【全体】

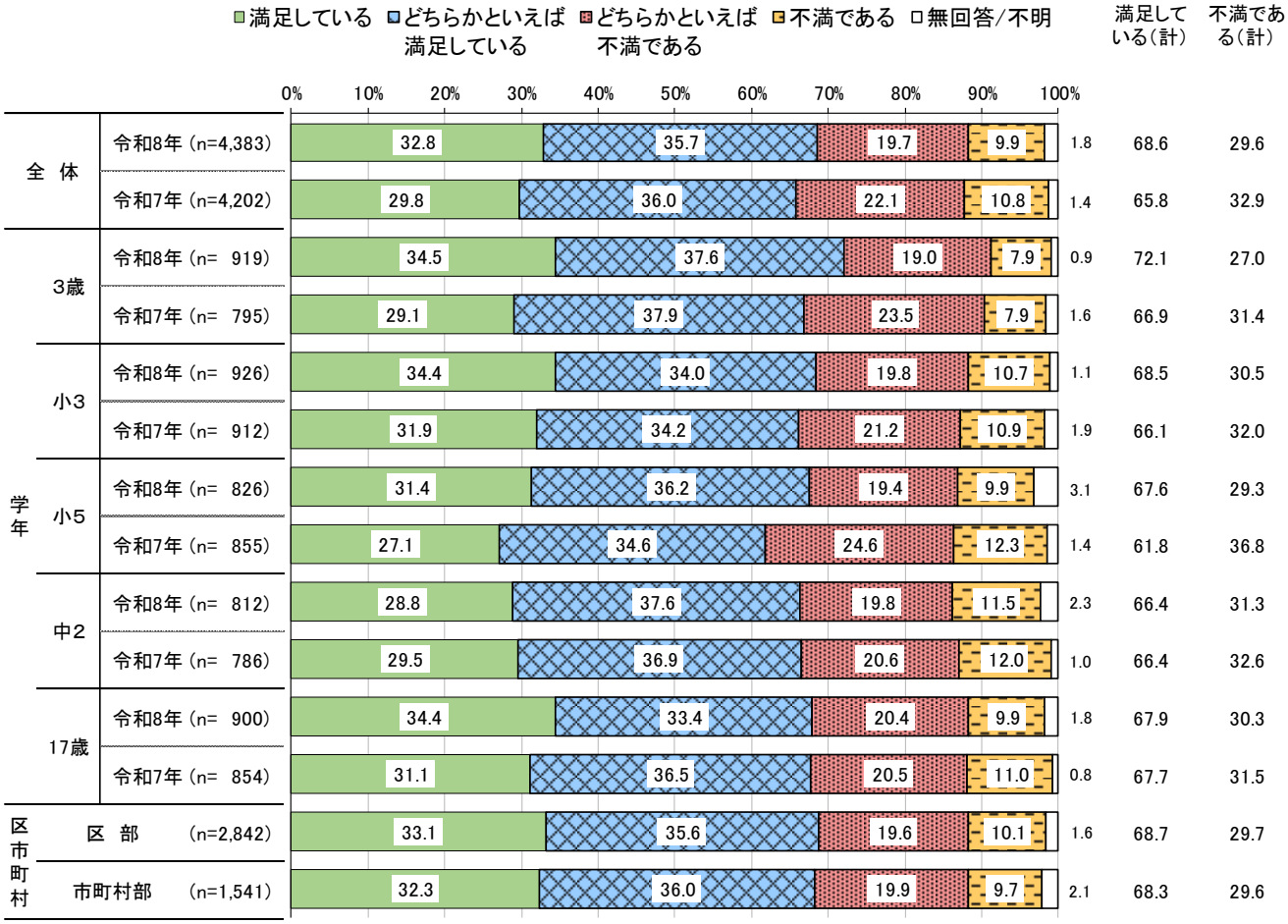
「あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している」とする保護者は 68.6％（「満足している」が 32.8％＋「どちらかといえば満足している」が 35.7％）である。

【学年別】

「あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している」とする保護者（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）は、3歳で最も高く、72.1％である。

経年比較でみると、3歳で「満足している」が 5.4 ポイント増加している。小5で「どちらかといえば不満である」が 5.2 ポイント減少している。また、3歳、小5で「あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している」とする保護者（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合）が、それぞれ 5.2 ポイント、5.8 ポイント増加している。

図表 2-59 家庭内での育児分担の満足度 ＜単一回答＞

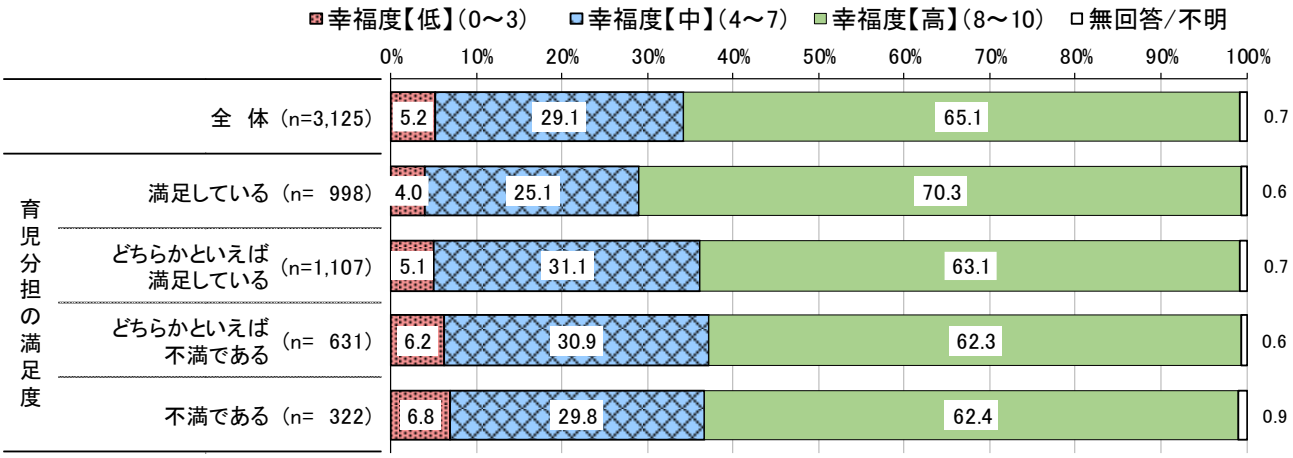


※満足している（計）は「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合。
不満である（計）は「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の割合。

【子供の幸福度】

「家庭内での育児分担の満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、「満足している」と回答した保護者の子供の70.3%が幸福度【高】(8～10)で、「不満である」と回答した保護者の子供の 62.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-60 子供の幸福度(「家庭内での育児分担の満足度」の回答別)



（保護者：共通）問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。

（いくつでも）

（A 介護・補助が必要な方）

【全体】

介護や補助が必要な人の中では、「祖父母」が 3.3%で最も高く、次いで「お子様のきょうだい」が 1.5%、「お子様ご本人」が 1.3%、「父母（養継父・養継母含む）」が 1.0%と続く。なお、「介護や補助が必要な人はいない」が 88.9%で最も高い。

【学年別】

いずれの学年でも「介護や補助が必要な人はいない」が最も高い。誰か「介護や補助が必要な人がいる（計）」とする保護者は、17 歳が 10.5%で最も高い。

図表 2-61 A 介護・補助が必要な方 ＜複数回答＞

(%)

			n	祖父母	父母（養継父・養継母含む）	お子様ご本人	お子様のきょうだい	その他	介護や補助が必要な人はいない	無回答/不明	介護や補助が必要な人がいる（計）
全体		令和8年	4,676	3.3	1.0	1.3	1.5	0.4	88.9	4.0	7.1
		令和7年	4,450	3.6	1.3	1.1	1.2	0.5	88.3	4.3	7.4
学年	3歳	令和8年	935	2.2	0.5	1.2	1.1	0.2	91.6	3.7	4.7
		令和7年	810	3.1	0.6	1.2	1.2	0.2	90.2	4.1	5.7
	小3	令和8年	983	2.6	1.4	1.3	1.4	0.7	89.8	3.5	6.7
		令和7年	948	2.1	0.6	1.1	1.1	0.2	90.7	4.3	5.0
	小5	令和8年	880	2.0	0.8	1.8	1.7	0.6	89.0	4.4	6.6
		令和7年	902	3.4	1.1	1.0	1.3	0.4	86.8	5.9	7.3
	中2	令和8年	894	3.7	0.9	0.6	1.2	0.3	88.6	4.8	6.6
		令和7年	845	4.5	1.7	0.9	1.5	0.8	87.3	3.4	9.2
	17歳	令和8年	984	5.7	1.4	1.6	2.0	0.2	85.9	3.7	10.5
		令和7年	945	5.0	2.2	1.2	1.1	0.6	86.3	3.9	9.7
区市町村	区部		3,032	3.4	1.1	1.4	1.3	0.4	89.0	4.1	7.0
	市町村部		1,644	3.0	1.0	1.2	1.8	0.5	88.9	3.9	7.2

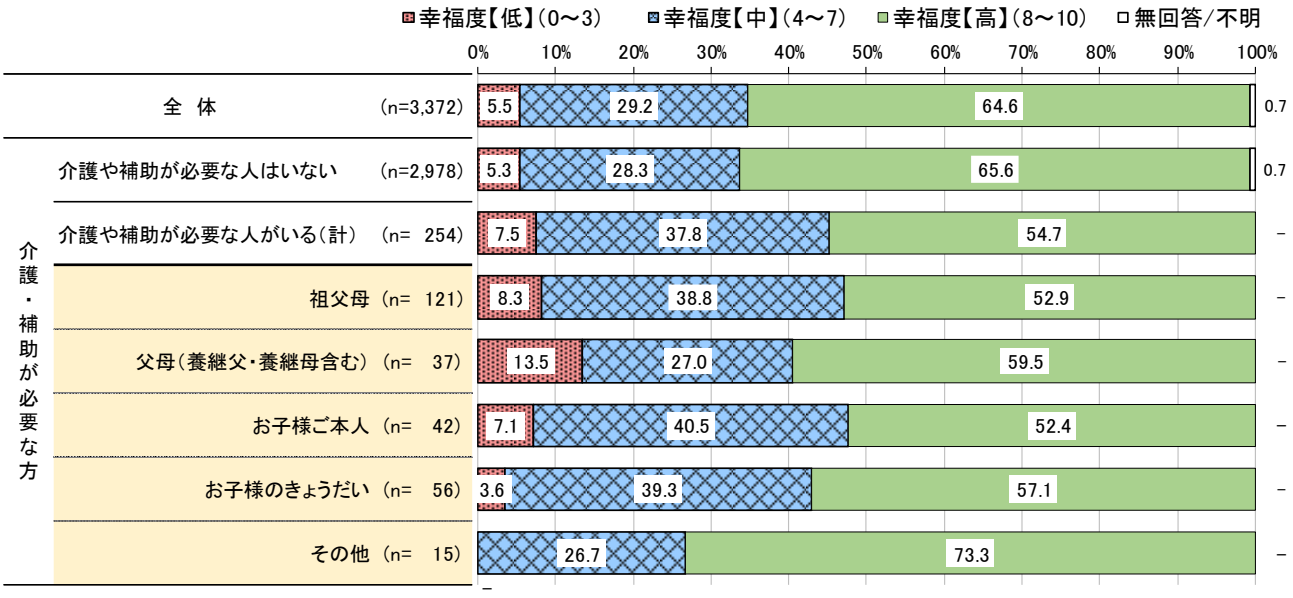
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※介護や補助が必要な人がいる（計）は「祖父母」～「お子様のきょうだい」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「介護・補助が必要な方」の回答別に子供の幸福度をみると、誰か「介護や補助が必要な人がいる(計)」とする保護者の子供の 54.7%が幸福度【高】(8～10)で、「介護や補助が必要な人はいない」と回答した保護者の子供の 65.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-62 子供の幸福度(「介護・補助が必要な方」の回答別)



（保護者：共通）問 22. ご家庭内に障害・病気などにより、介護や日常生活の補助（食事、入浴など）が必要な方はいますか。また、主に介護・補助をされている方はどなたですか。お子様から見た関係性でお答えください。

（いくつでも）

（B 主に介護・補助をされている方）※A で「祖父母」～「お子様のきょうだい」「その他」と回答された方

【全体】

「父母（養継父／養継母含む）」が 66.7%で最も高く、次いで「祖父母」が 24.2%、「その他」が 8.5%、「お子様ご本人」が 5.8%、「お子様のきょうだい」が 4.5%と続く。

【学年別】

いずれの学年でも「父母（養継父・養継母含む）」が最も高い。

【区市町村別】

区部は「祖父母」が 27.8%で、市町村部に比べて 10.0 ポイント高い。

図表 2-63 B 主に介護・補助をされている方 ＜複数回答＞

(%)

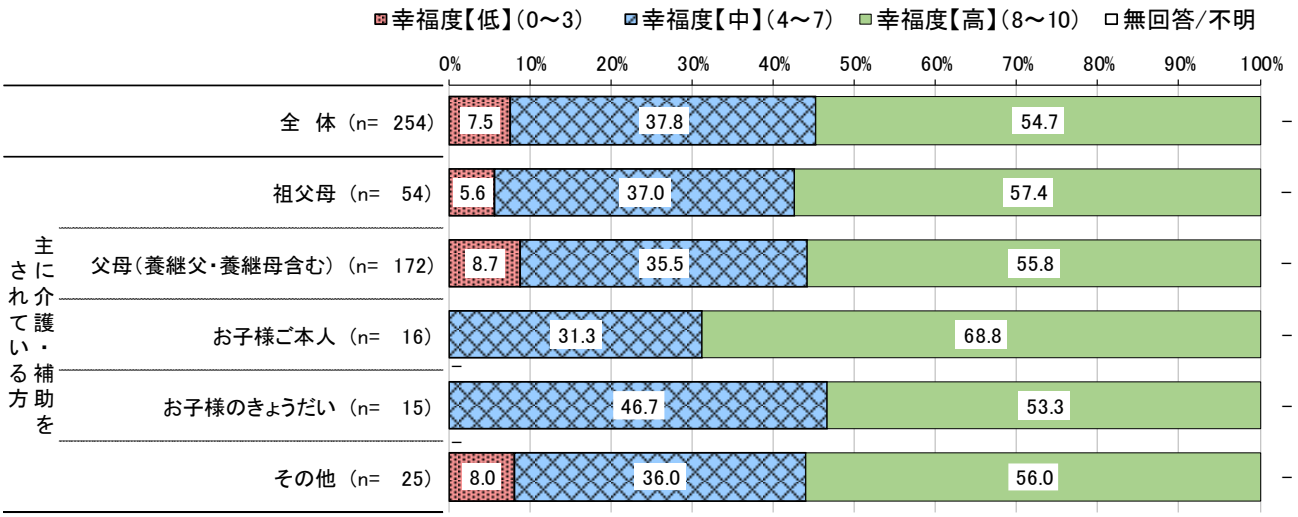
			n	祖父母	父母（養継父・養継母含む）	お子様ご本人	お子様のきょうだい	その他	無回答/不明
全体		令和8年	330	24.2	66.7	5.8	4.5	8.5	0.3
		令和7年	329	28.3	60.2	5.5	6.4	9.4	1.2
学年	3歳	令和8年	44	31.8	63.6	4.5	－	4.5	－
		令和7年	46	43.5	47.8	－	8.7	6.5	2.2
	小3	令和8年	66	22.7	65.2	4.5	7.6	7.6	－
		令和7年	47	25.5	55.3	4.3	10.6	8.5	2.1
	小5	令和8年	58	24.1	69.0	6.9	5.2	5.2	1.7
		令和7年	66	25.8	66.7	3.0	1.5	9.1	－
	中2	令和8年	59	20.3	62.7	10.2	6.8	15.3	－
		令和7年	78	25.6	53.8	7.7	6.4	14.1	1.3
	17歳	令和8年	103	24.3	69.9	3.9	2.9	8.7	－
		令和7年	92	26.1	69.6	8.7	6.5	7.6	1.1
区市町村	区部		212	27.8	63.2	6.6	4.7	9.4	0.5
	市町村部		118	17.8	72.9	4.2	4.2	6.8	－

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

「主に介護・補助をされている方」の回答別に子供の幸福度をみると、「祖父母」と回答した保護者の子供の 57.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-64 子供の幸福度(「主に介護・補助をされている方」の回答別)



【自由記述】

その他（家庭内で介護・補助が必要な方）
曽祖母（保護者・3歳）
曾祖母（保護者・小3）
おば（保護者・小3）
伯父（保護者・小3）
曽祖父母（保護者・小5）
叔父（保護者・小5）
パートナー（保護者・小5）
伯父（保護者・中2）
曽祖母（保護者・17 歳）
叔父（保護者・17 歳）

【自由記述】

その他（介護・補助に関わっている方）
叔母（保護者・3歳）
叔父（保護者・小3）
施設入所（保護者・小3）
伯母（保護者・中2）
介護ホーム職員の方（保護者・中2）
在宅介護のヘルパーさん（保護者・中2）
母の姉、兄。子から見たら伯母、伯父。（保護者・17 歳）
叔母（保護者・17 歳）
施設（保護者・17 歳）
ケアマネージャーなど（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　毎日たくさん笑っている）

【全体】

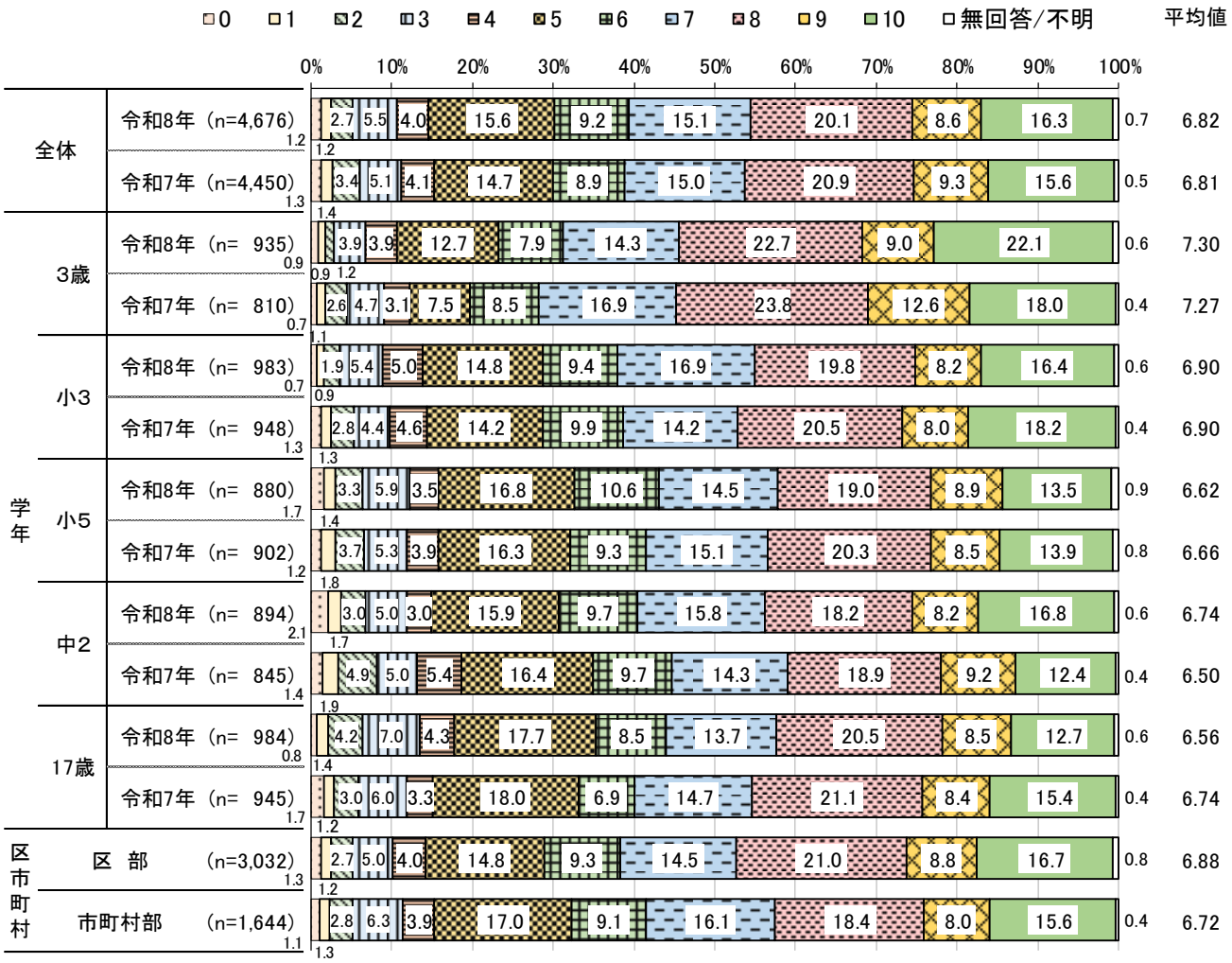
「8」が 20.1%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.2%、「10」（とてもあてはまる）は 16.3%で、平均値は 6.82 である。

【学年別】

いずれの学年でも「8」が最も高い。平均値は、3歳が 7.30 で最も高く、17 歳が 6.56 で最も低い。

経年比較でみると、3歳で「5」が 5.2 ポイント増加している。

図表 2-65 A 毎日たくさん笑っている ＜単一回答＞

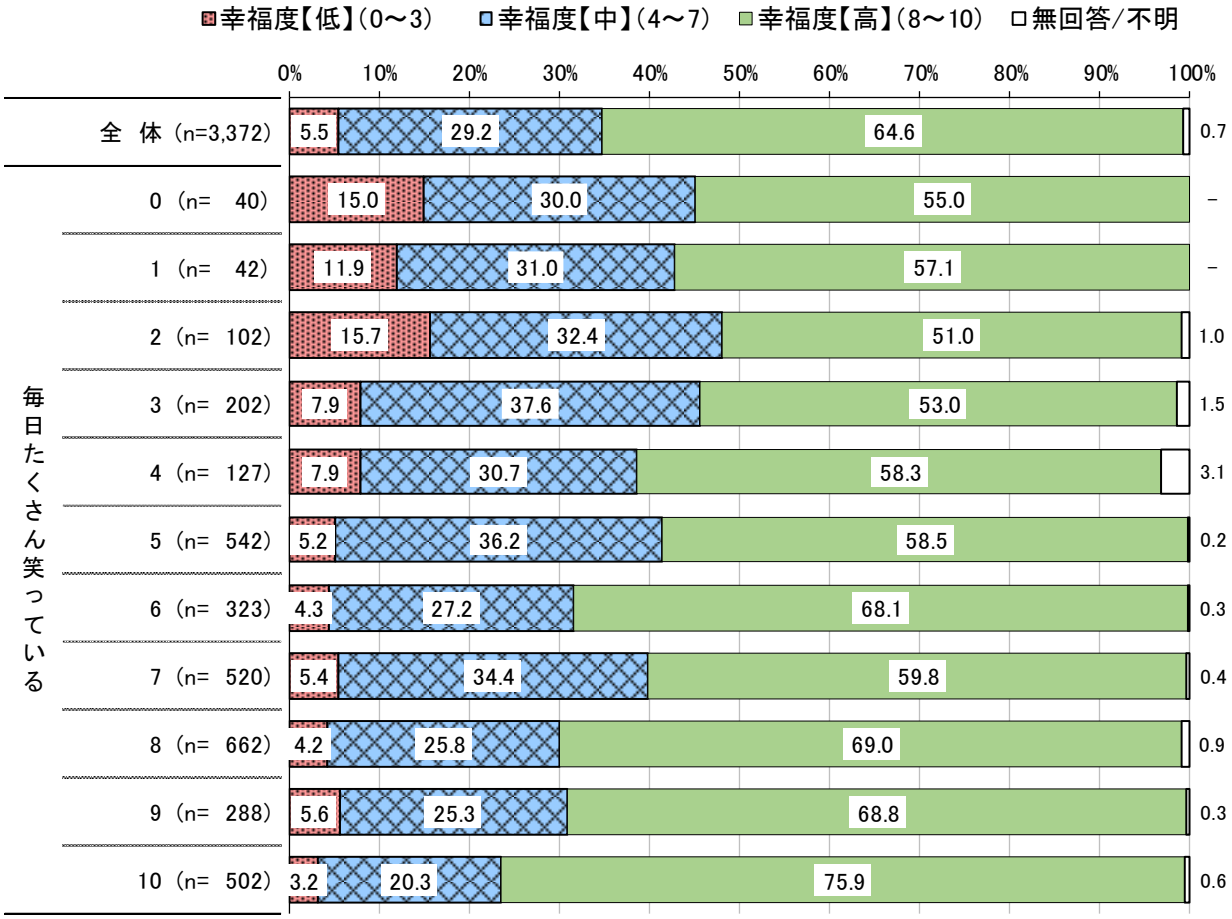


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「毎日たくさん笑っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の75.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-66 子供の幸福度(「毎日たくさん笑っている」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　今の自分は幸せだ）

【全体】

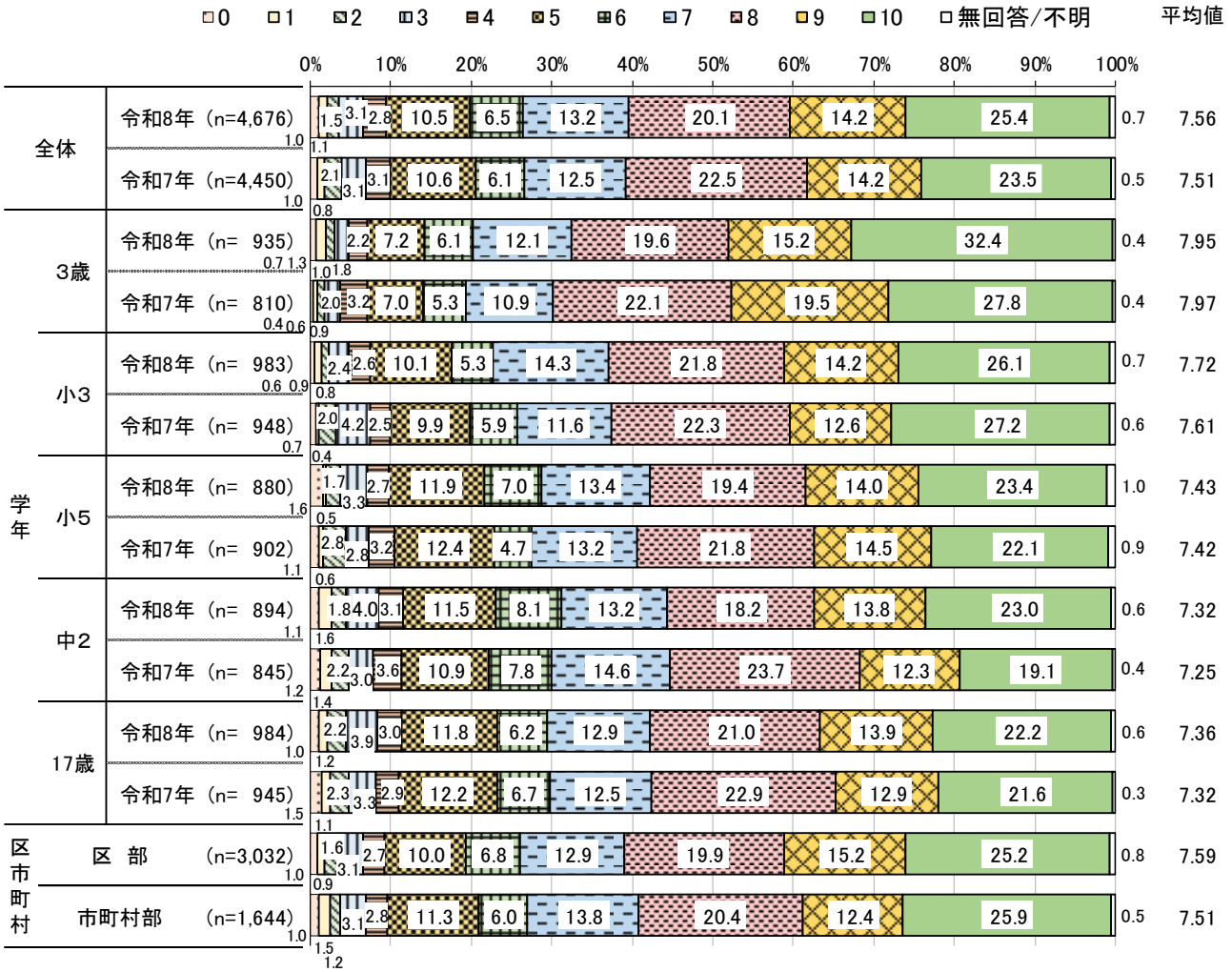
「10」（とてもあてはまる）が 25.4％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.0％で、平均値は 7.56 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高い。「10」（とてもあてはまる）は、学年が上がると減少傾向である。平均値は、3歳が 7.95 で最も高く、中2が 7.32 で最も低い。

経年比較でみると、中2で「8」が 5.5 ポイント減少している。

図表 2-67　B 今の自分は幸せだ　＜単一回答＞

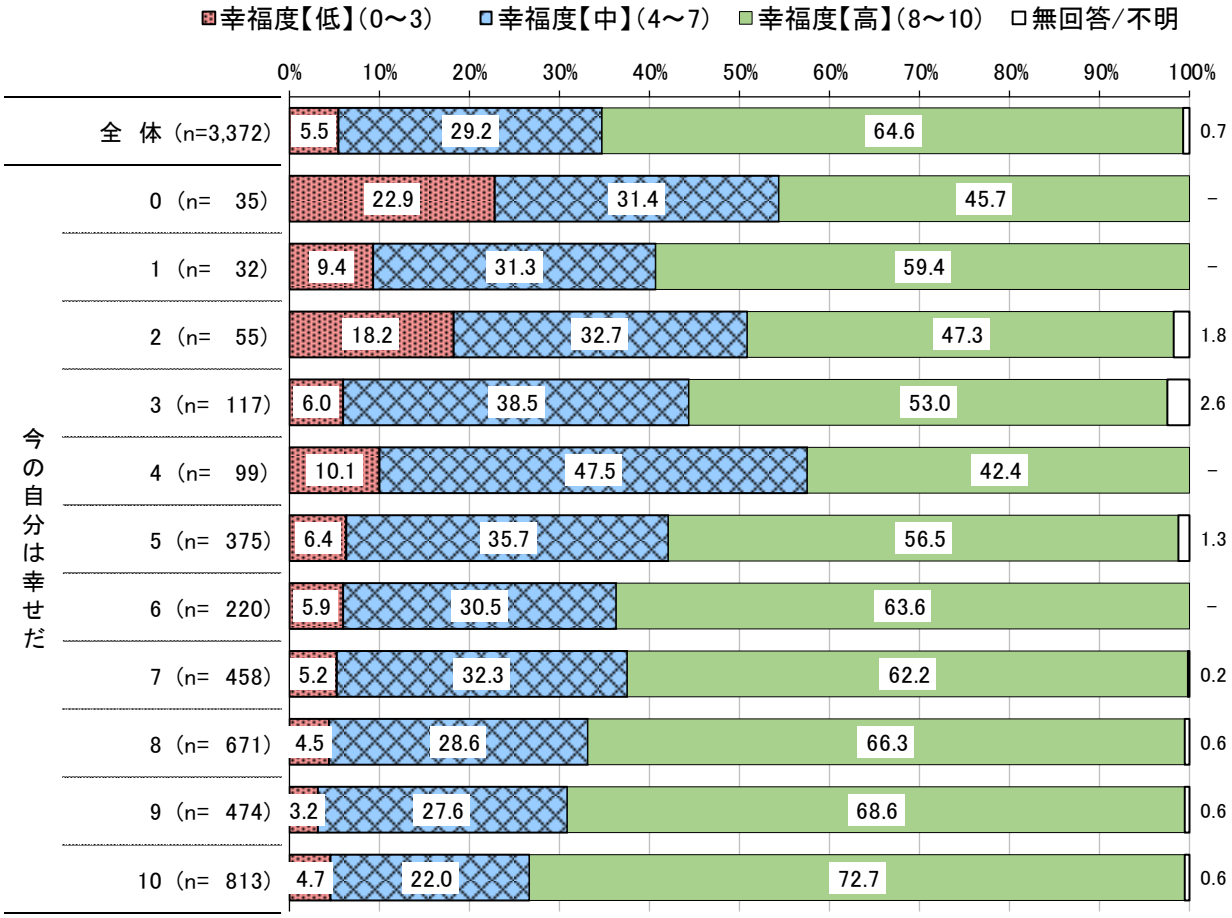


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分は幸せだ」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の72.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-68 子供の幸福度(「今の自分は幸せだ」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　今の自分の生活に満足している）

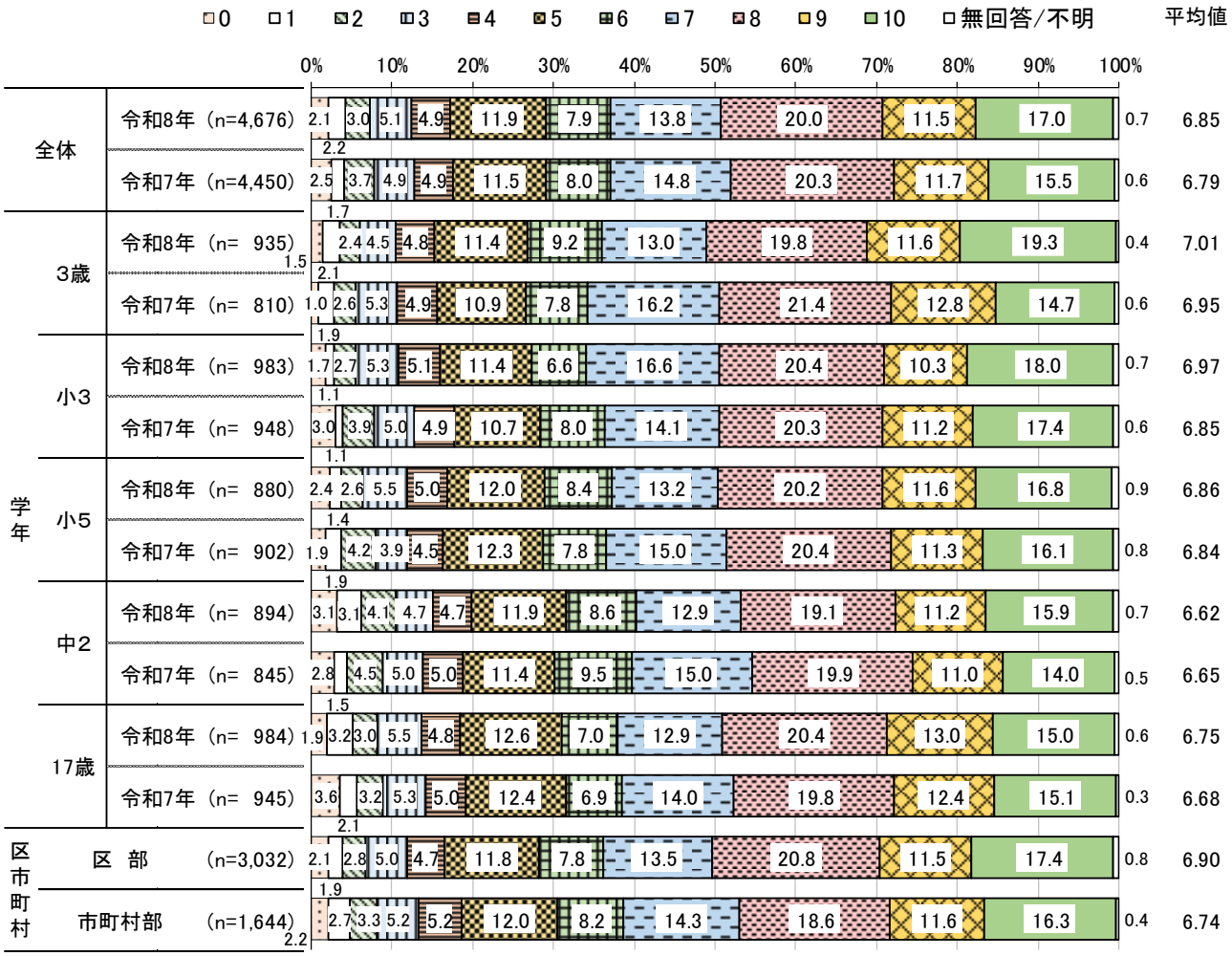
【全体】

「8」が 20.0%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.1%、「10」（とてもあてはまる）は 17.0%で、平均値は 6.85 である。

【学年別】

いずれの学年でも「8」が最も高い。平均値は、3歳が 7.01 で最も高く、中2が 6.62 で最も低い。

図表 2-69　C 今の自分の生活に満足している　＜単一回答＞

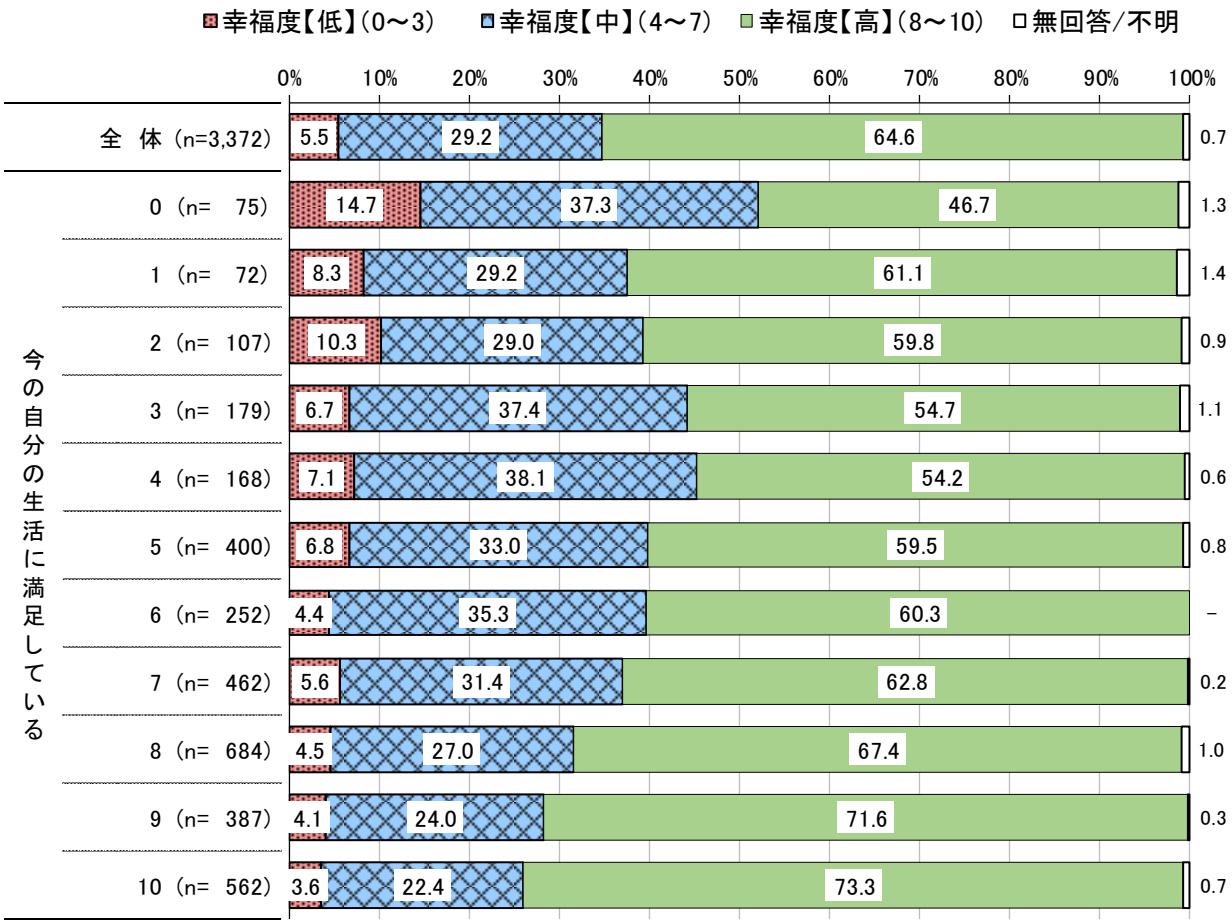


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分の生活に満足している」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 73.3%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 46.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-70 子供の幸福度(「今の自分の生活に満足している」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

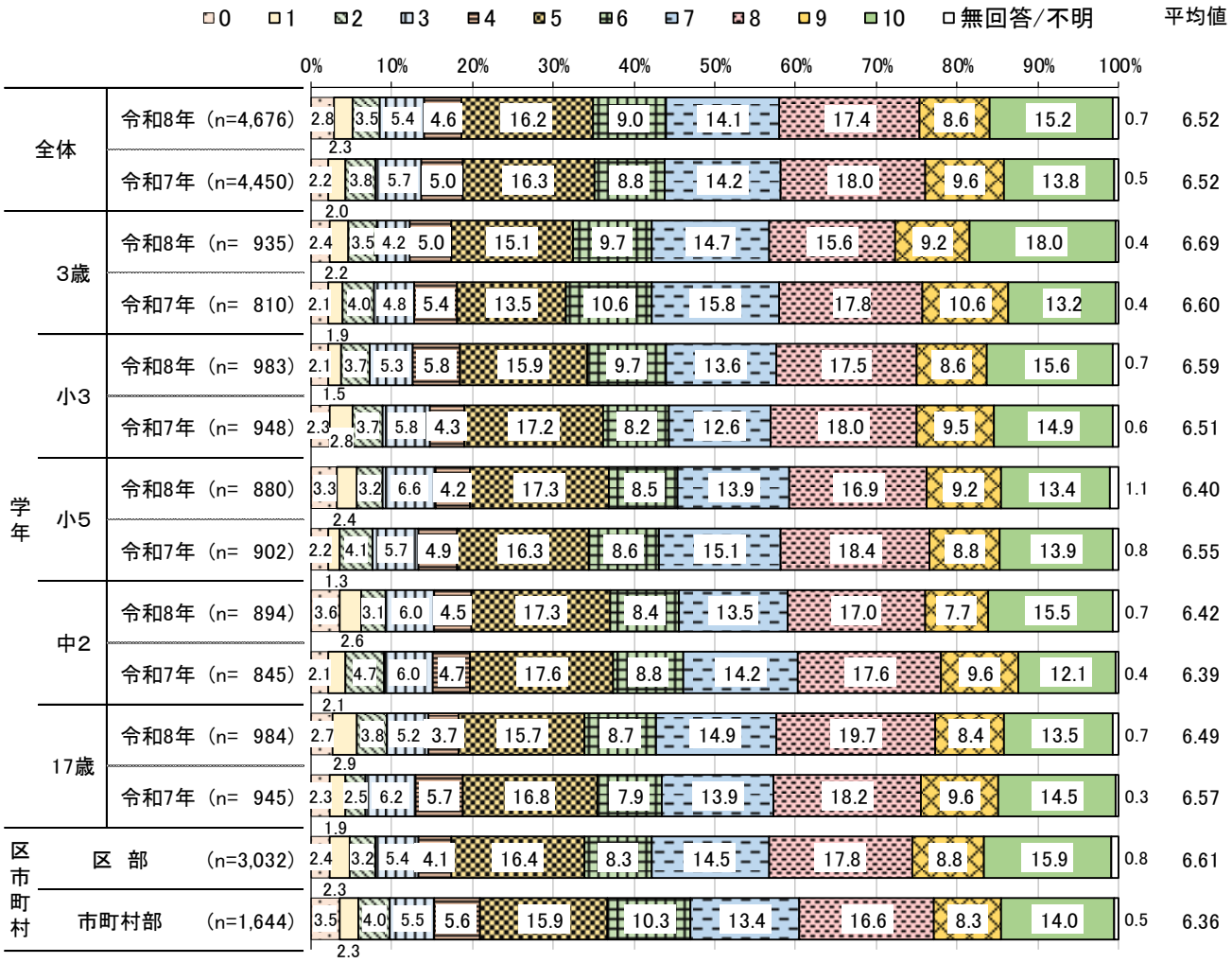
【全体】

「8」が 17.4%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.8%、「10」（とてもあてはまる）は 15.2%で、平均値は 6.52 である。

【学年別】

3歳では「10」（とてもあてはまる）、小3、17 歳では「8」、小5、中2では「5」が最も高い。平均値は、3歳が 6.69 で最も高く、小5が 6.40 で最も低い。

図表 2-71　D 今の自分が好きだ　＜単一回答＞

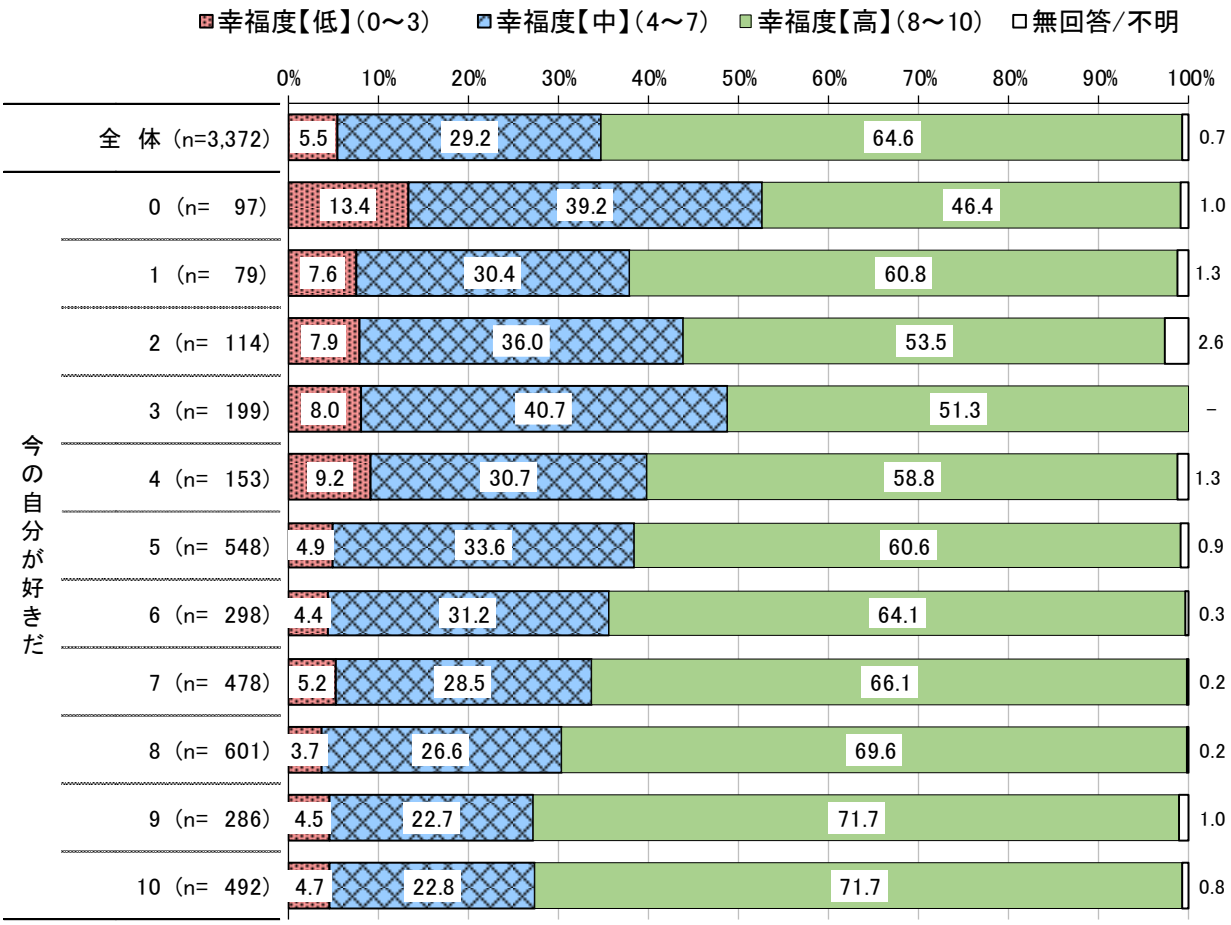


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「今の自分が好きだ」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の71.7%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 46.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-72 子供の幸福度(「今の自分が好きだ」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　人生を楽しんでいる）

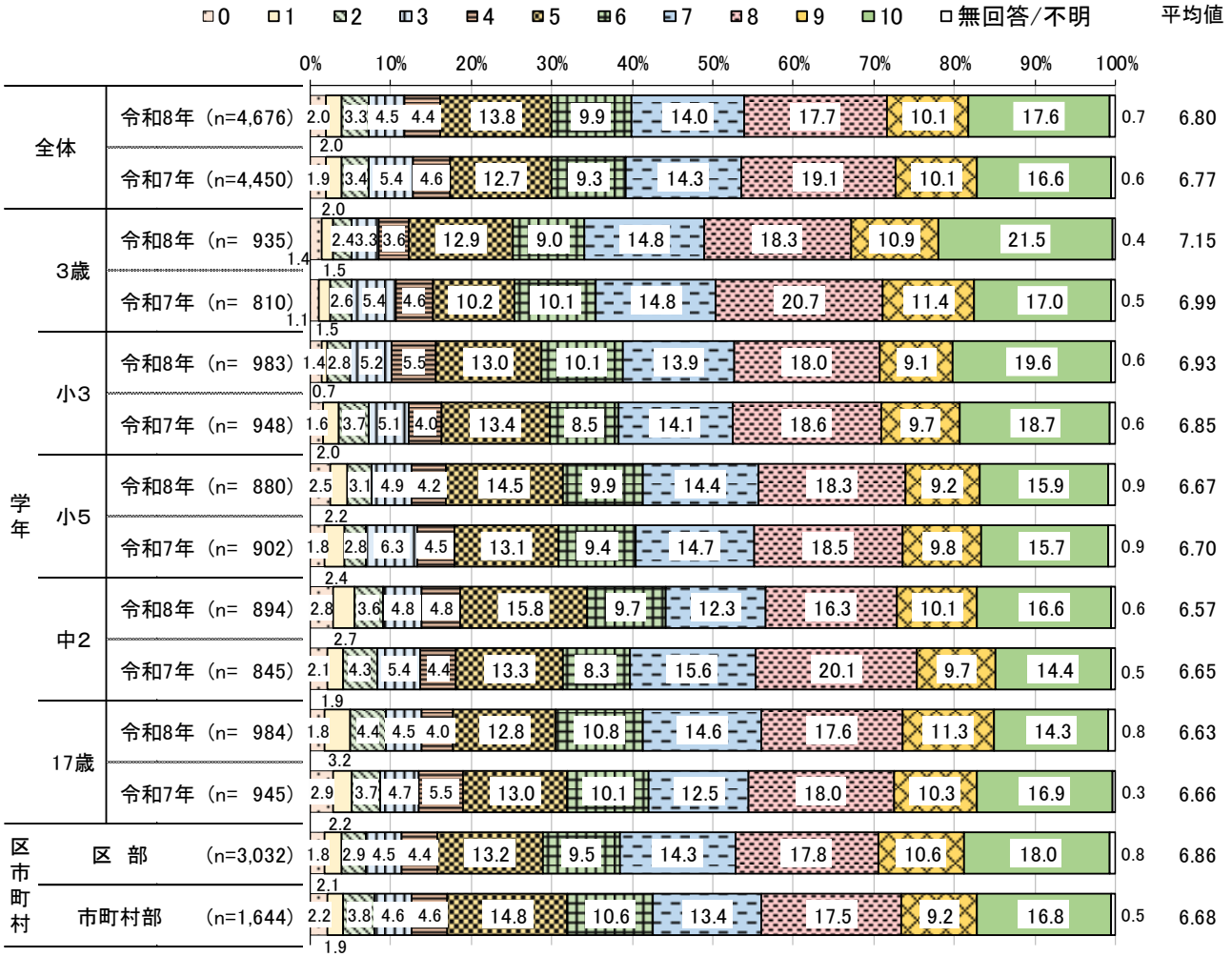
【全体】

「8」が 17.7%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 2.0%、「10」（とてもあてはまる）は 17.6%で、平均値は 6.80 である。

【学年別】

3歳、小3、中2では「10」（とてもあてはまる）、小5、17 歳では「8」が最も高い。平均値は、3歳が 7.15 で最も高く、中2が 6.57 で最も低い。

図表 2-73 E 人生を楽しんでいる ＜単一回答＞

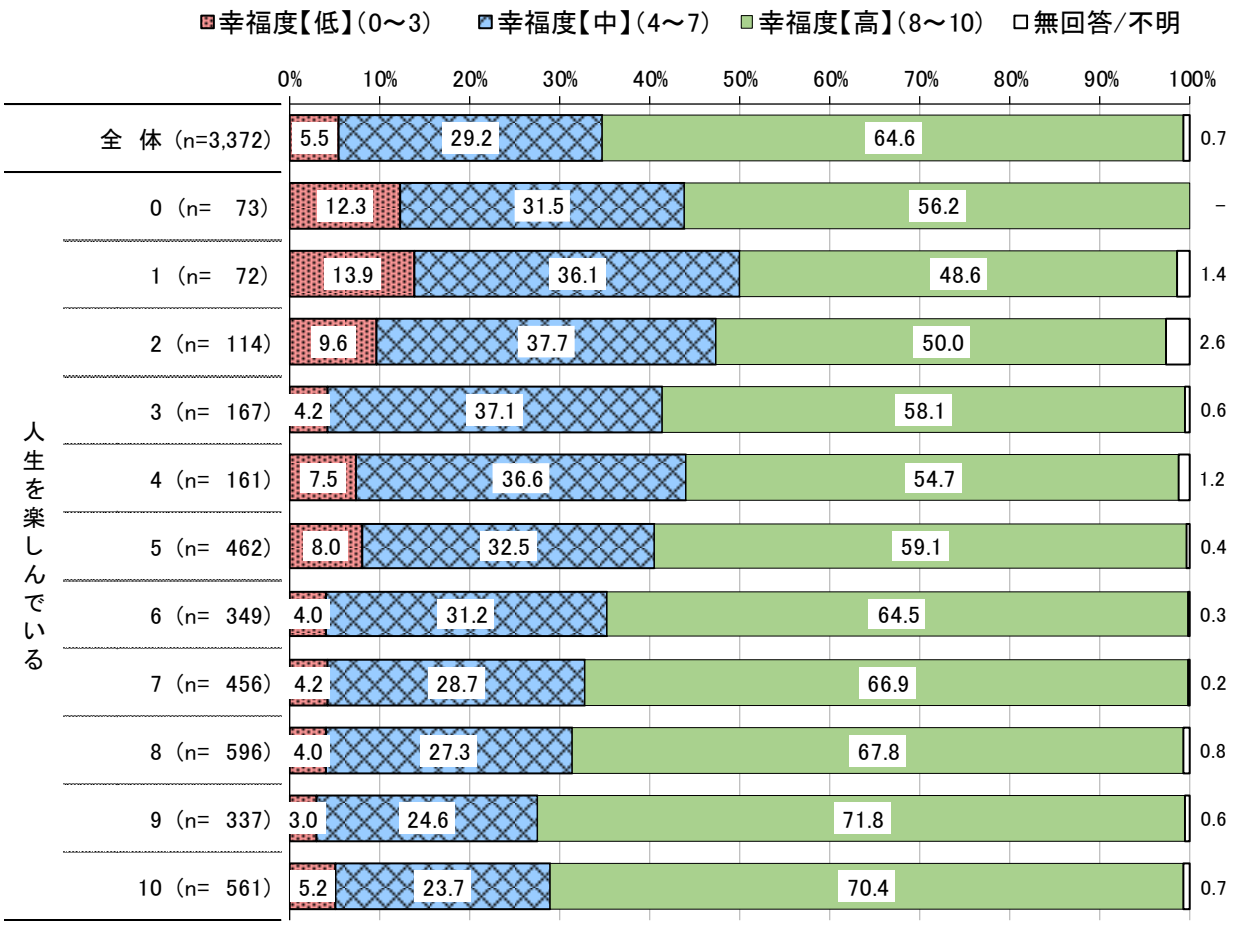


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「人生を楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の70.4%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 56.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-74 子供の幸福度(「人生を楽しんでいる」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

【全体】

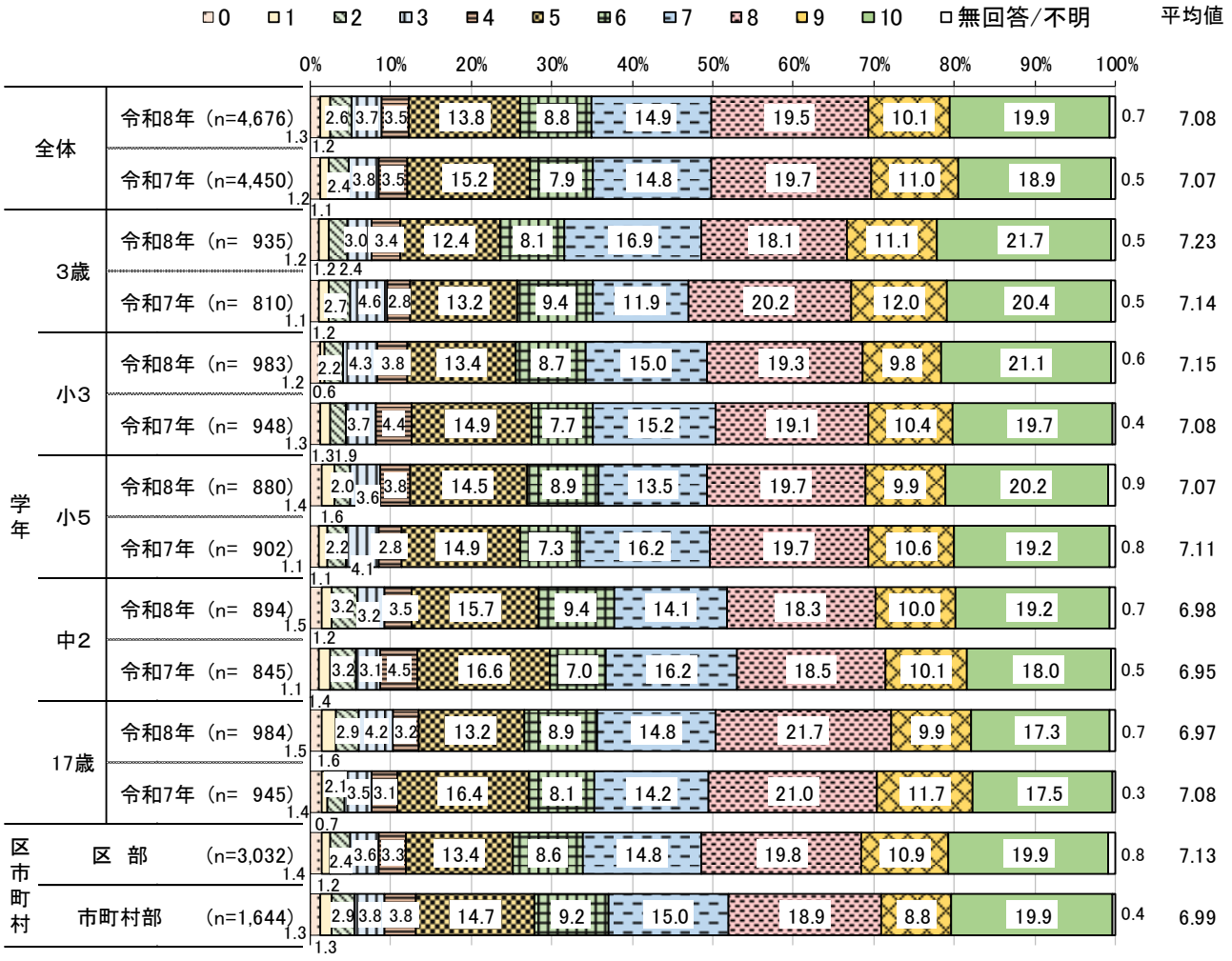
「10」（とてもあてはまる）が 19.9％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.3％で、平均値は 7.08 である。

【学年別】

3歳、小3、小5、中2では「10」（とてもあてはまる）、17 歳では「8」が最も高い。平均値は、学年が上がると減少傾向で、3歳が 7.23、17 歳が 6.97 である。

経年比較でみると、3歳で「7」が 5.0 ポイント増加している。

図表 2-75 F 自分は他人から必要とされている ＜単一回答＞

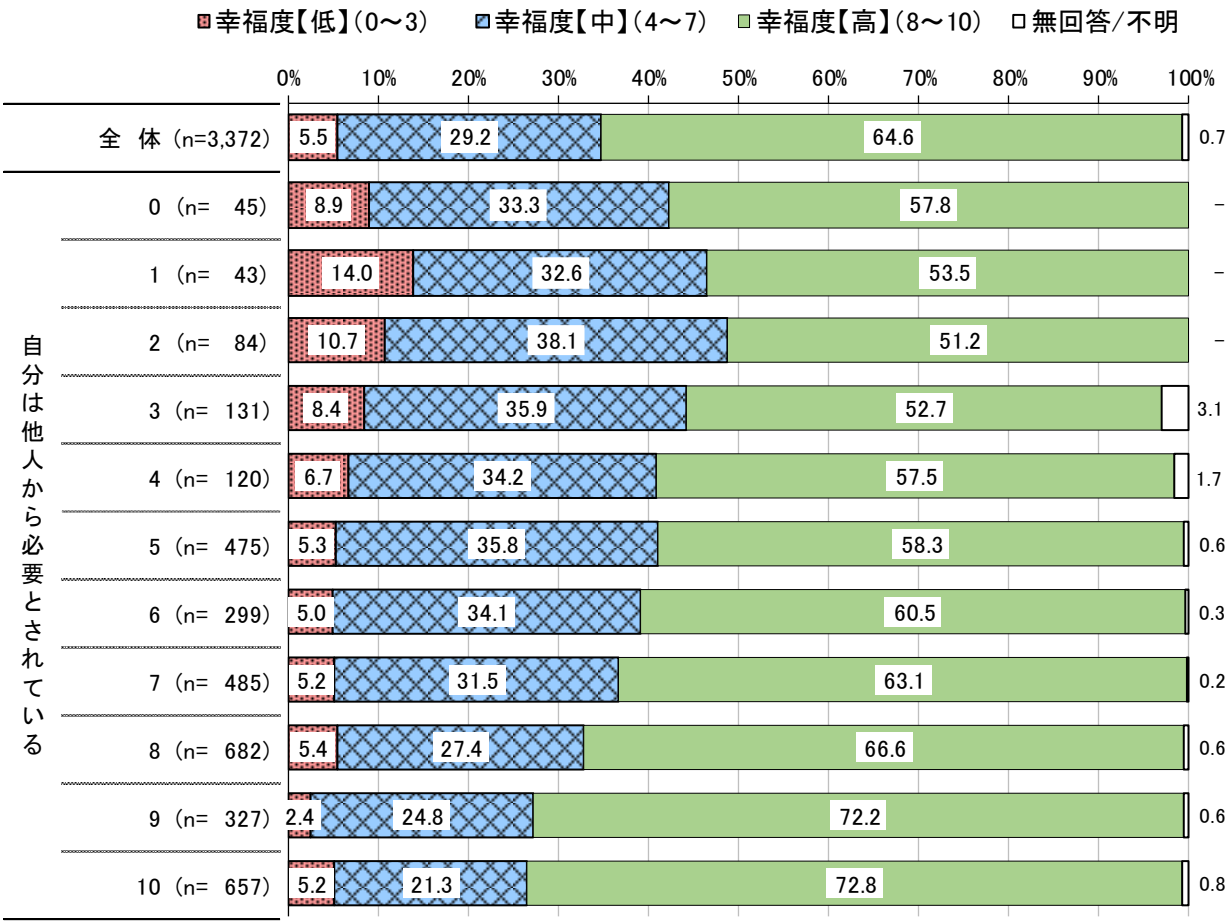


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分は他人から必要とされている」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 72.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-76 子供の幸福度(「自分は他人から必要とされている」の回答別)



保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G 自分には夢や目標がある）

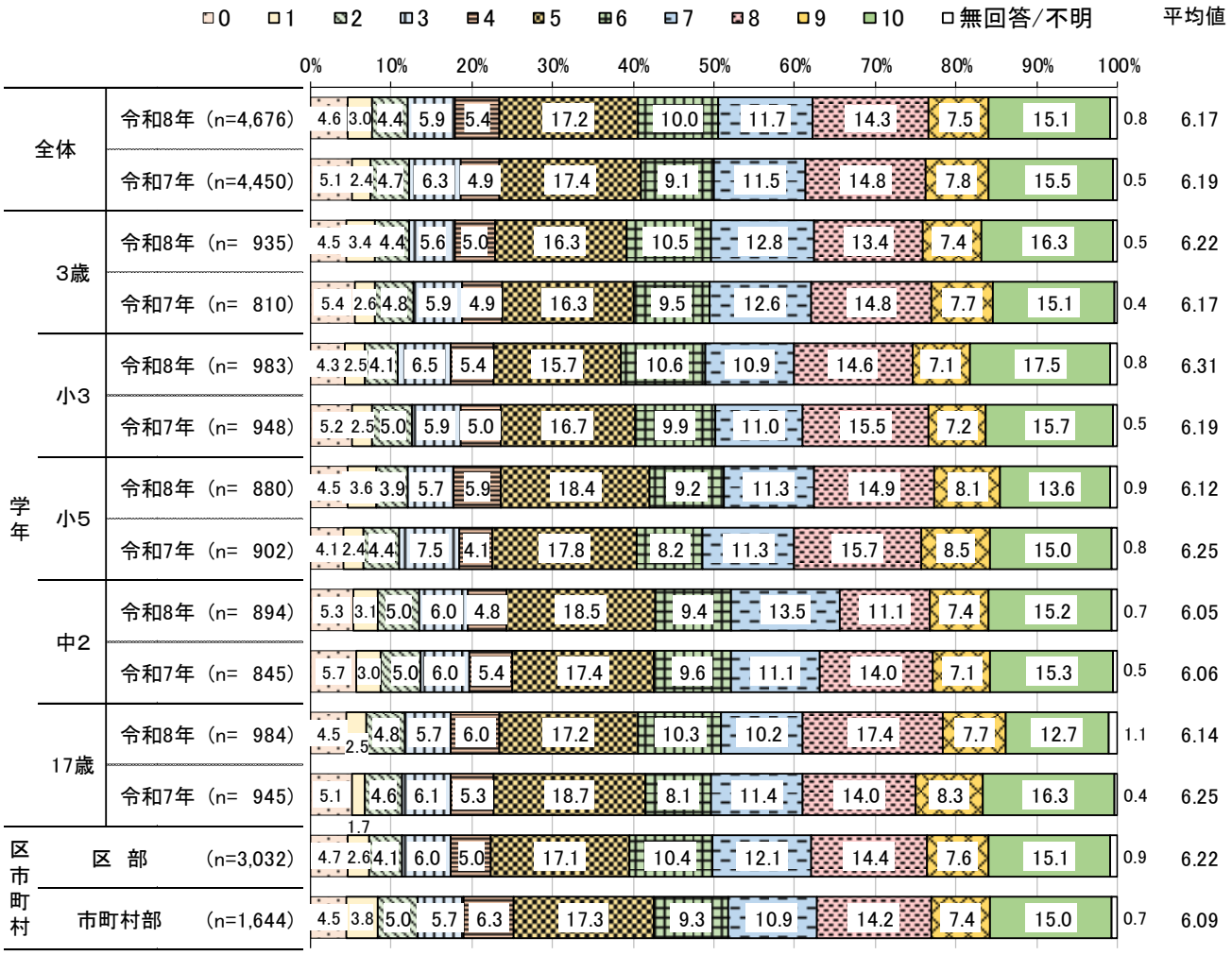
【全体】

「5」が 17.2%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 4.6%、「10」（とてもあてはまる）は 15.1%で、平均値は 6.17 である。

【学年別】

3歳では「5」と「10」（とてもあてはまる）、小3では「10」（とてもあてはまる）、小5、中2では「5」、17 歳では「8」が最も高い。平均値は、小3が 6.31 で最も高く、中2が 6.05 で最も低い。

図表 2-77 G 自分には夢や目標がある ＜単一回答＞

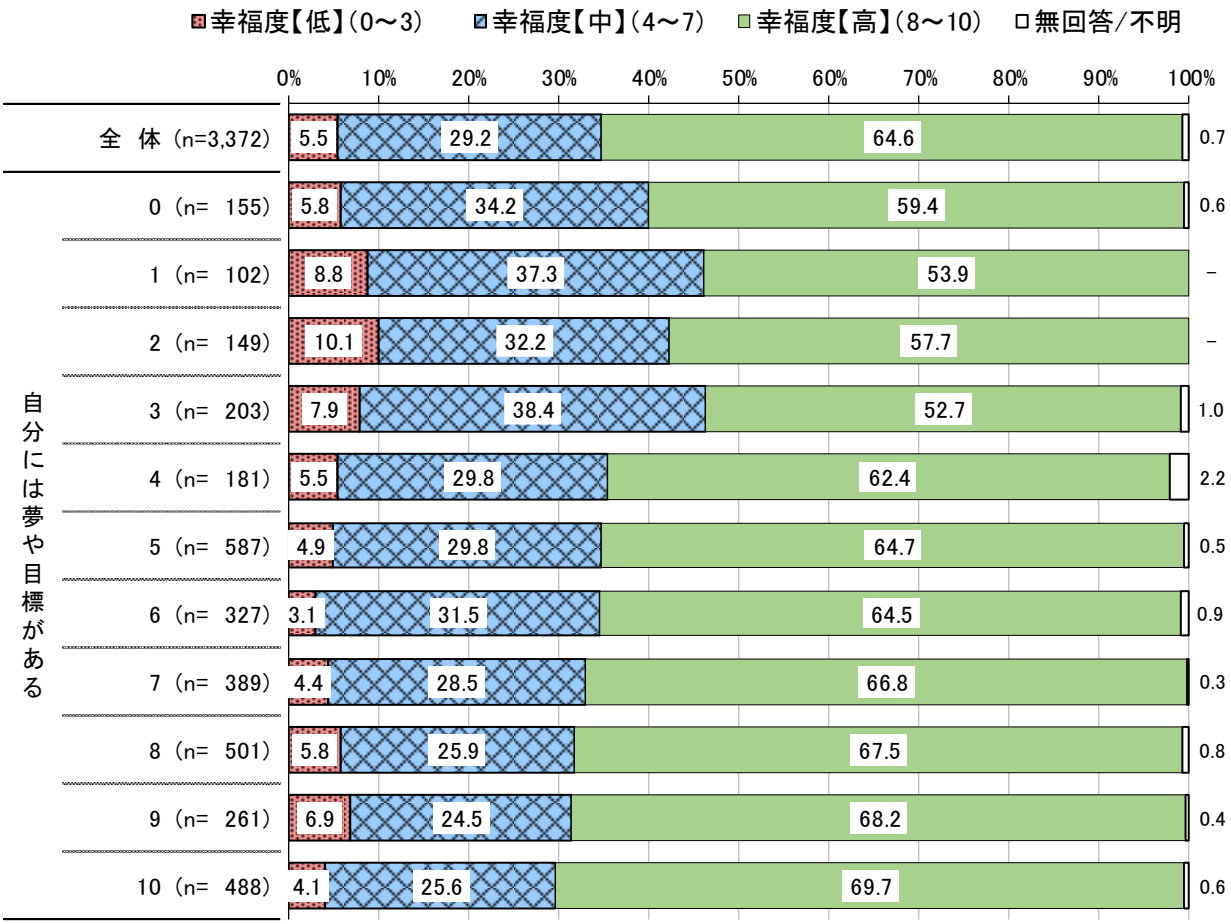


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「自分には夢や目標がある」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 69.7%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 59.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-78 子供の幸福度(「自分には夢や目標がある」の回答別)



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H 子育てを楽しんでいる）

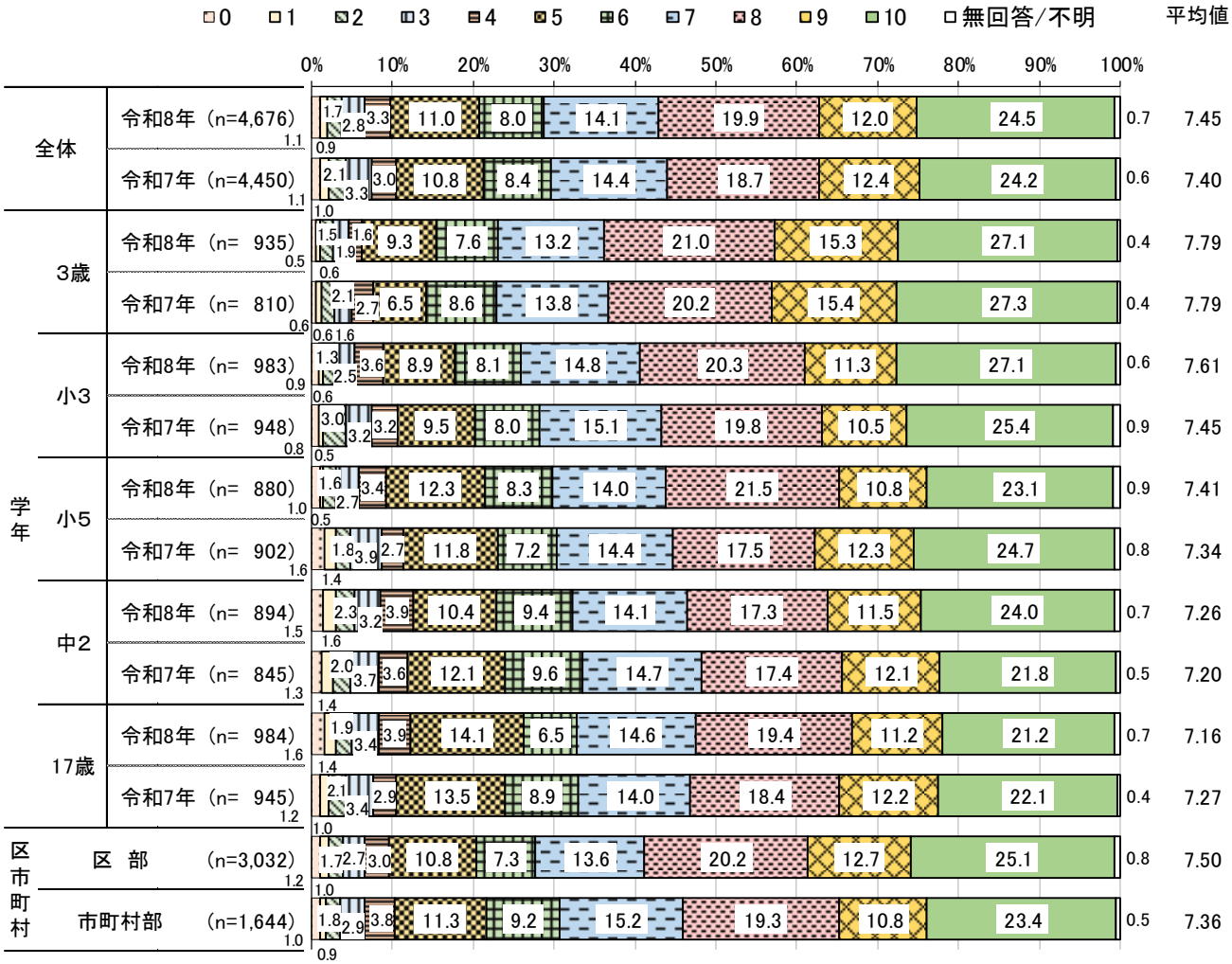
【全体】

「10」（とてもあてはまる）が 24.5％で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 1.1％で、平均値は 7.45 である。

【学年別】

いずれの学年でも「10」（とてもあてはまる）が最も高い。平均値は、学年が上がると減少傾向で、3歳が 7.79、17 歳が 7.16 である。

図表 2-79 H 子育てを楽しんでいる ＜単一回答＞

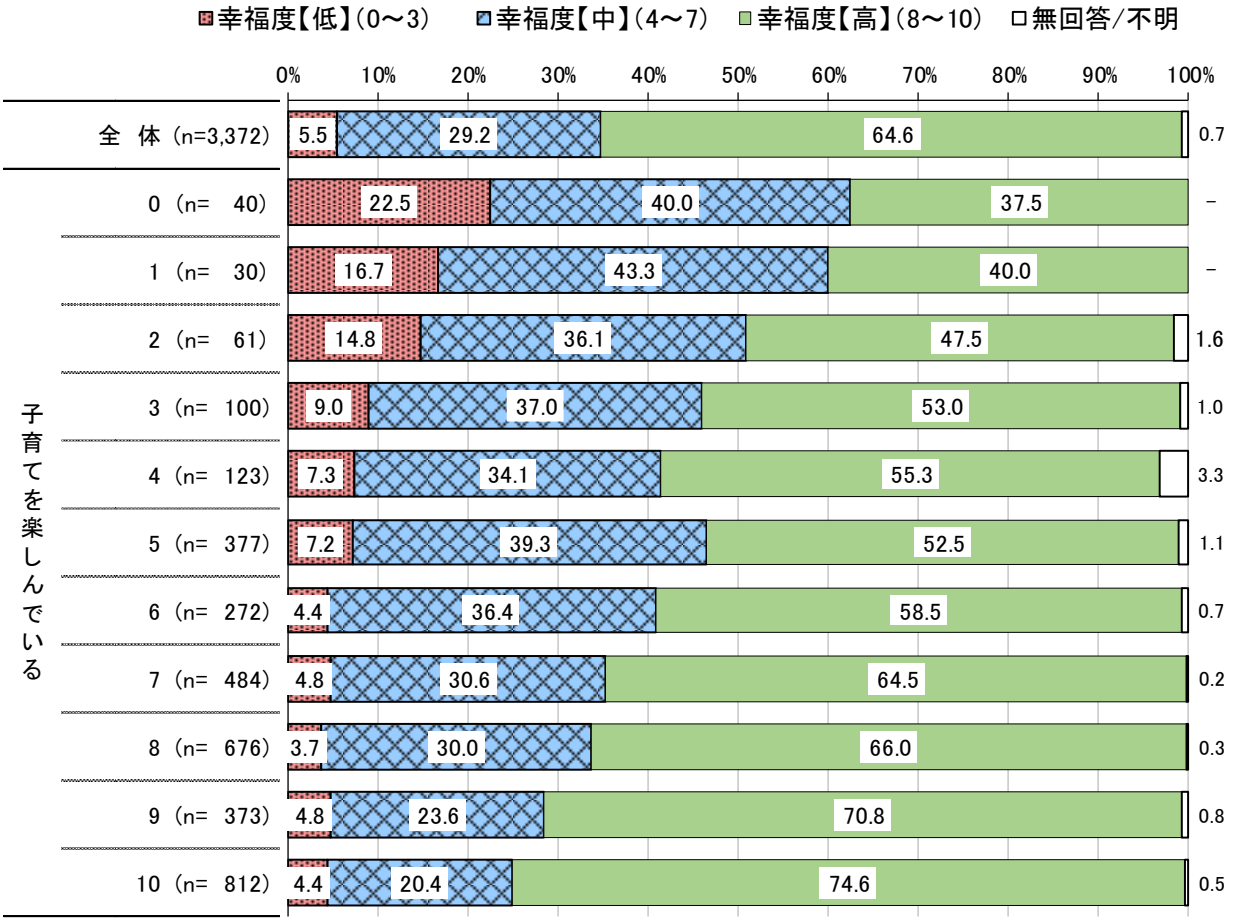


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「子育てを楽しんでいる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の74.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-80 子供の幸福度(「子育てを楽しんでいる」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　明るく、楽しい気分で過ごした）

【全体】

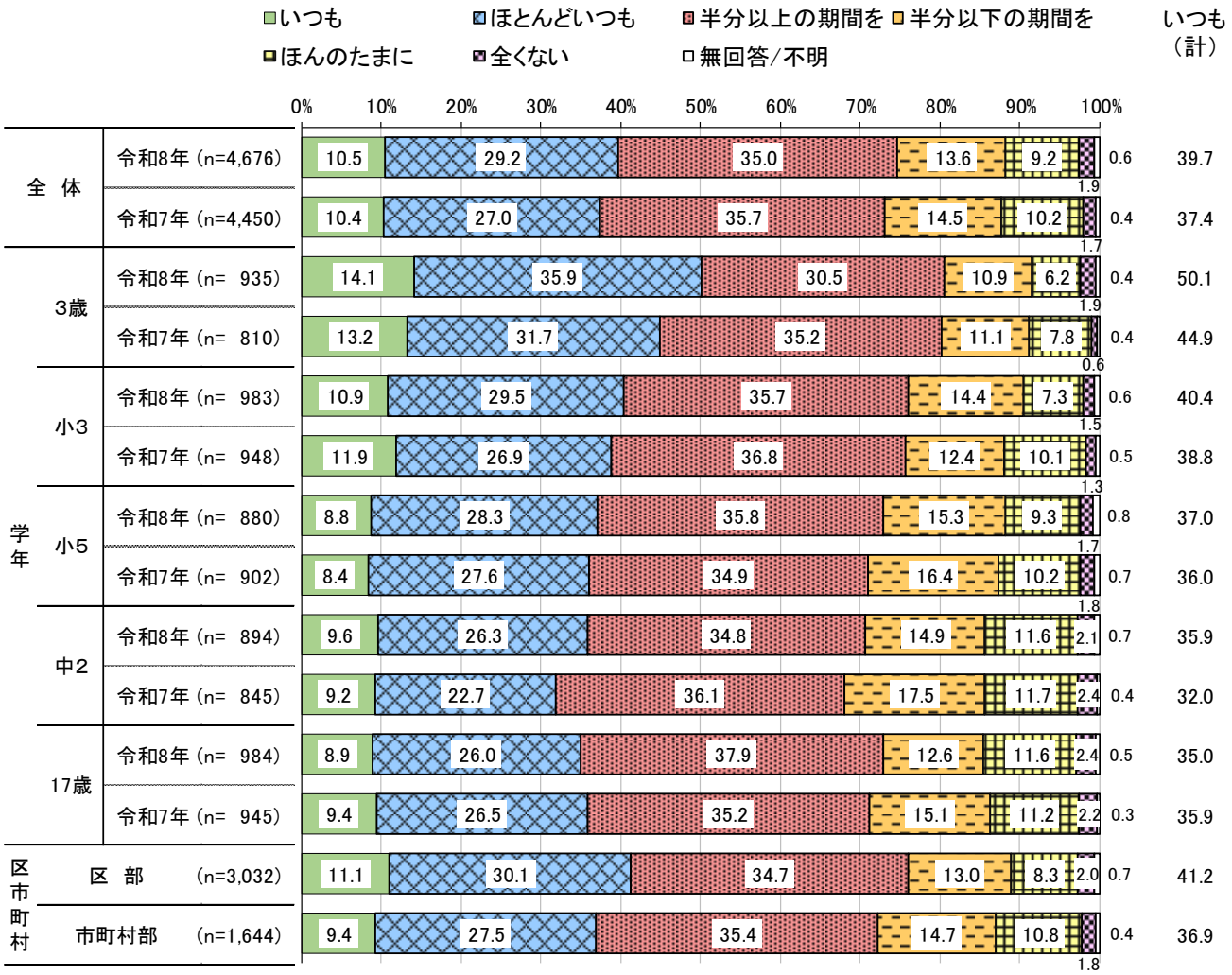
いつも「明るく、楽しい気分で過ごした」とする保護者は 39.7%（「いつも」が 10.5%＋「ほとんどいつも」が 29.2%）である。なお、「半分以上の期間を」が 35.0%で最も高い。

【学年別】

いつも「明るく、楽しい気分で過ごした」とする保護者（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。3歳では「ほとんどいつも」、小3、小5、中2、17 歳では「半分以上の期間を」が最も高い。

経年比較でみると、3歳でいつも「明るく、楽しい気分で過ごした」とする保護者（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）が、5.2 ポイント増加している。

図表 2-81　A 明るく、楽しい気分で過ごした　＜単一回答＞

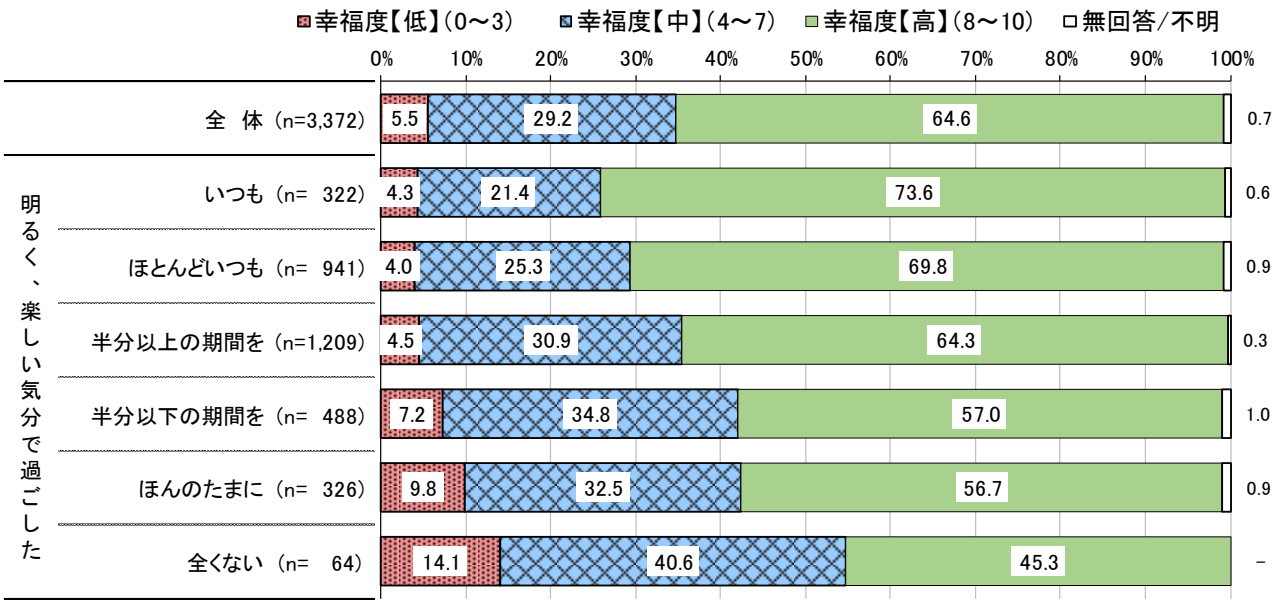


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した保護者の子供の 73.6%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した保護者の子供の 45.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-82 子供の幸福度(「明るく、楽しい気分で過ごした」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

【全体】

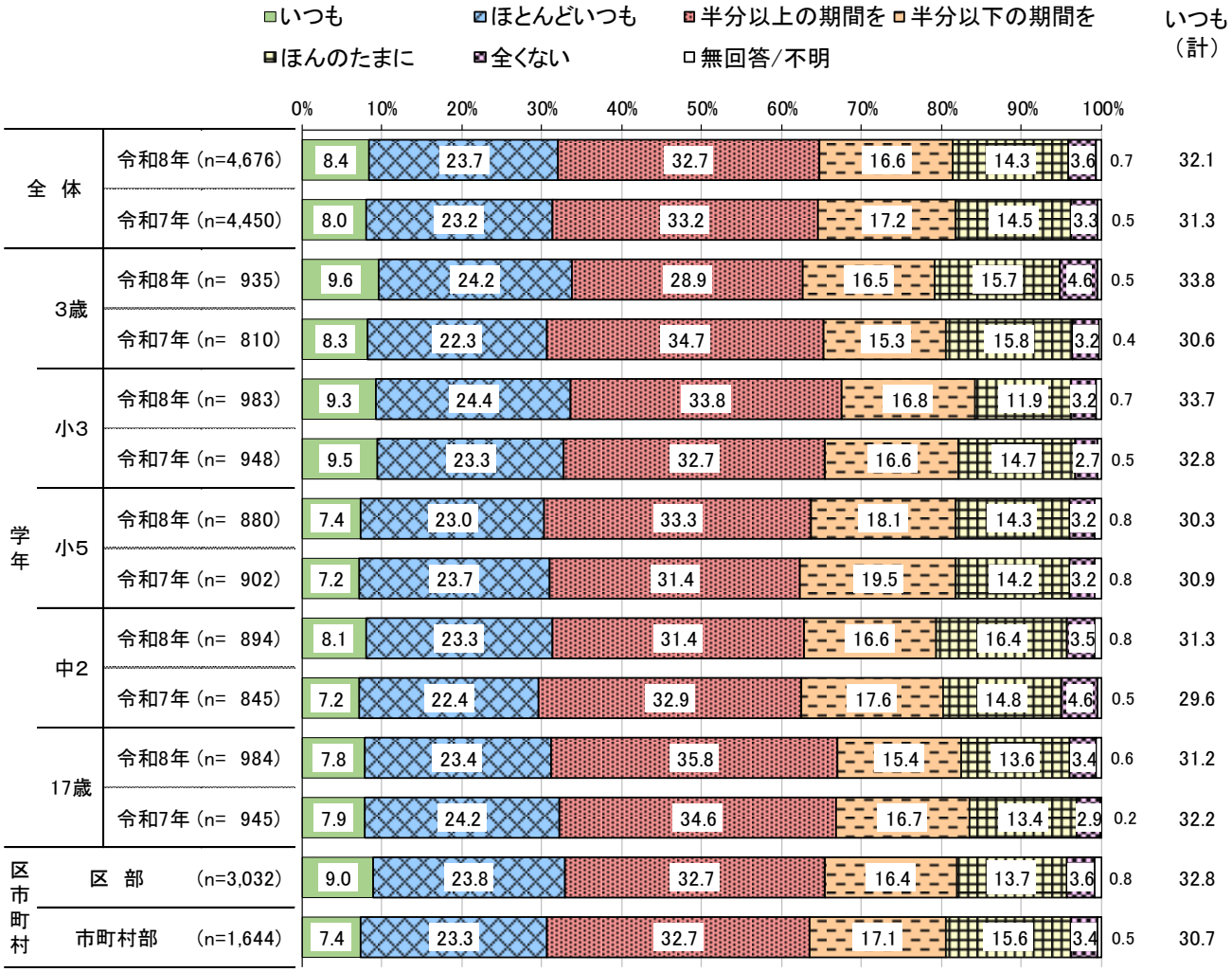
いつも「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」とする保護者は 32.1%（「いつも」が 8.4%＋「ほとんどいつも」が 23.7%）である。なお、「半分以上の期間を」が 32.7%で最も高い。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高いが、17 歳が 35.8%で最も高く、3歳が 28.9%で最も低い。

経年比較でみると、3歳で「半分以上の期間を」が 5.8 ポイント減少している。

図表 2-83 B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした ＜単一回答＞

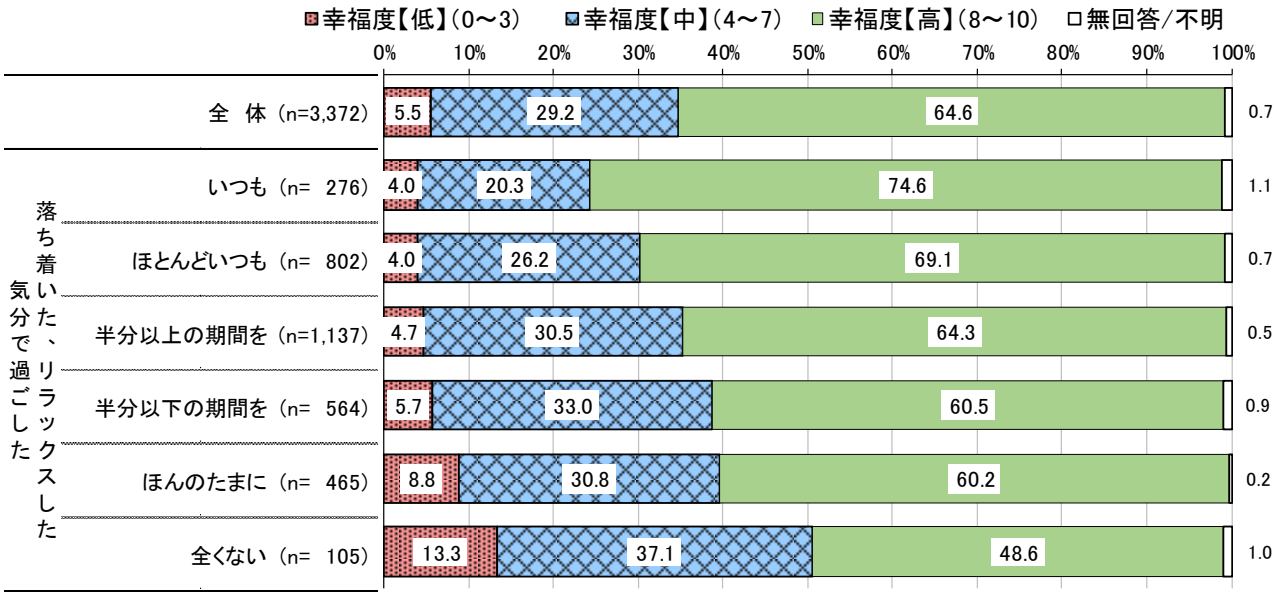


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した保護者の子供の 74.6%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した保護者の子供の 48.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-84 子供の幸福度(「落ち着いた、リラックスした気分で過ごした」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C 意欲的で、活動的に過ごした）

【全体】

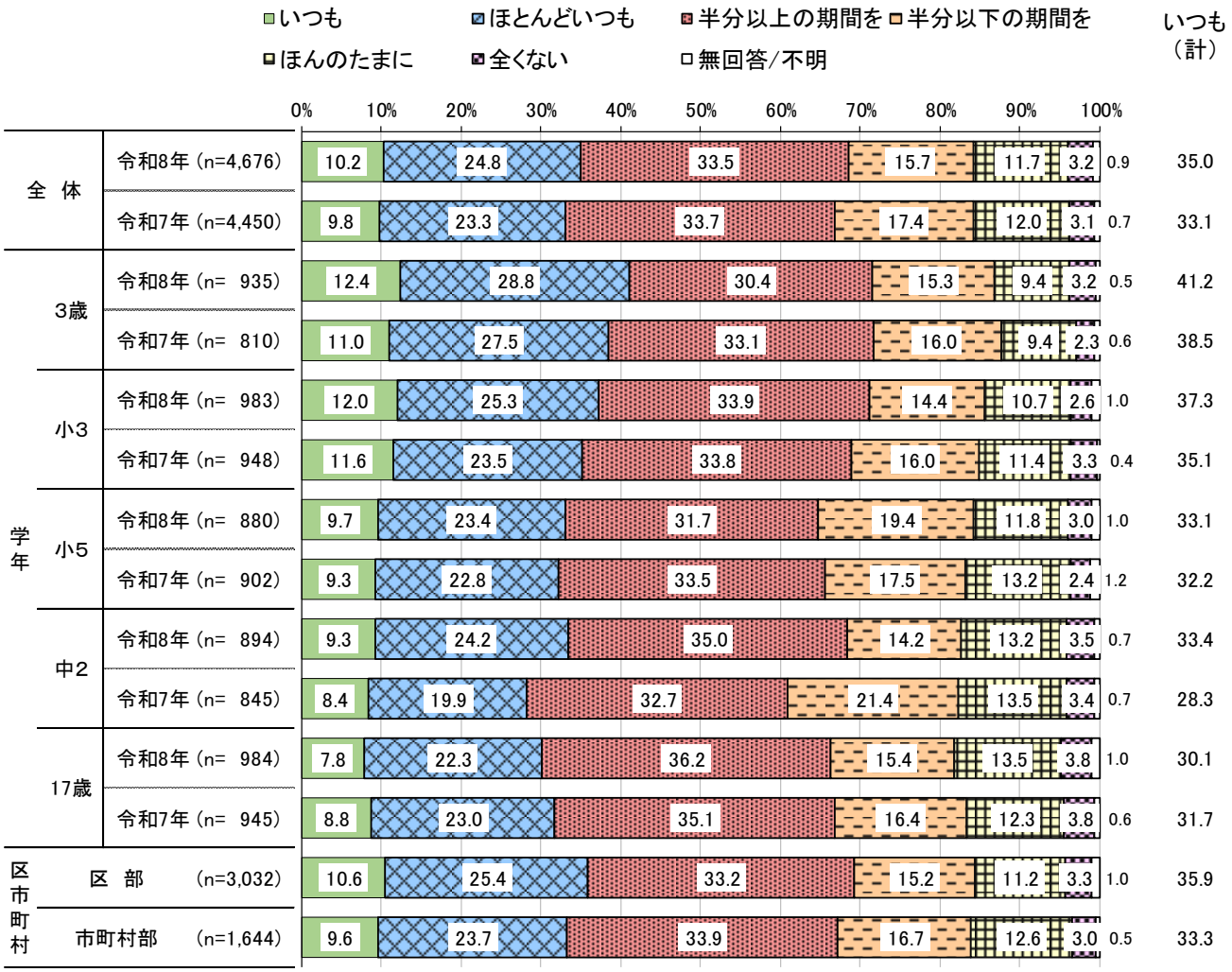
いつも「意欲的で、活動的に過ごした」とする保護者は 35.0%（「いつも」が 10.2%＋「ほとんどいつも」が 24.8%）である。なお、「半分以上の期間を」が 33.5%で最も高い。

【学年別】

いつも「意欲的で、活動的に過ごした」とする保護者（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、3歳で最も高く、41.2%である。

経年比較でみると、中2で「半分以下の期間を」が 7.2 ポイント減少し、いつも「意欲的で、活動的に過ごした」とする保護者（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）が 5.1 ポイント増加している。

図表 2-85 C 意欲的で、活動的に過ごした ＜単一回答＞

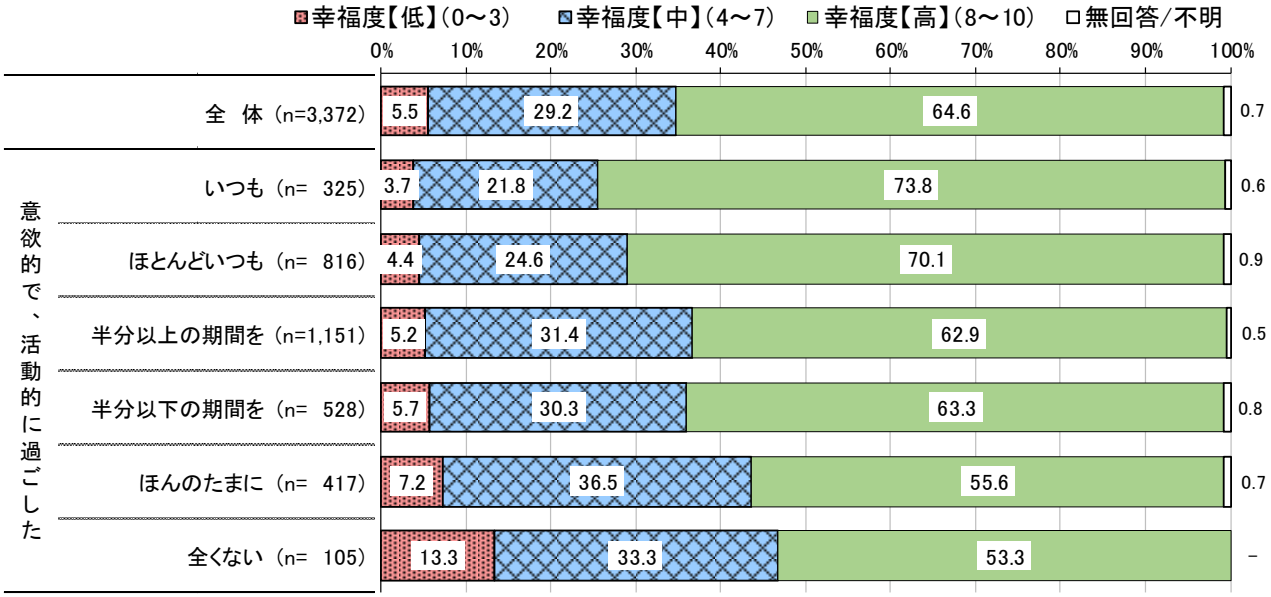


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した保護者の子供の 73.8%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した保護者の子供の 53.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-86 子供の幸福度(「意欲的で、活動的に過ごした」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

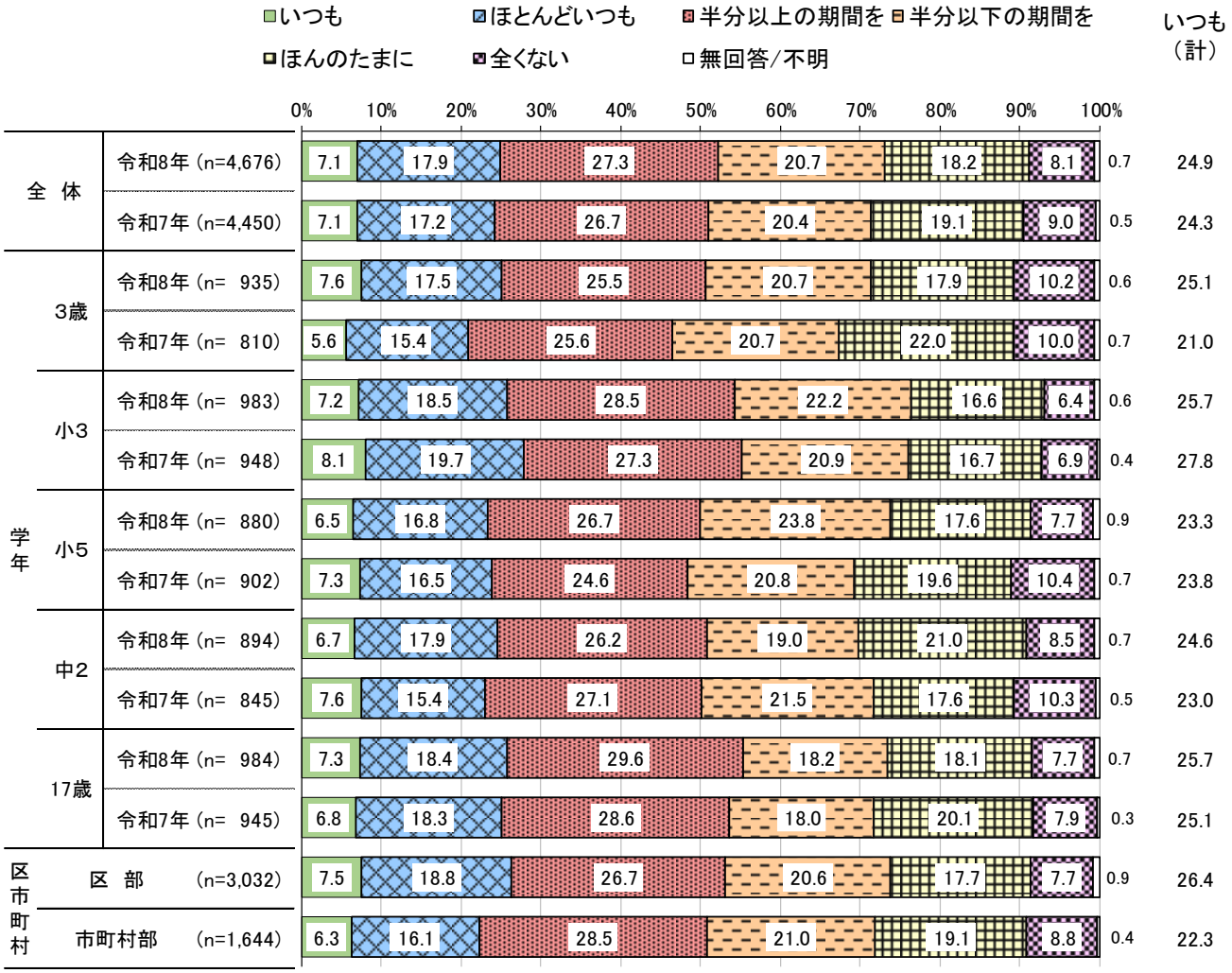
【全体】

いつも「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」とする保護者は 24.9%（「いつも」が 7.1%＋「ほとんどいつも」が 17.9%）である。なお、「半分以上の期間を」が 27.3%で最も高い。

【学年別】

いずれの学年でも「半分以上の期間を」が最も高い。

図表 2-87 D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた ＜単一回答＞

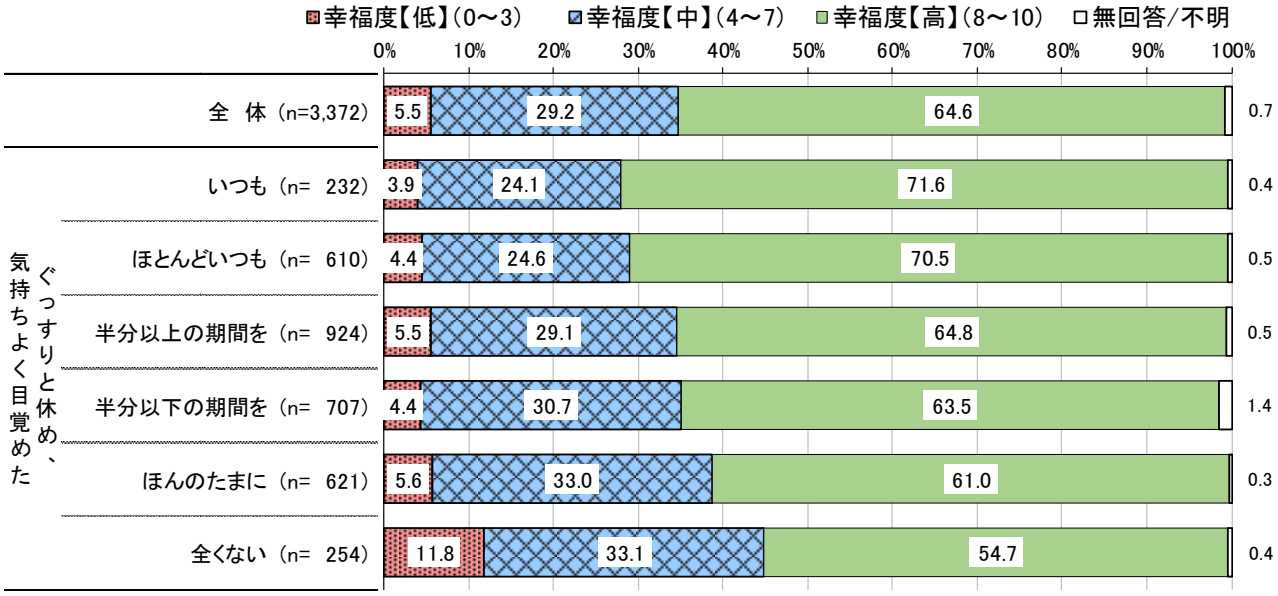


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した保護者の子供の71.6%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した保護者の子供の 54.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-88 子供の幸福度(「ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

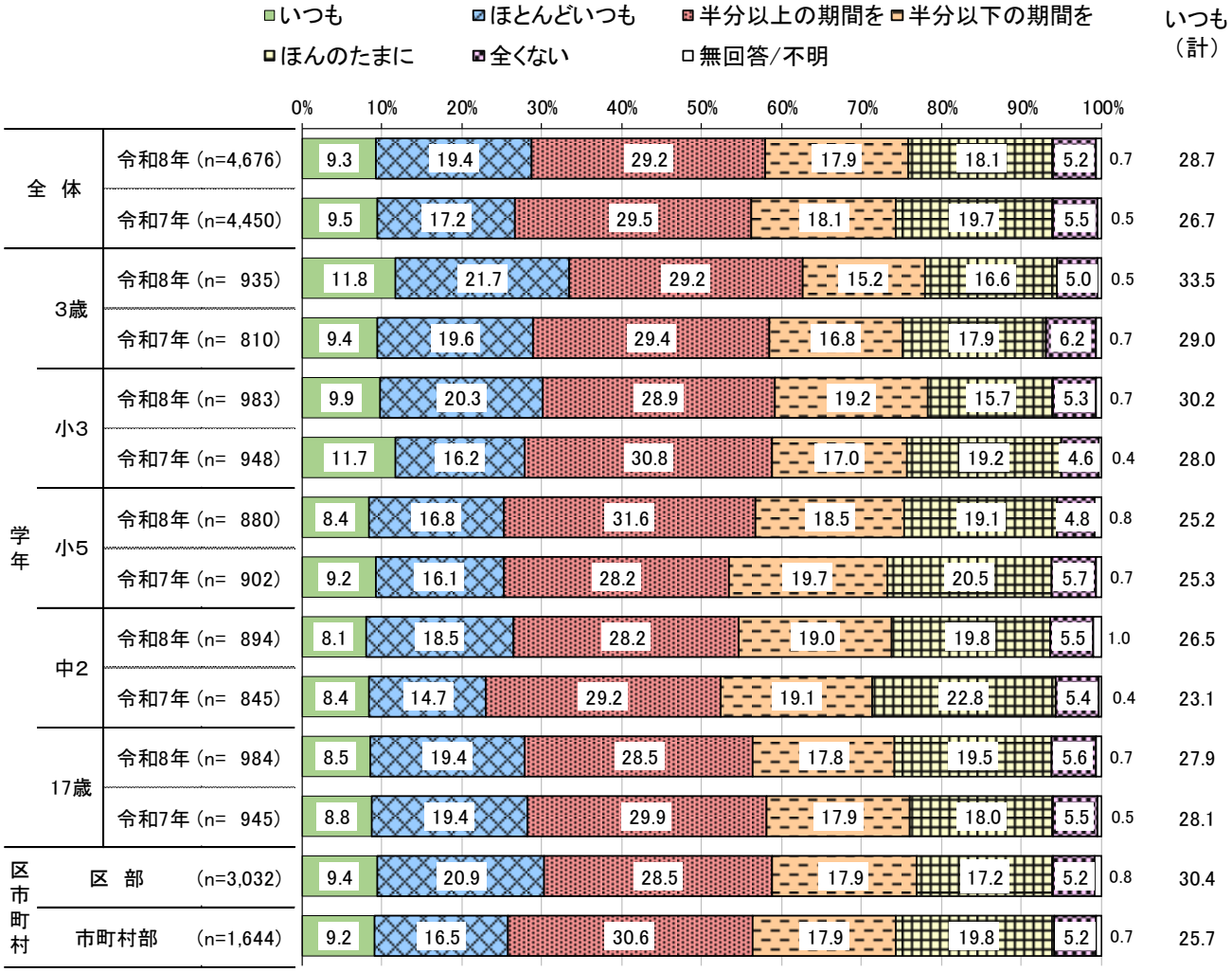
【全体】

いつも「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」とする保護者は28.7%（「いつも」が9.3%＋「ほとんどいつも」が19.4%）である。なお、「半分以上の期間を」が29.2%で最も高い。

【学年別】

いつも「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」とする保護者（「いつも」と「ほとんどいつも」の割合）は、3歳で最も高く、33.5%である。

図表 2-89 E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった ＜単一回答＞

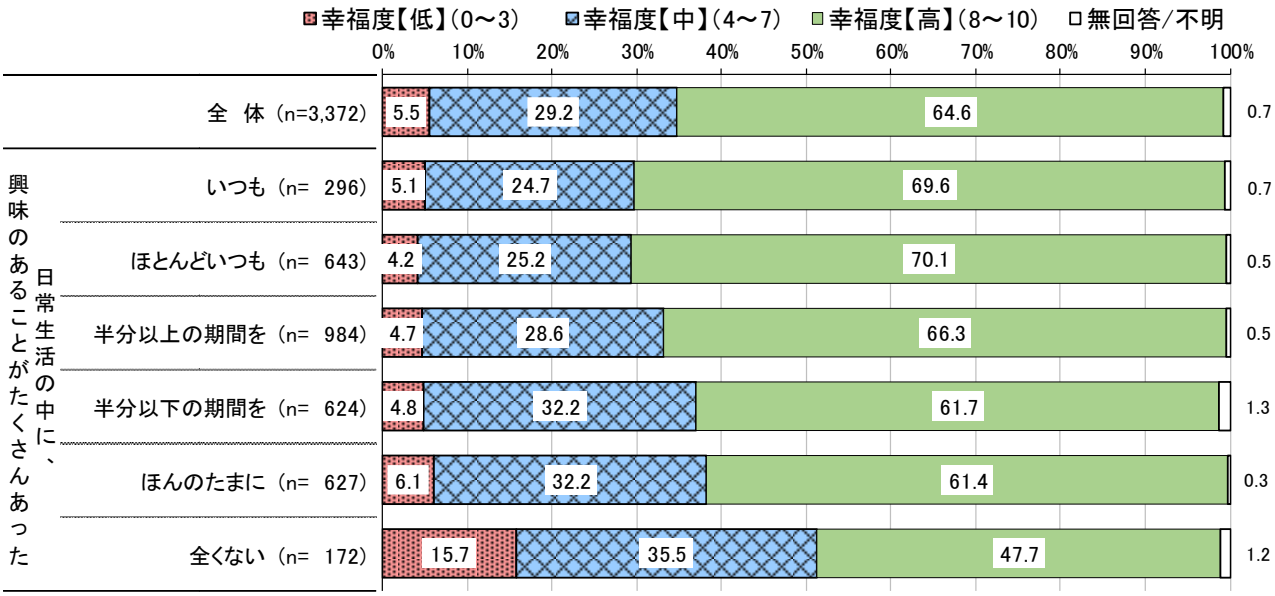


※いつも（計）は「いつも」及び「ほとんどいつも」の割合。

【子供の幸福度】

「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別に子供の幸福度をみると、「いつも」と回答した保護者の子供の 69.6%が幸福度【高】(8～10)で、「全くない」と回答した保護者の子供の 47.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-90 子供の幸福度(「日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」の回答別)



（保護者：共通）問 24. 最近2週間で、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C 意欲的で、活動的に過ごした）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し（「いつも」：5点 「ほとんどいつも」：4点 「半分以上の期間を」：3点 「半分以下の期間を」：2点 「ほんのたまに」：1点 「全くない」：0点）、A から E のいずれにも回答がある保護者について、A から E の合計点（5項目×5点満点）を精神的健康状態（WHO-5）として算出した。

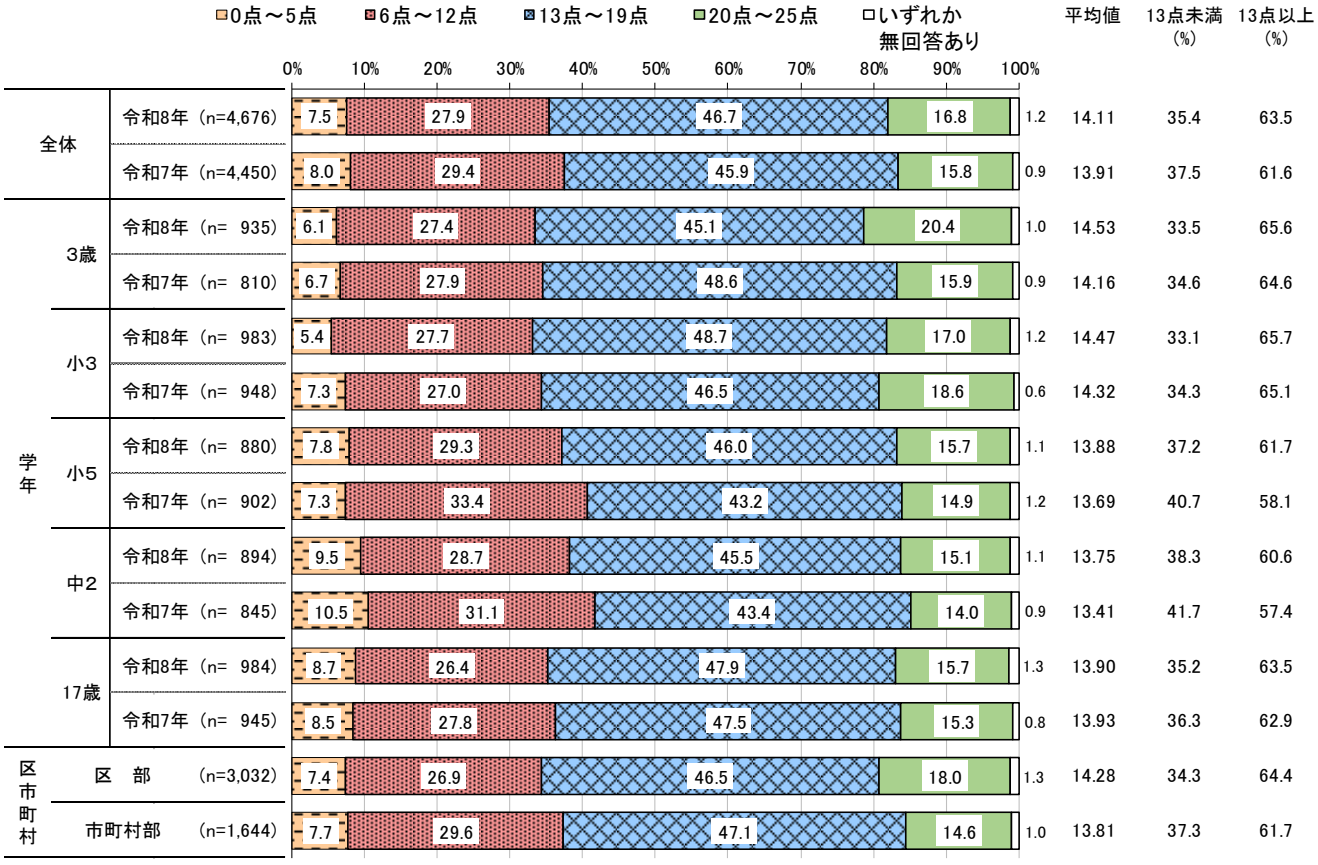
【全体】

「13 点～19 点」が 46.7%で最も高く、次いで「6点～12 点」が 27.9%で、平均値は 14.11 点である。「13 点以上」は、63.5%である。

【学年別】

いずれの学年でも「13 点～19 点」が最も高い。平均値は、3歳が 14.53 点で最も高く、中2が 13.75 点で最も低い。「13 点以上」は、小3が 65.7%で最も高い。

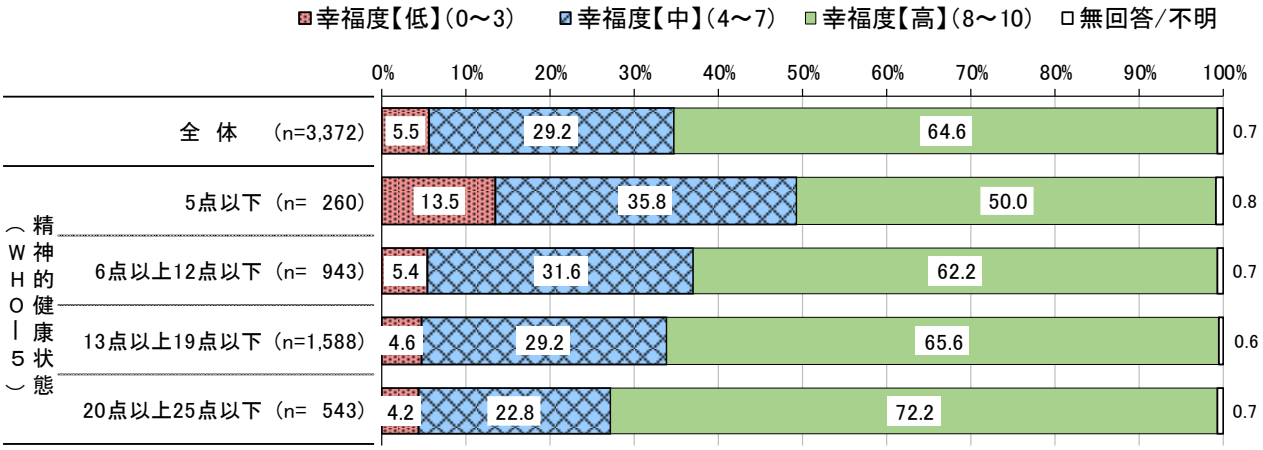
図表 2-91 精神的健康状態（WHO-5） ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「精神的健康状態(WHO-5)」の回答別に子供の幸福度をみると、「20 点以上 25 点以下」と回答した保護者の子供の 72.2%が幸福度【高】(8～10)で、「5点以下」と回答した保護者の子供の 50.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-92 子供の幸福度(「精神的健康状態(WHO-5)」別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（A 時間的なゆとり）

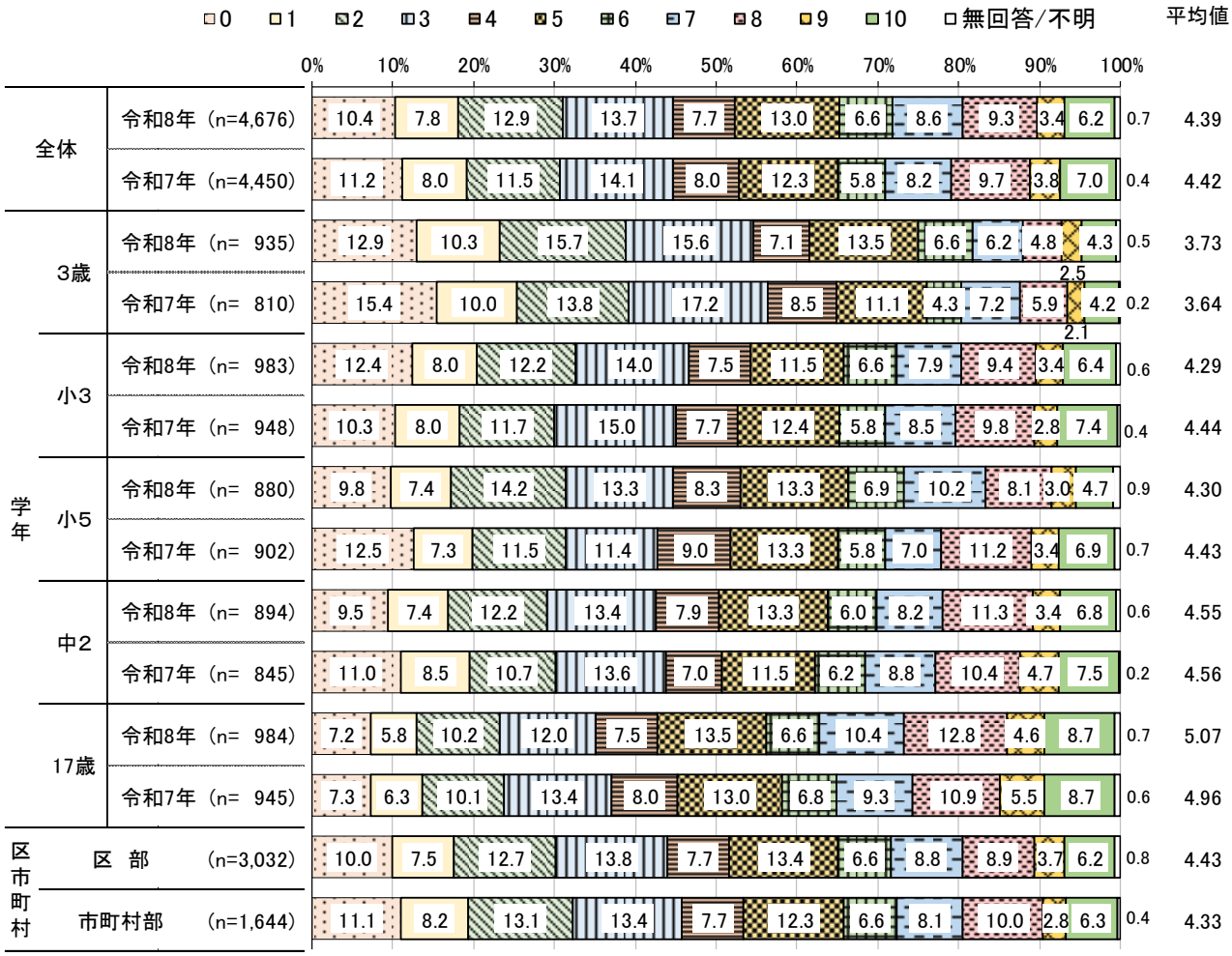
【全体】

「3」が 13.7%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 10.4%、「10」（とてもあてはまる）は 6.2%で、平均値は 4.39 である。

【学年別】

3歳、小5では「2」、小3、中2では「3」、17 歳では「5」が最も高い。平均値は、学年が上がると増加傾向で、17 歳が 5.07、3歳が 3.73 である。

図表 2-93 A「時間的なゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

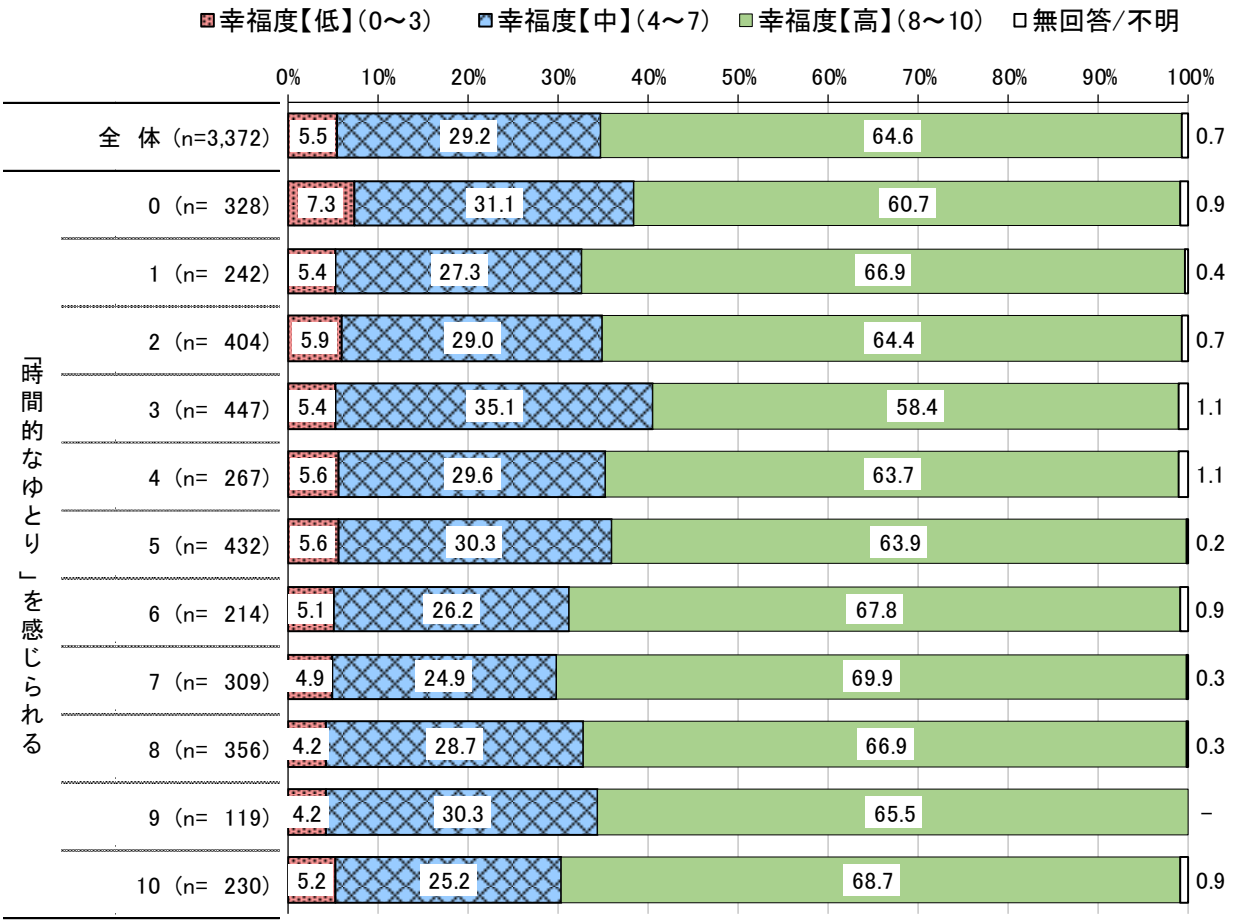


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『時間的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 68.7%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 60.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-94 子供の幸福度(「『時間的なゆとり』を感じられる」)の回答別



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（B　経済的なゆとり）

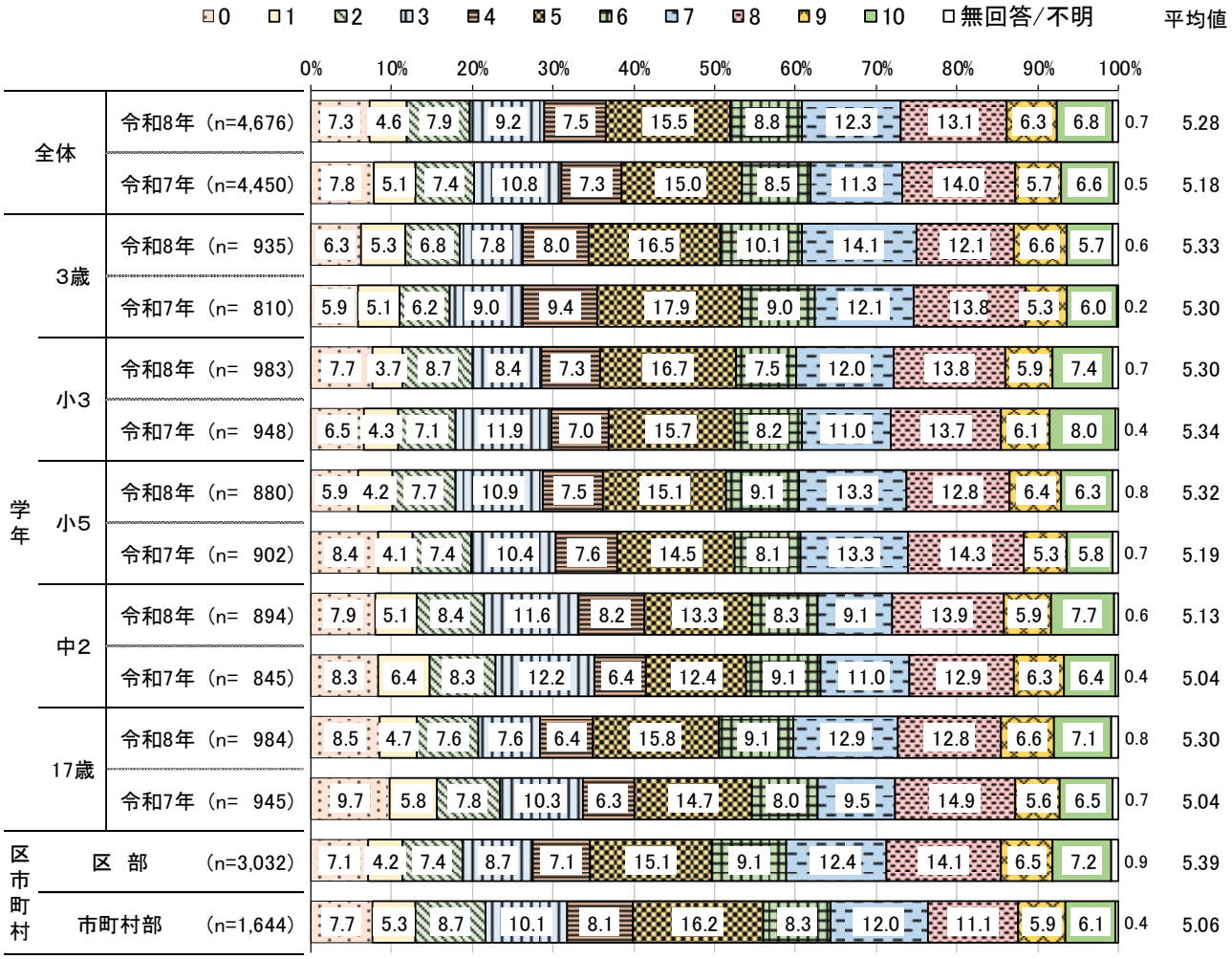
【全体】

「5」が 15.5%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 7.3%、「10」（とてもあてはまる）は 6.8%で、平均値は 5.28 である。

【学年別】

3歳、小3、小5、17 歳では「5」、中2では「8」が最も高い。平均値は、3歳が 5.33 で最も高く、中2が 5.13 で最も低い。

図表 2-95 B「経済的なゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

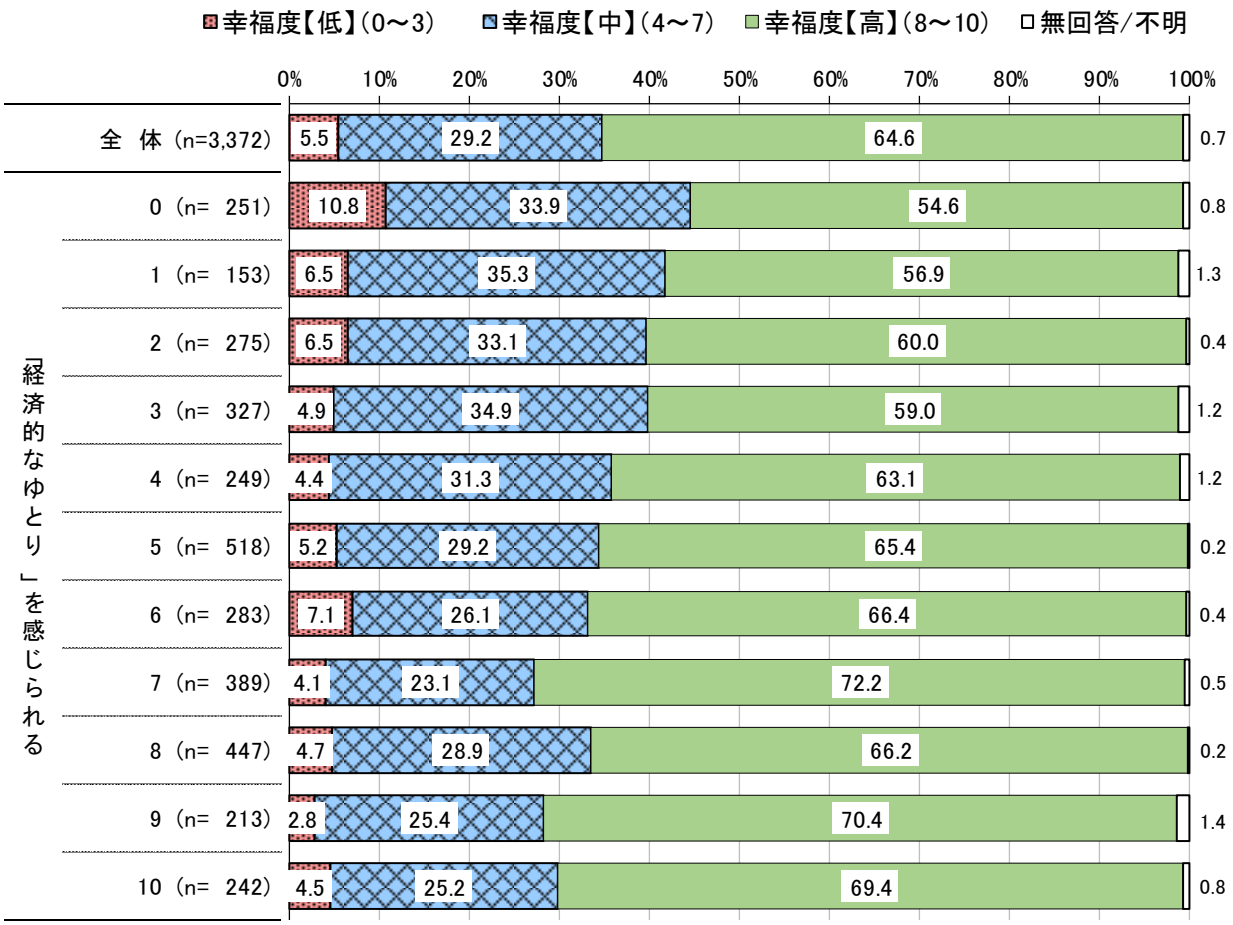


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『経済的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 69.4%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 54.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-96 子供の幸福度(「『経済的なゆとり』を感じられる」の回答別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（C　体力的なゆとり）

【全体】

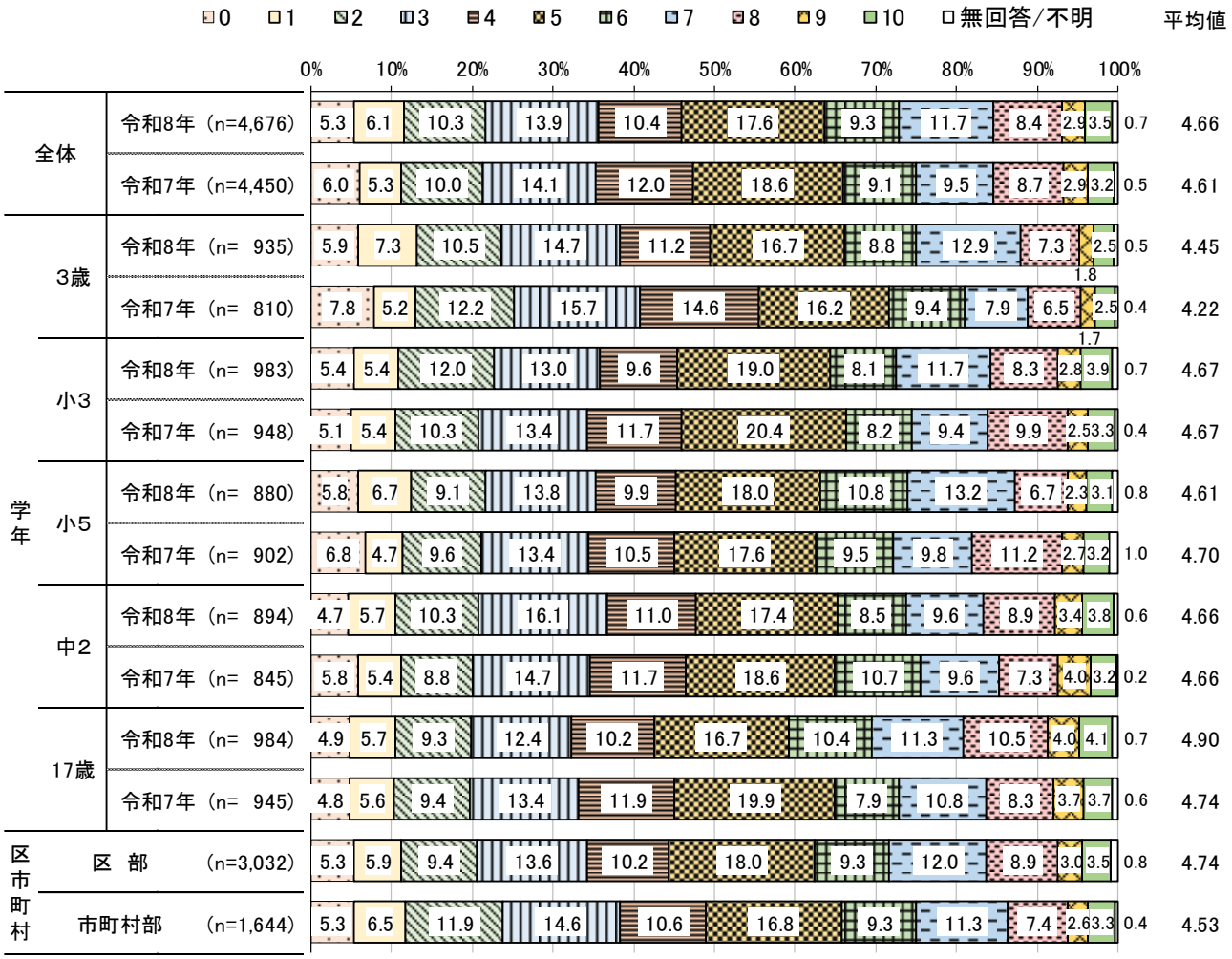
「5」が 17.6%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 5.3%、「10」（とてもあてはまる）は 3.5%で、平均値は 4.66 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高い。平均値は、17 歳が 4.90 で最も高く、3歳が 4.45 で最も低い。

経年比較でみると、3歳で「7」が 5.0 ポイント増加している。

図表 2-97　C「体力的なゆとり」を感じられる　＜単一回答＞

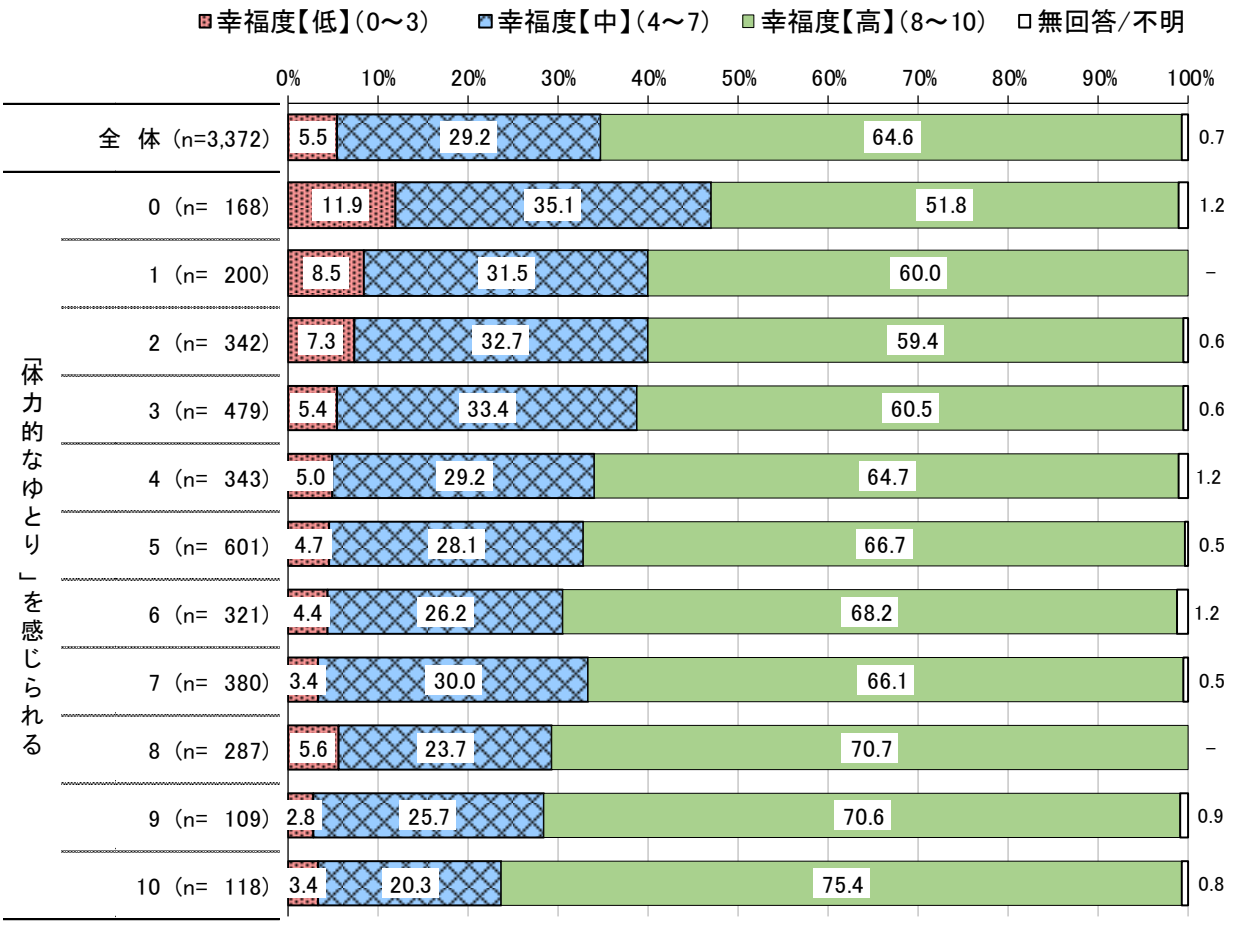


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『体力的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 75.4%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 51.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-98 子供の幸福度(「『体力的なゆとり』を感じられる」の回答別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（D　精神的なゆとり）

【全体】

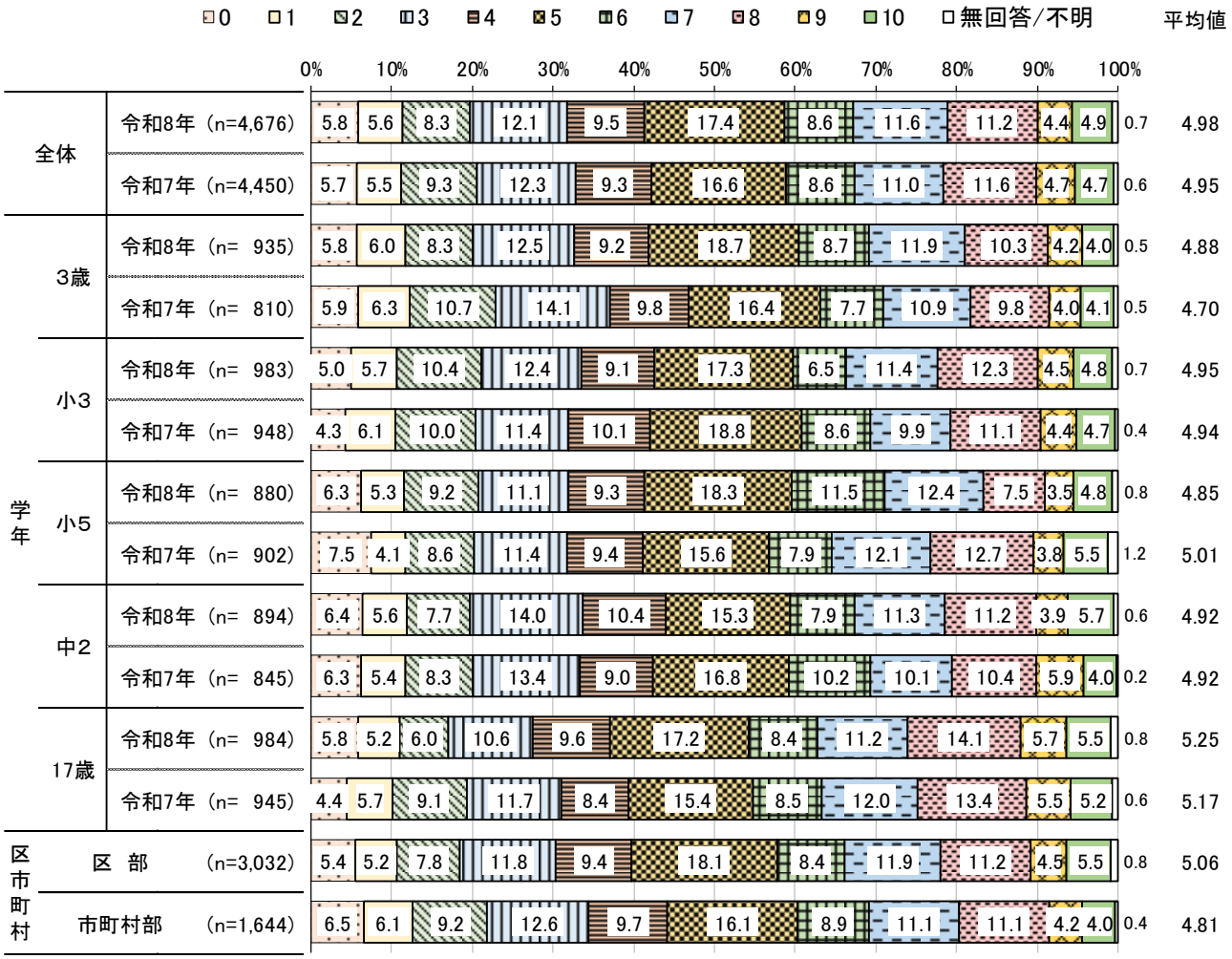
「5」が 17.4%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 5.8%、「10」（とてもあてはまる）は 4.9%で、平均値は 4.98 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高い。平均値は、17 歳が 5.25 で最も高く、小5が 4.85 で最も低い。

経年比較でみると、小5で「8」が 5.2 ポイント減少している。

図表 2-99 D「精神的なゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

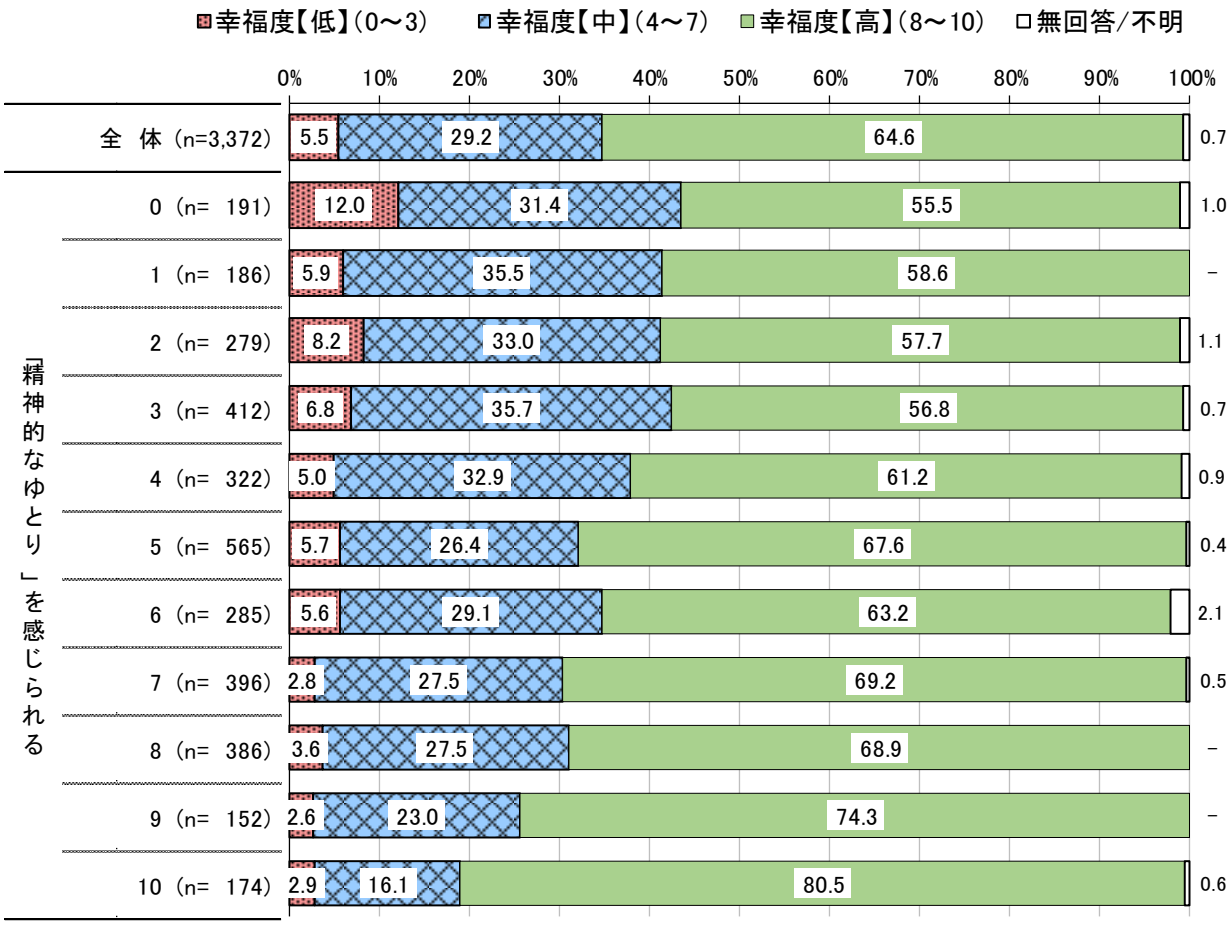


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『精神的なゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 80.5%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 55.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-100 子供の幸福度(「『精神的なゆとり』を感じられる」の回答別)



（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（E　生活全般のゆとり）

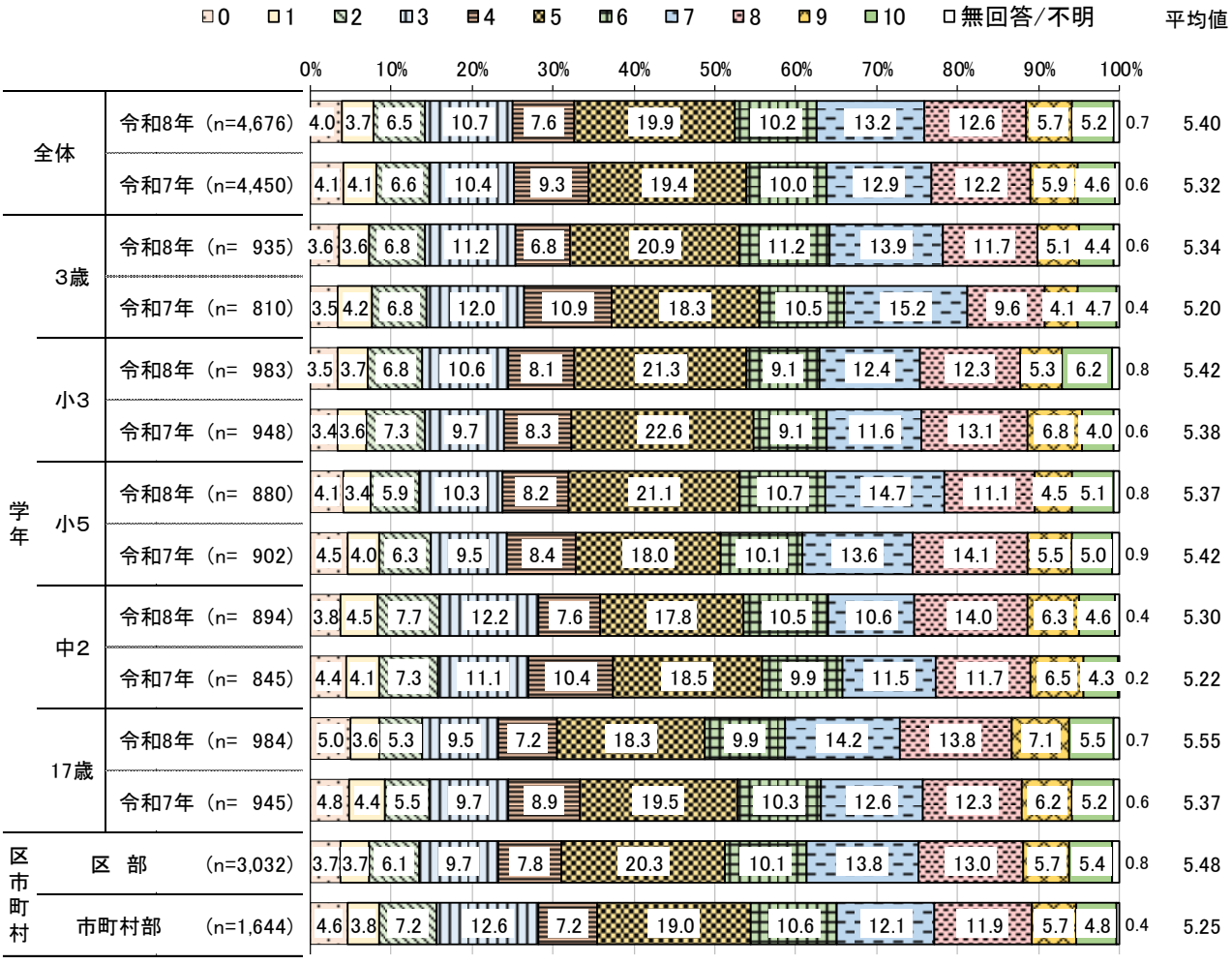
【全体】

「5」が 19.9%で最も高い。「0」（全くあてはまらない）は 4.0%、「10」（とてもあてはまる）は 5.2%で、平均値は 5.40 である。

【学年別】

いずれの学年でも「5」が最も高い。平均値は、17 歳が 5.55 で最も高く、中2が 5.30 で最も低い。

図表 2-101 E「生活全般のゆとり」を感じられる ＜単一回答＞

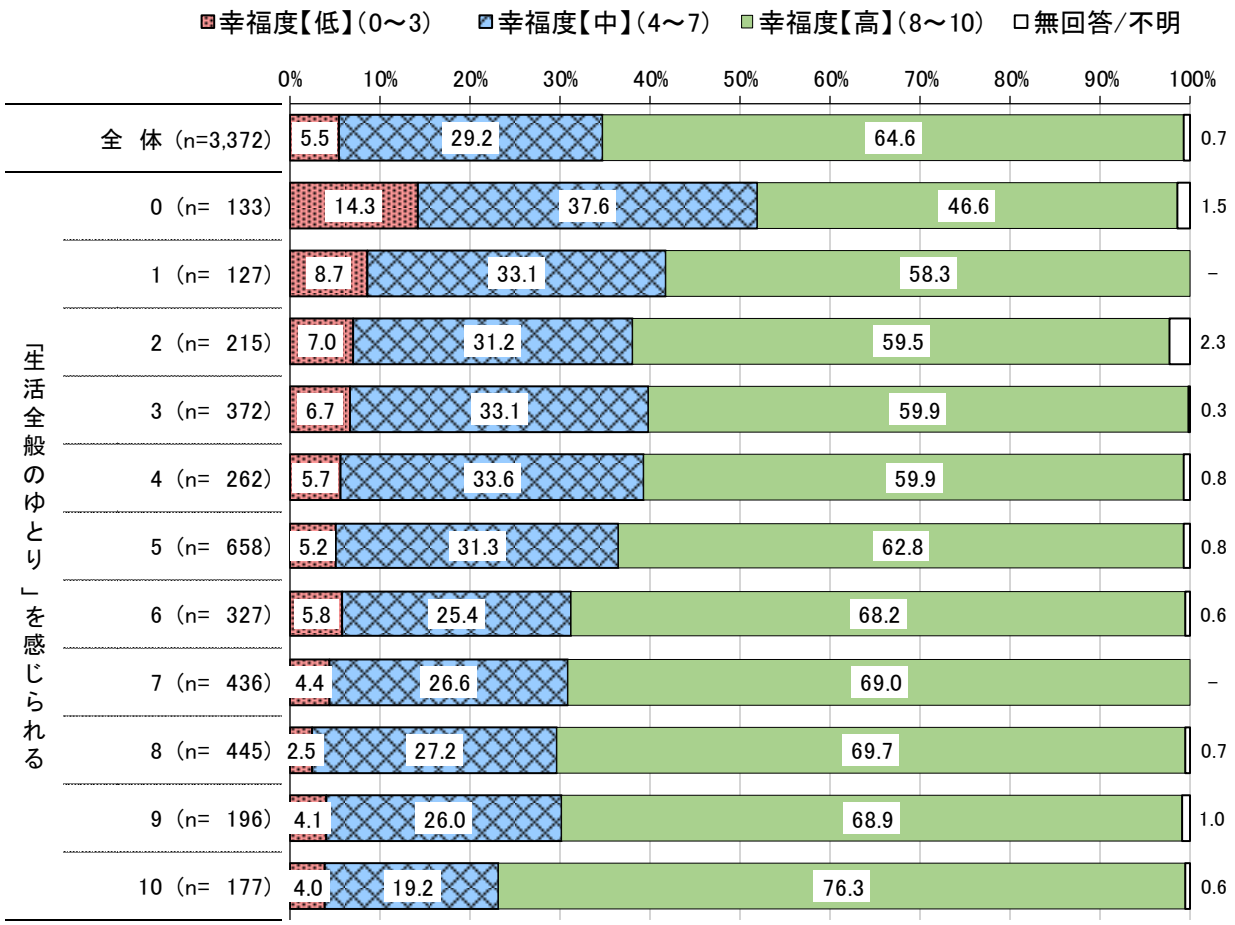


※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【子供の幸福度】

「『生活全般のゆとり』を感じられる」の回答別に子供の幸福度をみると、「10」(とてもあてはまる)と回答した保護者の子供の 76.3%が幸福度【高】(8～10)で、「0」(全くあてはまらない)と回答した保護者の子供の 46.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-102 子供の幸福度 (「『生活全般のゆとり』を感じられる」の回答別)



（保護者：共通）問 26. あなたが今、子育てに関して楽しいと感じていることは何ですか。（いくつでも）

【全体】

「子供の成長を感じられる」が 89.9％で最も高く、次いで「子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）」が 83.9％、「子供が笑ってくれる」が 81.5％と続く。何らか子育てに関して「楽しいと感じていることがある（計）」とする保護者は、98.2％である。

【学年別】

いずれの学年でも「子供の成長を感じられる」が最も高い。「子供の成長を感じられる」は、学年が上がると減少傾向だが、17 歳でも 83.2％である。また、「子供が愛情表現をくれる（言葉や手紙など）」も、学年が上がると減少傾向で、3 歳では 78.9％、17 歳では 39.3％である。

図表 2-103 今、子育てに関して楽しいと感じていること ＜複数回答＞

(%)

			n	子供の成長を感じられる	子供とのコミュニケーション（会話・遊び・食事など）	子供が愛情表現をくれる（言葉や手紙など）	子供が笑ってくれる	子供が自分を頼ってくれる、甘えてくれる	子供を通して、親も成長できる	子供を通して、新しい情報が得られる
全体		令和8年	4,676	89.9	83.9	61.3	81.5	64.3	62.4	54.0
		令和7年	4,450	90.2	83.6	61.9	81.1	64.2	62.5	53.9
学年	3歳	令和8年	935	95.3	89.7	78.9	92.9	76.0	61.9	41.6
		令和7年	810	95.4	91.5	79.6	94.9	75.6	60.1	42.8
	小3	令和8年	983	92.4	86.4	75.7	89.6	72.9	64.7	55.5
		令和7年	948	90.6	83.3	74.5	87.2	71.2	63.6	50.7
	小5	令和8年	880	91.4	83.1	62.2	81.3	65.0	62.6	54.4
		令和7年	902	89.6	82.7	66.0	83.5	66.1	63.1	53.9
	中2	令和8年	894	87.4	82.7	50.4	76.2	57.4	63.0	59.1
		令和7年	845	88.6	81.3	49.1	72.9	55.9	64.4	57.9
	17歳	令和8年	984	83.2	77.9	39.3	67.7	50.3	60.0	59.1
		令和7年	945	87.3	80.2	41.5	68.4	53.2	61.4	62.9
区市町村	区部		3,032	89.9	84.8	61.9	82.2	65.2	62.8	54.0
	市町村部		1,644	89.8	82.3	60.2	80.4	62.8	61.8	54.0

			子供を通して、新しいコミュニティ（友人・学校・部活・幼稚園・保育園など）ができる	その他	特にない	無回答/不明	楽しいと感じていることがある（計）
全体		令和8年	38.7	0.8	1.2	0.6	98.2
		令和7年	40.6	1.6	1.2	0.4	98.4
学年	3歳	令和8年	36.3	0.3	0.3	0.3	99.4
		令和7年	38.8	1.5	0.2	0.2	99.5
	小3	令和8年	44.7	0.7	0.7	0.6	98.7
		令和7年	48.0	1.4	0.5	0.4	99.1
	小5	令和8年	37.4	1.1	1.3	0.9	97.8
		令和7年	41.5	1.6	2.1	0.7	97.2
	中2	令和8年	39.4	0.9	1.7	0.7	97.7
		令和7年	39.2	1.8	1.4	0.2	98.3
	17歳	令和8年	35.5	0.9	1.8	0.6	97.6
		令和7年	35.2	1.6	1.8	0.2	98.0
区市町村	区部		38.9	0.7	1.0	0.7	98.3
	市町村部		38.3	0.9	1.5	0.5	98.1

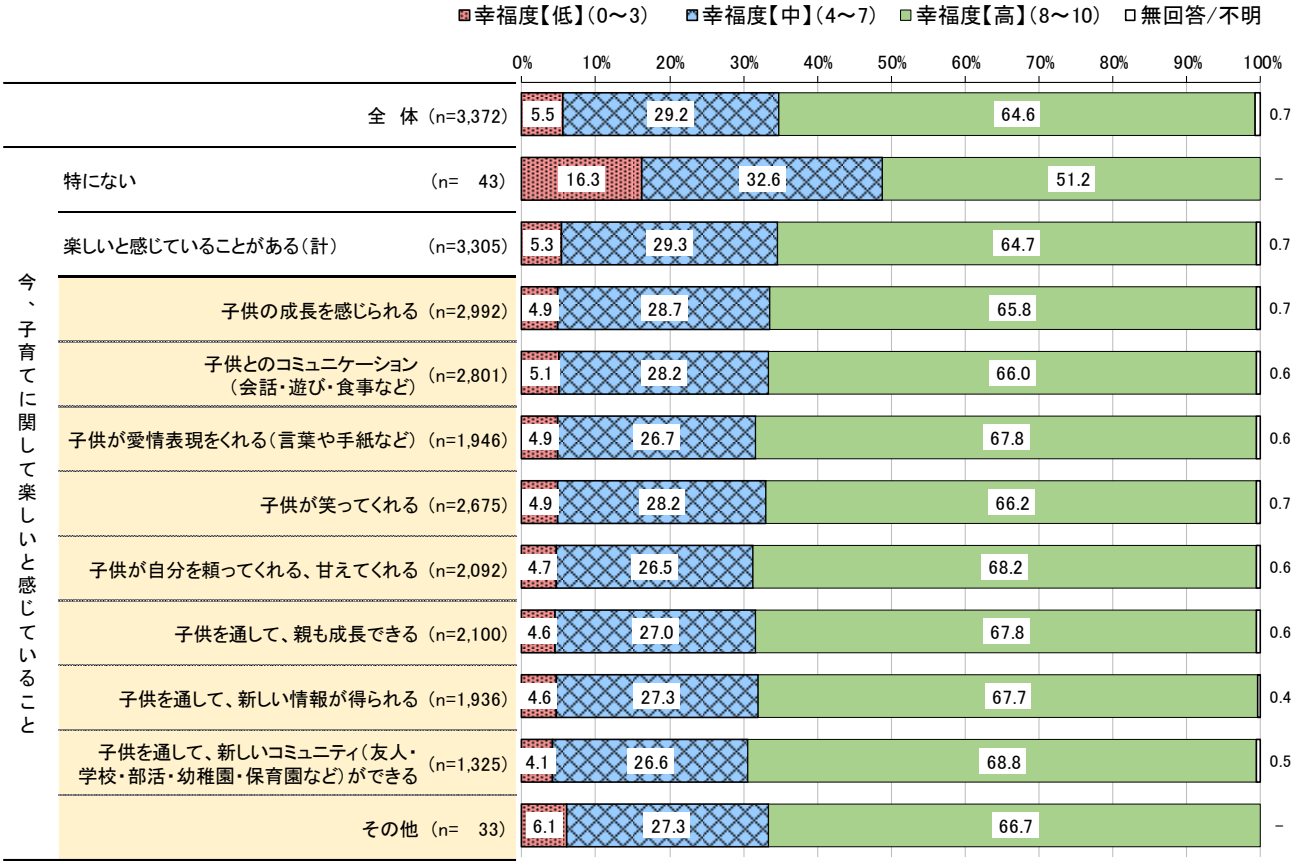
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※楽しいと感じていることがある（計）は「子供の成長を感じられる」～「子供を通して、新しいコミュニティ（友人、学校、部活、幼稚園、保育園など）ができる」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「今、子育てに関して楽しいと感じていること」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか子育てに関して「楽しいと感じていることがある(計)」とする保護者の子供の 64.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-104 子供の幸福度(「今、子育てに関して楽しいと感じていること」の回答別)



【自由記述】

その他（今、子育てに関して楽しいと感じていること）
子供がたくさんいて子供たちの関わりが見ていて楽しい。（保護者・3歳）
自分の友人が子どもたちを可愛がってくれる（保護者・3歳）
人間が学習する過程を見て仮説が検証されていく感じで楽しい（保護者・小3）
習い事での頑張り（保護者・小3）
子供がわらわせてくれる。（保護者・小3）
教育について調べること（保護者・小3）
同じように育てても性格が違う事（保護者・小3）
子供がいるからがんばる（保護者・小3）
子供がいるから未来に希望を持てる（保護者・小3）
子供が友達と楽しそうにすごしているのを見ること（保護者・小5）
サッカーをがんばっている（保護者・小5）
子供の行動がおもしろい（保護者・小5）
子供を通して、自分自身の子供時代を思い出し、懐しい気持ちになること（保護者・小5）
子供が健康で、学校に通えているだけでありがたいと思う（保護者・小5）
可愛い（保護者・小5）
栄養のある食べ物をきちんと食べようと思える！（保護者・小5）
子供が学校に行ってくれる（高校の子供）（保護者・中2）
存在そのものが幸せ、喜びを与えてくれる（保護者・中2）
大変なことも多いが、振りかえると切ない思い出になるかもしれないと思う。（保護者・中2）
日々、健康でご飯をおいしく食べる姿。居るだけで楽しい。（保護者・中2）
学んだことが子供のためになった時（保護者・中2）
PTA（保護者・中2）
子供達が健康で楽しく過ごしてくれている！（保護者・17 歳）
子どもの活動を通して喜びをもらえる（保護者・17 歳）
子どもの目標を通して、自分も夢を一緒においかけてる気分になれ楽しい。（保護者・17 歳）
すべてです（保護者・17 歳）
介護のちょっとした手助けや精神的な支えになってます。（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 子育てや教育の費用）

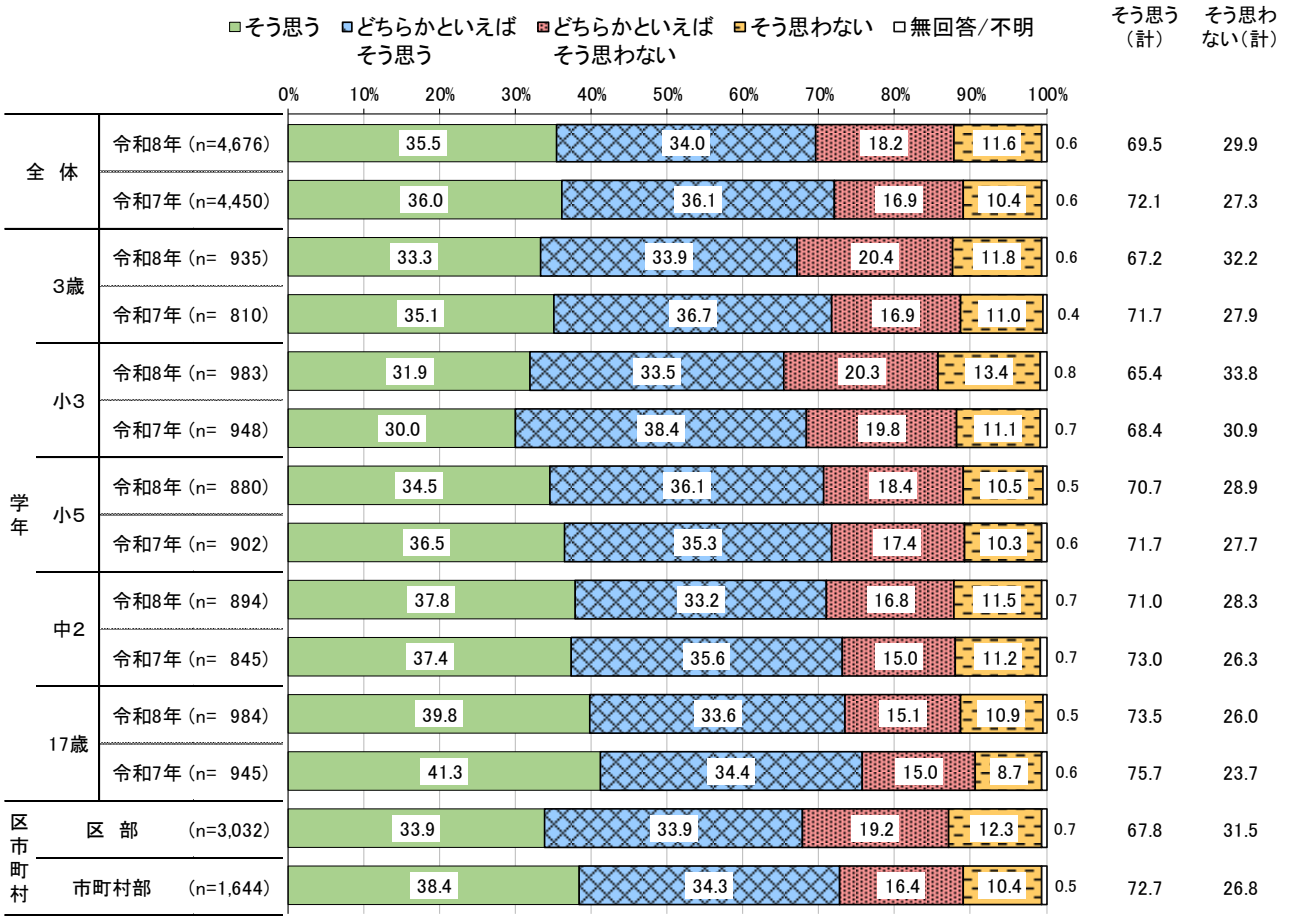
【全体】

「子育てや教育の費用に悩んでいる」とする保護者は 69.5%（「そう思う」が 35.5%＋「どちらかといえばそう思う」が 34.0%）である。

【学年別】

「子育てや教育の費用に悩んでいる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、17 歳で最も高く、73.5%である。

図表 2-105 A「子育てや教育の費用」の悩み ＜単一回答＞

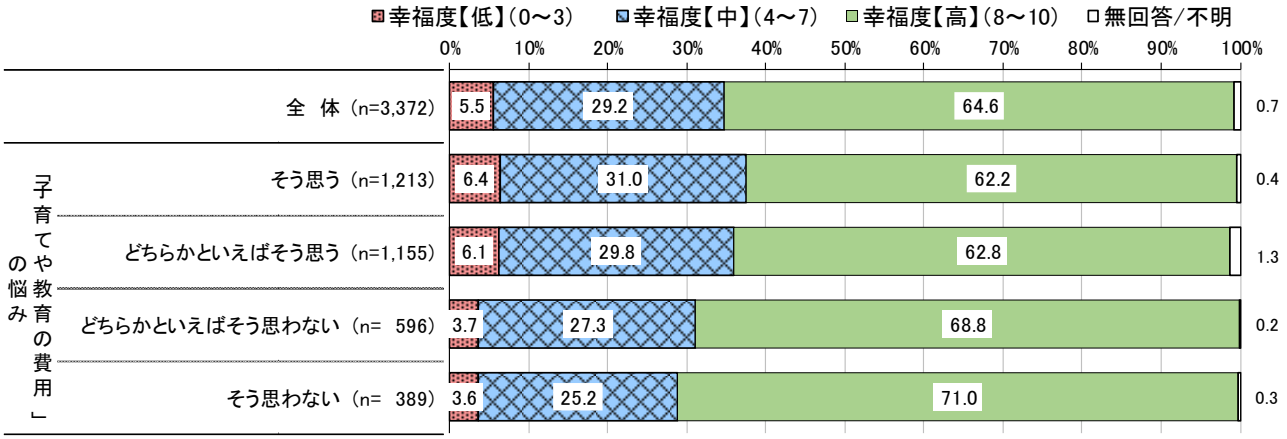


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育てや教育の費用』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 62.2%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 71.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-106 子供の幸福度(「『子育てや教育の費用』の悩み」の回答別)

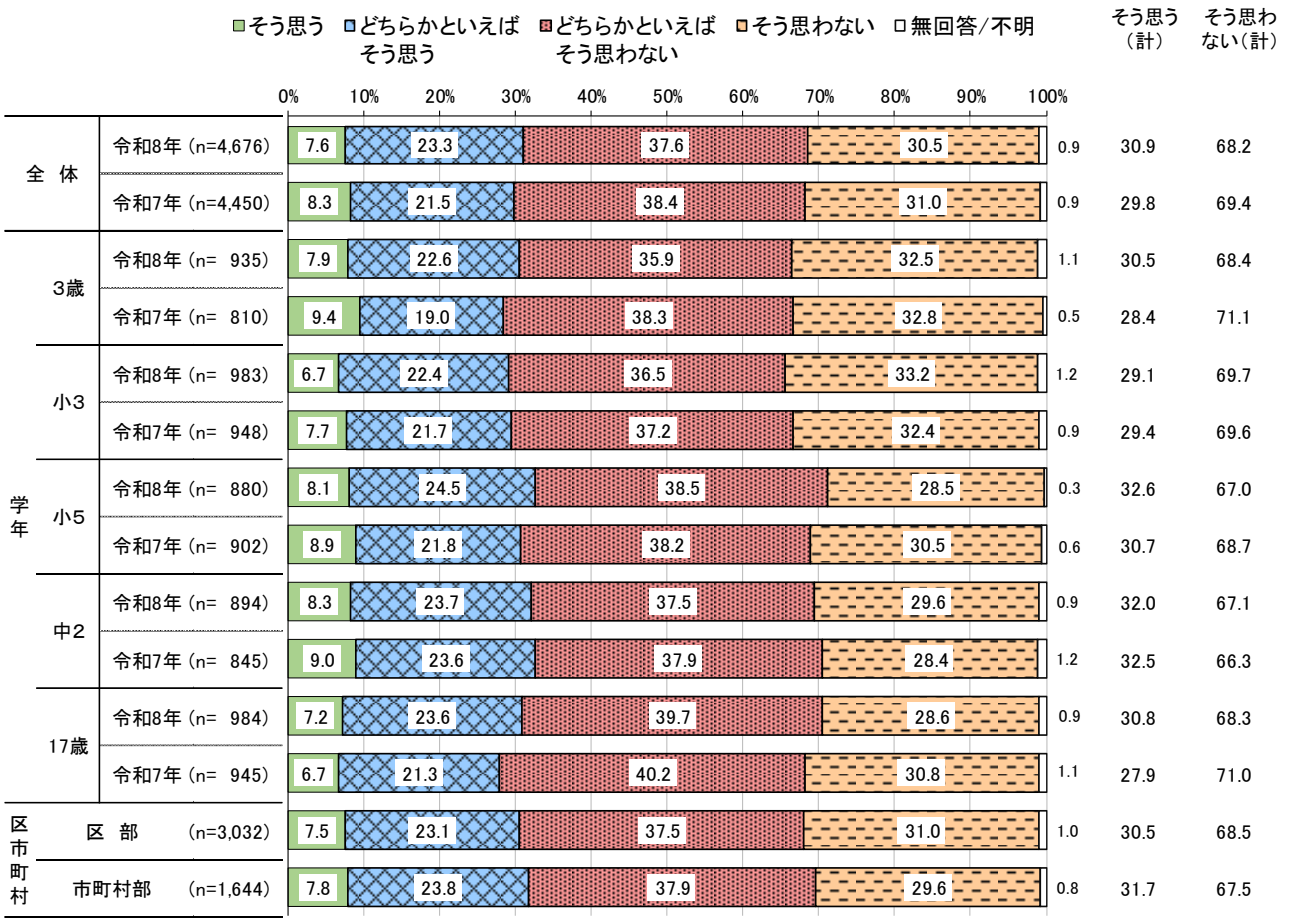


（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B 子育ての相談相手の不足）

【全体】

「子育ての相談相手の不足に悩んでいる」とする保護者は 30.9%（「そう思う」が 7.6%＋「どちらかといえばそう思う」が 23.3%）である。なお、「どちらかといえばそう思わない」が 37.6%で最も高い。

図表 2-107 B「子育ての相談相手の不足」の悩み ＜単一回答＞

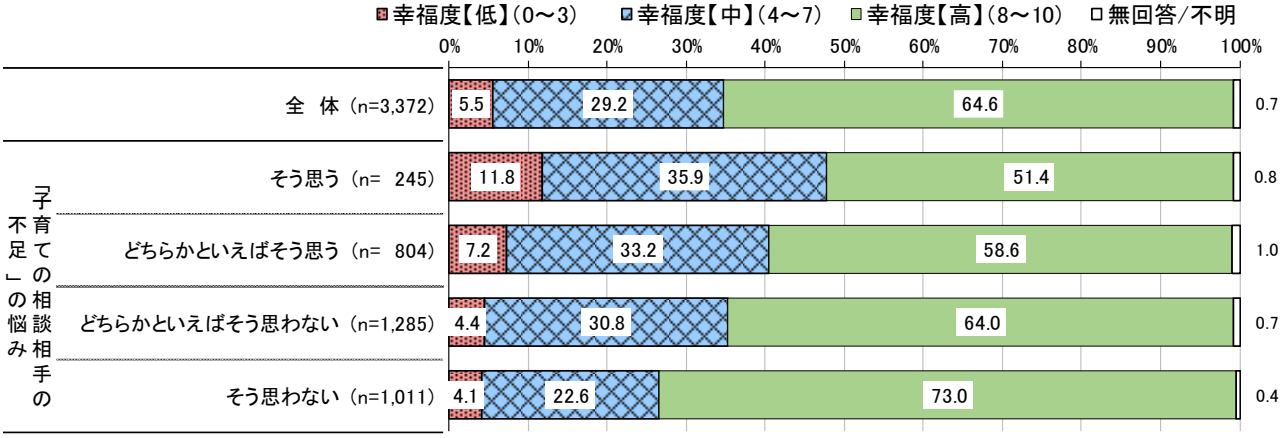


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育ての相談相手の不足』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の51.4%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 73.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-108 子供の幸福度(「『子育ての相談相手の不足』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C 子供の健康や発達・発育）

【全体】

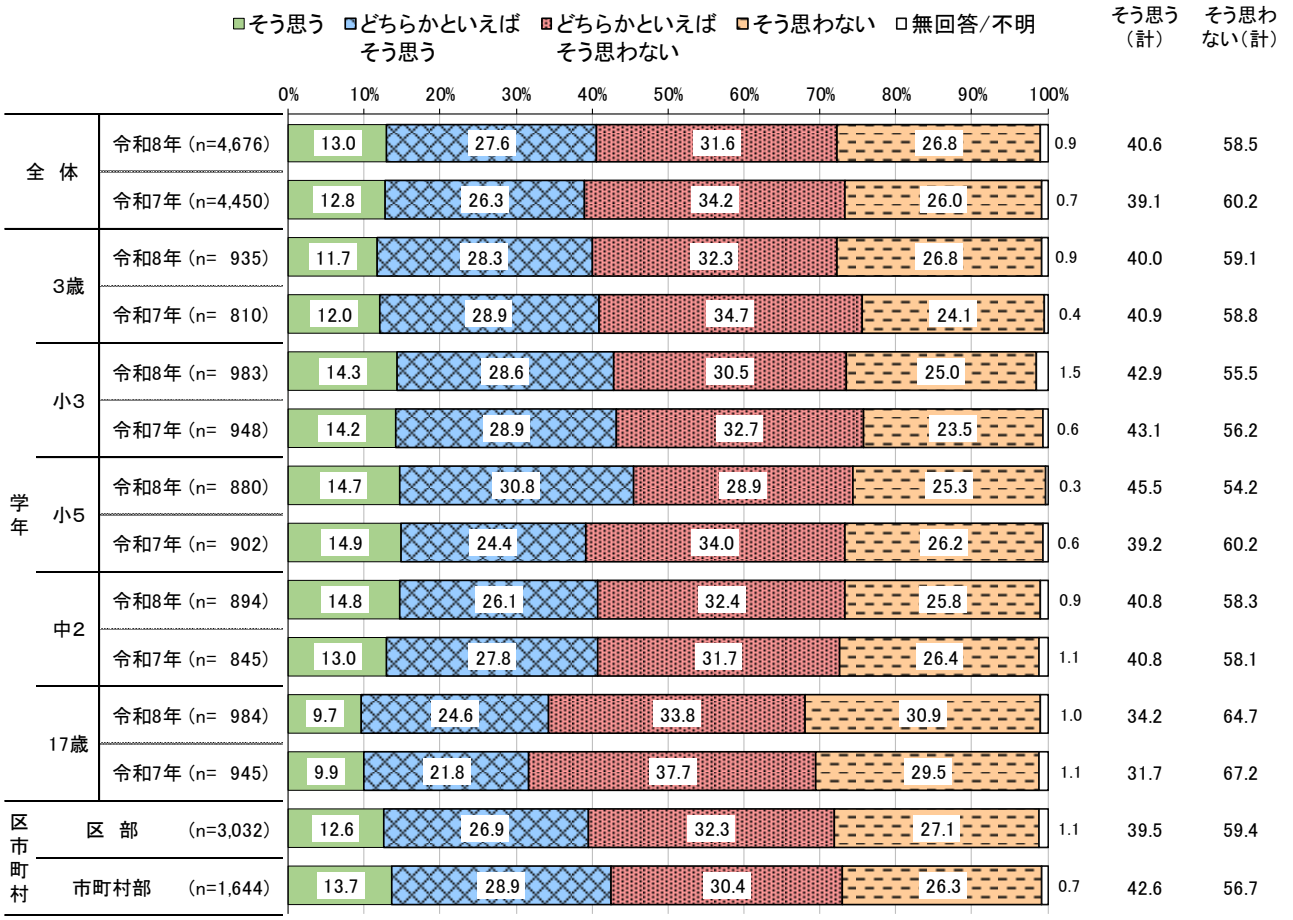
「子供の健康や発達・発育に悩んでいる」とする保護者は 40.6%（「そう思う」が 13.0%＋「どちらかといえばそう思う」が 27.6%）である。なお、「どちらかといえばそう思わない」が 31.6%で最も高い。

【学年別】

「子供の健康や発達・発育に悩んでいる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小5で最も高く、45.5%である。

経年比較でみると、小5で「どちらかといえばそう思う」が 6.4 ポイント増加している。

図表 2-109 C「子供の健康や発達・発育」の悩み ＜単一回答＞

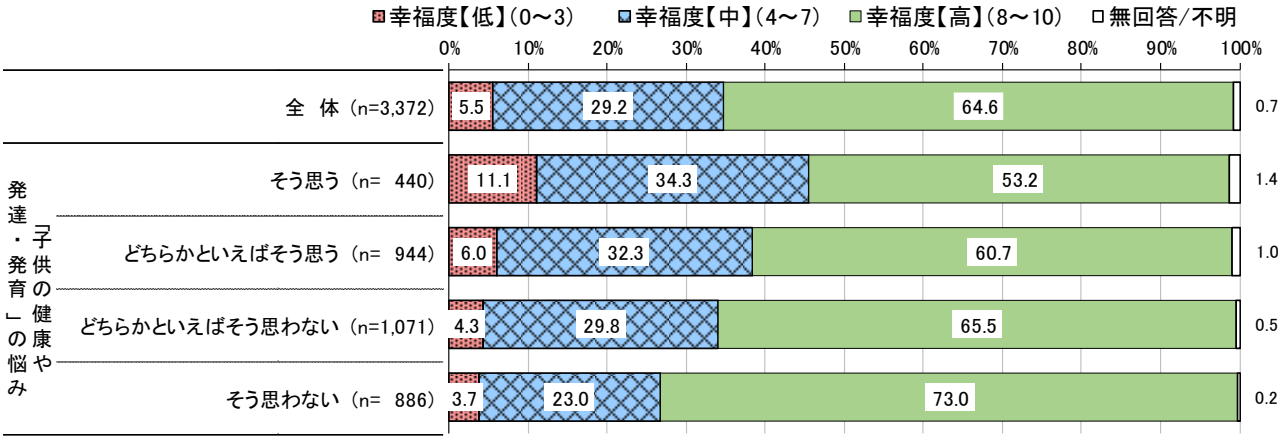


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の健康や発達・発育』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の53.2%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 73.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-110 子供の幸福度(「『子供の健康や発達・発育』の悩み」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 子供の成績や学力）

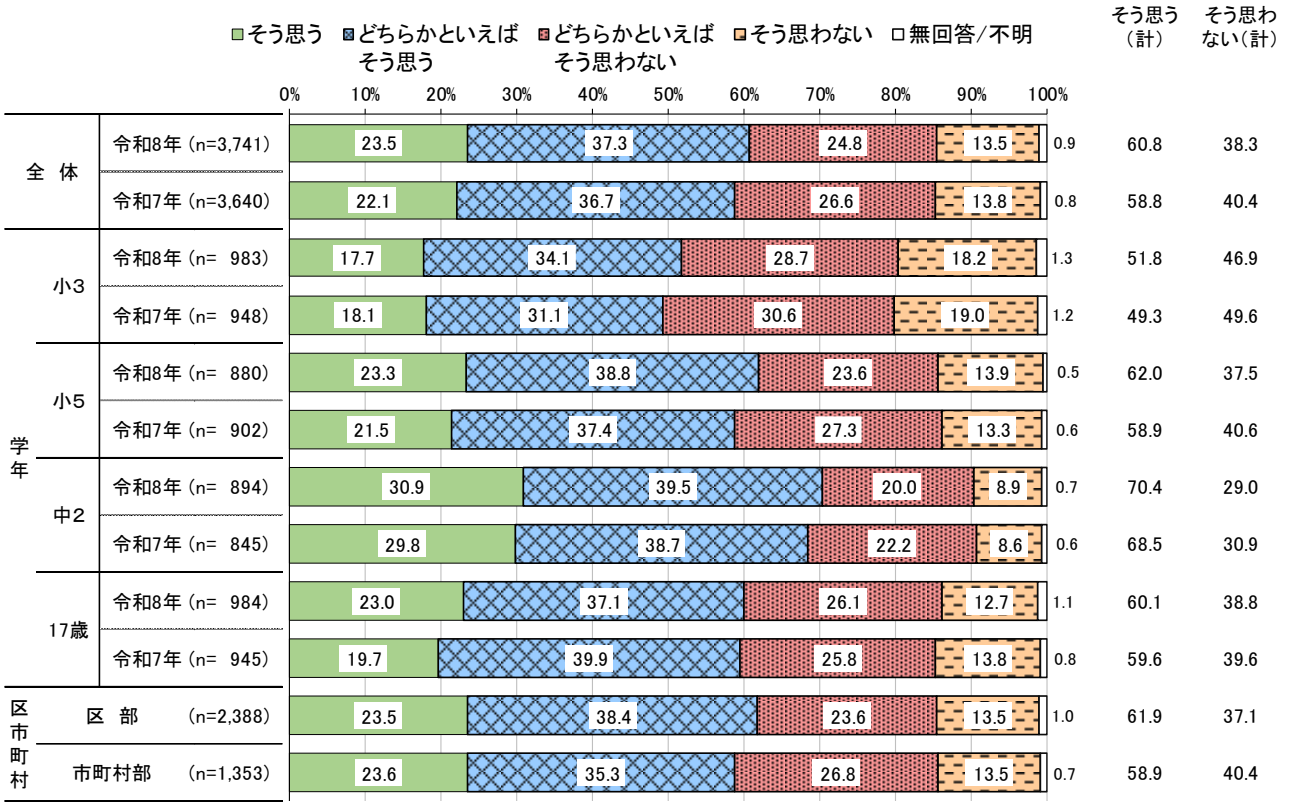
【全体】

「子供の成績や学力に悩んでいる」とする保護者は 60.8%（「そう思う」が 23.5%＋「どちらかといえばそう思う」が 37.3%）である。

【学年別】

「子供の成績や学力に悩んでいる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、中2で最も高く、70.4%である。

図表 2-111 D 「子供の成績や学力」の悩み ＜単一回答＞

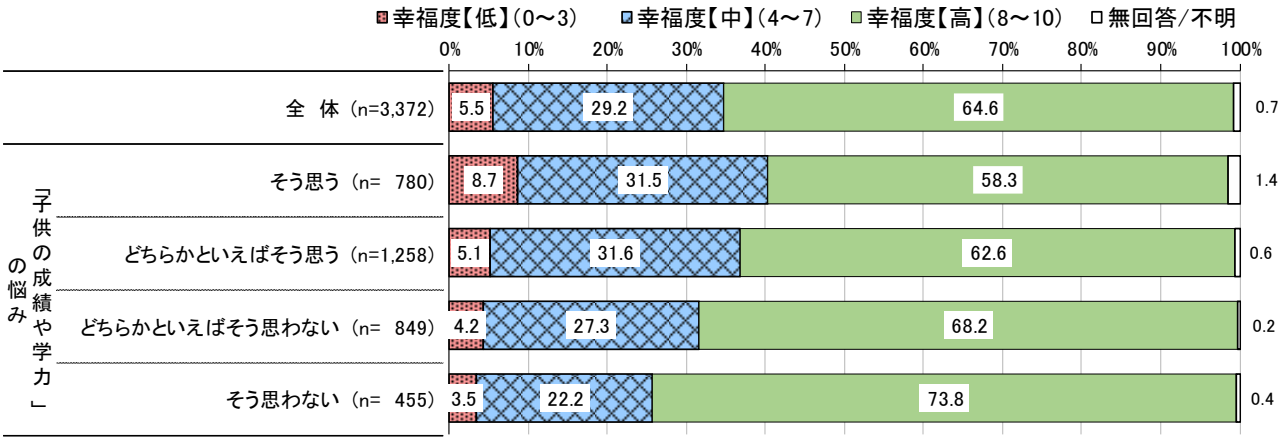


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の成績や学力』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 58.3%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 73.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-112 子供の幸福度(「『子供の成績や学力』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E 子供の進学や就職）

【全体】

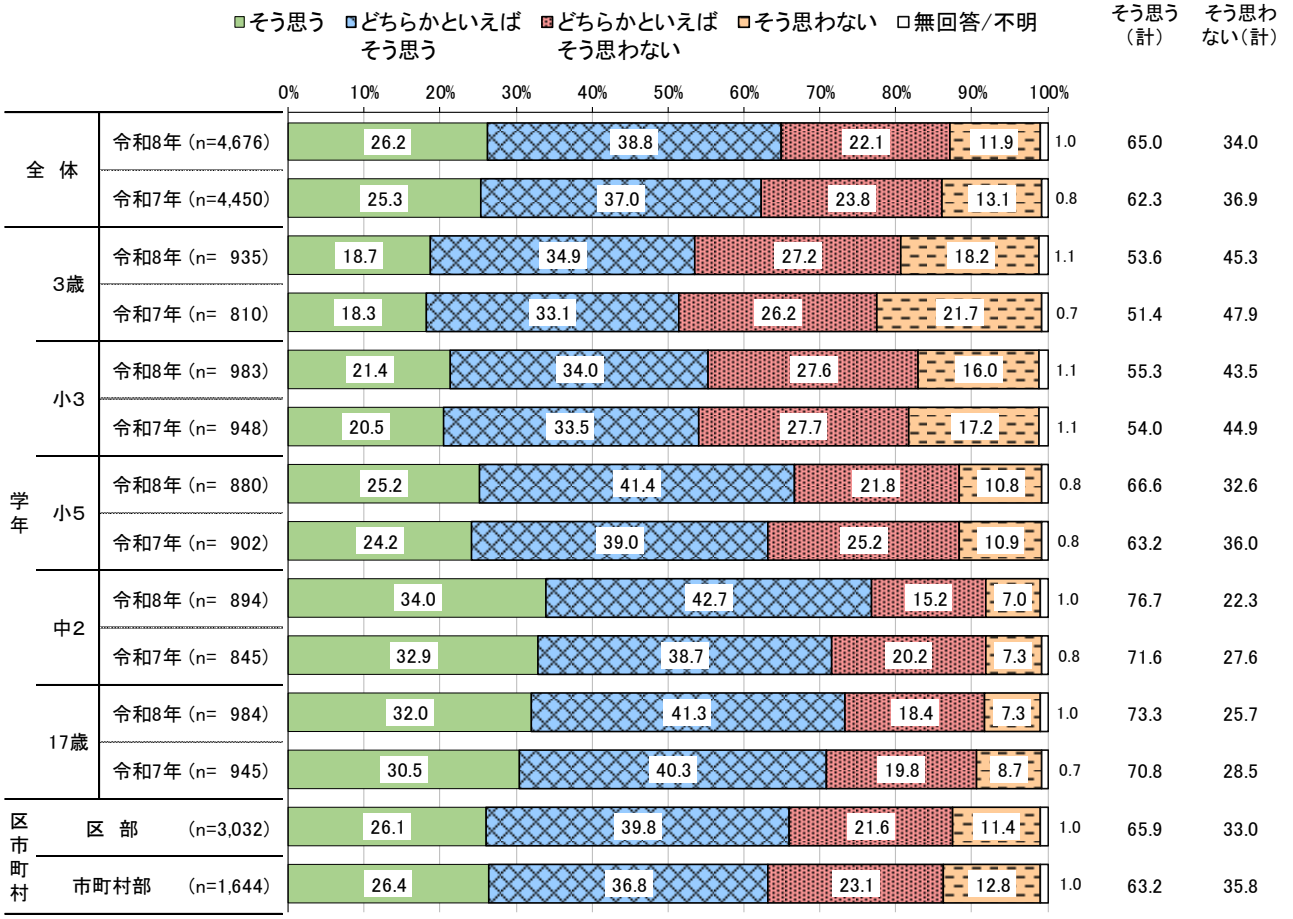
「子供の進学や就職に悩んでいる」とする保護者は 65.0%（「そう思う」が 26.2%＋「どちらかといえばそう思う」が 38.8%）である。

【学年別】

「子供の進学や就職に悩んでいる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、中2で最も高く、76.7%である。

経年比較でみると、中2で「どちらかといえばそう思わない」が 5.0 ポイント減少し、「子供の進学や就職に悩んでいる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）が、5.1 ポイント増加している。

図表 2-113 E「子供の進学や就職」の悩み ＜単一回答＞

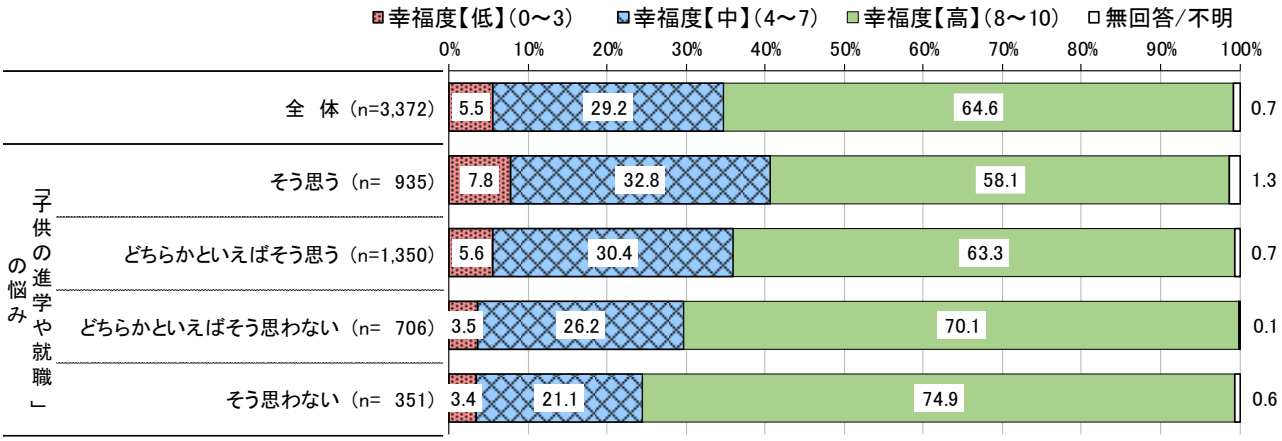


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の進学や就職』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると「そう思う」と回答した保護者の子供の 58.1%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 74.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-114 子供の幸福度(「『子供の進学や就職』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　子供の問題行動）

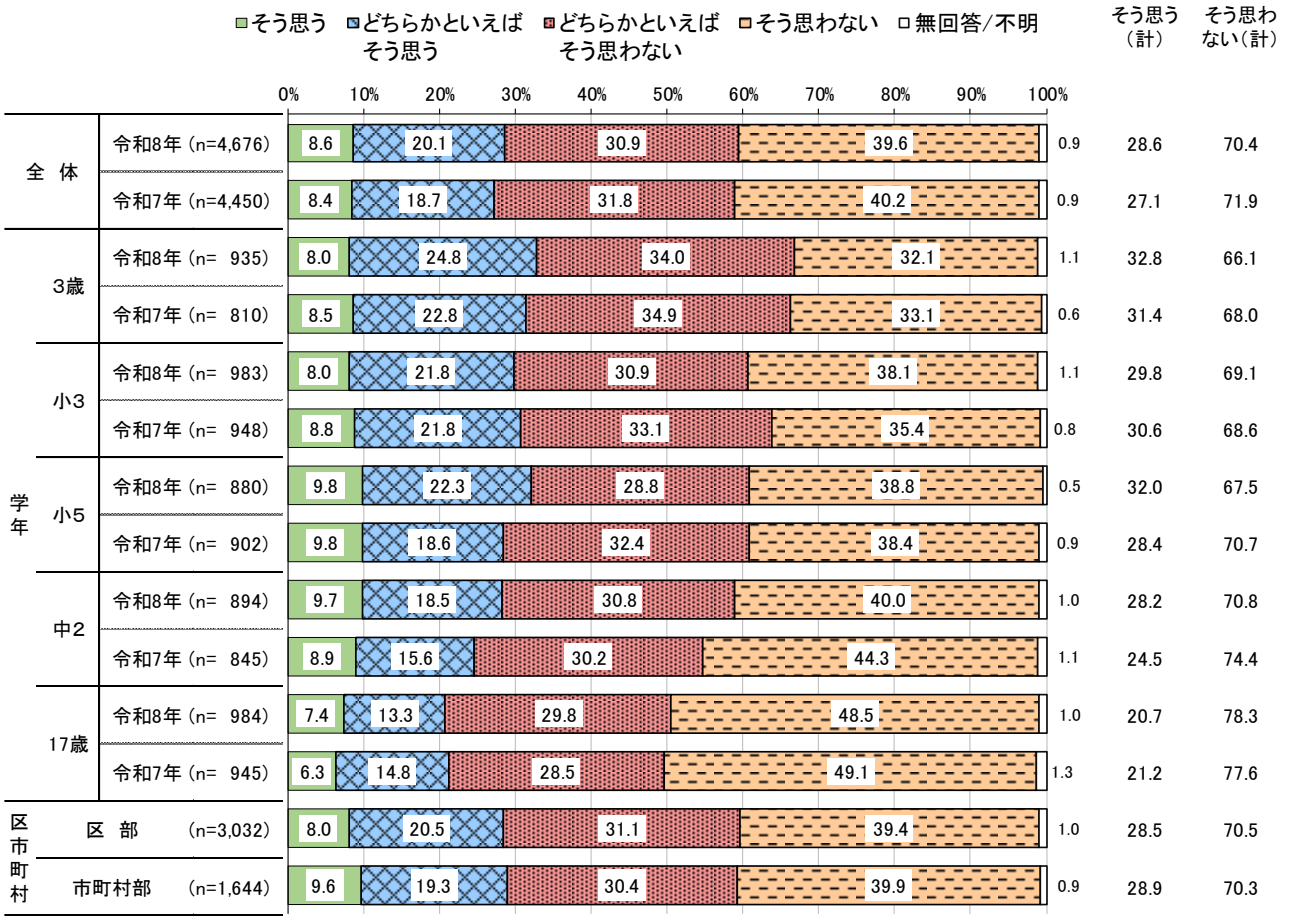
【全体】

「子供の問題行動に悩んでいる」とする保護者は 28.6％（「そう思う」が 8.6％＋「どちらかといえばそう思う」が 20.1％）である。なお、「そう思わない」が 39.6％で最も高い。

【学年別】

「子供の問題行動に悩んでいる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、3歳で最も高く、32.8％である。

図表 2-115 F「子供の問題行動」の悩み ＜単一回答＞

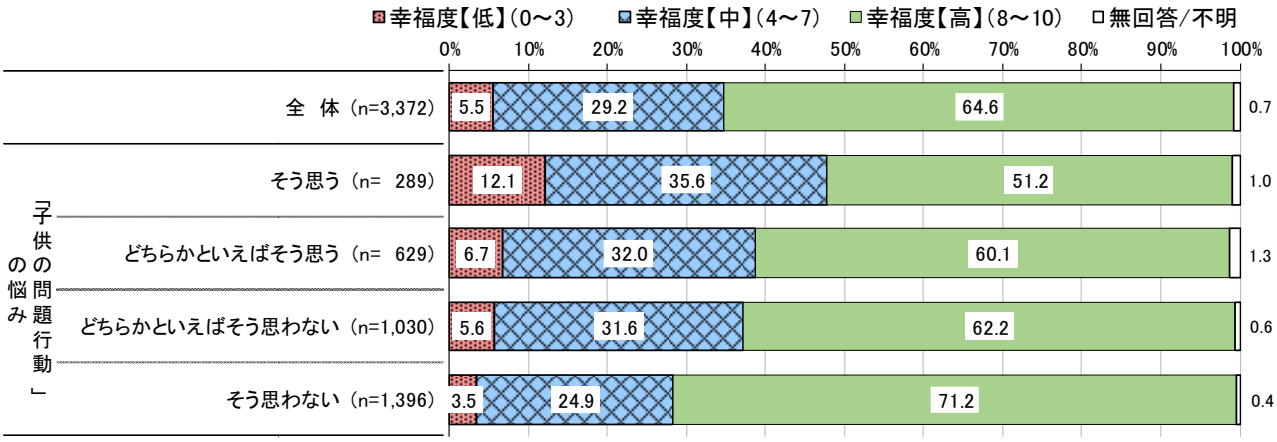


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子供の問題行動』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 51.2%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 71.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-116 子供の幸福度(「『子供の問題行動』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G 子育てと仕事や家事の両立）

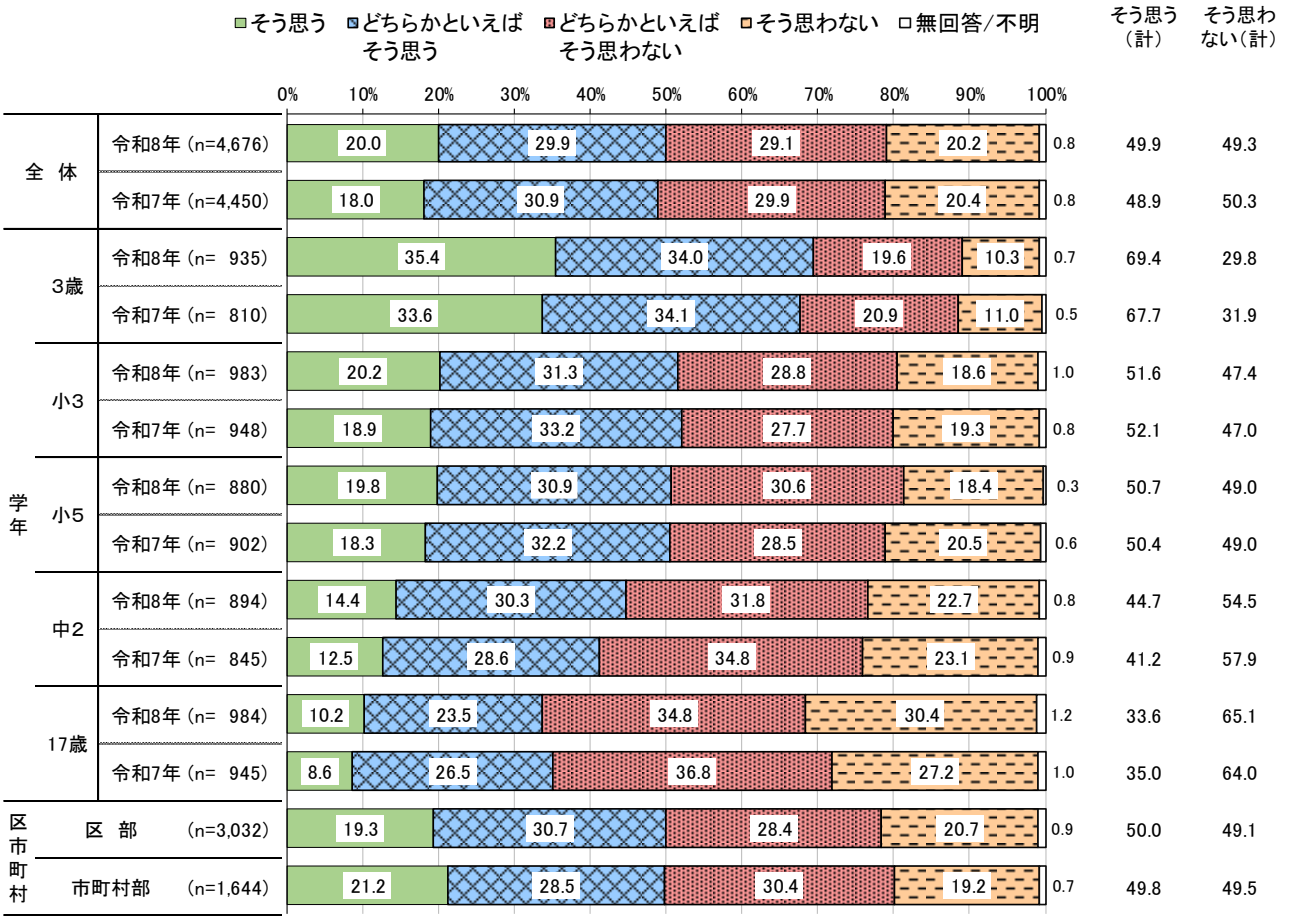
【全体】

「子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる」とする保護者は 49.9%（「そう思う」が 20.0%＋「どちらかといえばそう思う」が 29.9%）である。

【学年別】

「子育てと仕事や家事の両立に悩んでいる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 2-117 G「子育てと仕事や家事の両立」の悩み ＜単一回答＞

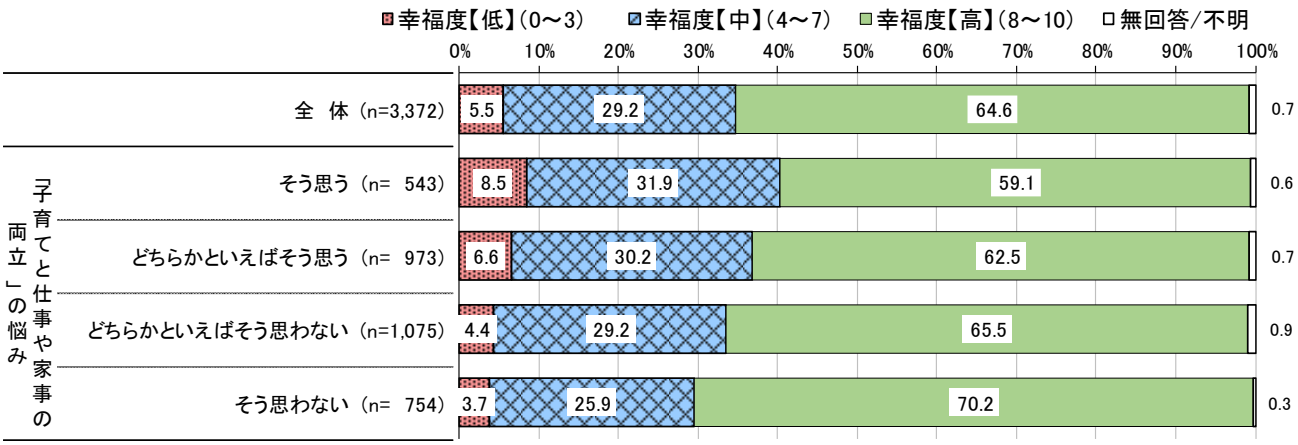


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「『子育てと仕事や家事の両立』の悩み」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の59.1%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 70.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-118 子供の幸福度(「『子育てと仕事や家事の両立』の悩み」の回答別)



（保護者：共通）問 28. あなたは子育てに関する情報をどこから得ていますか。（いくつでも）

【全体】

「友人・知人」が 65.4％で最も高く、次いで「テレビ」が 42.0％、「自分の配偶者／パートナー」が 38.6％、「お子様の学校／学校の先生」が 38.2％と続く。何らか「子育てに関する情報を得ている（計）」とする保護者は、97.7％である。

経年比較でみると、「Instagram」が 6.7 ポイント増加している。

【学年別】

3歳では「Instagram」、小3、小5、中2、17 歳では「友人・知人」が最も高い。「Instagram」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 62.6％、17 歳では 20.5％である。

経年比較でみると、3歳、小3、中2、17 歳で「Instagram」が、それぞれ 6.7 ポイント、6.5 ポイント、8.2 ポイント、5.2 ポイント増加しており、小3で「YouTube」が 5.5 ポイント、小5で「職場関係の人」が 5.7 ポイント増加している。また、3歳で「育児書や教育書」が 5.0 ポイント減少している。

【区市町村別】

市町村部で「職場関係の人」が 31.3％で、区部に比べて 6.4 ポイント高い。

図表 2-119 子育てに関する情報をどこから得ていますか ＜複数回答＞

(%)

			n	テレビ	Facebook	X（旧Twitter）	Instagram	LINE	YouTube	左記以外のオンライン情報（インターネット検索など）	新聞
全体		令和8年	4,676	42.0	2.8	16.3	36.4	7.8	26.6	38.0	11.0
		令和7年	4,450	42.4	2.7	15.2	29.7	7.4	23.5	39.9	11.6
学年	3歳	令和8年	935	42.1	1.9	28.1	62.6	8.0	40.1	33.7	3.6
		令和7年	810	40.4	1.6	28.0	55.9	7.8	36.7	34.6	4.3
	小3	令和8年	983	42.0	2.0	17.1	40.9	8.3	27.9	36.8	10.0
		令和7年	948	41.8	3.6	15.7	34.4	8.3	22.4	39.3	10.9
	小5	令和8年	880	41.7	3.4	14.7	33.3	7.8	26.3	41.0	11.0
		令和7年	902	40.9	3.4	13.1	28.4	7.0	23.8	41.8	11.2
	中2	令和8年	894	41.8	3.0	11.1	24.8	7.3	19.5	41.1	12.6
		令和7年	845	44.5	2.1	11.5	16.6	7.2	18.9	41.9	15.4
	17歳	令和8年	984	42.5	3.6	10.6	20.5	7.4	19.4	37.7	17.7
		令和7年	945	44.4	2.3	8.9	15.3	6.6	16.9	41.6	15.7
区市町村	区部		3,032	40.5	2.4	18.0	36.4	7.4	26.7	38.4	11.5
	市町村部		1,644	45.0	3.4	13.3	36.5	8.6	26.5	37.2	10.1

			育児・教育雑誌	育児書や教育書	自分の配偶者／パートナー	自分または配偶者／パートナーの親や親戚	友人・知人	学校・学校の先生、幼稚園・こども園・保育園の先生	（17歳、中2、小5、小3）相談員（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど）	放課後児童クラブ・児童館の職員	塾や習い事の先生
全体		令和8年	8.8	13.4	38.6	27.3	65.4	38.2	5.0	4.1	18.8
		令和7年	10.0	14.4	37.5	27.8	67.2	38.4	5.5	4.1	19.1
学年	3歳	令和8年	12.6	15.6	43.9	34.8	61.7	58.4		7.9	7.4
		令和7年	14.7	20.6	46.0	38.6	65.3	61.0		9.6	6.8
	小3	令和8年	9.5	18.5	39.0	30.7	68.3	35.2	7.9	8.2	21.6
		令和7年	11.7	17.8	36.9	27.7	69.9	35.1	7.6	7.1	20.3
	小5	令和8年	9.4	13.4	40.0	28.1	67.6	29.9	6.3	3.5	24.1
		令和7年	9.8	15.2	36.5	28.0	68.1	29.6	7.8	3.2	23.6
	中2	令和8年	5.5	9.7	36.9	22.4	66.3	33.1	6.3	0.3	22.0
		令和7年	8.8	10.7	35.6	25.1	67.8	34.7	7.1	0.9	24.3
	17歳	令和8年	6.9	9.7	33.5	20.5	63.0	33.8	4.6	0.5	19.3
		令和7年	5.8	8.5	33.4	21.0	64.6	34.2	4.4	0.2	19.6
区市町村	区部		9.2	14.3	38.9	27.1	66.3	39.1	4.9	4.4	20.0
	市町村部		8.1	11.9	38.1	27.6	63.7	36.4	5.2	3.6	16.7

			職場関係の人	（小5、小3、3歳）ベビーシッター	行政機関の広報誌	その他	どこからも情報は得ていない	無回答／不明	子育てに関する情報を得ている（計）
全体		令和8年	27.2	0.8	7.2	2.4	1.8	0.5	97.7
		令和7年	26.3	0.6	8.1	2.2	2.3	0.4	97.3
学年	3歳	令和8年	23.1	3.4	5.8	1.9	0.4	0.2	99.4
		令和7年	23.6	2.6	8.8	2.1	0.5	0.4	99.1
	小3	令和8年	26.7	0.4	7.9	3.1	1.1	0.7	98.2
		令和7年	27.2	0.3	7.7	2.0	1.3	0.5	98.2
	小5	令和8年	30.5	0.1	8.8	2.2	1.5	0.5	98.1
		令和7年	24.8	0.2	9.2	2.4	2.0	0.6	97.5
	中2	令和8年	29.3		6.6	2.0	2.3	1.0	96.6
		令和7年	27.8		6.6	1.8	3.2	0.2	96.6
	17歳	令和8年	26.7		7.2	2.5	3.4	0.3	96.3
		令和7年	27.8		8.1	2.5	4.3	0.4	95.2
区市町村	区部		24.9	1.2	6.7	2.1	1.8	0.5	97.7
	市町村部		31.3	0.1	8.3	2.7	1.6	0.5	97.8

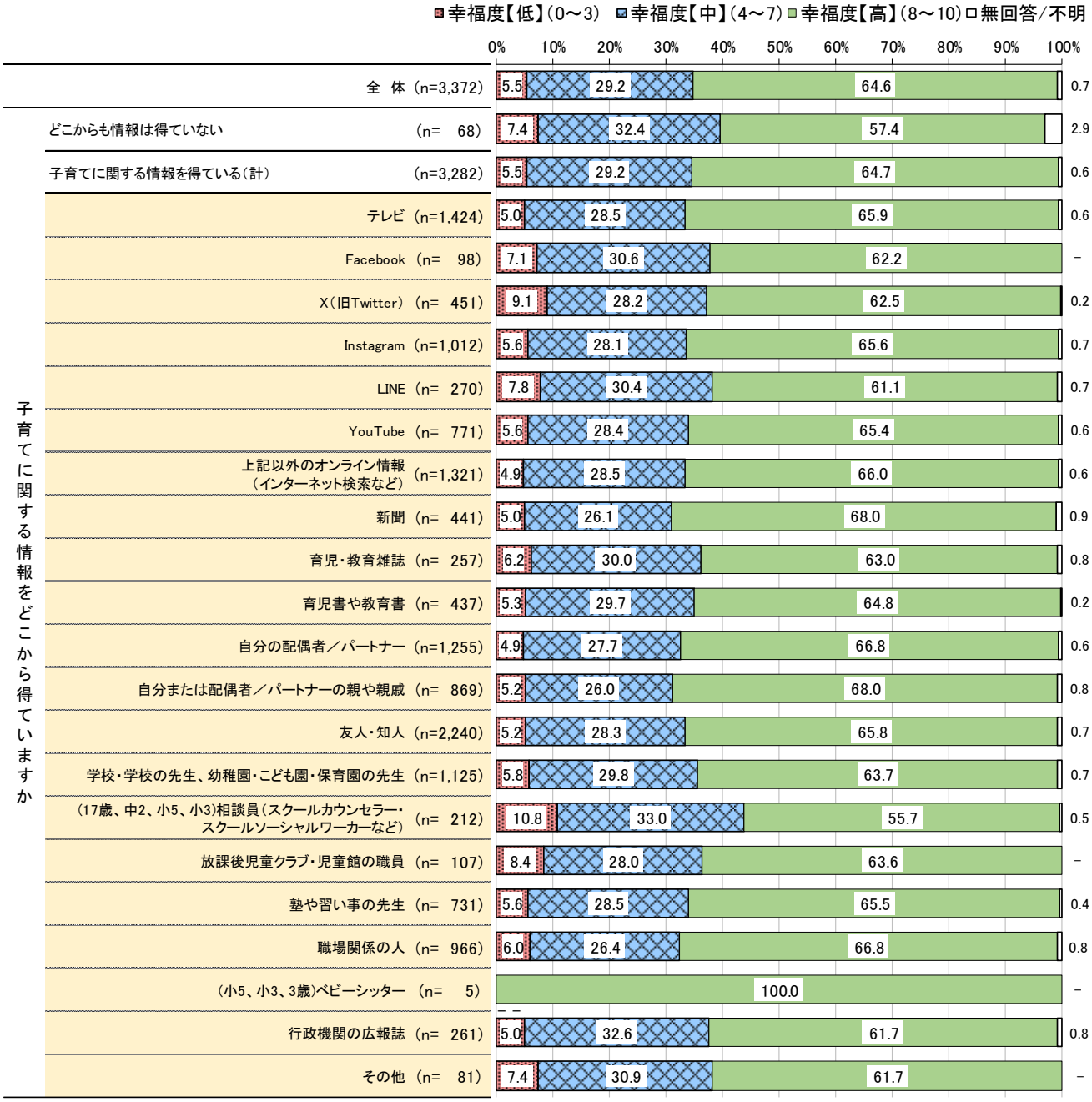
※子育てに関する情報を得ている（計）は「テレビ」～「行政機関の広報誌」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

「子育てに関する情報をどこから得ているか」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「子育てに関する情報を得ている(計)」とする保護者の子供の 64.7%が幸福度【高】(8～10)で、「どこからも情報は得ていない」と回答した保護者の子供の 57.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-120 子供の幸福度(「子育てに関する情報をどこから得ていますか」の回答別)



【自由記述】

その他（子育てに関する情報をどこから得ているか）
AI（保護者・3歳）
発達関連の機関（保護者・3歳）
病院（保護者・3歳）
こども食堂（保護者・3歳）
保健所（保護者・3歳）
行政（保護者・3歳）
ラジオ（保護者・3歳）
論文（保護者・3歳）
AI（保護者・小3）
心療内科のカウンセリング（保護者・小3）
かかりつけの小児科医（保護者・小3）
子育て広場（保護者・小3）
ママ友（保護者・小3）
ラジオ（保護者・小3）
会社の福利厚生で使える動画や資料（保護者・小3）
区の子供相談支援センターのスタッフの方、放課後デイサービスのスタッフの方、民間の発達相談支援センターの方（保護者・小3）
生成AI（ChatGPT、Gemini、Claude）（保護者・小5）
放課後デイサービス（保護者・小5）
民間学童の先生（保護者・小5）
育児関係の専門家（保護者・小5）
発達外来の児童精神科の先生（保護者・小5）
市の家庭支えんセンター（保護者・小5）
ウェビナーや、地域が主催してる講座（保護者・小5）
MENSA 大人会員＆MENSA 年少会員の保護者（保護者・小5）
AI（保護者・中2）
フリースクール（保護者・中2）
行政（保護者・中2）
開かれた学校作り協議会（保護者・中2）
放デイの先生、発達外来の担当医（保護者・中2）
AI（保護者・17 歳）
療育機関（保護者・17 歳）
精神科医（保護者・17 歳）
ラジオ（保護者・17 歳）
信頼出来る教会の子育て経験者（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 29. あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は誰ですか。（いくつでも）

【全体】

「親戚」が 51.2％で最も高く、次いで「地域の友人・知人」が 48.1％、「地域以外の友人（学生時代の友人など）」が 33.7％と続く。誰か「頼れる相談相手がいる（計）」とする保護者は、91.1％である。

【学年別】

3歳、小3、小5では「親戚」、中2、17 歳では「地域の友人・知人」が最も高い。誰か「頼れる相談相手がいる（計）」とする保護者は、3歳が 94.5％で最も高い。

経年比較でみると、3歳で「地域以外の友人（学生時代の友人など）」が 5.9 ポイント、小5で「地域の友人・知人」が 7.8 ポイントそれぞれ減少している。中2で「職場関係の人」が 7.2 ポイント増加している。

【区市町村別】

市町村部は「職場関係の人」が 32.3％で、区部に比べて 6.5 ポイント高い。

図表 2-121 困ったときに家族以外で頼れる相談相手 ＜複数回答＞

(%)

			n	親戚	地域の友人・知人	地域以外の友人（学生時代の友人など）	学校の先生・職員、幼稚園・こども園・保育園の先生・職員	塾や習い事の先生	職場関係の人	行政の相談機関
全体		令和8年	4,676	51.2	48.1	33.7	30.6	12.4	28.1	6.4
		令和7年	4,450	49.0	51.1	35.8	30.9	12.8	26.9	7.4
学年	3歳	令和8年	935	59.6	37.9	36.4	51.6	4.3	24.2	7.0
		令和7年	810	55.6	38.0	42.3	51.1	5.7	24.0	9.1
	小3	令和8年	983	54.1	53.5	33.7	29.2	14.3	28.2	7.2
		令和7年	948	53.9	55.8	37.9	28.8	14.3	27.4	7.6
	小5	令和8年	880	49.8	47.6	30.1	24.7	15.3	26.4	6.4
		令和7年	902	48.7	55.4	32.7	27.2	14.9	27.7	7.1
	中2	令和8年	894	46.0	52.1	34.9	25.8	15.9	33.0	5.1
		令和7年	845	44.6	52.9	34.7	26.6	15.9	25.8	7.5
	17歳	令和8年	984	46.4	49.3	33.1	22.0	12.4	28.9	6.3
		令和7年	945	42.9	51.7	32.0	23.0	12.6	29.1	6.1
区市町村	区部		3,032	51.4	47.7	35.1	31.1	12.8	25.8	6.0
	市町村部		1,644	50.9	48.9	31.0	29.9	11.7	32.3	7.1

			子供関係のNPO法人・公益法人・ボランティア	インターネットやSNS上の相談サービス・知人	その他	頼れる相談相手はいない	無回答/不明	頼れる相談相手がいる（計）
全体		令和8年	1.7	4.0	2.0	8.4	0.4	91.1
		令和7年	1.8	3.8	1.9	8.8	0.5	90.6
学年	3歳	令和8年	1.6	5.3	1.5	5.2	0.2	94.5
		令和7年	2.0	5.6	2.2	6.3	0.5	93.2
	小3	令和8年	2.3	3.8	2.7	7.4	0.7	91.9
		令和7年	2.2	3.9	2.0	8.0	0.6	91.4
	小5	令和8年	1.5	3.0	1.9	9.8	0.5	89.8
		令和7年	2.0	3.2	2.1	8.6	0.6	90.8
	中2	令和8年	1.2	4.3	1.7	9.4	0.3	90.3
		令和7年	1.8	3.4	1.3	11.1	0.4	88.5
	17歳	令和8年	1.8	3.6	1.9	10.5	0.3	89.2
		令和7年	1.3	3.1	1.8	9.9	0.6	89.4
区市町村	区部		1.6	4.1	1.9	8.4	0.4	91.2
	市町村部		2.0	3.8	2.0	8.5	0.4	91.1

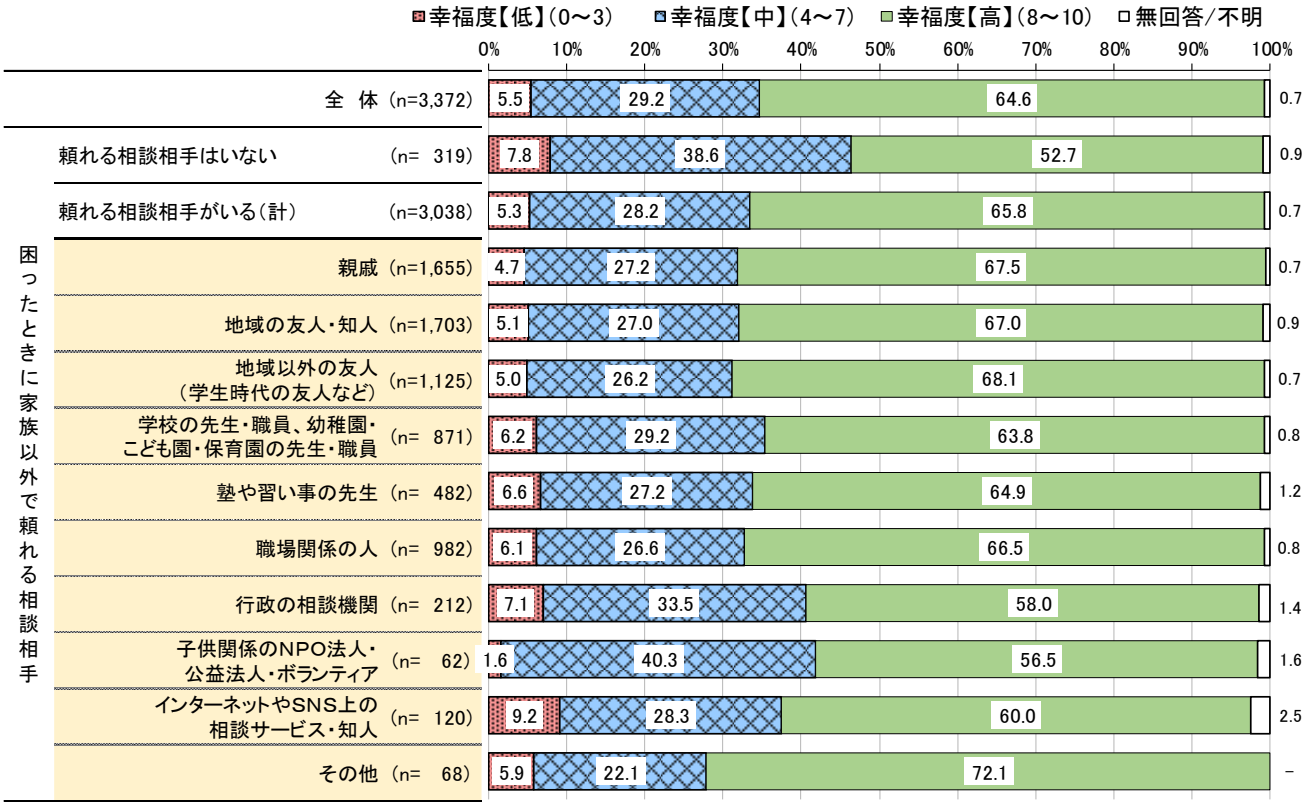
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※頼れる相談相手がいる（計）は、「親戚」～「インターネットやSNS上の相談サービス・知人」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「困ったときに家族以外で頼れる相談相手」の回答別に子供の幸福度をみると、誰か「頼れる相談相手がいる(計)」とする保護者の子供の 65.8%が幸福度【高】(8～10)で、「頼れる相談相手はいない」と回答した保護者の子供の52.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-122 子供の幸福度(「困ったときに家族以外で頼れる相談相手」の回答別)



【自由記述】

その他（相談相手）
AI（保護者・3歳）
助産師（保護者・3歳）
子育て支援センターの先生（保護者・3歳）
ファミサポ（保護者・3歳）
シッターさん（保護者・3歳）
子育てのプロ（保護者・3歳）
AI（保護者・小3）
フリースクールの先生（保護者・小3）
学童の先生（保護者・小3）
デイの先生（保護者・小3）
大学の臨床心理相談室（保護者・小3）
病院のカウンセラー（保護者・小3）
かかりつけの小児科医（保護者・小3）
ママ友（保護者・小3）
民間の発達支援相談センターの方、放課後デイサービスの方、スクールカウンセラー（保護者・小3）
クリニックの院長、牧師（保護者・小3）
AI（保護者・小5）
カウンセラー（保護者・小5）
医師（保護者・小5）
ママ友（保護者・小5）
ベビーシッター（保護者・小5）
相談支援、放デイ、新ボップの職員さん（保護者・小5）
訪問看護師、ヘルパー（保護者・小5）
AI（保護者・中2）
医師（保護者・中2）
ママ友（保護者・中2）
SCや家庭支援センター（保護者・中2）
思春期外来の医師、フルースクールの先生（保護者・中2）
AI（保護者・17 歳）
かかりつけ医（保護者・17 歳）
療育機関（保護者・17 歳）
部活動の保護者（保護者・17 歳）
ヘルパーさん（保護者・17 歳）
教会のクリスチャン（保護者・17 歳）

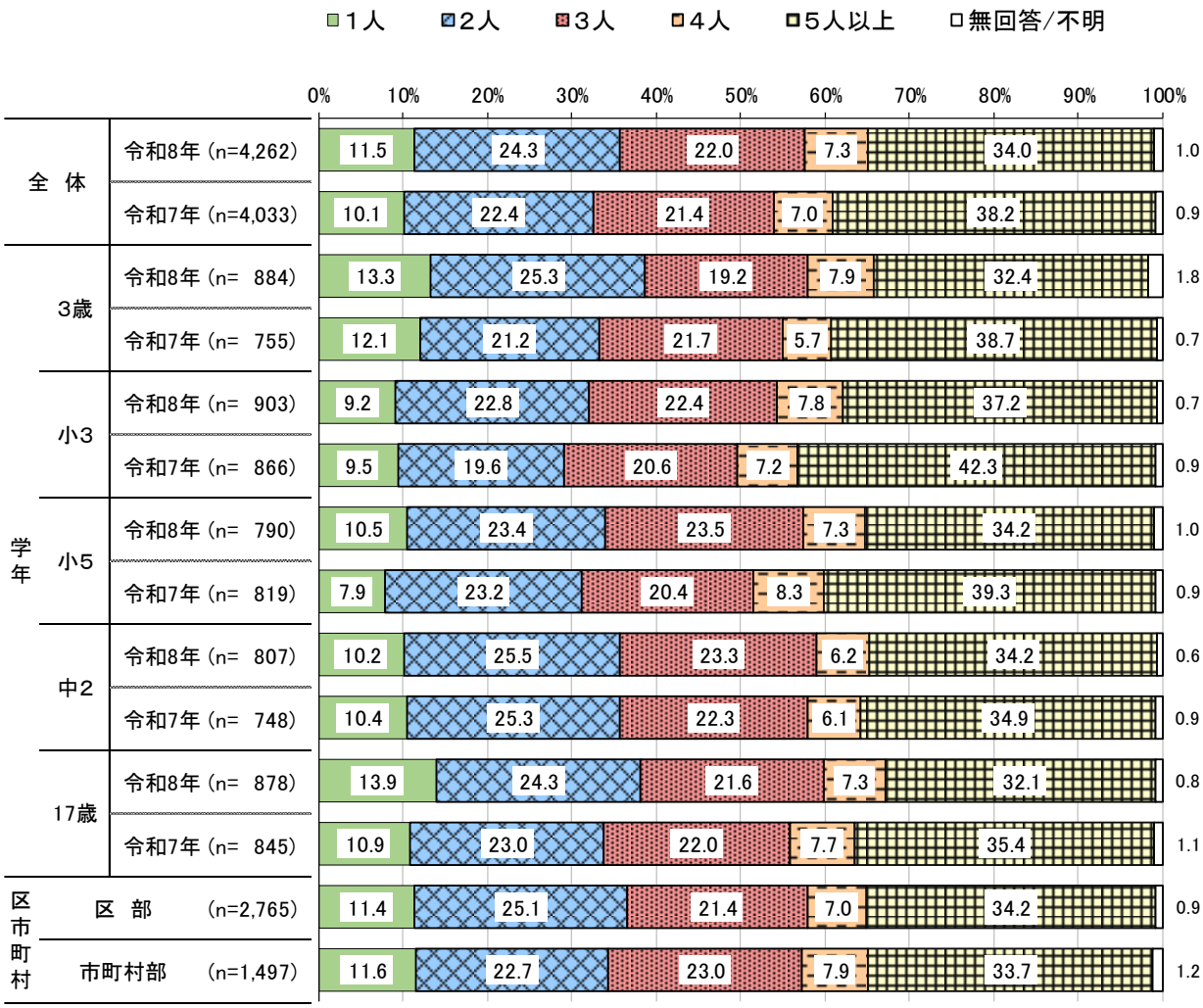
（保護者：共通）問 30.【問 29 で「親戚」～「インターネットやSNS上の相談サービス・知人」「その他」と回答された方にお聞きします。】
あなたが困ったときに家族以外で頼れる相談相手は何人いますか。（1つだけ）

【全体】
「5人以上」が 34.0%で最も高く、次いで「2人」が 24.3%、「3人」が 22.0%である。

【学年別】
いずれの学年でも「5人以上」が最も高い。

経年比較でみると、3歳、小3、小5で「5人以上」が、それぞれ 6.3 ポイント、5.1 ポイント、5.1 ポイント減少している。

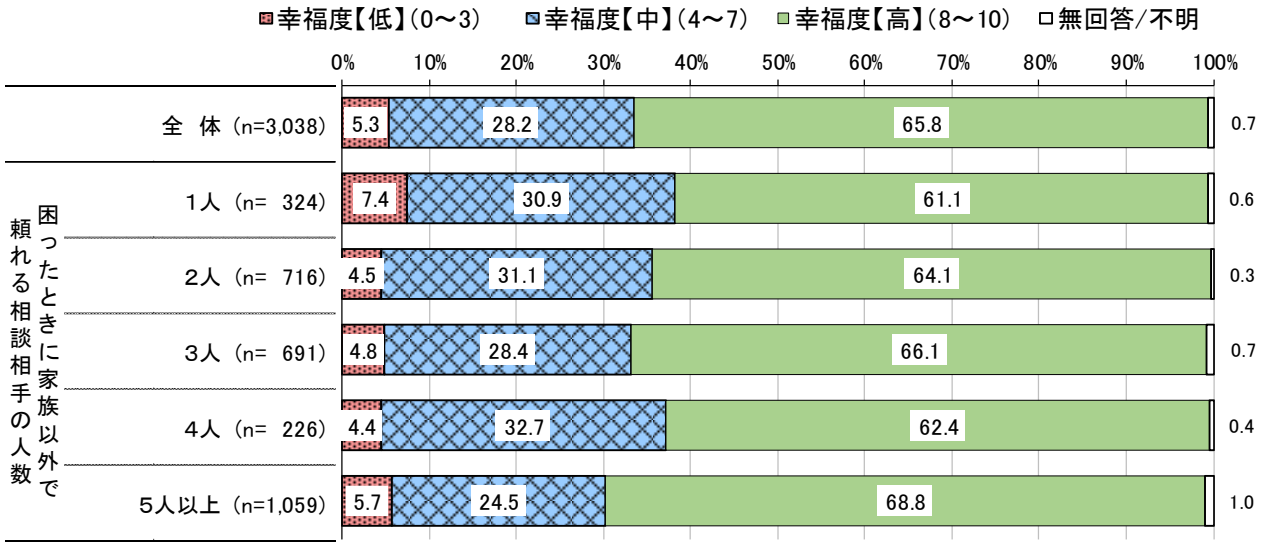
図表 2-123 困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数」の回答別に子供の幸福度をみると、「5人以上」と回答した保護者の子供の 68.8%が幸福度【高】(8～10)で、「1人」と回答した保護者の子供の 61.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-124 子供の幸福度(「困ったときに家族以外で頼れる相談相手の人数」の回答別)



（保護者：共通）問 31. あなたは、直近１年間の普段の生活で、お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思いましたか。（１つだけ）

【全体】

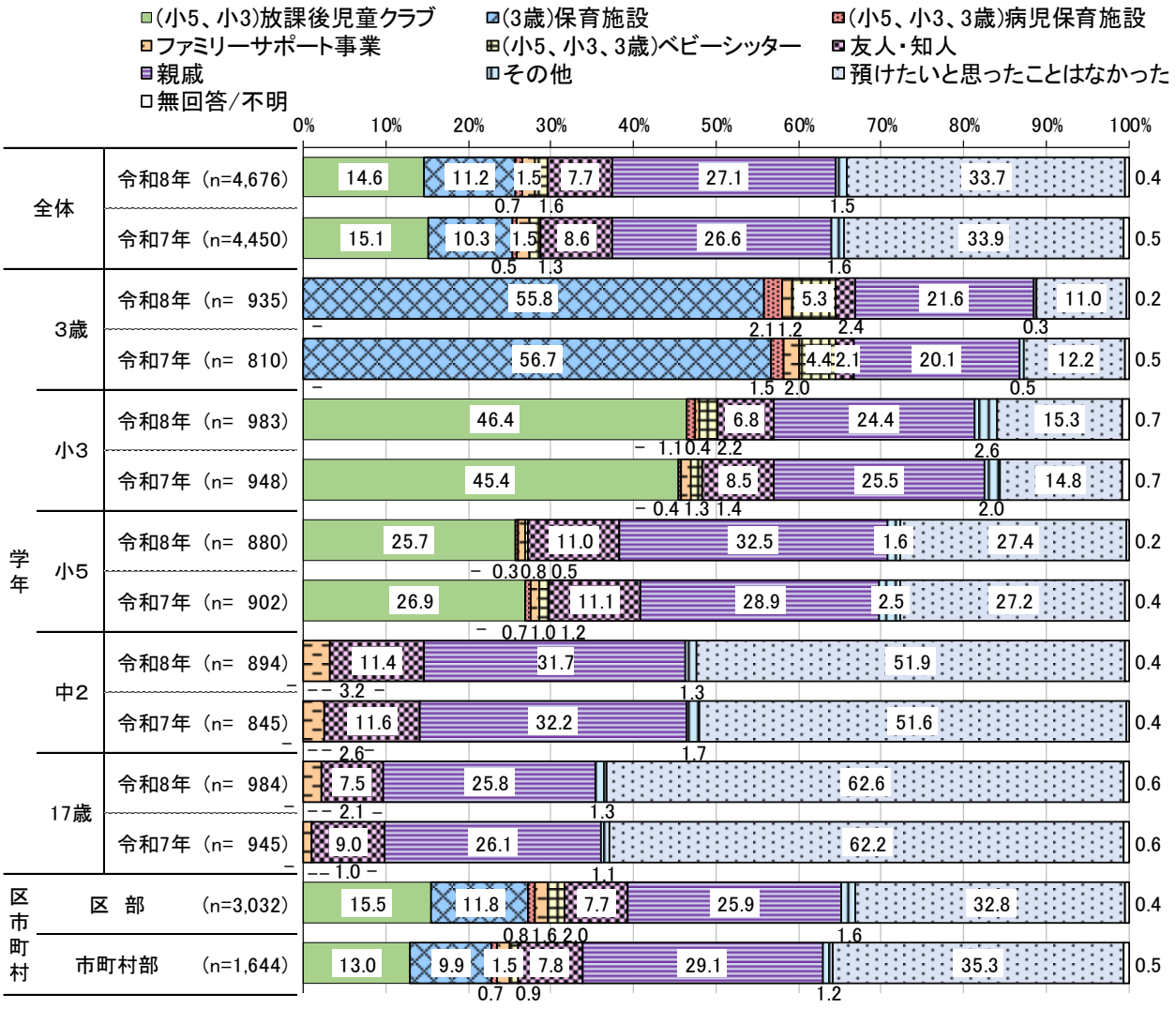
預けたいと思った預け先の中では、「親戚」が 27.1％で最も高い。なお、「預けたいと思ったことはなかった」は33.7％である。

【学年別】

3歳では「保育施設」、小3では「放課後児童クラブ」、小5では「親戚」、中2、17 歳では「預けたいと思ったことはなかった」が最も高い。

図表 2-125 お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思ったか

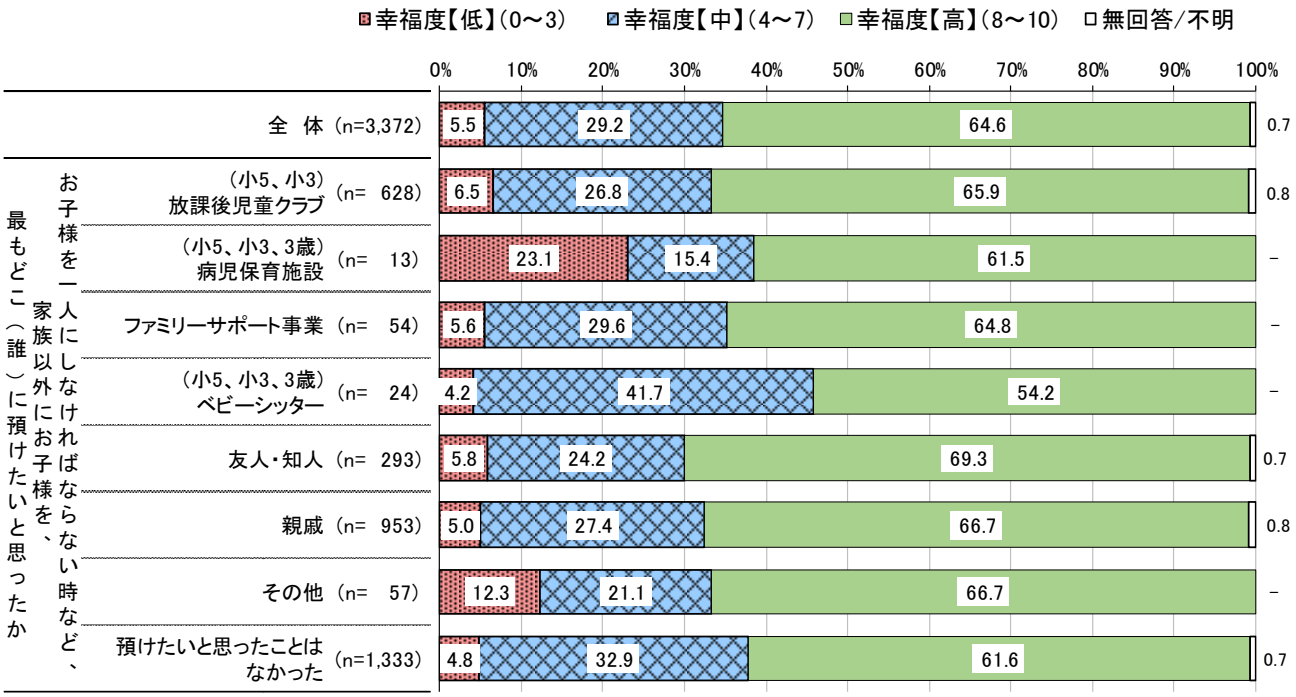
＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ(誰)に預けたいと思ったか」の回答別に子供の幸福度をみると、「友人・知人」と回答した保護者の子供の 69.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-126 子供の幸福度(「お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ(誰)に預けたいと思ったか」の回答別)



【自由記述】

その他 （お子様を一人にしなければならない時など、家族以外にお子様を、最もどこ（誰）に預けたいと思ったか）
子供が楽しく遊べそうなところ（見つかりませんでした）（保護者・3歳）
母子寮の職員（保護者・3歳）
児童館（保護者・小3）
放課後等デイサービス（保護者・小3）
発達支援センター（保護者・小3）
通っている私立の学童（保護者・小3）
両親が近くに住んでおらず困っている。預けられる場所の情報がない。（保護者・小3）
ヘルパー（保護者・小3）
民間学童（保護者・小5）
塾など、習い事先（保護者・小5）
学童などの公的機関に預けたかったが預け先はなかった（保護者・小5）
5 年生だと、学童クラブも対象外なので、留守番させるしかない。（保護者・小5）
預ける場所がない（保護者・小5）
学校の放課後の預かりサポート（保護者・中2）
シッター（保護者・中2）
お寺の子供修行（保護者・中2）
放課後等デイサービス（保護者・17 歳）
預ける所はないです（保護者・17 歳）
ショートステイ（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 32.【問 31 で「ファミリーサポート事業」～「親戚」「その他」と回答された方にお聞きします。】
あなたは、直近１年間の普段の生活で、お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことはありましたか。（１つだけ）

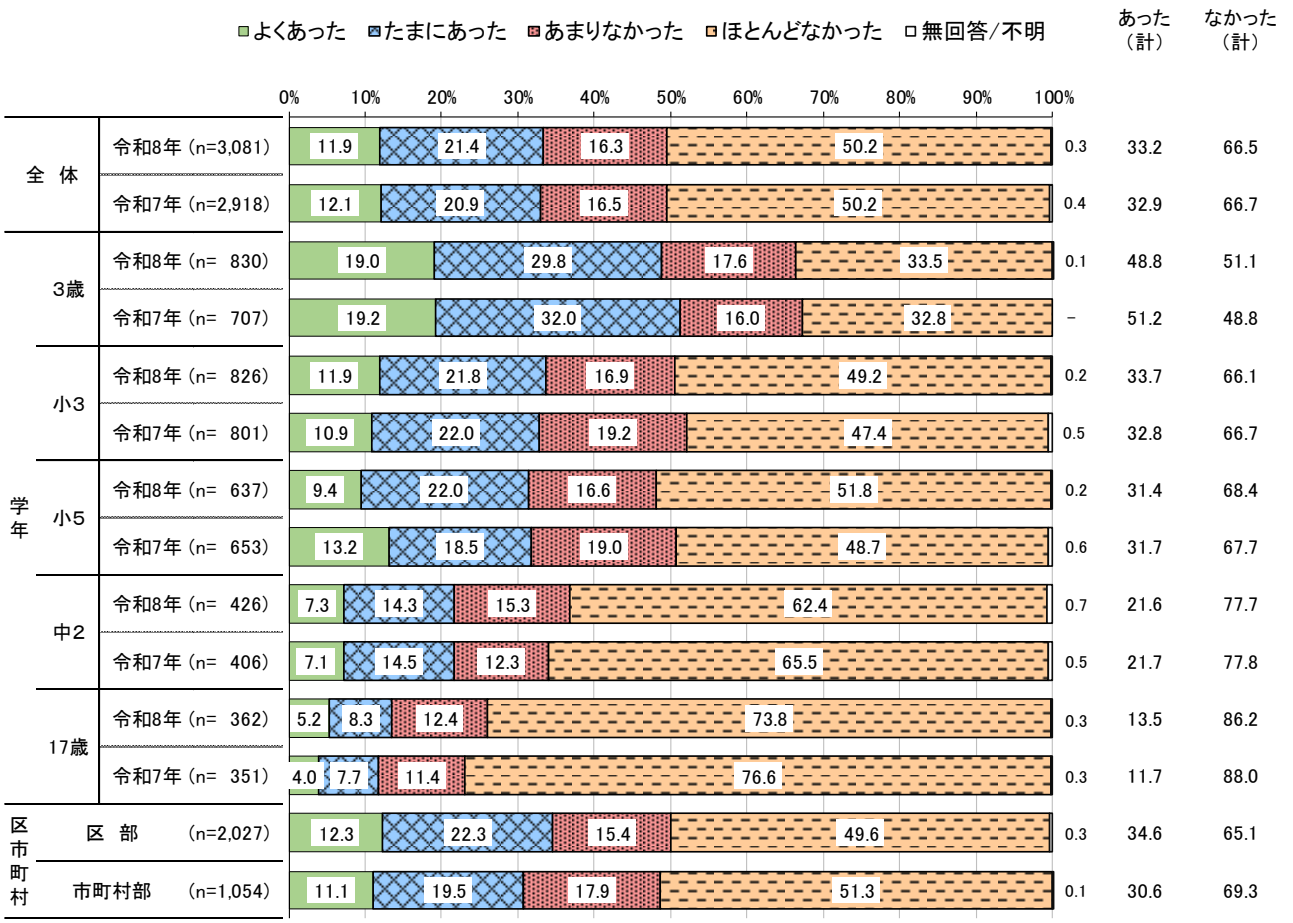
【全体】

「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことがあった」とする保護者は 33.2%（「よくあった」が 11.9%＋「たまにあった」が 21.4%）である。なお、「ほとんどなかった」が 50.2%で最も高い。

【学年別】

「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったことがあった」とする保護者（「よくあった」と「たまにあった」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 2-127 お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと ＜単一回答＞

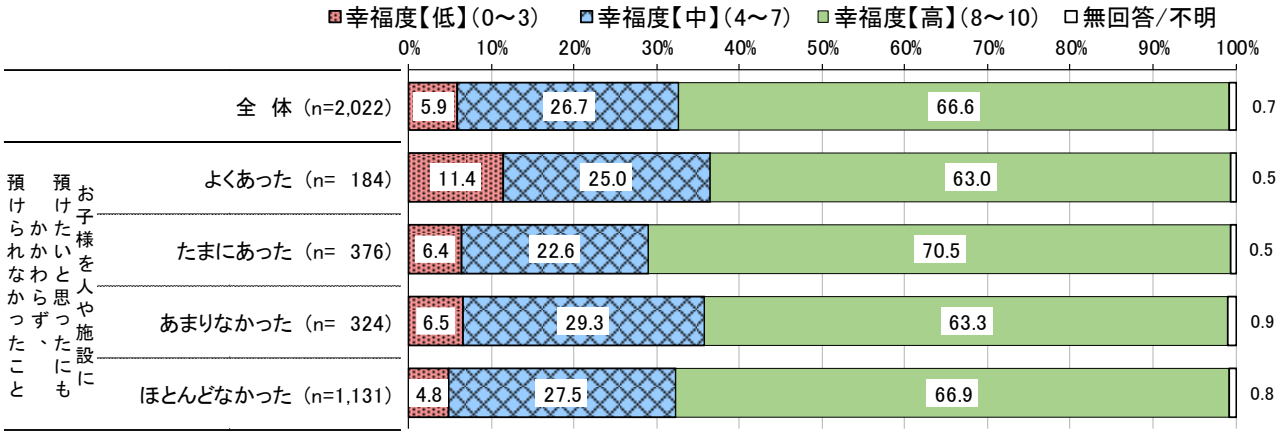


※あった（計）は、「よくあった」及び「たまにあった」の割合。
なかった（計）は「ほとんどなかった」及び「あまりなかった」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと」の回答別に子供の幸福度をみると、「よくあった」と回答した保護者の子供の 63.0%が幸福度【高】(8～10)で、「ほとんどなかった」と回答した保護者の子供の 66.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-128 子供の幸福度(「お子様を人や施設に預けたいと思ったにもかかわらず、預けられなかったこと」の回答別)



（保護者：共通）問 33. この中から、お子様についてあてはまるものをお選びください。（いくつでも）

【全体】

あてはまるものの中では、「最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている」が 13.9%で最も高く、次いで「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他の子供より多く必要としたり利用している」が 11.6%、「同年齢のほとんどの子供ができることができない、あるいは部分的にしかできないことがある」が 9.0%と続く。なお、「この中にあてはまるものはない」が 71.7%で最も高い。

【学年別】

いずれの学年でも「この中にあてはまるものはない」が最も高い。あてはまるものの中では、いずれの学年でも「最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている」が最も高い。何らか「あてはまる症状・状況がある（計）」とする保護者は、小3が 30.6%で最も高い。

図表 2-129 お子様についてあてはまる症状・状況 ＜複数回答＞

(%)

			n	医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他の子供より多く必要としたり利用している	最近、医師から処方される（ビタミン剤以外の）薬を必要としたり使ったりしている	同年齢のほとんどの子供ができることができない、あるいは部分的にしかできないことがある	理学療法、作業療法、言語療法などの特別な治療を必要としている	感情、発達、行動の問題のためにカウンセリングを必要としている	この中にあてはまるものはない	無回答/不明	あてはまるものがある（計）
全体		令和8年	4,676	11.6	13.9	9.0	2.5	7.0	71.7	2.2	26.1
		令和7年	4,450	11.9	14.7	9.6	2.7	7.8	71.2	1.8	27.0
学年	3歳	令和8年	935	6.0	13.0	7.8	1.7	3.2	74.4	2.1	23.4
		令和7年	810	5.9	15.8	9.4	3.3	4.1	72.6	1.5	25.9
	小3	令和8年	983	14.3	14.9	10.0	4.3	10.0	67.1	2.2	30.6
		令和7年	948	13.8	14.1	11.1	3.2	9.6	69.8	1.6	28.6
	小5	令和8年	880	13.1	15.1	10.1	2.7	7.4	69.9	2.8	27.3
		令和7年	902	13.5	13.7	9.4	2.1	10.8	71.1	1.9	27.1
	中2	令和8年	894	12.1	13.0	9.5	2.2	7.8	71.8	2.0	26.2
		令和7年	845	13.7	15.4	10.1	3.0	7.7	69.7	1.7	28.6
	17歳	令和8年	984	12.5	13.7	7.9	1.6	6.3	75.0	1.9	23.1
		令和7年	945	11.7	14.8	8.0	1.9	6.7	72.8	2.5	24.7
区市町村	区部		3,032	11.1	13.8	8.9	2.5	6.4	72.3	2.2	25.5
	市町村部		1,644	12.5	14.3	9.2	2.5	7.9	70.4	2.3	27.3

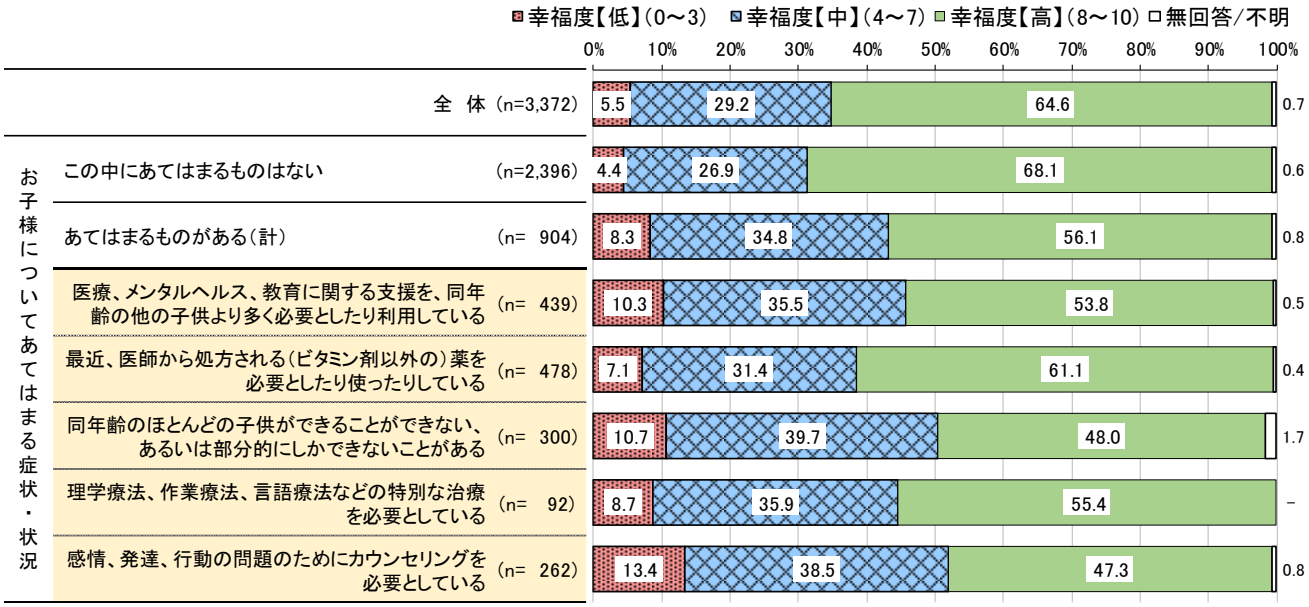
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※あてはまるものがある（計）は、「医療、メンタルヘルス、教育に関する支援を、同年齢の他の子供より多く必要としたり利用している」～「感情、発達、行動の問題のためにカウンセリングを必要としている」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「お子様についてあてはまる症状・状況」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「あてはまる症状・状況がある(計)」とする保護者の子供の 56.1%が幸福度【高】(8～10)で、「この中にあてはまるものはない」と回答した保護者の子供の 68.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-130 子供の幸福度(「お子様についてあてはまる症状・状況」の回答別)



（保護者：共通）問 34. お子様は過去１年以内に次のような経験をしたことがありますか。（いくつでも）

【全体】

嫌な経験をしたことがある中では、「暴言や傷つくことを言われた」が 19.8％で最も高く、「無視をされた、仲間外れにされた」が 8.0％と続く。なお、「特に嫌な経験はしていない」が 69.8％で最も高い。

【学年別】

いずれの学年でも「特に嫌な経験はしていない」が最も高いが、3歳が 89.7％で最も高く、小3が 56.4％で最も低い。小3、小5では「暴言や傷つくことを言われた」が、それぞれ 33.6％、29.1％と高い。また、何らか「お子様が嫌な経験をしたことがある（計）」とする保護者も、小3と小5がそれぞれ 41.7％、38.4％と高い。

図表 2-131 過去 1 年以内のお子様の嫌な経験 ＜複数回答＞

(%)

		n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない	無回答/不明	お子様が嫌な経験をしたことがある（計）
全体	令和8年	4,676	19.8	8.0	2.2	0.2	0.1	3.3	5.0	69.8	2.4	27.8
	令和7年	4,450	21.4	7.7	2.5	0.2	0.2	3.3	5.1	68.5	2.3	29.1
学年 3歳	令和8年	935	4.5	1.7	0.1	－	－	1.7	1.9	89.7	1.9	8.3
	令和7年	810	5.3	1.7	0.4	－	－	2.1	2.1	88.3	2.5	9.3
小3	令和8年	983	33.6	11.9	3.6	0.1	0.1	6.5	5.2	56.4	1.9	41.7
	令和7年	948	34.8	10.5	3.1	0.3	0.3	7.2	4.6	56.0	1.8	42.2
小5	令和8年	880	29.1	12.0	3.3	0.5	0.3	4.7	5.2	59.0	2.6	38.4
	令和7年	902	30.2	11.5	3.5	0.3	0.4	4.0	6.3	57.4	2.1	40.5
中2	令和8年	894	21.0	8.8	2.6	0.3	－	2.7	5.9	67.8	2.2	30.0
	令和7年	845	22.7	8.9	3.9	0.1	－	2.4	6.9	67.0	2.1	30.9
17歳	令和8年	984	11.4	5.6	1.6	0.2	0.1	1.0	6.8	76.0	3.0	20.9
	令和7年	945	12.4	5.2	1.6	0.4	0.3	0.7	5.6	76.2	3.2	20.6
区市町村 区部		3,032	19.8	7.6	2.1	0.2	0.2	3.7	4.8	70.5	2.2	27.3
区市町村 市町村部		1,644	20.0	8.8	2.5	0.2	－	2.6	5.4	68.6	2.7	28.7

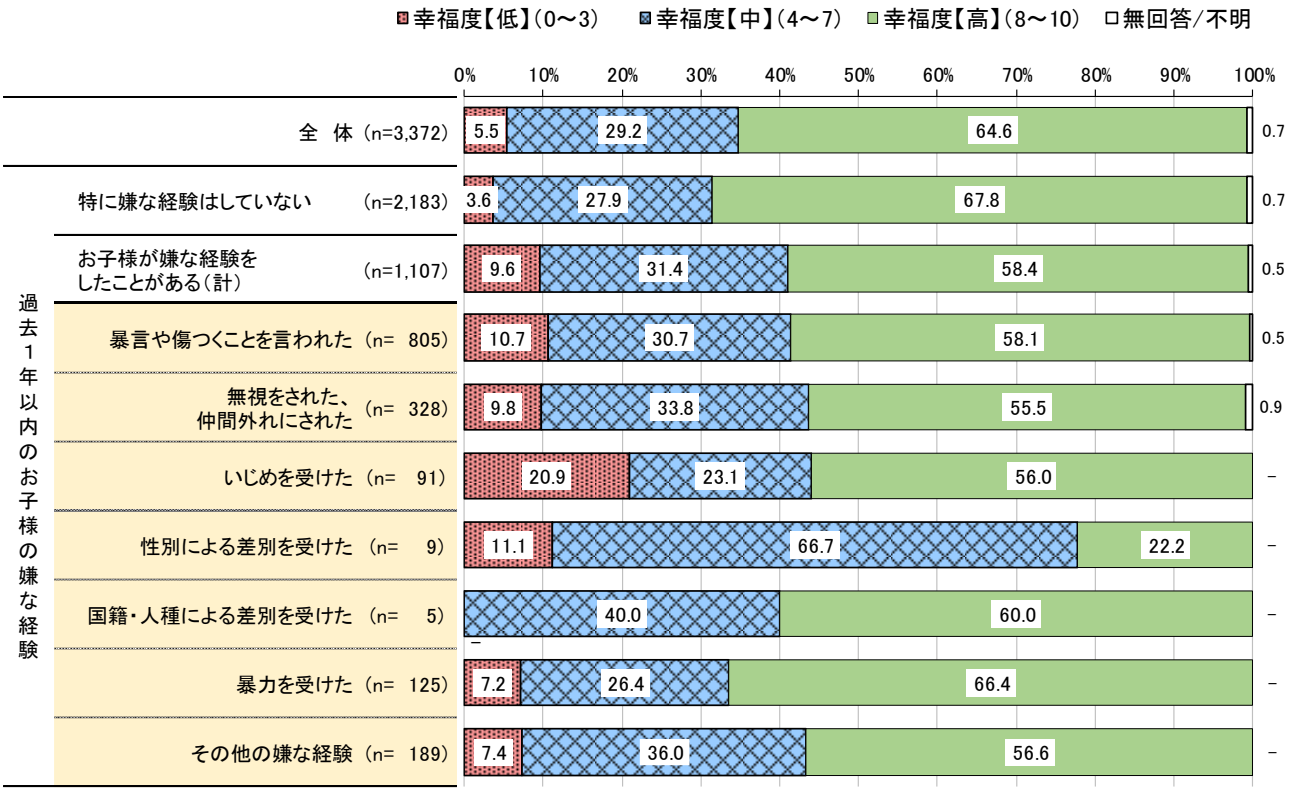
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※お子様が嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」～「暴力を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「過去1年以内のお子様の嫌な経験」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「お子様が嫌な経験をしたことがある(計)」とする保護者の子供の 58.4%が幸福度【高】(8～10)で、「特に嫌な経験はしていない」と回答した保護者の子供の 67.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-132 子供の幸福度(「過去 1 年以内のお子様の嫌な経験」の回答別)



【自由記述】

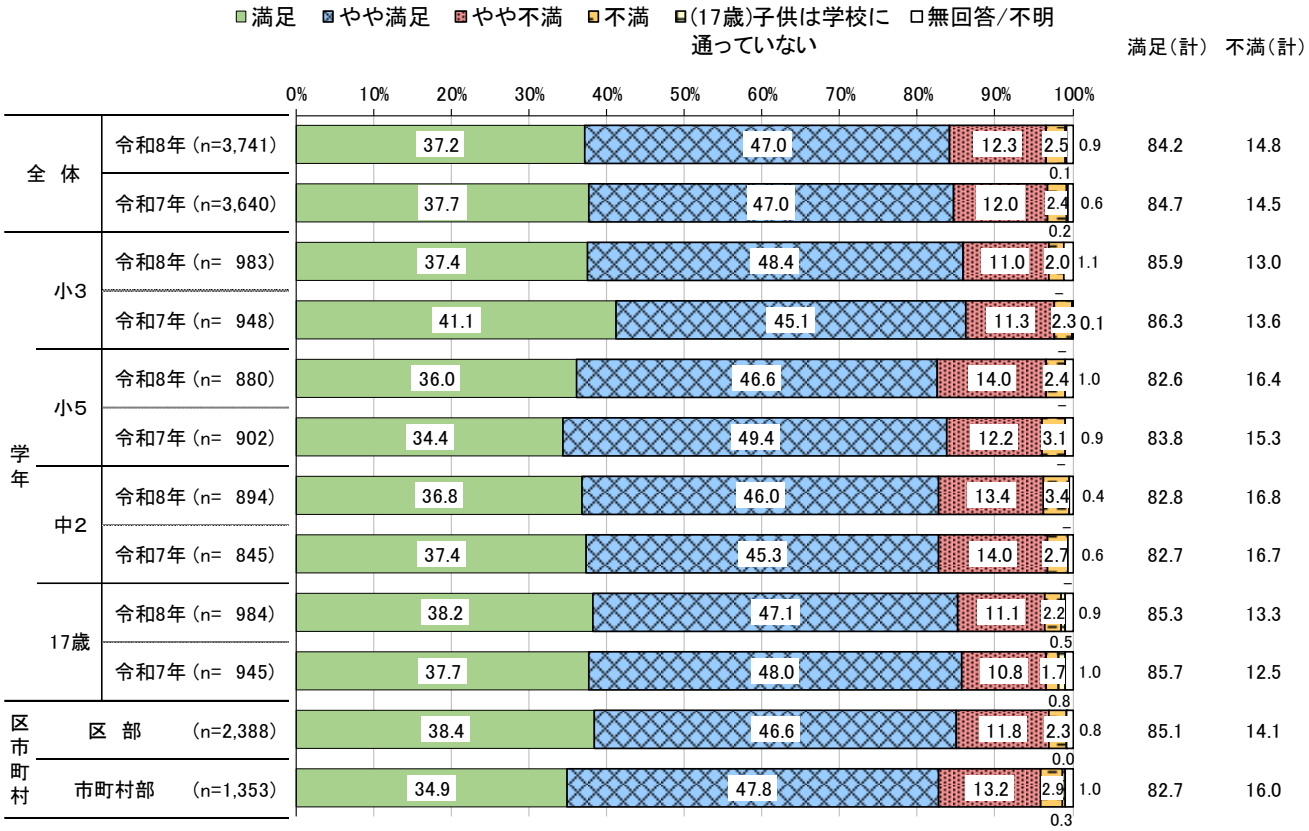
その他（過去 1 年以内のお子様の嫌な経験）
保育園の友だちとのケンカ（保護者・3歳）
小学生の子たちが叩き合いの喧嘩をしてるのを見て、家族に叩くようになった（保護者・3歳）
遊具から落ちた（保護者・3歳）
兄に叩かれる、転園による好きな先生、友達との別れ（保護者・3歳）
文具を壊された（保護者・小3）
「キーホルダーを持ってきて。くれないと友達やめる」と言われた。（保護者・小3）
ひとりねらい（おにごっこなど）（保護者・小3）
上の学年の子から帰宅時に傘で攻撃をされそうになった（保護者・小3）
持ち物を隠された（保護者・小3）
学校の先生とのトラブル（保護者・小3）
学校の先生からの発達特性への配慮がない指導。休み時間を割いてのノート指導、イヤーマフの使用を止められるなど。（保護者・小3）
障害についてからかわれる言動があった（保護者・小3）
いじめほどはいかなくても、クラスの子に嫌な事をされていた。（保護者・小5）
持ち物を捨てられた。解決済み（保護者・小5）
クラスが荒れていて登校できなかった（保護者・小5）
遊びの中でのいやがらせ（保護者・小5）
LINE などでの友人との小さな揉め事（保護者・小5）
先生が話を聞こうと（優しく）してくれない。（保護者・小5）
インターネット上のトラブル（コミュニティアプリ、ゲーム等）（保護者・小5）
障がいのためできないこともある（保護者・小5）
嫌がらせ行動による嫌味な態度（保護者・中2）
無視までされていないが友人関係の悩み（保護者・中2）
先生からの理不尽な叱責（保護者・中2）
体調不良が続き自分が思うように動けなかったり、体の症状が悪化して気分が落ち込むことがあった。（保護者・中2）
デートDX（性的な画像を送るよう彼氏に言われ別れた）（保護者・17 歳）
友達からの裏切り行為（保護者・17 歳）
人間関係（保護者・17 歳）
学校の部活動で、指導者から、理不尽な対応をされた（保護者・17 歳）
電車内での迷惑行為（痴漢、盗撮）（保護者・17 歳）
インターネットの不正アクセス被害（保護者・17 歳）
自傷行為（保護者・17 歳）
家出（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 35. お子様が通う学校について、保護者であるあなたは満足していますか。
（1つだけ）

【全体】

「お子様が通う学校について満足している」とする保護者は 84.2%（「満足」が 37.2%＋「やや満足」が 47.0%）である。

図表 2-133 お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度 ＜単一回答＞

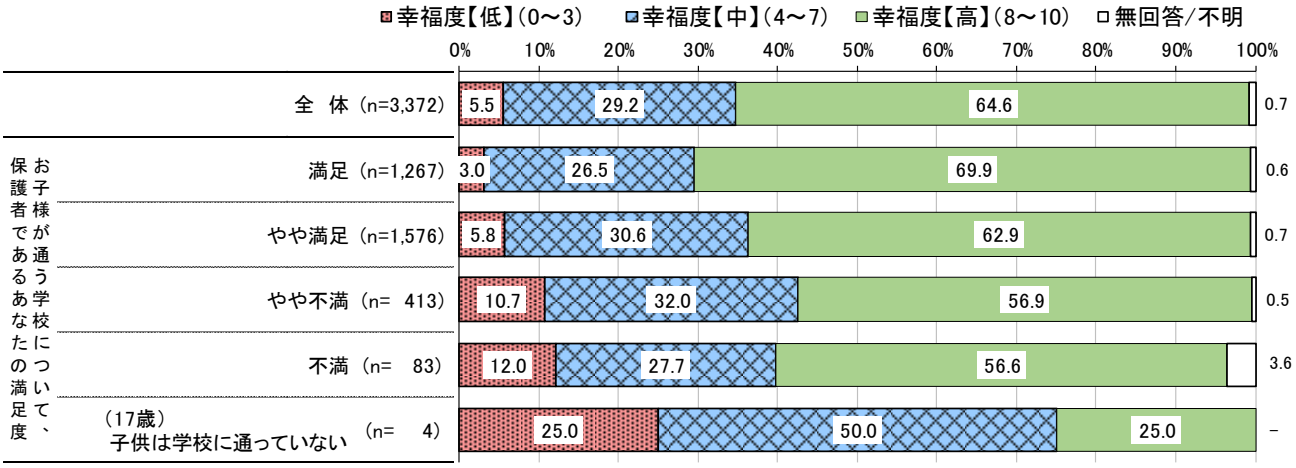


※満足（計）は「満足」及び「やや満足」の割合。
不満（計）は「不満」及び「やや不満」の割合。

【子供の幸福度】

「お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度」の回答別に子供の幸福度をみると、「満足」と回答した保護者の子供の 69.9%が幸福度【高】(8～10)で、「不満」と回答した保護者の子供の 56.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-134 子供の幸福度(「お子様が通う学校について、保護者であるあなたの満足度」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 36.【問 35 で「やや不満」「不満」と回答された方にお聞きします。】
お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由は何ですか。（いくつでも）

【全体】

「教師の指導力や対応・態度」が 60.0％で最も高く、次いで「カリキュラムや指導の内容が不足」が 32.4％、「校則など学校での生活上のルールが厳しい、理不尽、柔軟性がない」が 25.0％と続く。

経年比較でみると、「PTA活動の負担」が 6.2 ポイント減少している。

【学年別】

いずれの学年でも「教師の指導力や対応・態度」が最も高く、小5が 63.9％で最も高い。次いで、小3では「PTA活動の負担」が高く、小5、中2、17 歳では「カリキュラムや指導の内容が不足」が高い。

経年比較でみると、中2で「施設（狭小、古い、落ち着ける場所が少ないなど）」が 11.4 ポイント減少しており、17 歳で「PTA活動の負担」が 9.1 ポイント減少している。

図表 2-135 お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由 ＜複数回答＞

(%)

			n	カリキュラムや指導の内容が不足	カリキュラムや指導の内容が難しすぎる	教師の指導力や対応・態度	校則など学校での生活上のルールが厳しい、理不尽、柔軟性がない	施設（狭小、古い、落ち着ける場所が少ないなど）	学費（教材費などを除く）が高い	学費以外の費用（教材費・給食費・課外活動費など）が高い
全体		令和8年	553	32.4	5.1	60.0	25.0	18.6	10.5	8.3
		令和7年	526	27.9	5.3	55.9	20.7	22.2	11.2	11.2
学年	小3	令和8年	128	28.9	2.3	57.0	21.1	28.9	3.9	4.7
		令和7年	129	21.7	3.1	54.3	14.0	27.9	4.7	6.2
	小5	令和8年	144	31.9	3.5	63.9	17.4	19.4	2.1	2.1
		令和7年	138	30.4	3.6	62.3	14.5	21.0	3.6	5.8
	中2	令和8年	150	34.0	9.3	62.7	32.0	12.7	10.0	6.0
		令和7年	141	28.4	7.8	55.3	24.8	24.1	7.1	7.8
	17歳	令和8年	131	34.4	4.6	55.7	29.0	14.5	26.7	21.4
		令和7年	118	31.4	6.8	50.8	30.5	15.3	32.2	27.1
区市町村	区部		336	33.3	5.1	62.2	25.3	17.0	11.0	7.1
	市町村部		217	30.9	5.1	56.7	24.4	21.2	9.7	10.1

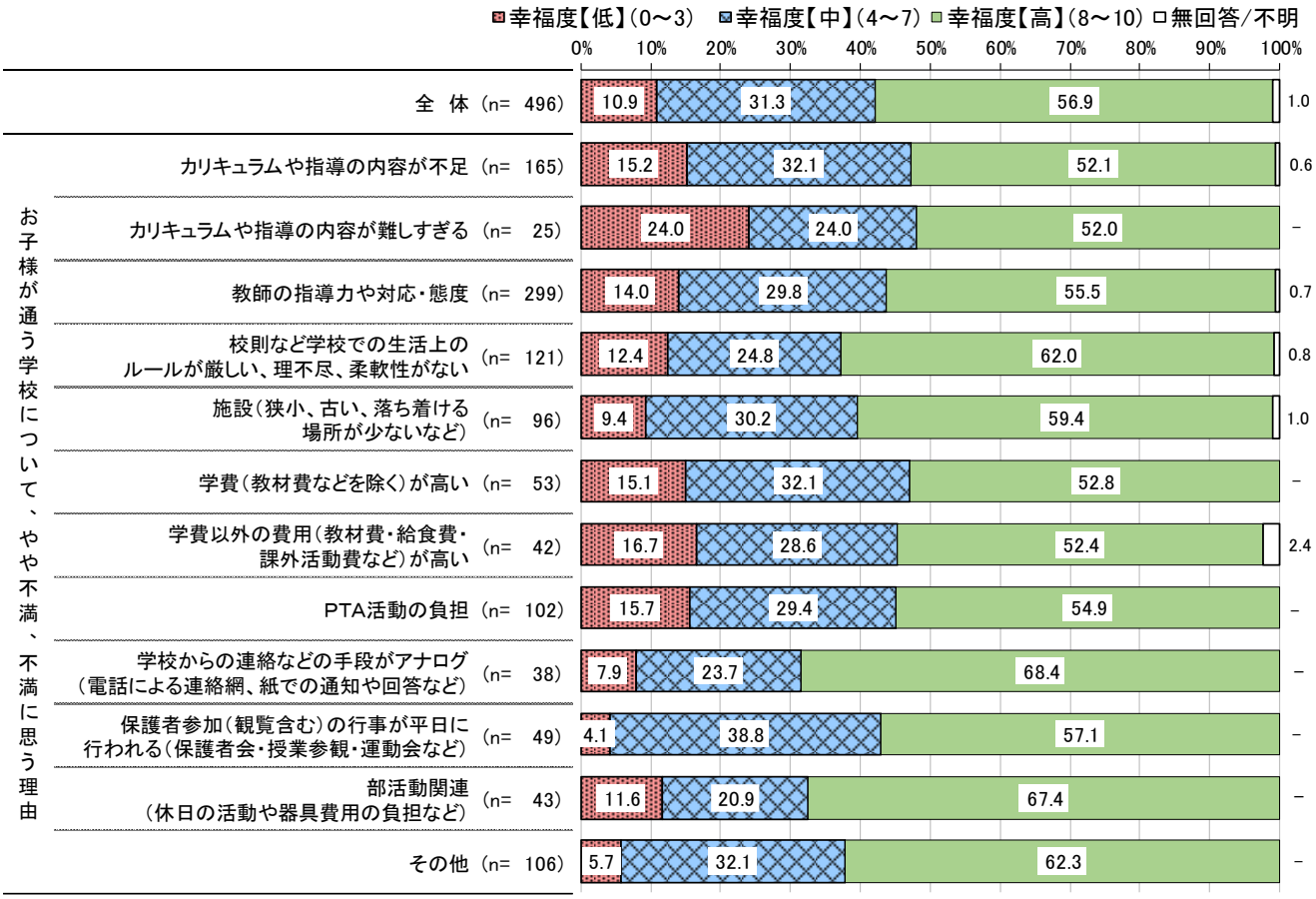
			PTA活動の負担	学校からの連絡などの手段がアナログ（電話による連絡網、紙での通知や回答など）	保護者参加（観覧含む）の行事が平日に行われる（保護者会・授業参観・運動会など）	部活動関連（休日の活動や器具費用の負担など）	その他	無回答/不明
全体		令和8年	19.7	7.6	10.1	9.2	22.4	0.9
		令和7年	25.9	7.4	12.9	8.6	19.0	1.3
学年	小3	令和8年	30.5	9.4	11.7	1.6	25.8	−
		令和7年	36.4	10.1	14.7	1.6	17.8	1.6
	小5	令和8年	27.8	9.7	11.1	0.7	27.8	0.7
		令和7年	32.6	8.7	13.8	1.4	26.1	2.2
	中2	令和8年	15.3	8.7	10.0	18.0	19.3	1.3
		令和7年	19.1	7.1	14.2	19.1	14.9	0.7
	17歳	令和8年	5.3	2.3	7.6	16.0	16.8	1.5
		令和7年	14.4	3.4	8.5	11.9	16.9	0.8
区市町村	区部		20.2	7.7	9.8	8.6	22.9	0.9
	市町村部		18.9	7.4	10.6	10.1	21.7	0.9

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

【子供の幸福度】

「お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由」の回答別に子供の幸福度をみると、「校則など学校での生活上のルールが厳しい、理不尽、柔軟性がない」と回答した保護者の子供の 62.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-136 子供の幸福度(「お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由」の回答別)



【自由記述】

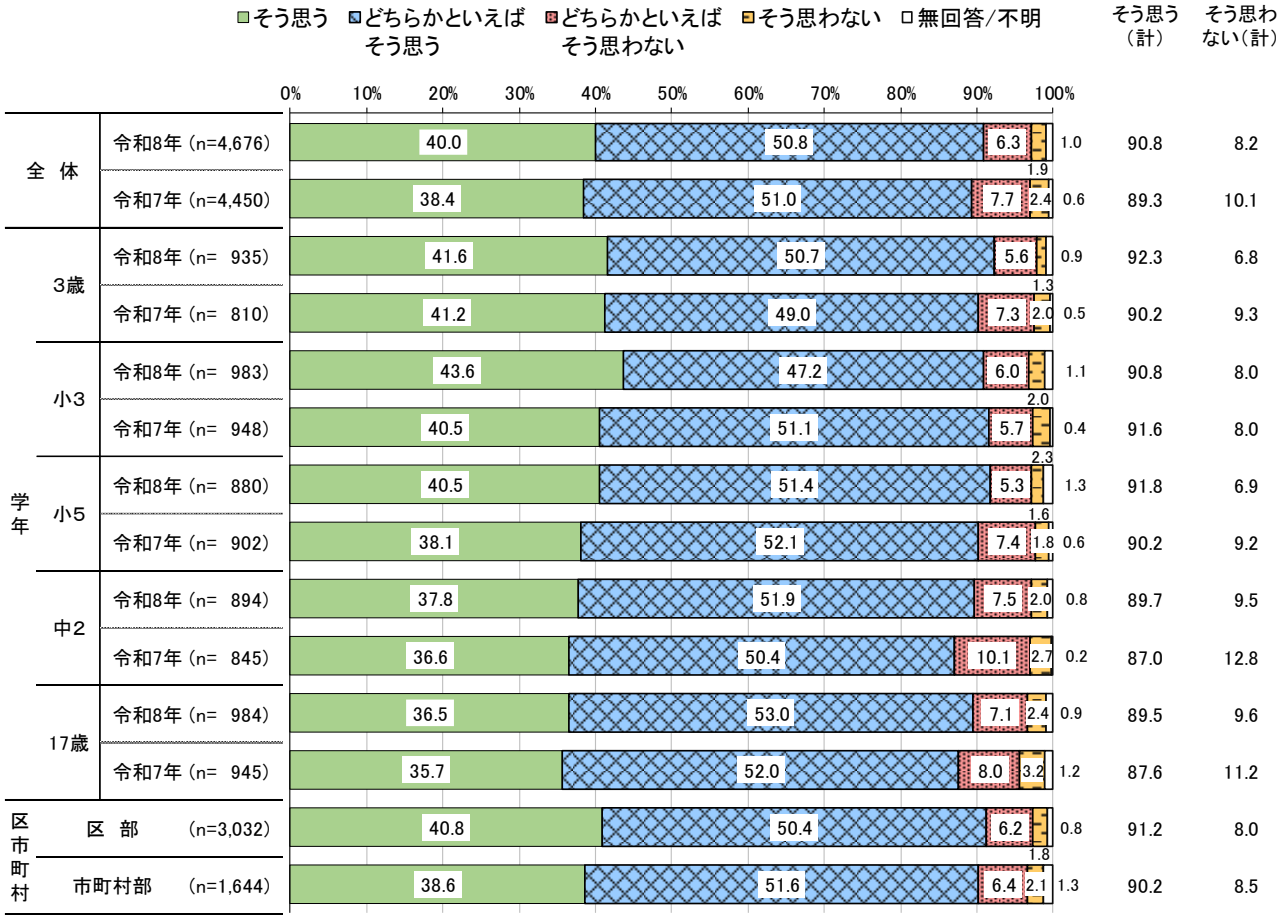
その他（お子様が通う学校について、やや不満、不満に思う理由）
アプリでの情報伝達が多いが、それが間違いであった際に情報が更新されない（保護者・小3）
学校からの連絡が、紙、アプリ、支給タブレットなどバラバラ　また、1つの事柄のことが、いろいろな所に書いてあって分かりにくい（保護者・小3）
説明が直前のため、準備できない。また説明不足で変更理由がよくわからない（保護者・小3）
給食室改修時のアレルギー食対応（保護者・小3）
教職員によってルールが異なり、学校と指定の統一感がないため子どもが戸惑う（保護者・小3）
発達障害など特性のある児童が多いのに、適切な対応ができる教職員がいない。問題行動を起こす児童の数に対して教職員の数が少ない。（保護者・小3）
校外学習の機会がない。遠足もない。小学 3 年生にもなって、外でお弁当をみんなで食べたことがない。隣の小学校と比べても貧弱な校外学習でとてもかわいそう。どうしたらいいのかわからない！（保護者・小3）
もう少し警備を厳重にしてほしい（保護者・小3）
保育園よりも過ごせる時間が短く大変不自由している。特に早朝は登校できず困っている。閉門しているため。（保護者・小3）
保護者への配布物へのいいかげんな所が目立つ（間違いを訂正しない）　人間的成長への教育が少ない（保護者・小3）
タブレットが使われても教科書ノートがなくなるわけでもないので荷物が増えて重くなっただけ（保護者・小5）
塾や習いごとで学ぶことが前提になっている（保護者・小5）
問題児に手がかかり、学びたい子が落ち着いて勉強できない環境にあり、学校は指導していますが、改善の兆しが見えない。（保護者・小5）
子どもの人数が多すぎて、大人の手が足りてない様に感じる。学校でも放課後でも、悪さをしているのに目が届いていない。（保護者・小5）
遠足がなくなった事　都民の日が休みになった事（保護者・小5）
運動会がなくなった（保護者・小5）
いじめと思える様なことをされたが、充分な対応をしてもらえなかった。先生によって「いじめ」の認識に差がある。また、上から物を言う様な態度の先生もいる。（保護者・小5）
人間関係（友人や周囲の暴言等で、学校に行きたくなくなってる。）（保護者・中2）
先生と直接話せる機会が少ない（保護者・中2）
生徒同士の無視や誹謗中傷といった事例を子ども同士のよくある事として軽くあしらっている（保護者・中2）
生徒が少なく逃げ場がない。学びの多様化学校のような学校がない（保護者・中2）
進路指導の不足（保護者・中2）
学校からの情報発信が少ない。学校だよりで行事における各クラスの様子がつかめない。（保護者・17 歳）
授業中がうるさく集中できない環境だと子供が話している。（保護者・17 歳）
友人関係（保護者・17 歳）
成績上位の生徒に対する指導は手厚いが、それ以外の生徒に対するフォローが感じられない（保護者・17 歳）
個人面談がないため、個別に先生とコミュニケーションとる機会がない（保護者・17 歳）
学校での様子が分からない（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 子育てに良い場所である）

【全体】

「子育てに良い場所である」とする保護者は 90.8%（「そう思う」が 40.0%＋「どちらかといえばそう思う」が 50.8%）である。

図表 2-137 A 子育てに良い場所である ＜単一回答＞

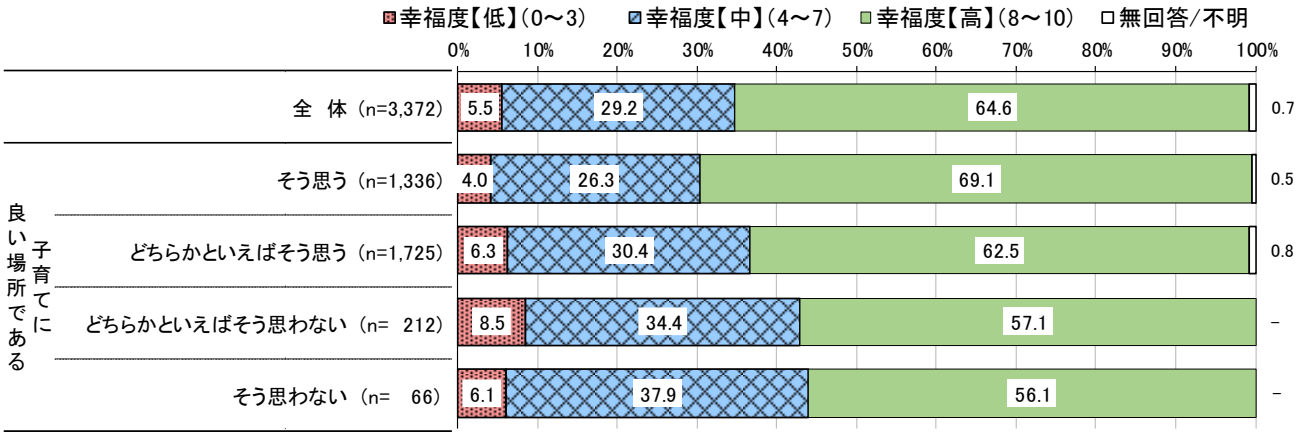


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「子育てに良い場所である」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 69.1%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 56.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-138 子供の幸福度(「子育てに良い場所である」の回答別)



（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　進んで周りの人達を助けようとする）

【全体】

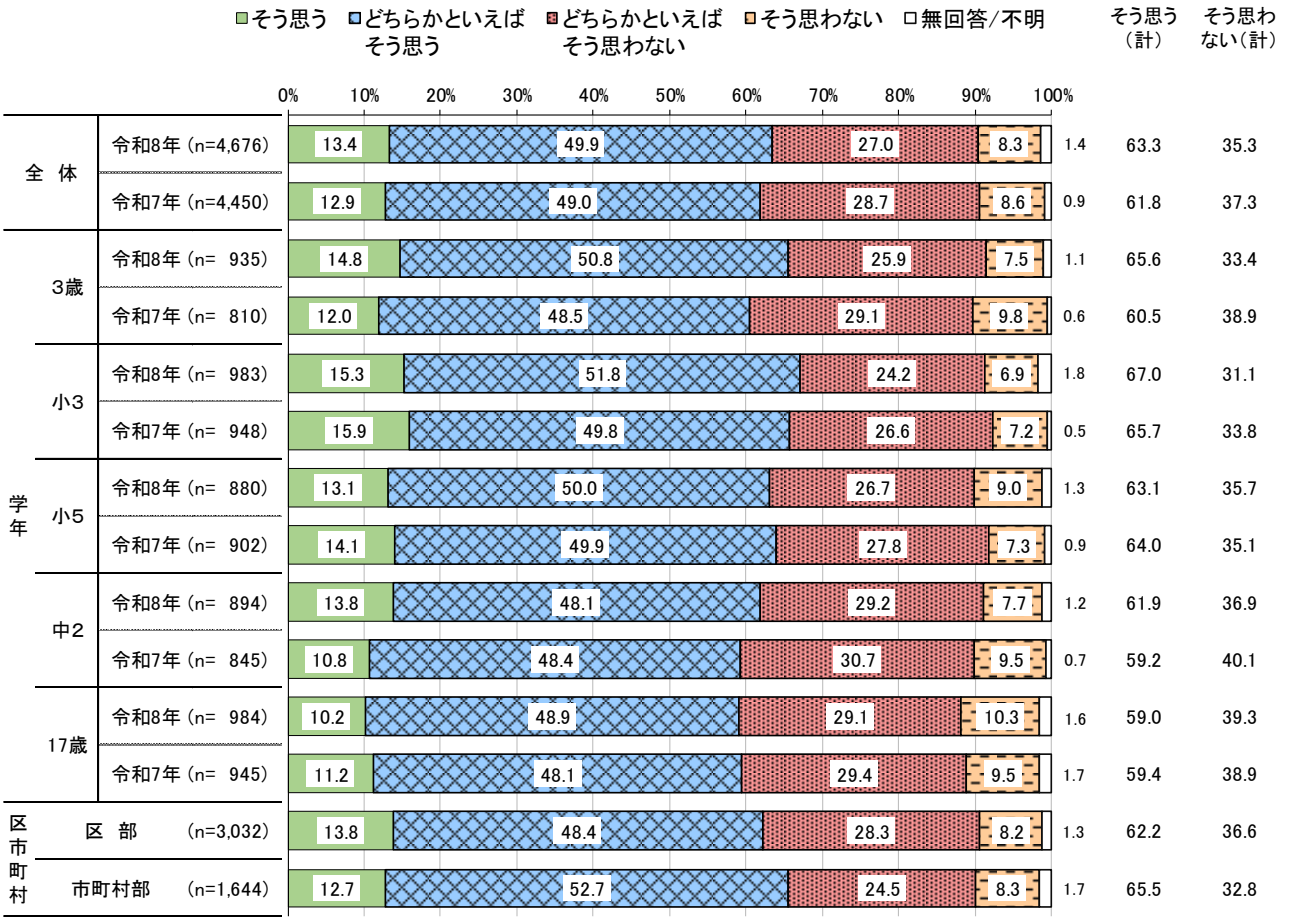
「進んで周りの人達を助けようとする」とする保護者は 63.3%（「そう思う」が 13.4%＋「どちらかといえばそう思う」が 49.9%）である。

【学年別】

「進んで周りの人達を助けようとする」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小3で最も高く、67.0%である。

経年比較でみると、3歳で「進んで周りの人達を助けようとする」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）が 5.1 ポイント増加している。

図表 2-139　B 進んで周りの人達を助けようとする　＜単一回答＞

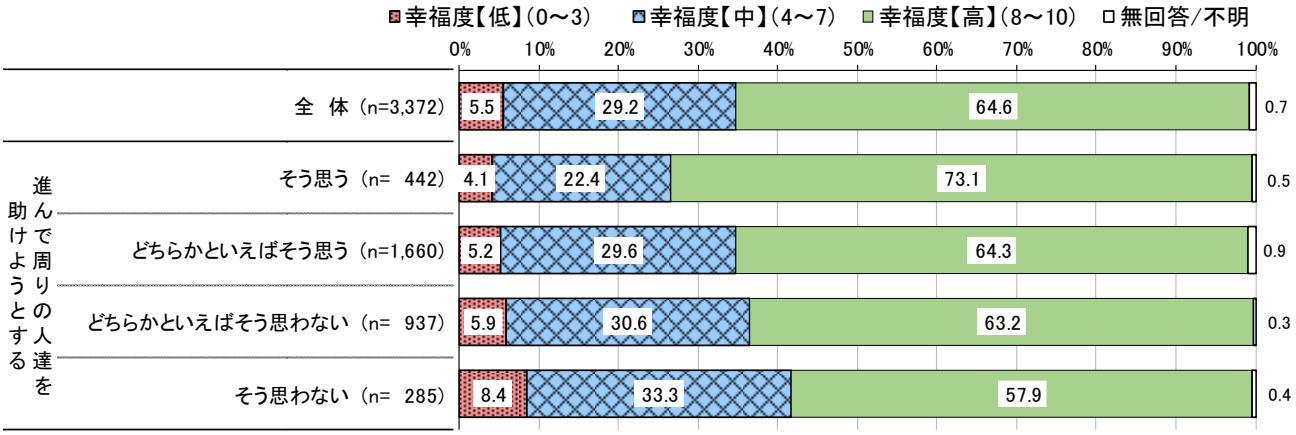


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
　そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「進んで周りの人達を助けようとする」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の73.1%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 57.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-140 子供の幸福度(「進んで周りの人達を助けようとする」の回答別)



保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い）

【全体】

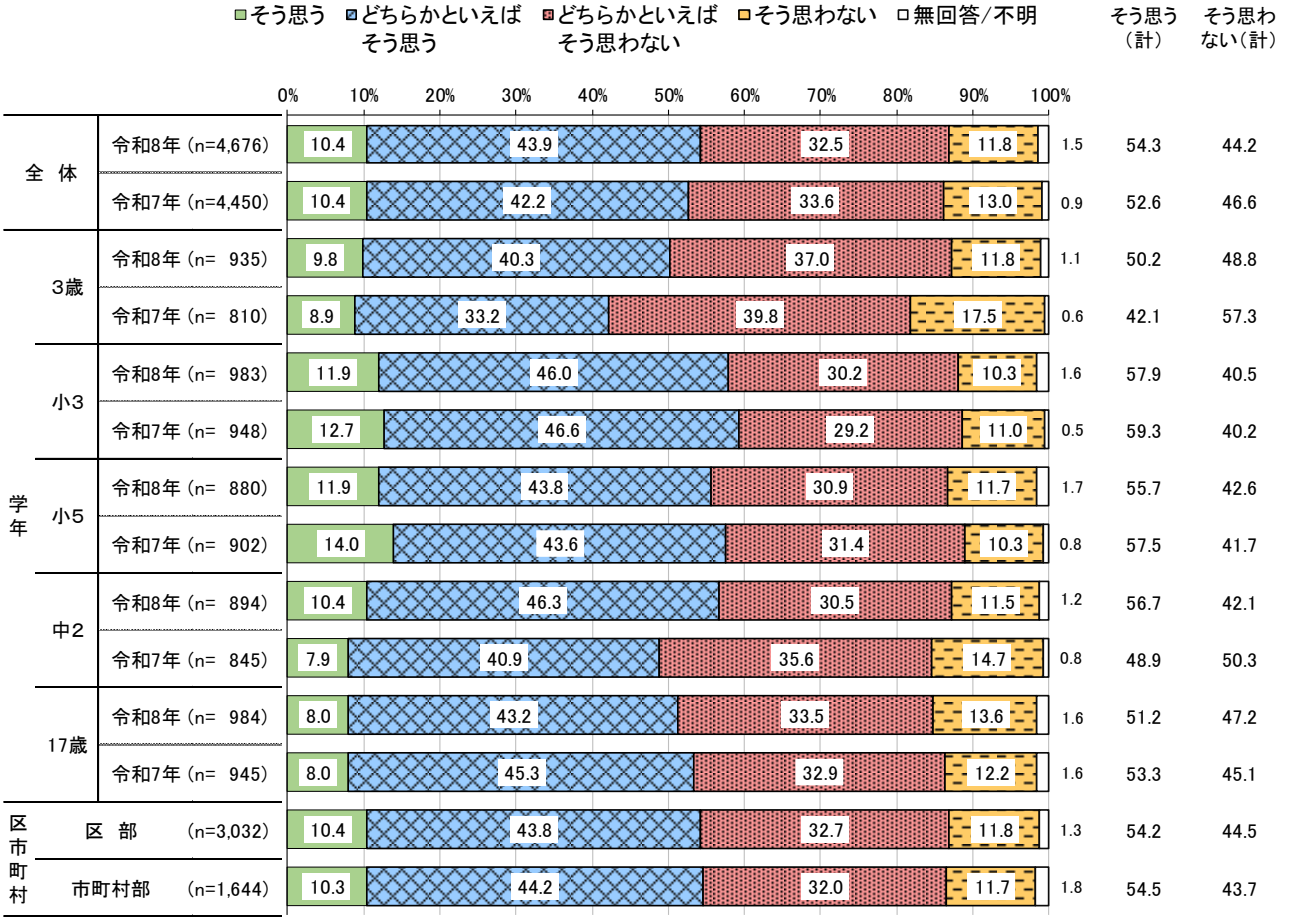
「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」とする保護者は 54.3%（「そう思う」が 10.4%＋「どちらかといえばそう思う」が 43.9%）である。

【学年別】

「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小3で最も高く、57.9%である。

経年比較でみると、3歳、中2で「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）が、それぞれ 8.1 ポイント、7.8 ポイント増加している。

図表 2-141　C 地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い　＜単一回答＞

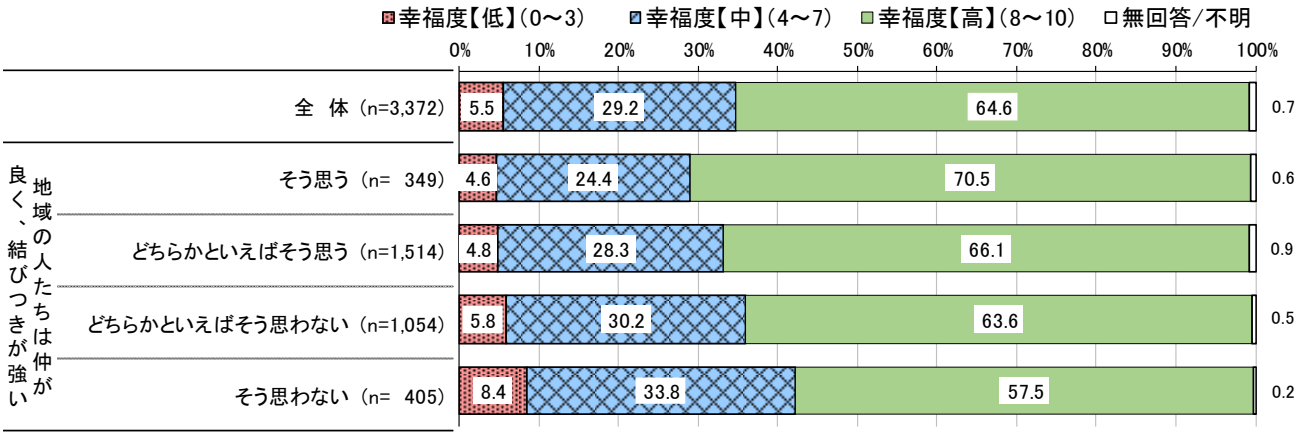


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 70.5%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 57.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-142 子供の幸福度(「地域の人たちは仲が良く、結びつきが強い」の回答別)



（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 信用できる）

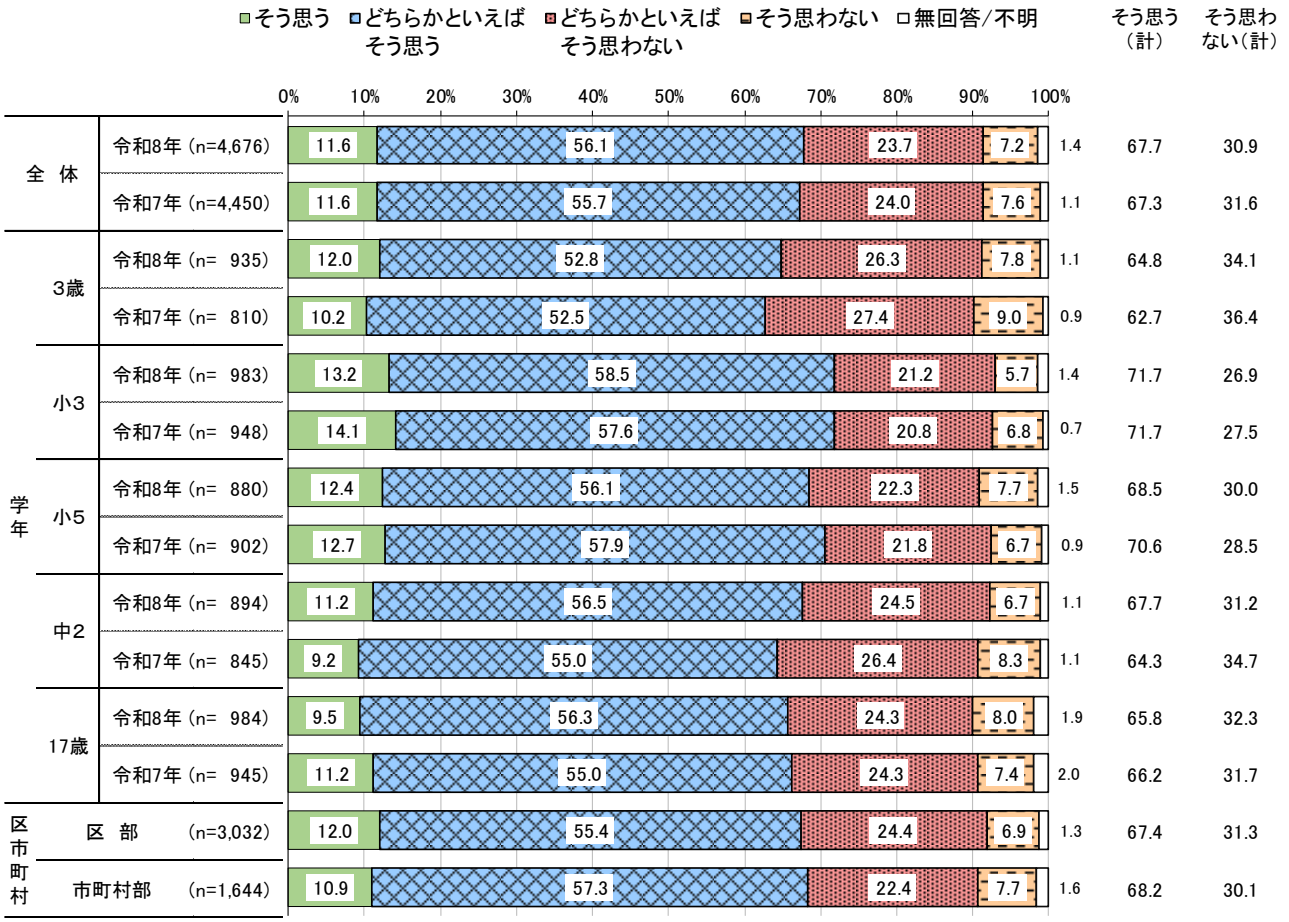
【全体】

「信用できる」とする保護者は 67.7%（「そう思う」が 11.6%＋「どちらかといえばそう思う」が 56.1%）である。

【学年別】

「信用できる」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）は、小3で最も高く、71.7%である。

図表 2-143 D 信用できる ＜単一回答＞

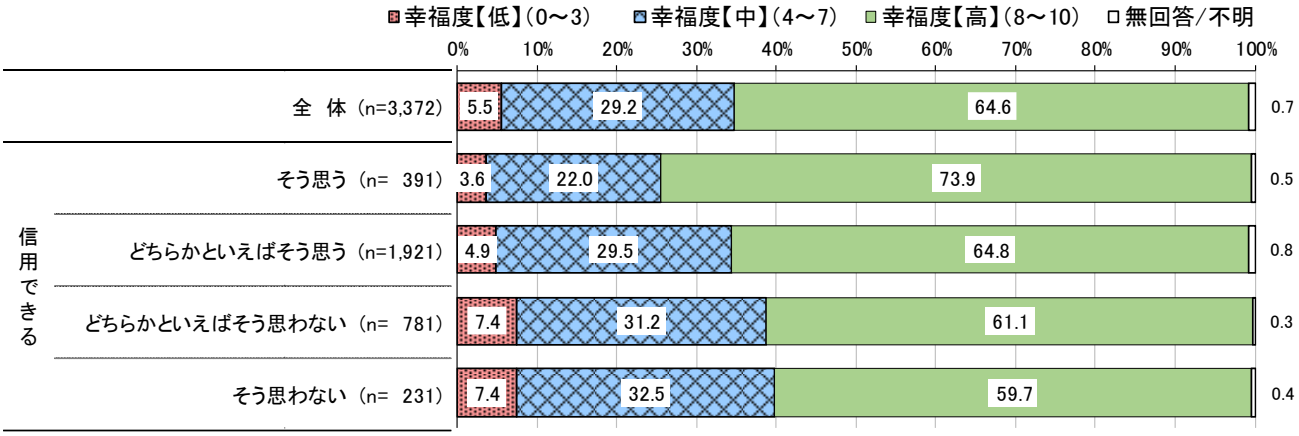


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「信用できる」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 73.9%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 59.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-144 子供の幸福度(「信用できる」の回答別)



（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（E　同じ価値観を持っている）

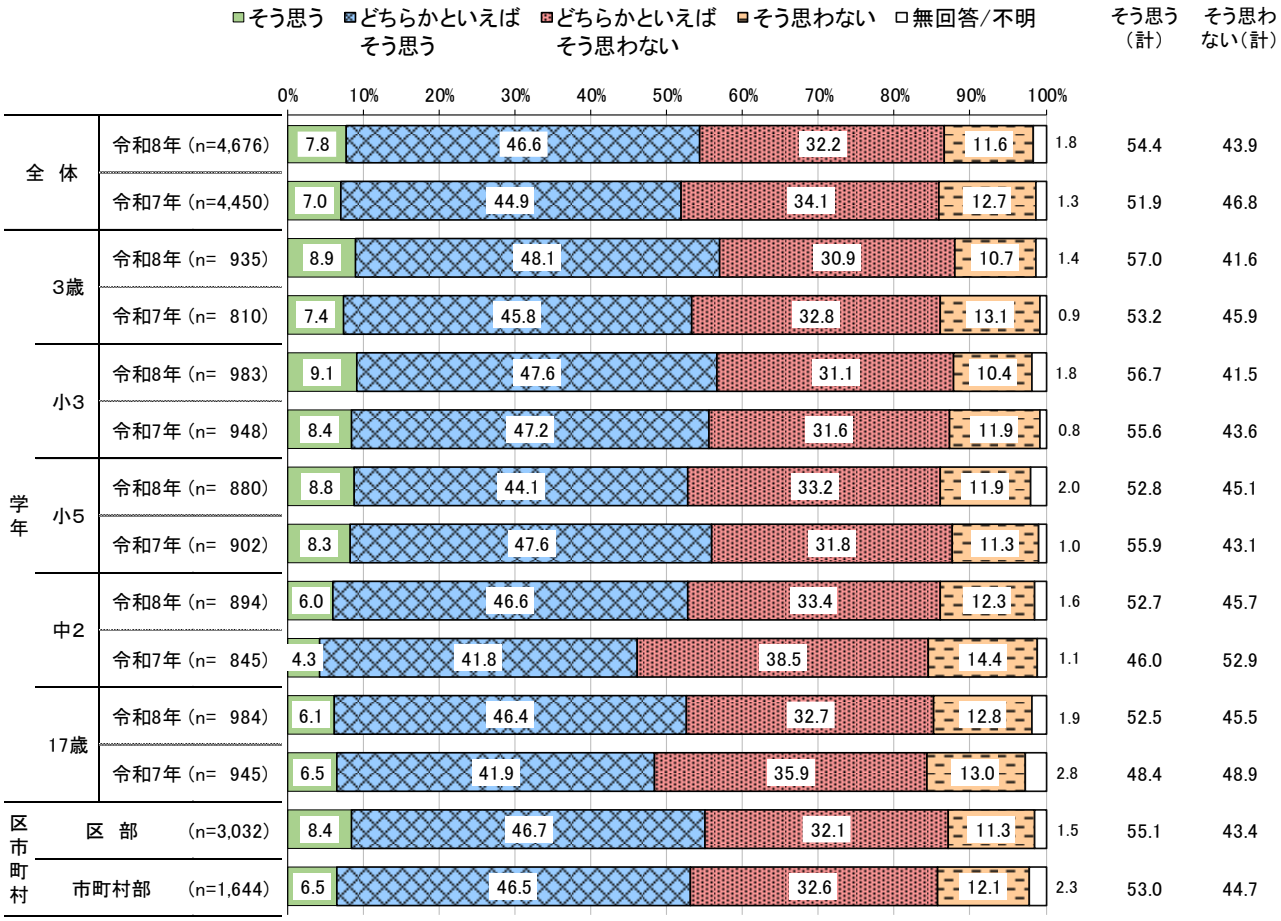
【全体】

「同じ価値観を持っている」とする保護者は 54.4%（「そう思う」が 7.8%＋「どちらかといえばそう思う」が 46.6%）である。

【学年別】

経年比較でみると、中2で「同じ価値観を持っている」とする保護者（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合）が 6.7 ポイント増加している。

図表 2-145 E 同じ価値観を持っている ＜単一回答＞

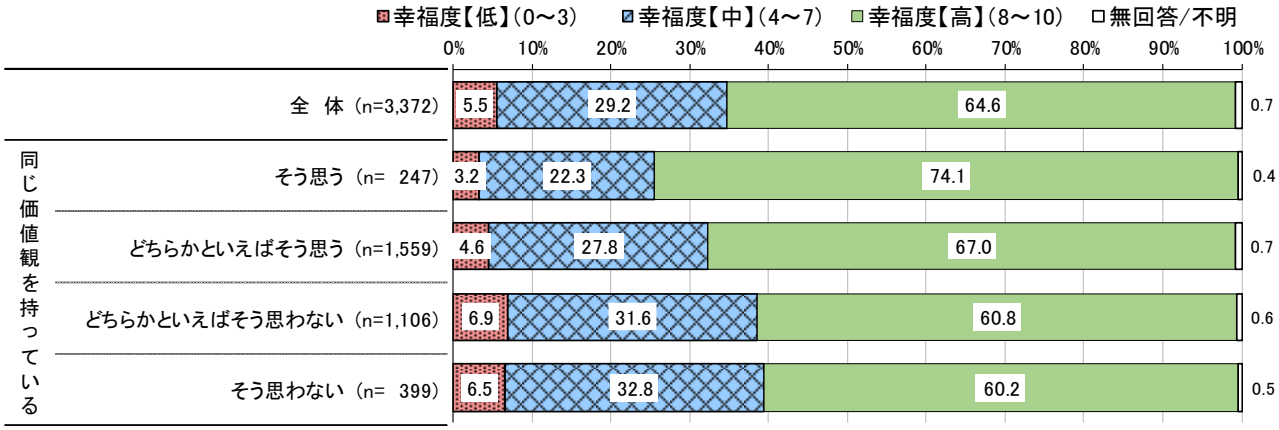


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「同じ価値観を持っている」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 74.1%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 60.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-146 子供の幸福度(「同じ価値観を持っている」の回答別)

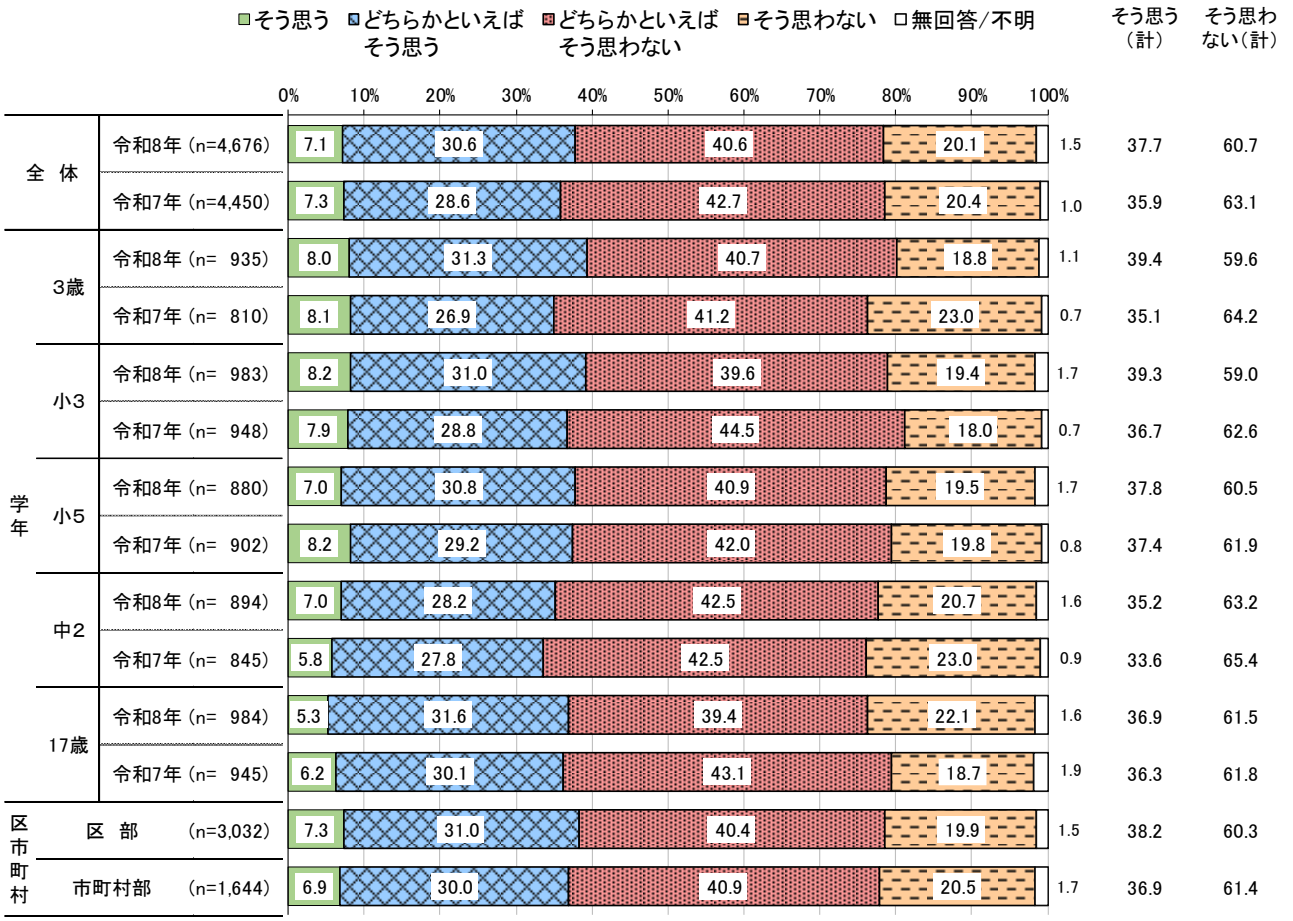


（保護者：共通）問 37. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）または地域の人について、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　異なる世代間の交流が盛んである）

【全体】

「異なる世代間の交流が盛んである」とする保護者は 37.7%（「そう思う」が 7.1%＋「どちらかといえばそう思う」が 30.6%）である。なお、「どちらかといえばそう思わない」が 40.6%で最も高い。

図表 2-147　F 異なる世代間の交流が盛んである　＜単一回答＞

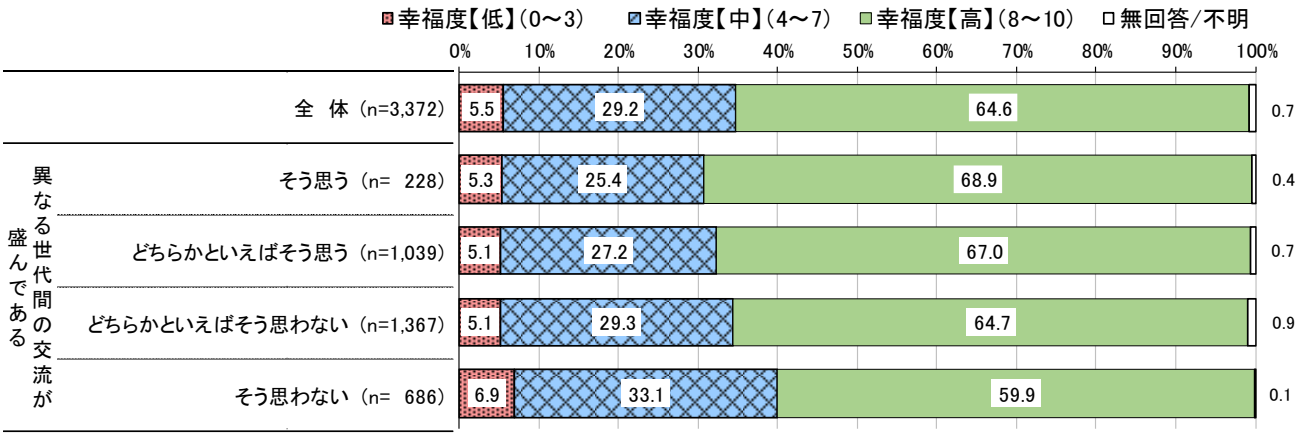


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【子供の幸福度】

「異なる世代間の交流が盛んである」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の68.9%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 59.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-148 子供の幸福度(「異なる世代間の交流が盛んである」の回答別)



（保護者：共通）問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友人や親戚はいますか。
（1つだけ）

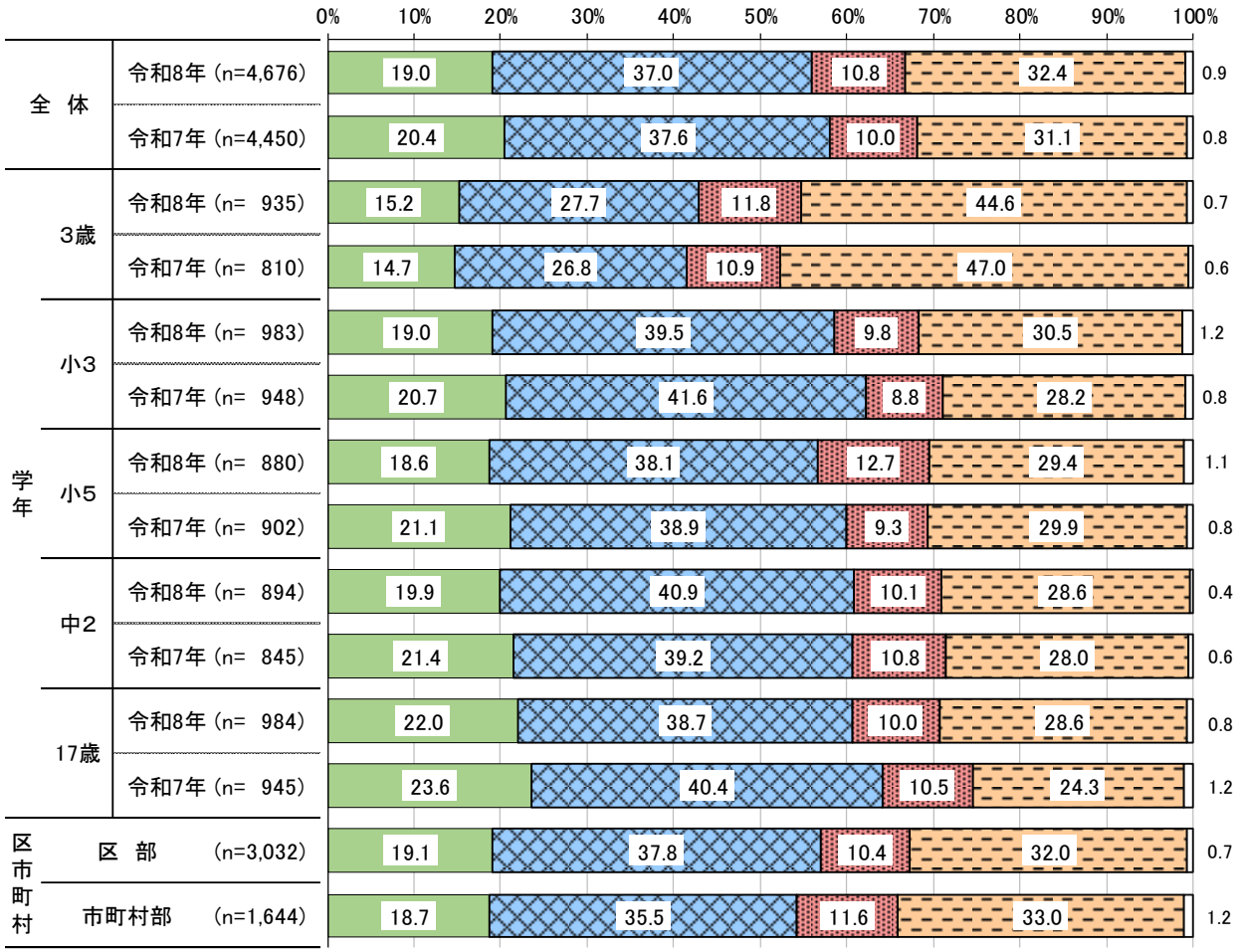
【全体】

「友人がいる」が 37.0％で最も高く、次いで「自分の住む地域にはいない」が 32.4％、「友人も親戚もいる」が 19.0％である。

【学年別】

3歳では「自分の住む地域にはいない」が最も高く、小3、小5、中2、17 歳では「友人がいる」が最も高い。

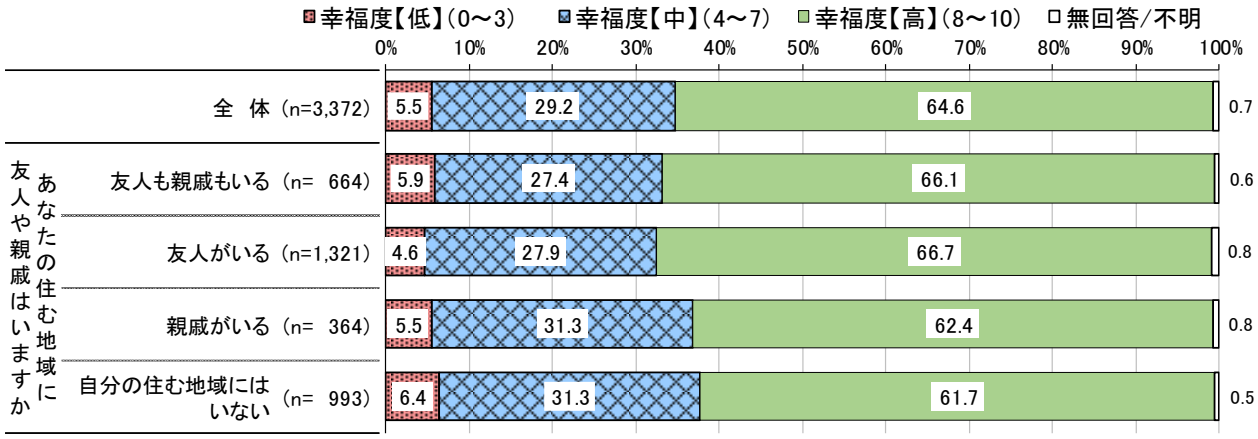
図表 2-149 あなたの住む地域に友人や親戚はいますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたの住む地域に友人や親戚はいるか」の回答別に子供の幸福度をみると、「友人がいる」と回答した保護者の子供の 66.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-150 子供の幸福度(「あなたの住む地域に友人や親戚はいますか」の回答別)



（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）

（A 起きる時間）

【全体】

「午前6時台」が 47.8%で最も高く、次いで「午前5時台」が 31.8%、「午前7時台」が 13.0%である。

【学年別】

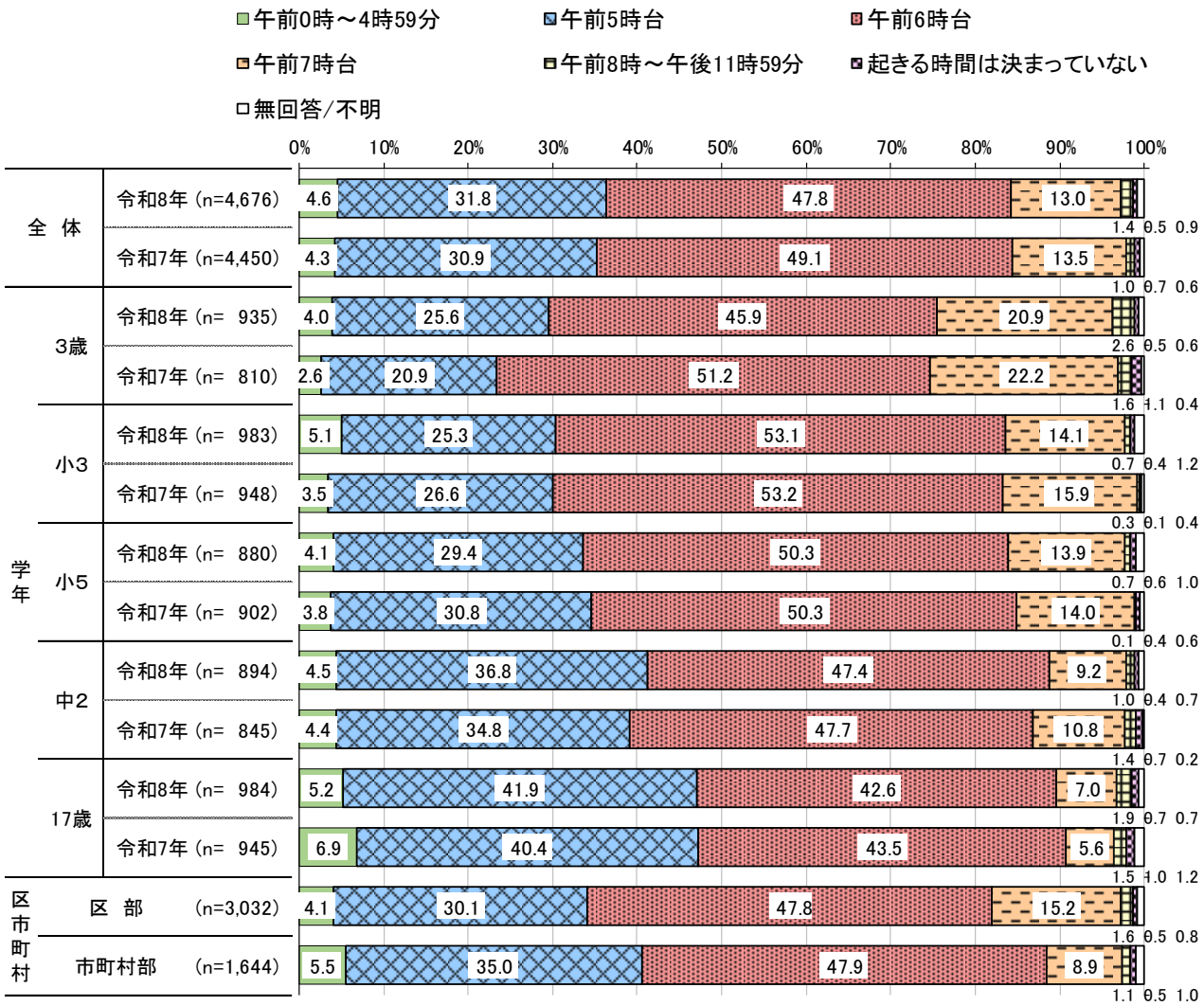
小3以上の学年では、学年が上がると「午前6時台」が減少傾向で（小3で 53.1%、小5で 50.3%、中2で 47.4%、17 歳で 42.6%）、「午前5時台」が増加傾向である（小3で 25.3%、小5で 29.4%、中2で 36.8%、17 歳で 41.9%）。3歳では、「午前7時台」が 20.9%で、他の学年より高い。

経年比較でみると、3歳で「午前6時台」が 5.3 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部は「午前7時台」が 15.2%で、市町村部に比べて 6.3 ポイント高い。

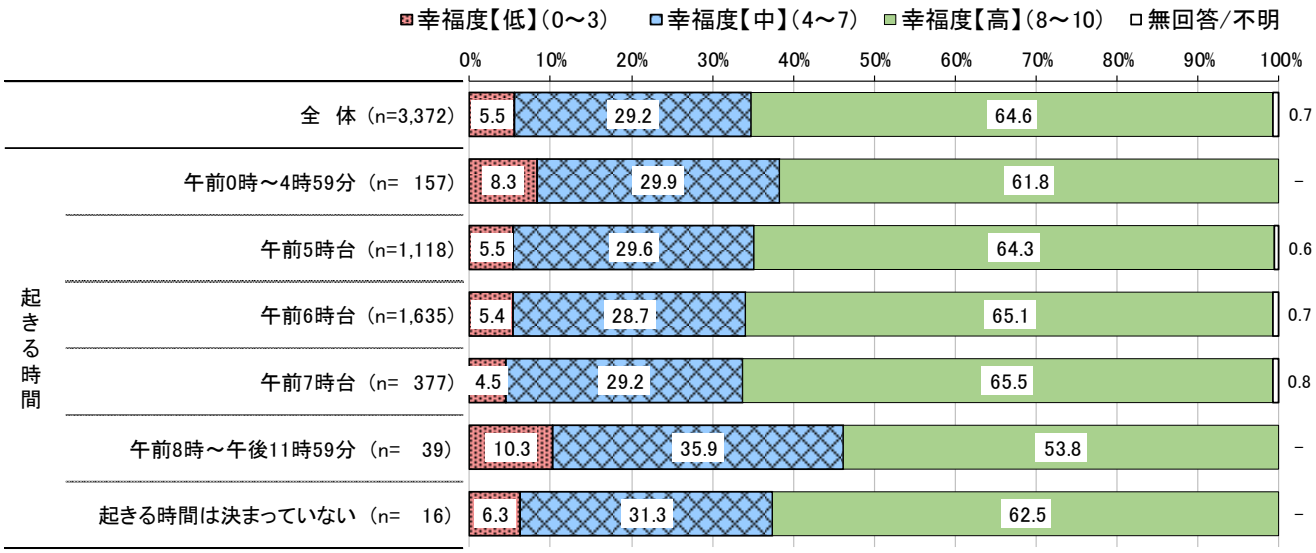
図表 2-151 A 起きる時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「起きる時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「午前7時台」に起床している保護者の子供の 65.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-152 子供の幸福度(「起きる時間」の回答別)



（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（仕事などがある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。（それぞれ1つ）

（B 寝る時間）

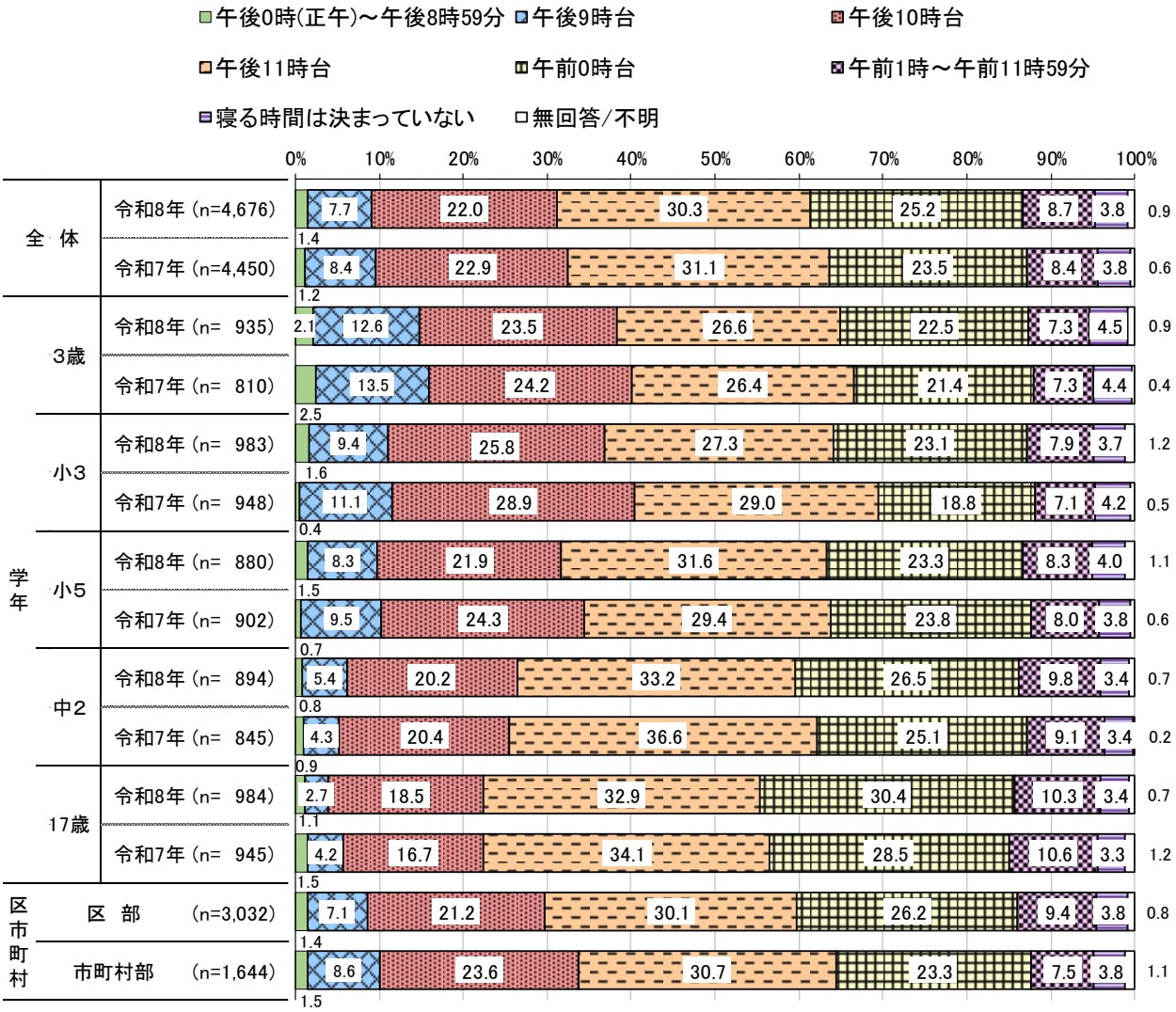
【全体】

「午後 11 時台」が 30.3％で最も高く、次いで「午前0時台」が 25.2％、「午後 10 時台」が 22.0％である。

【学年別】

いずれの学年でも「午後 11 時台」が最も高く、中2が 33.2％で、3歳が 26.6％である。「午前0時台」は、学年が上がると増加傾向で、17 歳では 30.4％、3歳では 22.5％である。

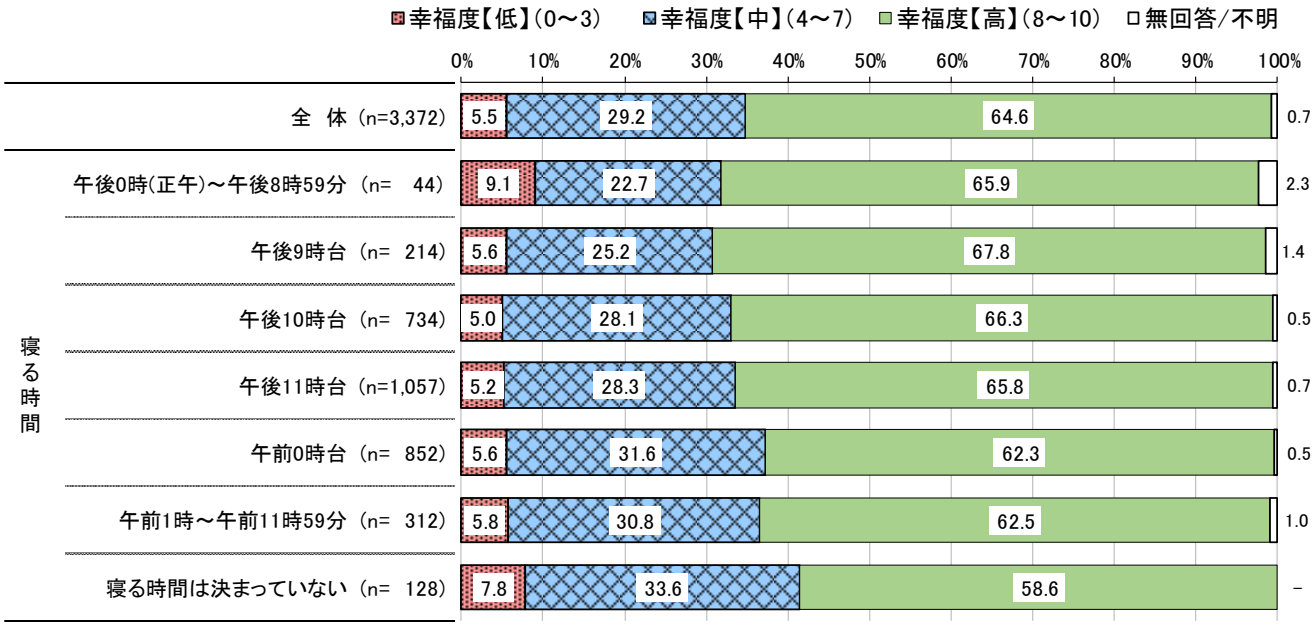
図表 2-153 B 寝る時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「寝る時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「午後9時台」と回答した保護者の子供の 67.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-154 子供の幸福度(「寝る時間」の回答別)



（保護者：共通）問 39. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。（それぞれ1つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を参考に算出した。

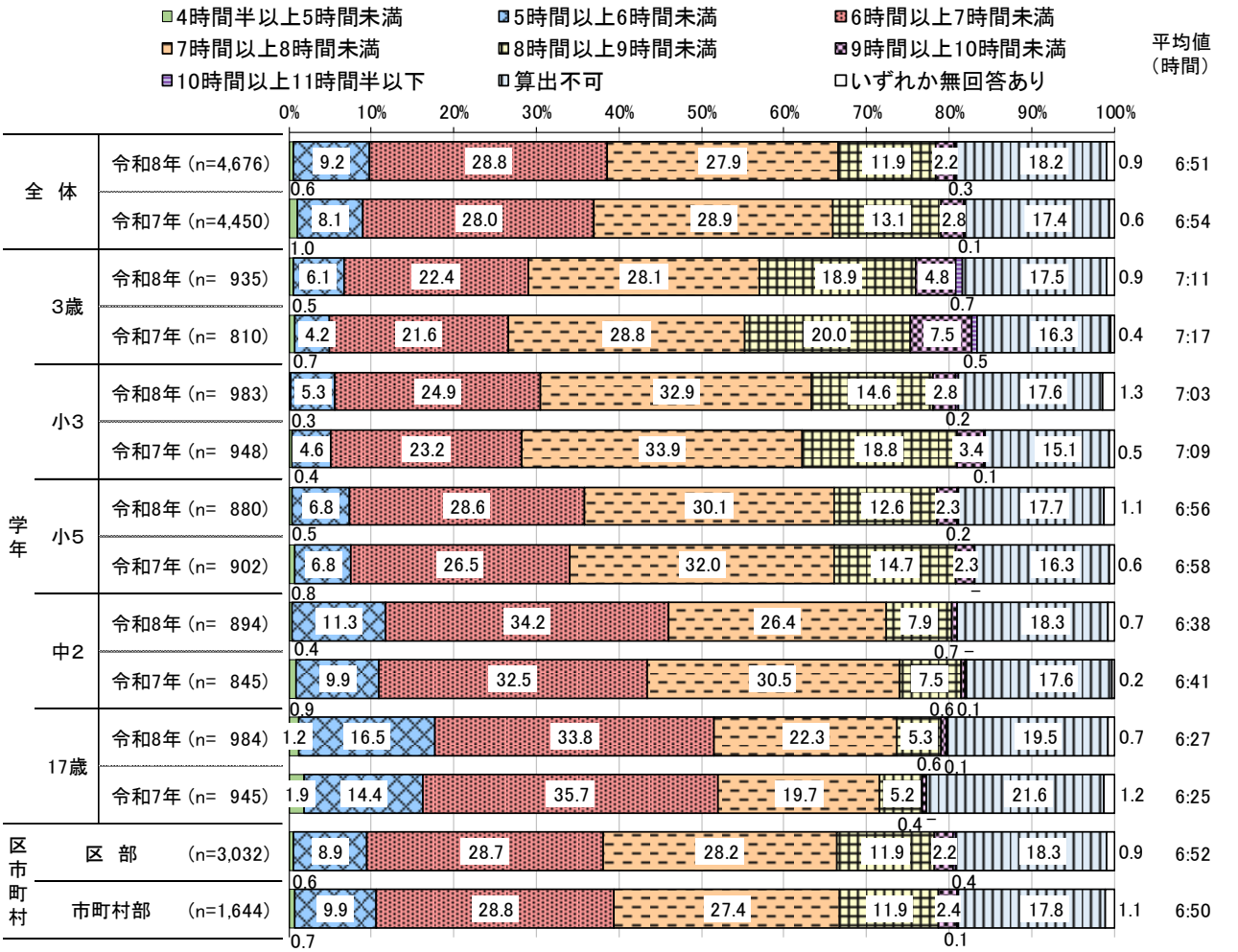
【全体】

「6時間以上7時間未満」が 28.8％で最も高く、次いで「7時間以上8時間未満」が 27.9％、「8時間以上9時間未満」が 11.9％である。平均睡眠時間は6時間 51 分である。

【学年別】

3歳、小3、小5では「7時間以上8時間未満」が最も高く、中2、17 歳では「6時間以上7時間未満」が最も高い。平均睡眠時間は、学年が上がると減少傾向である。

図表 2-155 睡眠時間 ＜単一回答＞



※睡眠時間は、「A 起きる時間」の「午前5時～5時 29 分」～「午前8時 30 分～8時 59 分」と、「B 寝る時間」の「午後9時～9時 29 分」～「午前0時 30 分～0時 59 分」の双方のいずれにも回答がある保護者について、それぞれ選択肢の中間値を設定し、差分をとって算出した。

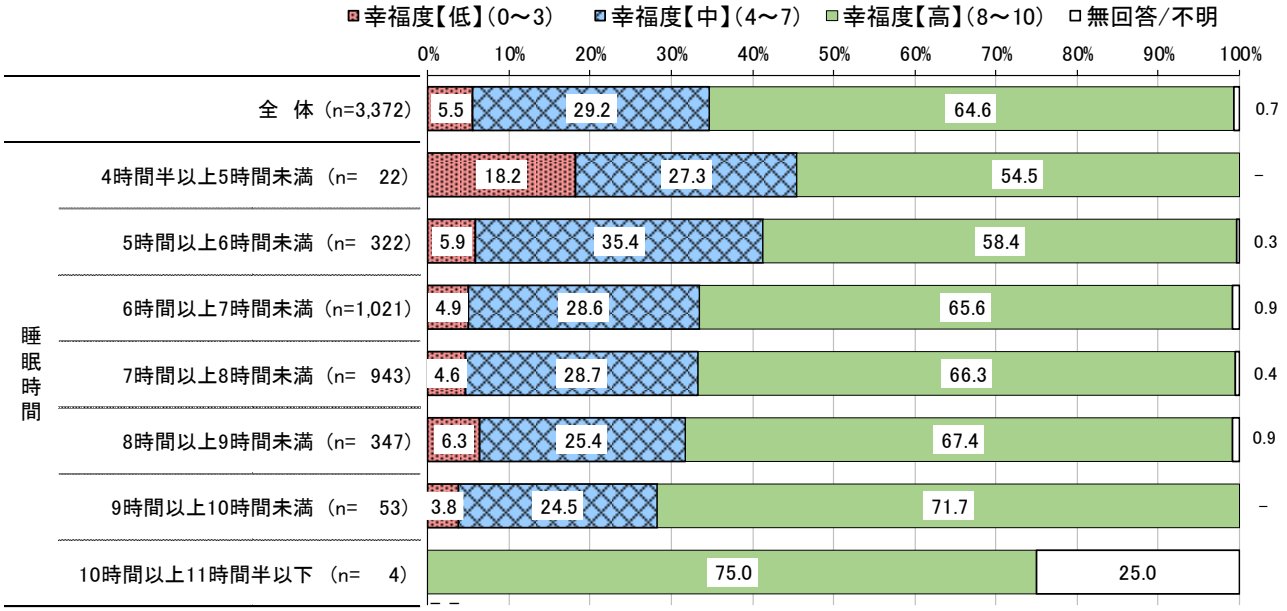
（例）B 寝る時間：午後9時～9時 29 分＝21 時 15 分
　　A 起きる時間：午前6時～6時 29 分＝6時 15 分　→睡眠時間9時間

なお、時間の幅が他の選択肢に比べて大きく中間値を設定できないため、「A 起きる時間」の「午前0時～4時 59 分」「午前9時～午前 11 時 59 分」～「起きる時間は決まっていない」と、「B 寝る時間」の「午後0時(正午)～午後8時 59 分」「午前1時～午前 11 時 59 分」「寝る時間は決まっていない」のいずれかを選択した保護者は、「算出不可」としている。

【子供の幸福度】

「睡眠時間」の回答別に子供の幸福度をみると、睡眠時間が長い保護者の子供ほど、幸福度【高】(8～10)が高い傾向があり、「9時間以上 10 時間未満」と回答した保護者の子供の 71.7%が幸福度【高】(8～10)で、「5時間以上6時間未満」と回答した保護者の子供の 58.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-156 子供の幸福度(「睡眠時間」の回答別)



（保護者：共通）問 40. あなたが平日（仕事などがある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

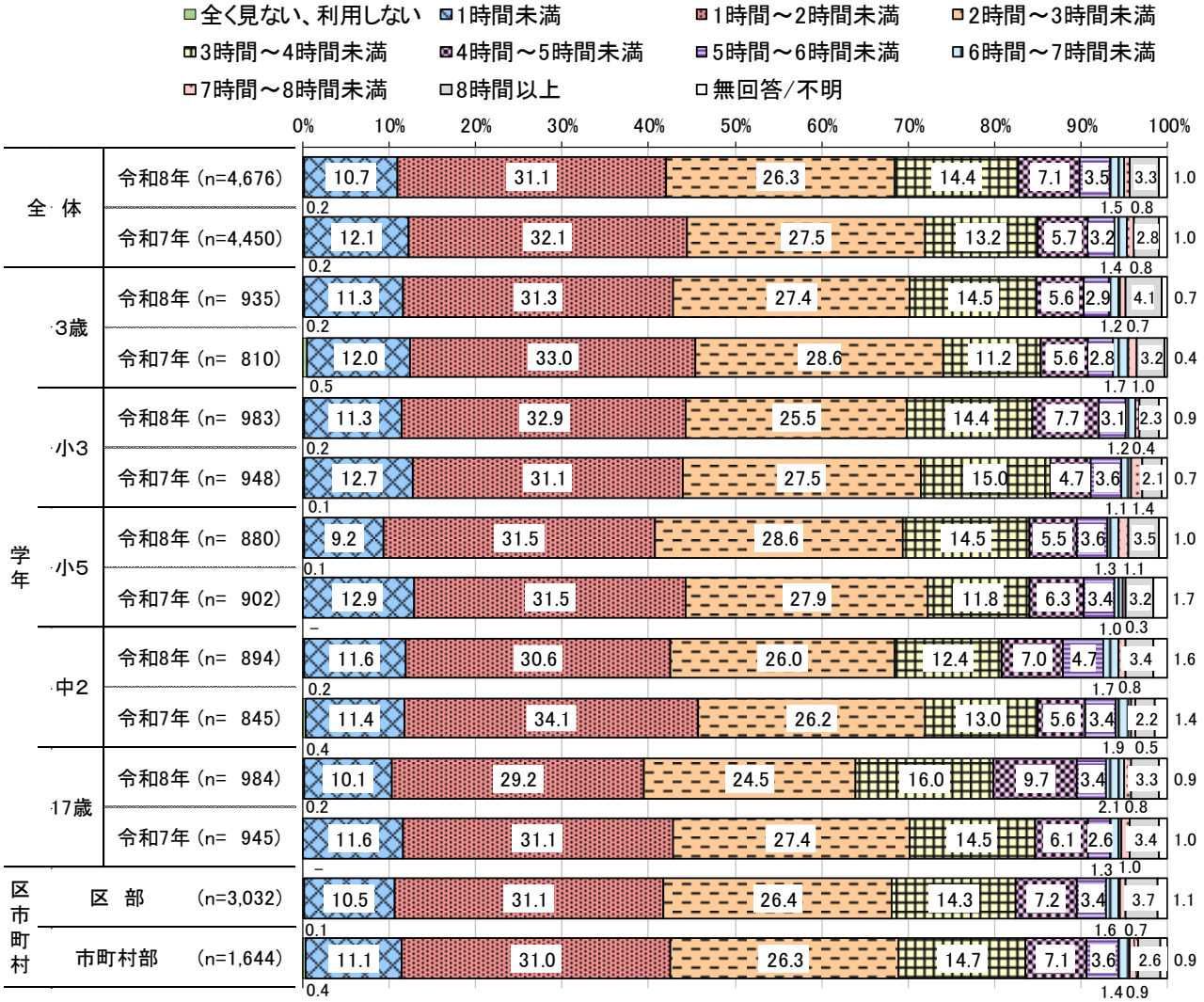
【全体】

「1時間～2時間未満」が 31.1％で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が 26.3％、「3時間～4時間未満」が 14.4％である。

【学年別】

いずれの学年でも「1時間～2時間未満」が最も高い。

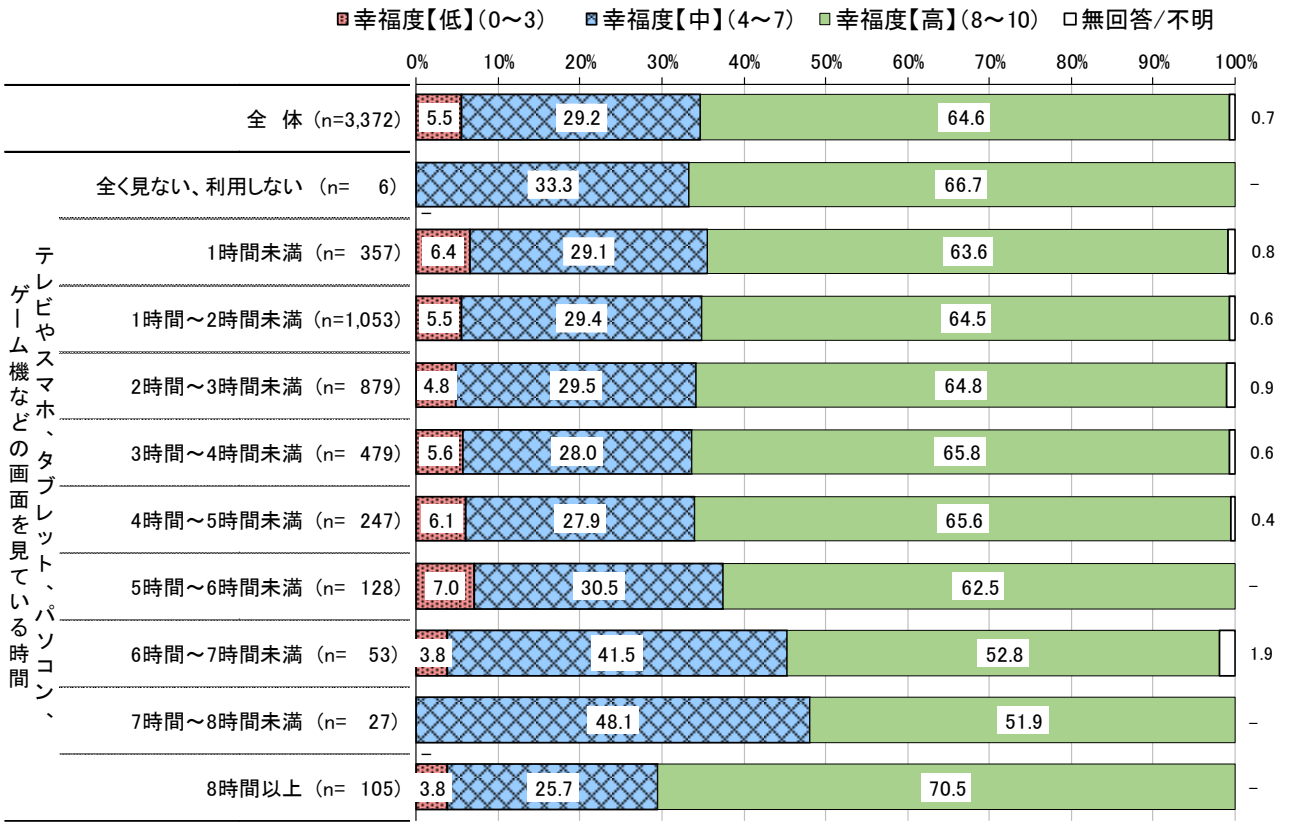
図表 2-157 テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別に子供の幸福度をみると、「8時間以上」と回答した保護者の子供の 70.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-158 子供の幸福度(「テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間」の回答別)



（保護者：共通）問 41. あなたや配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか。（それぞれ1つ）
（A あなた）

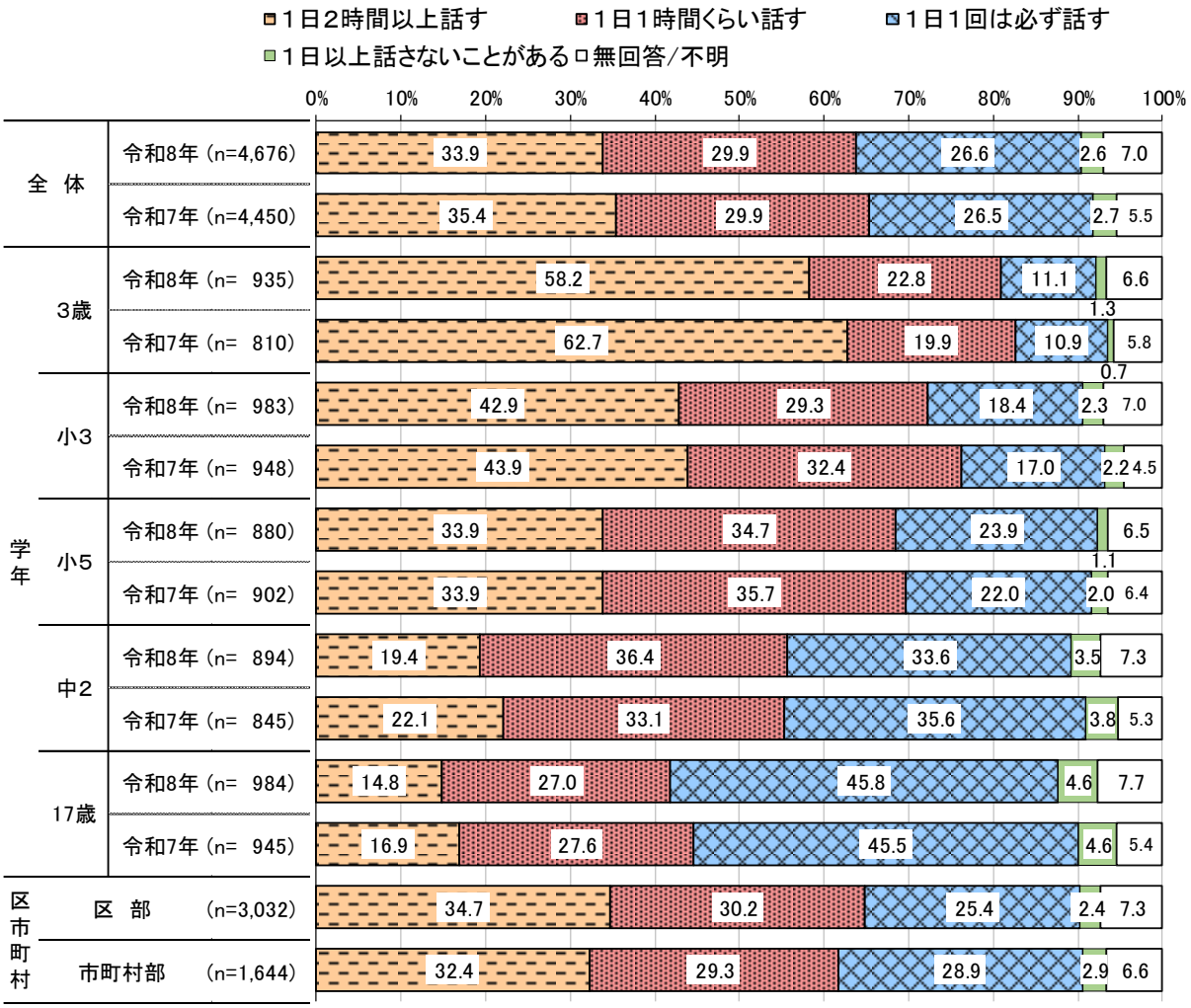
【全体】

「1日2時間以上話す」が 33.9％で最も高く、次いで「1日1時間くらい話す」が 29.9％、「1日1回は必ず話す」が 26.6％である。

【学年別】

3歳、小3では「1日2時間以上話す」、小5、中2では「1日1時間くらい話す」、17 歳では「1日1回は必ず話す」が最も高い。「1日2時間以上話す」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 58.2％、17 歳では 14.8％である。

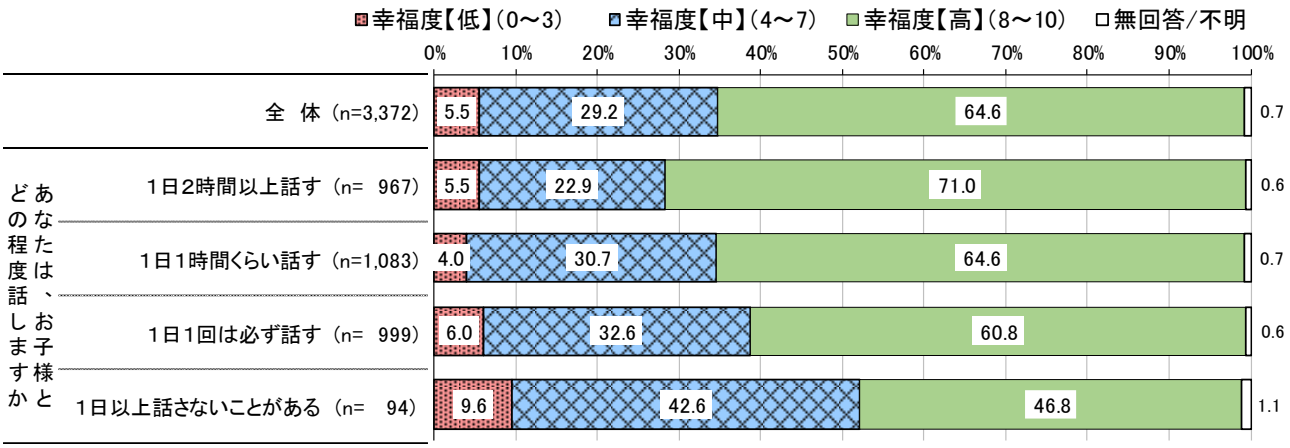
図表 2-159 A あなたは、お子様とどの程度話しますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「あなたは、お子様とどの程度話しますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「1日2時間以上話す」と回答した保護者の子供の 71.0%が幸福度【高】(8～10)で、「1日以上話さないことがある」と回答した保護者の子供の 46.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-160 子供の幸福度(「あなたは、お子様とどの程度話しますか」の回答別)



（保護者：共通）問 41. あなたや配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか。（それぞれ1つ）
（B 配偶者／パートナー）※いない場合は空欄で構いません。

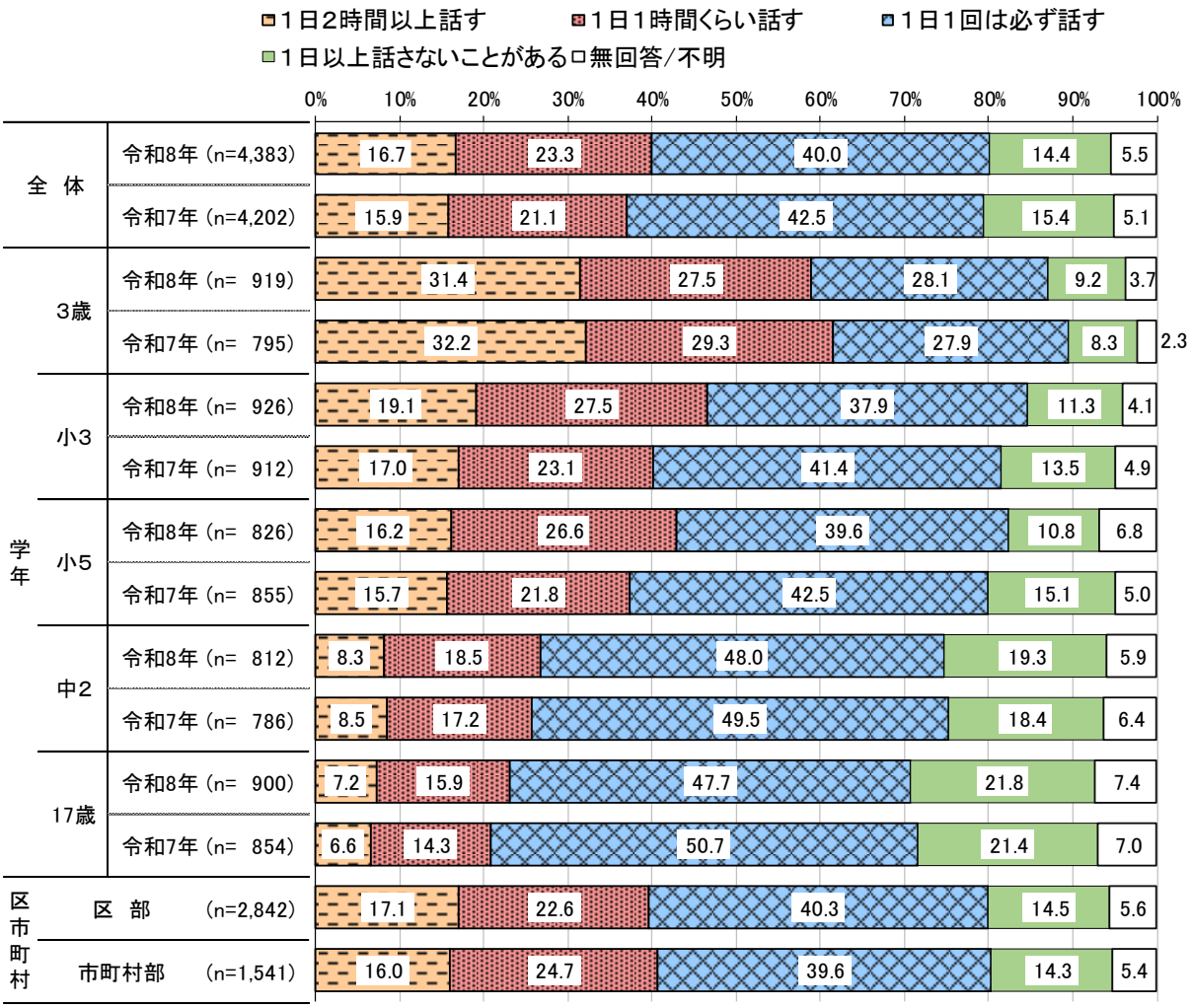
【全体】

「1日1回は必ず話す」が 40.0％で最も高く、次いで「1日1時間くらい話す」が 23.3％、「1日2時間以上話す」が16.7％である。

【学年別】

3歳では「1日2時間以上話す」が最も高く、小3、小5、中2、17 歳では「1日1回は必ず話す」が最も高い。「1日2時間以上話す」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 31.4％、17 歳では 7.2％である。

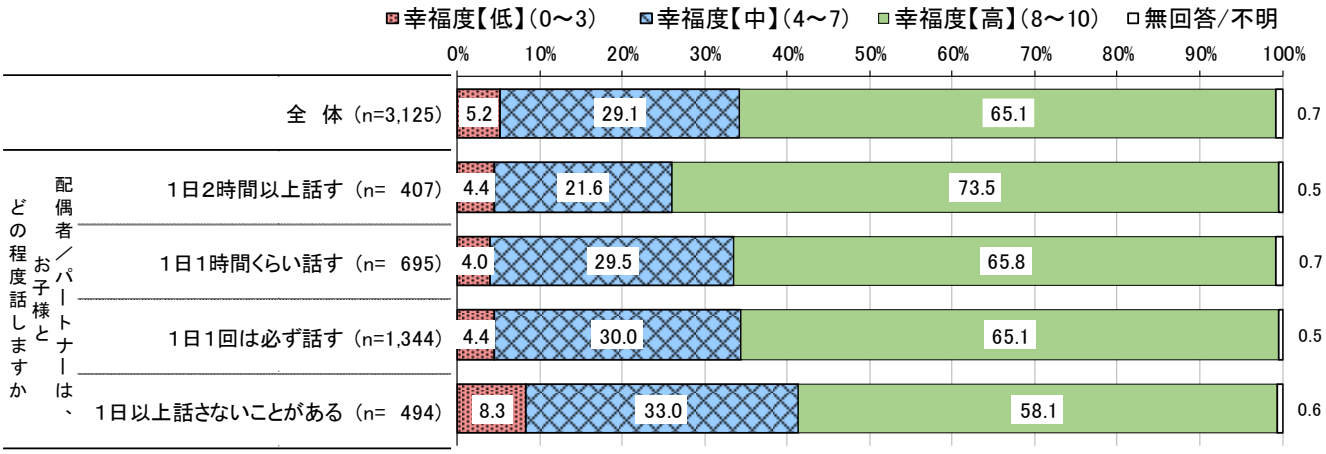
図表 2-161 B 配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「1日2時間以上話す」と回答した保護者の子供の 73.5%が幸福度【高】(8～10)で、「1日以上話さないことがある」と回答した保護者の子供の 58.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-162 子供の幸福度(「配偶者／パートナーは、お子様とどの程度話しますか」の回答別)



（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A　子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

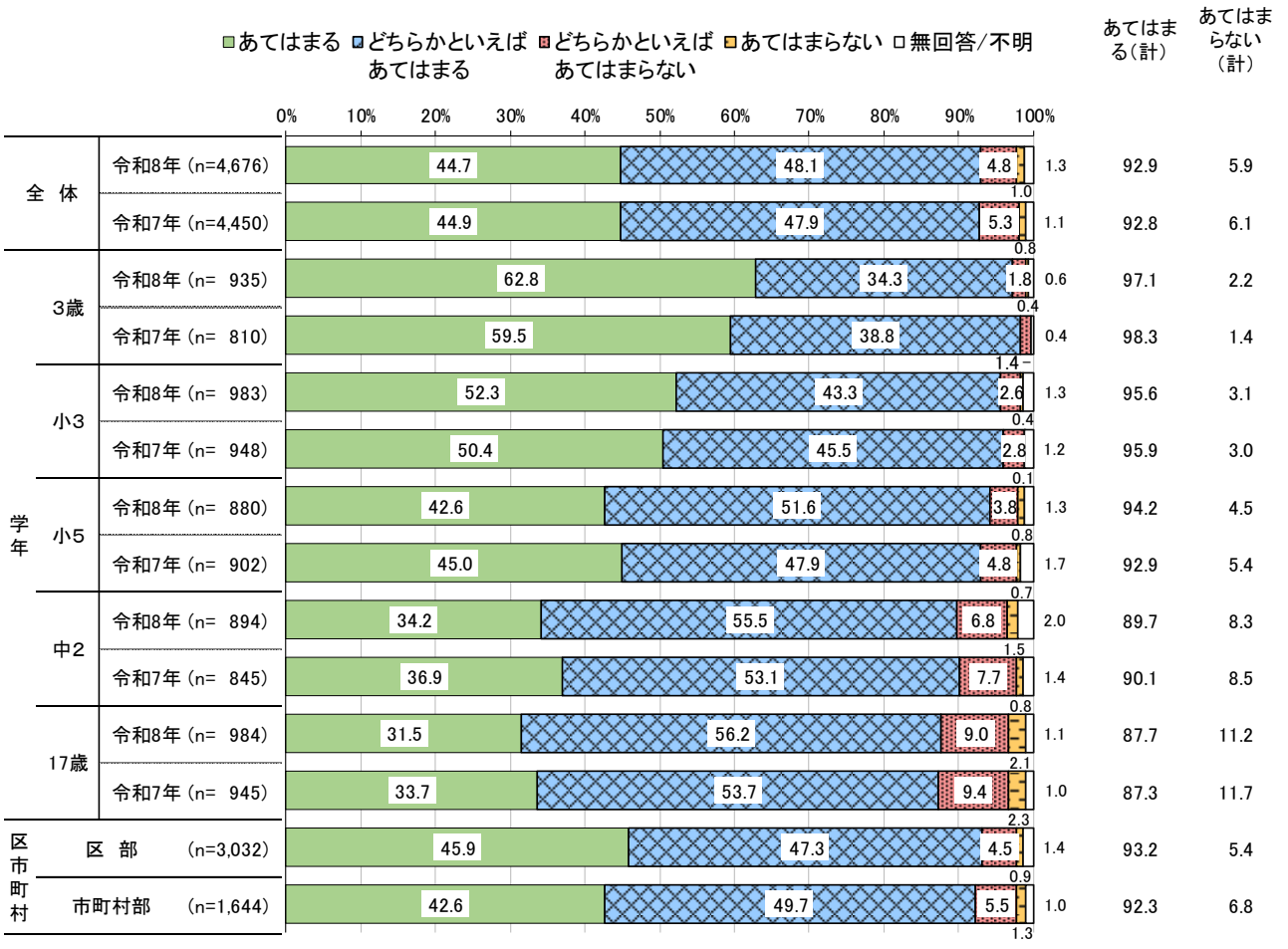
【全体】

「子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」とする保護者は 92.9%（「あてはまる」が 44.7%＋「どちらかといえばあてはまる」が 48.1%）である。

【学年別】

「子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」とする保護者（「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 2-163　A 子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている　＜単一回答＞

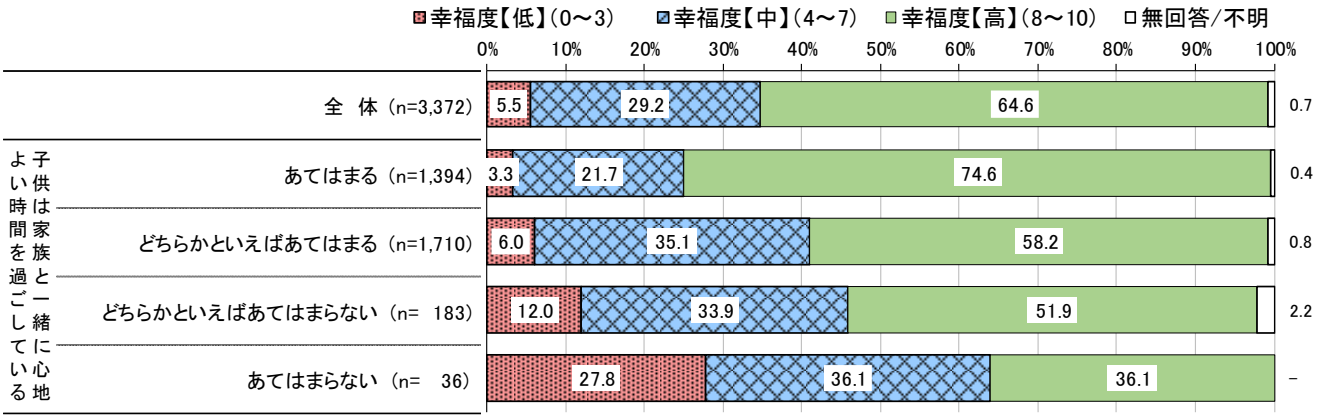


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供の 74.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-164 子供の幸福度(「子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている」の回答別)



（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　子供は家では安心して過ごしている）

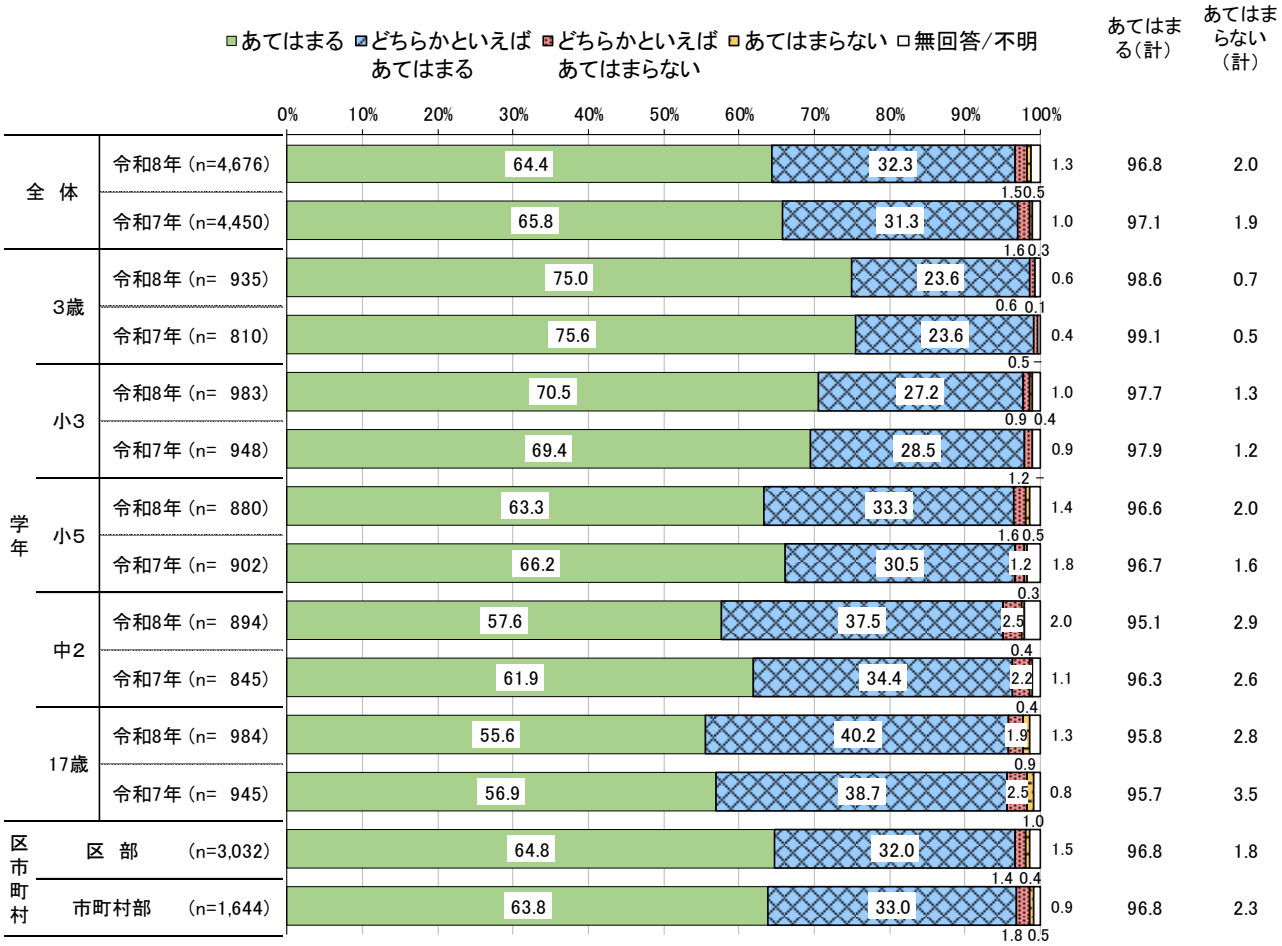
【全体】

「子供は家では安心して過ごしている」とする保護者は 96.8%（「あてはまる」が 64.4%＋「どちらかといえばあてはまる」が 32.3%）である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高い。「あてはまる」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 75.0%、17 歳では 55.6%である。

図表 2-165 B 子供は家では安心して過ごしている ＜単一回答＞

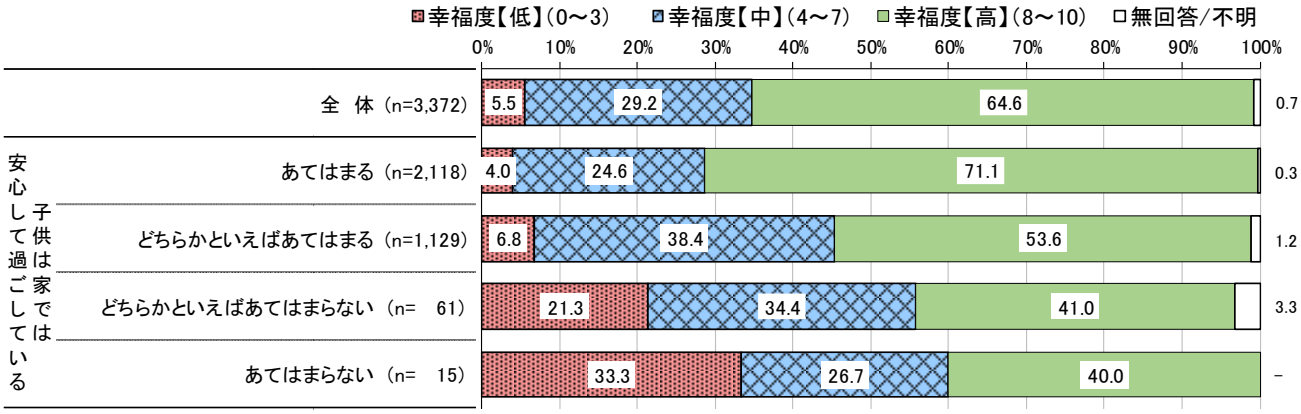


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供は家では安心して過ごしている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供の 71.1%が幸福度【高】(8～10)で、「どちらかといえばあてはまらない」と回答した保護者の子供の 41.0%が幸福度【高】(8～10)である。なお、「どちらかといえばあてはまらない」と回答した保護者の子供の 21.3%が幸福度【低】(0～3)である。

図表 2-166 子供の幸福度(「子供は家では安心して過ごしている」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（C　子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている）

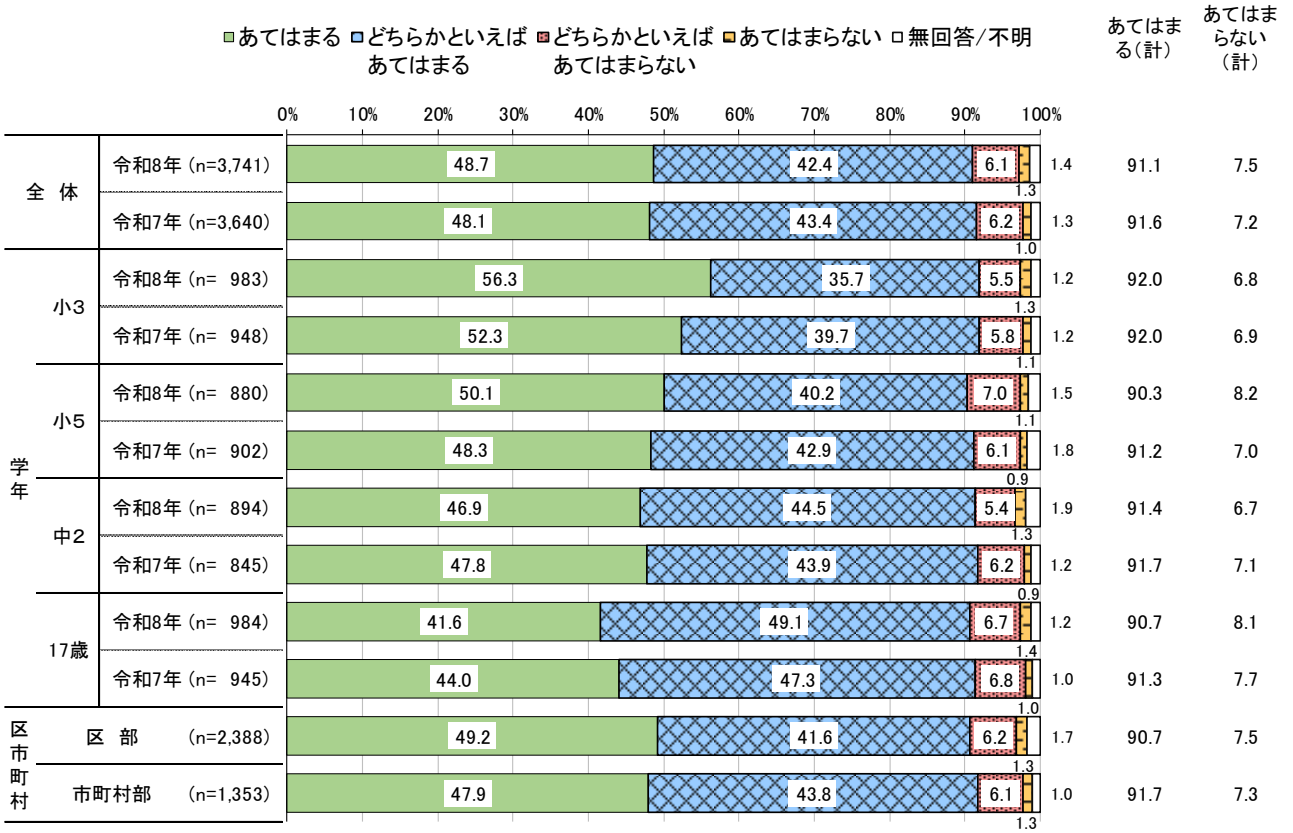
【全体】

「子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている」とする保護者は 91.1%（「あてはまる」が 48.7%＋「どちらかといえばあてはまる」が 42.4%）である。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」が最も高い。「あてはまる」は、学年が上がると減少傾向で、小3では 56.3%、17 歳では 41.6%である。

図表 2-167　C 子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている　＜単一回答＞

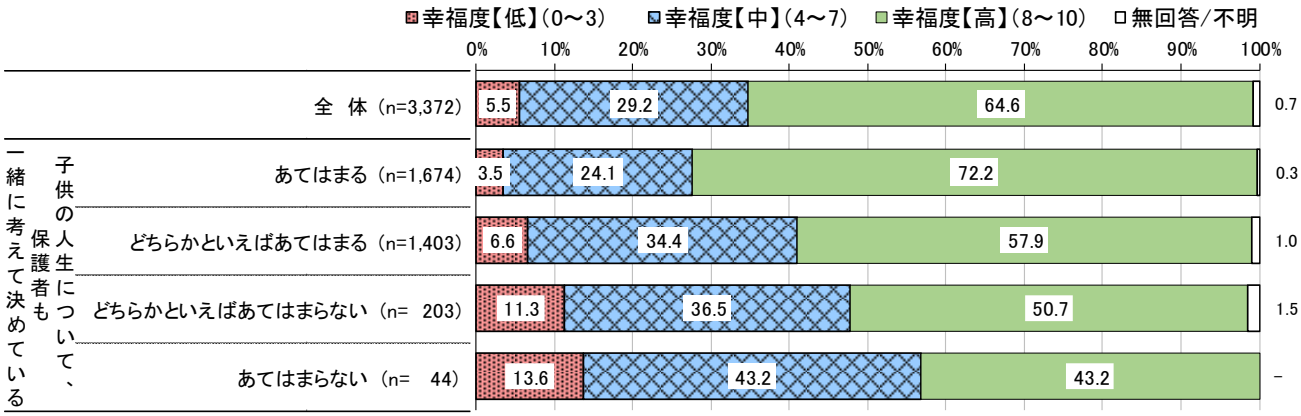


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供の 72.2%が幸福度【高】(8～10)で、「どちらかといえばあてはまらない」と回答した保護者の子供の 50.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-168 子供の幸福度(「子供の人生について、保護者も一緒に考えて決めている」の回答別)



（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　保護者は子供の話を聞いている）

【全体】

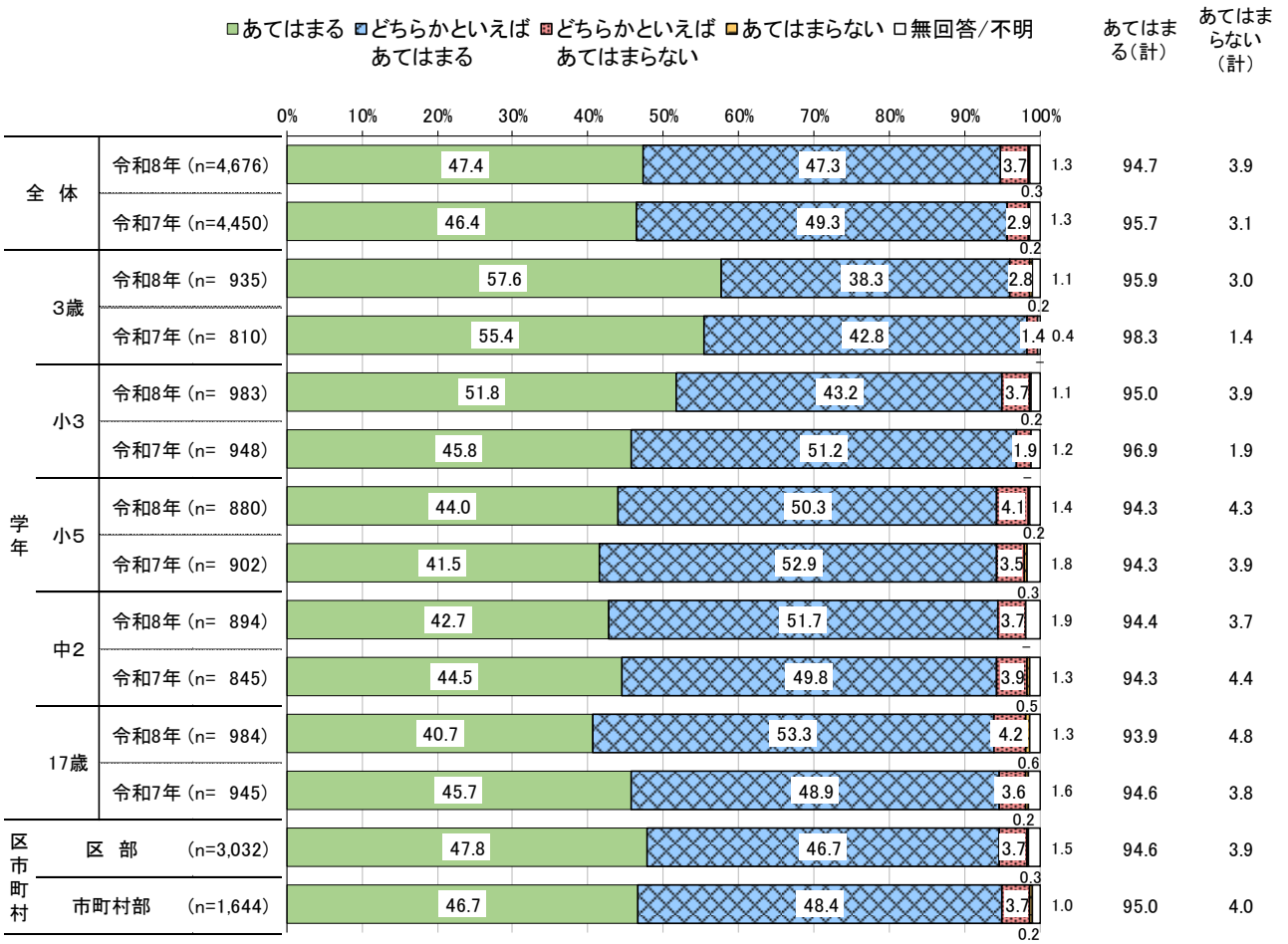
「保護者は子供の話を聞いている」とする保護者は 94.7%（「あてはまる」が 47.4%＋「どちらかといえばあてはまる」が 47.3%）である。

【学年別】

3歳、小3では「あてはまる」が最も高く、小5、中2、17 歳では「どちらかといえばあてはまる」が最も高い。「あてはまる」は、学年が上がると減少傾向で、3歳では 57.6%、17 歳では 40.7%である。

経年比較でみると、小3で「あてはまる」が 6.0 ポイント増加している。17 歳で「あてはまる」が 5.0 ポイント減少している。

図表 2-169　D　保護者は子供の話を聞いている　＜単一回答＞

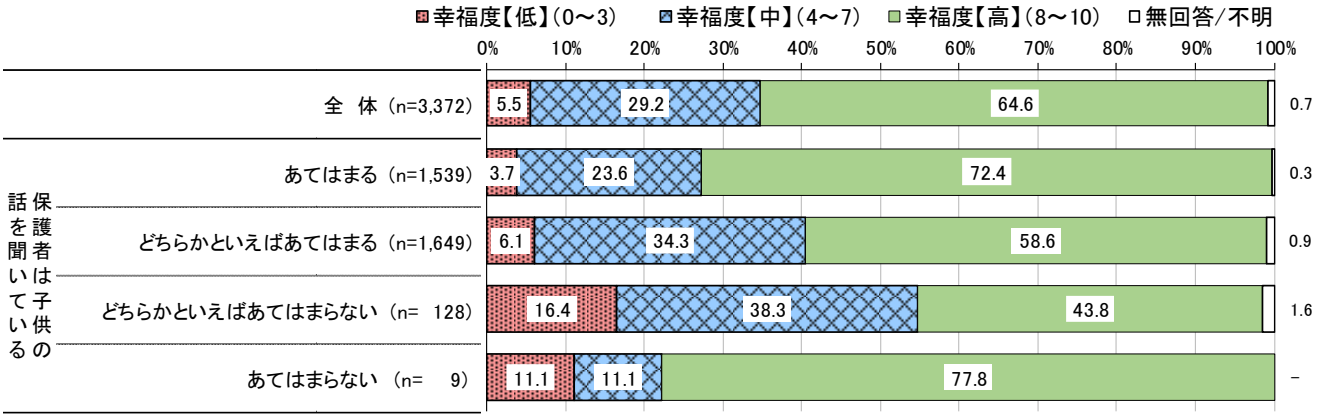


※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

【子供の幸福度】

「保護者は子供の話を聞いている」の回答別に子供の幸福度をみると、「あてはまる」と回答した保護者の子供の72.4%が幸福度【高】(8～10)で、「どちらかといえばあてはまらない」と回答した保護者の子供の 43.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-170 子供の幸福度(「保護者は子供の話を聞いている」の回答別)



（保護者：共通）問 43（1）．これまでに、お子様と一緒に行ったり、お子様が体験したりしたことは何ですか。なお、学校行事は含みません。（いくつでも）

【全体】

「博物館、科学館、動物園、植物園、水族館」が 96.2％で最も高く、次いで「自然体験（公園や身近な自然での観察・ふれあい）」が 91.9％、「レジャー施設（遊園地・テーマパークなど）」が 89.3％と続く。何らか「これまでに行った場所／体験させたことがある（計）」とする保護者は、98.7％である。

【学年別】

いずれの学年でも「博物館、科学館、動物園、植物園、水族館」が最も高い。次いで、3歳と小3では「自然体験（公園や身近な自然での観察・ふれあい）」がそれぞれ 94.2％、94.8％、小5、中2、17 歳では「映画館」がそれぞれ 92.6％、92.8％、94.2％と続く。

【区市町村別】

区部は「音楽、美術、演劇鑑賞または体験」が 68.0％、「職業体験」が 36.9％、「海外旅行」が 29.6％、「デジタル体験（プログラミング、デジタル制作など）」が 27.6％で、市町村部に比べてそれぞれ 6.3 ポイント、10.1 ポイント、10.3 ポイント、5.6 ポイント高い。

図表 2-171 これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと ＜複数回答＞

(%)

		n	博物館、科学館、動物園、植物園、水族館	音楽、美術、演劇鑑賞または体験	映画館	図書館	スポーツ	自然体験（公園や身近な自然での観察・ふれあい）	アウトドア体験（山・川・海など自然の中での野外活動）	プレーパーク・冒険遊び場	職業体験	（17歳のみ）アルバイト
全　体		4,676	96.2	65.8	80.3	81.8	74.0	91.9	76.5	57.4	33.3	3.4
学年	3歳	935	95.7	45.7	30.7	69.3	43.1	94.2	54.5	51.0	7.3	
学年	小3	983	98.0	67.7	91.3	87.9	83.7	94.8	81.7	60.6	37.8	
学年	小5	880	97.3	67.3	92.6	85.7	82.0	92.5	82.2	55.9	40.8	
学年	中2	894	95.1	72.9	92.8	84.1	80.1	89.6	81.7	58.3	33.8	
学年	17歳	984	95.0	75.2	94.2	82.0	80.9	88.1	82.4	60.9	46.4	16.2
区市町村	区　部	3,032	96.4	68.0	78.9	83.3	74.0	91.9	75.6	57.6	36.9	3.0
区市町村	市町村部	1,644	95.9	61.7	83.0	79.1	73.9	91.8	78.2	57.1	26.8	4.1

		ボランティア	ものづくり体験	デジタル体験（プログラミング、デジタル制作など）	レジャー施設（遊園地・テーマパークなど）	異文化体験・国際交流	海外旅行	海外留学、ホームステイ	特にない	無回答／不明	これまでに行った場所／体験させたことがある（計）
全　体		15.0	58.6	25.6	89.3	18.6	25.9	5.0	0.2	1.1	98.7
学年	3歳	2.0	25.3	4.3	79.6	7.8	12.5	0.7	0.2	0.5	99.3
学年	小3	13.3	69.0	31.2	93.8	19.0	24.4	1.8	－	0.9	99.1
学年	小5	15.6	68.8	32.8	92.5	17.0	24.9	2.8	0.1	1.0	98.9
学年	中2	19.2	65.2	29.5	91.1	20.5	32.1	4.4	0.2	2.0	97.8
学年	17歳	24.6	64.9	30.4	89.8	28.0	35.6	14.5	0.4	1.2	98.4
区市町村	区　部	13.6	59.3	27.6	89.4	19.7	29.6	5.8	0.2	1.2	98.5
区市町村	市町村部	17.6	57.4	22.0	89.3	16.5	19.3	3.5	0.1	1.0	98.9

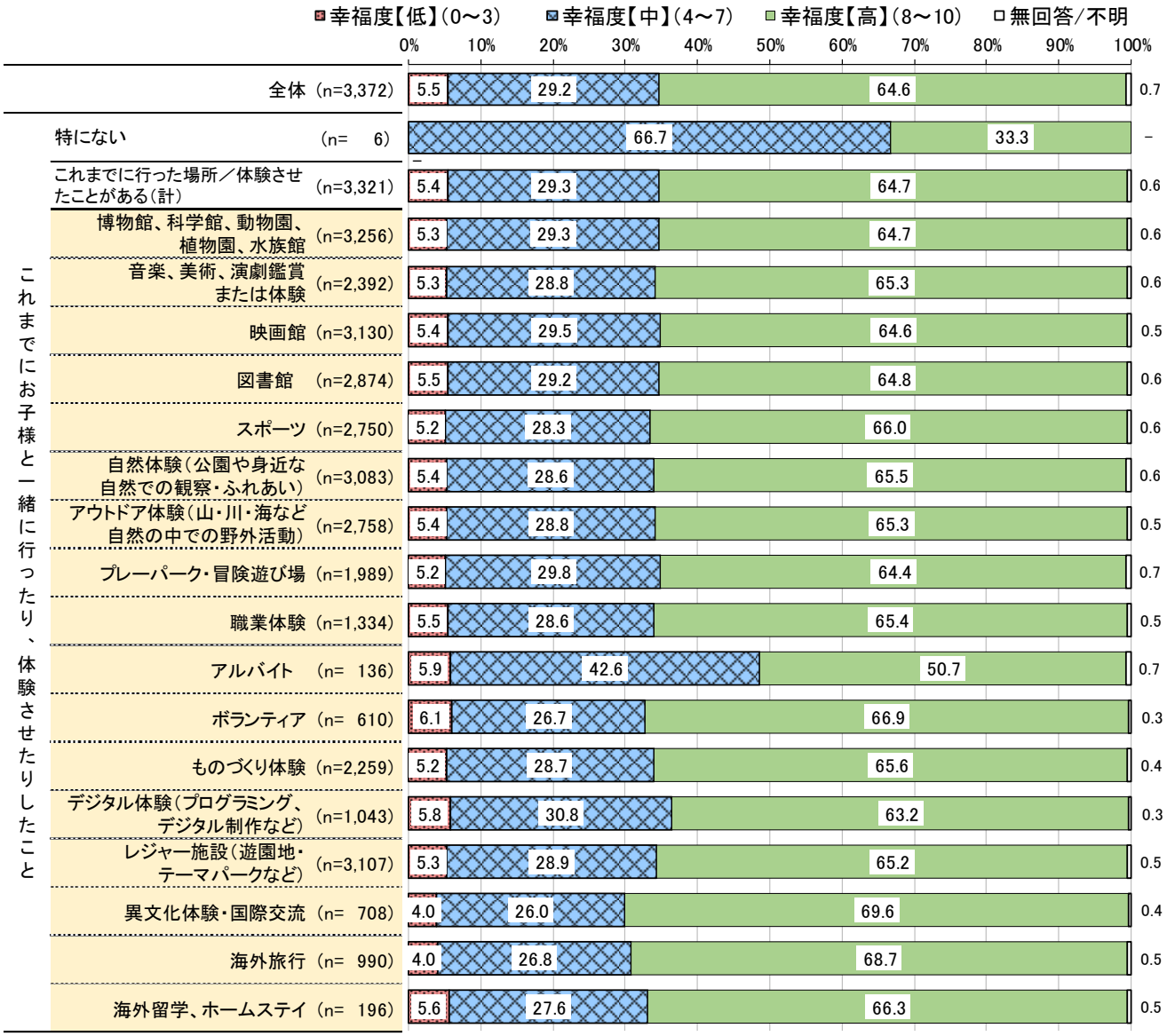
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※これまでに行った場所／体験させたことがある（計）は「博物館、科学館、動物園、植物園、水族館」～「海外留学、ホームステイ」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「これまでに行った場所／体験させたことがある（計）」とする保護者の子供の 64.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-172 子供の幸福度（「これまでにお子様と一緒に行ったり、体験させたりしたこと」の回答別）



（保護者：共通）問 43（2）．過去１年以内に、お子様と一緒に行ったり、お子様が体験したりしたことは何ですか。なお、学校行事は含みません。（いくつでも）

【全体】

「映画館」が 70.3％で最も高く、次いで「自然体験（公園や身近な自然での観察・ふれあい）」が 62.2％、「レジャー施設（遊園地・テーマパークなど）」が 61.8％、「博物館、科学館、動物園、植物園、水族館」が 60.8％と続く。何らか「過去1年以内に行った場所／体験したことがある（計）」とする保護者は、93.8％である。

【学年別】

小3では「自然体験（公園や身近な自然での観察・ふれあい）」が最も高く、小5、中2、17 歳では「映画館」が最も高い。何らか「過去1年以内に行った場所／体験したことがある（計）」は、学年が上がると減少傾向で、小3では97.2％、17 歳では 88.9％である。

【区市町村別】

区部は「ものづくり体験」が 30.0％、「海外旅行」が 15.5％、「職業体験」が 13.2％で、市町村部に比べてそれぞれ 5.5 ポイント、6.4 ポイント、6.1 ポイント高い。

図表 2-173 過去1年以内に、お子様と一緒に行った場所や体験させたりしたこと ＜複数回答＞

(%)

		n	博物館、科学館、動物園、植物園、水族館	音楽、美術、演劇鑑賞または体験	映画館	図書館	スポーツ	自然体験（公園や身近な自然での観察・ふれあい）	アウトドア体験（山・川・海など自然の中での野外活動）	プレーパーク・冒険遊び場	職業体験	（17歳のみ）アルバイト
全　体		3,741	60.8	38.8	70.3	47.9	57.6	62.2	50.8	23.0	11.0	3.1
学年	小3	983	83.1	44.4	76.1	68.7	72.7	84.2	63.1	41.2	18.2	
学年	小5	880	72.7	38.9	79.2	61.6	67.3	74.9	58.8	30.7	16.9	
学年	中2	894	49.1	36.4	67.7	35.7	49.3	51.5	46.9	13.2	4.0	
学年	17歳	984	38.4	35.3	59.0	25.9	41.3	38.7	35.0	6.9	4.8	11.9
区市町村	区　部	2,388	61.7	39.6	69.6	48.7	57.7	62.7	50.5	24.3	13.2	2.8
区市町村	市町村部	1,353	59.1	37.3	71.6	46.4	57.4	61.3	51.4	20.8	7.1	3.7

		ボランティア	ものづくり体験	デジタル体験（プログラミング、デジタル制作など）	レジャー施設（遊園地・テーマパークなど）	異文化体験・国際交流	海外旅行	海外留学、ホームステイ	特にない	無回答/不明	過去1年以内に行った場所／体験させたことがある（計）
全　体		8.0	28.0	12.3	61.8	10.4	13.2	3.2	1.6	4.5	93.8
学年	小3	8.5	44.7	19.6	77.1	12.2	13.5	1.0	0.1	2.7	97.2
学年	小5	8.2	37.4	15.6	70.8	8.6	11.3	1.5	0.2	3.8	96.0
学年	中2	7.3	18.9	7.0	56.5	8.9	13.6	2.5	1.7	4.9	93.4
学年	17歳	7.9	11.3	6.9	43.2	11.5	14.1	7.5	4.4	6.7	88.9
区市町村	区　部	7.4	30.0	13.4	62.6	10.6	15.5	3.7	1.7	4.9	93.4
区市町村	市町村部	9.0	24.5	10.5	60.3	10.0	9.1	2.3	1.6	3.8	94.6

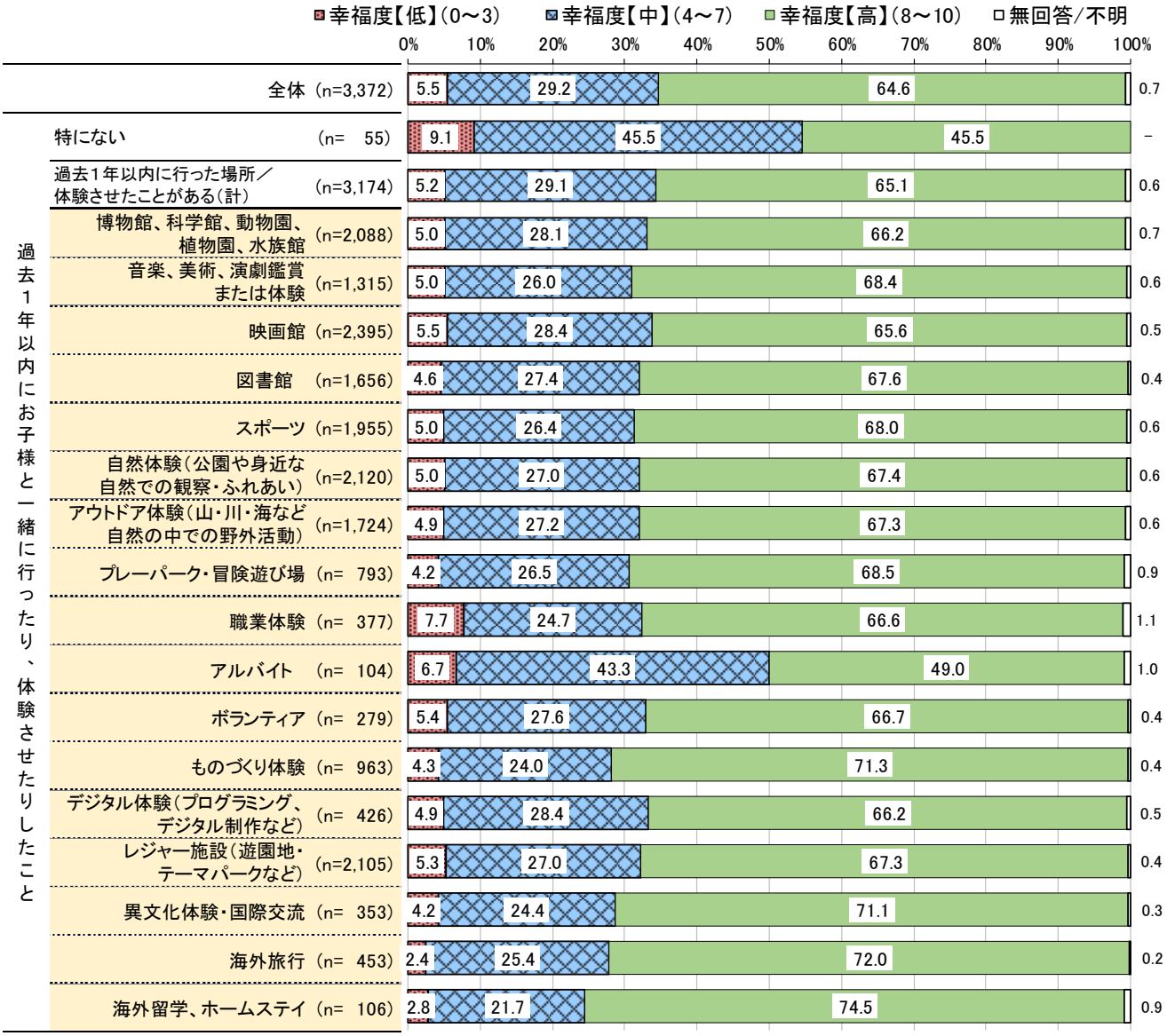
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※過去1年以内に行った場所／体験させたことがある（計）は「博物館、科学館、動物園、植物園、水族館」～「海外留学、ホームステイ」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「過去1年以内に、お子様と一緒に行ったり、お子様が体験したりしたこと」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「過去1年以内に行った場所／体験したことがある(計)」とする保護者の子供の 65.1%が幸福度【高】(8～10)で、「特にない」と回答した保護者の子供の 45.5%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-174 子供の幸福度(「過去1年以内に、お子様と一緒に行った場所や体験させたりしたこと」の回答別)



（保護者：共通）問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。最もなってほしいものを選んでください。（1つだけ）

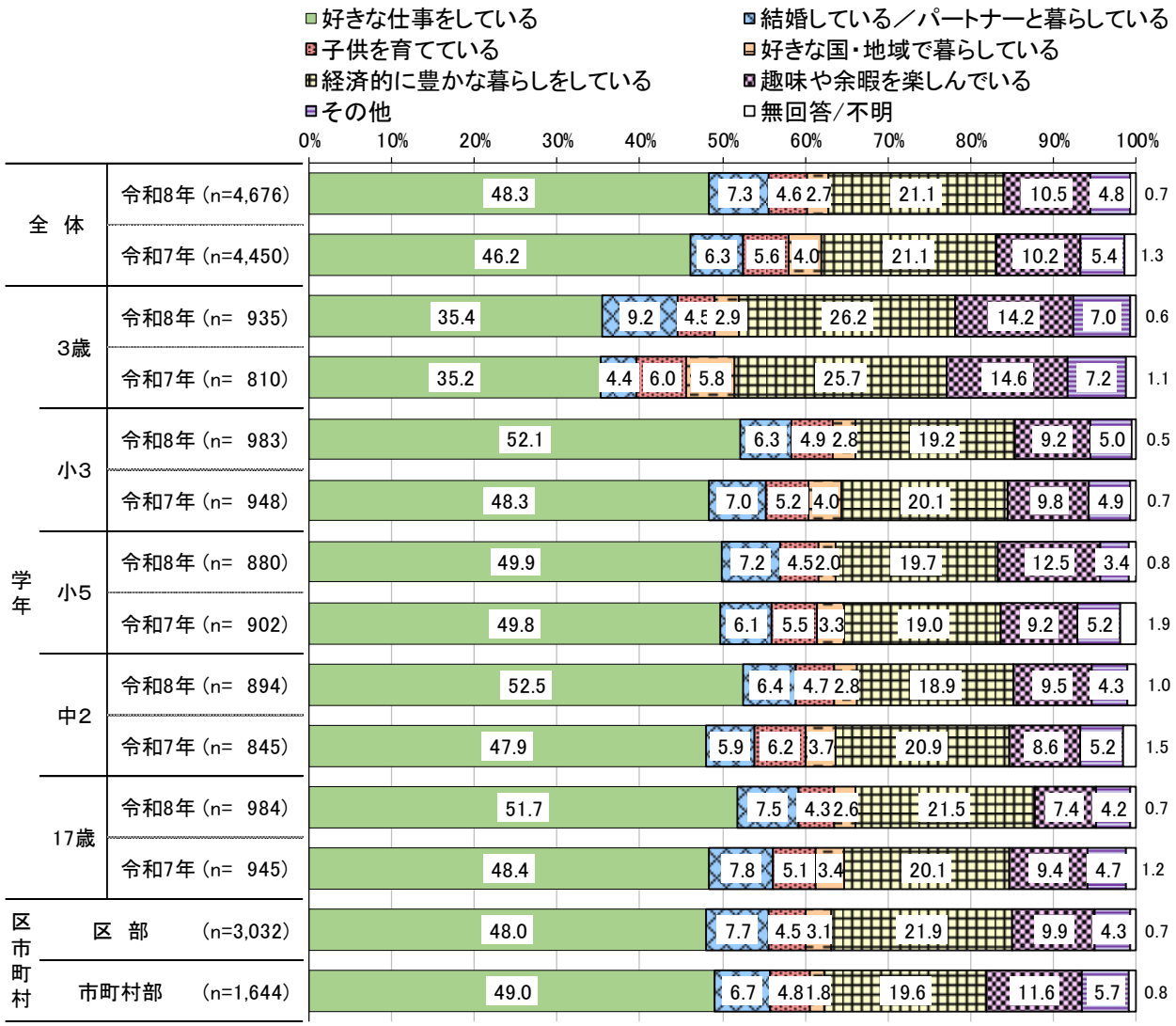
【全体】

「好きな仕事をしている」が 48.3％で最も高く、次いで「経済的に豊かな暮らしをしている」が 21.1％、「趣味や余暇を楽しんでいる」が 10.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「好きな仕事をしている」が最も高いが、3歳は 35.4％で、他の年齢より 14.5 ポイント以上低い。

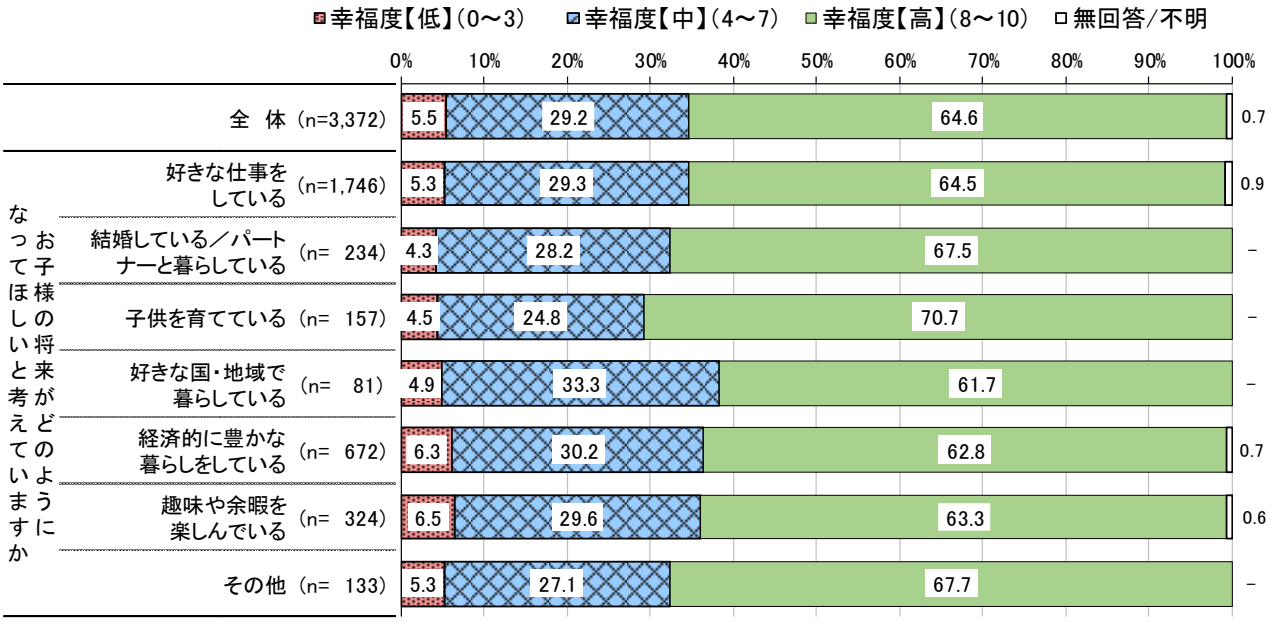
図表 2-175 お子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「お子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「子供を育てている」と回答した保護者の子供の 70.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-176 子供の幸福度(「お子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか」の回答別)



【自由記述】

その他（お子様の将来がどのようになってほしいと考えているか）
幸せに暮らしている（保護者・3歳）
自分にとっての幸せを見つけて選択してほしい（保護者・3歳）
心身ともに健康であること（保護者・3歳）
自分のやりたい事をやって後悔しない人生を送ってほしい（保護者・3歳）
好きなように生きてほしい（保護者・3歳）
本人が選んで満足していれば何でも良い（保護者・3歳）
自己肯定感があり、気分が落ち込んでも自分をケアする方法を知っている（保護者・3歳）
自立して幸せに過ごしているのであれば何でも良い（保護者・3歳）
本人が幸せと思う人生を歩んでいてほしい（保護者・小3）
健康で文化的な生活を送る（保護者・小3）
自分の好きなことをして過ごして欲しい(それが仕事に繋がっているならよりよい)（保護者・小3）
健康で、仕事や趣味等何かしら楽しんで過ごしていて欲しい（保護者・小3）
自立してほしい（保護者・小3）
安全で安心して幸せにすごしていてほしい（保護者・小3）
本人が満足できる状態で、他人に迷惑にならないなら何でも良い。（保護者・小3）
理解者を得て、幸せを感じながら、健康に暮らしている（保護者・小3）
AIが当たり前の将来を乗り越えて欲しい。（保護者・小3）
一つに絞れないです（保護者・小3）
心身ともに幸福感を得ている（保護者・小5）
仕事、結婚、場所を特定せず、自分のやりたいことをしてほしい。（保護者・小5）
とにかく自分が楽しい毎日を過ごしてくれていればいい（保護者・小5）
自ら選ぶ人生（保護者・小5）
生活にこまらないように仕事・やりたいことをして欲しい（保護者・小5）
本人が幸せだと感じられる状況（生活）ならよい（保護者・中2）
本人が気持ちゆたかに暮せていたらよいです。（保護者・中2）
毎日笑顔で健康にすごしている（保護者・中2）
本人が納得いく生活（保護者・中2）
安定した気持ちで日々楽しくすごしてほしい（保護者・中2）
自分を大切にしながら社会貢献していてほしいと願う。（保護者・中2）
親がなって欲しいことや理想を押し付けないようにしている（保護者・中2）
本人が幸せと感じられる暮らしを送っている（保護者・17 歳）
何をしていても健康でいてくれたらそれで良いと思っています。（保護者・17 歳）
仕事、余暇、生活スタイルが何であれ充実した毎日を過ごしている（保護者・17 歳）
心身健康に自立して暮らしている（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。（1つだけ）

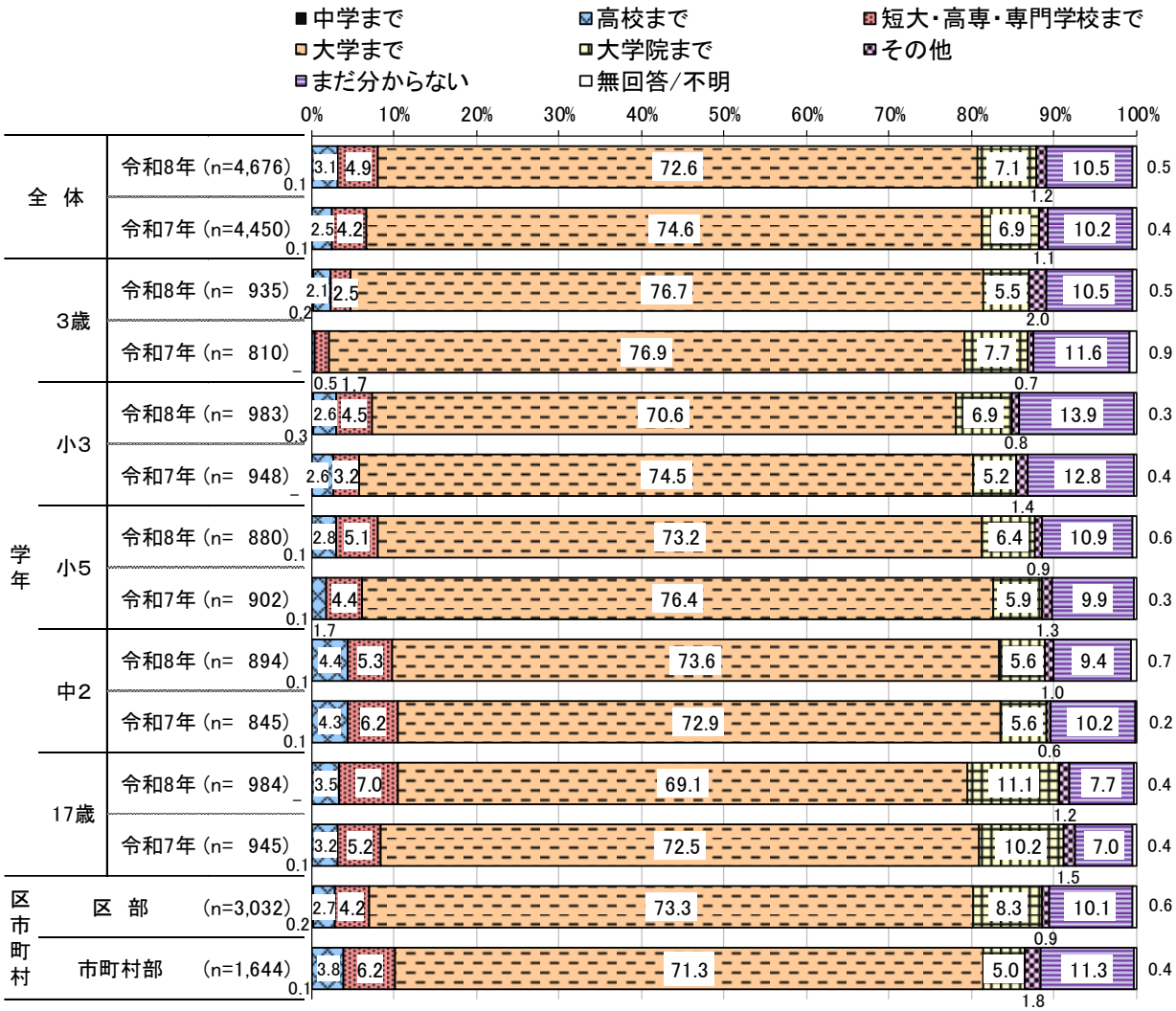
【全体】

「大学まで」が 72.6％で最も高く、次いで「大学院まで」が 7.1％、「短大・高専・専門学校まで」が 4.9％である。なお、「まだ分からない」は 10.5％である。

【学年別】

いずれの学年でも「大学まで」が最も高いが、3歳が 76.7％で最も高く、17 歳が 69.1％で最も低い。

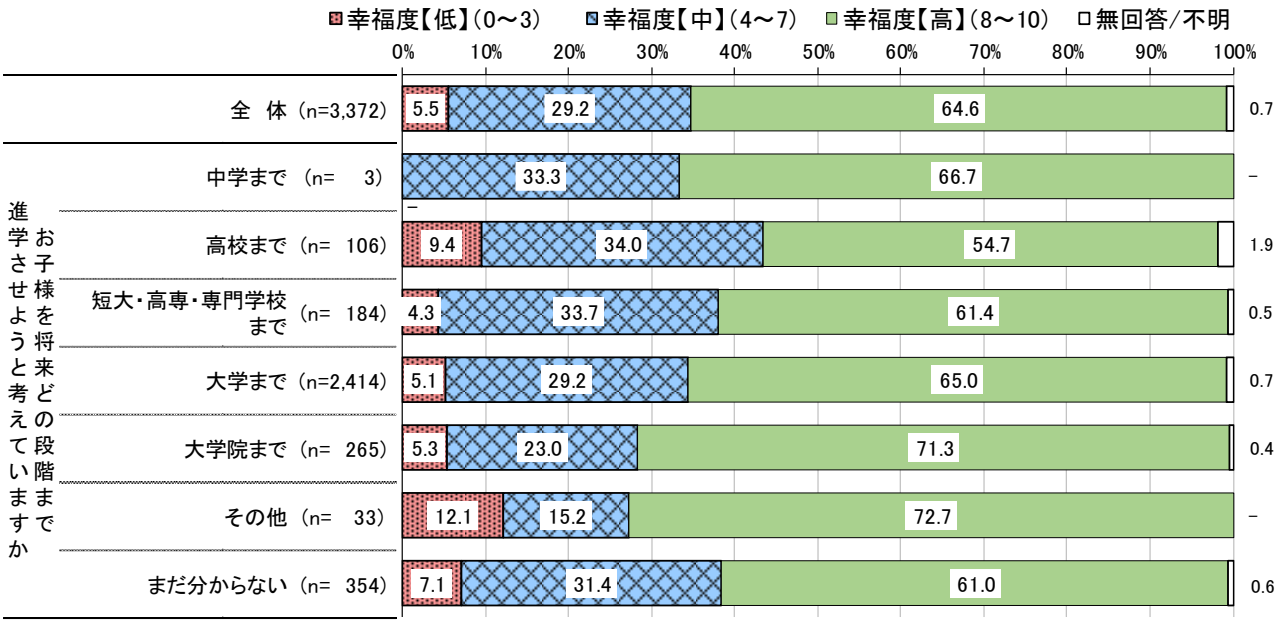
図表 2-177 お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「大学院まで」と回答した保護者の子供の 71.3%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-178 子供の幸福度(「お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか」の回答別)



【自由記述】

その他（お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか）
本人次第（保護者・3歳）
大学でも大学院でも望んだところまで（保護者・3歳）
本人の希望次第で大学か専門等まで（保護者・3歳）
大学、専門、短大以上本人が望むところまで。（保護者・3歳）
本人の希望があれば 高校以上（保護者・小3）
大学以上で、子供の希望に沿いたい（保護者・小3）
高校以上（保護者・小3）
子供が希望するところまで（保護者・小3）
本人の希望、現在は大学（保護者・小5）
本人が決めるところまで（保護者・小5）
子供のやりたいことによる（保護者・中2）
本人の意思を尊重（保護者・17 歳）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 46.【問 45 で「中学まで」～「大学院まで」「その他」と回答された方にお聞きします。】
それは、お子様の希望と合っていると思いますか。（1つだけ）

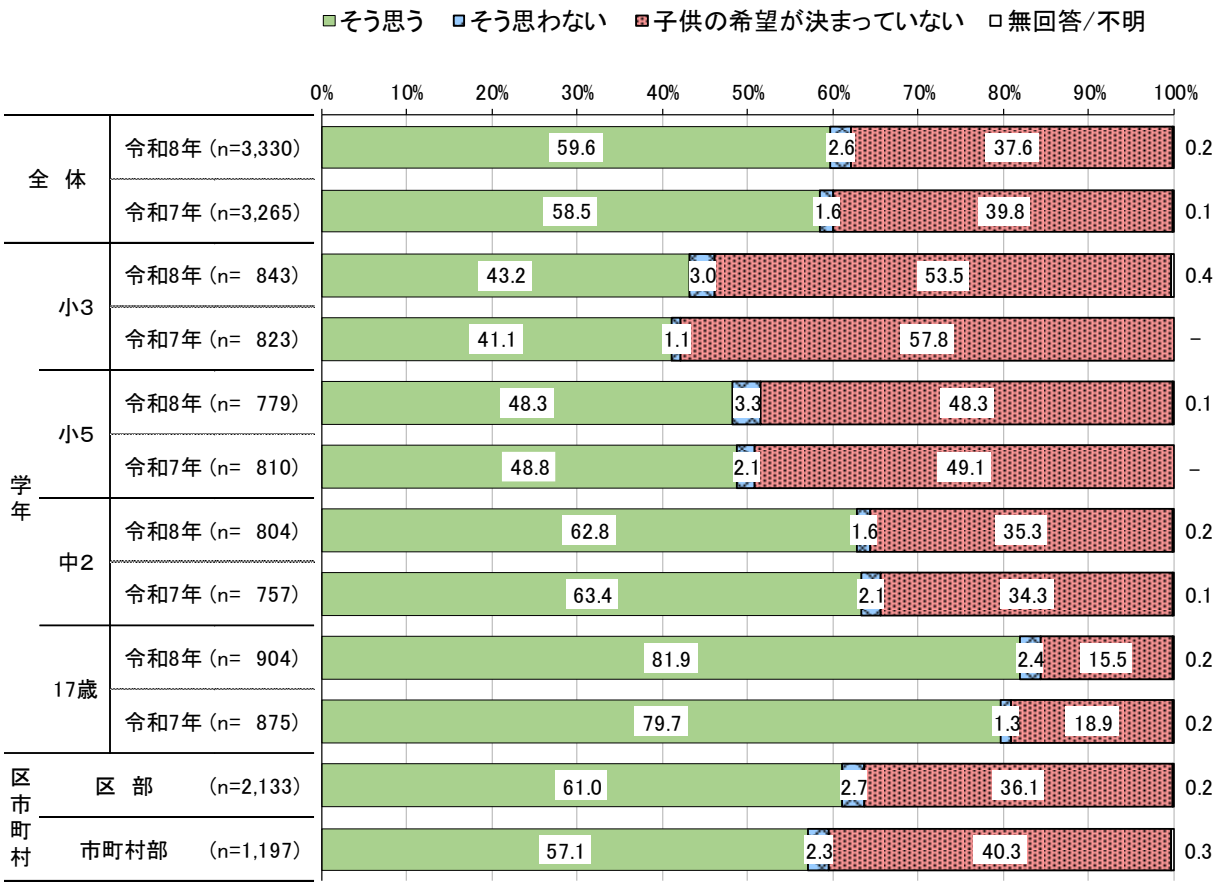
【全体】

「そう思う」が 59.6％で、「そう思わない」は 2.6%である。なお、「子供の希望が決まっていない」は 37.6％である。

【学年別】

小3では「子供の希望が決まっていない」が最も高く、小5では「そう思う」と「子供の希望が決まっていない」が同率で、中2、17 歳では「そう思う」が最も高い。「そう思う」は、学年が上がると増加傾向で、小3では 43.2％、17 歳では 81.9％である。

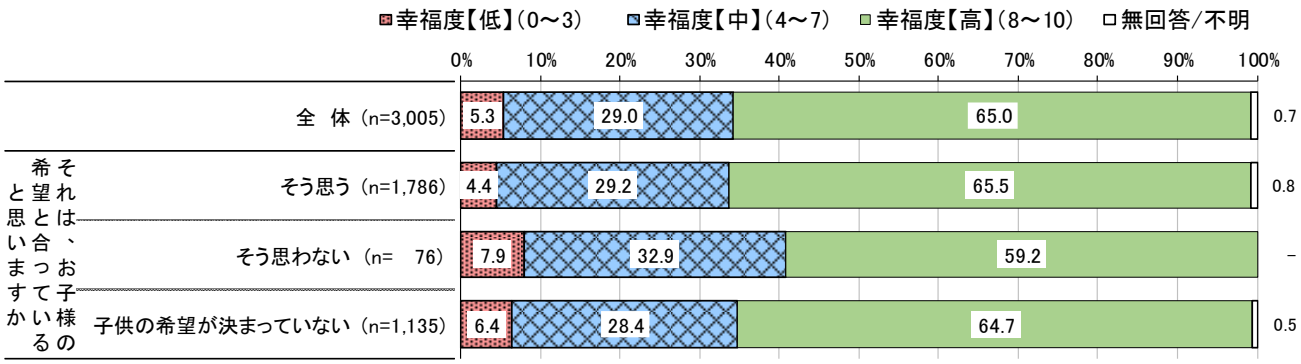
図表 2-179 それは、お子様の希望と合っていると思いますか ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「それは、お子様の希望と合っていると思いますか」の回答別に子供の幸福度をみると、「そう思う」と回答した保護者の子供の 65.5%が幸福度【高】(8～10)で、「そう思わない」と回答した保護者の子供の 59.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-180 子供の幸福度(「それは、お子様の希望と合っていると思いますか」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5、小3）問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。（いくつでも）

【全体】

子供の将来の夢や進路に関する問題の中では、「進学費用が足りないなどの経済的な問題」が 45.8%で最も高く、次いで「子供の努力不足」が 34.4%、「子供の希望する将来像や進路を実現する方法が分からない」が 29.6%と続く。なお、「特に問題はない」が 18.1%である。

【学年別】

いずれの学年でも「進学費用が足りないなどの経済的な問題」が最も高い。次いで、小5、中2、17 歳では「子供の努力不足」がそれぞれ 34.5%、43.1%、34.1%、小3では「子供の希望する将来像や進路を実現する方法が分からない」が 28.4%と続く。

経年比較でみると、中2で「子供の努力不足」が 5.0 ポイント増加している。

図表 2-181 お子様の将来の夢や進路に関する問題 ＜複数回答＞

(%)

		n	進学費用が足りないなどの経済的な問題	子供の希望する将来像や進路を実現する方法が分からない	保護者と子供の考え方の違い	子供の健康上の問題	子供の努力不足	その他	特に問題はない	無回答/不明	将来像や進路に問題がある（計）
全体	令和8年	3,741	45.8	29.6	14.9	5.9	34.4	3.0	18.1	0.6	81.3
	令和7年	3,640	48.9	28.3	13.5	5.4	32.9	3.3	16.9	0.5	82.5
小3	令和8年	983	47.1	28.4	16.8	6.1	26.7	3.2	21.2	0.3	78.5
	令和7年	948	51.2	25.0	16.5	5.3	27.7	3.3	17.9	0.6	81.4
小5	令和8年	880	47.5	33.4	17.8	5.3	34.5	2.3	17.3	0.9	81.8
	令和7年	902	50.9	30.0	16.0	3.8	33.4	2.9	15.4	0.6	84.0
中2	令和8年	894	45.2	30.6	14.2	4.4	43.1	4.0	15.0	0.9	84.1
	令和7年	845	47.1	30.1	12.3	5.9	38.1	3.8	17.0	0.6	82.4
17歳	令和8年	984	43.5	26.3	11.0	7.6	34.1	2.4	18.7	0.4	80.9
	令和7年	945	46.3	28.3	9.1	6.6	32.9	3.2	17.2	0.4	82.3
区市町村 区部		2,388	44.1	30.1	15.2	5.7	34.9	2.8	18.6	0.7	80.7
区市町村 市町村部		1,353	48.7	28.7	14.3	6.3	33.6	3.2	17.3	0.5	82.2

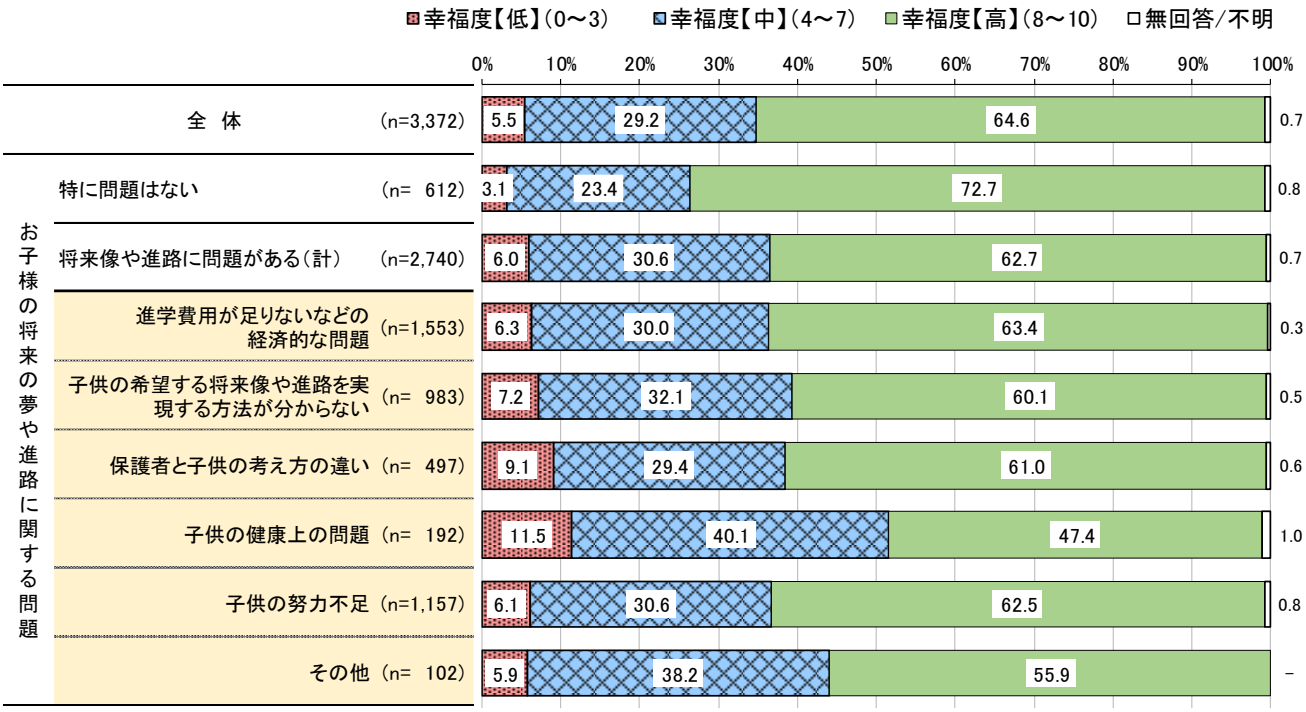
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※将来像や進路の問題がある（計）は「進学費用が足りないなどの経済的な問題」～「子供の努力不足」「その他」のいずれかを選択した保護者の割合。

【子供の幸福度】

「お子様の将来の夢や進路に関する問題」の回答別に子供の幸福度をみると、何らか「将来像や進路に問題がある(計)」とする保護者の子供の 62.7%が幸福度【高】(8～10)で、「特に問題はない」と回答した保護者の子供の72.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-182 子供の幸福度(「お子様の将来の夢や進路に関する問題」の回答別)



【自由記述】

その他（お子様の将来の夢や進路に関する問題）
能力が備わっていないかもしれない（保護者・小3）
サッカー選手を目指しており、現実味がない（保護者・小3）
親が高齢のため必要なサポートを受けられないかもしれない（保護者・小3）
将来の介護問題、自分たち親の健康問題（保護者・小3）
子供の特性（保護者・小3）
世界情勢（保護者・小3）
10年後の社会勢がどうなっているか（保護者・小3）
情報をどこから得ればよいかわからない（保護者・小3）
塾に通う必要があること。学校だけで何とかしたい（保護者・小3）
二重国籍なので進むべき方向が分からない（保護者・小3）
進路の希望が高いので、勉強に専念できる環境作りが不足（保護者・小5）
親の健康状の問題（保護者・小5）
子どもの特性(集団が苦手)（保護者・小5）
AI など社会構造の変化による就業の問題（保護者・小5）
時代が大きく変化しているので、進路実現方法も変わる可能性がある（保護者・小5）
やりたい事が見つからない（保護者・小5）
採用枠の問題、給料が少ないと就職先で選ぶことが難しいこと（保護者・小5）
能力不足（保護者・中2）
夢と現実のギャップがあったときどのように修正していくか（保護者・中2）
長年の不登校によるコミュニケーション不足（保護者・中2）
不登校なためどの進学を選んで良いのかわからない（保護者・中2）
子供に幅広い選択肢とそれに向う努力を持つモチベーションの見つけさせ方がわからない（保護者・中2）
希望する進路に添う学校がないこと（保護者・中2）
子供自身が考える夢や希望がはっきりしていない（保護者・中2）
十分に話し合えていない／話したがらない（保護者・中2）
子供が知らない間に自分の可能性に蓋をしていないか（保護者・中2）
現在不登校であること、学力面の心配（保護者・中2）
就業先となる日本の産業界が国際競争力を失ってしまっていること（保護者・17 歳）
本人にやりたいことや希望がまだない（保護者・17 歳）
ゲーム、スマホのゆうわく。（保護者・17 歳）
事故や犯罪にまきこまれる事。（保護者・17 歳）

（保護者：共通）問 48. あなたの世帯の世帯年収は、次のうちどれですか。（1つだけ）

【全体】

「1000 万円以上、1200 万円未満」が 16.2%で最も高く、次いで「900 万円以上、1000 万円未満」が 9.3%、「1200 万円以上、1400 万円未満」が 8.6%である。

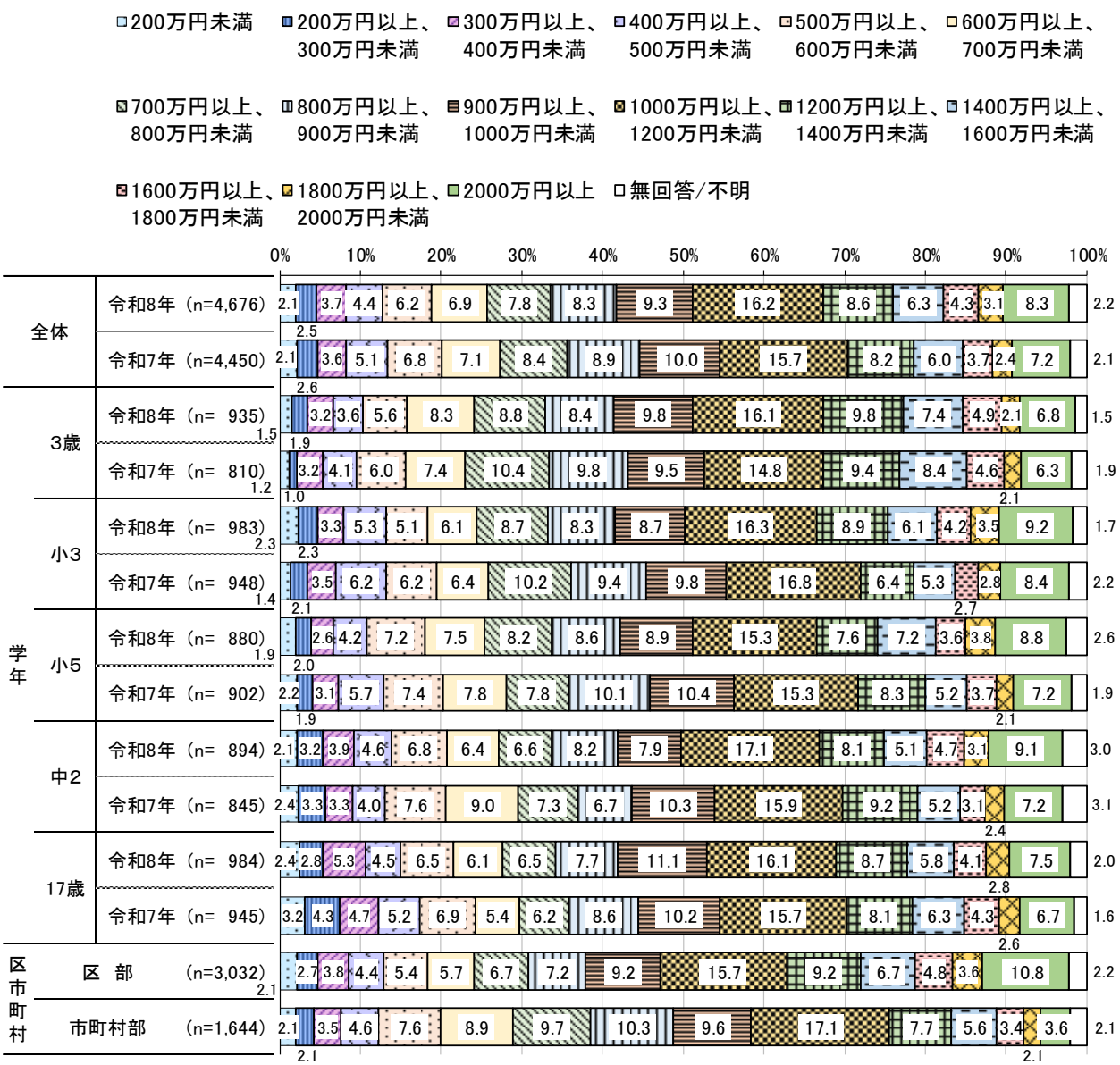
【学年別】

いずれの学年でも「1000 万円以上、1200 万円未満」が最も高い。

【区市町村別】

区部は「2000 万円以上」が 10.8%で、市町村部に比べて 7.2 ポイント高い。

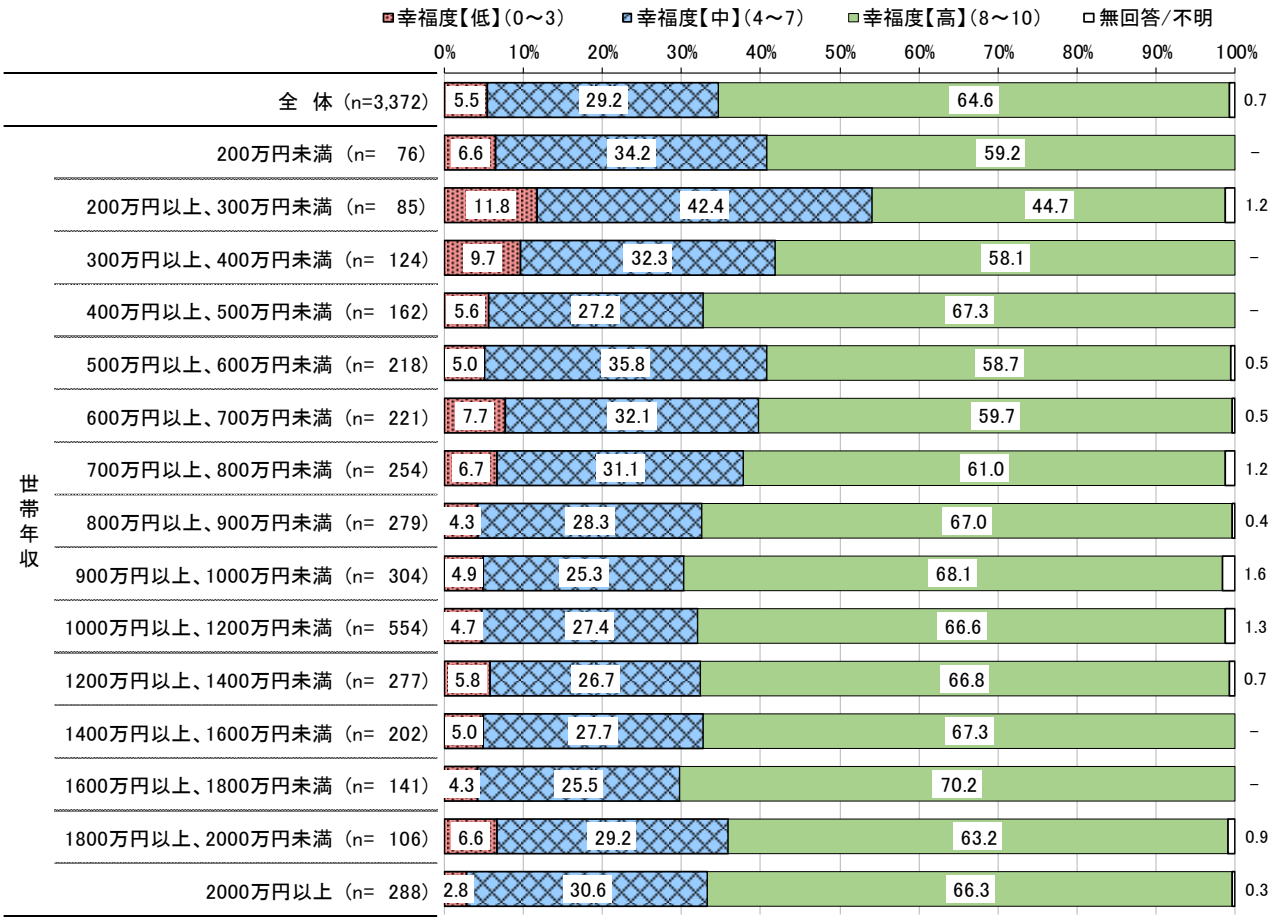
図表 2-183 あなたの世帯の世帯年収 ＜単一回答＞



【子供の幸福度】

「世帯年収」の回答別に子供の幸福度をみると、「1600 万円以上、1800 万円未満」と回答した保護者の子供の70.2%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-184 子供の幸福度(「世帯年収」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（A 学費（教材費などを除く））

【全体】

「学費（教材費などを除く）の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 39.8%（「負担に感じる」が 19.6%＋「やや負担に感じる」が 20.2%）である。なお、「負担に感じない」が 30.0%で最も高い。

経年比較でみると、「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が、6.6 ポイント減少している。

【学年別】

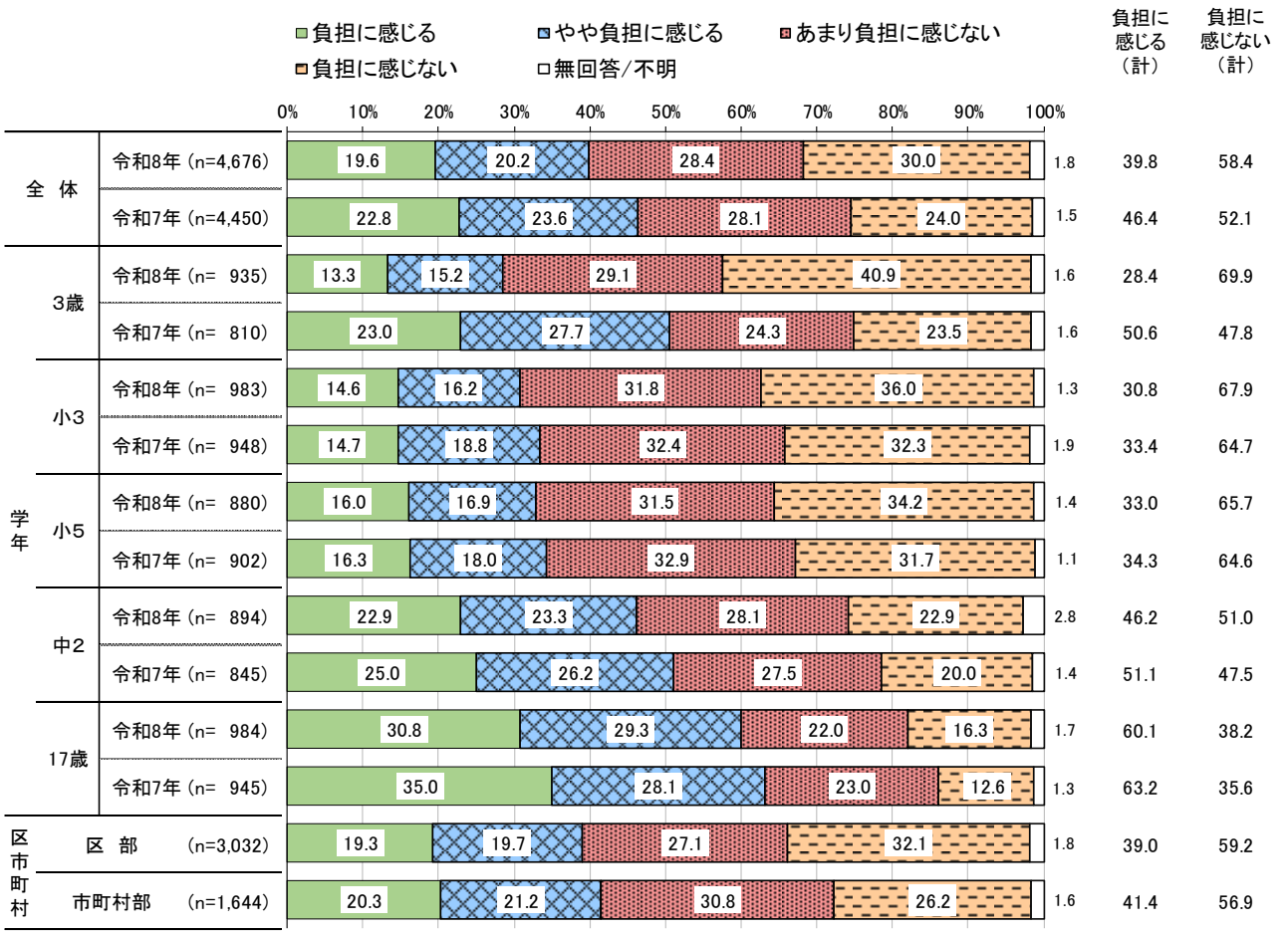
「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。

経年比較でみると、3歳で「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が、22.2 ポイント減少している。

【区市町村別】

区部は「負担に感じない」が 32.1%で、市町村部に比べて 5.9 ポイント高い。

図表 2-185 A 学費（教材費などを除く）の負担感 ＜単一回答＞



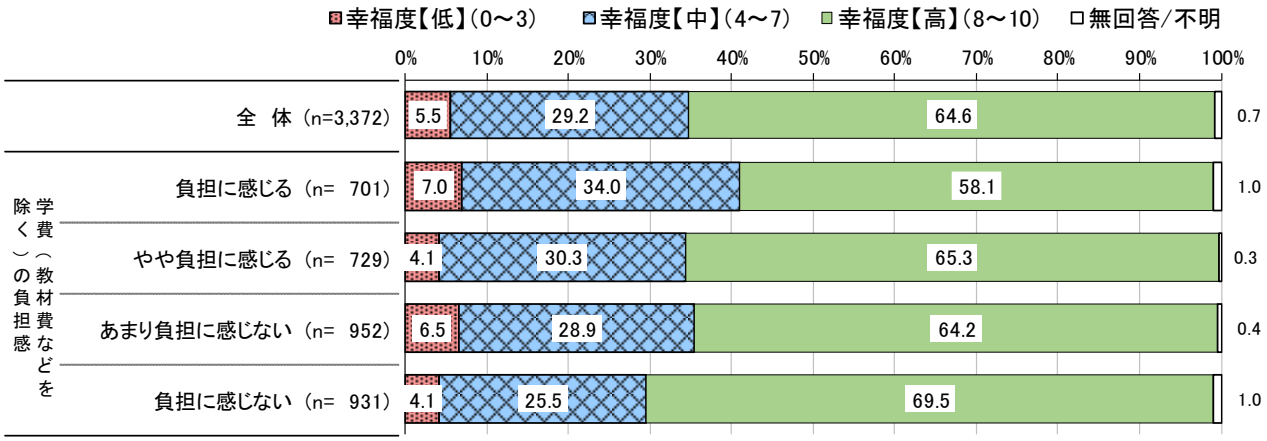
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「学費（教材費などを除く）の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 69.5%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 58.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-186 子供の幸福度（「学費（教材費などを除く）の負担感」の回答別）



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（B 学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など））

【全体】

「学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など）の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は33.6%（「負担に感じる」が 14.1%＋「やや負担に感じる」が 19.5%）である。なお、「あまり負担に感じない」が 33.1%で最も高い。

【学年別】

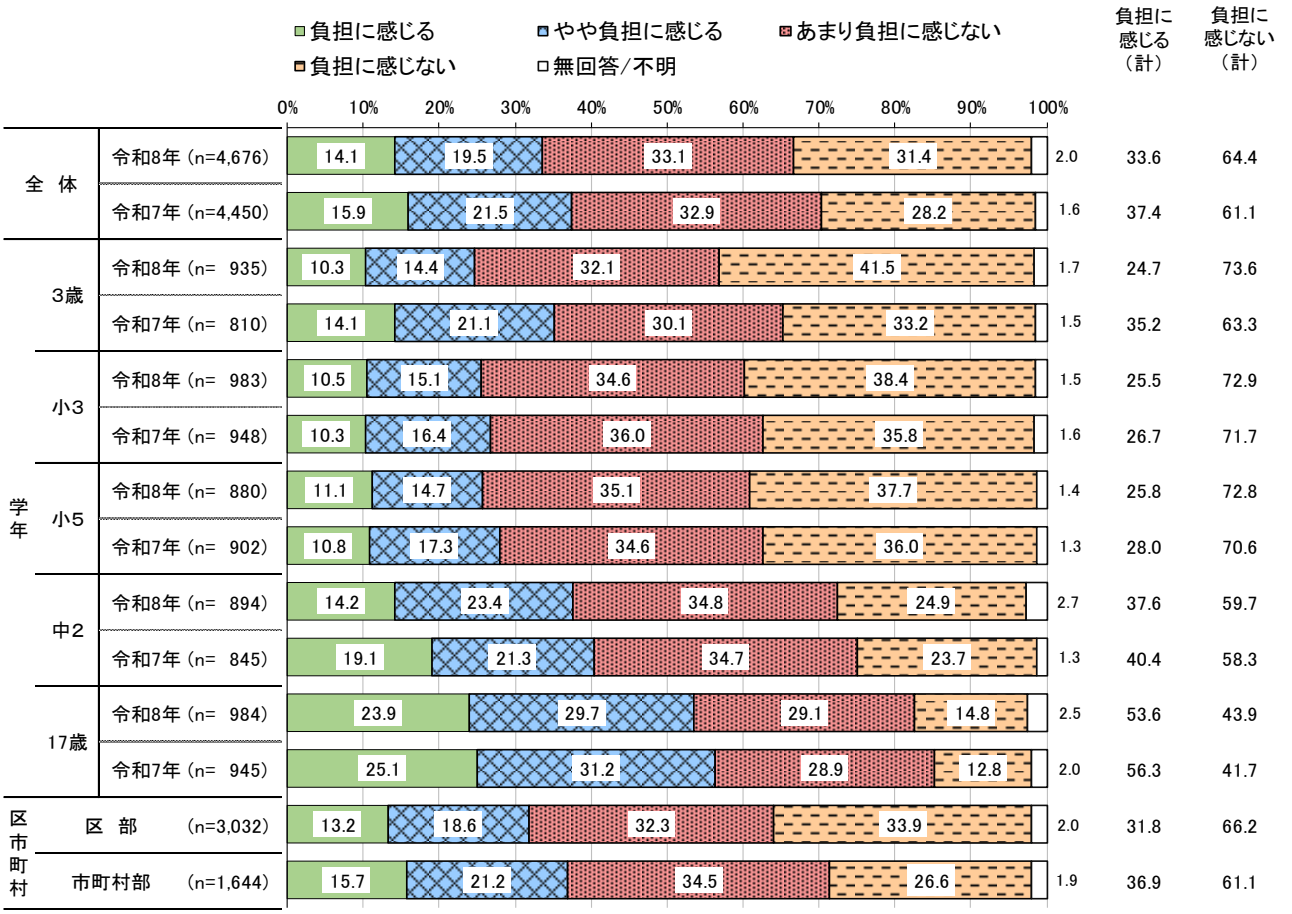
「学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など）の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、学年が上がると増加傾向で、中2では 37.6%、17 歳では 53.6%である。

経年比較でみると、3歳で「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が、10.5 ポイント減少している。

【区市町村別】

市町村部では、「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が 36.9%で、区部に比べて 5.1 ポイント高い。

図表 2-187 B 学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など）の負担感 ＜単一回答＞



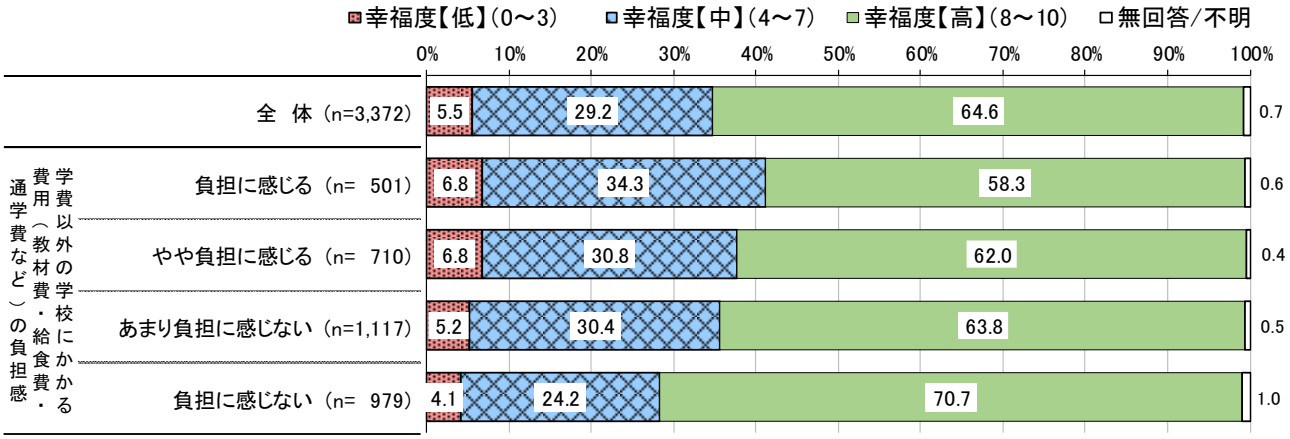
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「学費以外の学校にかかる費用（教材費や給食費、通学費など）の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 70.7％が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 58.3％が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-188 子供の幸福度（「学費以外の学校にかかる費用（教材費・給食費・通学費など）の負担感」の回答別）



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（C　塾や習い事に関する費用）

【全体】

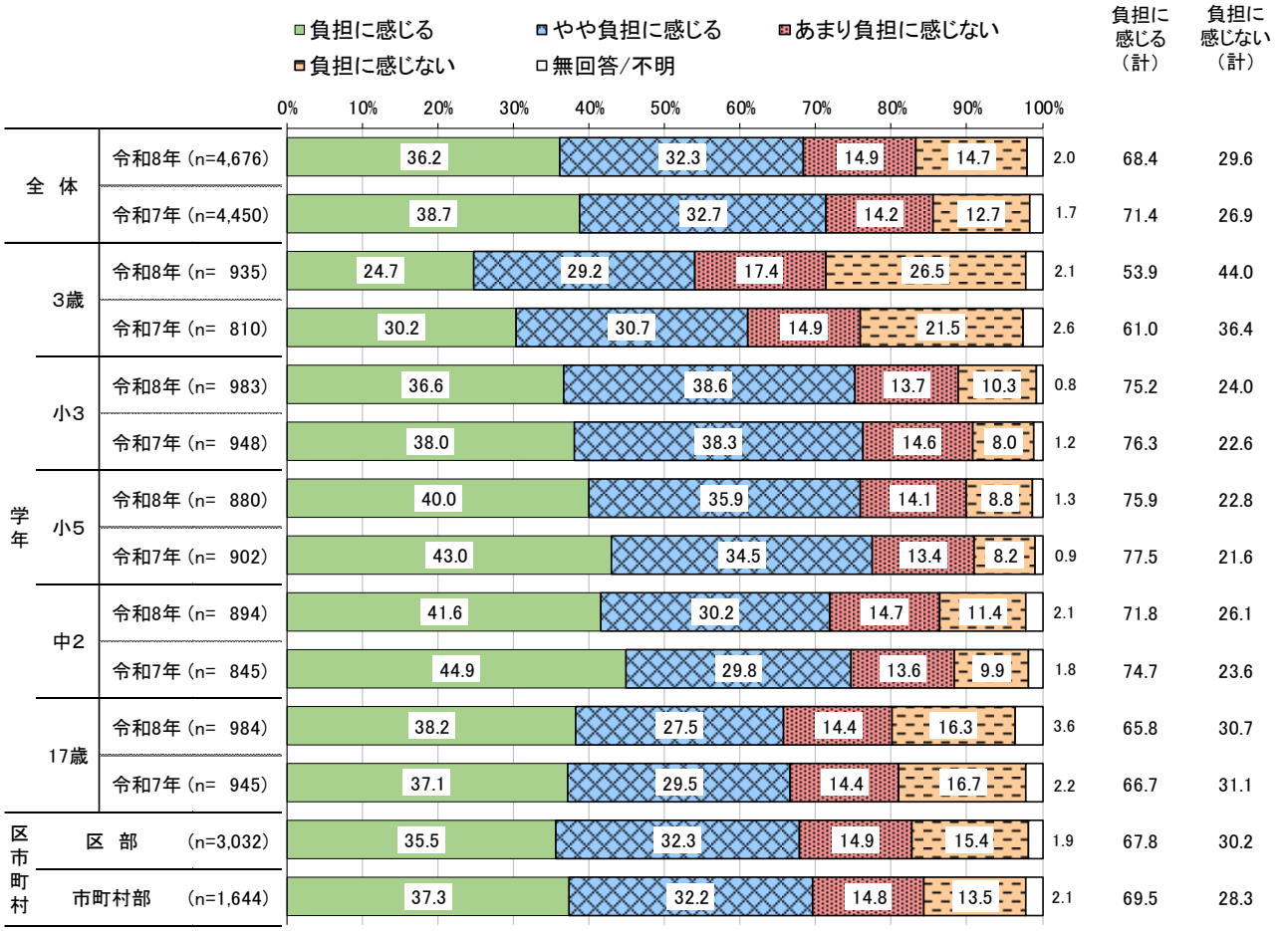
「塾や習い事に関する費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 68.4%（「負担に感じる」が 36.2%＋「やや負担に感じる」が 32.3%）である。

【学年別】

「塾や習い事に関する費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、小3で 75.2%、小5で 75.9%である。

経年比較でみると、3歳で「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が、7.1 ポイント減少している。

図表 2-189　C 塾や習い事に関する費用の負担感　＜単一回答＞



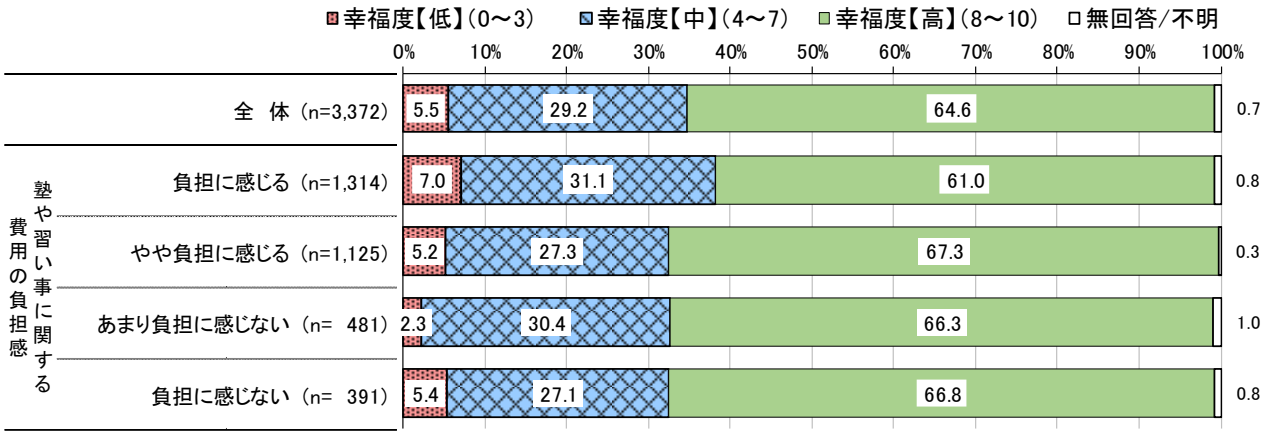
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「塾や習い事に関する費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 66.8%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 61.0%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-190 子供の幸福度(「塾や習い事に関する費用の負担感」の回答別)



（保護者：17 歳、中2、小5）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 部活（クラブ活動）に関する費用）

【全体】

「部活（クラブ活動）に関する費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 23.8%（「負担に感じる」が 8.3%＋「やや負担に感じる」が 15.5%）である。なお、「負担に感じない」が 41.6%で最も高い。

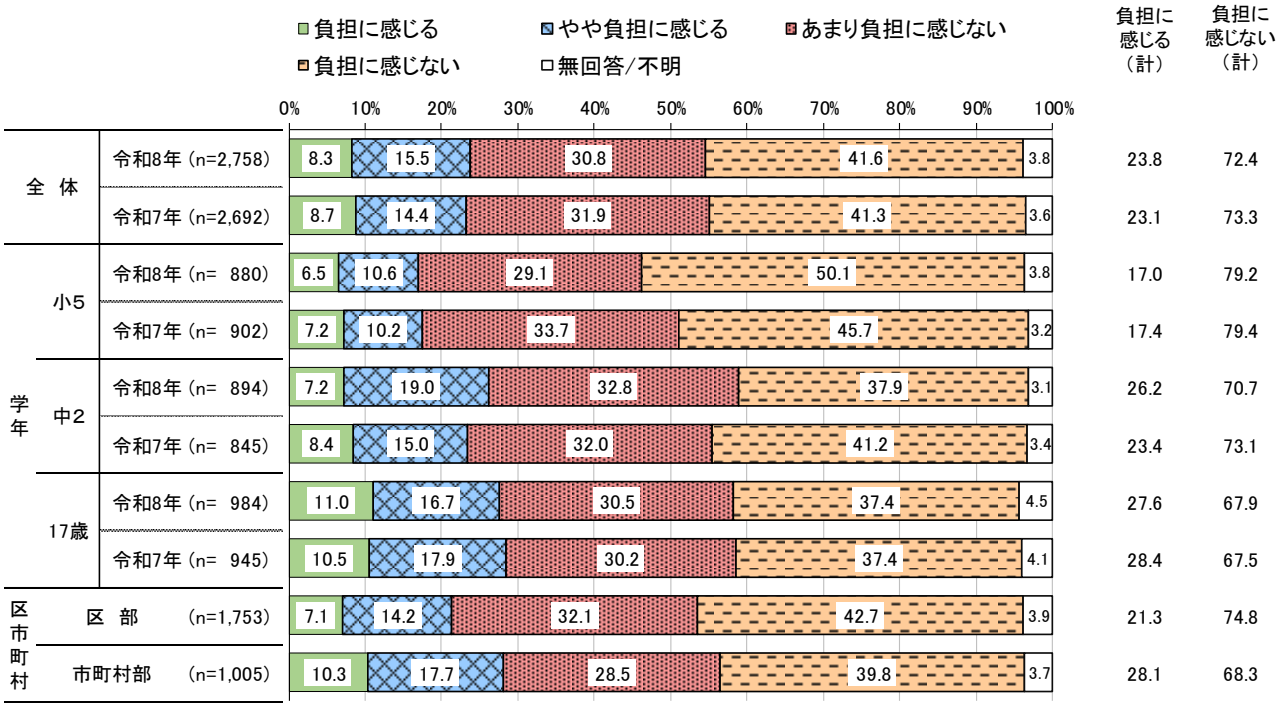
【学年別】

「部活（クラブ活動）に関する費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。

【区市町村別】

市町村部は「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が 28.1%で、区部に比べて 6.8 ポイント高い。

図表 2-191 D 部活（クラブ活動）に関する費用の負担感 ＜単一回答＞



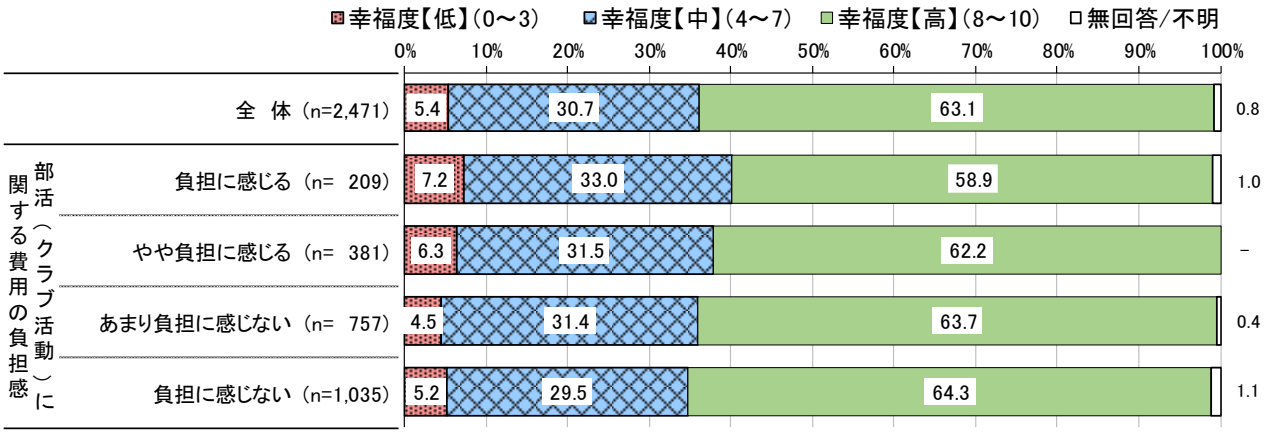
			負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	負担に感じない	無回答/不明	負担に感じる（計）	負担に感じない（計）
全体	令和8年	(n=2,758)	8.3	15.5	30.8	41.6	3.8	23.8	72.4
	令和7年	(n=2,692)	8.7	14.4	31.9	41.3	3.6	23.1	73.3
学年 小5	令和8年	(n= 880)	6.5	10.6	29.1	50.1	3.8	17.0	79.2
	令和7年	(n= 902)	7.2	10.2	33.7	45.7	3.2	17.4	79.4
学年 中2	令和8年	(n= 894)	7.2	19.0	32.8	37.9	3.1	26.2	70.7
	令和7年	(n= 845)	8.4	15.0	32.0	41.2	3.4	23.4	73.1
学年 17歳	令和8年	(n= 984)	11.0	16.7	30.5	37.4	4.5	27.6	67.9
	令和7年	(n= 945)	10.5	17.9	30.2	37.4	4.1	28.4	67.5
区市町村 区部		(n=1,753)	7.1	14.2	32.1	42.7	3.9	21.3	74.8
区市町村 市町村部		(n=1,005)	10.3	17.7	28.5	39.8	3.7	28.1	68.3

※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。
負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「部活(クラブ活動)に関する費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 64.3%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 58.9%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-192 子供の幸福度(「部活(クラブ活動)に関する費用の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（E 食費）

【全体】

「食費の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 56.1%（「負担に感じる」が 24.1%＋「やや負担に感じる」が 32.1%）である。

【学年別】

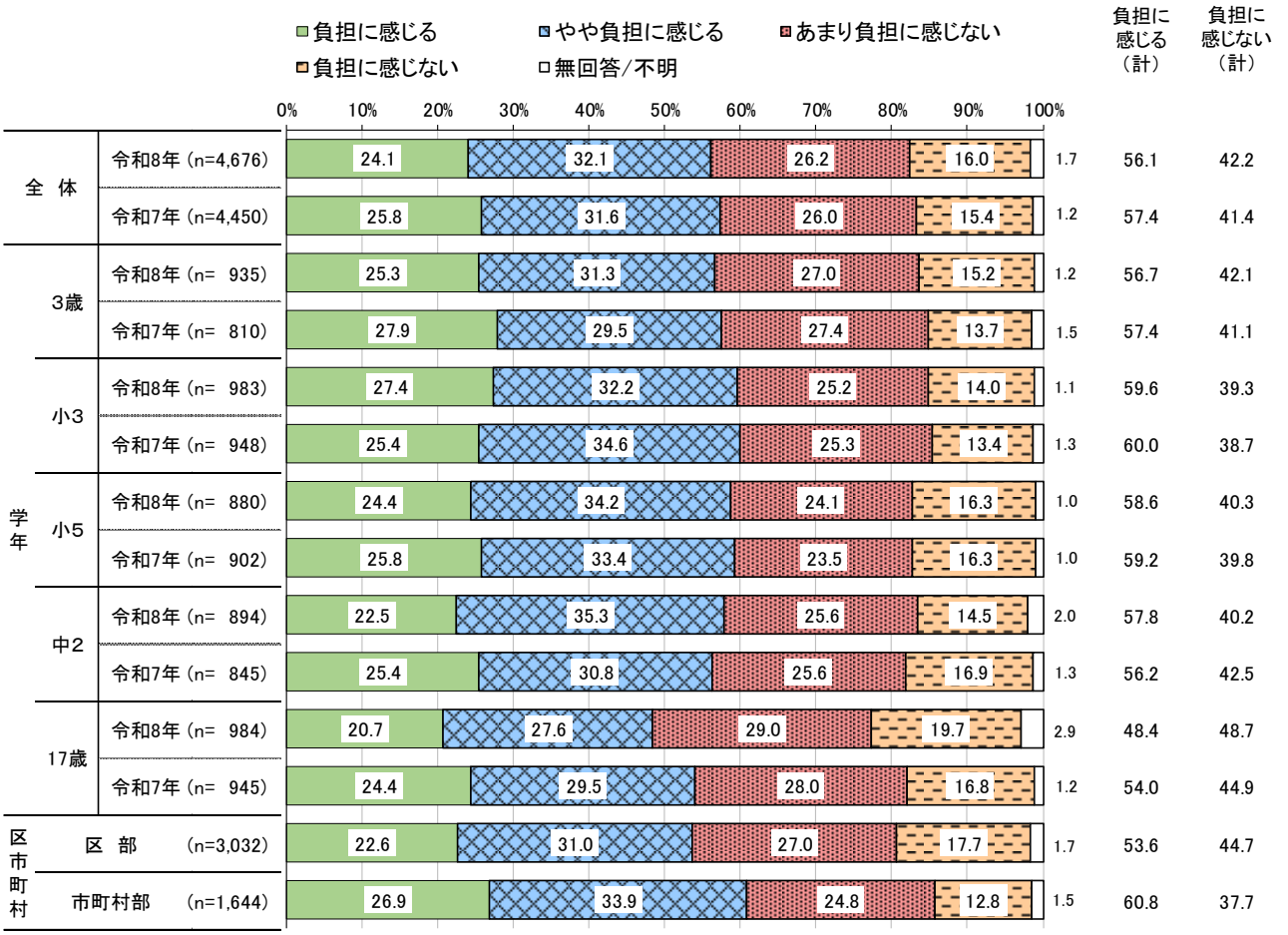
「食費の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、小3で最も高く、59.6%である。

経年比較でみると、17 歳で「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が、5.6 ポイント減少している。

【区市町村別】

市町村部は「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が 60.8%で、区部に比べて 7.2 ポイント高い。

図表 2-193 E 食費の負担感 ＜単一回答＞



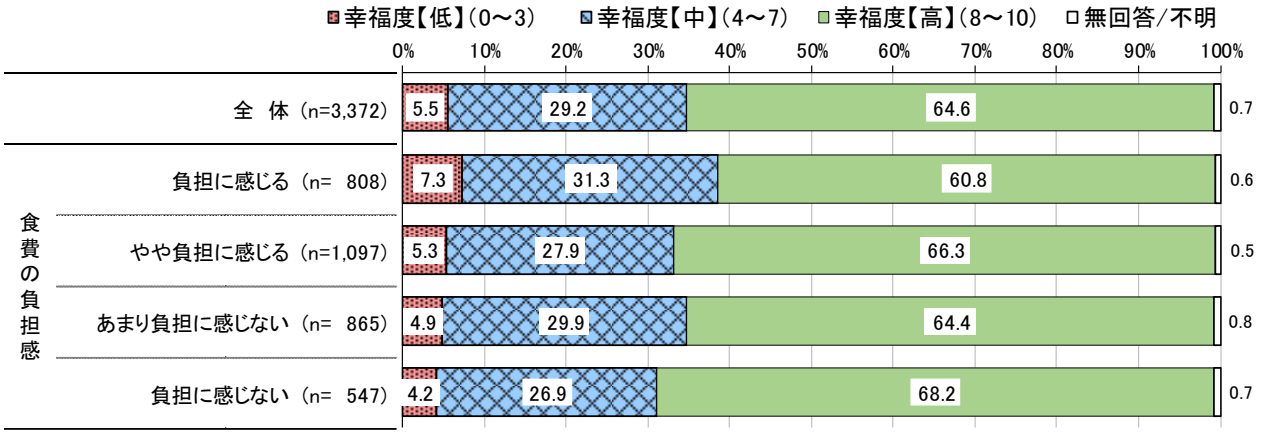
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「食費の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 68.2%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 60.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-194 子供の幸福度(「食費の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（F 住居費）

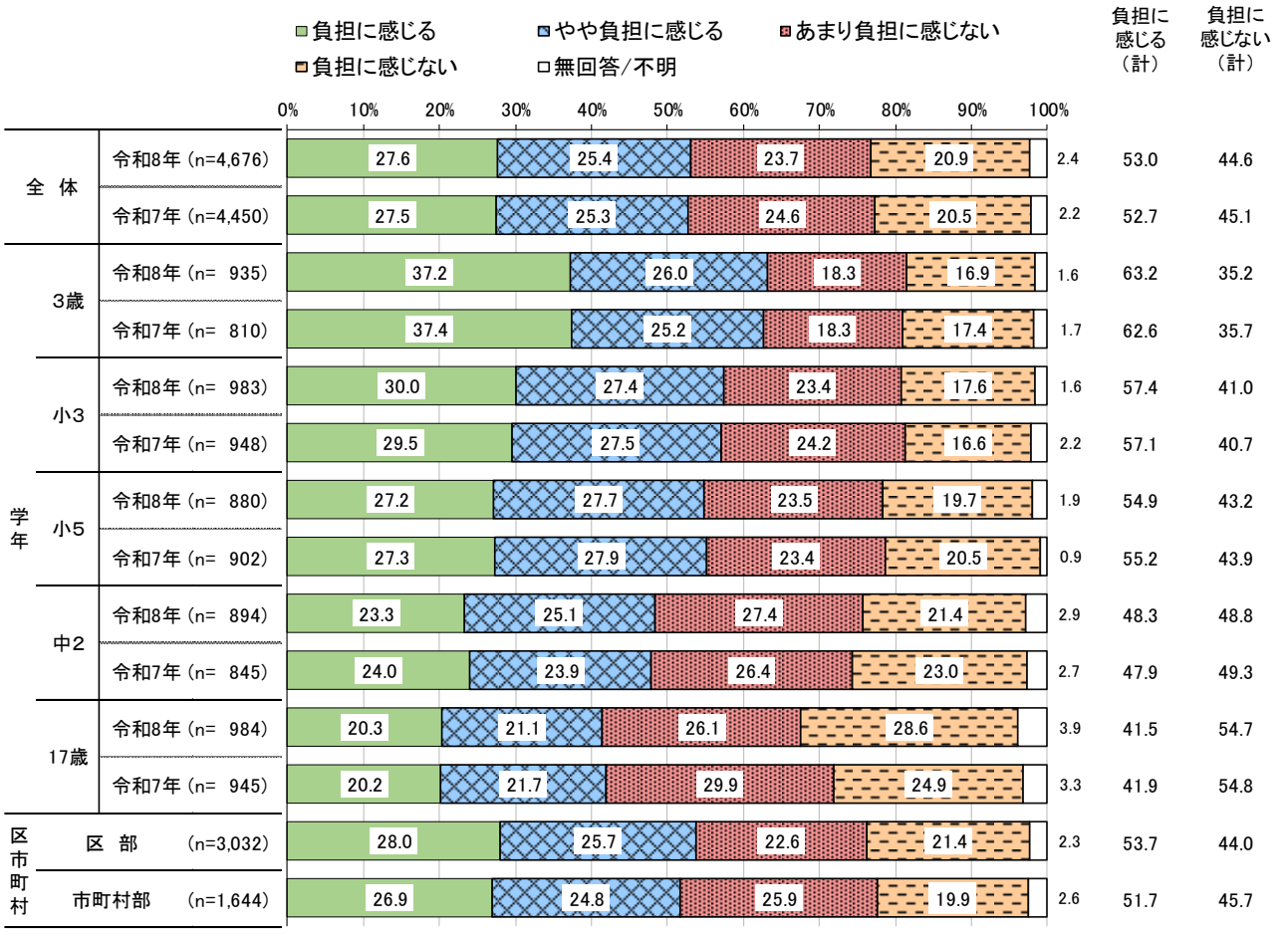
【全体】

「住居費の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 53.0%（「負担に感じる」が 27.6%＋「やや負担に感じる」が 25.4%）である。

【学年別】

「住居費の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、学年が上がると減少傾向である。

図表 2-195 F 住居費の負担感 ＜単一回答＞



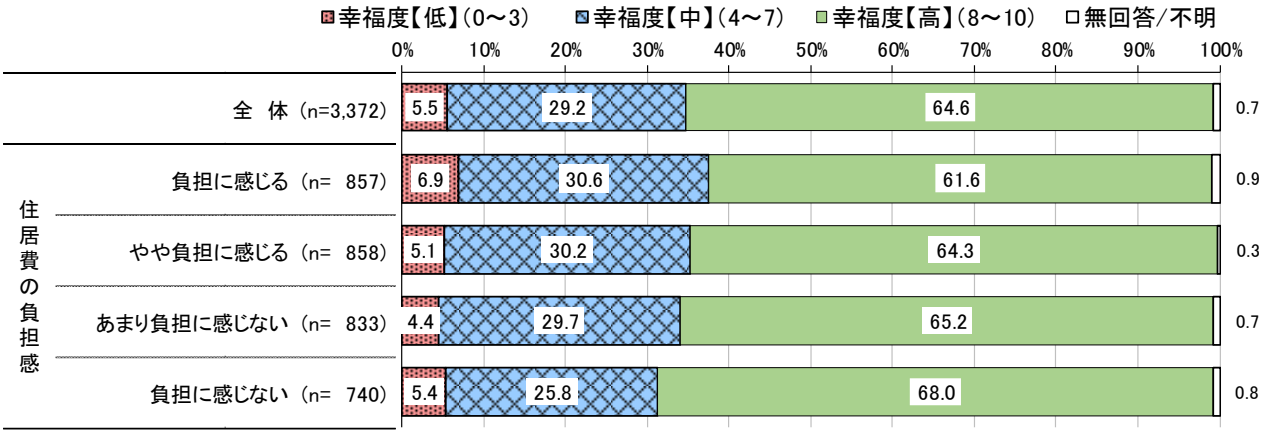
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「住居費の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 68.0%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 61.6%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-196 子供の幸福度(「住居費の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（G 旅行やレジャーなどにかかる費用）

【全体】

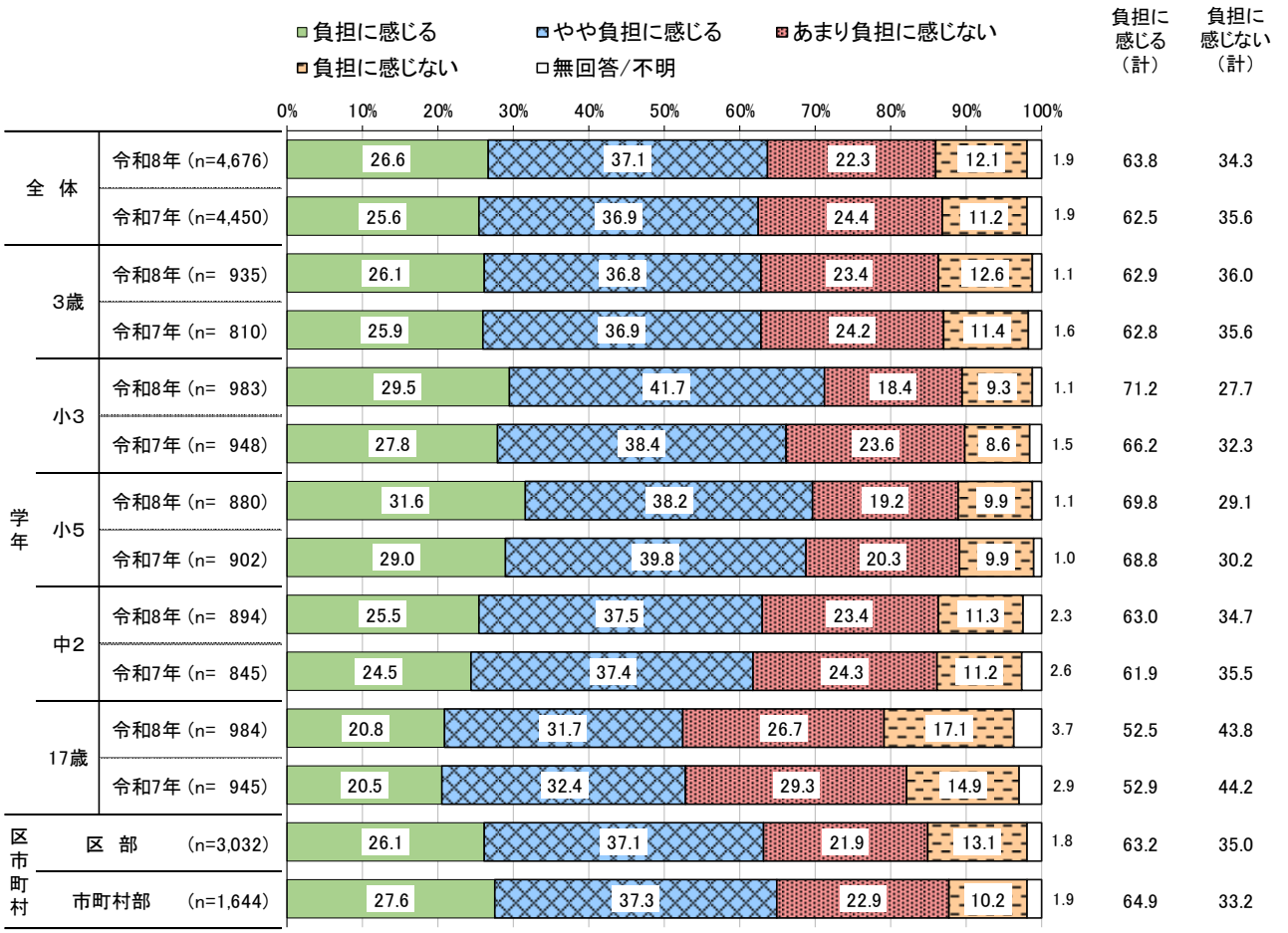
「旅行やレジャーなどにかかる費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 63.8%（「負担に感じる」が 26.6%＋「やや負担に感じる」が 37.1%）である。

【学年別】

「旅行やレジャーなどにかかる費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、小3で最も高く、71.2%である。

経年比較でみると、小3で「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が 5.0 ポイント増加している。

図表 2-197 G 旅行やレジャーなどにかかる費用の負担感 ＜単一回答＞



			負担に感じる	やや負担に感じる	あまり負担に感じない	負担に感じない	無回答/不明	負担に感じる（計）	負担に感じない（計）
全体	令和8年	(n=4,676)	26.6	37.1	22.3	12.1	1.9	63.8	34.3
	令和7年	(n=4,450)	25.6	36.9	24.4	11.2	1.9	62.5	35.6
学年 3歳	令和8年	(n= 935)	26.1	36.8	23.4	12.6	1.1	62.9	36.0
	令和7年	(n= 810)	25.9	36.9	24.2	11.4	1.6	62.8	35.6
小3	令和8年	(n= 983)	29.5	41.7	18.4	9.3	1.1	71.2	27.7
	令和7年	(n= 948)	27.8	38.4	23.6	8.6	1.5	66.2	32.3
小5	令和8年	(n= 880)	31.6	38.2	19.2	9.9	1.1	69.8	29.1
	令和7年	(n= 902)	29.0	39.8	20.3	9.9	1.0	68.8	30.2
中2	令和8年	(n= 894)	25.5	37.5	23.4	11.3	2.3	63.0	34.7
	令和7年	(n= 845)	24.5	37.4	24.3	11.2	2.6	61.9	35.5
17歳	令和8年	(n= 984)	20.8	31.7	26.7	17.1	3.7	52.5	43.8
	令和7年	(n= 945)	20.5	32.4	29.3	14.9	2.9	52.9	44.2
区市町村 区部		(n=3,032)	26.1	37.1	21.9	13.1	1.8	63.2	35.0
区市町村 市町村部		(n=1,644)	27.6	37.3	22.9	10.2	1.9	64.9	33.2

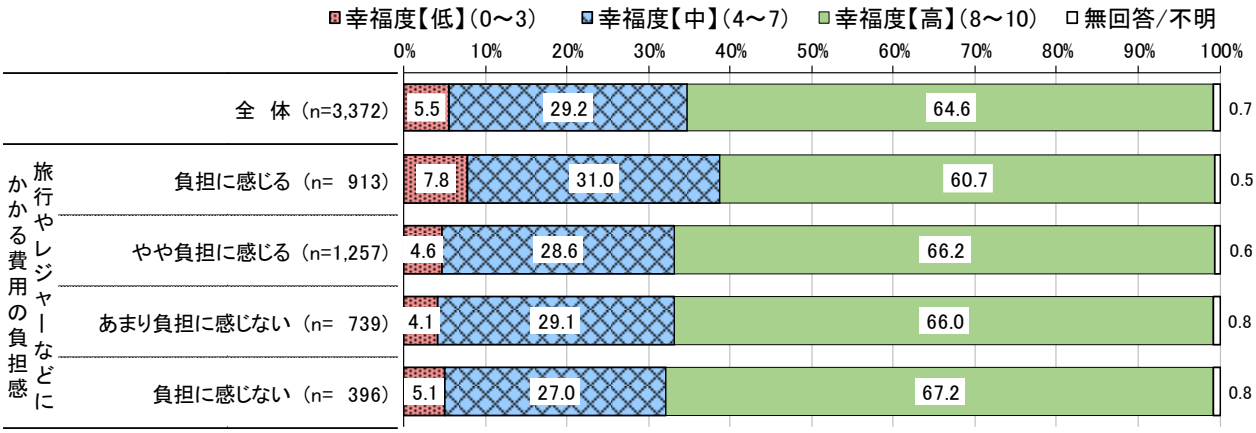
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「旅行やレジャーなどにかかる費用」の負担感の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 67.2%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 60.7%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-198 子供の幸福度(「旅行やレジャーなどにかかる費用」の負担感の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（H　靴や洋服などの服飾費用）

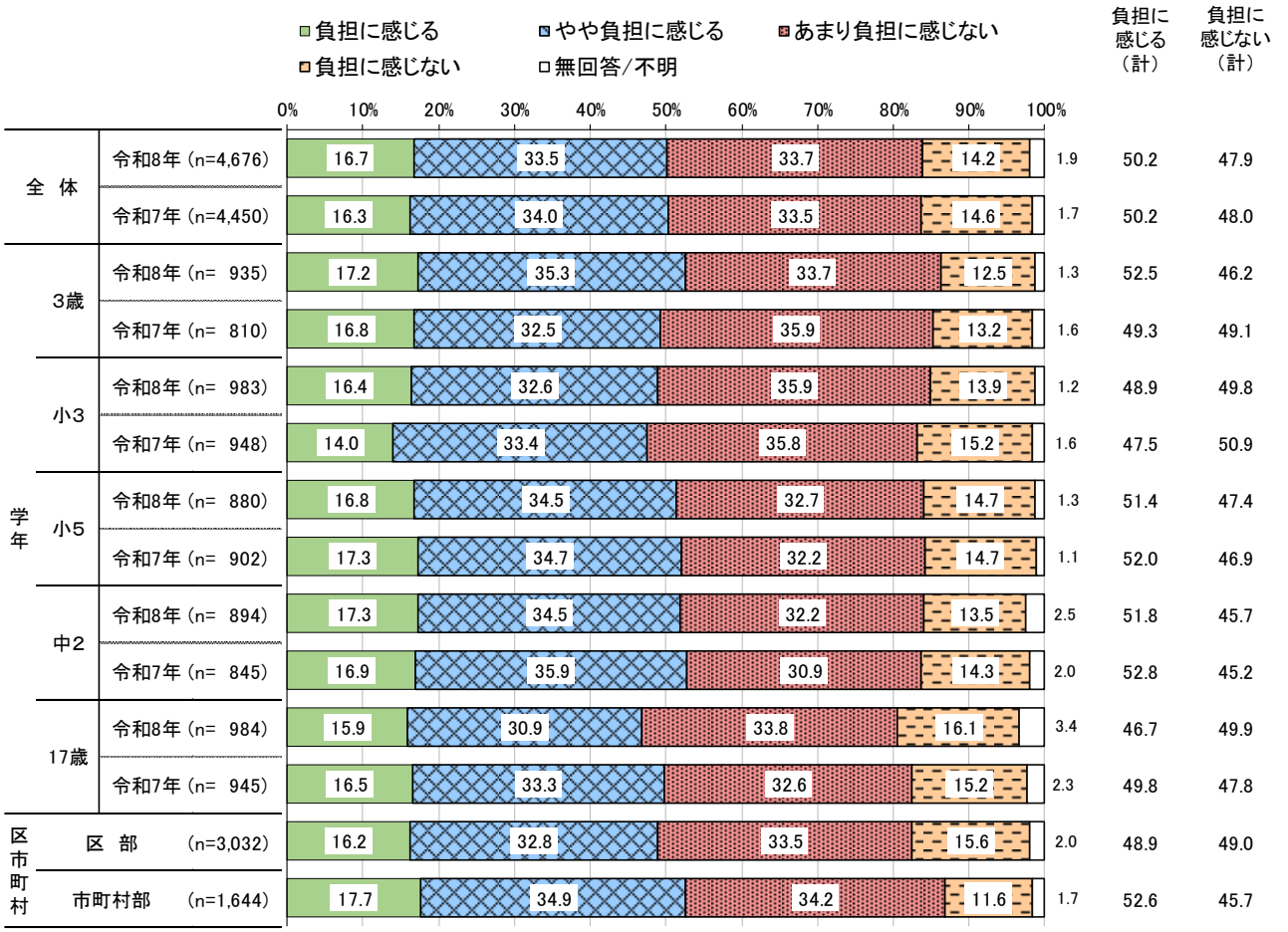
【全体】

「靴や洋服などの服飾費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 50.2%（「負担に感じる」が 16.7%＋「やや負担に感じる」が 33.5%）である。なお、「あまり負担に感じない」が 33.7%で最も高い。

【学年別】

「靴や洋服などの服飾費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、3歳で最も高く、52.5%である。

図表 2-199　H 靴や洋服などの服飾費用の負担感　＜単一回答＞



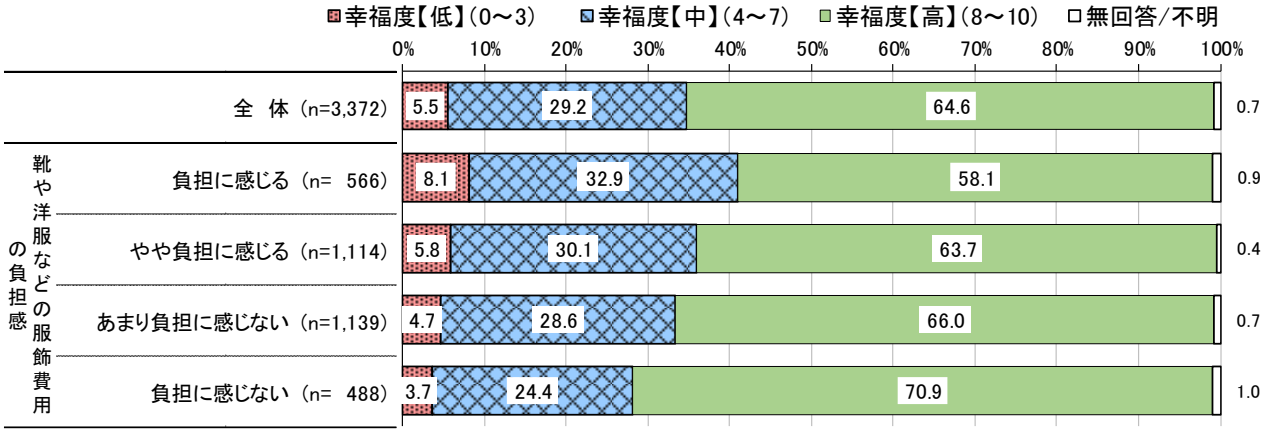
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「靴や洋服などの服飾費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 70.9%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 58.1%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-200 子供の幸福度(「靴や洋服などの服飾費用の負担感」の回答別)



（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。

（それぞれ1つ）

（I パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用）

【全体】

「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者は 51.0%（「負担に感じる」が 21.2%＋「やや負担に感じる」が 29.8%）である。

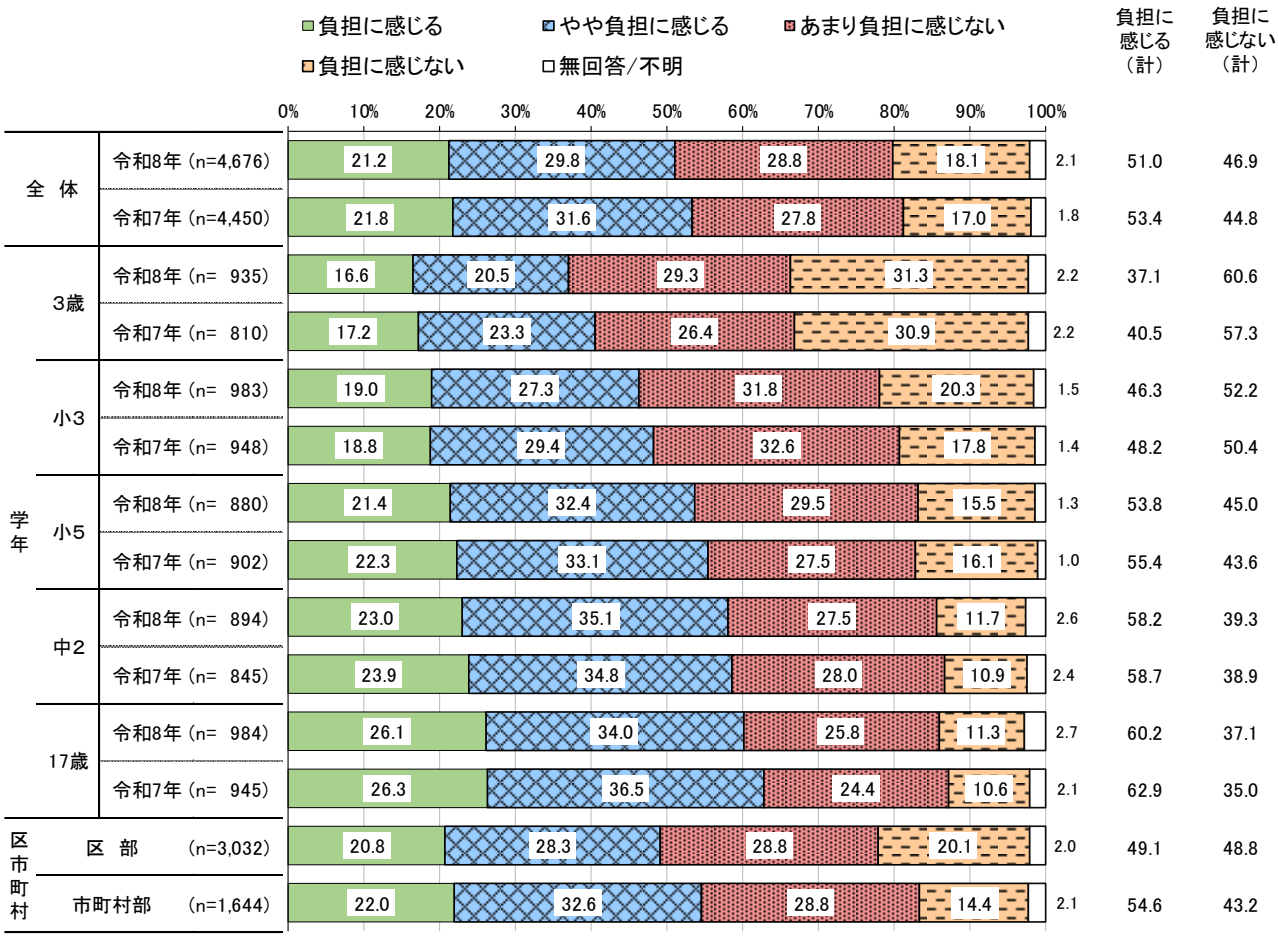
【学年別】

「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用の負担感」について「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）は、学年が上がると増加傾向である。

【区市町村別】

市町村部は「負担に感じる」とする保護者（「負担に感じる」と「やや負担に感じる」の割合）が 54.6%で、区部に比べて 5.5 ポイント高い。

図表 2-201 I パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用の負担感 ＜単一回答＞



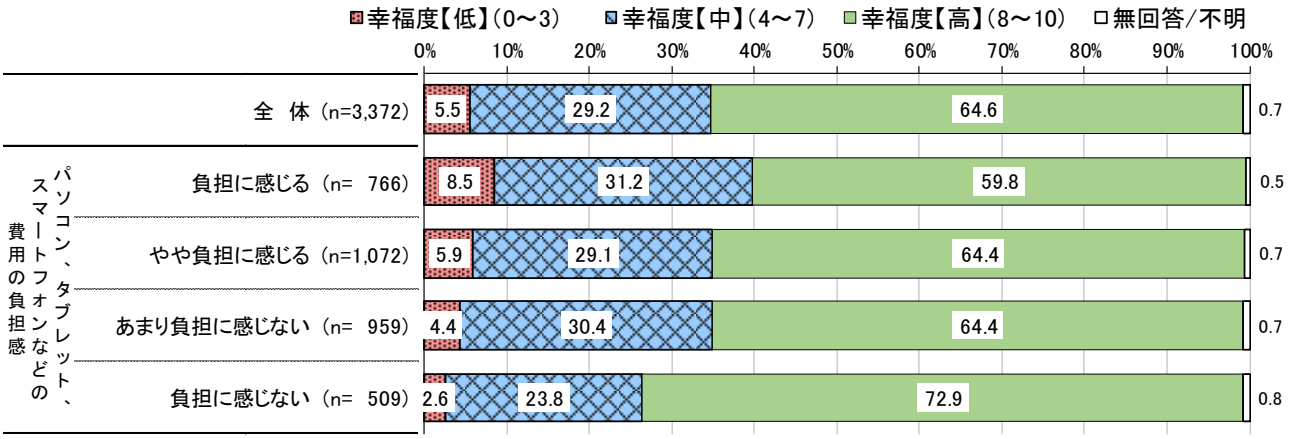
※負担に感じる（計）は「負担に感じる」及び「やや負担に感じる」の割合。

負担に感じない（計）は「負担に感じない」及び「あまり負担に感じない」の割合。

【子供の幸福度】

「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用の負担感」の回答別に子供の幸福度をみると、「負担に感じない」と回答した保護者の子供の 72.9%が幸福度【高】(8～10)で、「負担に感じる」と回答した保護者の子供の 59.8%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-202 子供の幸福度(「パソコン、タブレット、スマートフォンなどの費用」の負担感の回答別)



（保護者：共通）問 50. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。

（１つだけ）

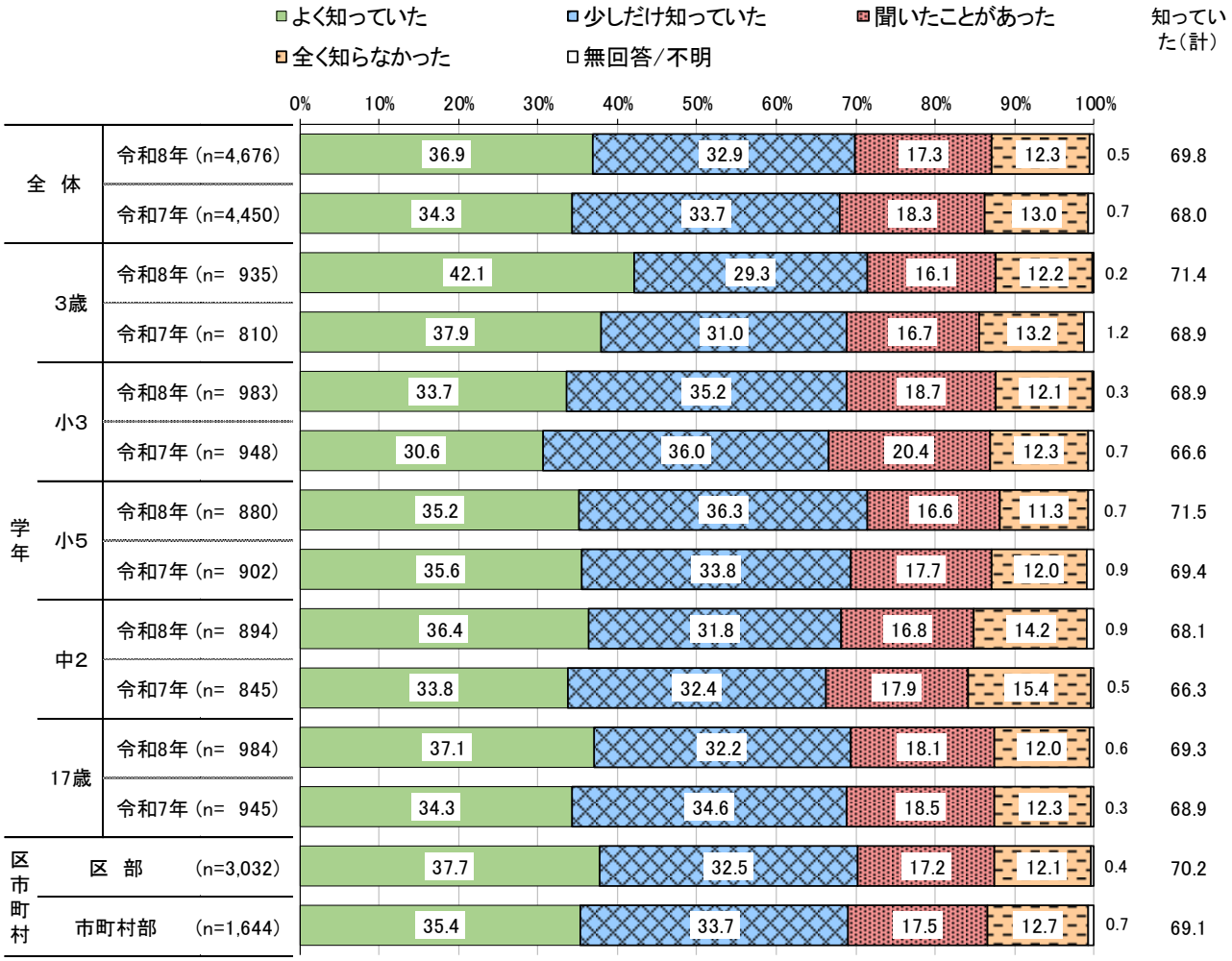
【全体】

子供が権利の主体であることを「知っていた」とする保護者は 69.8%（「よく知っていた」が 36.9%＋「少しだけ知っていた」が 32.9%）である。

【学年別】

3歳、中2、17 歳では「よく知っていた」が最も高く、小3、小5では「少しだけ知っていた」が最も高い。

図表 2-203 子供が権利の主体であることの認知度 ＜単一回答＞

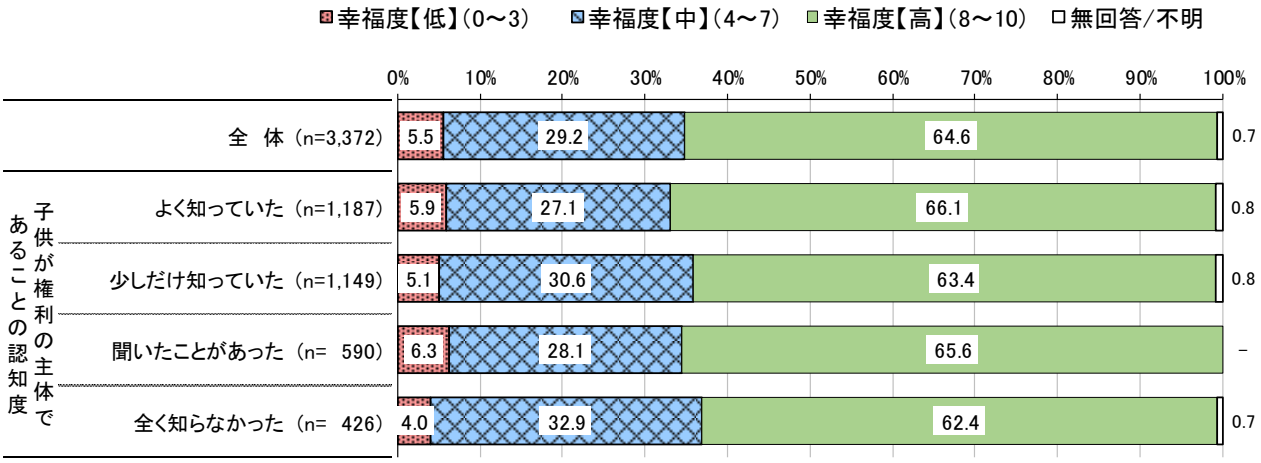


※知っていた（計）は「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合。

【子供の幸福度】

「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「よく知っていた」と回答した保護者の子供の 66.1%が幸福度【高】(8～10)で、「全く知らなかった」と回答した保護者の子供の 62.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-204 子供の幸福度(「子供が権利の主体であることの認知度」の回答別)



（保護者：共通）問 51. 東京都では、子供の権利が大切にされ、みんなが幸せに過ごせるように「東京都こども基本条例」を定めています。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、「東京都こども基本条例」について知っていましたか。（1つだけ）

【全体】

「東京都こども基本条例」の「内容を知っていた」とする保護者は 22.1%（「内容をよく知っていた」が 4.8%＋「内容を少しだけ知っていた」が 17.4%）である。なお、「全く知らなかった」が 50.0%で最も高い。

【学年別】

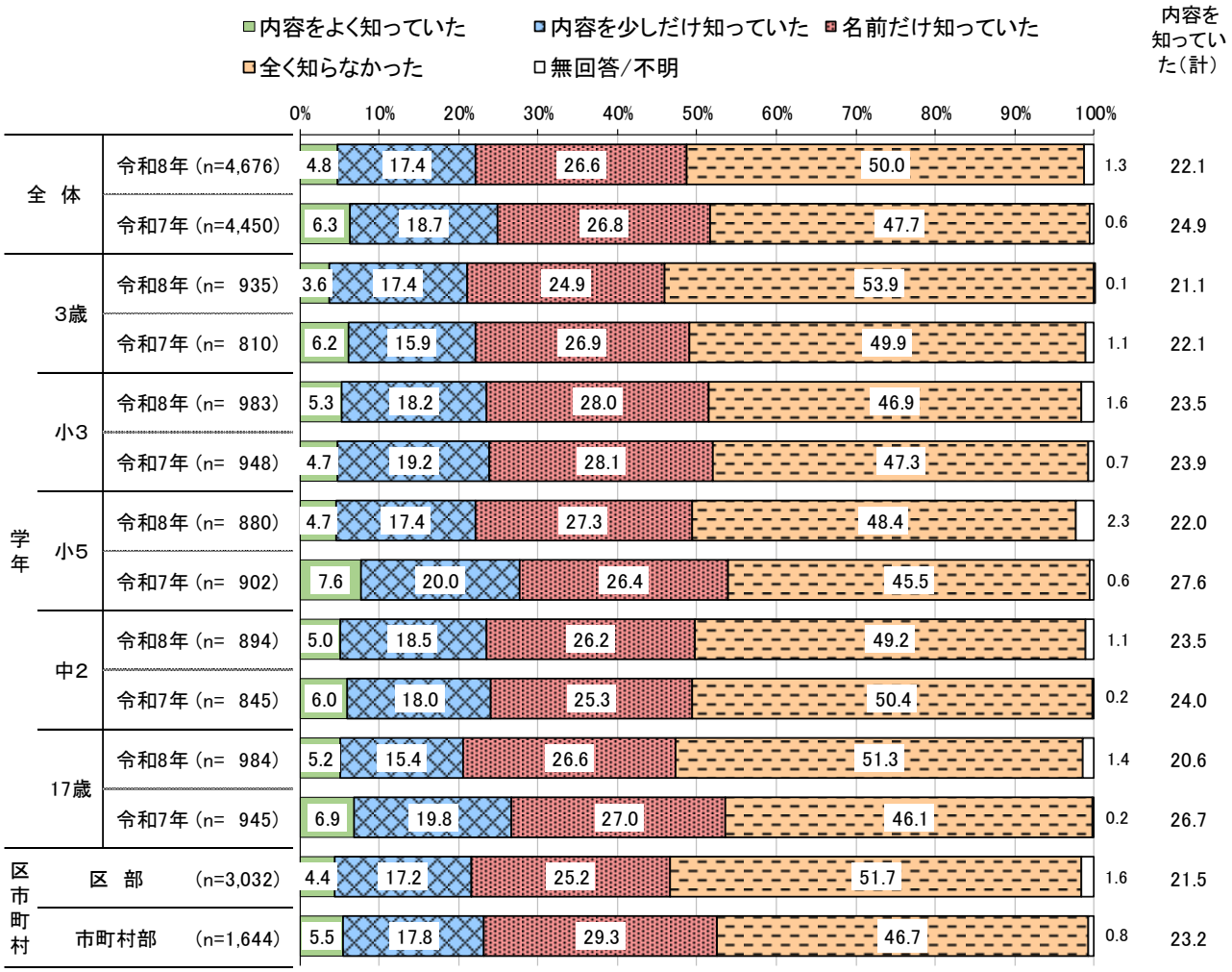
「東京都こども基本条例」の「内容を知っていた」とする保護者（「内容をよく知っていた」と「内容を少しだけ知っていた」の割合）は、3歳では 21.1%、小3では 23.5%、小5では 22.0%、中2では 23.5%、17 歳では 20.6%である。

経年比較でみると、小5、17歳で「東京都こども基本条例」の「内容を知っていた」とする保護者（「内容をよく知っていた」と「内容を少しだけ知っていた」の割合）が、それぞれ5.6ポイント、6.1ポイント減少している。

【区市町村別】

区部は「全く知らなかった」が51.7%で、市町村部に比べて5.0ポイント高い。

図表 2-205 東京都こども基本条例の認知度 ＜単一回答＞

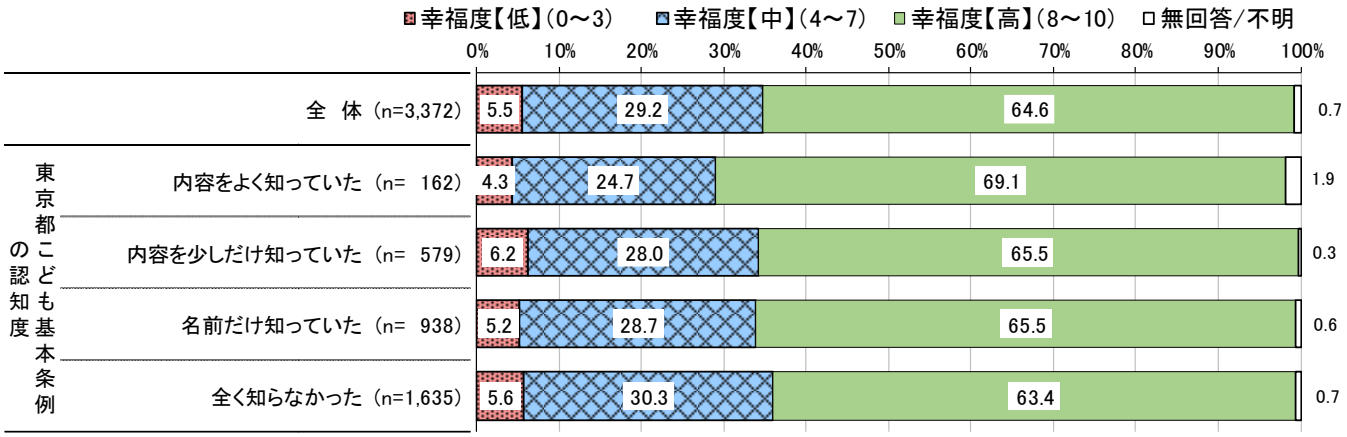


※内容を知っていた（計）は「内容をよく知っていた」及び「内容を少しだけ知っていた」の割合

【子供の幸福度】

「東京都こども基本条例の認知度」の回答別に子供の幸福度をみると、「内容をよく知っていた」と回答した保護者の子供の 69.1%が幸福度【高】(8～10)で、「全く知らなかった」と回答した保護者の子供の 63.4%が幸福度【高】(8～10)である。

図表 2-206 子供の幸福度(「東京都こども基本条例の認知度」の回答別)



3. その他

(1)ギャップ分析

【子供と保護者の差】

子供と保護者の回答に差があるもののうち、特徴的なものについて触れている。

(子供:共通)問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。(1つだけ)

(保護者:共通)問 44. あなたはお子様の将来がどのようになってほしいと考えていますか。最もなってほしいものを選んでください。(1つだけ)

【全体】

「好きな仕事をしている」と回答した割合は、保護者の方が子供より 16.4 ポイント高い。「趣味や余暇(自由に使える時間)を楽しんでいる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 9.2 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも「好きな仕事をしている」と回答した割合は保護者の方が子供より高く、「趣味や余暇(自由に使える時間)を楽しんでいる」と回答した割合は子供の方が保護者より高い。17 歳では、「結婚している/パートナーと暮らしている」と回答した割合は、子供の方が保護者より 8.5 ポイント高い。

図表 3-1 20 年後に一番叶えたいこと <単一回答>

			n	あなたが、20年後に一番叶えたいことは何ですか								
				好きな仕事をしている	結婚している/パートナーと暮らしている	子供を育てている	好きな国・地域で暮らしている	経済的に豊かな暮らし(十分なお金があって豊かな暮らし)をしている	趣味や余暇(自由に使える時間)を楽しんでいる	その他	特にない(子供のみ)	無回答/不明
全体		保護者	3,372	51.8	6.9	4.7	2.4	19.9	9.6	3.9		0.7
		子供	3,372	35.4	10.1	7.2	2.6	19.1	18.8	2.4	3.1	1.1
		差		16.4	-3.2	-2.5	-0.2	0.8	-9.2	1.5		-0.4
学年	小3	保護者	901	52.7	6.1	4.9	2.4	19.2	9.2	4.9		0.6
		子供	901	36.6	6.8	10.5	2.1	20.4	14.4	2.9	4.3	1.9
		差		16.1	-0.7	-5.6	0.3	-1.2	-5.2	2.0		-1.3
	小5	保護者	812	49.4	7.1	4.8	2.0	19.8	12.7	3.6		0.6
		子供	812	33.1	7.6	10.0	1.7	18.8	19.2	3.6	4.1	1.8
		差		16.3	-0.5	-5.2	0.3	1.0	-6.5	0.0		-1.2
	中2	保護者	814	52.8	6.6	4.9	2.9	18.9	9.0	3.7		1.1
		子供	814	39.9	9.7	4.4	2.9	15.5	21.9	2.1	3.3	0.2
		差		12.9	-3.1	0.5	0.0	3.4	-12.9	1.6		0.9
	17歳	保護者	845	52.1	7.9	4.0	2.2	21.8	7.7	3.6		0.7
		子供	845	32.1	16.4	3.8	3.8	21.3	20.2	1.2	0.8	0.4
		差		20.0	-8.5	0.2	-1.6	0.5	-12.5	2.4		0.3

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

（子供：共通）問 18. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。（1つだけ）

（保護者：共通）問 45. お子様を将来どの段階まで進学させようと考えていますか。（1つだけ）

【全体】

「大学卒業後」と回答した割合は、保護者の方が子供より 21.5 ポイント高い。「まだ分からない」と回答した割合は、子供の方が保護者より 14.8 ポイント高い。

【学年別】

小3、小5、中2では、「大学卒業後」と回答した割合は保護者の方が高く、「まだ分からない」は子供の方が高い。小3、小5では「高校卒業後」と回答した割合は子供の方が高い。

図表 3-2 社会に出て働くタイミング ＜単一回答＞

(%)

		n	あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか（学校に所属しながらのアルバイトは除く）							
			中学卒業後（すでに就労している）	高校卒業後	短大・専門学校卒業後	大学卒業後	大学院（大学よりも上の学校）卒業後	その他	まだ分からない	無回答/不明
全体	保護者	3,372	0.1	3.1	5.5	71.6	7.9	1.0	10.5	0.4
	子供	3,372	1.7	8.6	6.3	50.1	6.6	0.5	25.3	0.9
	差		−1.6	−5.5	−0.8	21.5	1.3	0.5	−14.8	−0.5
学年 小3	保護者	901	0.1	2.6	4.6	71.1	7.0	0.8	13.5	0.3
	子供	901	2.8	11.4	4.1	35.2	4.4	0.6	40.3	1.2
	差		−2.7	−8.8	0.5	35.9	2.6	0.2	−26.8	−0.9
学年 小5	保護者	812	0.1	3.0	5.2	72.7	6.4	1.0	11.5	0.2
	子供	812	2.1	10.2	8.0	39.0	5.0	0.4	33.9	1.4
	差		−2.0	−7.2	−2.8	33.7	1.4	0.6	−22.4	−1.2
学年 中2	保護者	814	0.1	4.1	5.3	74.1	5.7	1.0	9.1	0.7
	子供	814	1.0	7.9	5.8	59.7	6.0	0.6	18.7	0.4
	差		−0.9	−3.8	−0.5	14.4	−0.3	0.4	−9.6	0.3
学年 17歳	保護者	845	−	3.1	6.9	68.6	12.3	1.2	7.7	0.2
	子供	845	0.9	4.6	7.5	67.3	11.0	0.5	7.5	0.7
	差		−0.9	−1.5	−0.6	1.3	1.3	0.7	0.2	−0.5

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

（子供：共通）問 19. あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。
（いくつでも）

（保護者：17 歳、中2、小5、小3）
問 47. お子様の将来の夢や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことだと考えていますか。
（いくつでも）

【全体】

「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」、「親／保護者の理解が得られない（わかってくれない）、考え方の違い（意見が合わない）」と回答した割合は、それぞれ 22.6 ポイントと 8.4 ポイントの差で、保護者の方が子供より高い。「子供（自分）の努力不足」は、子供の方が保護者よりも 6.1 ポイント高い。

【学年別】

小3、小5、中2では、保護者と子供の差は「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」が最も大きい。17 歳では、「子供（自分）の努力不足」が最も差が大きく、子供の方が保護者よりも 24.2 ポイント高い。

図表 3-3 将来像や進路を難しくしている問題 ＜複数回答＞

(%)

			n	あなたの描く将来像や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか								
				進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	親／保護者の理解が得られない（わかってくれない）、考え方の違い（意見が合わない）	子供の健康上の問題	子供（自分）の努力不足	その他	まだ分からない（子供のみ）	特に問題はない	無回答／不明
全体		保護者	3,372	46.1	29.2	14.7	5.7	34.3	3.0		18.1	0.6
		子供	3,372	23.5	30.9	6.3	8.1	40.4	1.5	24.6	11.3	1.0
		差		22.6	−1.7	8.4	−2.4	−6.1	1.5		6.8	−0.4
学年	小3	保護者	901	46.4	28.0	16.2	5.7	26.2	3.1		21.9	0.3
		子供	901	22.0	19.6	4.9	8.2	16.2	0.6	38.5	19.2	1.2
		差		24.4	8.4	11.3	−2.5	10.0	2.5		2.7	−0.9
	小5	保護者	812	47.7	32.4	18.0	4.9	34.7	2.3		17.5	0.7
		子供	812	24.4	23.5	4.8	8.9	31.0	1.8	30.7	14.3	1.4
		差		23.3	8.9	13.2	−4.0	3.7	0.5		3.2	−0.7
	中2	保護者	814	45.2	30.5	14.1	4.4	43.2	3.9		14.7	1.0
		子供	814	20.6	39.4	8.8	7.2	58.0	2.7	17.8	5.8	0.4
		差		24.6	−8.9	5.3	−2.8	−14.8	1.2		8.9	0.6
	17歳	保護者	845	45.0	26.0	10.7	7.7	34.0	2.7		18.1	0.4
		子供	845	27.0	41.7	6.9	7.9	58.2	0.9	10.4	5.2	0.9
		差		18.0	−15.7	3.8	−0.2	−24.2	1.8		12.9	−0.5

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

（子供：共通）問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 子供は家族と一緒に心地よい時間を過ごしている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 25.4 ポイント高い。また、「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が子供より 23.8 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも「あてはまる」と回答した割合は子供の方が高く、「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は保護者の方が高い。

図表 3-4 A 家族と一緒に心地よい時間を過ごしている ＜単一回答＞

（%）

			n	A.家族と一緒に心地よい時間を過ごしている						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全体		保護者	3,372	41.3	50.7	5.4	1.1	1.5	92.1	6.5
		子供	3,372	66.7	26.9	4.5	1.4	0.5	93.7	5.8
		差		−25.4	23.8	0.9	−0.3	1.0	−1.6	0.7
学年	小3	保護者	901	53.7	41.8	2.8	0.3	1.3	95.6	3.1
		子供	901	74.3	22.4	2.6	0.6	0.2	96.7	3.1
		差		−20.6	19.4	0.2	−0.3	1.1	−1.1	0.0
	小5	保護者	812	43.0	51.0	3.9	0.9	1.2	94.0	4.8
		子供	812	71.1	24.5	2.2	1.2	1.0	95.6	3.4
		差		−28.1	26.5	1.7	−0.3	0.2	−1.6	1.4
	中2	保護者	814	34.9	55.5	6.4	1.1	2.1	90.4	7.5
		子供	814	62.3	29.0	6.8	1.6	0.4	91.3	8.4
		差		−27.4	26.5	−0.4	−0.5	1.7	−0.9	−0.9
	17歳	保護者	845	32.8	55.3	8.8	2.0	1.2	88.0	10.8
		子供	845	58.8	32.1	6.5	2.1	0.5	90.9	8.6
		差		−26.0	23.2	2.3	−0.1	0.7	−2.9	2.2

（子供：共通）問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 親／保護者は私の話を聞いてくれる）

（保護者：共通）問 42. ご家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D 保護者は子供の話を聞いている）

【全体】

「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が保護者より 23.5 ポイント高い。「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は、保護者の方が子供より 24.5 ポイント高い。

【学年別】

いずれの学年でも、「あてはまる」と回答した割合は、子供の方が高く、「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合は保護者の方が高い。

図表 3-5 D 親／保護者は私の話を聞いてくれる ＜単一回答＞

(%)

			n	D.親／保護者は私の話を聞いてくれる						
				あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答/不明	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全体		保護者	3,372	45.6	48.9	3.8	0.3	1.4	94.5	4.1
		子供	3,372	69.1	24.4	4.3	1.5	0.7	93.5	5.8
		差		−23.5	24.5	−0.5	−1.2	0.7	1.0	−1.7
学年	小3	保護者	901	52.5	42.3	3.9	0.2	1.1	94.8	4.1
		子供	901	74.1	20.0	3.7	1.6	0.7	94.1	5.2
		差		−21.6	22.3	0.2	−1.4	0.4	0.7	−1.1
	小5	保護者	812	44.6	49.9	4.1	0.2	1.2	94.5	4.3
		子供	812	73.0	21.4	3.2	1.5	0.9	94.5	4.7
		差		−28.4	28.5	0.9	−1.3	0.3	0.0	−0.4
	中2	保護者	814	43.6	51.1	3.3	−	2.0	94.7	3.3
		子供	814	66.1	27.0	4.8	1.4	0.7	93.1	6.1
		差		−22.5	24.1	−1.5	−1.4	1.3	1.6	−2.8
	17歳	保護者	845	41.3	52.9	3.9	0.6	1.3	94.2	4.5
		子供	845	63.0	29.3	5.6	1.7	0.5	92.3	7.2
		差		−21.7	23.6	−1.7	−1.1	0.8	1.9	−2.7

（子供：共通）問 37. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（保護者：共通）問 34. お子様は過去1年以内に次のような経験をしたことがありますか。（いくつでも）

【学年別】

小3では、「暴言や傷つくことを言われた」と回答した割合は、保護者の方が子供より 5.7 ポイント高く、「暴力を受けた」「いじめを受けた」と回答した割合は、子供の方が保護者より、それぞれ 6.2 ポイント、8.5 ポイント高い。小5でも、「暴力を受けた」「いじめを受けた」と回答した割合は、子供の方が保護者より、それぞれ 5.9 ポイント、5.6 ポイント高い。

図表 3-6 過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く） ＜複数回答＞

（%）

			n	過去1年以内の嫌な経験（インターネット上の経験を除く）								
				暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験	特に嫌な経験はしていない	無回答/不明
全　体		保護者	3,372	23.9	9.7	2.7	0.3	0.1	3.7	5.6	64.7	2.4
		子供	3,372	22.0	11.7	6.6	1.7	0.4	7.3	2.3	68.0	2.3
		差		1.9	−2.0	−3.9	−1.4	−0.3	−3.6	3.3	−3.3	0.1
学年	小3	保護者	901	33.3	11.9	3.4	0.1	0.1	6.8	4.8	56.6	2.0
		子供	901	27.6	14.9	11.9	2.1	0.2	13.0	2.7	60.2	2.6
		差		5.7	−3.0	−8.5	−2.0	−0.1	−6.2	2.1	−3.6	−0.6
	小5	保護者	812	28.8	12.2	3.3	0.4	0.4	4.4	5.3	58.9	2.7
		子供	812	26.2	15.0	8.9	2.1	0.1	10.3	2.3	61.3	4.1
		差		2.6	−2.8	−5.6	−1.7	0.3	−5.9	3.0	−2.4	−1.4
	中2	保護者	814	20.6	8.7	2.3	0.4	−	2.5	5.7	68.7	2.2
		子供	814	20.6	9.2	3.8	1.4	0.4	4.4	1.8	71.9	1.1
		差		0.0	−0.5	−1.5	−1.0	−0.4	−1.9	3.9	−3.2	1.1
	17歳	保護者	845	12.2	6.0	1.7	0.2	0.1	0.9	6.7	75.3	2.8
		子供	845	13.3	7.3	1.3	1.2	0.7	1.2	2.5	78.9	1.7
		差		−1.1	−1.3	0.4	−1.0	−0.6	−0.3	4.2	−3.6	1.1

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

家庭の家事分担の実態に関する保護者の回答別に、子供の男女分担意識の回答をみた。

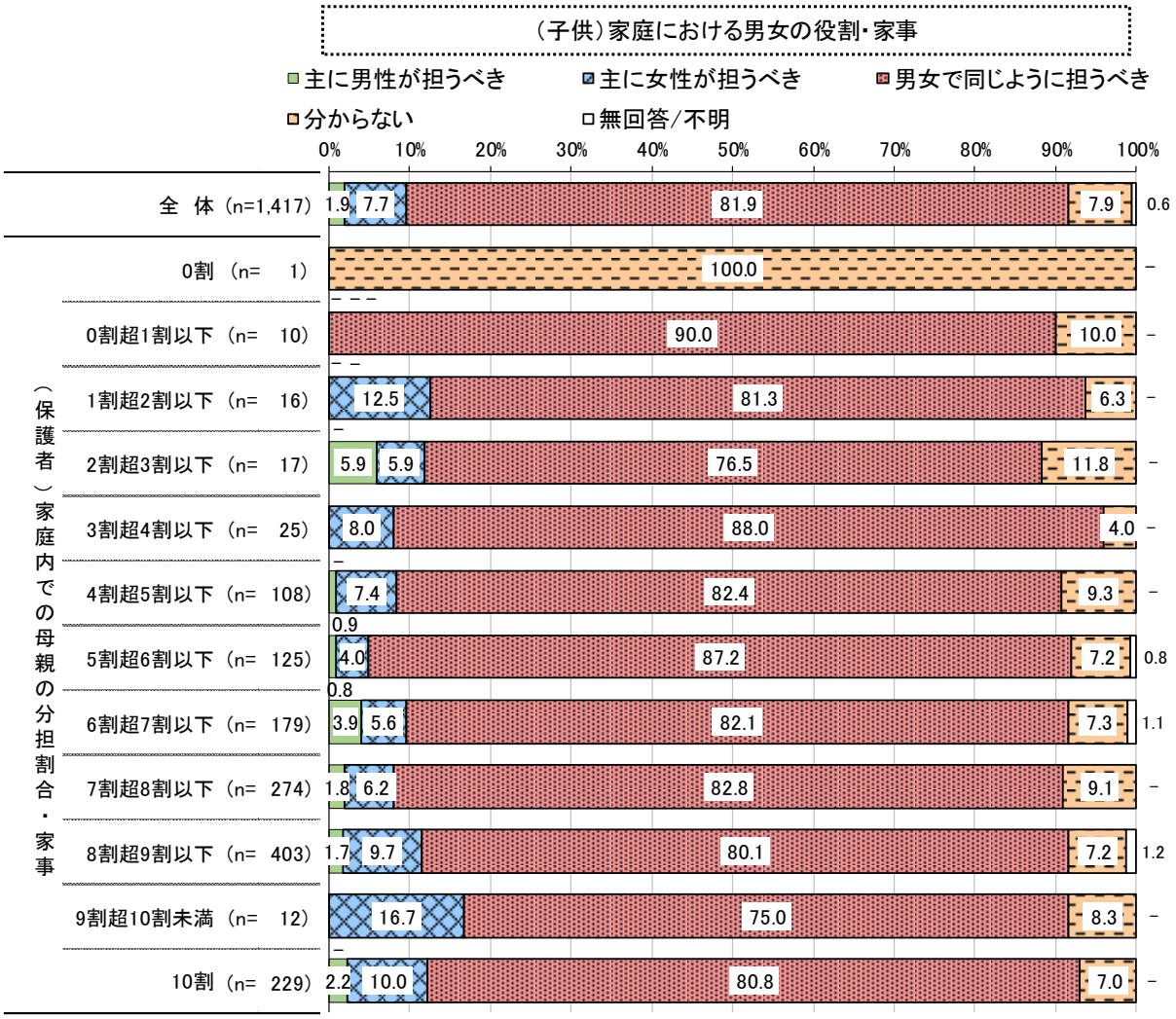
（保護者：共通）問 20. ご家庭内での「家事の分担」「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（A 家事の分担）

（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（A 家事）

※上記質問のクロス集計では、保護者の問1（お子様との関係）で「父」または「母」と回答し、問5で配偶者／パートナーと「同居している」と回答した保護者（有配偶の父母）に限り、問 20A の分担割合は、回答者が「母」のサンプルでは「あなたの割合」、回答者が「父」のサンプルでは「配偶者／パートナーの割合」を用いて集計している。

母親の「家庭内での家事分担の割合」別に、子供の「家庭における男女の役割意識（家事）」をみると、母親の家事分担の割合に関わらず、子供の回答は「男女で同じように担うべき」が高い。

図表 3-7 （保護者）家庭内での母親の分担割合・家事 × （子供）家庭における男女の役割・家事



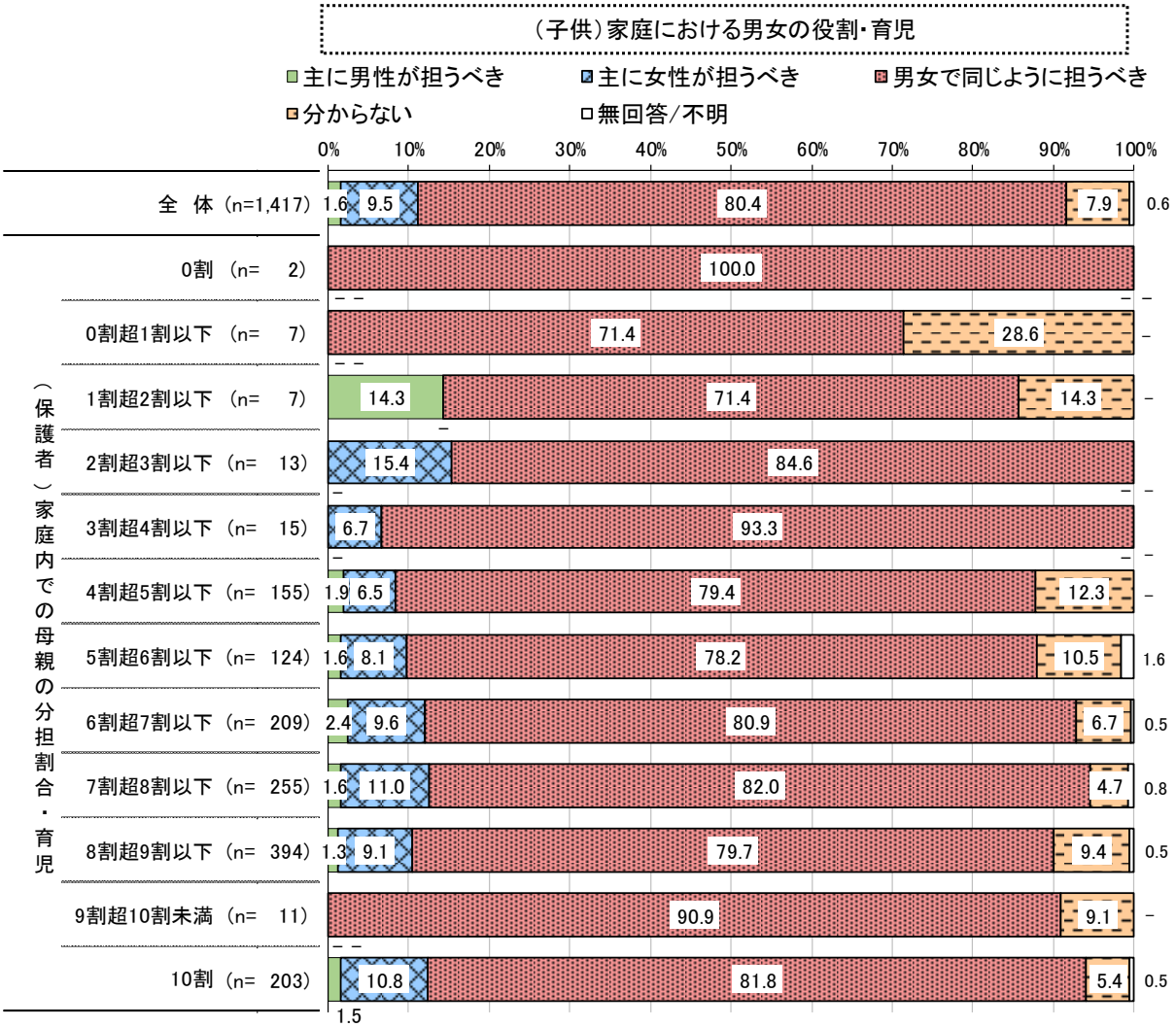
（保護者：共通）問 20. ご家庭内での「家事の分担」「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。
（B 育児の分担）

（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（B 育児）

※上記質問のクロス集計では、保護者の問1（お子様との関係）で「父」または「母」と回答し、問5で配偶者／パートナーと「同居している」と回答した保護者（有配偶の父母）に限り、問 20B の分担割合は、回答者が「母」のサンプルでは「あなたの割合」、回答者が「父」のサンプルでは「配偶者／パートナーの割合」を用いて集計している。

母親の「家庭内での育児分担の割合」別に、子供の「家庭における男女の役割意識（育児）」をみると、母親の育児分担割合に関わらず、子供の回答は「男女で同じように担うべき」が高い。

図表 3-8 （保護者）家庭内での母親の分担の割合・育児 × （子供）家庭における男女の役割・育児



【男女の差】

男性と女性の認識の差について、特徴的なものについて触れている。

（子供：共通）問4．あなたは普段、放課後や休みの日に何をして遊びますか。（いくつでも）

いずれの学年でも、「スポーツや体を動かして遊ぶ」「家庭用ゲーム機やボードゲーム・カードゲームなどインターネットを使わないゲーム、おもちゃで遊ぶ」「オンラインゲームで遊ぶ」は、男性の方が女性より高い。小3、小5、中2では、「友達とおしゃべりするなどして遊ぶ」は、女性の方が男性より高い。男性の「オンラインゲームで遊ぶ」は、特に中2で 69.2%、17 歳で 70.2%と高く、同学年の女性との差がそれぞれ 36.0 ポイント、40.7 ポイントと大きい。

図表 3-9 【性別】普段、放課後や休みの日に遊んでいること ＜複数回答＞

(%)

			n	マンガや本を読む	テレビを見る	DVDや動画配信サービス（NetflixやAmazonプライム・ビデオなど）、録画番組を見る	YouTubeやSNS、その他のインターネット情報を見る	オンラインゲームで遊ぶ	家庭用ゲーム機やボードゲーム・カードゲームなどインターネットを使わないゲーム、おもちゃで遊ぶ	スポーツや体を動かして遊ぶ
全　体			3,972	45.7	58.3	52.9	75.2	41.3	38.1	46.6
学年	小3	男性	498	48.6	65.7	49.0	63.5	32.3	69.1	63.1
		女性	502	44.4	62.9	49.2	56.0	19.3	52.2	45.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10	60.0	80.0	20.0	50.0	20.0	50.0	50.0
	小5	男性	463	45.4	68.5	49.5	66.7	52.9	54.2	62.0
		女性	474	50.8	65.6	47.9	65.2	28.7	38.2	44.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9	11.1	33.3	22.2	77.8	55.6	33.3	22.2
	中2	男性	438	44.5	60.7	53.0	83.3	69.2	36.8	58.7
		女性	491	48.9	60.5	61.9	86.4	33.2	21.6	36.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	77.3	68.2	63.6	90.9	50.0	36.4	31.8
	17歳	男性	484	38.0	39.5	51.4	88.4	70.2	22.9	45.2
		女性	535	44.1	46.2	61.5	92.0	29.5	13.3	24.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26	53.8	23.1	42.3	73.1	50.0	11.5	11.5

			公園で遊ぶ	友達とおしゃべりするなどして遊ぶ	その他	遊んでいない	無回答/不明	遊んでいる（計）
全　体			39.1	49.2	9.8	0.3	0.2	99.5
学年	小3	男性	63.5	41.4	7.2	－	0.2	99.8
		女性	64.1	48.2	13.9	－	0.6	99.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	50.0	40.0	20.0	－	－	100.0
	小5	男性	60.9	38.2	5.4	－	0.2	99.8
		女性	58.6	56.5	13.1	0.2	－	99.8
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	33.3	33.3	22.2	－	－	100.0
	中2	男性	34.7	43.4	7.5	0.2	－	99.8
		女性	20.4	60.9	13.4	0.2	0.2	99.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	18.2	54.5	18.2	－	－	100.0
	17歳	男性	12.8	50.0	6.4	0.8	－	99.2
		女性	4.5	54.8	9.5	0.6	－	99.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	34.6	19.2	7.7	－	92.3

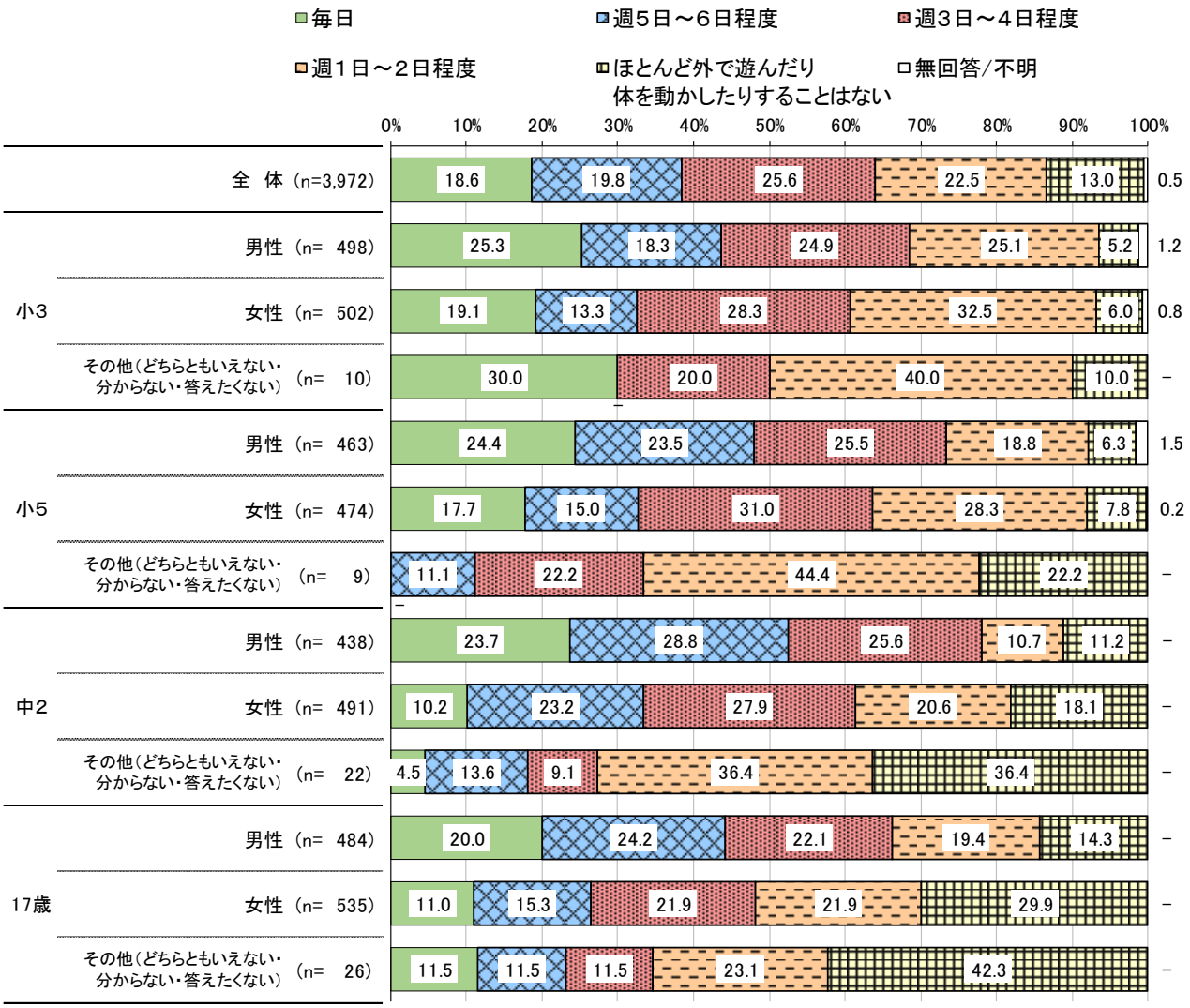
※遊んでいる（計）は「マンガや本を読む」～「友達とおしゃべりするなどして遊ぶ」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

（子供：共通）問7．あなたは週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

いずれの学年でも「毎日」は、小3では 6.2 ポイント、小5では 6.7 ポイント、中2では 13.5 ポイント、17 歳では 9.0 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」は、中2では 6.9 ポイント、17 歳では 15.6 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-10 【性別】週に 30 分以上遊んだり体を動かしたりする日 ＜単一回答＞



（子供：共通）問8．過去 1 年以内に、あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）で、次のような危険な目にあったことはありますか。（いくつでも）

小3では、「危険な目にあったことがある（計）」は、10.7 ポイントの差で、男性の方が女性より高く、「自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった」は、7.2 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。17 歳では、「知らない人に声をかけられた」は、5.9 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-11 【性別】過去1年以内に住む地域で経験した危険な目 ＜複数回答＞

(%)

			n	車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった	自転車にぶつかりそうになった／ぶつかった	知らない人に声をかけられた	知らない人ににらまれた、怒られた	知らない人が後ろをついてきた	知らない人に体をさわられた	知らない人から暴力を受けた
全体			3,972	14.4	23.3	11.7	11.1	3.0	0.9	0.3
学年	小3	男性	498	12.7	25.1	12.4	10.2	4.2	0.4	0.8
		女性	502	8.2	17.9	11.4	5.4	3.2	1.2	－
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10	10.0	30.0	10.0	－	－	－	－
	小5	男性	463	13.2	19.9	11.0	11.9	2.6	0.2	0.9
		女性	474	8.6	17.9	14.6	11.0	3.4	0.6	－
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9	11.1	22.2	－	22.2	11.1	－	－
	中2	男性	438	16.7	23.1	8.7	18.0	2.3	1.1	0.2
		女性	491	12.4	23.6	13.4	12.4	3.5	0.4	－
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	22.7	31.8	22.7	18.2	4.5	4.5	－
	17歳	男性	484	22.9	28.9	8.1	12.0	1.4	0.6	0.4
		女性	535	20.0	29.3	14.0	9.0	3.4	2.1	0.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26	15.4	23.1	3.8	15.4	3.8	－	－

			知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた	その他	危険な目にあったことはない	無回答／不明	危険な目にあったことがある（計）
全体			0.2	1.4	55.0	2.5	42.5
学年	小3	男性	0.4	1.0	53.8	1.6	44.6
		女性	－	3.2	62.9	3.2	33.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	－	70.0	－	30.0
	小5	男性	0.2	1.9	55.3	3.0	41.7
		女性	－	1.5	56.8	4.2	39.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	－	66.7	－	33.3
	中2	男性	0.5	0.9	56.6	2.5	40.9
		女性	0.2	0.8	55.2	1.8	43.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	4.5	31.8	4.5	63.6
	17歳	男性	－	1.0	50.6	1.7	47.7
		女性	0.2	0.7	49.9	1.5	48.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	7.7	57.7	－	42.3

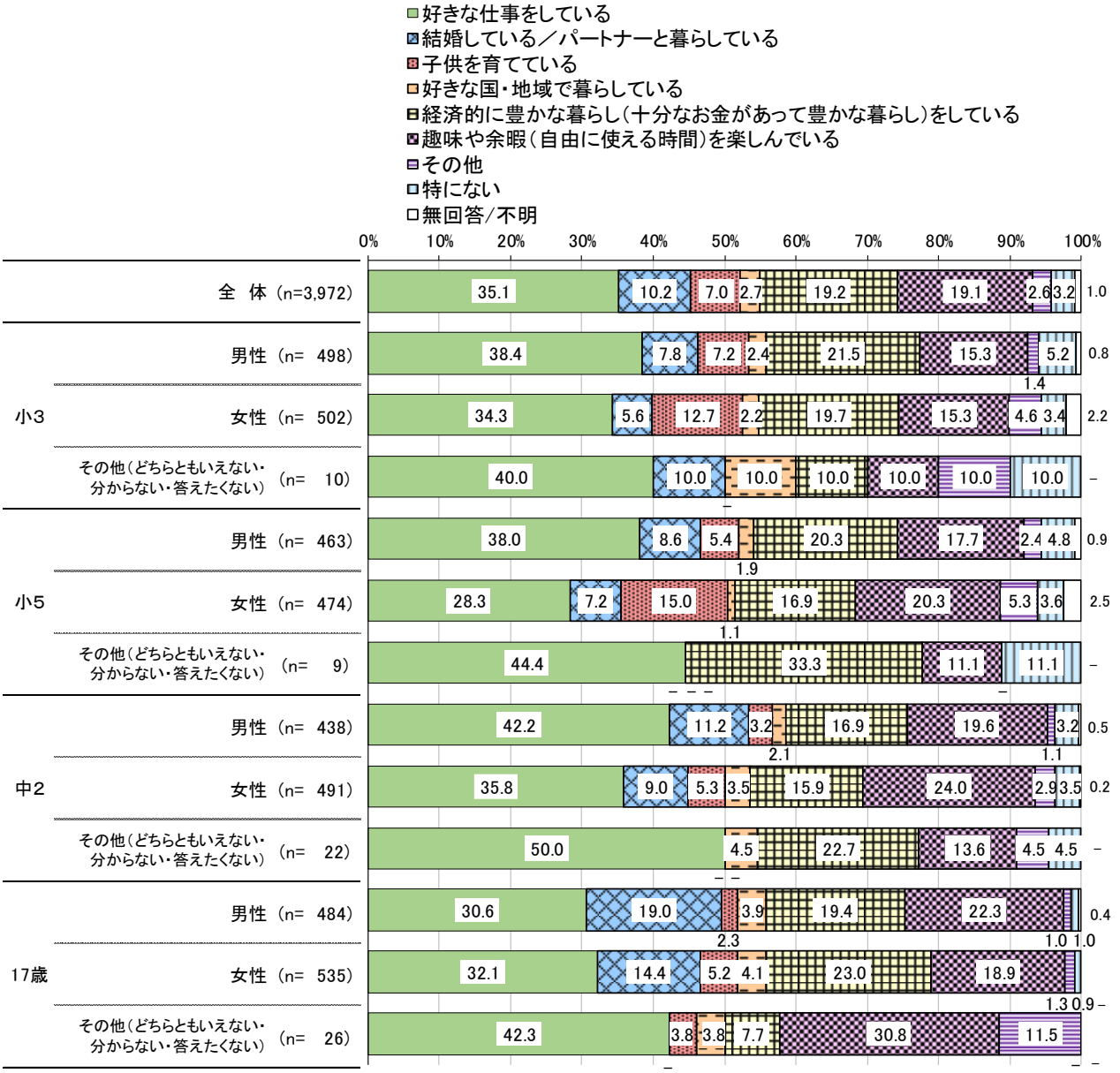
※危険な目にあったことがある（計）は「車やバイクにぶつかりそうになった／ぶつかった」～「知らない人に連れ去られそうになった／連れ去られた」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

（子供：共通）問 11. あなたが、20 年後に一番叶えたいことは何ですか。（1つだけ）

「好きな仕事をしている」は、小5では 9.7 ポイント、中2では 6.4 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。「子供を育てている」は、小3では 5.5 ポイント、小5では 9.6 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

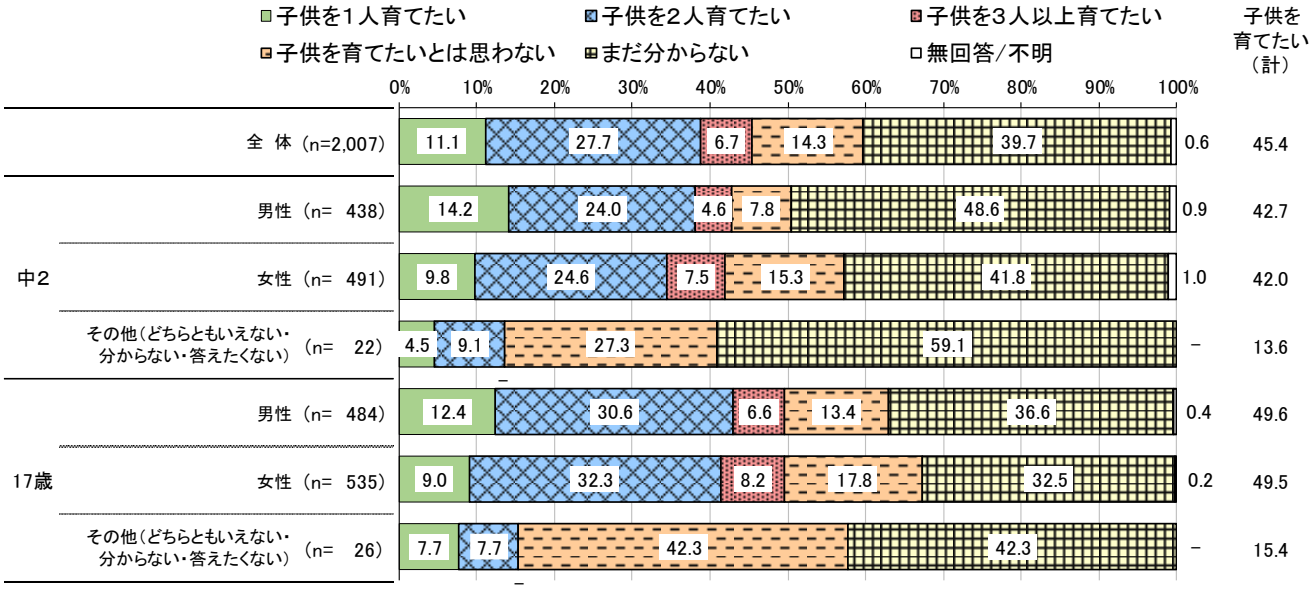
図表 3-12 【性別】20年後に一番叶えたいこと ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 13. あなたは将来、子供を育てたいと考えていますか。（1つだけ）

中2では、「子供を育てたいとは思わない」は 7.5 ポイントの差で、女性の方が男性より高く、「まだ分からない」は、6.8 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

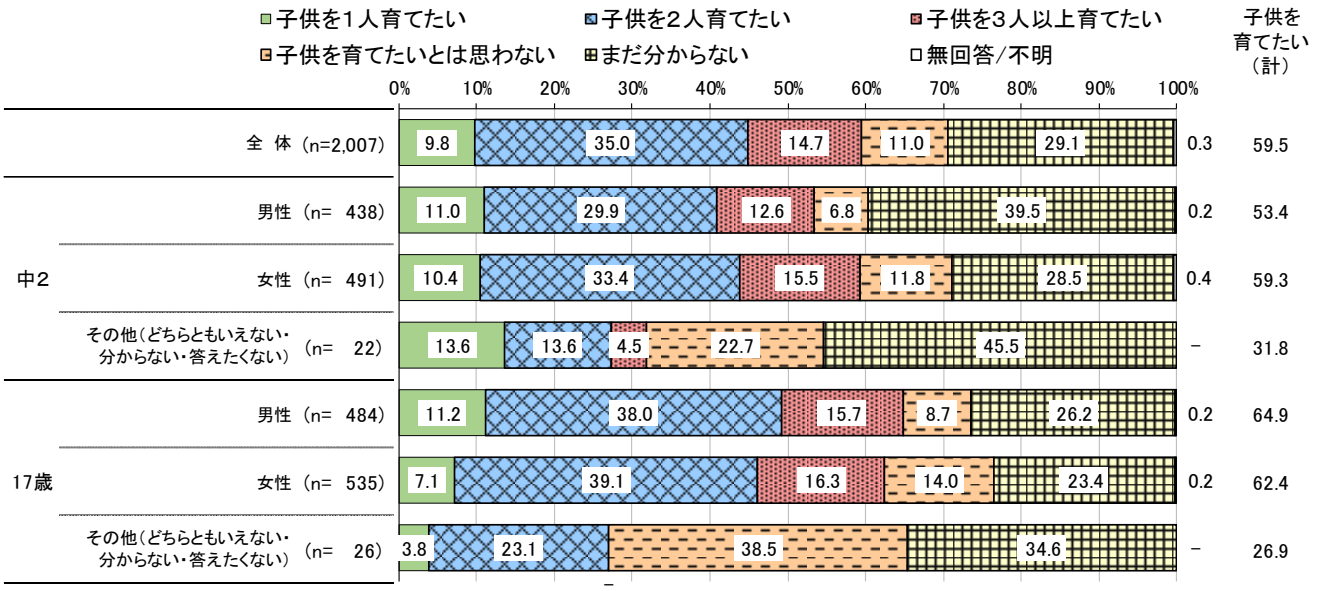
図表 3-13 【性別】将来、子供を育てたいか ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。
（1つだけ）

中2では、「まだ分からない」は 11.0 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。「子供を育てたいとは思わない」は、中2では 5.0 ポイント、17 歳では 5.3 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

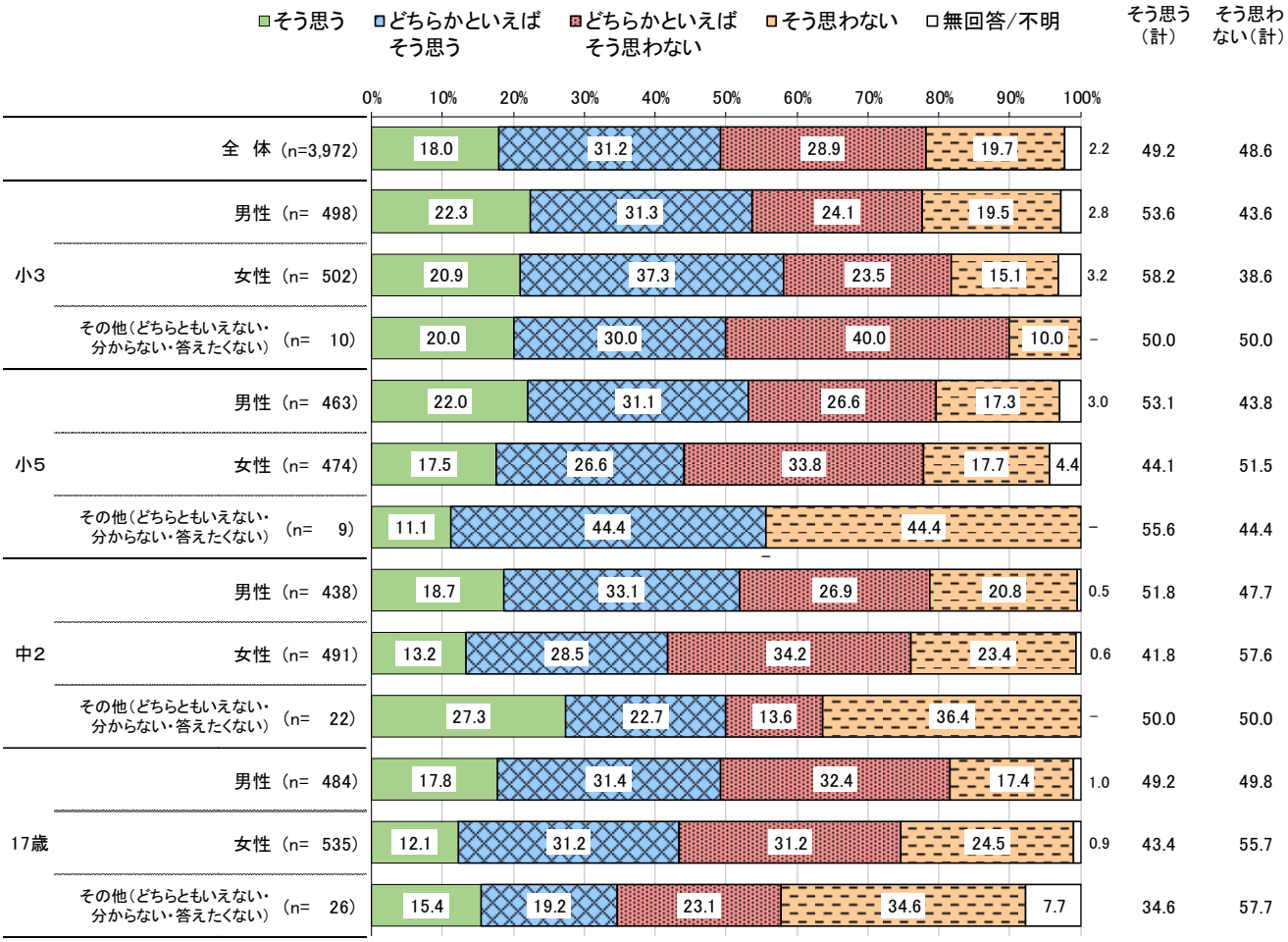
図表 3-14【性別】将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいか ＜単一回答＞



（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

「自分の行動で社会を変えられると思う」とする子供は、小5では 9.0 ポイント、中2では 10.0 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。「そう思う」は、中2で 5.5 ポイント、17 歳で 5.7 ポイントの差で、男性の方が高く、「そう思わない」は、17 歳で 7.1 ポイントの差で、女性の方が高い。

図表 3-15 【性別】自分の行動で社会を変えられると思う ＜単一回答＞

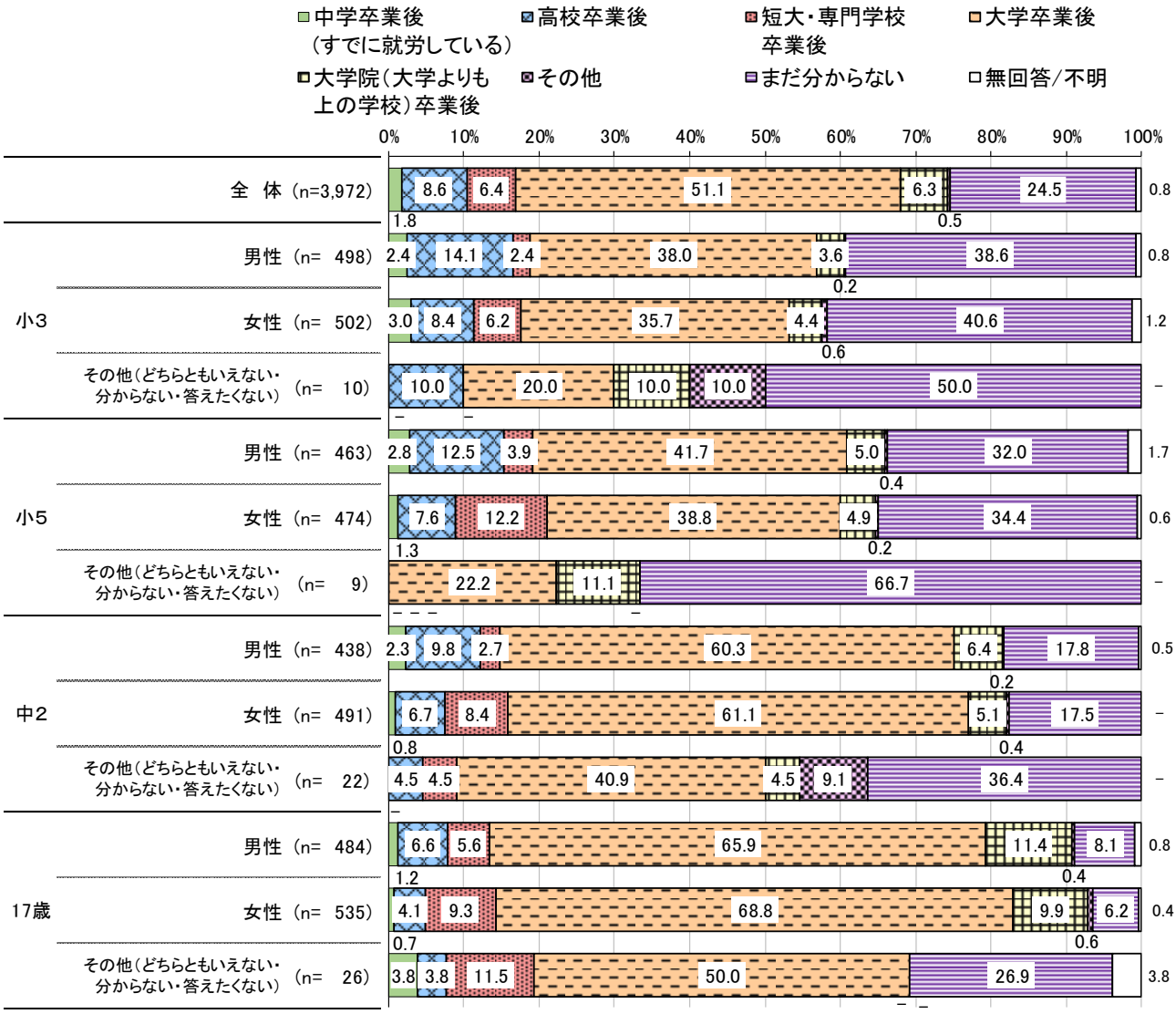


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 18. あなたは将来、いつから社会に出て働こうと考えていますか。
学校に所属しながら（通いながら）のアルバイトは除きます。（1つだけ）

男女ともに、小3では「まだ分からない」が最も高く、小5、中2、17 歳では「大学卒業後」が最も高い。「短大・専門学校卒業後」は、小5で 8.3 ポイント、中2で 5.7 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-16 【性別】社会に出て働くタイミング ＜単一回答＞



（子供：共通）問 19. あなたの描く将来像（将来の夢）や進路に関して、問題があるとすればそれはどんなことですか。（いくつでも）

17 歳では、「自分の努力不足」は 6.5 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-17 【性別】将来像や進路を難しくしている問題 ＜複数回答＞

(%)

			n	進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）	希望する将来像や進路を実現する方法（希望する将来の夢や進路を叶える方法）が分からない	親／保護者の理解が得られない（わかってくれない）、考え方の違い（意見が合わない）	自分の健康上の問題	自分の努力不足	その他	まだ分からない
全体			3,972	23.4	31.3	6.3	8.3	40.7	1.7	24.3
学年	小3	男性	498	22.7	20.1	5.0	7.8	16.1	1.0	36.5
		女性	502	20.9	18.1	5.0	9.2	15.3	0.4	41.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10	20.0	30.0	－	10.0	30.0	－	40.0
	小5	男性	463	24.0	22.9	5.8	10.6	30.9	1.5	28.7
		女性	474	23.4	23.2	3.2	7.2	30.6	2.5	34.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9	33.3	33.3	11.1	－	33.3	－	33.3
	中2	男性	438	21.9	37.4	8.4	8.2	58.2	2.1	18.7
		女性	491	20.0	42.0	8.6	5.5	56.8	2.9	16.7
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	27.3	54.5	22.7	31.8	77.3	13.6	9.1
	17歳	男性	484	25.8	42.1	6.0	8.9	54.8	1.2	10.5
		女性	535	28.2	43.0	7.7	7.9	61.3	1.3	8.8
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26	23.1	38.5	7.7	11.5	50.0	3.8	15.4

			特に問題はない	無回答／不明	将来像や進路に問題がある（計）
全体			11.1	0.9	63.7
学年	小3	男性	20.1	1.0	42.4
		女性	18.5	1.0	39.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10.0	－	50.0
	小5	男性	14.3	1.7	55.3
		女性	14.6	0.8	50.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22.2	－	44.4
	中2	男性	5.5	0.5	75.3
		女性	6.1	0.2	77.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	－	－	90.9
	17歳	男性	4.8	0.8	83.9
		女性	5.8	0.4	85.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	3.8	3.8	76.9

※将来像や進路に問題がある（計）は「進学費用が足りないなどの経済的な問題（家庭のお金の問題）」～「自分の努力不足」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

（子供：共通）問 23.【問 21 で「1　学校に所属している」と答えた方にお聞きします。】
学校について、不満に感じることはありますか。（いくつでも）

いずれの学年でも、「学校への不満がある（計）」は、女性の方が高く、不満に感じることの具体内容では、いずれの学年でも、「友達や先輩・後輩との関係（苦手な人がいる、仲が良い人がいないなど）」は、女性の方が高い。

図表 3-18 【性別】学校について不満に感じること ＜複数回答＞

(%)

			n	授業が簡単すぎる	授業が難しい	先生の指導力や対応・態度（先生の教え方や言い方が苦手）	友達や先輩・後輩との関係（苦手な人がいる、仲が良い人がいないなど）	行事に関すること（参加したくない行事があるなど）	雰囲気・居心地	校則など生活上のルールが厳しい
全　体			3,912	8.3	18.4	19.6	24.3	10.7	10.5	16.3
学年	小3	男性	498	15.3	16.5	10.0	15.1	6.4	6.0	9.0
		女性	502	12.5	19.7	12.0	21.7	10.8	5.6	7.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10	40.0	10.0	20.0	30.0	20.0	－	－
	小5	男性	463	13.2	13.0	11.2	18.8	12.3	8.6	9.1
		女性	474	11.2	12.2	16.9	33.1	10.8	6.1	8.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9	33.3	33.3	11.1	33.3	11.1	33.3	22.2
	中2	男性	438	5.9	16.2	21.7	19.2	9.1	8.0	17.4
		女性	491	1.4	25.5	24.4	35.8	13.0	16.1	24.8
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	4.5	36.4	45.5	54.5	13.6	31.8	22.7
	17歳	男性	454	3.5	16.7	28.0	16.7	9.9	12.8	22.2
		女性	508	3.0	25.4	31.9	31.1	12.6	19.5	31.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	24	4.2	12.5	25.0	25.0	12.5	4.2	12.5

			施設に関すること（古い・狭い・暗い・使いづらいなど）	学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活（クラブ活動）で使う道具など）が高い	その他	特にない	無回答／不明	学校への不満がある（計）
全　体			12.8	8.3	2.2	33.8	1.2	65.0
学年	小3	男性	8.6	3.2	1.8	46.6	1.0	52.4
		女性	6.6	3.2	2.2	39.2	1.2	59.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10.0	10.0	－	30.0	－	70.0
	小5	男性	6.0	2.6	1.5	45.8	2.6	51.6
		女性	7.8	4.2	2.5	38.8	0.8	60.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22.2	－	－	－	－	100.0
	中2	男性	13.9	7.3	3.2	36.5	2.5	61.0
		女性	14.5	10.6	2.2	23.4	0.6	76.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	27.3	27.3	4.5	13.6	－	86.4
	17歳	男性	21.6	14.3	2.2	24.9	1.1	74.0
		女性	23.0	19.5	2.4	17.5	0.2	82.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	16.7	16.7	4.2	29.2	4.2	66.7

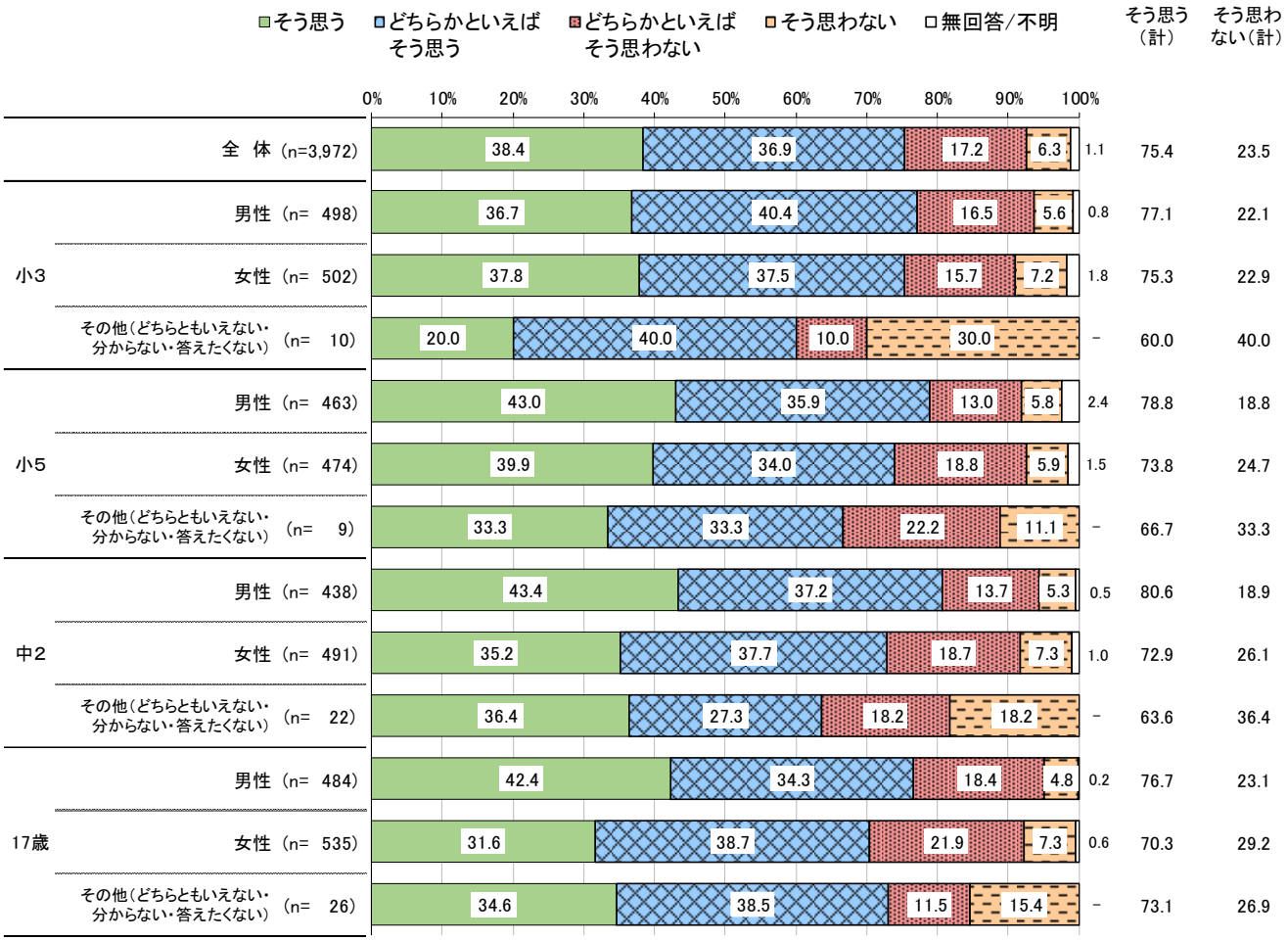
1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※学校への不満がある（計）は「授業が簡単すぎる」～「学校にかかる費用（学費や給食費、授業・部活（クラブ活動）で使う道具など）が高い」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 28. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

「自分の考えを他の人にしっかりと言える」とする子供は、中2で 7.7 ポイント、17 歳で 6.4 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。「そう思う」は、中2で 8.2 ポイント、17 歳で 10.8 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

図表 3-19 【性別】自分の考えを他の人にしっかりと言える ＜単一回答＞

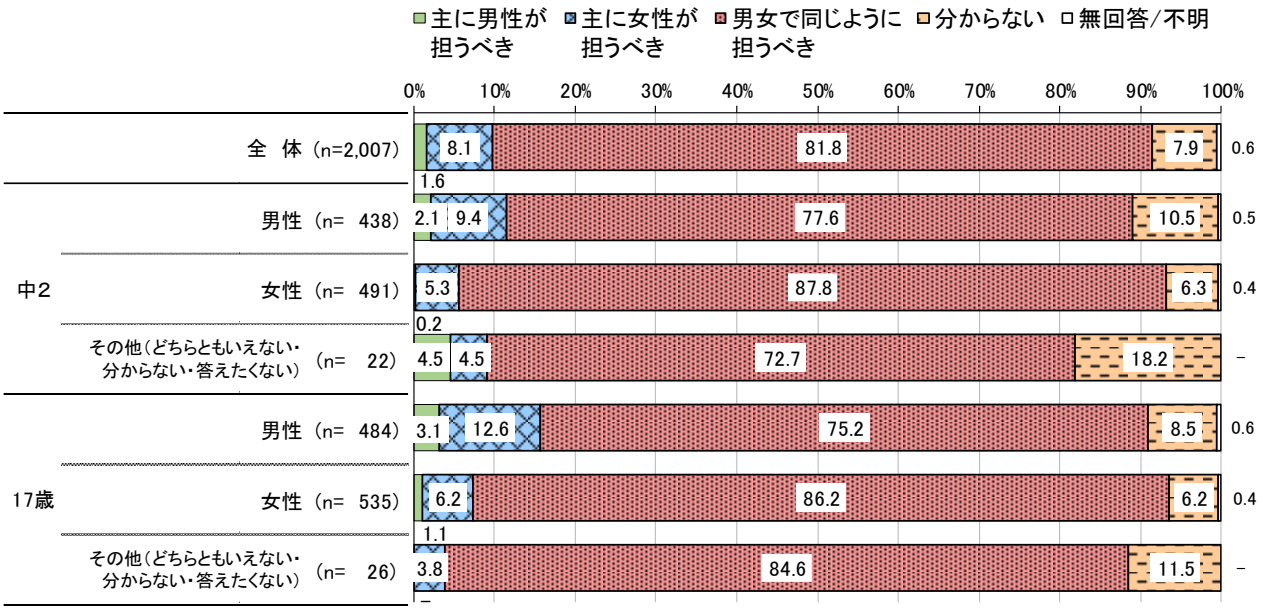


※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（A 家事）

中2、17 歳の男女ともに、「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 10.2 ポイント、17 歳では 11.0 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「主に女性が担うべき」は、17 歳では 6.4 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

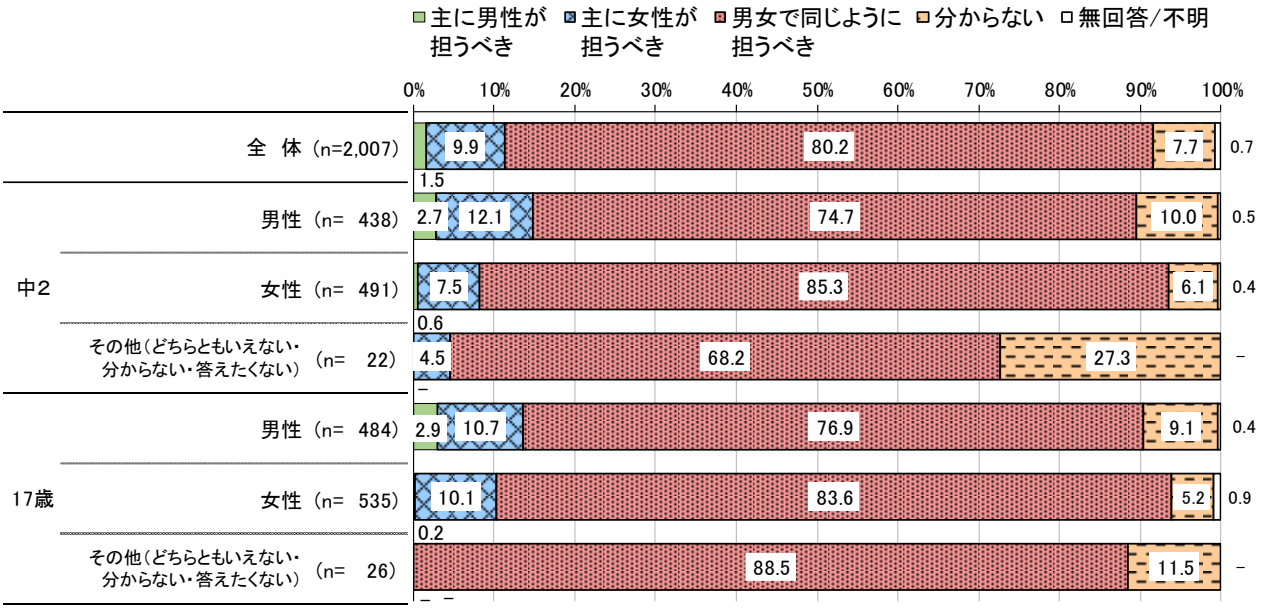
図表 3-20 【性別】家庭における男女の役割・家事 ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（B 育児）

中2、17 歳の男女ともに「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 10.6 ポイント、17 歳では 6.7 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

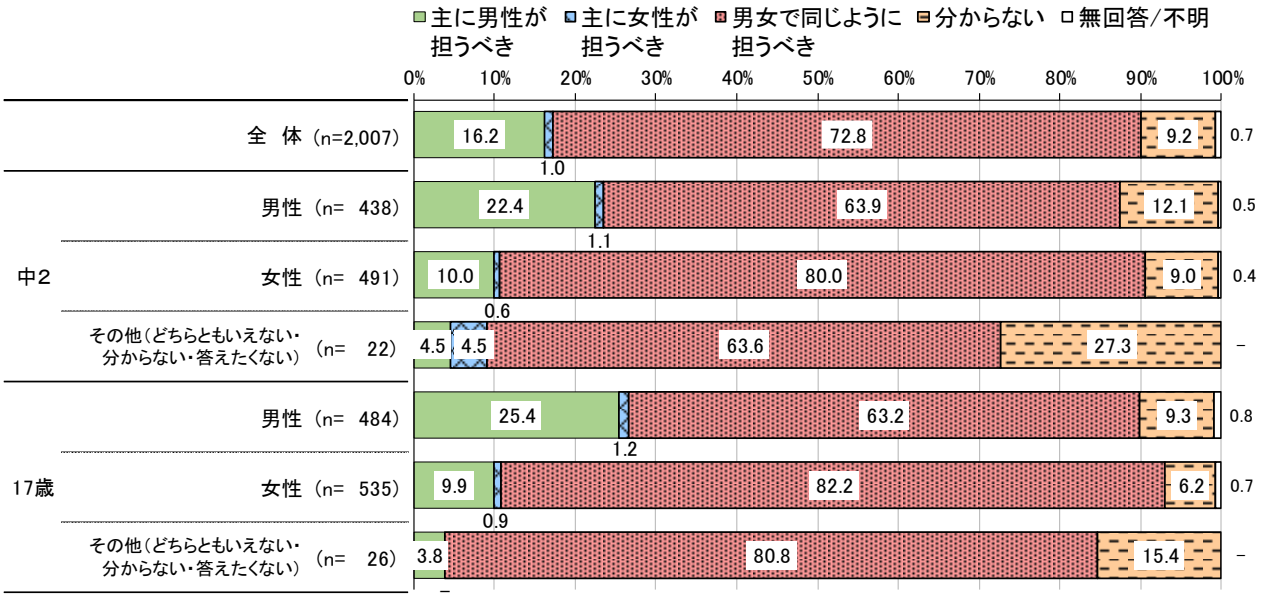
図表 3-21 【性別】家庭における男女の役割・育児 ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ 1 つ）
（C 仕事）

中2、17 歳の男女ともに「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 16.1 ポイント、17 歳では 19.0 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「主に男性が担うべき」は中2では 12.4 ポイント、17 歳では 15.5 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

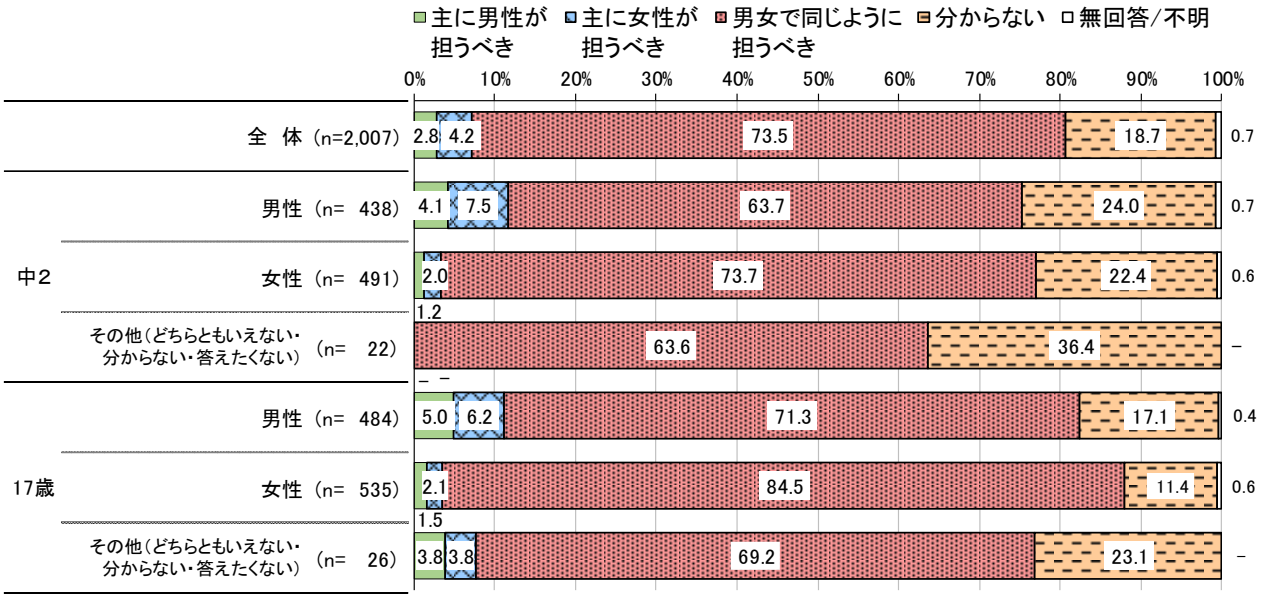
図表 3-22 【性別】家庭における男女の役割・仕事 ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 29. 以下の家庭における男女の役割について、あなたはどう思いますか。（それぞれ1つ）
（D　介護）

中2、17 歳の男女ともに「男女で同じように担うべき」が最も高いが、中2では 10.0 ポイント、17 歳では 13.2 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「主に女性が担うべき」は中2では 5.5 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

図表 3-23 【性別】家庭における男女の役割・介護 ＜単一回答＞



（子供：共通）問 34. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

小5では、「学習塾・習い事の場所」「自分の部屋」はそれぞれ 6.9 ポイント、6.1 ポイントの差で女性の方が男性より高く、「インターネット空間」は 9.2 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。中2では、「自分の部屋」は 5.6 ポイントの差で女性の方が男性より高く、「学校の教室」「友達の家」「地域（図書館、公民館、児童館、公園など）」はそれぞれ 11.1 ポイント、8.3 ポイント、6.5 ポイントの差で男性の方が女性より高い。17 歳では、「友達の家」「祖父母の家」「学校の教室」は、それぞれ 11.6 ポイント 7.9 ポイント、6.4 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

図表 3-24 【性別】あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所） ＜複数回答＞

(%)

			n	自分の部屋	自分の部屋以外の家の中	祖父母（おじいさん・おばあさん）・親戚（おじさん・おばさん・いとこなど）の家	友達の家	学校の教室	教室以外の学校内の場所	（17歳）職場・アルバイト先	地域（図書館、公民館、児童館、公園など）	学習塾・習い事の場所
全体			3,972	68.4	69.3	47.6	28.5	35.9	25.0	0.6	27.7	22.2
学年	小3	男性	498	48.8	79.3	58.8	34.9	44.2	28.1		41.2	33.7
		女性	502	47.6	81.7	56.6	30.5	45.2	26.3		41.2	32.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10	30.0	90.0	40.0	－	10.0	30.0		20.0	10.0
	小5	男性	463	56.8	80.1	62.0	37.8	43.4	30.9		38.0	28.3
		女性	474	62.9	75.5	64.1	38.8	44.9	32.1		39.9	35.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9	66.7	44.4	33.3	11.1	11.1	11.1		11.1	11.1
	中2	男性	438	76.7	62.8	41.8	34.2	38.6	25.6		24.2	18.5
		女性	491	82.3	66.2	43.6	25.9	27.5	24.2		17.7	15.7
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	59.1	54.5	27.3	13.6	18.2	18.2		18.2	18.2
	17歳	男性	484	86.8	53.5	33.1	21.3	27.1	19.2	1.9	10.1	8.1
		女性	535	86.0	57.4	25.2	9.7	20.7	15.3	2.2	11.4	7.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26	76.9	50.0	23.1	11.5	11.5	23.1	3.8	11.5	7.7

			インターネット空間（SNS、YouTube、オンラインゲームなど）	飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）	その他	居場所はない	無回答/不明	居場所がある（計）
全体			23.1	15.2	1.9	0.5	1.0	98.6
学年	小3	男性	15.9	16.9	1.8	0.4	1.2	98.4
		女性	11.2	16.9	2.6	0.4	1.4	98.2
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10.0	10.0	－	－	－	100.0
	小5	男性	24.4	16.0	1.9	0.2	1.9	97.8
		女性	15.2	15.4	1.5	0.2	1.7	98.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	33.3	22.2	－	－	11.1	88.9
	中2	男性	32.4	16.2	2.1	0.2	0.7	99.1
		女性	29.9	17.5	2.2	0.4	0.2	99.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	45.5	22.7	－	4.5	4.5	90.9
	17歳	男性	29.5	11.4	1.7	0.6	0.2	99.2
		女性	25.6	12.3	1.3	0.7	－	99.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	34.6	3.8	11.5	3.8	－	96.2

※居場所がある（計）は「自分の部屋」～「飲食店・商業施設（商店街・ショッピングモールなど）」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）

（A.明るく、楽しい気分で過ごした）

（B.落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

（C.意欲的で、活動的に過ごした）

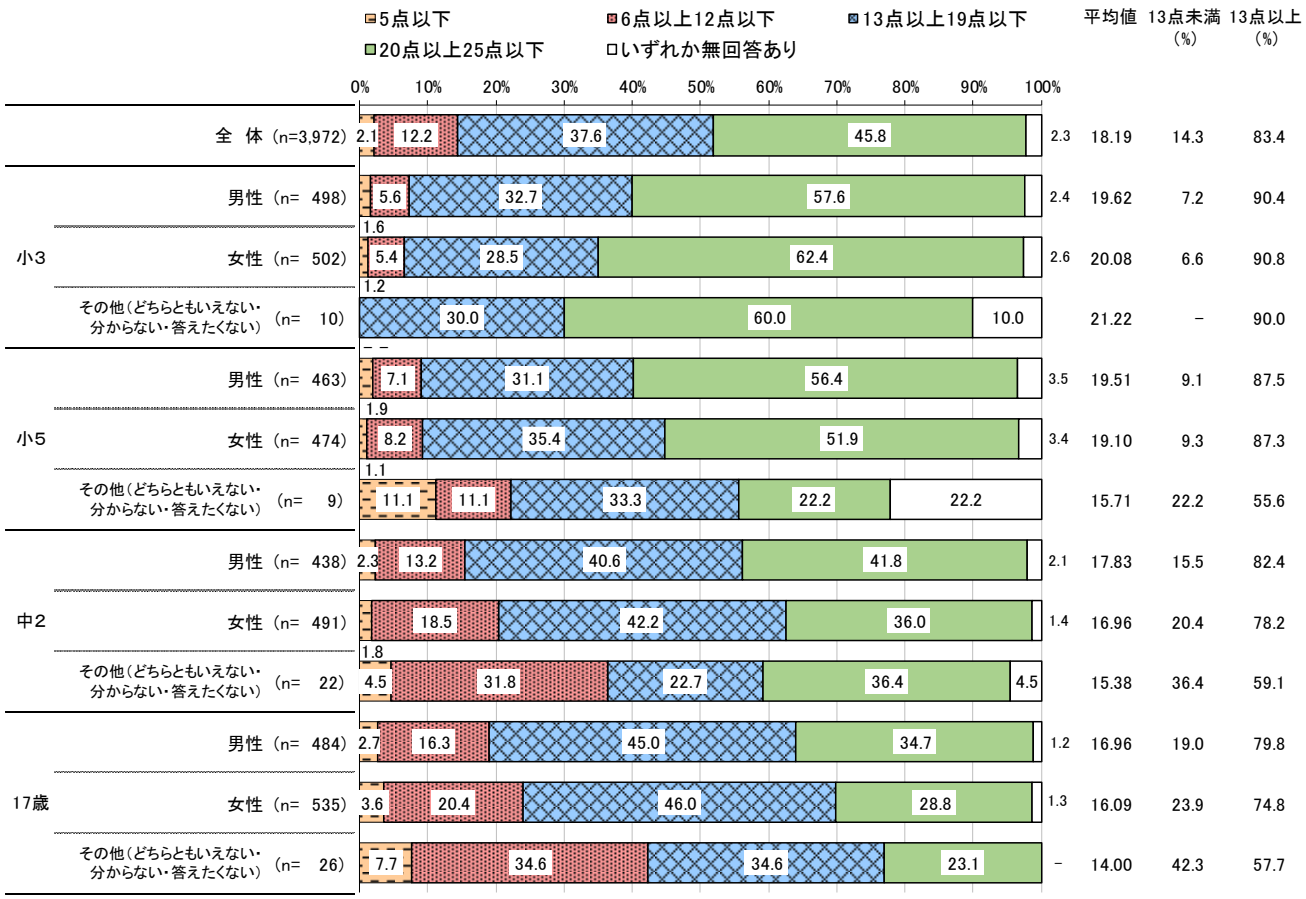
（D.ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

（E.日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問のＡからＥの各選択肢を0～5点で換算し、Ａからの合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

小5、中2、17 歳では、平均値は男性が女性より高い（小5は男性が 19.51、女性が 19.10、中2は男性が 17.83、女性が 16.96、17 歳は男性が 16.96、女性が 16.09）。中2では、「20 点以上 25 点以下」は 5.8 ポイントの差で、男性の方が女性より高く、「6点以上 12 点以下」は 5.3 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。17 歳では、「20 点以上 25 点以下」は 5.9 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

図表 3-25 【性別】精神的健康状態（WHO-5）



（子供：共通）問 36. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

小3では、「恋愛に関すること」は 5.2 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。小5では、「勉強に関すること」は 6.5 ポイントの差で、女性の方が男性より高く、「進学に関すること」は、5.3 ポイントの差で男性の方が女性より高い。中2では、「友達に関すること」「進学に関すること」「お金に関すること」「学校に関すること」「部活・クラブ活動に関すること」「将来に関すること」は、それぞれ 17.6 ポイント、8.1 ポイント、7.6 ポイント、7.2 ポイント、5.8 ポイント、5.3 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。17 歳では、「友達に関すること」「進学に関すること」「将来に関すること」「勉強に関すること」「自分の体や性に関すること」は、それぞれ 15.5 ポイント、12.7 ポイント、11.5 ポイント、6.0 ポイント、5.9 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-26 【性別】今、悩んでいること ＜複数回答＞

(%)

			n	勉強に関すること	(17歳)仕事に関すること	友達に関すること	家族に関すること	学校に関すること	(17歳、中2、小5)部活・クラブ活動に関すること	塾・習い事に関すること	進学に関すること	(17歳)就職に関すること
全体			3,972	47.9	4.2	22.9	8.6	16.4	12.8	13.0	29.1	5.5
学年	小3	男性	498	22.9		12.7	5.4	12.4		11.4	5.2	
		女性	502	20.9		14.5	4.8	9.6		12.0	4.4	
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	10	40.0		10.0	10.0	20.0		30.0	10.0	
	小5	男性	463	29.4		17.3	5.6	10.4	4.5	14.0	17.1	
		女性	474	35.9		25.3	7.2	11.4	2.7	15.8	11.8	
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	9	44.4		22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	22.2	
	中2	男性	438	64.2		18.7	8.2	16.4	21.9	14.6	34.9	
		女性	491	66.2		36.3	12.6	23.6	27.7	13.4	43.0	
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	22	54.5		45.5	22.7	45.5	31.8	27.3	54.5	
	17歳	男性	484	68.2	14.3	20.0	9.1	20.2	21.3	10.3	49.4	19.8
		女性	535	74.2	17.0	35.5	13.8	23.9	23.7	11.8	62.1	21.1
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	26	57.7	19.2	30.8	15.4	23.1	3.8	－	53.8	30.8

			恋愛に関すること	お金に関すること	自分の体や性に関すること	将来に関すること	インターネットやSNSの人間関係に関すること	(戦争や事件などの)ニュースに関すること	その他	悩みはない	無回答/不明	悩んでいることがある(計)
全体			13.3	18.7	10.0	29.3	3.1	13.6	1.4	25.7	1.3	73.0
学年	小3	男性	3.0	11.4	8.8	16.7	2.4	17.1	0.4	46.4	1.6	52.0
		女性	8.2	11.6	10.0	18.5	3.2	15.5	1.4	43.6	1.4	55.0
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	－	－	20.0	20.0	10.0	40.0	－	20.0	－	80.0
	小5	男性	9.9	13.0	7.1	24.6	2.2	19.2	1.1	34.6	2.8	62.6
		女性	11.4	14.3	8.9	21.7	2.1	16.2	0.8	32.5	2.7	64.8
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	11.1	33.3	33.3	33.3	11.1	33.3	－	22.2	11.1	66.7
	中2	男性	13.2	18.3	7.5	32.0	3.7	12.6	1.4	18.0	0.7	81.3
		女性	17.5	25.9	9.6	37.3	3.1	9.2	2.2	14.9	0.2	84.9
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	18.2	27.3	36.4	63.6	9.1	18.2	－	18.2	－	81.8
	17歳	男性	21.3	25.2	9.1	34.5	2.9	8.5	1.4	10.7	0.8	88.4
		女性	20.6	27.3	15.0	46.0	4.3	9.5	2.2	6.7	－	93.3
		その他(どちらともいえない・分からない・答えたくない)	23.1	34.6	34.6	46.2	7.7	19.2	3.8	7.7	－	92.3

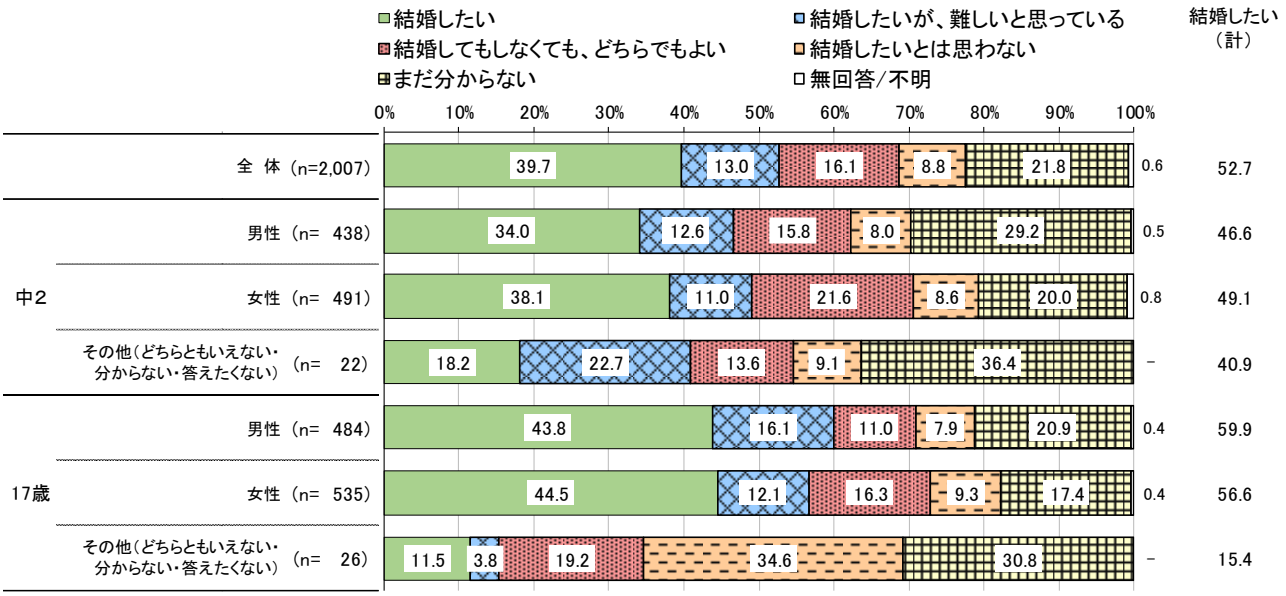
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

※悩んでいることがある(計)は「勉強に関すること」～「(戦争や事件などの)ニュースに関すること」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：17 歳、中2）問 41. あなたは将来、結婚したいと考えていますか。今つきあっている人がいるかどうかや、その人と結婚したいかどうかとは関係なく答えてください。（それぞれ1つ）

「結婚してもしなくても、どちらでもよい」は、中2では 5.8 ポイント、17 歳では 5.3 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。中2では、「まだ分からない」は、9.2 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。

図表 3-27 【性別】将来、結婚したいと考えているか ＜単一回答＞



（子供：17 歳、中2）問 42. あなたは、「結婚」についてどのようなイメージを持っていますか。（いくつでも）

「お金がかかる」は、中2で 5.9 ポイント、17 歳で 8.0 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。中2では、「好きな人と一緒に暮らせる」は 6.3 ポイント、「家事などの負担が増える」は 6.4 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。17 歳では、「お金に余裕ができる」は 6.1 ポイント、「自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる」は 5.9 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-28 【性別】「結婚」についてどのようなイメージを持っているか ＜複数回答＞

(%)

			n	好きな人と一緒に暮らせる	親／保護者など周囲が安心する	お金に余裕ができる	精神的な安らぎの場が得られたり、寂しさを感じなくなる	お金がかかる	自分の時間が取れなくなる	自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる
全　体			2,007	64.7	18.7	11.7	45.7	24.2	23.5	10.1
学年	中2	男性	438	60.5	18.7	10.5	45.0	26.7	18.5	8.2
		女性	491	66.8	19.6	14.9	44.8	20.8	23.2	10.4
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	45.5	13.6	9.1	45.5	27.3	27.3	9.1
	17歳	男性	484	66.1	17.6	7.9	48.1	29.1	22.9	7.6
		女性	535	67.7	20.4	14.0	46.5	21.1	27.9	13.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26	34.6	－	3.8	15.4	7.7	26.9	11.5

			家事などの負担が増える	まだ分からない	その他	無回答／不明	結婚のイメージを持っている（計）
全　体			24.7	14.9	2.4	0.6	84.5
学年	中2	男性	23.1	18.7	1.6	0.5	80.8
		女性	29.5	15.3	2.4	0.6	84.1
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22.7	27.3	9.1	－	72.7
	17歳	男性	21.9	15.1	1.7	0.2	84.7
		女性	24.7	10.3	3.0	0.4	89.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	15.4	26.9	11.5	3.8	69.2

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※結婚のイメージがある（計）は、「好きな人と一緒に暮らせる」～「家事などの負担が増える」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：17 歳、中2）問 15. あなたは「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っていますか。
（いくつでも）

「家事や育児の負担が増える」「自分の時間が取れなくなる」「自分の仕事（キャリア）や働き方に支障が出る」は、中2ではそれぞれ 14.2 ポイント、13.3 ポイント、8.1 ポイントの差で、17 歳ではそれぞれ 15.0 ポイント、11.3 ポイント、17.6 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「子供を育てることは自然なこと」は、中2で 5.8 ポイント、17 歳で 6.7 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。また、中2では、「お金がかかる」は 7.8 ポイントの差で、女性の方が男性より高いほか、17 歳では、「好きな人と一緒に子育てができる」は 5.8 ポイントの差で、男性の方が女性より高く、「子供をうまく育てられる自信がない」は 8.3 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-29 【性別】「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っているか ＜複数回答＞

(%)

			n	子供がいると生活が楽しく豊かになる	好きな人と一緒に子育てができる	親／保護者など周囲が安心する	子供を育てることは自然なこと	子供をうまく育てられる自信がない	お金がかかる	自分の時間が取れなくなる
全　体			2,007	59.6	30.3	15.7	11.2	27.3	53.5	39.3
学年	中2	男性	438	58.9	33.3	16.0	13.7	23.5	45.2	31.3
		女性	491	63.3	28.7	16.1	7.9	28.5	53.0	44.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	50.0	18.2	31.8	13.6	36.4	50.0	40.9
	17歳	男性	484	59.1	33.7	15.1	15.3	23.3	54.1	33.7
		女性	535	58.9	27.9	15.7	8.6	31.6	60.2	45.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26	34.6	3.8	3.8	－	38.5	53.8	53.8

			自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる	家事や育児の負担が増える	まだ分からない	その他	無回答／不明	育児のイメージを持っている（計）
全　体			20.6	42.9	10.1	2.8	0.2	89.7
学年	中2	男性	15.3	34.9	14.2	1.4	0.2	85.6
		女性	23.4	49.1	10.6	3.7	0.4	89.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	31.8	59.1	18.2	22.7	－	81.8
	17歳	男性	11.6	34.9	8.9	1.9	0.2	90.9
		女性	29.2	49.9	6.7	3.2	－	93.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	34.6	46.2	15.4	7.7	－	84.6

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

※育児のイメージを持っている（計）は、「子供がいると生活が楽しく豊かになる」～「家事や育児の負担が増える」「その他」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 37. あなたは過去 1 年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

17 歳では、「嫌な経験をしたことがある（計）」は 6.7 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。「特に嫌な経験はしていない」は、中2で 6.1 ポイント、17 歳で 5.9 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。「暴力を受けた」は、小3では 6.3 ポイント、小5では 8.6 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。「無視をされた、仲間外れにされた」は小5で 5.0 ポイントの差で、「暴言や傷つくこと言われた」は 17 歳で 5.2 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-30 【性別】過去 1 年以内の嫌な経験（インターネット上除く） ＜複数回答＞

(%)

			n	暴言や傷つくことを言われた	無視をされた、仲間外れにされた	いじめを受けた	性別による差別を受けた	国籍・人種による差別を受けた	暴力を受けた	その他の嫌な経験
全　体			3,972	22.3	12.0	6.5	1.7	0.5	7.2	2.5
学年	小3	男性	498	29.3	14.3	14.3	2.6	0.6	16.3	2.0
		女性	502	28.3	17.5	9.8	1.8	0.2	10.0	4.0
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	10	20.0	10.0	20.0	－	－	－	－
	小5	男性	463	27.9	12.3	10.8	2.2	－	14.7	2.2
		女性	474	24.9	17.3	6.3	1.9	0.6	6.1	2.5
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	9	55.6	11.1	11.1	－	－	22.2	－
	中2	男性	438	19.6	7.5	3.9	0.9	0.5	6.4	0.7
		女性	491	21.2	11.2	3.7	1.4	0.4	2.2	3.3
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22	22.7	13.6	9.1	4.5	－	4.5	9.1
	17歳	男性	484	11.4	5.4	1.2	0.8	1.0	1.0	1.4
		女性	535	16.6	10.3	2.1	1.3	0.7	1.9	2.8
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	26	7.7	7.7	－	11.5	－	3.8	19.2

			特に嫌な経験はしていない	無回答／不明	嫌な経験をしたことがある（計）
全　体			67.4	2.2	30.3
学年	小3	男性	59.8	2.4	37.8
		女性	57.6	2.8	39.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	70.0	－	30.0
	小5	男性	60.9	4.5	34.6
		女性	62.0	3.2	34.8
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	22.2	11.1	66.7
	中2	男性	74.9	0.9	24.2
		女性	68.8	1.2	29.9
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	54.5	－	45.5
	17歳	男性	81.4	1.7	16.9
		女性	75.5	0.9	23.6
		その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）	65.4	－	34.6

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

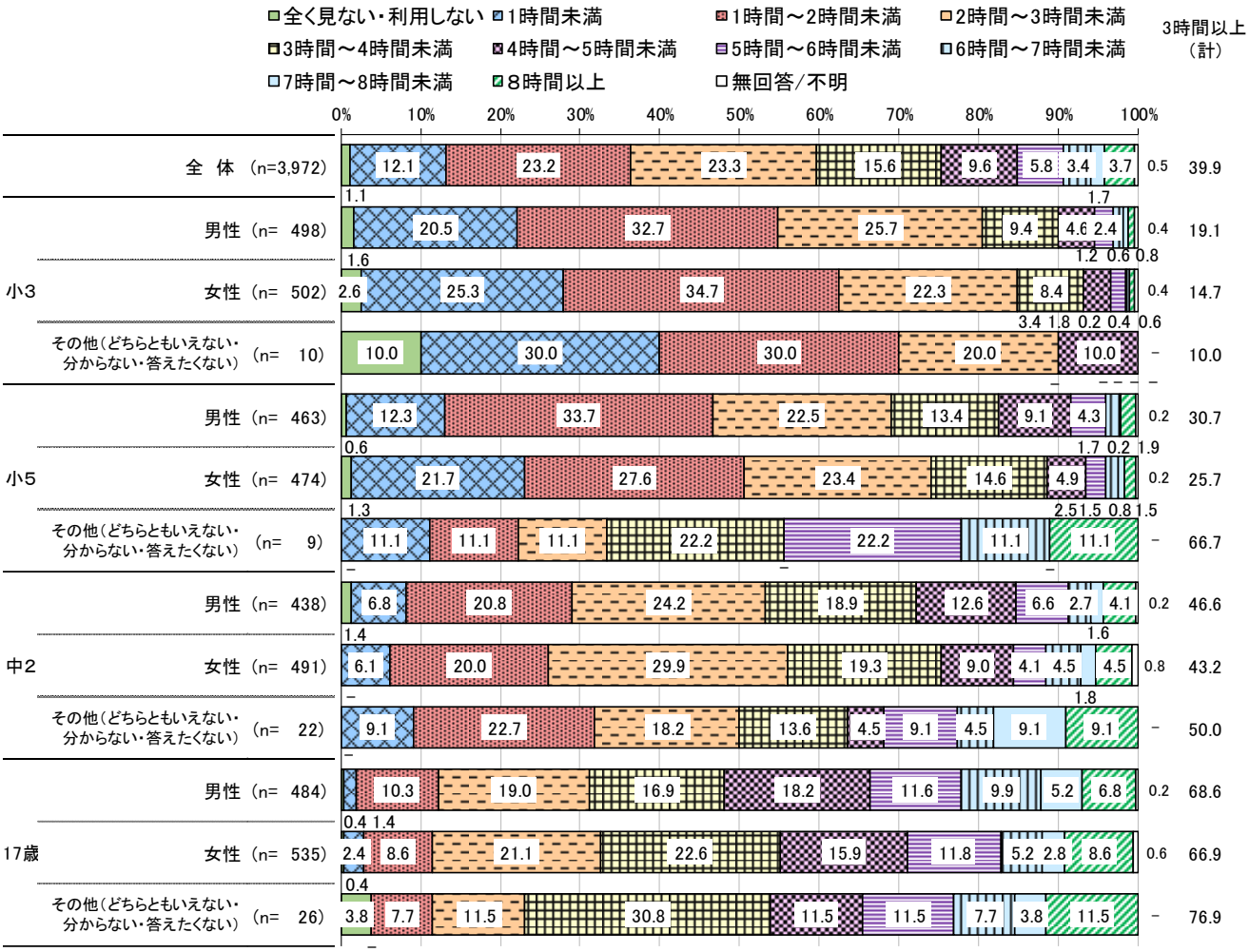
※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくこと言われた」～「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 44. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

小5では「1時間未満」は 9.4 ポイントの差で、女性の方が男性より高く、「1時間～2時間未満」が 6.1 ポイントの差で、男性の方が女性より高い。17 歳では「3時間～4時間未満」が 5.7 ポイントの差で、女性の方が男性より高い。

図表 3-31 【性別】平日、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間

＜単一回答＞



（2）テーマ別

意見表明、学校生活、体験活動・遊びなど、今後の子供政策の検討に資すると考えられるテーマごとに、設問間の個別クロス集計を実施した。

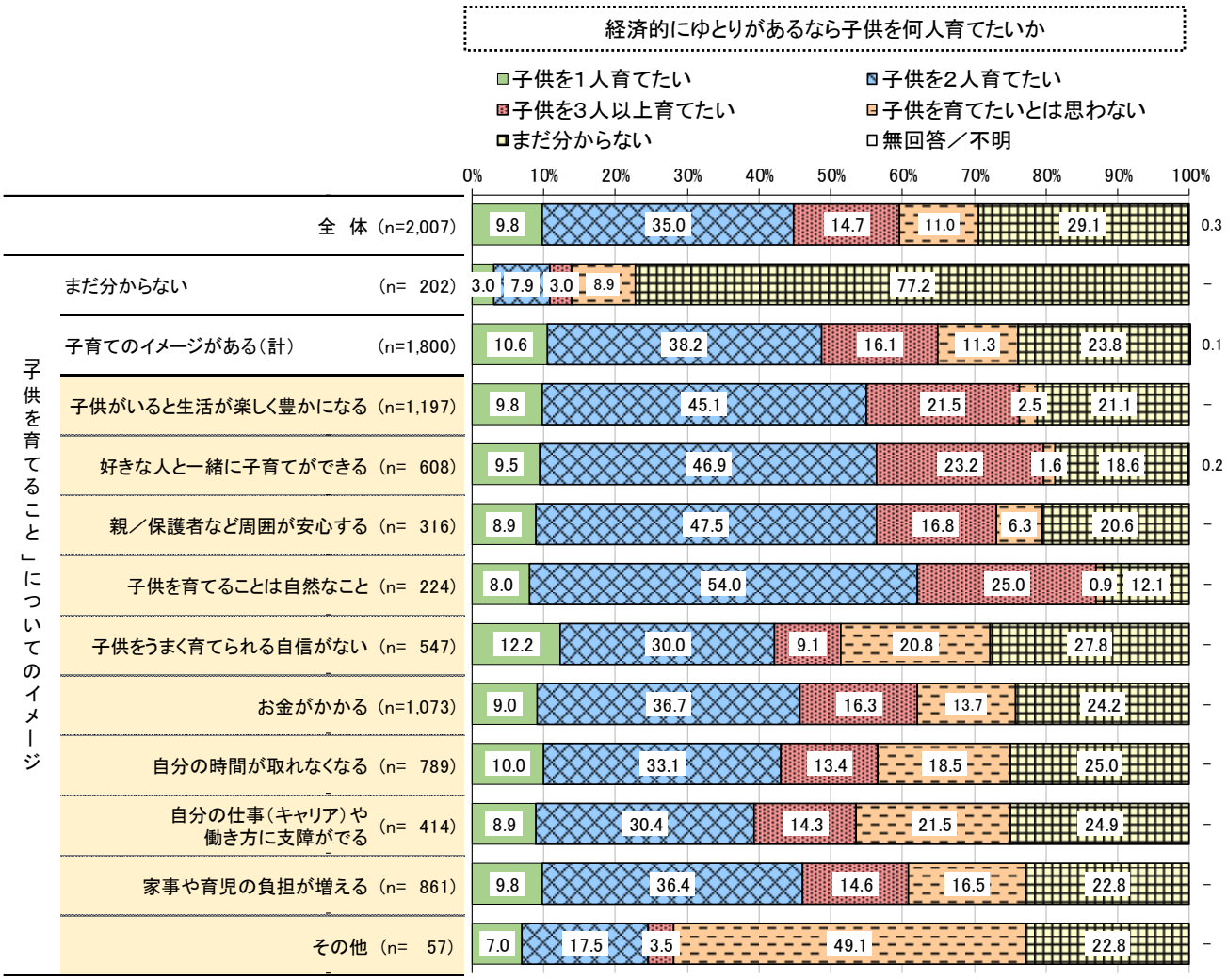
【子供の意識】

（子供：17 歳、中2）問 15. あなたは「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っていますか。
（いくつでも）

（子供：17 歳、中2）問 14. あなたが将来、経済的にゆとりがあるとしたら、子供を何人育てたいと考えますか。
（1つだけ）

「子供を育てること」のイメージの回答別に「経済的にゆとりがあるなら子供を何人育てたいか」をみると、何らか「子育てのイメージがある（計）」と回答した子供では、「子供を2人育てたい」が 38.2％で最も高い。一方、「子供を育てること」のイメージについて「まだ分からない」と回答した子供では、「子供を2人育てたい」は 7.9％で、「まだ分からない」が 77.2％である。

図表 3-32 「子供を育てること」についてのイメージ × 経済的にゆとりがあるなら子供を何人育てたいか



（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H 子育てを楽しんでいる）

（子供：17 歳、中2）問 15. あなたは「子供を育てること」について、どのようなイメージを持っていますか。
（いくつでも）

保護者の「子育てを楽しんでいる」の回答別に子供の「子供を育てること」についてのイメージをみると、「6」以上と回答した保護者の子供では、「子供がいると生活が楽しく豊かになる」が最も高い。

図表 3-33 （保護者）子育てを楽しんでいる × （子供）「子供を育てること」についてのイメージ

（子供）「子供を育てること」についてのイメージ

(%)

		n	子供がいると生活が楽しく豊かになる	好きな人と一緒に子育てができる	親／保護者など周囲が安心する	子供を育てることは自然なこと	子供をうまく育てられる自信がない	お金がかかる	自分の時間が取れなくなる
全 体		1,659	60.5	30.7	16.3	11.5	26.9	53.2	38.8
（保護者）子育てを楽しんでいる	0	24	37.5	25.0	12.5	8.3	29.2	50.0	41.7
	1	21	33.3	19.0	4.8	－	19.0	38.1	23.8
	2	36	52.8	16.7	16.7	8.3	13.9	47.2	33.3
	3	54	50.0	31.5	13.0	3.7	29.6	59.3	37.0
	4	62	45.2	30.6	12.9	17.7	27.4	45.2	33.9
	5	207	52.2	25.1	16.4	13.0	28.5	59.9	44.0
	6	128	62.5	30.5	21.1	12.5	31.3	60.9	45.3
	7	244	56.6	27.5	14.8	11.1	25.8	51.6	40.2
	8	311	66.2	33.4	16.7	11.3	29.9	54.0	38.9
	9	188	65.4	38.3	17.0	11.2	27.1	51.6	40.4
	10	373	68.1	32.2	16.6	12.6	23.1	49.6	34.3

		n	自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる	家事や育児の負担が増える	まだ分からない	その他	無回答／不明	イメージを持っている（計）
全 体		1,659	20.6	42.4	10.2	2.7	0.2	89.5
（保護者）子育てを楽しんでいる	0	24	16.7	41.7	8.3	12.5	－	91.7
	1	21	4.8	28.6	28.6	4.8	－	71.4
	2	36	16.7	30.6	19.4	－	－	80.6
	3	54	24.1	31.5	11.1	－	－	88.9
	4	62	19.4	32.3	16.1	1.6	－	83.9
	5	207	22.7	47.3	10.6	2.4	1.0	88.4
	6	128	26.6	46.9	8.6	4.7	－	91.4
	7	244	19.7	43.4	11.5	1.2	－	88.5
	8	311	21.5	47.9	9.0	2.3	－	91.0
	9	188	21.8	42.0	9.6	1.1	－	90.4
	10	373	17.7	38.1	8.6	4.0	0.5	90.9

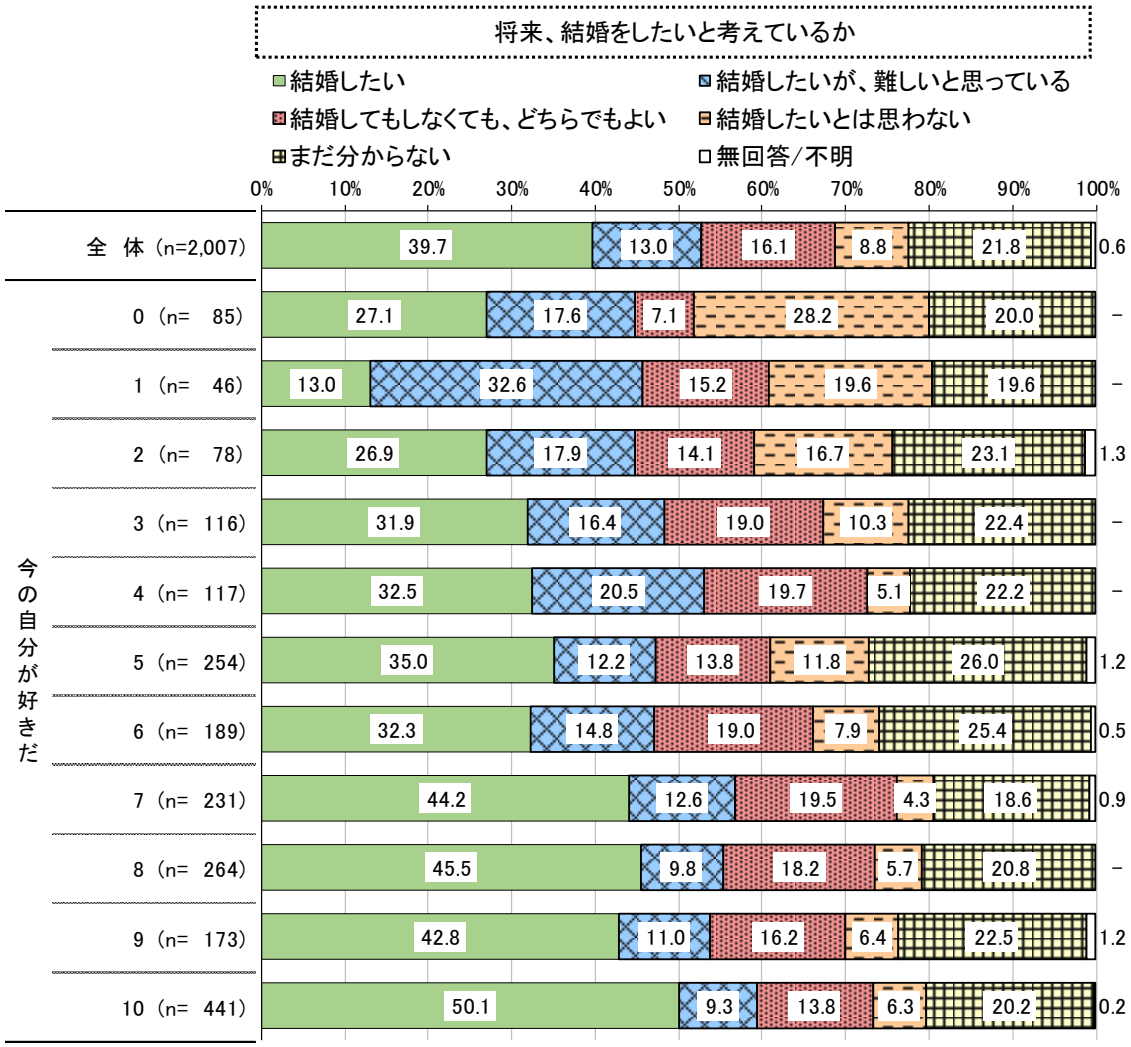
1位 2位 3位 4位 5位 6位以下

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

（子供：17 歳、中2）問 41. あなたは将来、結婚したいと考えていますか。今つきあっている人がいるかどうかや、その人と結婚したいかどうかとは関係なく答えてください。（1つだけ）

「今の自分が好きだ」の回答別に「将来、結婚をしたいと考えているか」をみると、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）と回答した子供では、「結婚したい」が 50.1%である。一方、「今の自分が好きだ」に「0」（全くあてはまらない）と回答した子供では、「結婚したい」が 27.1%である。

図表 3-34　今の自分が好きだ　×　将来、結婚をしたいと考えているか



（子供：共通）問 33. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　家族との関係は良好である）

（子供：17 歳、中2）問 42. あなたは、「結婚」についてどのようなイメージを持っていますか。（いくつでも）

「家族との関係は良好である」の回答別に「結婚」についてのイメージをみると、「5」以上と回答した子供では概ね、良好と回答した子供ほど、「好きな人と一緒に暮らせる」、「精神的な安らぎの場が得られたり、寂しさを感じなくなる」イメージを持っている傾向にある。

図表 3-35　家族との関係は良好である　×　「結婚」についてのイメージ

「結婚」についてのイメージ

(%)

		n	好きな人と一緒に暮らせる	親／保護者など周囲が安心する	お金に余裕ができる	精神的な安らぎの場が得られたり、寂しさを感じなくなる	お金がかかる	自分の時間が取れなくなる	自分の仕事（キャリア）や働き方に支障がでる
全　体		2,007	64.7	18.7	11.7	45.7	24.2	23.5	10.1
家族との関係は良好である	0	19	52.6	10.5	5.3	36.8	31.6	42.1	21.1
	1	6	16.7	－	16.7	－	－	16.7	－
	2	10	50.0	20.0	10.0	40.0	10.0	20.0	－
	3	35	51.4	14.3	8.6	37.1	28.6	31.4	25.7
	4	42	52.4	11.9	9.5	40.5	21.4	31.0	9.5
	5	118	45.8	13.6	5.9	29.7	17.8	27.1	8.5
	6	115	61.7	12.2	8.7	37.4	20.0	26.1	11.3
	7	194	61.3	16.0	12.9	42.3	30.4	32.0	8.2
	8	274	63.1	20.1	15.3	48.9	23.7	22.3	10.9
	9	327	63.6	19.0	9.2	44.0	26.3	25.7	10.7
	10	862	71.5	21.2	12.9	50.8	23.8	19.3	9.4

		n	家事などの負担が増える	まだ分からない	その他	無回答／不明	イメージを持っている（計）
全　体		2,007	24.7	14.9	2.4	0.6	84.5
家族との関係は良好である	0	19	36.8	15.8	5.3	－	84.2
	1	6	16.7	16.7	66.7	－	83.3
	2	10	－	20.0	10.0	－	80.0
	3	35	22.9	20.0	5.7	－	80.0
	4	42	23.8	19.0	14.3	－	81.0
	5	118	20.3	22.9	3.4	2.5	74.6
	6	115	25.2	17.4	3.5	－	82.6
	7	194	28.9	17.0	2.1	－	83.0
	8	274	26.3	15.7	1.5	0.4	83.9
	9	327	25.4	18.3	1.5	0.3	81.3
	10	862	23.7	11.1	1.5	0.6	88.3

1位　2位　3位　4位　5位　6位以下

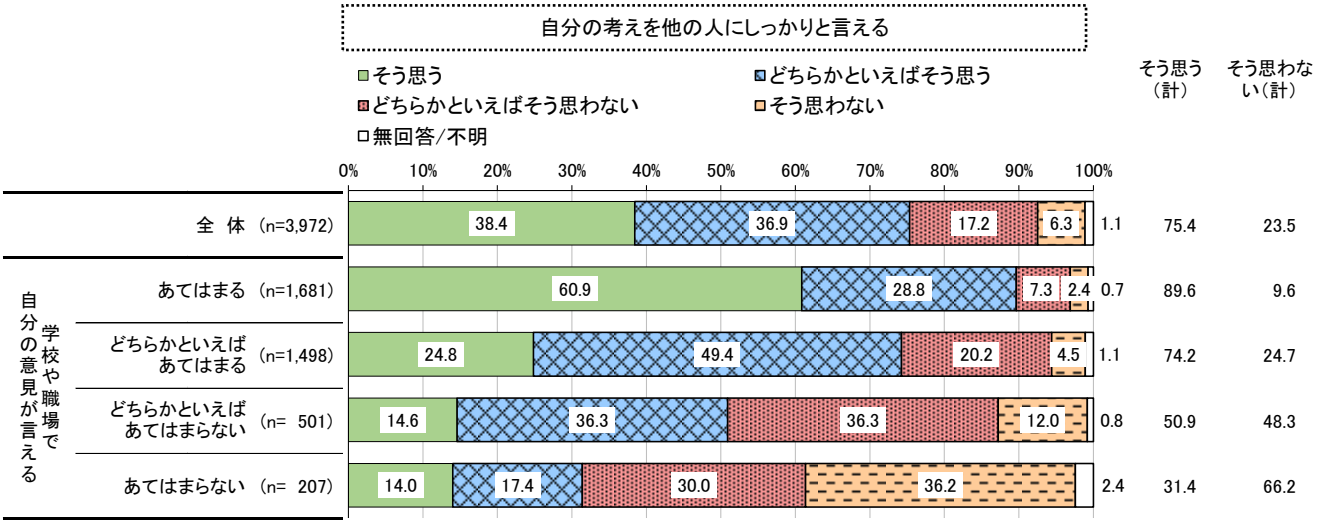
【子供の意見表明】

（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

（子供：共通）問 28. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

「学校や職場で自分の意見が言える」の回答別に「自分の考えを他の人にしっかりと言える」をみると、「学校や職場で自分の意見が言える」に「あてはまる」と回答した子供の 89.6%は、「自分の考えを他の人にしっかりと言える（そう思う（計））」としている。一方、「学校や職場で自分の意見が言える」に「あてはまらない」と回答した子供では 31.4%である。

図表 3-36　学校や職場で自分の意見が言える　×　自分の考えを他の人にしっかりと言える



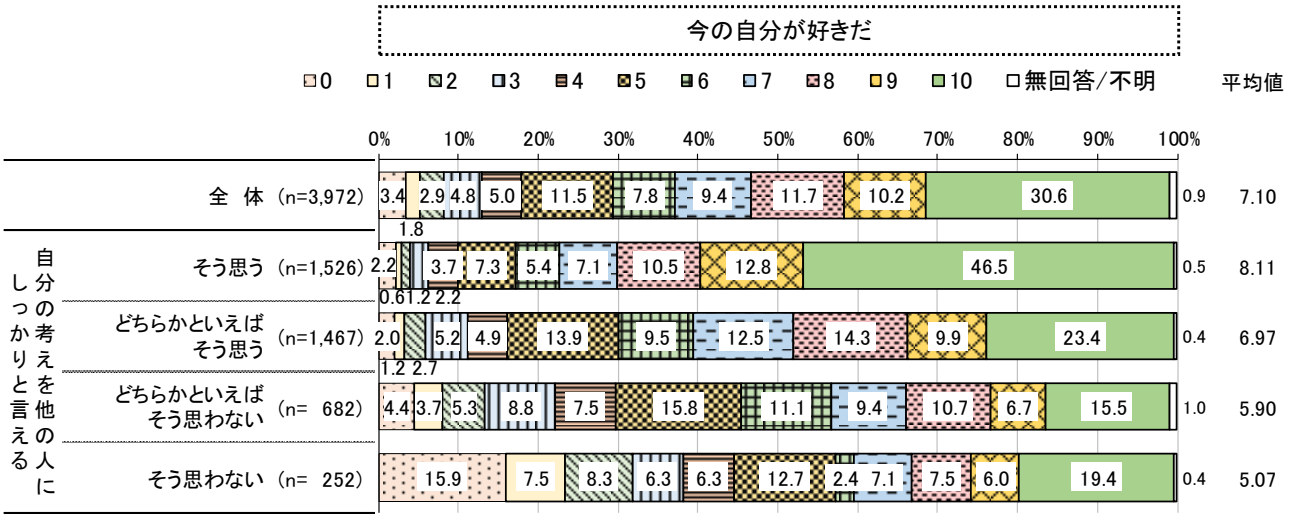
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 28. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）。
（B　自分の考えを他の人にしっかりと言える）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

「自分の考えを他の人にしっかりと言える」の回答別に「今の自分が好きだ」をみると、「自分の考えを他の人にしっかりと言える」に「そう思う」と回答した子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 46.5%で、平均値は 8.11 である。「自分の考えを他の人にしっかりと言える」に「そう思わない」と回答した子供では、「10」（とてもあてはまる）と回答したのは 19.4%、「0」（全くあてはまらない）が 15.9%で、平均値は 5.07 である。

図表 3-37　自分の考えを他の人にしっかりと言える × 今の自分が好きだ



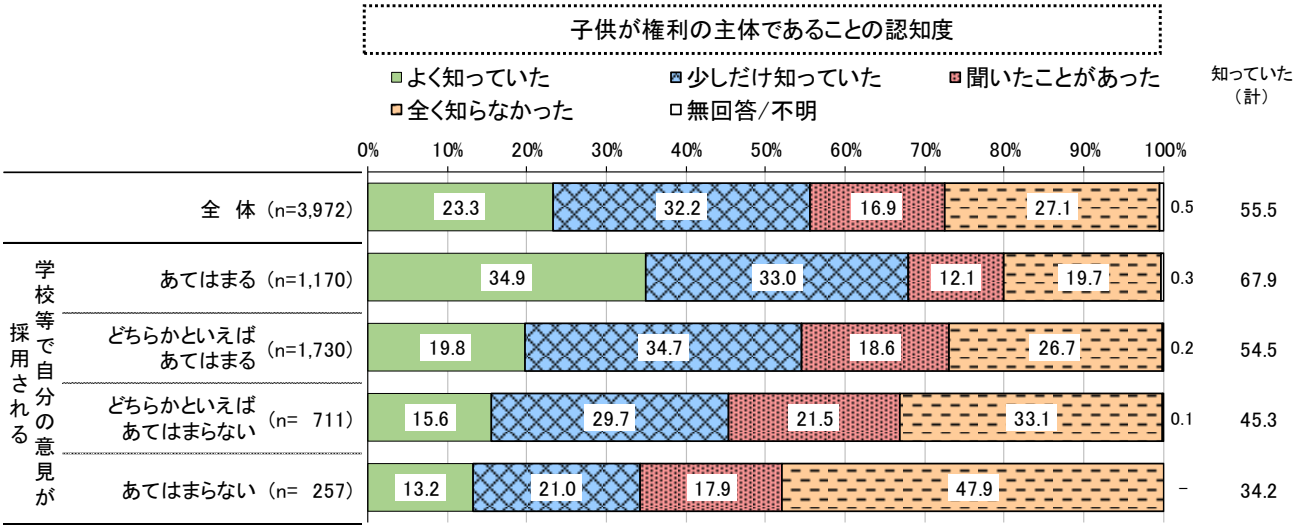
※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（C　自分の意見が採用される）

（子供：共通）問 45. すべての子供は同じひとりの人間としてたくさんの権利を持っています。子供だけが持つ権利もあります。あなたは、このアンケートが家に届くまでに、子供が権利の主体であることを知っていましたか。（1つだけ）

「学校等で自分の意見が採用される」の回答別に「子供が権利の主体であることの認知度」をみると、「あてはまる」と回答した子供では、「知っていた（計）」が 67.9%、「あてはまらない」と回答した子供では「知っていた（計）」が 34.2%である。

図表 3-38　学校等で自分の意見が採用される × 子供が権利の主体であることの認知度



※知っていた（計）は「よく知っていた」及び「少しだけ知っていた」の割合。

【安全安心】

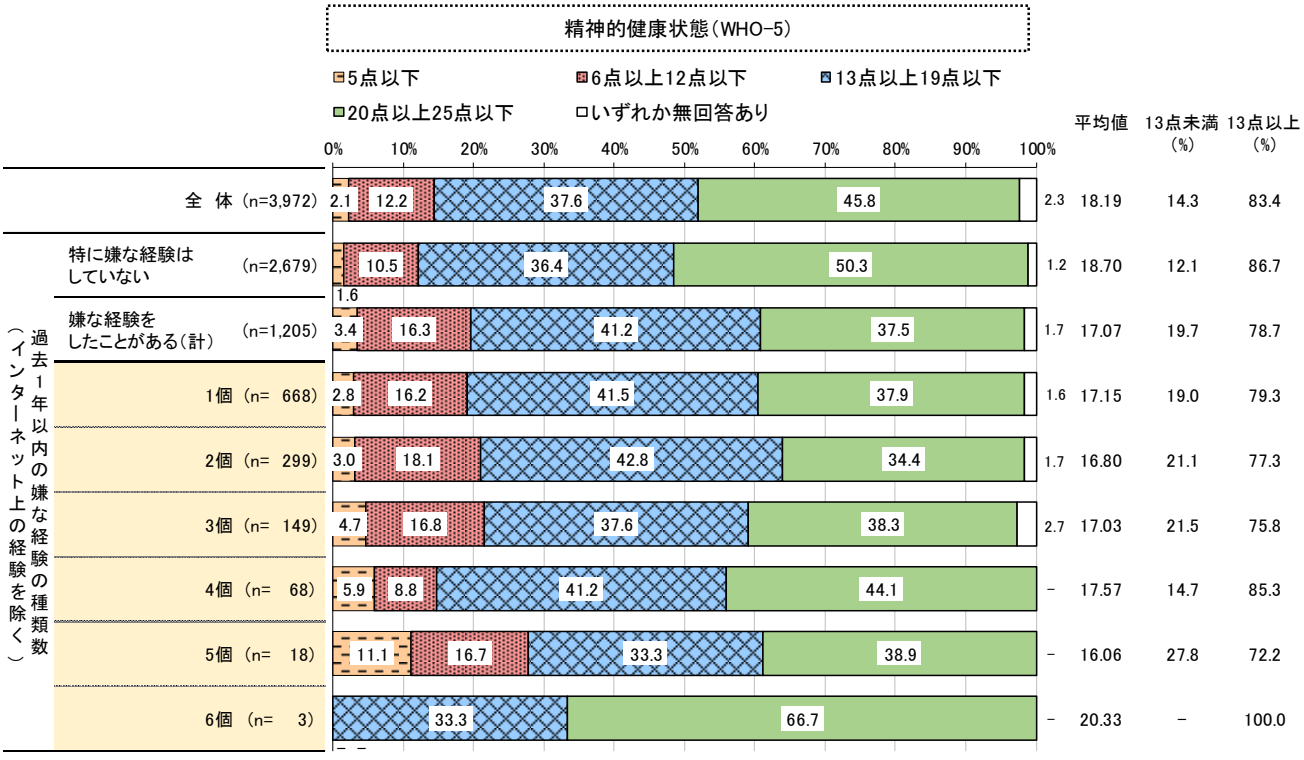
（子供：共通）問 37. あなたは過去1年以内に、次のような経験をしたことがありますか。インターネット上での経験は除きます。（いくつでも）

（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A.明るく、楽しい気分で過ごした）
（B.落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C.意欲的で、活動的に過ごした）
（D.ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた
（E.日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

「過去1年以内の嫌な経験（インターネット上での経験を除く）の種類数」別に「精神的健康状態（WHO-5）」をみると、「特に嫌な経験はしていない」子供では、「20 点以上 25 点以下」は 50.3%で、平均値は 18.70 である。何らか「嫌な経験をしたことがある（計）」の子供では、「20 点以上 25 点以下」が 37.5%で、平均値は 17.07 である。

図表 3-39 過去 1 年以内の嫌な経験の種類数 × 精神的健康状態（WHO-5）



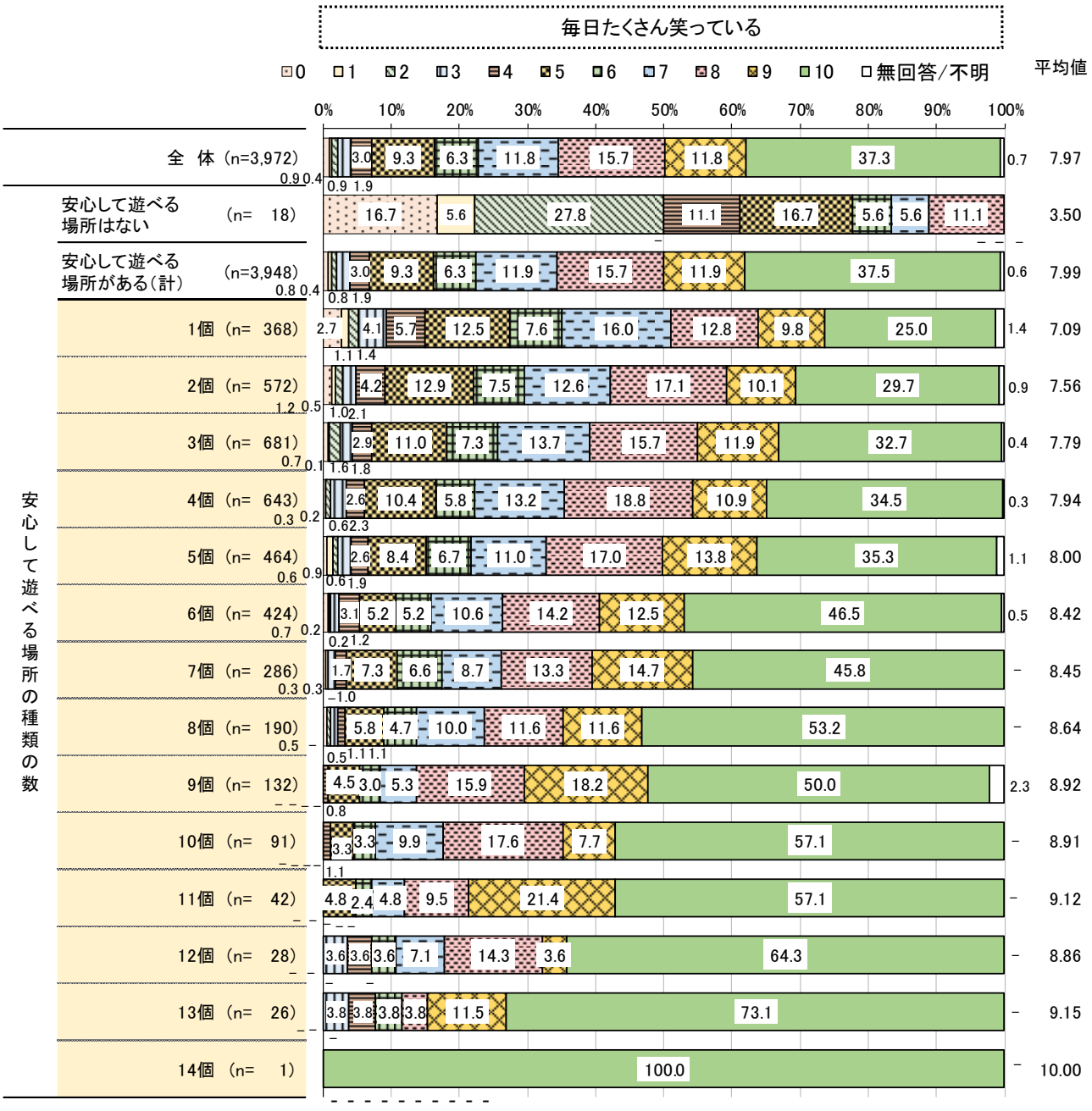
※嫌な経験をしたことがある（計）は「暴言や傷つくことを言われた」「無視をされた、仲間外れにされた」「いじめを受けた」「性別による差別を受けた」「国籍・人種による差別を受けた」「暴力を受けた」「その他の嫌な経験」のいずれかを選択した子供の割合。

（子供：共通）問 5. あなたが安心して遊べる場所はどこですか。（いくつでも） ※回答の数をカウント

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 毎日たくさん笑っている）

「安心して遊べる場所の種類の数」別に「毎日たくさん笑っている」をみると、安心して遊べる場所の種類の数が多い子供ほど、「毎日たくさん笑っている」に「10」（「とてもあてはまる」）と回答した割合が概ね高くなる傾向にある。「1個」では、「10」（「とてもあてはまる」）は 25.0%のところ、「8個」以上では 50%以上である。

図表 3-40 安心して遊べる場所の種類の数 × 毎日たくさん笑っている



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

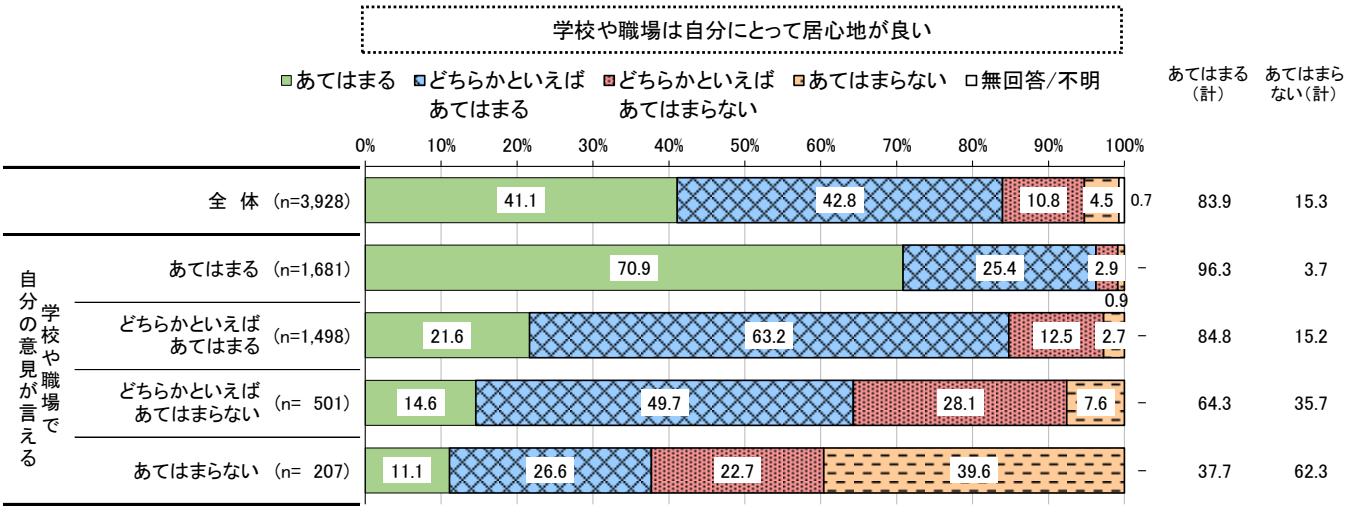
【学校生活】

（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（B　自分の意見が言える）

（子供：共通）問 26.【問 21 で「学校に所属している」「就労している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。
（それぞれ1つ）
（A　自分にとって居心地が良い）

「学校や職場で自分の意見が言える」の回答別に「学校や職場は自分にとって居心地が良い」をみると、「学校や職場で自分の意見が言える」に「あてはまる」と回答した子供の 96.3%は、「学校や職場は自分にとって居心地が良い（あてはまる（計））」としている。学校や職場で自分の意見が言えない（「あてはまらない」）と回答した子供では、37.7%である。

図表 3-41　学校や職場で自分の意見が言える × 学校や職場は自分にとって居心地が良い



※あてはまる（計）は「あてはまる」及び「どちらかといえばあてはまる」の割合。
あてはまらない（計）は「あてはまらない」及び「どちらかといえばあてはまらない」の割合。

（子供：共通）問 26.【問 21 で「1　学校に所属している」「2　就労している」と答えた方にお聞きします。】

あなたの学校や職場は、次のことがどれくらいあてはまりますか。学校に所属しながらのアルバイトは除きます。

（それぞれ1つ）

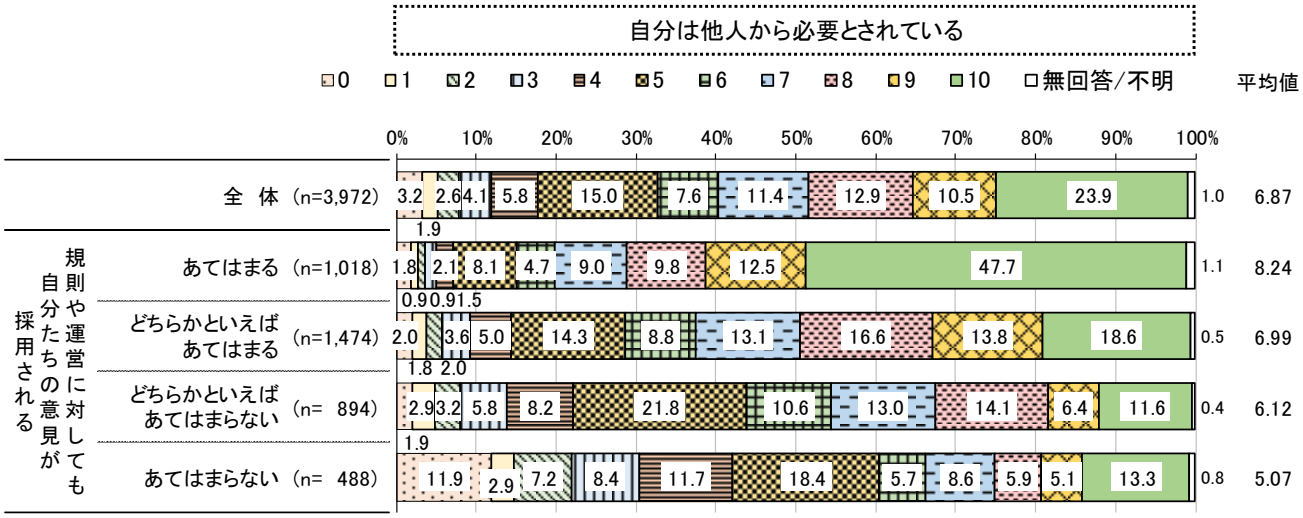
（G　規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）

（F　自分は他人から必要とされている）

「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」の回答別に「自分は他人から必要とされている」をみると、「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」に「あてはまる」と回答した子供では、「自分は他人から必要とされている」に「10」（とてもあてはまる）と回答した割合が 47.7％で、平均値は 8.24 である。「規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される」に「あてはまらない」と回答した子供では、「10」（とてもあてはまる）が 13.3％、「0」（全くあてはまらない）が 11.9％で、平均値は 5.07 である。

図表 3-42　規則や運営に対しても自分たちの意見が採用される　×　自分は他人から必要とされている



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

【学び・成長】

（子供：共通）問 17. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）

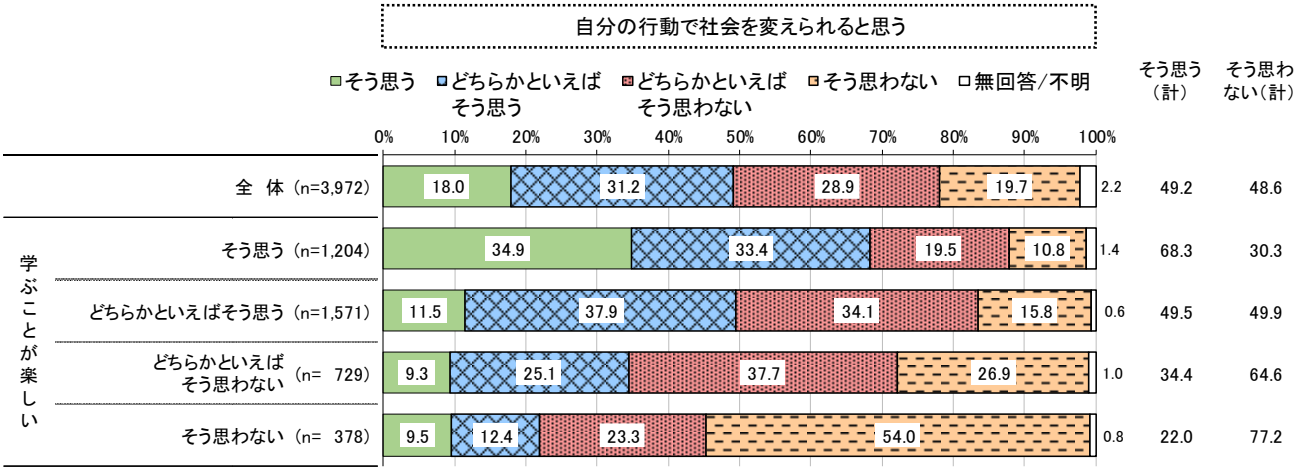
（C　学ぶことが楽しい）

（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）

（F　自分の行動で社会を変えられると思う）

「学ぶことが楽しい」の回答別に「自分の行動で社会を変えられると思う」をみると、「学ぶことが楽しい」に「そう思う」と回答した子供の 68.3%は、「自分の行動で社会を変えられると思う（「そう思う（計）」）」としている。「学ぶことが楽しい」に「そう思わない」と回答した子供では 22.0%である。

図表 3-43　学ぶことが楽しい　×　自分の行動で社会を変えられると思う



※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。

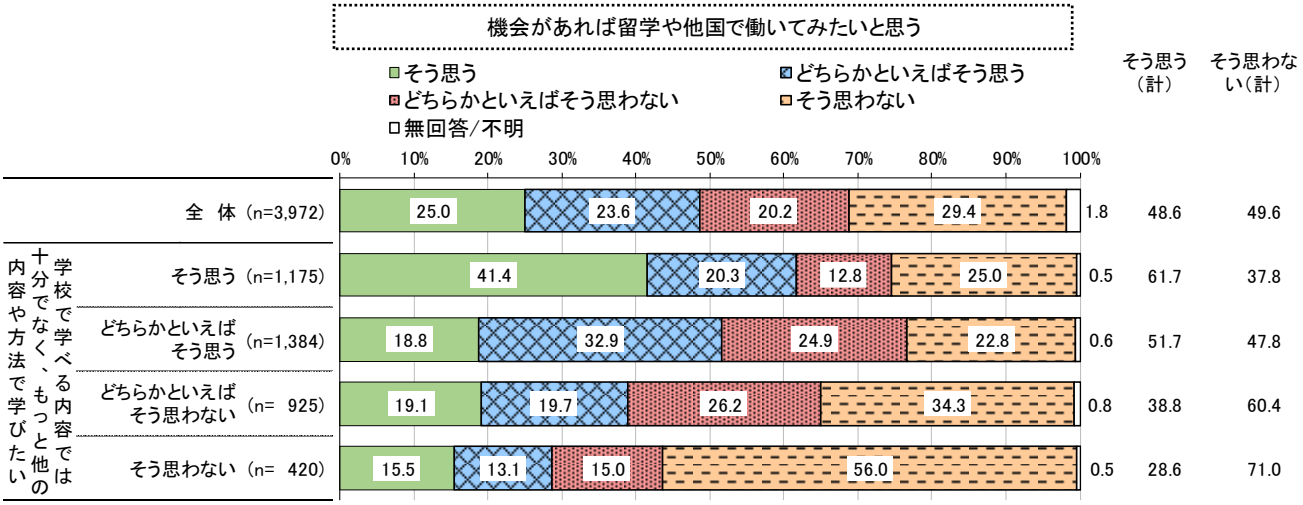
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（子供：共通）問 17. あなたは「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（B 学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい）

（子供：共通）問 16. あなたは次のことについてどう思いますか。（それぞれ1つ）
（G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う）

「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」の回答別に「機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う」をみると、「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」に「そう思う」と回答した子供では、機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う（そう思う（計））が 61.7％である。「学校で学べる内容では十分でなく、もっと他の内容や方法で学びたい」に「そう思わない」と回答した子供では、28.6％である。

図表 3-44 もっと他の内容や方法で学びたい × 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う



※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

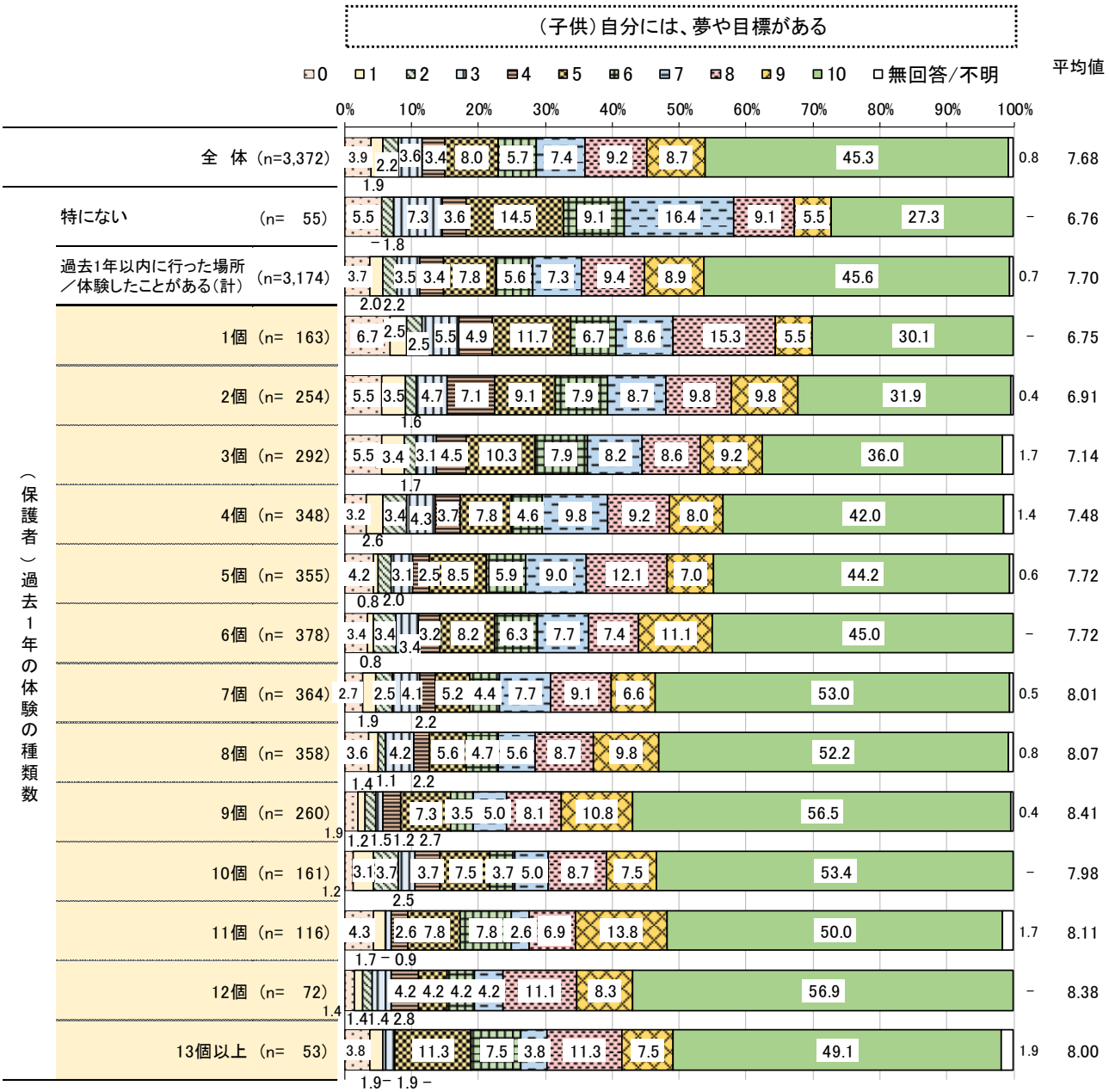
【体験活動・遊び】

（保護者：共通）問 43.（2）過去１年以内に、お子様と一緒に行ったり、お子様が体験したりしたことは何ですか。なお、学校行事は含みません。（いくつでも）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H 自分には、夢や目標がある）

保護者の「過去1年以内にお子様が体験したこと」への回答の種類数別に、子供の「自分には、夢や目標がある」をみると、「過去1年以内に行った場所／体験したことがある（計）」）と回答した保護者の子供では、「10」（「とてもあてはまる」）と回答した割合は 45.6％で、平均値は 7.70 である。「特にない」と回答した保護者の子供では、それぞれ 27.3％と 6.76 である。体験したことの数が「2個」以下では、平均値が 7.0 未満である。

図表 3-45 （保護者）過去１年以内にお子様と一緒に行ったり、体験した種類の数 × （子供）夢や目標がある



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

※体験の種類は、「映画館」、「自然体験」、「レジャー施設」等 （保護者編 p.416 参照）

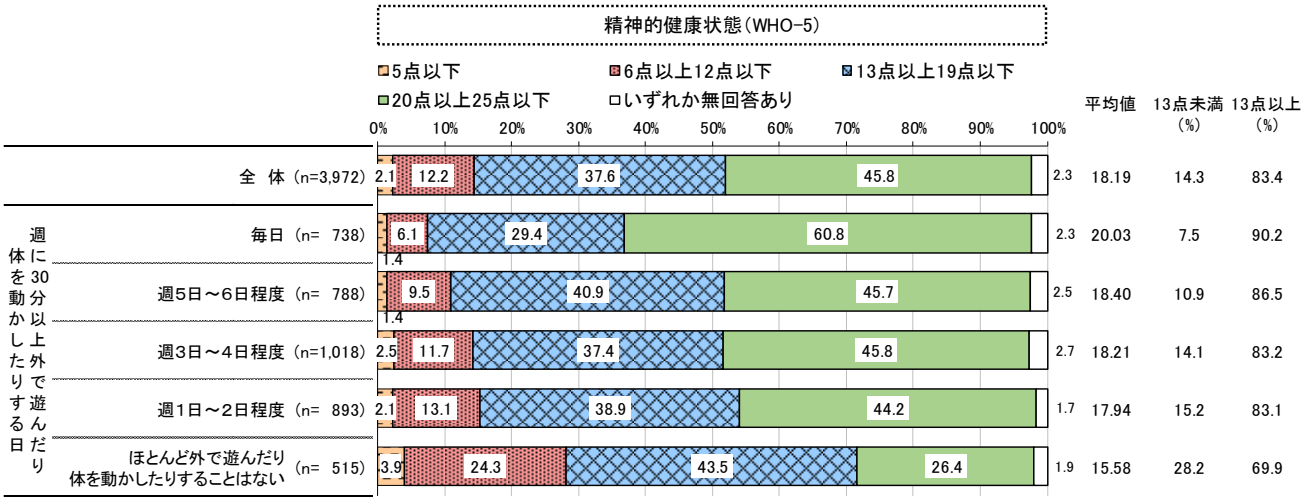
（子供：共通）問7. あなたは週に何日くらい、30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日がありますか。なお、部活動は含みますが、学校の授業は含みません。（1つだけ）

（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C 意欲的で、活動的に過ごした）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

「週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日」の回答別に「精神的健康状態（WHO-5）」をみると、「毎日」と回答した子供では、「20 点以上 25 点以下」が 60.8％で、平均値は 20.03 である。「ほとんど外で遊んだり体を動かしたりすることはない」と回答した子供では、「20 点以上 25 点以下」が 26.4％で、平均値は 15.58 である。

図表 3-46 週に 30 分以上外で遊んだり体を動かしたりする日 × 精神的健康状態（WHO-5）



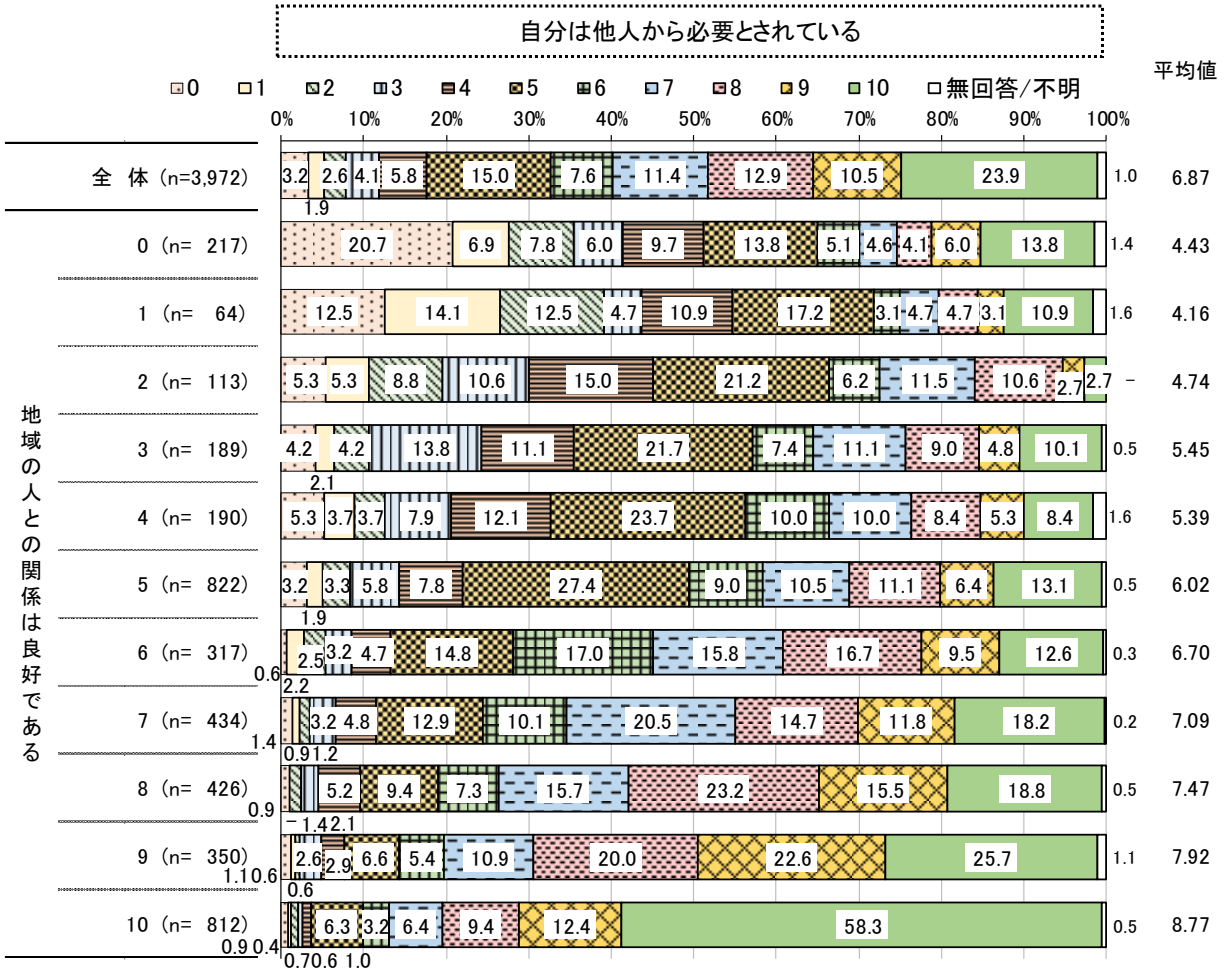
【居場所・地域社会】

（子供：共通）問 33. あなたは次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　地域の人との関係は良好である）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（F　自分は他人から必要とされている）

「地域の人との関係は良好である」の回答別に「自分は他人から必要とされている」と思うかをみると、「地域の人との関係は良好である」に「10」（とてもあてはまる）と回答した子供では、「自分は他人から必要とされている」に「10」とてもあてはまる」と回答した割合は 58.3%であり、平均値は 8.77 である。「地域の人との関係は良好である」と感じている子供ほど、平均値が概ね高い傾向があり、「地域の人との関係は良好である」に「0」（全くあてはまらない）と回答した子供では、「自分は他人から必要とされている」に「10」（とても当てはまる）と回答した割合は 13.8%で、平均値は 4.43 である。

図表 3-47　地域の人との関係は良好である　×　自分は他人から必要とされている

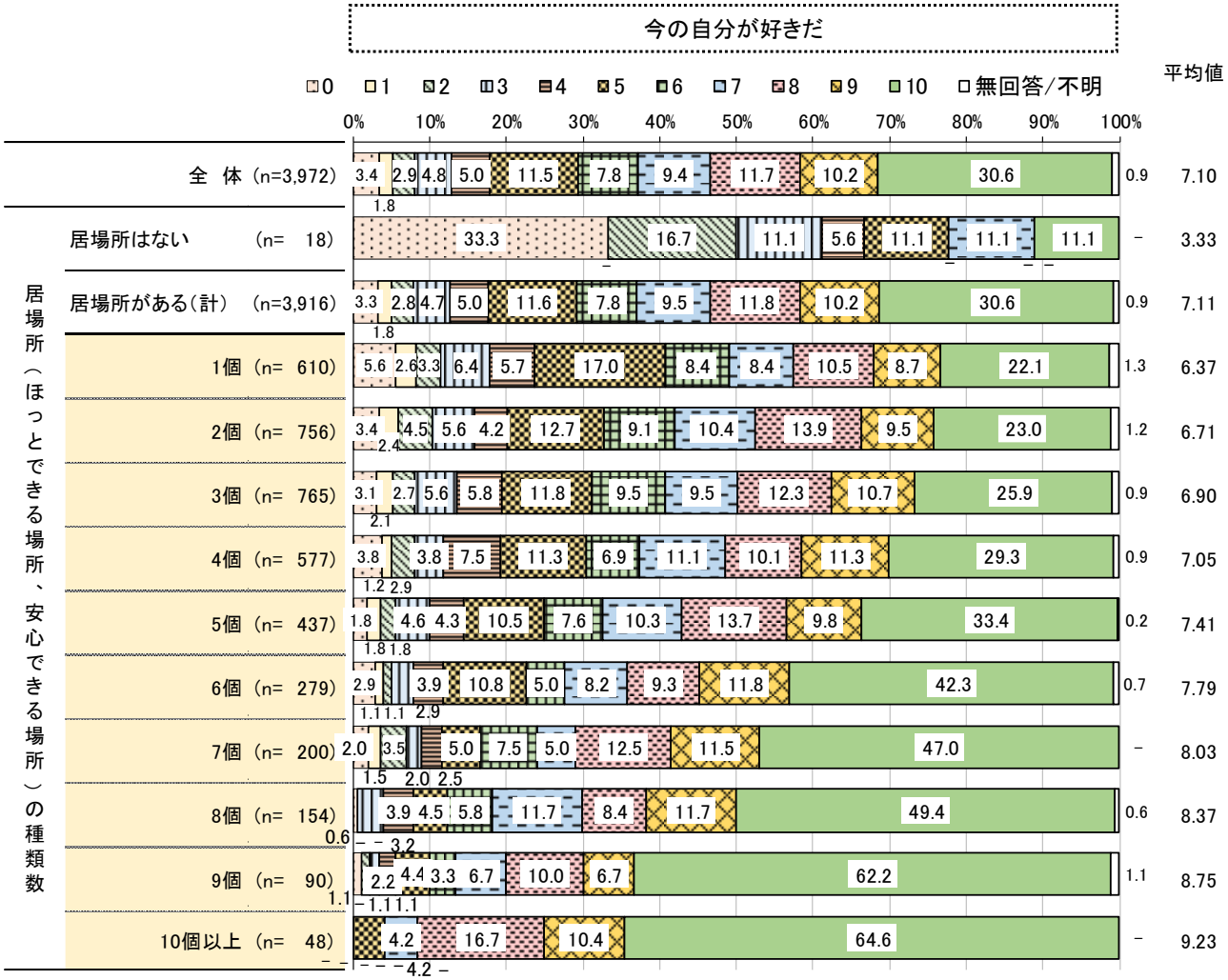


（子供：共通）問 34. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　今の自分が好きだ）

「ほっとできる居場所の種類数」別に「今の自分が好きだ」をみると、居場所の種類数が多いほど、「今の自分が好きだ」の平均値が高くなる傾向があり、居場所の種類数「1個」の子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）と回答した割合は 22.1%で、平均値は 6.37 である。居場所の種類数が「9個」の子供では、「今の自分が好きだ」に「10」（とてもあてはまる）と回答した割合は 62.2%で、平均値が 8.75 である。

図表 3-48　ほっとできる居場所の種類数　×　今の自分が好きだ



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）
※居場所の種類は、自分の部屋、自分の部屋以外の家の中、祖父母・親戚の家、学校の教室、友達の家など。（子供編 p.171 参照）

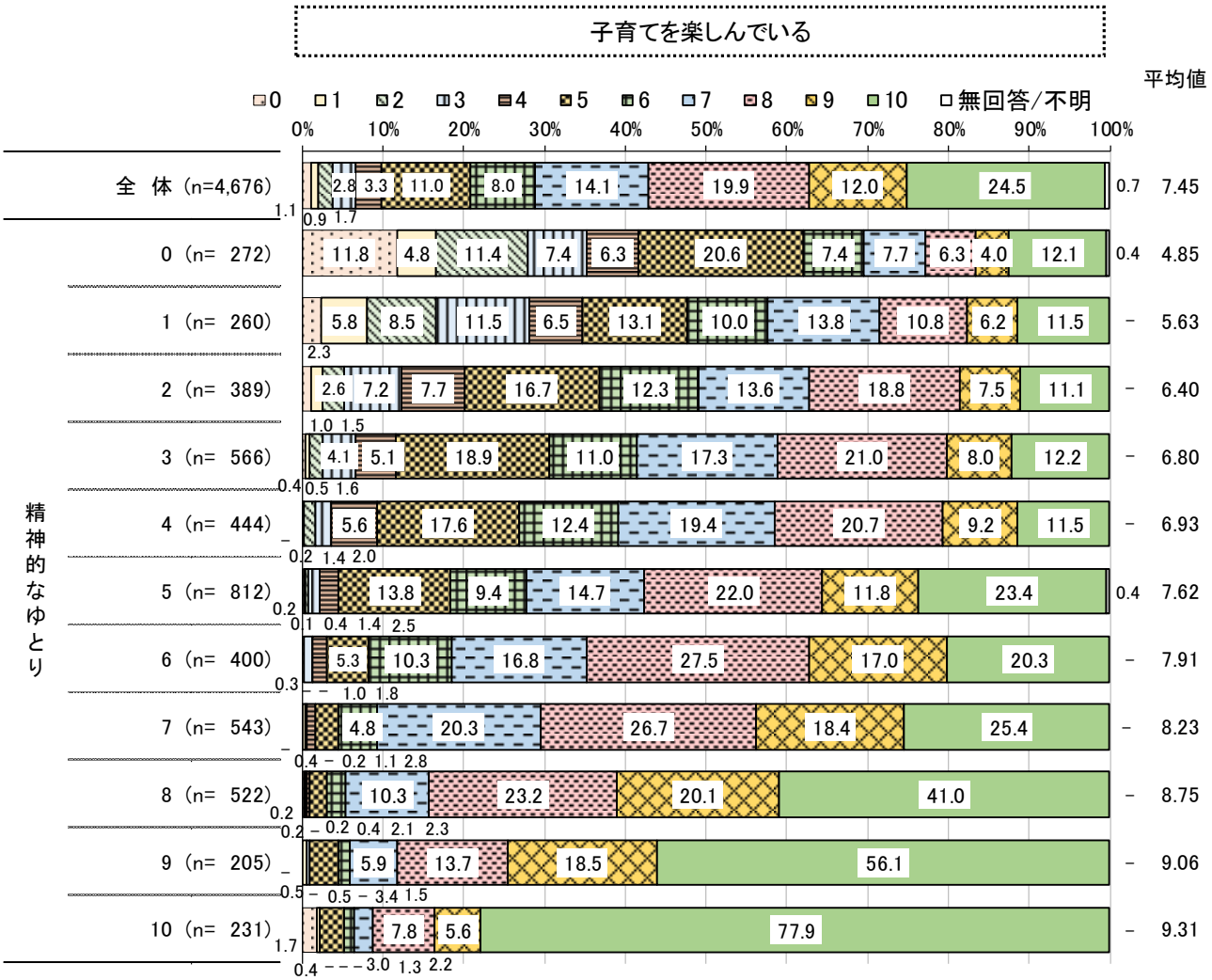
【子育て】

（保護者：共通）問 25. 現在、あなた自身は以下の「ゆとり」を感じられていますか。（それぞれ1つ）
（D 精神的なゆとり）

（保護者：共通）問 23. あなた自身は次のことが、どれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（H 子育てを楽しんでいる）

「精神的なゆとり」を感じられているかの回答別に「子育てを楽しんでいる」をみると、「10」（とてもあてはまる）と回答した保護者は、「子育てを楽しんでいる」に「10」（とてもあてはまる）と回答した割合は 77.9%で、平均値は 9.31 である。「精神的なゆとり」を感じられているかに「0」（全くあてはまらない）と回答した保護者では、「子育てを楽しんでいる」に「10」（とてもあてはまる）と回答した割合は 12.1%、平均値は 4.85 である。

図表 3-49 精神的なゆとり × 子育てを楽しんでいる



※「0」（全くあてはまらない）～「10」（とてもあてはまる）

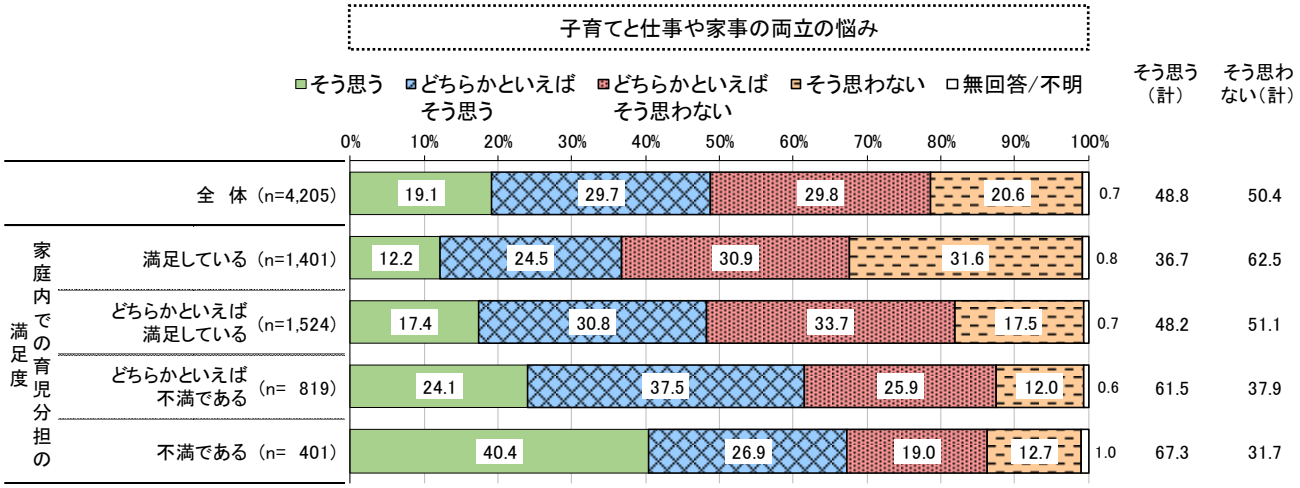
（保護者：共通）問 21B. あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（G 子育てと仕事や家事の両立）

※上記質問のクロス集計では、保護者の問1（お子様との関係）で「父」または「母」と回答し、問5で配偶者／パートナーと「同居している」と回答した保護者（有配偶の父母）に絞って集計している。

「家庭内での育児分担の満足度」別に「子育てと仕事や家事の両立の悩み」をみると、「満足している」と回答した保護者では、子育てと仕事や家事の両立に悩んでいるとする割合が 36.7%である。「不満である」と回答した保護者では、子育てと仕事や家事の両立に悩んでいるとする割合が 67.3%である。

図表 3-50 家庭内での育児分担の満足度 × 子育てと仕事や家事の両立の悩み



※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（保護者：共通）問 20. ご家庭内での「家事の分担」「育児の分担」はどのようになっていますか。それぞれの割合を合計が 10 になるようにカッコ内に数字で記入してください。

（B 育児の分担）

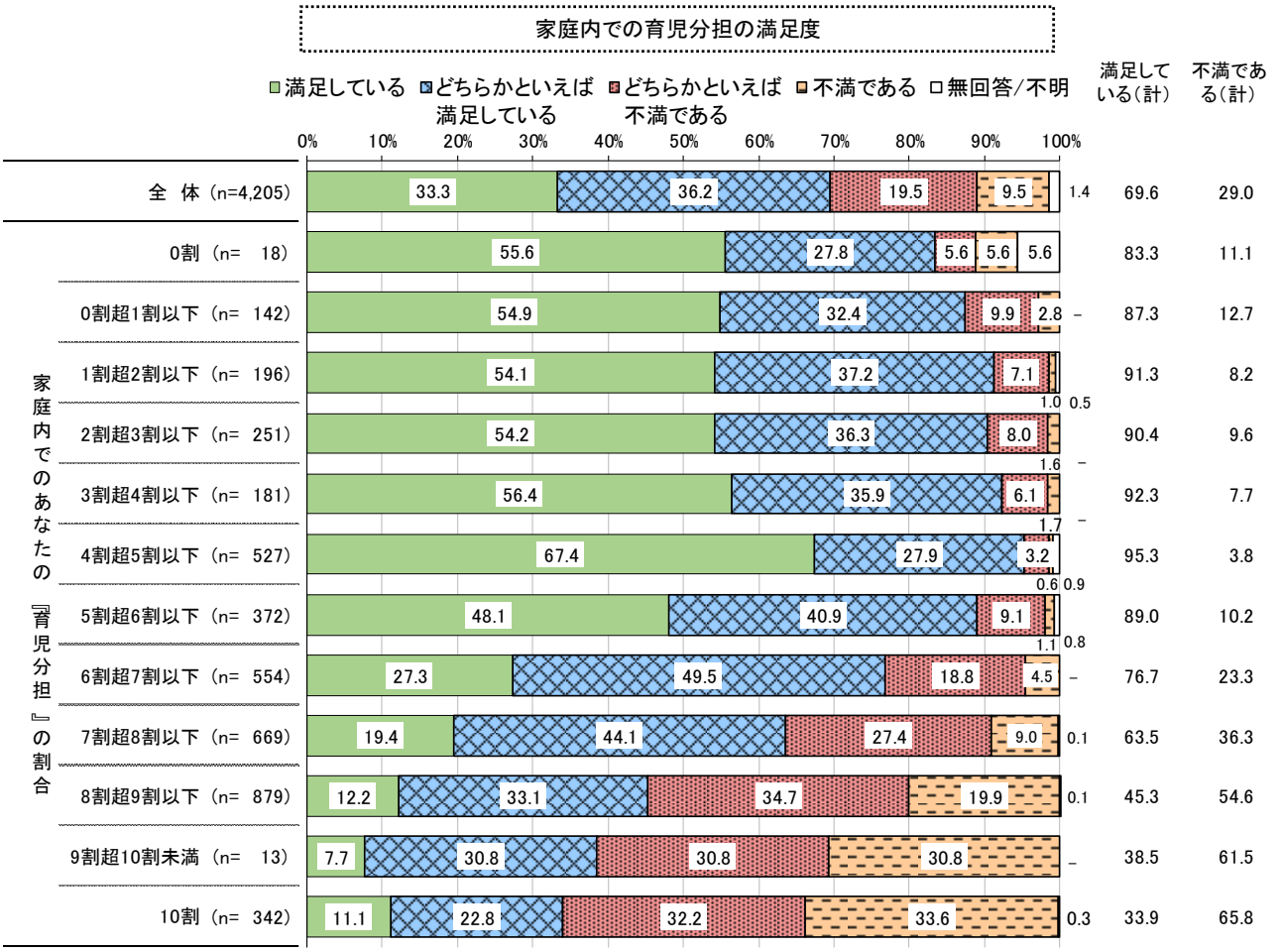
（保護者：共通）問 21B.【配偶者/パートナーがいる方にお聞きします。】

あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足していますか。（1つだけ）

※上記設問のクロス集計は、保護者の問1（お子様との関係）で「父」「母」と回答し、かつ問5で配偶者と同居しているケースに絞ってクロス集計している。

「家庭内での育児分担割合」の回答別に「家庭内での育児分担の満足度」をみると、「家庭内での育児分担」に「4割超5割以下」と回答した保護者の「あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している」とする割合は95.3%で最も高い。育児分担に「10 割」と回答した保護者の「あなたと配偶者／パートナー間の今の育児分担に満足している」とする割合は 33.9%で、「不満である」とする割合は 65.8%である。

図表 3-51 家庭内でのあなたの『育児分担』の割合 × 家庭内での育児分担の満足度



※満足している（計）は「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合。

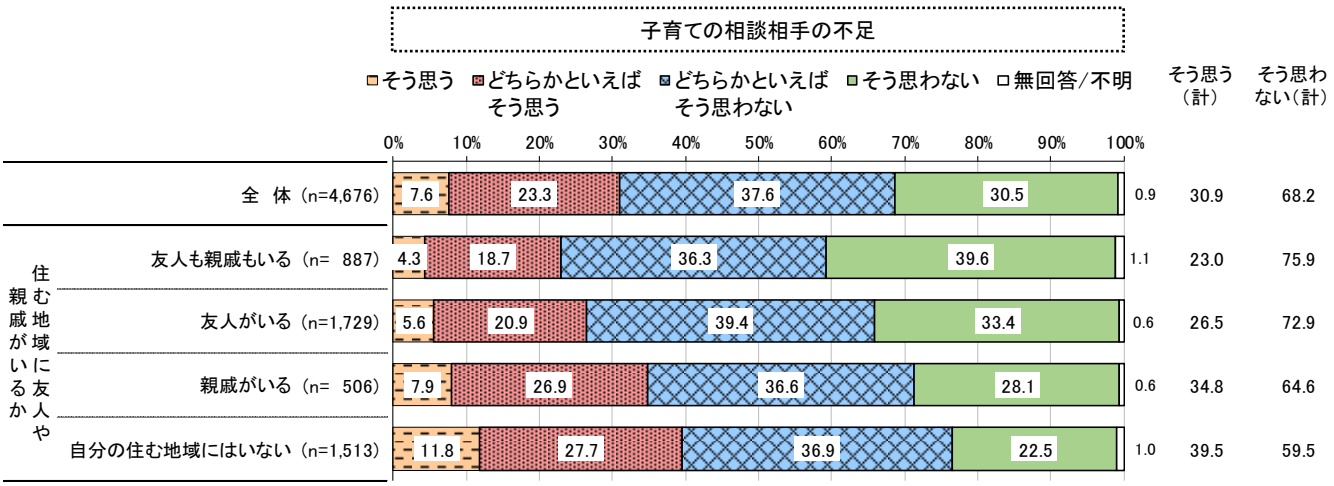
不満である（計）は「不満である」及び「どちらかといえば不満である」の割合。

（保護者：共通）問 38. あなたの住む地域（自宅から歩いて 20 分以内の場所）に友人や親戚はいますか。
（1つだけ）

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B 子育ての相談相手の不足）

「住む地域に友人や親戚がいるか」の回答別に、「子育ての相談相手の不足に悩んでいるか」をみると、住む地域に「友人も親戚もいる」保護者は、子育ての相談相手の不足に悩んでいる（そう思う（計））割合は 23.0％である。「友人がいる」保護者では 26.5％、「親戚がいる」保護者では 34.8％、「自分の住む地域にはいない」では 39.5％である。

図表 3-52 住む地域に友人や親戚がいるか × 子育ての相談相手の不足の悩み



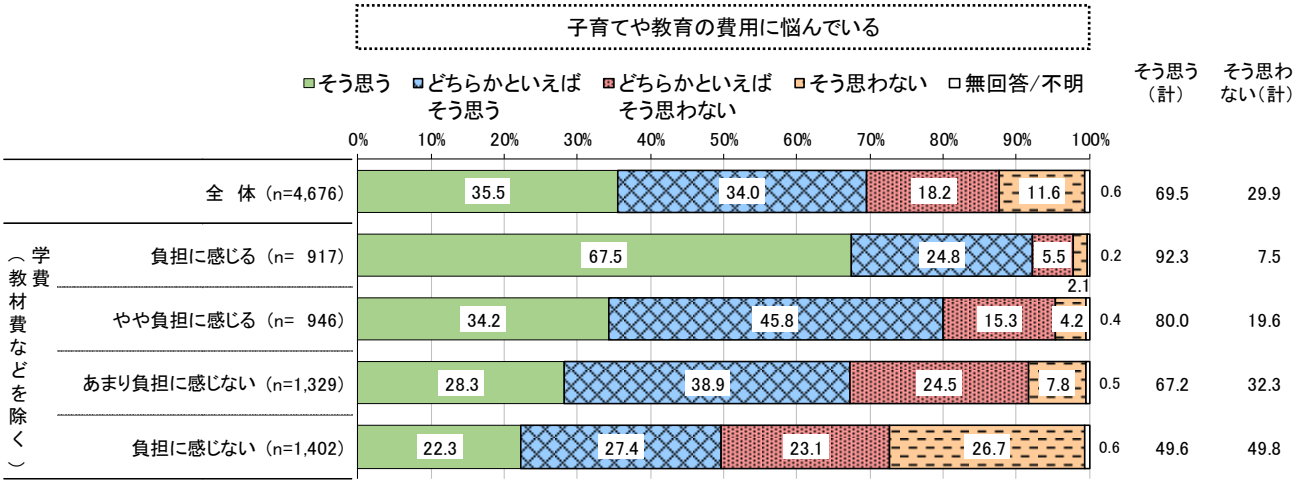
※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

（保護者：共通）問 49. お子様にかかる費用の負担感について次のことがどれくらいあてはまりますか。
（それぞれ1つ）
（A 学費（教材費などを除く））

（保護者：共通）問 27. 子育ての悩みに関してそれぞれ、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 子育てや教育の費用）

「学費（教材費などを除く）の負担感」別に「子育てや教育の費用に悩んでいるか」をみると、学費を「負担に感じる」と回答した保護者の 92.3%は、「子育てや教育の費用に悩んでいる（「そう思う（計）」）」としている。「負担に感じない」と回答した保護者では、49.6%である。

図表 3-53 学費（教材費などを除く）の負担感 × 子育てや教育の費用の悩み



※そう思う（計）は「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」の割合。
そう思わない（計）は「そう思わない」及び「どちらかといえばそう思わない」の割合。

【メンタルヘルス】

（子供：共通）問 39. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。（いくつでも）

（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）

（A 明るく、楽しい気分で過ごした）

（B.落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）

（C.意欲的で、活動的に過ごした）

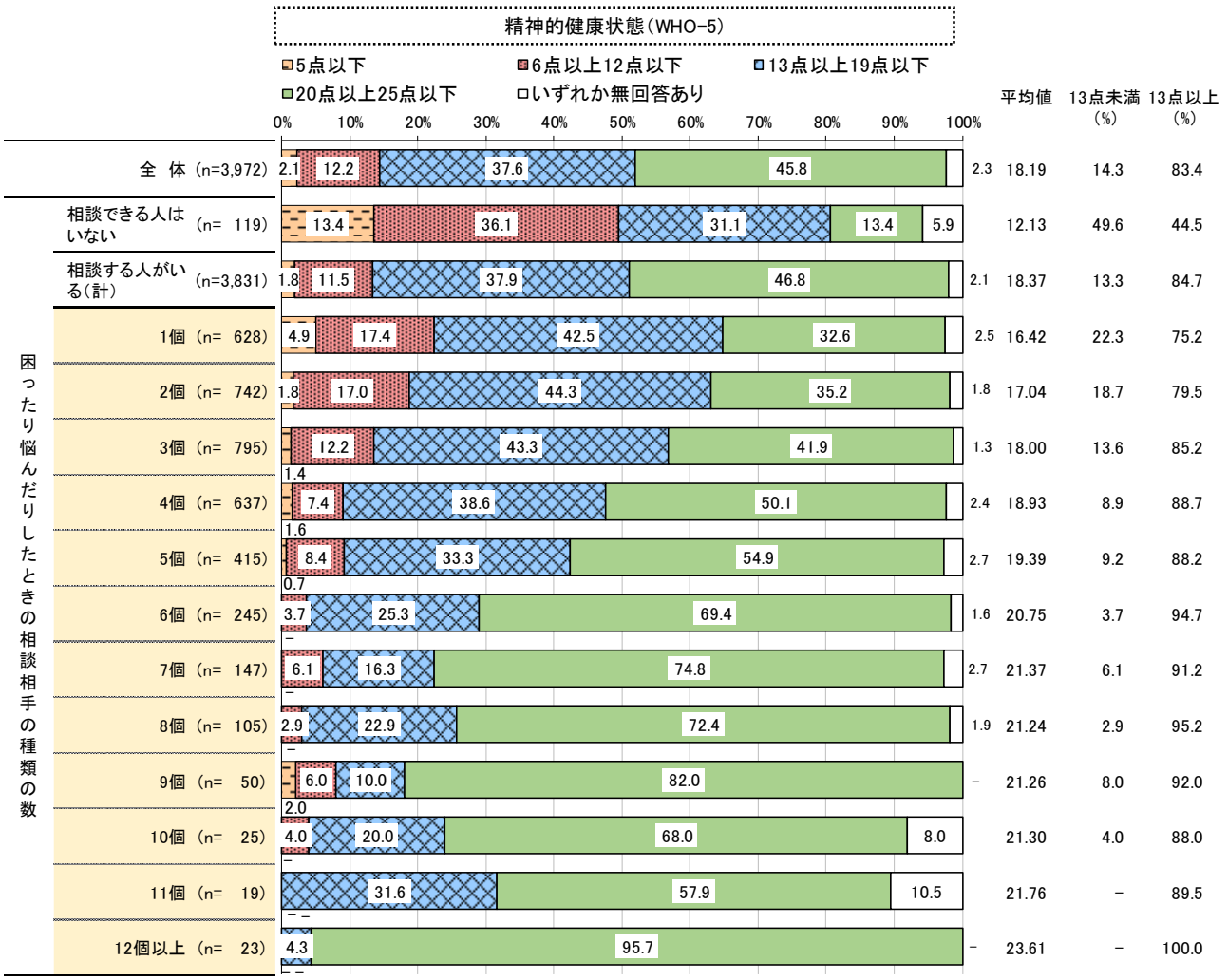
（D.ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）

（E.日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

「相談する相手の種類数」別に「精神的健康状態（WHO-5）」をみると、「相談する人がいる（計）」の子供では、「20 点以上 25 点以下」が 46.8%で、平均値が 18.37 である。「相談できる人はいない」と回答した子供では、「20 点以上 25 点以下」が 13.4%、平均値が 12.13 である。

図表 3-54 困ったり悩んだりしたときの相談相手の種類の数 × 精神的健康状態（WHO-5）



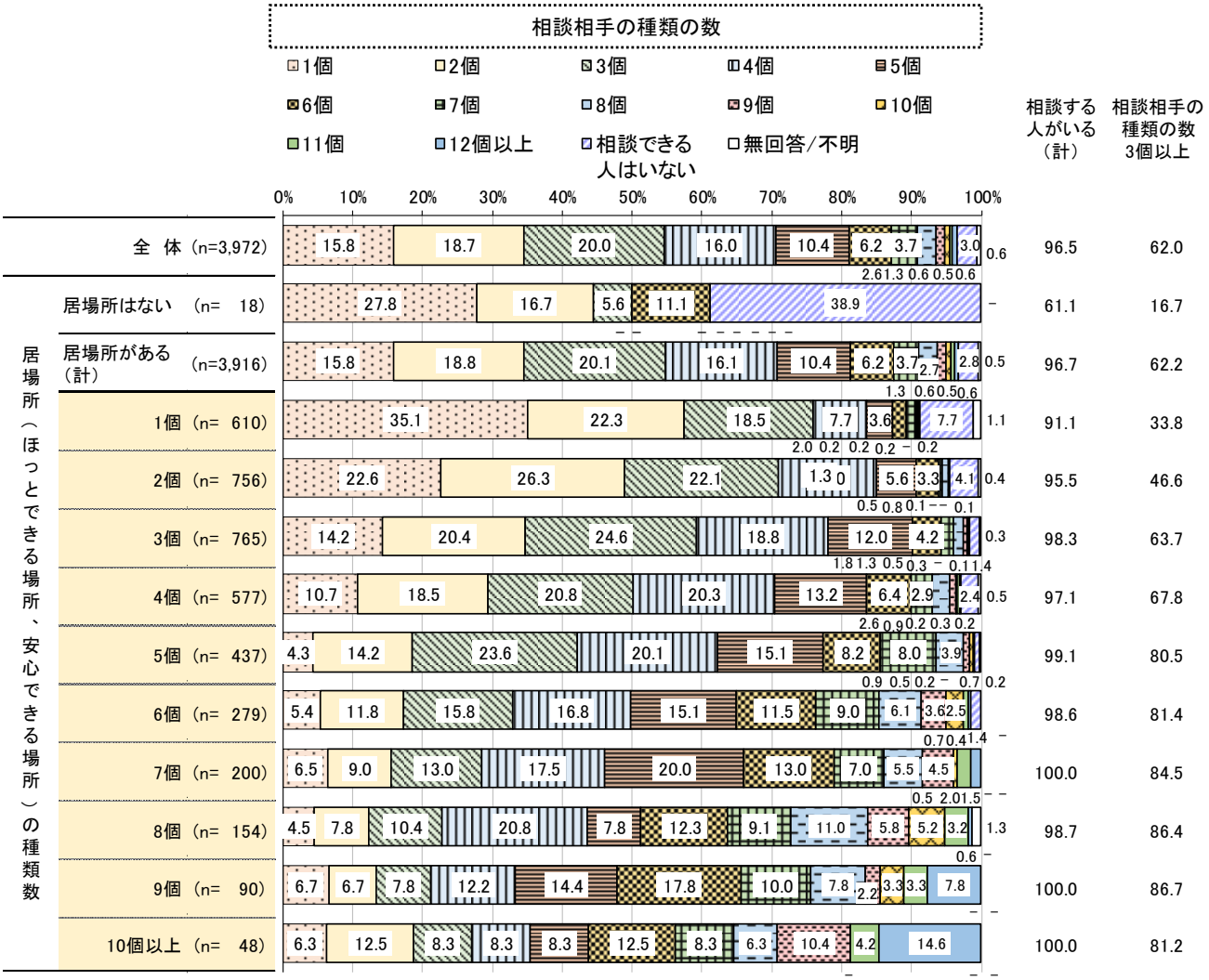
※相談相手の種類は、母親、友達や先輩、父親、学校の先生など（子供編 p.200 参照）

（子供：共通）問 34. あなたにとっての居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）は次のうち、どれですか。
（いくつでも）

（子供：共通）問 39. あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか。（いくつでも）

「居場所（ほっとできる場所・安心できる場所）の種類数」別に、「相談相手の種類の数」をみると、居場所の種類数が「1個」の子供では、相談相手の種類の数3個以上の割合が 33.8％である。居場所の種類数が増えるほど、相談相手の種類の数が概ね増える傾向があり、居場所の種類数が5個以上では、相談相手の種類の数3個以上の割合は80％以上である。

図表 3-55 居場所の種類の数 × 相談相手の種類の数



（子供：共通）問 43. あなたは、平日（学校や仕事がある日）は何時頃に起きて、何時頃に寝ることが多いですか。
（それぞれ1つ）
（A 起きる時間）（B 寝る時間）

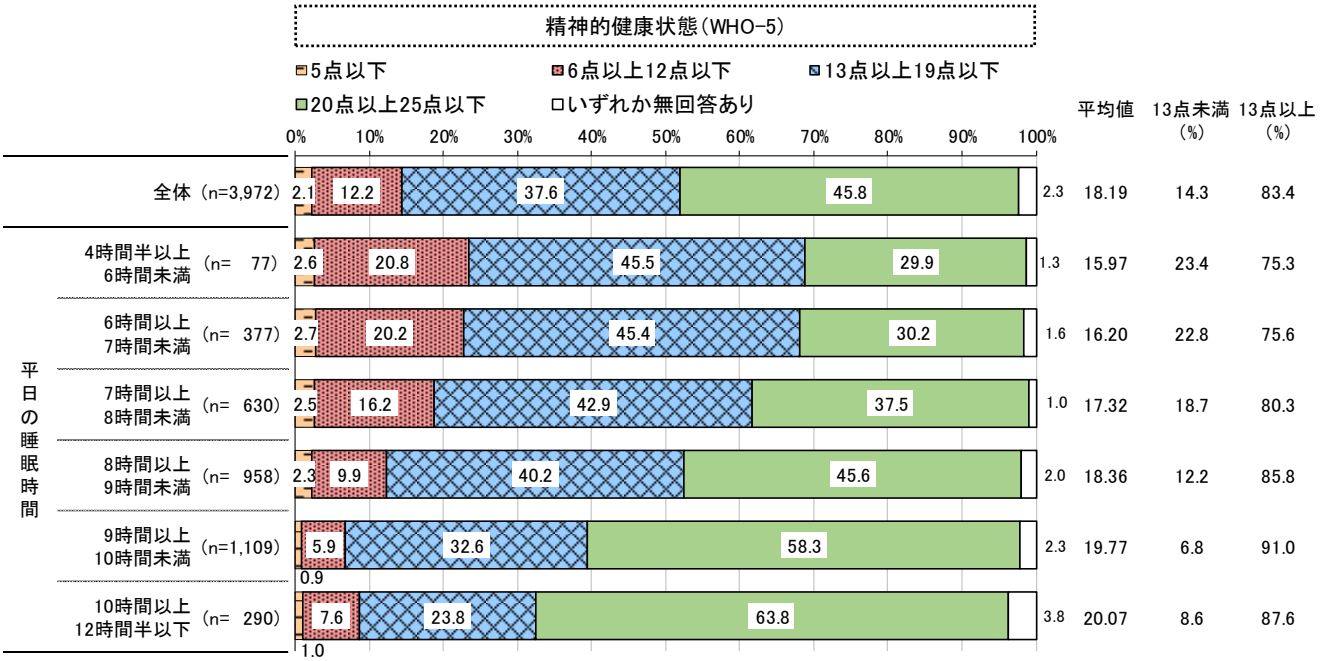
※上記の設問の「A 起きる時間」と「B 寝る時間」の差分から睡眠時間を参考に算出した。

（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C 意欲的で、活動的に過ごした）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

「平日の睡眠時間」別に、「精神的健康状態（WHO-5）」をみると、「4 時間半以上6時間未満」と回答した子供では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 29.9%で、平均値は 15.97 である。「10 時間以上 12 時間半以下」では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 63.8%で、平均値は 20.07 である。

図表 3-56 平日の睡眠時間 × 精神的健康状態（WHO-5）



【デジタル社会】

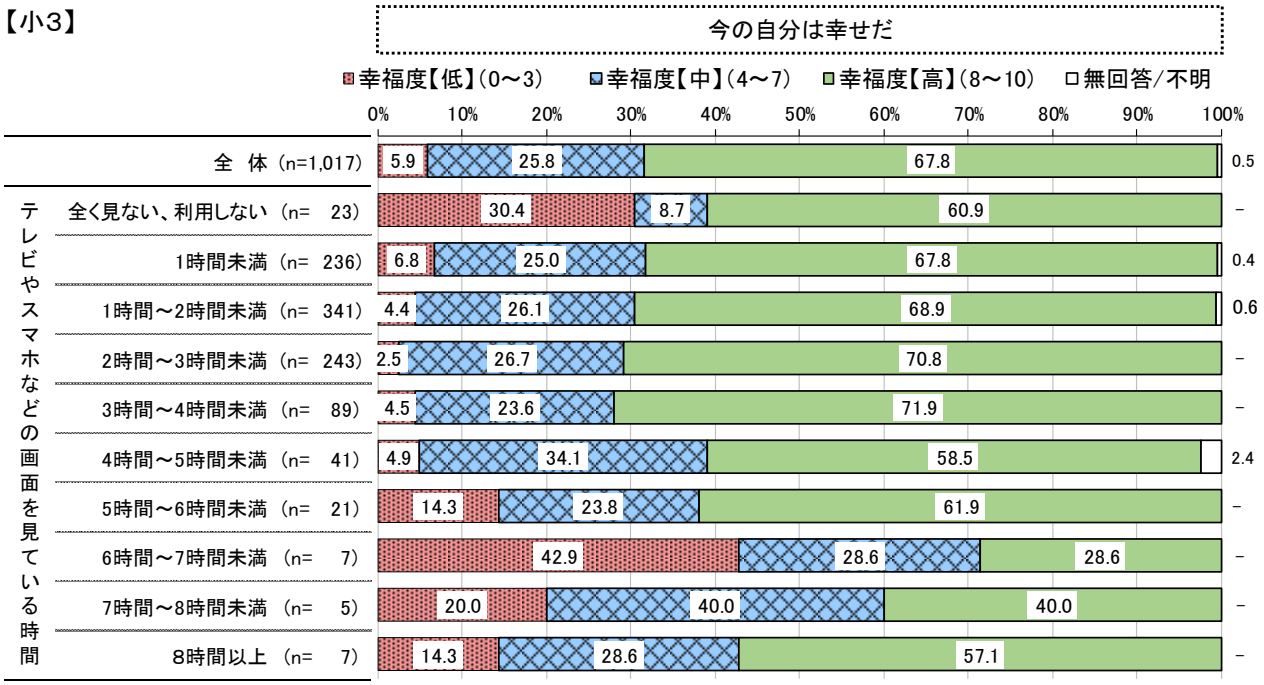
（子供：共通）問 44. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

（子供：共通）問 27. あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（B 今の自分は幸せだ）

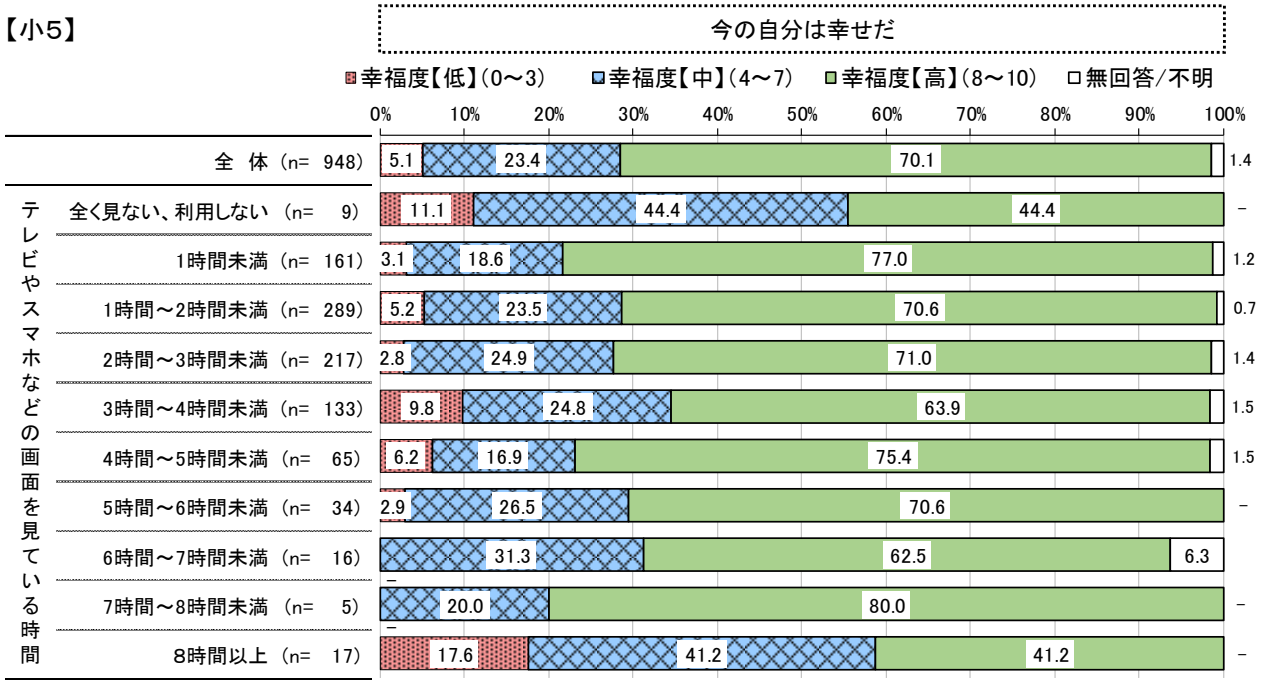
「平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間（スクリーンタイム）」別に「今の自分は幸せだ」（幸福度）を学年別にみると、幸福度【高】(8～10)の割合は、小3では、「3 時間～4 時間未満」が 71.9％で最も高く、次いで「2 時間～3 時間未満」が 70.8％である。小5では、「1時間未満」が 77.0％で最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が 75.4％である。

図表 3-57-1 テレビやスマホなどの画面を見ている時間 × 今の自分は幸せだ（学年別）

【小3】



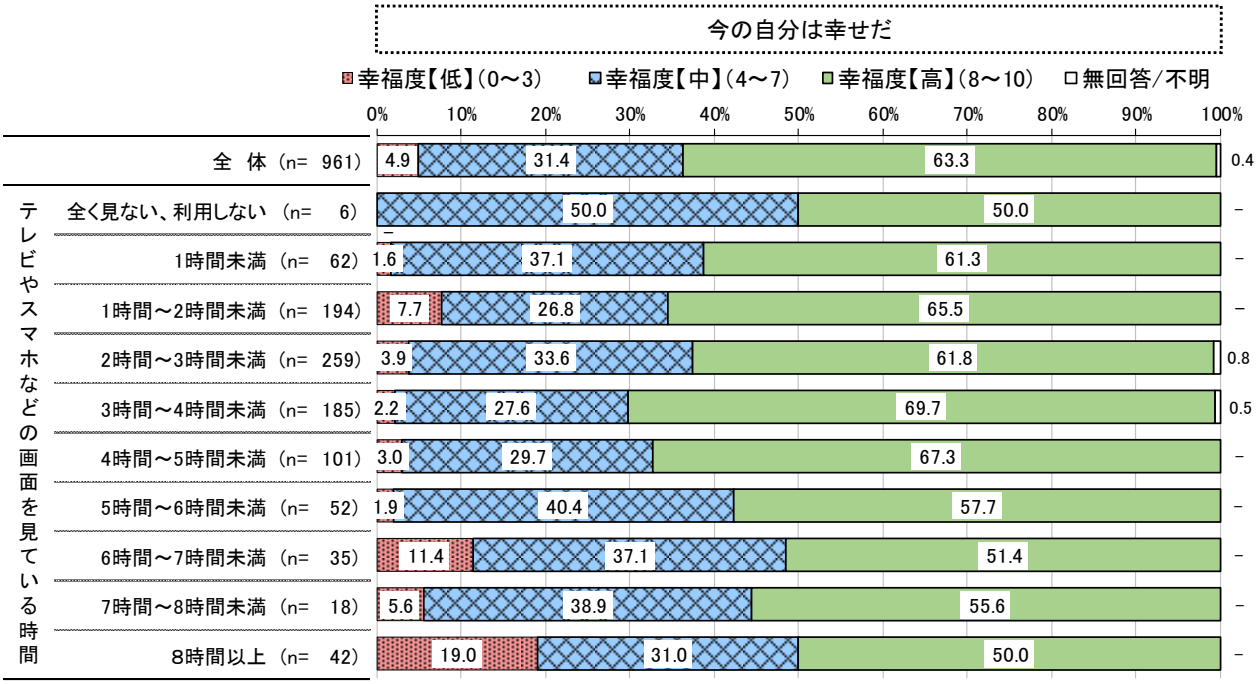
【小5】



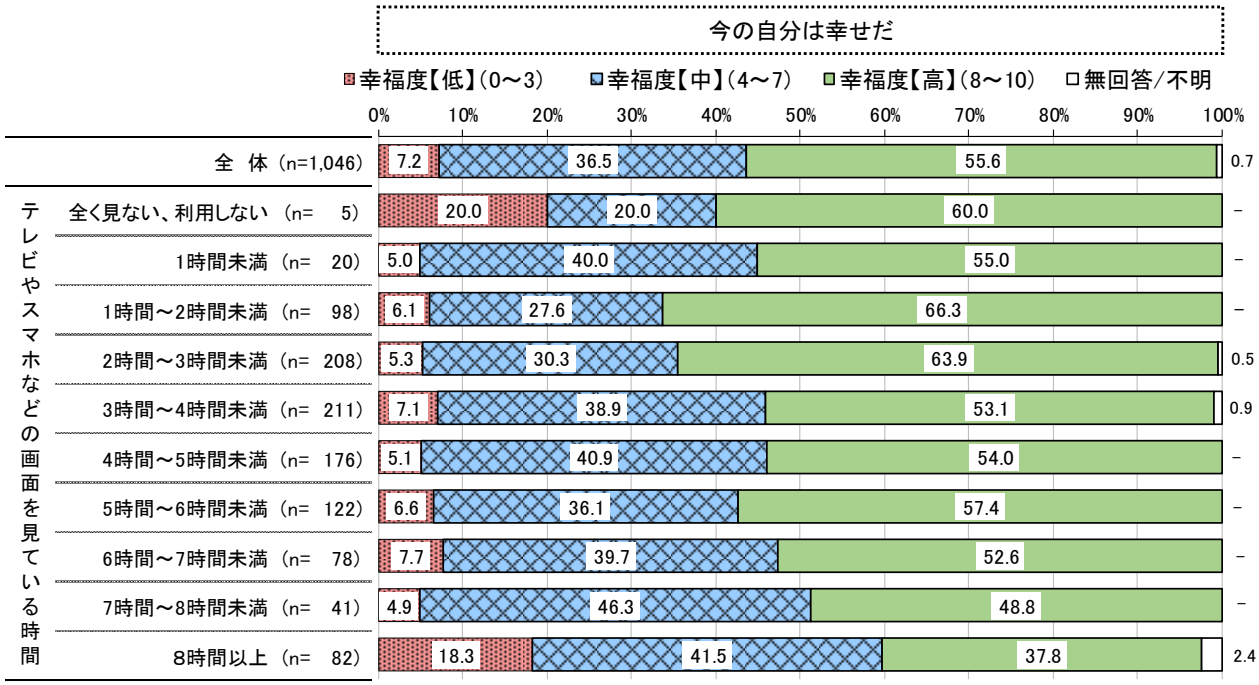
幸福度【高】(8～10)の割合は、中2では、「3 時間～4時間未満」が 69.7%で最も高く、次いで「4時間～5時間未満」が 67.3%である。17 歳では、「1時間～2時間未満」が 66.3%で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が 63.9%、「8時間以上」は 37.8%である。

図表 3-57-2 テレビやスマホなどの画面を見ている時間 × 今の自分は幸せだ(学年別)(続き)

【中2】



【17 歳】



図表 3-58 テレビやスマホなどの画面を見ている時間 × 今の自分は幸せだ （学年別平均値表）

	小3		小5		中2		17歳	
	n	平均値	n	平均値	n	平均値	n	平均値
全　　体	1,017	8.1	948	8.2	961	7.9	1,046	7.4
全く見ない・利用しない	23	6.7	9	7.3	6	7.3	5	7.2
1時間未満	236	8.0	161	8.6	62	7.9	20	7.6
1時間～2時間未満	341	8.2	289	8.3	194	7.8	98	7.9
2時間～3時間未満	243	8.3	217	8.3	259	8.0	208	7.6
3時間～4時間未満	89	8.2	133	7.8	185	8.2	211	7.4
4時間～5時間未満	41	7.6	65	8.1	101	8.0	176	7.4
5時間～6時間未満	21	7.7	34	8.3	52	7.5	122	7.5
6時間～7時間未満	7	5.0	16	7.7	35	7.1	78	7.3
7時間～8時間未満	5	7.0	5	9.2	18	7.7	41	7.1
8時間以上	7	7.3	17	6.6	42	6.8	82	6.3
無回答/不明	4	3.0	2	0.0	7	7.7	5	5.3

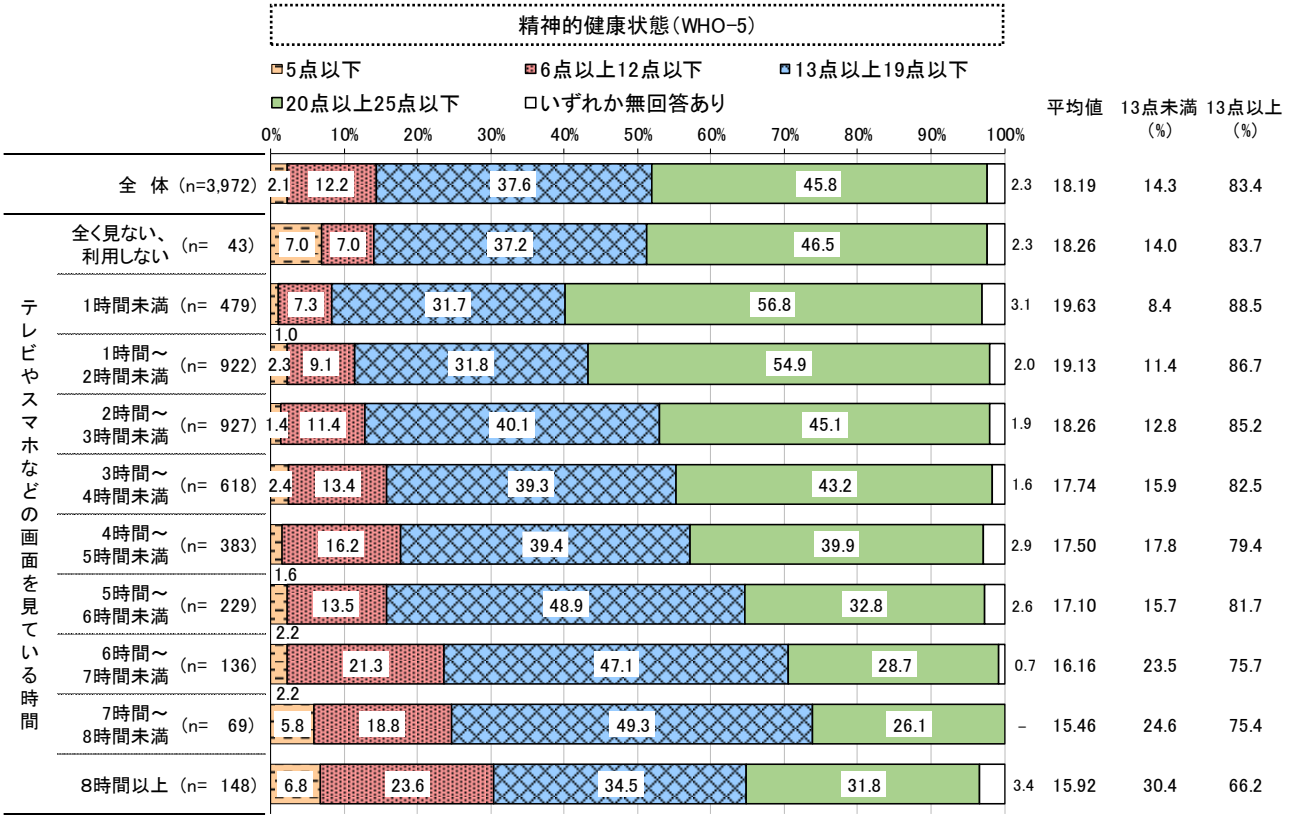
（子供：共通）問 44. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

（子供：共通）問 35. あなたは最近2週間で、次のようなことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（A 明るく、楽しい気分で過ごした）
（B 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした）
（C 意欲的で、活動的に過ごした）
（D ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた）
（E 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった）

※上記の設問の A から E の各選択肢を0～5点で換算し、A から E の合計点（5項目×5点満点）から精神的健康状態（WHO-5）を算出した。

「平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間（スクリーンタイム）」別に「精神的健康状態（WHO-5）」をみると、スクリーンタイムが「1時間未満」と回答した子供では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 56.8%で、平均値が 19.63 である。スクリーンタイムが「7時間～8時間未満」では、精神的健康状態（WHO-5）は「20 点以上 25 点以下」が 26.1%で、平均値が 15.46 である。

図表 3-59 テレビやスマホなどの画面を見ている時間 × 精神的健康状態（WHO-5）

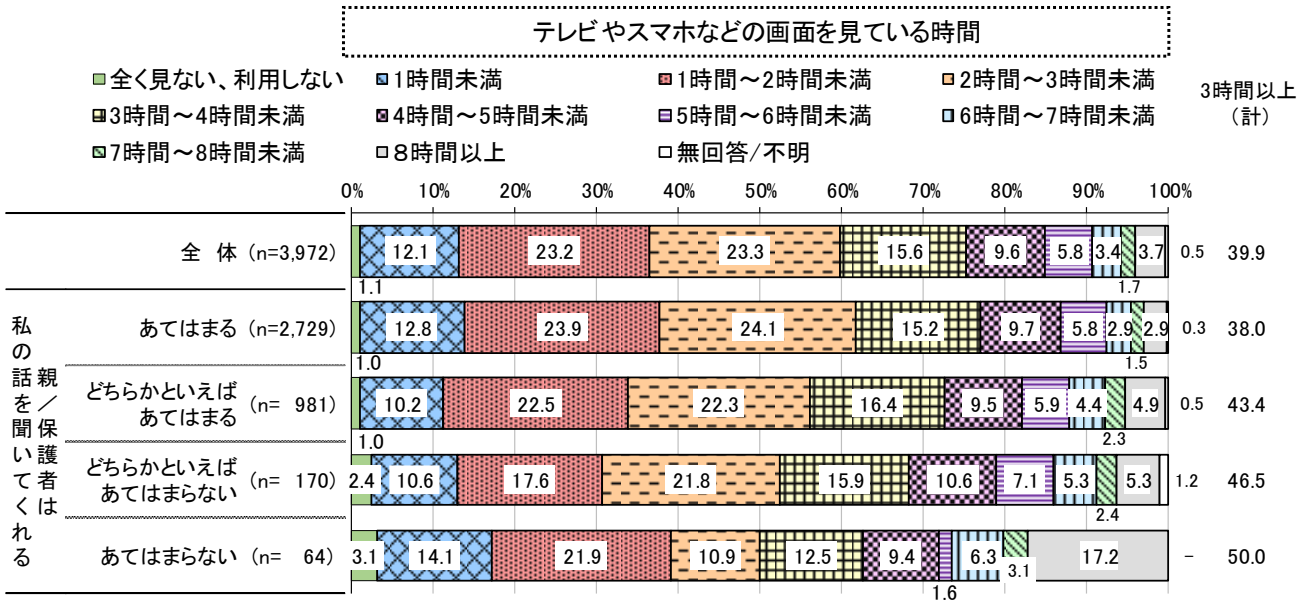


（子供：共通）問 31. あなたの家庭では、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
（D　親／保護者は私の話を聞いてくれる）

（子供：共通）問 44. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

「親／保護者は私の話を聞いてくれる」の回答別に、「平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間（スクリーンタイム）」をみると、話を聞いてくれる（「あてはまる」）と回答した子供では、「3 時間以上（計）」が 38.0％である。聞いてくれない（「あてはまらない」）と回答した子供では、「3 時間以上（計）」が 50.0％である。

図表 3-60　親／保護者は私の話を聞いてくれる　×　テレビやスマホなどの画面を見ている時間

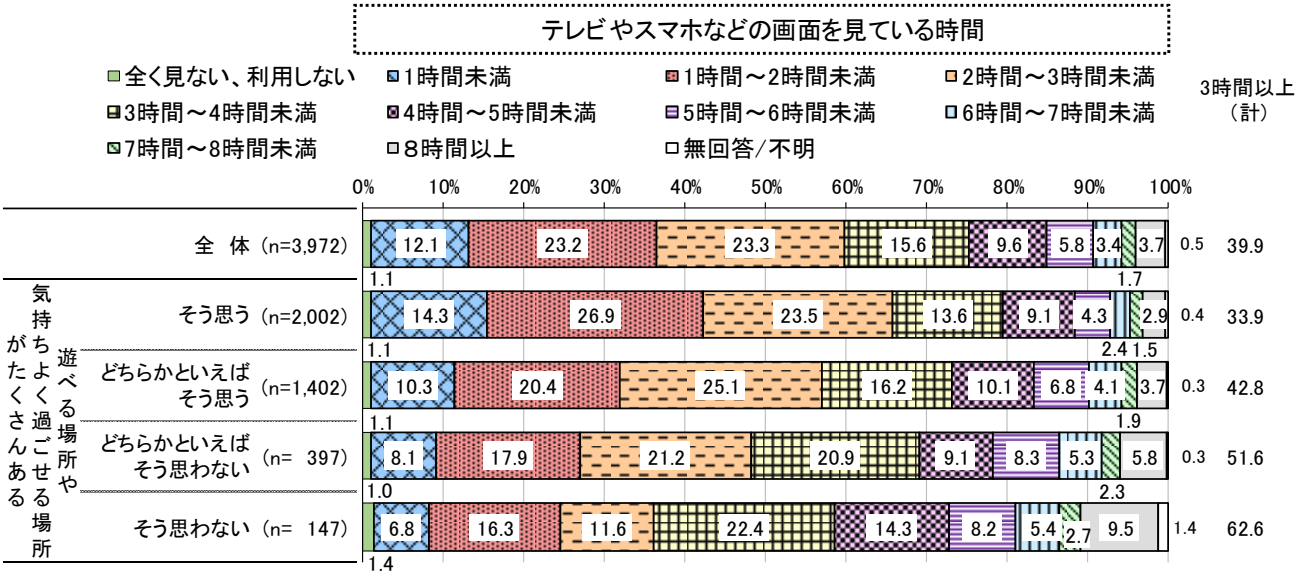


（子供：共通）問3. あなたが住んでいる街はどのようなところですか。（それぞれ1つ）
（A 私が遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある）

（子供：共通）問 44. あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（1つだけ）

「住んでいる街に遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」の回答別に、「平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間（スクリーンタイム）」をみると、「住んでいる街に遊べる場所や気持ちよく過ごせる場所がたくさんある」に「そう思う」と回答した子供では、「3 時間以上（計）」の割合が 33.9％である。「そう思わない」と回答した子供では、「3 時間以上（計）」の割合が 62.6％である。

図表 3-61 遊べる場所や居場所がたくさんある × テレビやスマホなどの画面を見ている時間

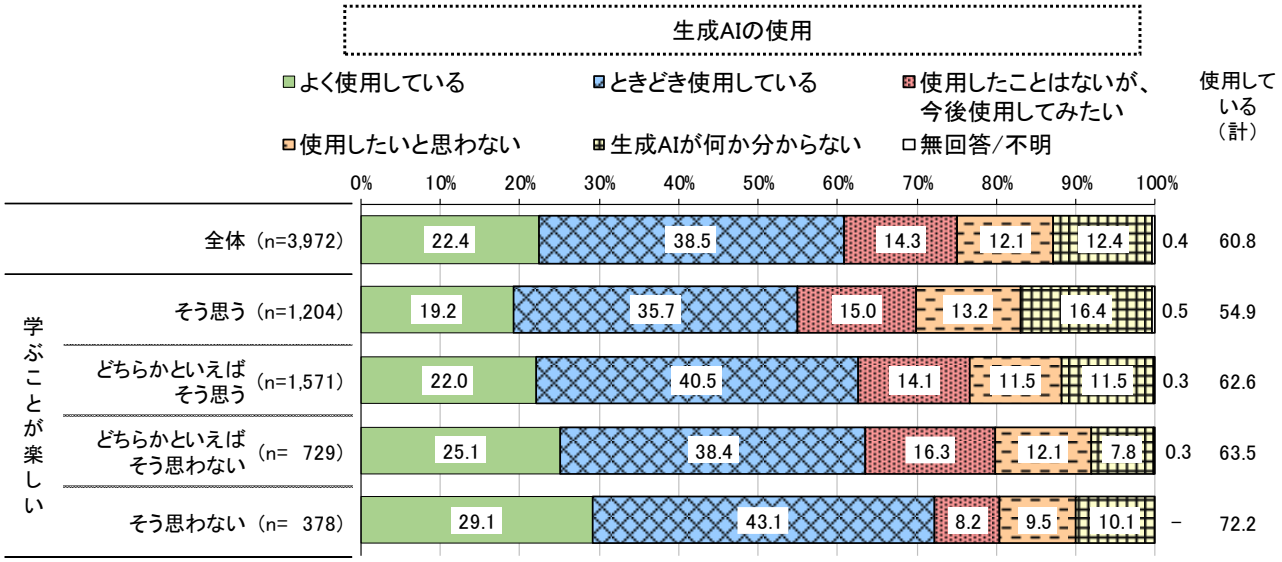


（子供：共通）問 17. あなたは、「学ぶこと」についてどう考えていますか。（それぞれ1つ）
（C　学ぶことが楽しい）

（子供：共通）問 47. あなたは、生成 AI を使用していますか。（1つだけ）

「学ぶことが楽しい」の回答別に「生成 AI の使用」をみると、学ぶことが楽しい（「そう思う」）と回答した子供では、生成 AI を使用している割合（「使用している（計）」）が 54.9%である。学ぶことが楽しいと思わない（「そう思わない」）子供では、72.2%である。

図表 3-62　学ぶことが楽しい × 生成 AI を使用しているか



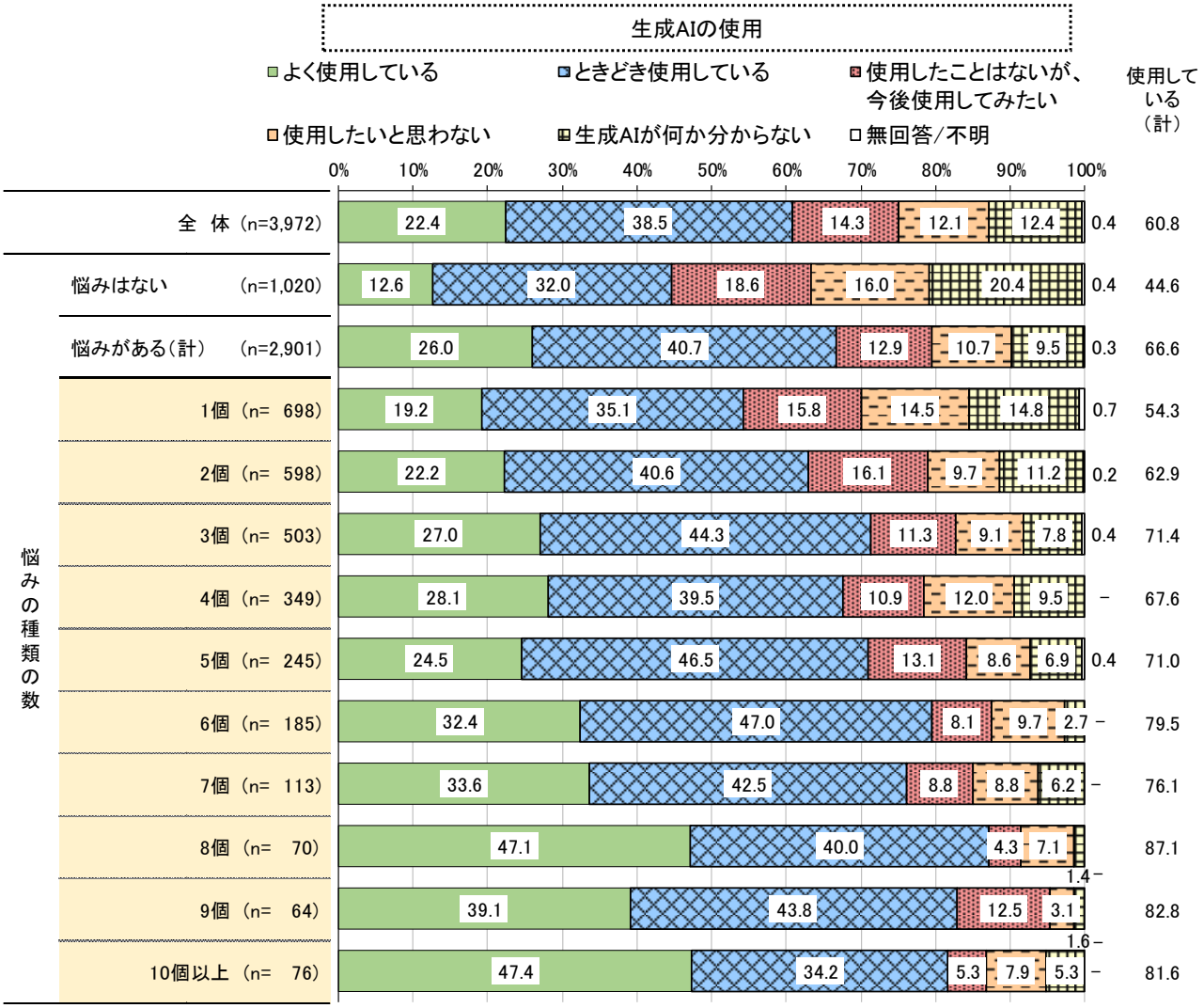
※使用している（計）は「よく使用している」及び「ときどき使用している」の割合。

（子供：共通）問 36. あなたは今、悩んでいることはありますか。（いくつでも）

（子供：共通）問 47. あなたは、生成 AI を使用していますか。（1つだけ）

「悩みの種類の数」別に、「生成 AI の使用」をみると、「悩みはない」と回答した子供では、生成 AI を「使用している（計）」が 44.6%で、悩みがある子供（「悩みがある（計）」）では、66.6%である。悩みの種類の数が「1 個」における生成 AI を「使用している（計）」は 54.3%だが、「3個」以上では、60%台後半から 80%台である。

図表 3-63 今、悩んでいることの種類の数 × 生成 AI の使用



※使用している（計）は「よく使用している」及び「ときどき使用している」の割合。

（3）重回帰分析

子供の幸福度の重回帰分析

子供の幸福度との関連性を明らかにするために、各学年の子供の設問から選定した 19 項目を説明変数として学年ごとに重回帰分析を行った。なお、選定した 19 項目は各学年で共通で、欠損値が含まれるものを除いて実施した。また、多重共線性の指標（VIF）は最大で 2.947 となっており、一般的に多重共線性の目安とされる 10 を超える項目はなかったため、項目の除外は行っていない。

結果を図表 3-64～3-67 に示している。なお、項目は標準偏回帰係数の値が大きいものから順に並べて表示している。また、説明変数のうち、以下の項目において有意な結果（有意水準5%以下）が得られた。

【小3】（11 項目）
Q17C 学ぶことが楽しい
Q22 学校等が好きか
Q26A 学校等は自分にとって居心地が良い
Q26C 学校等で意見が採用される
Q27F 他人から必要とされている
Q27G 夢中になれることがある
Q31D 保護者が話を聞いてくれる
Q33A 友達との関係は良好だ
Q33B 家族との関係は良好だ
Q33C 学校の先生等との関係は良好だ
Q34 居場所の数

【小5】（8項目）
Q17C 学ぶことが楽しい
Q22 学校等が好きか
Q26A 学校等は自分にとって居心地が良い
Q27F 他人から必要とされている
Q27G 夢中になれることがある
Q31D 保護者が話を聞いてくれる
Q33A 友達との関係は良好だ
Q33B 家族との関係は良好だ

【中2】（6項目）
Q22 学校等が好きか
Q27F 他人から必要とされている
Q27G 夢中になれることがある
Q31D 保護者が話を聞いてくれる
Q33A 友達との関係は良好だ

Q33B 家族との関係は良好だ

【17 歳】(9項目)

Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある

Q22 学校等が好きか

Q26A 学校等は自分にとって居心地が良い

Q26C 学校等で意見が採用される

Q27F 他人から必要とされている

Q27G 夢中になれることがある

Q33A 友達との関係は良好だ

Q33B 家族との関係は良好だ

Q34 居場所の数

※回帰分析…ある結果(目的変数 Y)にある要素(説明変数 X)がどのくらい関連性があるのかを明らかにする統計手法。特に、要素(説明変数 X)が複数あるものを重回帰分析という。説明変数と目的変数の間には以下のモデル式が成り立つ。

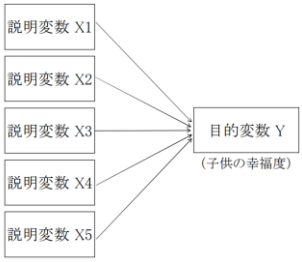
$Y=\beta 0+\beta 1X1+\beta 2X2$ (説明変数が 2 個の例)

・自由度調整済み決定係数(自由度調整済み R2 乗)…データに対するモデル式の当てはまり度合いを表した「決定係数」を補正した数値。一般的には 1 に近いほどモデル式の説明力が高いとされる。

・偏回帰係数…上で示した式の βi (i=1, 2, 3…)の推定値。

・標準偏回帰係数…各変数の単位に依存しない標準化された偏回帰係数。－1から1の間の値をとり、絶対値が1に近いほど、説明変数と目的変数に関連性があることを意味する。符号は関連の向きを表す。

・多重共線性の指標(VIF)…多重共線性とは、2つ以上の説明変数が相関しており、高い線形関係にある状態を指す。この問題を排除する方法として VIF(Variance Inflation Factor)と呼ばれる指標を用いる。



【小3】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.494、モデル全体の F 検定は有意であり(p＜.001)、子供の幸福度を当該の 19 項目で 49.4%説明できていると言える。

図表 3-64 重回帰分析の結果(小3)

n=1017

R	R2乗	調整済み R2乗
0.711	0.505	0.494

	非標準化係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
(定数)	3.811	0.639		5.965	0.000	
Q27F 他人から必要とされている	0.230	0.028	0.261	8.307	0.000 ***	1.789
Q33B 家族との関係は良好だ	0.201	0.042	0.146	4.760	0.000 ***	1.706
Q27G 夢中になれることがある	0.134	0.034	0.112	3.994	0.000 ***	1.433
Q33A 友達との関係は良好だ	0.130	0.037	0.109	3.482	0.001 ***	1.758
Q33C 学校の先生等との関係は良好だ	0.086	0.034	0.086	2.554	0.011 *	2.044
Q26C 学校等で意見が採用される	0.213	0.084	0.083	2.527	0.012 *	1.969
Q28B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	0.047	0.081	0.018	0.576	0.565	1.696
Q26E 安心して相談できる先生等がいる	0.037	0.084	0.013	0.443	0.658	1.671
Q33D 地域の人との関係は良好だ	0.003	0.025	0.003	0.107	0.915	1.656
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	−0.027	0.081	−0.009	−0.328	0.743	1.407
Q26B 学校等で意見が言える	−0.077	0.089	−0.030	−0.862	0.389	2.163
Q39 悩みの相談相手の種類	−0.033	0.028	−0.033	−1.187	0.236	1.374
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	−0.135	0.090	−0.040	−1.491	0.136	1.285
Q28A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	−0.148	0.099	−0.043	−1.499	0.134	1.504
Q17C 学ぶことが楽しい	−0.163	0.080	−0.061	−2.039	0.042 *	1.611
Q34 居場所の数	−0.063	0.027	−0.062	−2.334	0.020 *	1.286
Q22 学校等が好きか	−0.194	0.079	−0.078	−2.454	0.014 *	1.839
Q26A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.310	0.096	−0.105	−3.223	0.001 **	1.933
Q31D 保護者が話を聞いてくれる	−0.481	0.107	−0.124	−4.492	0.000 ***	1.381

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【小5】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.563、モデル全体の F 検定は有意であり(p＜.001)、子供の幸福度を当該の 19 項目で 56.3%説明できていると言える。

図表 3-65 重回帰分析の結果(小5)

n=948

R	R2乗	調整済み R2乗
0.757	0.573	0.563

	非標準化係数		標準	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差	偏回帰係数			
(定数)	3.187	0.557		5.725	0.000	
Q27F 他人から必要とされている	0.238	0.027	0.280	8.922	0.000 ***	1.921
Q27G 夢中になれることがある	0.246	0.031	0.220	8.021	0.000 ***	1.465
Q33B 家族との関係は良好だ	0.184	0.041	0.144	4.433	0.000 ***	2.047
Q33A 友達との関係は良好だ	0.089	0.034	0.083	2.616	0.009 **	1.950
Q17C 学ぶことが楽しい	0.146	0.064	0.062	2.282	0.023 *	1.438
Q33C 学校の先生等との関係は良好だ	0.039	0.034	0.041	1.149	0.251	2.492
Q26C 学校等で意見が採用される	0.061	0.079	0.023	0.768	0.443	1.820
Q26B 学校等で意見が言える	0.057	0.080	0.023	0.718	0.473	1.921
Q34 居場所の数	0.003	0.025	0.003	0.107	0.915	1.396
Q28A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	0.004	0.093	0.001	0.045	0.964	1.306
Q39 悩みの相談相手の種類	−0.004	0.025	−0.005	−0.173	0.863	1.509
Q33D 地域の人との関係は良好だ	−0.012	0.023	−0.017	−0.540	0.589	1.837
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	−0.065	0.079	−0.023	−0.829	0.408	1.558
Q28B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.066	0.070	−0.027	−0.946	0.344	1.607
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	−0.114	0.082	−0.037	−1.390	0.165	1.398
Q26E 安心して相談できる先生等がいる	−0.109	0.074	−0.043	−1.469	0.142	1.640
Q26A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.203	0.090	−0.073	−2.266	0.024 *	2.041
Q31D 保護者が話を聞いてくれる	−0.302	0.111	−0.080	−2.713	0.007 **	1.676
Q22 学校等が好きか	−0.368	0.078	−0.155	−4.718	0.000 ***	2.110

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【中2】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.556、モデル全体の F 検定は有意であり(p＜.001)、子供の幸福度を当該の 19 項目で 55.6%説明できていると言える。

図表 3-66 重回帰分析の結果(中2)

n=961

R	R2乗	調整済み R2乗
0.752	0.566	0.556

	非標準化係数		標準偏回帰係数	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差				
(定数)	4.358	0.585		7.455	0.000	
Q27F 他人から必要とされている	0.224	0.025	0.271	9.028	0.000 ***	1.825
Q33B 家族との関係は良好だ	0.171	0.038	0.149	4.471	0.000 ***	2.239
Q27G 夢中になれることがある	0.119	0.026	0.117	4.536	0.000 ***	1.359
Q33A 友達との関係は良好だ	0.098	0.036	0.089	2.724	0.007 **	2.170
Q34 居場所の数	0.042	0.026	0.041	1.600	0.110	1.309
Q33C 学校の先生等との関係は良好だ	0.030	0.035	0.031	0.860	0.390	2.702
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	0.084	0.075	0.031	1.123	0.262	1.508
Q33D 地域の人との関係は良好だ	0.018	0.025	0.022	0.704	0.482	1.963
Q26C 学校等で意見が採用される	0.056	0.087	0.021	0.639	0.523	2.281
Q26E 安心して相談できる先生等がいる	0.048	0.076	0.020	0.632	0.528	1.974
Q17C 学ぶことが楽しい	0.040	0.060	0.017	0.675	0.500	1.348
Q28B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	−0.003	0.068	−0.001	−0.038	0.970	1.534
Q28A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	−0.041	0.091	−0.011	−0.453	0.650	1.289
Q39 悩みの相談相手の種類	−0.013	0.027	−0.013	−0.488	0.626	1.353
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	−0.061	0.071	−0.022	−0.861	0.389	1.281
Q26A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.163	0.102	−0.061	−1.594	0.111	2.947
Q26B 学校等で意見が言える	−0.182	0.098	−0.068	−1.855	0.064	2.725
Q31D 保護者が話を聞いてくれる	−0.427	0.096	−0.128	−4.446	0.000 ***	1.674
Q22 学校等が好きか	−0.371	0.077	−0.162	−4.809	0.000 ***	2.300

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

【17歳】

モデル式の自由度調整済み決定係数は 0.601、モデル全体の F 検定は有意であり(p＜.001)、子供の幸福度を当該の 19 項目で 60.1%説明できていると言える。

図表 3-67 重回帰分析の結果(17 歳)

n=1046

R	R2乗	調整済み R2乗
0.780	0.609	0.601

	非標準化係数		標準偏回帰係数	t値	有意確率	VIF
	B	標準誤差				
(定数)	2.538	0.494		5.135	0.000	
Q33B 家族との関係は良好だ	0.293	0.035	0.272	8.395	0.000 ***	2.469
Q27F 他人から必要とされている	0.211	0.025	0.249	8.312	0.000 ***	2.118
Q27G 夢中になれることがある	0.098	0.023	0.110	4.305	0.000 ***	1.547
Q33A 友達との関係は良好だ	0.104	0.035	0.095	2.993	0.003 **	2.370
Q26C 学校等で意見が採用される	0.182	0.085	0.066	2.129	0.034 *	2.290
Q33C 学校の先生等との関係は良好だ	0.059	0.034	0.060	1.733	0.083	2.850
Q34 居場所の数	0.061	0.031	0.047	1.986	0.047 *	1.294
Q33D 地域の人との関係は良好だ	0.035	0.023	0.042	1.559	0.119	1.740
Q26E 安心して相談できる先生等がいる	0.037	0.078	0.014	0.475	0.635	2.174
Q3D 住んでいる街で大人が話を聞いてくれる	0.024	0.074	0.008	0.323	0.746	1.578
Q28A 自分の考えをしっかり持つことは大事だ	0.031	0.091	0.008	0.336	0.737	1.354
Q28B 自分の考えを他の人にしっかりと言える	0.005	0.064	0.002	0.073	0.942	1.449
Q31D 保護者が話を聞いてくれる	−0.022	0.092	−0.006	−0.240	0.811	1.728
Q17C 学ぶことが楽しい	−0.030	0.057	−0.012	−0.519	0.604	1.200
Q26B 学校等で意見が言える	−0.041	0.095	−0.014	−0.427	0.669	2.637
Q39 悩みの相談相手の種類	−0.047	0.034	−0.033	−1.369	0.171	1.407
Q3A 住む街に安心して遊べる場所等がたくさんある	−0.171	0.061	−0.066	−2.795	0.005 **	1.323
Q22 学校等が好きか	−0.267	0.082	−0.099	−3.239	0.001 **	2.200
Q26A 学校等は自分にとって居心地が良い	−0.334	0.101	−0.115	−3.314	0.001 ***	2.838

*p＜.05, **p＜.01, ***p＜.001 を表す

（4）他調査比較

他調査と比較可能な設問について比較を行った。

① 欧州委員会「Flash Eurobarometer（579 回）」

（調査概要）

・調査時期 ： 2026 年 3 月～4 月

・対 象 者 ： EU27 か国の 13～18 歳の子供・若者と保護者

・回 答 数 ： 子供 26,297 人、保護者 12,750 人

・調査方法 ： インターネット調査

＜平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間＞

【Flash Eurobarometer】

Q2a. How much time on average do you think you spend on screens (smartphone, computer, tablet, TV, gaming console included) in total ...? On a typical school day? （13～14 歳・17～18 歳）

（あなたが平日（学校がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。）

・2時間未満

・2時間以上4時間未満

・4時間以上6時間未満

・6時間以上8時間未満

・8時間以上 10 時間未満

・10 時間以上 12 時間未満

・12 時間以上

・わからない

※「（　）時間（　）分」の実数で回答を得たものを上記のカテゴリに整理して公表

【とうきょう こども アンケート】

問 44.　あなたが平日（学校や仕事がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。学校の授業や仕事で見る時間は除きます。（中2・17 歳）

・全く見ない、利用しない

・1時間未満

・1時間～2時間未満

・2時間～3時間未満

・3時間～4時間未満

・4時間～5時間未満

・5時間～6時間未満

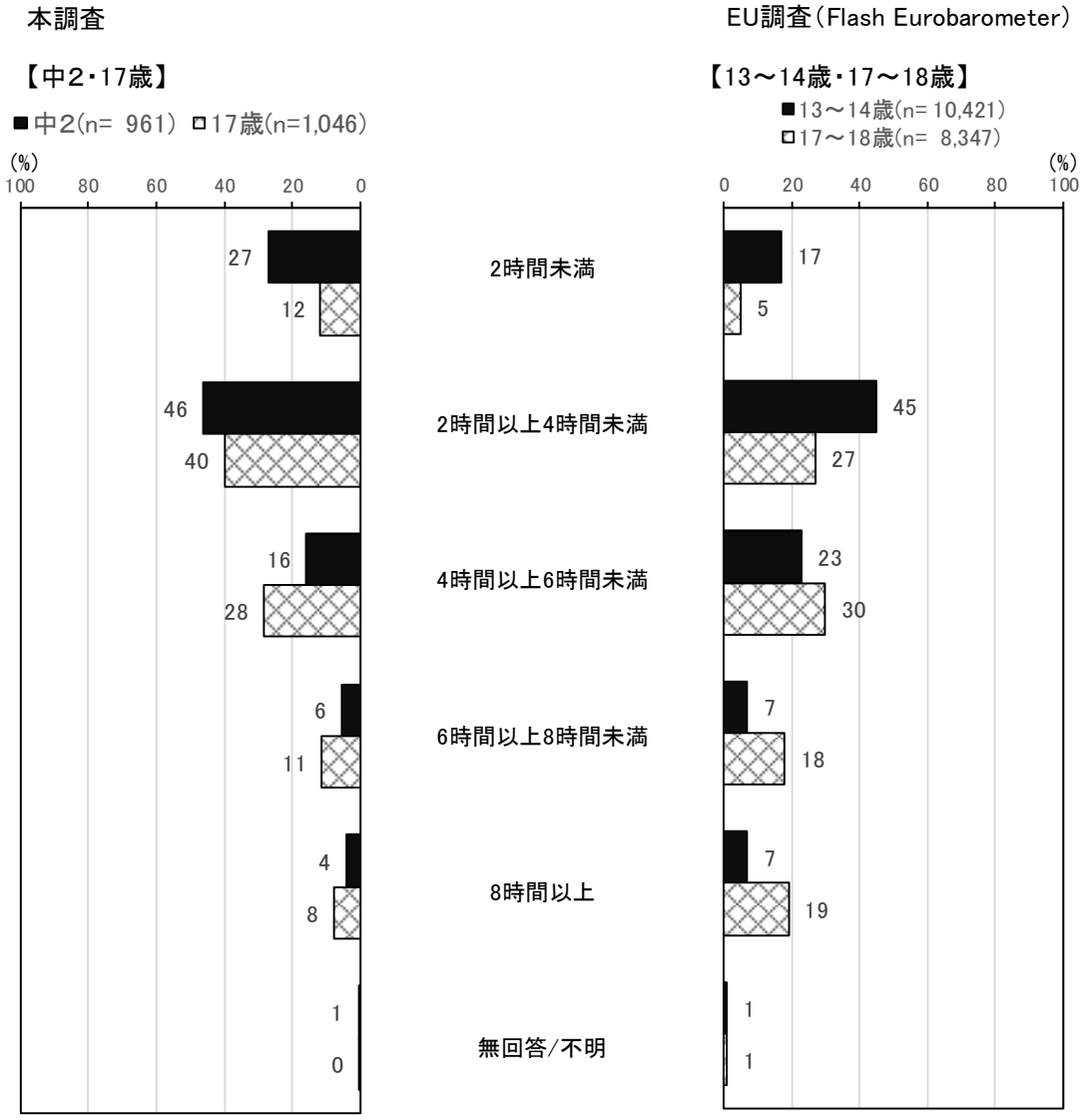
・6時間～7時間未満

・7時間～8時間未満

・8時間以上

「Flash Eurobarometer」における「13－14 歳」「17－18 歳」を、本調査のそれぞれ「中2」「17 歳」と比較すると、「2時間未満」の割合は、どちらの年齢でも本調査の方が高い。本調査では、中2と 17 歳ともに、「2時間以上4時間未満」がもっとも高いが、Flash Eurobarometerでは、13～14 歳は「2時間以上4時間未満」、17～18 歳は「4時間以上6時間未満」が最も高い。「8時間以上」は、本調査の 17 歳は 8%のところ、Flash Eurobarometeの 17～18 歳は 19%である。

図表 3-68 平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間 ＜比較調査は実数回答、本調査は単一回答＞



※Flash Eurobarometer の公表資料に合わせて、小数点以下を四捨五入しているため、
各年齢の選択肢の足し上げが 100%にならない場合がある。

② スポーツ庁「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

調査概要

・調査時期 ： 令和7年4月～7月

・対 象 者 ：

①小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員 936,433 人

②中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員 888,370 人

・回 答 数 ： ①924,976 人

②867,926 人

・調査方法 ： 質問紙調査

＜平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間＞

【スポーツ庁「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」】

質問8 平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1 日にどのくらいの時間、テレビや DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（小学生（5年生）・中学生（2年生））

・5時間以上

・4時間以上5時間未満

・3時間以上4時間未満

・2時間以上3時間未満

・1時間以上2時間未満

・1時間未満

・全く見ない

※休日の画面視聴時間は含まずに記入すること。

【とうきょう こども アンケート】

問 44 あなたが平日（学校がある日）、テレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間はどれくらいありますか。 学校の授業で見る時間は除きます。（1つだけ）（小5・中2）

・全く見ない、利用しない

・1時間未満

・1時間～2時間未満

・2時間～3時間未満

・3時間～4時間未満

・4時間～5時間未満

・5時間～6時間未満

・6時間～7時間未満

・7時間～8時間未満

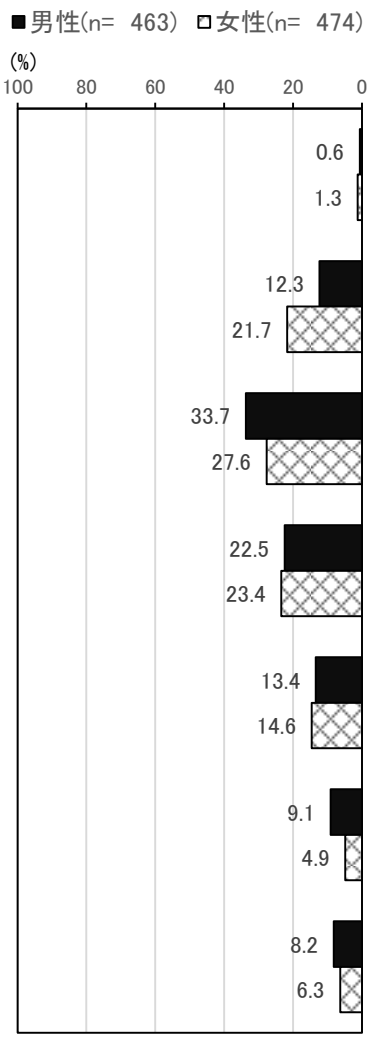
・8時間以上

平日にテレビやスマホ、タブレット、パソコン、ゲーム機などの画面を見ている時間は、「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、小学生（5年生）は男女とも「1時間以上2時間未満」の割合が最も高く、中学生（2年生）は、男女とも「2時間以上3時間未満」の割合が最も高い。本調査の小5では、男女とも「1時間～2時間未満」の割合が最も高く、中2では「2時間～3時間未満」の割合が最も高い。

図表 3-69 平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間（小学生） ＜単一回答＞

本調査

【小5】



全く見ない・利用しない

1時間未満

1時間～2時間未満

2時間～3時間未満

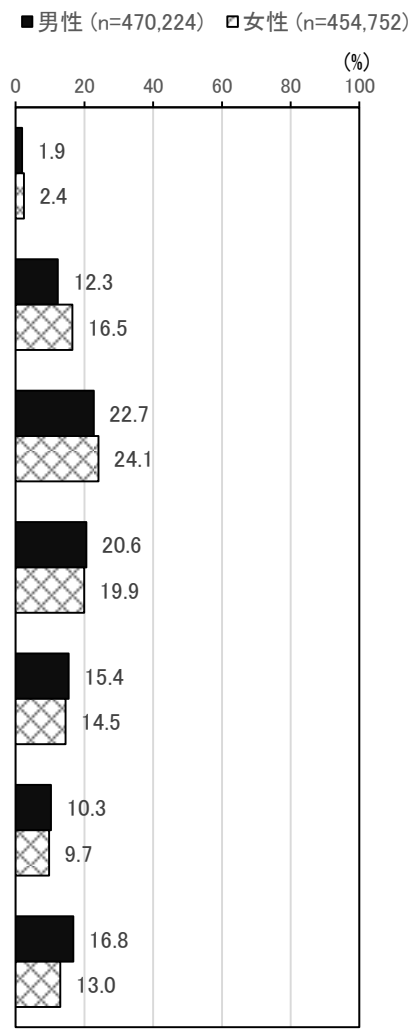
3時間～4時間未満

4時間～5時間未満

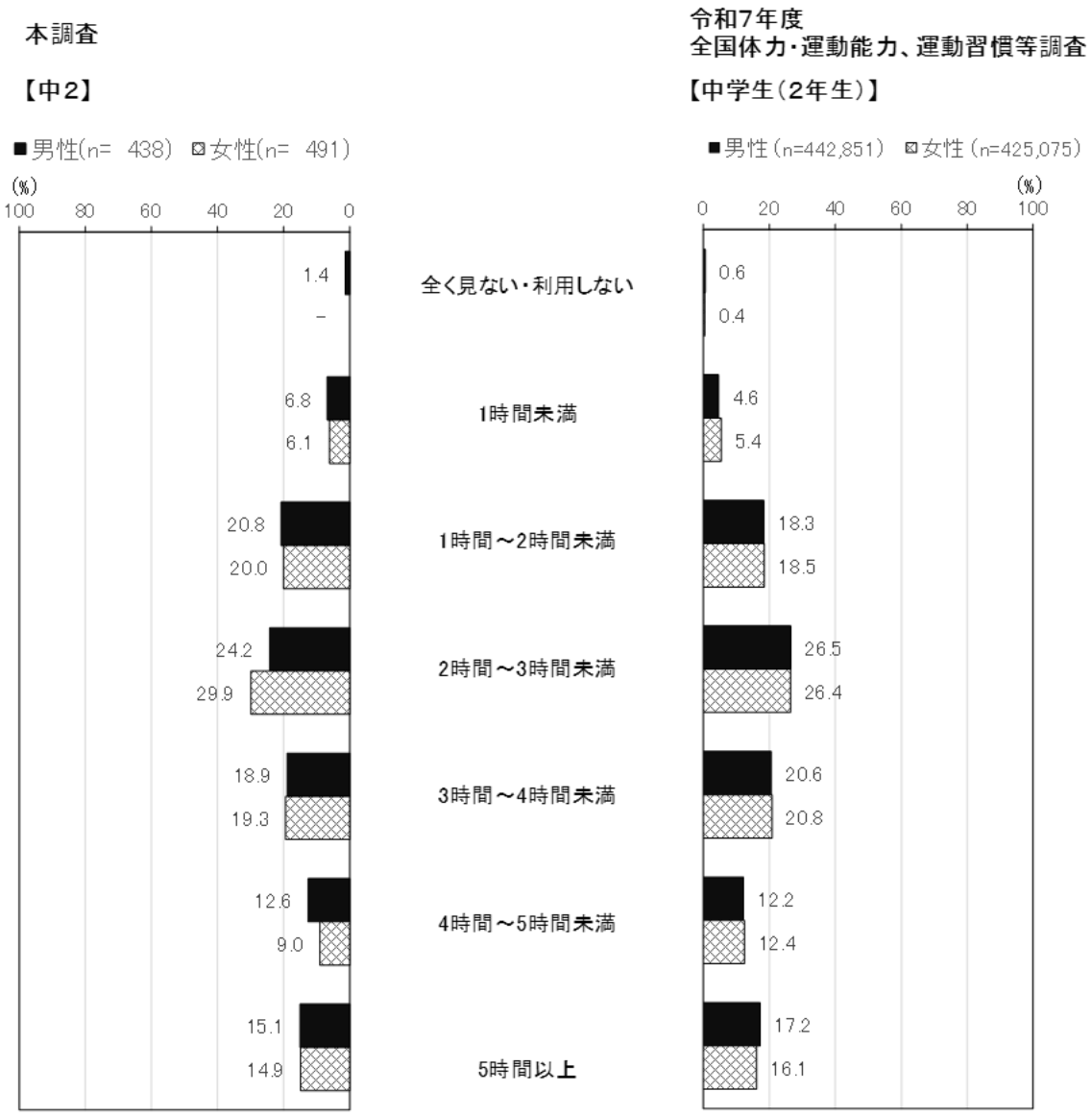
5時間以上

令和7年度
全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【小学生（5年生）】



図表 3-70 平日にテレビやスマホなどの画面を見ている時間（中学生） ＜単一回答＞



※本調査では、「男性」「女性」「その他（どちらともいえない・分からない・答えたくない）」の3区分であるが、「スポーツ庁「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では「男性」「女性」の2区分のため、「男性」「女性」についての比較のみ行う。

③ PISA 2025

（調査概要）

・調査時期 ： 2025 年6月から8月

・対 象 者 ： 91 か国・地域（OECD 加盟 38 か国、非加盟 53 か国・地域）の 15 歳、約 76 万人

・回 答 数 ： 日本からは、全国の高等学校等の1年生のうち、国際的な規定に基づき抽出された 183 校、約 6,500 人が参加。

・調査方法 ： オンラインによる CBT（コンピュータ使用型調査）。

＜生活への満足度＞

【PISA 2025 Results – Volume II　Students' life satisfaction】
ST016　Overall, how satisfied are you with your life as a whole these days?（15 歳）
（全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか。）

【とうきょう こども アンケート】
問 27　あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）（中2・17 歳）
（C 今の自分の生活に満足している）

生活への満足度については、本調査の中2は 70.0%、17 歳は 62.3%である。「PISA 2025」の「Satisfied with their lives」における「Japan」（15 歳）は 68.9%、「OECD average」（15 歳）での満足度は 70.6%である。

図表 3-71 生活への満足度 ＜単一回答＞

	本調査		PISA2025（Japan）	PISA2025（OECD average）
	中2	17歳	15歳	15歳
生活への満足度	70.0% （68.4 %）	62.3% （61.1%）	68.9% （60.8%）	70.6% （61.4%）

※「PISA 2025」、本調査ともに「0」～「10」の 11 段階評価であり、ともに「7」～「10」と回答した割合で比較を行っている。

※本調査の下段カッコ書き数値は、令和7年調査の数値。

※PISA2025 の下段カッコ書き数値は、PISA2022 の数値。

④ 日本財団「18 歳意識調査『第 78 回−国や社会に対する意識(6カ国調査)−』」

（調査概要）

・調査時期 ： 2026 年 2 月 4 日(水)～2 月 24 日(火)

・対 象 者 ： 日本・米国・英国・中国・韓国・インドの 17 歳～19 歳男女

・回 答 数 ： 各国 1,000 人

・調査方法 ： インターネット

＜社会貢献意欲＞

【日本財団「18 歳意識調査『第 78 回−国や社会に対する意識(6カ国調査)−』」】

あなた自身と社会の関りについて、以下の項目に同意しますか。(17～19 歳)

・わたしはボランティア活動に参加したい

・わたしは政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている

・わたしの行動で国や社会を変えられると思う

以下の項目に同意しますか。

・機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う

【とうきょう こども アンケート】

問 16 あなたは次のことについてどう思いますか。(それぞれ1つ)(17 歳)

B ボランティアをしたいと思う

C 社会課題(SDGs・環境問題・いじめや差別の問題など)について関心がある

F 自分の行動で社会を変えられると思う

G 機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う

「機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う」は、本調査では 55.2%であり、「18 歳意識調査『第 78 回−国や社会に対する意識(6カ国調査)−』」における「日本」(50.0%)よりも 5.2 ポイント高い。

「自分の行動で社会を変えられると思う」は、本調査では 45.8%であり、「18 歳意識調査『第 78 回−国や社会に対する意識(6カ国調査)−』」における「わたしの行動で国や社会を変えられると思う」への「日本」(52.7%)より 6.9 ポイント低い。

図表 3-72 社会貢献意欲 ＜単一回答＞

比較調査	わたしはボランティア活動に参加したい	わたしは政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている	わたしの行動で国や社会を変えられると思う	機会があれば留学や他国で就労をしてみたいと思う
本調査	ボランティアをしたいと思う	社会課題（SDGs・環境問題・いじめや差別の問題など）について関心がある	自分の行動で社会を変えられると思う	機会があれば留学や他国で働いてみたいと思う
日本	60.6%	63.3%	52.7%	50.0%
	（60.4%）	（56.5%）	（45.8%）	（52.8%）
東京都（本調査）	**57.0%**	**66.9%**	**45.8%**	**55.2%**
	（57.7%）	（65.8%）	（44.6%）	（57.8%）
アメリカ	74.2%	77.5%	66.7%	69.3%
イギリス	73.0%	78.1%	66.3%	75.9%
中国	73.5%	71.7%	69.5%	69.0%
韓国	73.6%	71.6%	60.8%	79.0%
インド	81.6%	82.9%	78.0%	81.0%

※選択肢の上段は「18 歳意識調査」の選択肢。下段は本調査の選択肢。

※「18 歳意識調査『第 78 回-国や社会に対する意識（6カ国調査）-』」で「同意」及び「どちらかといえば同意」と回答した割合と、本調査で「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した割合で比較している。

※日本の下段カッコ書き数値は、2024 年実施の「18 歳意識調査」の数値。

※東京都の下段カッコ書き数値は、令和7年調査の数値。

⑤ 日本財団「18 歳意識調査『第 77 回−価値観・ライフデザイン』」

（調査概要）

・調査時期 ： 2025 年 11 月 28 日（金）～12 月 3 日（水）

・対 象 者 ： 全国の 17 歳～19 歳男女

・回 答 数 ： 1,000 人

・調査方法 ： インターネット

＜将来の結婚意向＞

【日本財団「18 歳意識調査『第 77 回−価値観・ライフデザイン−』」】

あなたは、将来結婚したいと思いますか（事実婚を含む）。（17～19 歳）

・したい

・どちらかと言えばしたい

・どちらかと言えばしたくない

・したくない

・わからない

・考えたことがない

【とうきょう こども アンケート】

問 41 あなたは将来、結婚したいと考えていますか。今つきあっている人がいるかどうかや、その人と結婚したいかどうかとは関係なく答えてください。（17 歳）

・結婚したい

・結婚したいが、難しいと思っている

・結婚してもしなくても、どちらでもよい

・結婚したいとは思わない

・まだ分からない

将来の結婚意向については、本調査では結婚意向のある 17 歳（「結婚したい」と「結婚したいが、難しいと思っている」の割合）は、男性で 59.9%、女性で 56.6%である。18 歳意識調査では、結婚意向のある 17 歳～19 歳（「したい」及び「どちらかと言えばしたい」の割合）は、男性で 57.8%、女性で 58.2%である。

図表 3-73 将来の結婚意向 ＜単一回答＞

18歳意識調査	「したい」＋「どちらかといえばしたい」	
	男性	57.8%
	女性	58.2%
本調査（17歳）	「結婚したい」＋「結婚したいが、難しいと思っている」	
	男性	59.9
	女性	56.6

⑥ こども家庭庁「こども・若者総合調査（令和7年度）」

（調査概要）

・調査時期 ： 令和7年(2025年)11 月 25 日(火)～12 月 12 日(金)

・対 象 者 ： 令和7年4月1日現在、10 歳～39 歳の男女 20,000 人

・回 答 数 ： 10 歳～39 歳:9,648 人(うち、10 歳～14 歳:1,636 人、15 歳～39 歳:8,012 人)

・調査方法 ： 郵送法(オンライン回答併用)

＜自己肯定感＞

【こども家庭庁「こども・若者総合調査（令和7年度）」】

・あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

「あてはまる」は1を、「どちらかといえば、あてはまる」は2を、「どちらかといえば、あてはまらない」は3を、「あてはまらない」は4を選んでください。

（ア）今の自分が好きだ

【とうきょう こども アンケート】

問 27 あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）

※10「とてもあてはまる」～0「全くあてはまらない」から選択

D 今の自分が好きだ

「今の自分が好きだ」について、本調査において、「0」～「10」のうち「6」以上を回答した子供では、小5は 74.5%、中2は 66.4%、17 歳は 63.1%である。回答選択肢が異なるが、「こども・若者総合調査（令和7年度）」において、「あてはまる」から「あてはまらない」までの4段階のうち「あてはまる」または「どちらかといえば、あてはまる」と回答した子供では、11 歳では 83.1%、14 歳では 78.4%、15～19 歳では 67.7%である。

図表 3-74 自己肯定感 ＜単一回答＞

こども家庭庁 「こども・若者総合調査」 （令和7年度）	今の自分が好きだ 【4段階で「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合】	
	11歳	83.1%
	14歳	78.4%
	15～19歳	67.7%
本調査	今の自分が好きだ 【0～10のうち、6～10と回答した割合】	
	小5	74.5%
	中2	66.4%
	17歳	63.1%

※「今の自分が好きだ」に肯定的な回答の比率として、本調査は「0」～「10」の 11 段階評価で「6」～「10」と回答した割合、「こども・若者総合調査」は「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の4段階評価のうちで「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した割合をもって比較している。評価の段階数が異なるため、直接的な比較はできない点に注意されたい。

＜幸福感＞

【こども家庭庁「こども・若者総合調査（令和7年度）」】
・あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
（そう思う、どちらかといえば、そう思う、どちらかといえば、そう思わない、そう思わない）

【とうきょう こども アンケート】
問 27　あなたは、次のことがどれくらいあてはまりますか。（それぞれ1つ）
※10「とてもあてはまる」～0「全くあてはまらない」から選択
　D　今の自分は幸せだ

現在の幸福感について、本調査において「0」～「10」のうち「6」以上を回答した子供は、小5は 84.3%、中2は 83.5%、17 歳は 77.9%である。回答選択肢が異なるが、「こども・若者総合調査（令和7年度）」において、「そう思う」から「そう思わない」までの4段階のうち「そう思う」または「どちらかといえば、そう思う」と回答した子供は、11 歳では 95.2%、14 歳では 90.8%、15～19 歳では 89.0%である。

図表 3-75　幸福感　＜単一回答＞

こども家庭庁「こども・若者総合調査」（令和7年度）	あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください【4段階で「そう思う」または「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合】	
	11歳	95.2%
	14歳	90.8%
	15～19歳	89.0%
本調査	今の自分は幸せだ【0～10のうち、6～10と回答した割合】	
	小5	84.3%
	中2	83.5%
	17歳	77.9%

※現在の幸福感に対して肯定的な回答の比率として、本調査は「0」～「10」の 11 段階評価で「6」～「10」と回答した割合、「こども・若者総合調査」は「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」「どちらかといえば、そう思わない」「そう思わない」の4段階評価のうちで「そう思う」または「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合をもって比較している。評価の段階数が異なるため、直接的な比較はできない点に注意されたい。

⑦ 第 14 回(令和6年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)

(調査概要)

・調査時期 : 令和6年5月 25 日

・対 象 者 : 全国の平成 22 年(2010 年)5月 10 日から同 24 日の間に出生した 14歳(中学2年生)
24,672 人

・回 答 数 : 20,295 人

・調査方法 : 郵送法(オンライン回答併用)

＜相談する相手＞

【第 14 回(令和6年)21 世紀出生児縦断調査(平成 22 年出生児)】
あなたが、悩みや不安を相談する相手は誰ですか。(中2)
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

・お母さん
・お父さん
・兄弟姉妹
・祖父・祖母
・その他の家族
・親せき
・友人
・先輩・後輩
・教師
・学校カウンセラー(スクールカウンセラー)
・カウンセラー(学校カウンセラー以外)(電話相談を含む)
・医師
・インターネットの相談サイト
・その他
・誰にも相談しない

【とうきょう こども アンケート】

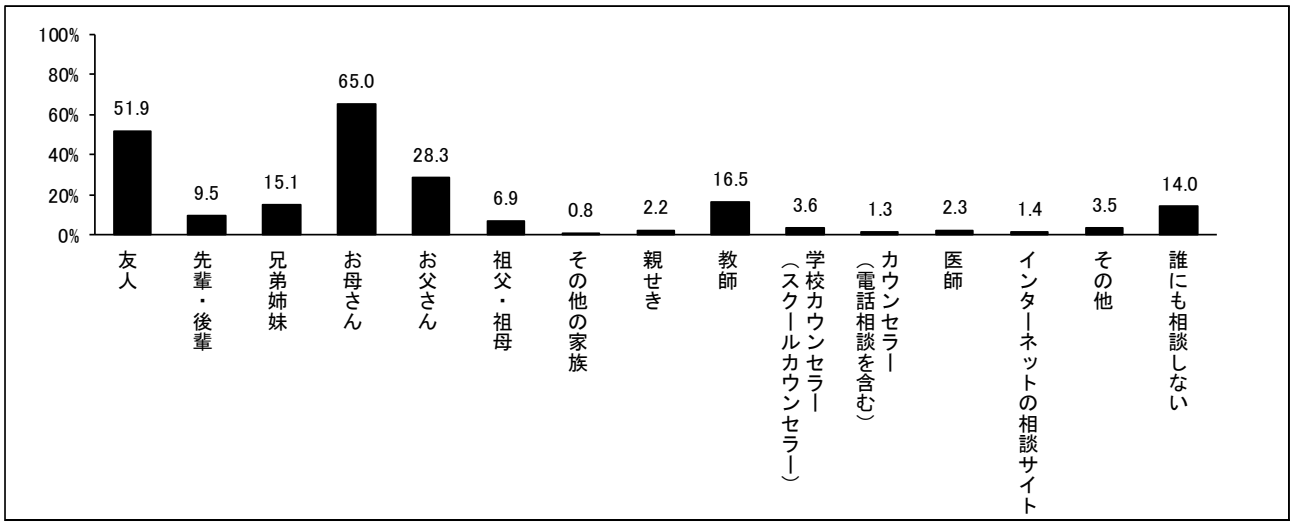
問 38 あなたが困ったり悩んだりしたとき、相談する相手は誰ですか（いくつでも）（中2）

・友達や先輩
・きょうだい
・母親
・父親
・祖父母
・親戚（おじさん・おばさんなど）
・近所の人
・学校の先生・職場の上司
・保健室の先生
・相談員（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなど）
・児童館の職員
・塾や習い事の先生
・インターネットや SNS で知り合った人
・NPO 法人・ボランティアの人
・その他（　　）
・相談できる人はいない

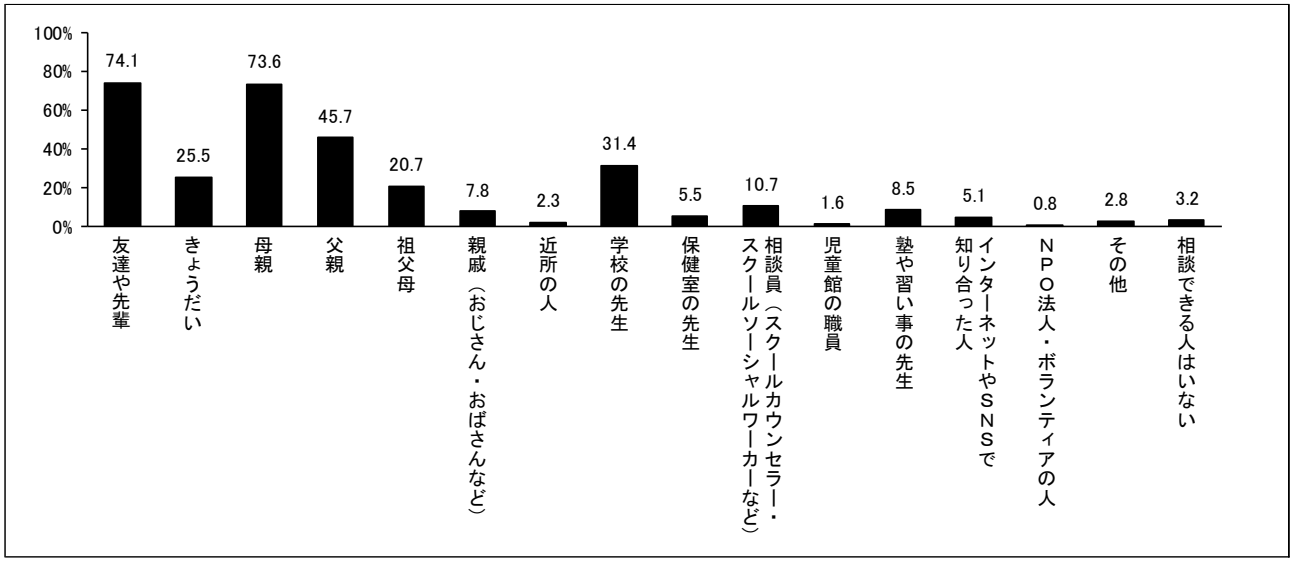
悩みや不安を相談する相手として、「第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」では、「お母さん」が最も高く 65.0%、次いで「友人」が 51.9%、「お父さん」が 28.3%である。本調査では、「友達や先輩」が 74.1%、「母親」が 73.6%で上位に並び、次いで「父親」が 45.7%である。

図表 3-76 困ったり悩んだりしたとき、相談する相手 ＜複数回答＞

【21 世紀出生時縦断調査】 こどもが悩みや不安について相談する相手 ＜複数回答＞



【本調査】困ったり悩んだりしたとき、相談する相手 ＜複数回答＞



※「第 14 回（令和6年）21 世紀出生児縦断調査（平成 22 年出生児）」の選択肢は本調査と異なる部分がある。選択肢の順序は、本調査での提示順に近い形で並べ替えている。また、設問文及び選択肢も異なるため、比較する際には注意されたい。